福山市上下水道局

2026年度

中央ポンプ場築造工事（土木工事）実施設計書

福山市東川口町一丁目地内

建設リサイクル法対象工事

工事概要

土木工事

本体築造工	一式
既設改造工	一式
本体作業土工	一式
本体仮設工	一式
構造物撤去工	一式

特　記　仕　様　書

第１章 総則

第１節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

第２節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市建設工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔(公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行い、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第３条に基づき、契約締結後１４日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降４０日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第３節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等については、監督員に協議をし確認を求めること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第４節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等

   専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

   ①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
   ②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

   なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理)技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理)技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

   ④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

2. 主任（監理）技術者の変更の特例

   次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

   ①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
   ②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

   なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

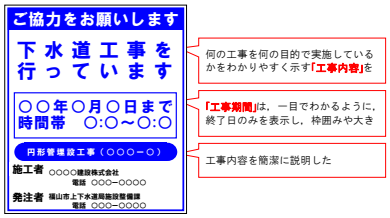
第２章 施工

第１節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第２節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



新しい路上工事看板（工事中看板）

（工事情報看板）

（工事説明看板）

第３節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行うこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Ａとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Ｂとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員Ａ以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Ａを誘導日あたり１名以上配置すること。

第４節 管路及びマンホール

1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－１〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
3. 下水道用鋳鉄製マンホールふたは、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鋳鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
5. 下水道用鋳鉄製防護ふたは、「福山市型鋳鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鋳鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－６〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料４〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－６〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料４〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第５節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。なお、運搬機械からの直接投入は行わず、機械投入とすること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員に提出すること。

第６節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者に提出すること。

第７節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後３年間保存すること。
3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第3次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第８節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第９節 情報共有システムの利用

1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
   広島県工事中情報共有システム　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、(一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

第３章 材料

第１節 埋戻材（処理土）

1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
2. １により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
4. 工事完了時には、伝票及び試験結果等を提出すること。
5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指数	800KN/㎡以上

第４章 建設副産物

第１節 建設発生土

1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)のいずれかに搬出するものとする。
   また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
   なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第２節 建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第３節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行うこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第４節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
   建設発生土について、500m3以上（一時たい積場については500m3/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
   建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2，000m2以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第５節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
   ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第６節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。あわせて、500m3以上の土砂を工事現場から搬出する場合には、「再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票」について作成と現場掲示すること。

第５章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
   なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
   （１）補正方法
   ア　受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
   イ　真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
   ウ　補正値（%）＝真夏日率×1.2
   （２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第６章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行うこと。

施　工　条　件　表

対象工事名　：　中央ポンプ場築造工事（土木工事）

項目	事　項	該当		内容
①計画準備関係	施工計画書等の提出	◉ あり	○ なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。
		◉ あり	○ なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。
	変更図面の作成	◉ あり	○ なし	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。
	取付ますの設置	○ あり	◉ なし	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。
	誓約書の提出	◉ あり	○ なし	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。
	協議	◉ あり	○ なし	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。

関係機関	事項	協議の内容	備考
関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明	
水づくり課	施工方法等	施工方法、施工ヤード、施工時期	

	段階確認	◉ あり	○ なし	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。
	情報共有システム	◉ あり	○ なし	設計金額３，５００万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。

項目	事　　項	該　当		内　　容
② 工程関係	工事期間	◉ あり	○ なし	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし４０日間を、検査期間は１４日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。 ☑ 準備期間　☑ 本工事施工期間　☐ ~~建物等調査期間~~　☑ 変更協議期間　☐ ☑ 後片付け期間　☑ 検査期間　☑ 水道管移設期間　☐ ~~ガス管移設期間~~　☐
	関連する別途工事	◉ あり	○ なし	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。 関連工事の名称：中央ポンプ場復旧工事（減速機等）／新浜ポンプ場改築事業 発注者名：福山市上下水道局／福山市上下水道局 予定期間：2026/6/1～／2022/11/21～2030/3/31 備考：
	制約条件	◉ あり	○ なし	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。 場所：全体 制約の要因：円滑な交通の確保 制約の内容：施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。 備考：
		○ あり	◉ なし	
③ 用地関係	借地	○ あり	◉ なし	次のとおり、借地を見込んでいる。 場所／目的／面積／使用後の処置／備考
	工事用地	○ あり	◉ なし	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。 場所／面積／協議内容／完了見込時期／備考
		○ あり	◉ なし	

項目	事　　項	該　当		内　　容
④ 周辺環境保全関係	建設公害の処置	◉ あ り	○ な し	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。 項目：建設機械（全般） 処理方法：排ガス対策型の使用 備考：
	建物等の調査	○ あ り	◉ な し	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。 調査内容／調査項目／数量／備考
	井戸の調査及び その他の調査等	○ あ り	◉ な し	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。 調査内容／調査項目／数量／備考
	六価クロム溶出試験 の実施	◉ あ り	○ な し	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
	濁水・湧水の処理	◉ あ り	○ な し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。
		○ あ り	◉ な し	

六価クロム溶出試験の実施

場所	工種	配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
土留め工	柱列式連続地中壁	ー　検体	6　検体	上中下３深度×2本	試験方法2
地盤改良工	高圧噴射撹拌工	ー　検体	3　検体	上中下３深度×1本	試験方法2
合計		9　検体			

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑤ 安全対策関係	近接施工	◉ あ り	○ な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。 場所：開削部 近接する施設：給水管 条件：近接箇所の人力掘削 備考：
	作業時間内の埋戻復旧	○ あ り	◉ な し	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。
⑥ 埋戻関係	処理土	○ あ り	◉ な し	処理土の購入先は、広島県が公表する建設発生土ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄを見込んでいる。
	流用土（現場内流用）	◉ あ り	○ な し	埋戻土は、現場発生土の一部を流用することとしている。
	流用土（他工事流用）	○ あ り	◉ な し	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難い場合は、別途、協議すること。 他工事名： 搬入場所： 搬入時期： 備考：
	真砂土	○ あ り	◉ な し	
	品質管理	○ あ り	◉ な し	品質管理頻度：埋戻土量・試験回数 埋戻土量500m3につき1回 ただし、50m3未満の場合は省略できる。 試験方法：（次のいずれか） 簡易貫入試験（土研式円すい貫入試験）：市道　14回以上/10cm　県道　17回以上/10cm 現場密度試験：95%以上（複数回の場合異なる層、位置で実施）

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	◉ あ り	○ な し	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。
	建設汚泥（泥土）	◉ あ り	○ な し	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。 種別：汚染土／搬出場所：愛媛県松山市北梅本町甲１８４／運搬距離：123km／備考：
	建設汚泥（泥水）	◉ あ り	○ な し	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。 種別：建設汚泥／搬出場所：福山市瀬戸町地頭分字虎534-1／運搬距離：仕様書のとおり／備考：
	特定建設資材の廃棄物	◉ あ り	○ な し	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。 種別：ｱｽﾌｧﾙﾄ殻／搬出場所：福山市大門町野々浜沖浦山482-1／運搬距離：仕様書のとおり／備考： 種別：コンクリート殻／搬出場所：福山市加茂町字北山992／運搬距離：仕様書のとおり／備考：
	建設副産物情報交換システム	◉ あ り	○ な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。
	広島県土砂の適正処理に関する条例	◉ あ り	○ な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑧ 仮設関係	土留	◉ あり	○ なし	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。
	仮設(土留)材料の残置	◉ あり	○ なし	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。
	路面覆工	◉ あり	○ なし	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。
	覆工材料の残置	○ あり	◉ なし	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。
	水替	◉ あり	○ なし	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。
	仮設電力設備	◉ あり	○ なし	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。
	一般搬入道路	◉ あり	○ なし	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。
	仮設道路	○ あり	◉ なし	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。

土留

場所	工法	土留種別	備考
仮桟橋部	鋼矢板圧入工	鋼矢板Ⅲ型	
ポンプ棟本体	柱列式連続壁工	ソイルメント柱（芯材＝H鋼）	

仮設(土留)材料の残置

場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
ポンプ棟本体	ソイルメント柱（芯材＝H鋼）	全残置	97　本	

路面覆工

場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考
仮桟橋	4.00　m	17.00　m	覆工板	
	m	m		

覆工材料の残置

場所	仕様	数量	付属部材	備考

仮設電力設備

場所	設備の種類			備考
開削水替工	☐ ~~発動発電機~~	☑ 低圧受電	☐ ~~高圧受電~~	
	☐ ~~発動発電機~~	☐ ~~低圧受電~~	☐ ~~高圧受電~~	
	☐ ~~発動発電機~~	☐ ~~低圧受電~~	☐ ~~高圧受電~~	

一般搬入道路

搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考
全ての道路	工事期間	8時 ～ 17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合

仮設道路

期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	◉ あり	○ なし	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。 場所：仮桟橋部 確認物件：給水管 方法：掘削確認（管理者の立会） 備考：
	本工事に含まれる移設工事	◉ あり	○ なし	本工事では、次の移設工事を含んでいる。 場所：仮桟橋部 移設物件：給水管 移設の形態：誓約業者による移設工事
	工事支障物件	○ あり	◉ なし	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。 場所： 支障物件： 内容： 備考：
		◉ あり	○ なし	
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	◉ あり	○ なし	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。 場所：ポンプ棟本体 数量・区分等：仕様書の通り 工法：二重管ダブルパッカー工法 プラント：場内 備考： 場所：断面欠損部 数量・区分等：仕様書の通り 工法：高圧噴射攪拌工　三重管工法 プラント：場内 備考：
	推進工法	○ あり	◉ なし	次のとおり、推進工法を見込んでいる。 区間： 工法： 備考：
		○ あり	◉ なし	

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑪ その他	取付ますの請求額	○ あ り	◉ な し	
	その他の図面	○ あ り	◉ な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（２０２６年４月１日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管の位置調査	○ あ り	◉ な し	
	工事完成のお知らせ	◉ あ り	○ な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	70 福山市	
単価適用日	00-08.05.01(0)	
諸経費体系	1　公共(一般)	
	当世代	前世代
工種	32　下水道工事（３）	
施工地域・工事場所区分	02　市街地(DID補正)	
復興補正区分	00　補正なし	
週休補正区分	00　補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00　補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00　補正なし	
冬期補正係数	00　補正なし	
緊急工事区分	00　通常工事　０％	
前払金支出割合区分	00　補正無し	
契約保証区分	01　金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫
Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
処理場・ポンプ場	1	式			Y1I06　　レベル1
本体築造工	1	式			Y1I0606　　レベル2
躯体工	1	式			Y1I060607　レベル3
基礎材		m2			Y1I06060703レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	700	m2			SPK25040034 00 単第0 -0001　表
均しコンクリート		m2			Y1I06060704レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	70	m3			SPK25040157 00 単第0 -0002　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	70	m2			SPK25040159 00 単第0 -0003　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート		m3			Y1I06060705レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	5,828	m3			SPK25040157 00 単第0 -0004 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	124	m3			SPK25040157 00 単第0 -0002 表
型枠		m2			Y1I06060706レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	7,410	m2			SPK25040159 00 単第0 -0005 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	140	m2			SPK25040159 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	29	m2			SPK25040159 00 単第0 -0005 表
鉄筋		t			Y1I06060707レベル4
鉄筋工 SD295_D10 一般構造物 [規]10t以上	0.08	t			SS000099 00 単第0 -0007 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物［規]10t以上	0.24	t			SS000099　00 単第0 -0008　表
鉄筋工 SD295_D16 一般構造物［規]10t以上	0.06	t			SS000099　00 単第0 -0009　表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物［規]10t以上	98.11	t			SS000099　00 単第0 -0010　表
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	56.46	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	49.94	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	55.57	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	187.37	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D29～D32 一般構造物［規]10t以上	176.99	t			SS000099　00 単第0 -0012　表
ガス圧接工 手動(半自動)・自動_D25+D25 ［規]100箇所以上	1,954	箇所			SS000103　00 単第0 -0013　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ガス圧接工 手動(半自動)・自動_D29+D29 [規]100箇所以上	84	箇所			SS000103　00 単第0 -0014　表
足場		掛m2			Y1I06060708レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場 安全ネット設置	2,400	掛m2			S0380　00 単第0 -0015　表
支保		空m3			Y1I06060709レベル4
支保工 くさび結合支保 f<=40(t<=120)	5,290	空m3			S0370　00 単第0 -0016　表
支保工 パイプサポート支保 f<=40(t<=120)	490	空m3			S0370　00 単第0 -0017　表
左官工	1	式			Y1I060615　レベル3
モルタルごて仕上げ		m2			Y1I06061502レベル4
コンクリート面コテ仕上げ工 コンクリート直均し	157	m2			F0000000800 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水側溝モルタル塗り W=200	78	m			F0000000900 00
蓋工	1	式			Y1I060611　レベル3
グレーチング蓋		箇所			Y1I06061105レベル4
蓋版設置 材料別途 40≧重量	7	枚			SDT00017　00 単第0 -0018　表
排水側溝グレーチング蓋	1	式			V0001　00 単第0 -0019　表
蓋版設置 材料別途 40<重量≦170	4	枚			SDT00017　00 単第0 -0020　表
床版グレーチング 開口2.5m×4.8m用　受枠共	1	式			F0000004404 00
合成木材蓋		箇所			Y1I06061102レベル4
蓋版 材料別途 40≧重量	14	枚			SDT00017　00 単第0 -0021　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
合成木材製蓋	1	式			V7000　00 単第0 -0022　表
マンホール蓋		箇所			Y1I06061108レベル4
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)	2	箇所			SG1D0088005 00 単第0 -0023　表
鋳鉄製マンホール蓋 φ600　軽荷重 簡易密閉型	2	組			F0000001400 00
雑工・点検施設	1	式			Y1I060620　レベル3
足掛金物		本			Y1I06062001レベル4
足掛金物取付工	151	本			S6578　00 単第0 -0024　表
タラップ		箇所			Y1I06062002レベル4
落とし込み式取手 ステンレス製　W=300	3	台			F0000001100 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水目皿等		箇所			Y1I06062005レベル4
連通管 VU　呼び径200(216×6.5)	2.0	m			TTPCD0405　00
床排水管 VP　呼び径100(114×6.6) 参考質量3.409kg/m	6.6	m			TTPCD0394　00
床排水金物 φ100　D (SUS)	3	個			F0000001200 00
角落し工	1	式			Y1I060612　レベル3
角落し		箇所			Y1I06061201レベル4
角落し	1	式			V1007　00 単第0 -0025　表
伸縮継手工	1	式			Y1I060608　レベル3
止水板		m			Y1I06060801レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
止水板 止水板(各種)	223	m			SPK25040119 00 単第0 -0026　表
止水板加工費	1	式			V1011　　00 単第0 -0027　表
目地材		m2			Y1I06060802レベル4
目地板 1工事当り使用量30m2以上 樹脂発泡体(30倍発泡)t=20mm	300	m2			SPK25040118 00 単第0 -0028　表
伸縮目地充填		m			Y1I06060803レベル4
目地充填工	256	m			SPK25040120 00 単第0 -0029　表
目地充填材 樹脂系20×20	256	m			F0000002900 00
既設改造工	1	式			Y1I0606　　レベル2
躯体工	1	式			Y1I060607　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
既設ポンプ棟躯体		m3			Y1I06140201レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	132	m3			SDT00033　00 単第0 -0030　表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	7	m3			SDT00031　00 単第0 -0031　表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り　運搬距離23.2km以下(18.5km超)	132	m3			SPK25040155 00 単第0 -0032　表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り　運搬距離23.2km以下(18.5km超)	7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0033　表
コンクリート目荒し 壁	136	m2			F0000003801 00
撤去面モルタル補修	1	式			V5000　00 単第0 -0034　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻（有筋）	132	m3			F0000000700 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再資源化施設受入費 コンクリート殻（無筋）	7	m3			F0000000600 00
コンクリート		m3			Y1I06060705レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	50	m3			SPK25040157 00 単第0 -0035　表
無収縮モルタル	0.2	m3			F0000003000 00
型枠		m2			Y1I06060706レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	210	m2			SPK25040159 00 単第0 -0005　表
無収縮モルタル注入用型枠 H=200	3	m			F0000003200 00
鉄筋		t			Y1I06060707レベル4
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物［規]10t以上	1.74	t			SS000099　　00 単第0 -0010　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	0.17	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	0.85	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物［規]10t以上	1.51	t			SS000099　00 単第0 -0011　表
鉄筋工 SD345_D29～D32 一般構造物［規]10t以上	0.64	t			SS000099　00 単第0 -0012　表
接着系アンカー	1	式			V3006　00 単第0 -0036　表
溶接工	1	式			V4000　00 単第0 -0045　表
あと施工せん断補強筋	1	式			V4001　00 単第0 -0046　表
足場		掛m2			Y1I06060708レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場 安全ネット設置	170	掛m2			S0380　00 単第0 -0015　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保		空m3			Y1I06060709レベル4
支保工 くさび結合支保 f<=40(t<=120)	60	空m3			S0370　　00 単第0 -0016　表
本体作業土工	1	式			Y1I0604　　レベル2
掘削工	1	式			Y1I060401　レベル3
掘削(土砂)		m3			Y1I06040101レベル4
床掘り 土砂 標準 自立式 障害無し	1,300	m3			SPK25040015 00 単第0 -0047　表
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	750	m3			SPK25040015 00 単第0 -0048　表
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	6,600	m3			SPK25040015 00 単第0 -0049　表
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害無し	3,500	m3			SPK25040015 00 単第0 -0050　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型バックホウ搬入搬出	4	回			SPK25040016 00 単第0 -0051　表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	3,500	m3			SPK25040001 00 単第0 -0052　表
埋戻工	1	式			Y1I060402　レベル3
埋戻し(流用土)		m3			Y1I06040201レベル4
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	270	m3			SPK25040020 00 単第0 -0053　表
間詰コンクリート		m3			Y1I06040203レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	205	m3			SPK25040157 00 単第0 -0002　表
残土処理工	1	式			Y1I060405　レベル3
残土処理		m3			Y1I06040501レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
汚染土運搬 20tトレーラートラック L=123km	11,770	m3			F0000001700 00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	760	m3			SPK25040002 00 単第0 -0054 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分施設受入費 汚染土（シルト性状）	3,530	m3			F0000000400 00
処分施設受入費 汚染土（シルト性状以外）	8,240	m3			F0000000300 00
再資源化施設受入費 砂質土	760	m3			F0000000100 00
本体仮設工	1	式			Y1I0605 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1I060501 レベル3
仮設鋼矢板		枚			Y1I06050101 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板圧入(Nmax≦25) 陸上施工 3型 圧入長(m)_12以下(9超)	62	枚			S0440 00 単第0 -0055 表
鋼矢板引抜き 陸上施工 3型 引抜長(m)_12以下(9超)	62	枚			S0454 00 単第0 -0058 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax≦25) III型	1	回			S0458 00 単第0 -0059 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き III型	1	回			S0458 00 単第0 -0060 表
鋼矢板賃料	1	式			V2003 00 単第0 -0061 表
仮設H鋼杭		本			Y1I06050104レベル4
プレボーリング工法によるH形鋼打込み H300 (φ450mm) H形鋼長 23.5m	23	本			S1050051 00 単第0 -0063 表
H形鋼賃料等	1	式			V2004 00 単第0 -0066 表
継施工費 H形鋼H300	25	箇所			T1010007 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼杭打設引抜(クレーン・陸上) 引抜 H形鋼　H300 引抜き長8m	23	本			V2000　00 単第0 -0068　表
ガス切断 H鋼杭	69	箇所			S0180　00 単第0 -0070　表
切梁・腹起し		t			Y1I06050107レベル4
切梁・腹起し設置工	757.0	t			V0005　00 単第0 -0071　表
切梁・腹起し設置工 盛替梁	313.0	t			V0005　00 単第0 -0072　表
切梁・腹起し撤去工	757.0	t			V0006　00 単第0 -0073　表
切梁・腹起し撤去工 盛替梁	313.0	t			V0006　00 単第0 -0074　表
鋼製山留材賃料	1	式			V2015　00 単第0 -0075　表
仮桟橋		m2			Y1I06050707レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
覆工板・覆工板受桁設置 (覆工板設置面積700m2以下) 設置	68	m2			SHD10029　00 単第0 -0093　表
覆工板・覆工板受桁撤去 (覆工板設置面積700m2以下) 撤去	68	m2			SHD10029　00 単第0 -0094　表
覆工板賃料 仮桟橋	1	式			V2006　00 単第0 -0095　表
高欄設置工 単管パイプ型	17	m			S1024　00 単第0 -0098　表
高欄撤去工 単管パイプ型	17	m			S1024　00 単第0 -0099　表
バイブロハンマ施工による打込み(H形鋼) 陸上施工 H形鋼 H350 打込長8.5m	8	本			S0491　00 単第0 -0100　表
バイブロハンマ施工による鋼矢板等の引抜き 陸上施工 引抜長8.5m	8	枚(本)			S0492　00 単第0 -0102　表
H形鋼賃料 仮桟橋	1	式			V2005　00 単第0 -0104　表
地中連続壁工(柱列式)	1	式			Y1I060503　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
連続壁(柱列式)		m2			Y1I06050302レベル4
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	80	m3			SPK25040001 00 単第0 -0106 表
ガイド定規設置・撤去	66	m			V1001 00 単第0 -0107 表
定規材敷鉄板等賃料 先行削孔及び柱列式連続壁	1	式			V1009 00 単第0 -0109 表
先行掘削工 削孔径φ1100	49	本			V1002 00 単第0 -0110 表
柱列式連続壁工 削孔混練長43.5m	49	set			V6000 00 単第0 -0115 表
錐軸組替工	1	回			V6007 00 単第0 -0119 表
硬化剤材料費	1	式			V1004 00 単第0 -0120 表
消耗部品費	1	式			V6006 00 単第0 -0123 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
挿入芯材・加工費	1	式			V6008 00 単第0 -0124 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	70	m3			SPK25040002 00 単第0 -0054 表
汚染土運搬 20tトレーラートラック L=123km	6	m3			F0000001700 00
泥水運搬費 汚泥吸排車運転 30km以下	2,700	m3			V1010 00 単第0 -0125 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 砂質土	70	m3			F0000000100 00
処分施設受入費 汚染土（シルト性状以外）	6	m3			F0000000300 00
再資源化施設受入費 建設汚泥	2,700	m3			F0000000201 00
プラント設置撤去		式			Y1I06050303レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プラント設置撤去	1	基			V1006　00 単第0 -0127　表
補助地盤改良工	1	式			Y1I060504　レベル3
薬液注入		本			Y1I06050401レベル4
薬液注入工(二重管ダブルパッカー・削孔) 2セット 削孔長 44.5m	628	本			S0742　00 単第0 -0128　表
薬液注入工(二重管ダブルパッカー・注入) 一次注入	628	本			S0744　00 単第0 -0130　表
薬液注入工(二重管ダブルパッカー・注入) 二次注入	628	本			S0744　00 単第0 -0131　表
二重管ダブルパッカー工法　材料費等 削孔材料、注入材料	1	式			V8004　00 単第0 -0132　表
注入設備据付・解体 二重管ダブルパッカ工法	5	現場			S0746　00 単第0 -0137　表
注入設備据付・解体 二重管ダブルパッカ工法	5	現場			S0746　00 単第0 -0139　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
高圧噴射攪拌		本			Y1I06050403レベル4
高圧噴射撹拌工（削孔） 三重管工法	3	本			V8000　　00 単第0 -0140　表
高圧噴射撹拌工(注入) 三重管工法	3	本			V8001　　00 単第0 -0141　表
三重管工法　材料費等 注入材料、損耗材料	1	式			V8002　　00 単第0 -0143　表
注入設備　据付・解体工 高圧噴射撹拌工用 三重管工法	1	現場			S0738　　00 単第0 -0145　表
泥水運搬費 汚泥吸排車運転 30km以下	640	m3			V1010　　00 単第0 -0125　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 建設汚泥	640	m3			F0000000201 00
水替工	1	式			Y1I060505　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ排水		日			Y1I06050501レベル4
ポンプ排水工	1	式			V9001　00 単第0 -0146　表
構造物撤去工	1	式			Y1I0614　レベル2
既設ポンプ棟構造物	1	式			Y1I061402　レベル3
既設連続地中壁取壊し		m3			Y1I06140201レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	798	m3			SDT00031　00 単第0 -0031　表
坑外コンクリート塊搬出工	798	m3			V2002　00 単第0 -0151　表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り　運搬距離23.2km以下(18.5km超)	798	m3			SPK25040155 00 単第0 -0033　表
鋼材切断工	826	m			SG1E0098002 00 単第0 -0152　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻（無筋）	798	m3			F0000000600 00
現場発生品運搬		回			Y1I06140210レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)	333.3	t			SPK25040411 00 単第0 -0153　表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ 鉄くずヘビーHS	333.3	t			F0000000101 00
場内構造物	1	式			Y1I061403　レベル3
コンクリート構造物取壊し		m3			Y1I06140201レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	5	m3			SDT00031　　00 単第0 -0031　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	5	m3			SPK25040155 00 単第0 -0033 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻（無筋）	5	m3			F0000000600 00
舗装版取壊し		m2			Y1I06140202レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	35	m			SPK25040307 00 単第0 -0154 表
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	322	m2			SPK25040306 00 単第0 -0155 表
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)	16	m3			SPK25040155 00 単第0 -0156 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 アスファルト殻	16	m3			F0000000500 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品運搬		回			Y1I06140210レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)	0.2	t			SPK25040411 00 単第0 -0157 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ 鉄くずヘビーHS	0.2	t			F0000000101 00
場内雨水管撤去		m			Y1I06140301レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	4	m3			SPK25040001 00 単第0 -0052 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	6	m3			SPK25040020 00 単第0 -0158 表
硬質塩化ビニル管撤去	1	式			V1008 00 単第0 -0159 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)	0.12	t			SPK25040411 00 単第0 -0167 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処理費 廃プラスチック	0.12	t			F0000000202 00
復旧工		m2			Y1J01010105レベル4
路盤工 施工幅　1.8m以上 一層仕上り厚10cm	193	m2			SQZ10　　00 単第0 -0168　表
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	193	m2			SPK25040244 00 単第0 -0171　表
プレキャストL形側溝 据付 基礎砕石有り 250A 鉄筋コンクリートL形(350×155×600)	17	m			SPK25040099 00 単第0 -0172　表
給水設備工	1	式			Y1I061314　レベル3
給水管移設		基			Y1I06131401レベル4
管路土工 給水管移設	1	式			V4002　　00 単第0 -0173　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工 給水管移設	1	式			V4003　00 単第0 -0174　表
管材料費 給水管移設	1	式			V4004　00 単第0 -0186　表
仮設工	1	式			Y1J0101　レベル2
電力設備工	1	式			Y1J010111　レベル3
受電設備		箇所			Y1J01011101レベル4
低圧受電設備 25kW以下	1	箇所			V9003　00 単第0 -0187　表
交通管理工	1	式			Y1J010121　レベル3
交通誘導警備員		人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B 1名配置	127	人			R0369　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
役務費					Z0003
役務費	1	式			YZZ03　　レベル2
役務費	1	式			YZZ03001　　レベル3
電力基本料金 電力，用水等の基本料		式			YZZ03001002 レベル4
臨時低圧電力　基本料金	1	式			F0000001803 00
電力設備工事負担金 電力設備用工事負担金		式			YZZ03001003 レベル4
臨時工事費負担金 低圧	1	式			F0000001804 00
運搬費					Z0004

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ04　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　レベル3
重建設機械分解組立輸送費		回			YZZ04001003 レベル4
重建設機械分解組立輸送 バックホウ系 山積1.0m3以上山積1.4m3以下	2	回			S1000017　00 単第0 -0188　表
重建設機械分解組立輸送 クローラ式杭打機 20t以上60t以下	1	回			S1000017　00 単第0 -0189　表
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 80t吊超え150t吊以下	1	回			S1000017　00 単第0 -0190　表
重建設機械分解組立輸送 連続地中壁用機械 クローラ式アースオーガ	1	回			V6009　00 単第0 -0191　表
仮設材運搬費		t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 67km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 鋼矢板、鋼製山留材等 単第0 -0192　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 敷鉄板、ガイド定規等 単第0 -0195　表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 仮桟橋材料 単第0 -0198　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
土質試験費		式			YZZ06001001 レベル4
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法2	9	試料			TH003914　00
鉄筋探査費		式			YZZ06001003 レベル4
鉄筋探査工	3	m2			F0000003600 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

中央ポンプ場築造工事（土木工事）　　図　面　目　録　(1/5)

図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考	図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考
	【共通】			1D-21	付帯詳細図(5)	－	
D-01	一般平面図	1/250			【既設棟　構造図】		
D-02	水位関係図	1/100、1/200		2D-01	地下3階改造位置図(改修前)（土木工事）	1/100	
	【増設棟　構造図】			2D-02	地下2階改造位置図(改修前)（土木工事）	1/100	
1D-01	地下3階平面図	1/100		2D-03	地下1階改造位置図(改修前)（土木工事）	1/100	
1D-02	地下2階平面図	1/100		2D-04	1階改造位置図(改修前)(土木工事)	1/100	
1D-03	地下1階平面図	1/100		2D-05	断面図(1)(改修前)	1/100	
1D-04	1階平面図	1/100		2D-06	断面図(2)(改修前)	1/100	
1D-05	断面図(1)	1/100		2D-07	断面図(3)(改修前)	1/100	
1D-06	断面図(2)	1/100		2D-08	地下3階改造位置図(改修後)（土木工事）	1/100	
1D-07	断面図(3)	1/100		2D-09	地下2階改造位置図(改修後)（土木工事）	1/100	
1D-08	断面図(4)	1/100		2D-10	地下1階改造位置図(改修後)（土木工事）	1/100	
1D-09	断面図(5)	1/100		2D-11	1階改造位置図(改修後)(土木工事)	1/100	
1D-10	断面図(6)	1/100		2D-12	断面図(1)(改修後)	1/100	
1D-11	断面図(7)	1/100		2D-13	断面図(2)(改修後)	1/100	
1D-12	断面図(8)	1/100		2D-14	断面図(3)(改修後)	1/100	
1D-13	付帯配置図(1)	1/100		2D-15	B3K-1改造図(1)	1/50	
1D-14	付帯配置図(2)	1/100		2D-16	B3K-1改造図(2)	1/50	
1D-15	付帯配置図(3)	1/100		2D-17	B3K-2改造図(1)	1/50	
1D-16	付帯配置図(4)	1/100		2D-18	B3K-2改造図(2)	1/50	
1D-17	付帯詳細図(1)	－		2D-19	B3K-2改造図(3)	1/50	
1D-18	付帯詳細図(2)	－		2D-20	B3K-2改造図(4)	1/50	
1D-19	付帯詳細図(3)	－		2D-21	B3K-3改造図(1)	1/50	
1D-20	付帯詳細図(4)	－		2D-22	B3K-3改造図(2)	1/50	

中央ポンプ場築造工事（土木工事）　　図　面　目　録　(2/5)

図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考	図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考
2D-23	B3K-3改造図(3)	1/50		3D-04	箱抜・埋込管図(1階)	1/100	
2D-24	B3K-3改造図(4)	1/50			【構造細目共通図】		
2D-25	B3K-3改造図(5)	1/50		S-01	構造細目共通図(1)	－	
2D-26	B3K-3改造図(6)	1/50		S-02	構造細目共通図(2)	－	
2D-27	B3K-3改造図(7)	1/50		S-03	構造細目共通図(3)	－	
2D-28	B3K-3改造図(8)	1/50		S-04	構造細目共通図(4)	－	
2D-29	B2K-1改造図(1)	1/50		S-05	構造細目共通図(5)	－	
2D-30	B2K-1改造図(2)	1/50		S-06	構造細目共通図(6)	－	
2D-31	B2K-1改造図(3)	1/50		S-07	構造細目共通図(7)	－	
2D-32	B2K-1改造図(4)	1/50		S-08	構造細目共通図(8)	－	
~~2D-33~~	~~B2K-2改造図(1)~~	~~1/50~~	将来工事	S-09	構造細目共通図(9)	－	
~~2D-34~~	~~B2K-2改造図(2)~~	~~1/50~~	将来工事	S-10	構造細目共通図(10)	－	
~~2D-35~~	~~B2K-2改造図(3)~~	~~1/50~~	将来工事	S-11	構造細目共通図(11)	－	
~~2D-36~~	~~B2K-2改造図(4)~~	~~1/50~~	将来工事	S-12	構造細目共通図(12)	－	
2D-37	B1K-1改造図(1)	1/50			【増設棟　配筋図】		
2D-38	B1K-1改造図(2)	1/50		1S-01	地下3階伏図	1/100	
2D-39	B1K-1改造図(3)	1/50		1S-02	地下2階伏図	1/100	
~~2D-40~~	~~B1K-1改造図(4)~~	~~1/50~~	将来工事	1S-03	地下1階伏図	1/100	
~~2D-41~~	~~B1K-1改造図(5)~~	~~1/50~~	将来工事	1S-04	1階伏図	1/100	
~~2D-42~~	~~B1K-1改造図(6)~~	~~1/50~~	将来工事	1S-05	軸組図(1)	1/100	
	【箱抜・埋込管】			1S-06	軸組図(2)	1/100	
3D-01	埋込管・箱抜きリスト	－		1S-07	軸組図(3)	1/100	
3D-02	箱抜・埋込管図(地下2階)	1/100		1S-08	軸組図(4)	1/100	
3D-03	箱抜・埋込管図(地下1階)	1/100		1S-09	軸組図(5)	1/100	

中央ポンプ場築造工事（土木工事）　　図　面　目　録　(3/5)

図面番号			備　　考	図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考
1S-10	軸組図(6)	1/100		1S-34	壁配筋図(12)	1/50	
1S-11	地下3階柱リスト	1/30		1S-35	壁配筋図(13)	1/50	
1S-12	地下2階柱リスト	1/30		1S-36	壁配筋図(14)	1/50	
1S-13	地下1階柱リスト	1/30		1S-37	壁配筋図(15)	1/50	
1S-14	大梁リスト(1)	1/30		1S-38	壁配筋図(16)	1/50	
1S-15	大梁リスト(2)	1/30		1S-39	壁配筋図(17)	1/50	
1S-16	大梁リスト(3)	1/30		1S-40	壁配筋図(18)	1/50	
1S-17	大梁リスト(4)	1/30		1S-41	壁配筋図(19)	1/50	
1S-18	小梁リスト	1/30		1S-42	壁配筋図(20)	1/50	
1S-19	底版配筋図(1)	1/50		1S-43	壁配筋図(21)	1/50	
1S-20	底版配筋図(2)	1/50		1S-44	壁配筋図(22)	1/50	
1S-21	底版配筋図(3)	1/50		1S-45	壁配筋図(23)	1/50	
1S-22	底版配筋図(4)	1/50		1S-46	壁配筋図(24)	1/50	
1S-23	壁配筋図(1)	1/50		1S-47	壁配筋図(25)	1/50	
1S-24	壁配筋図(2)	1/50		1S-48	壁配筋図(26)	1/50	
1S-25	壁配筋図(3)	1/50		1S-49	壁配筋図(27)	1/50	
1S-26	壁配筋図(4)	1/50		1S-50	壁配筋図(28)	1/50	
1S-27	壁配筋図(5)	1/50		1S-51	床版配筋図(1)	1/50	
1S-28	壁配筋図(6)	1/50		1S-52	床版配筋図(2)	1/50	
1S-29	壁配筋図(7)	1/50		1S-53	床版配筋図(3)	1/50	
1S-30	壁配筋図(8)	1/50		1S-54	床版配筋図(4)	1/50	
1S-31	壁配筋図(9)	1/50		1S-55	床版配筋図(5)	1/50	
1S-32	壁配筋図(10)	1/50		1S-56	床版配筋図(6)	1/50	
1S-33	壁配筋図(11)	1/50		1S-57	床版配筋図(7)	1/50	

中央ポンプ場築造工事（土木工事）　　図　面　目　録　(4/5)

図面番号			備　　考	図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考
1S-58	床版配筋図(8)	1/50		2S-19	改造配筋図(7)	1/50	
1S-59	床版配筋図(9)	1/50		~~2S-20~~	~~改造配筋図(8)~~	~~1/50~~	将来工事
1S-60	床版配筋図(10)	1/50		2S-21	改造配筋図(9)	1/50	
1S-61	床版配筋図(11)	1/50		2S-22	補強図	1/50	
1S-62	階段配筋図	1/50			【仮設工他】		
	【既設棟　配筋図】			C-01	土留工平面図	1/100	
2S-01	地下3階伏図	1/100		C-02	支保工配置図(1)	1/100	
2S-02	地下2階伏図	1/100		C-03	支保工配置図(2)	1/100	
2S-03	地下1階伏図	1/100		C-04	支保工配置図(3)	1/200	
2S-04	1階伏図	1/100		C-05	支保工配置図(4)	1/200	
2S-05	軸組図(1)	1/100		C-06	仮設断面図(1)	1/100	
2S-06	軸組図(2)	1/100		C-07	仮設断面図(2)	1/100	
2S-07	軸組図(3)	1/100		C-08	仮設断面図(3)	1/100	
2S-08	軸組図(4)	1/100		C-09	仮設断面図(4)	1/100	
2S-09	軸組図(5)	1/100		C-10	盛替梁平面図	1/100	
2S-10	軸組図(6)	1/100		C-11	盛替梁断面図(1)	1/100	
2S-11	軸組図(7)	1/100		C-12	盛替梁断面図(2)	1/100	
2S-12	軸組図(8)	1/100		C-13	盛替梁断面図(3)	1/100	
2S-13	改造配筋図(1)	1/50		C-14	土留工詳細図(参考図)	図示	
2S-14	改造配筋図(2)	1/50		C-15	土留め工施工手順(1)	1/300	
2S-15	改造配筋図(3)	1/50		C-16	土留め工施工手順(2)	1/300	
~~2S-16~~	~~改造配筋図(4)~~	~~1/50~~	将来工事	C-17	土留め工施工手順(3)	1/300	
2S-17	改造配筋図(5)	1/50		C-18	土留め工施工手順(4)	1/300	
2S-18	改造配筋図(6)	1/50		C-19	支保工重量表	-	

中央ポンプ場築造工事（土木工事）　　図　面　目　録　(5/5)

図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考	図面番号	名　　称	縮　　尺	備　　考
C-20	盛替梁重量表	-					
C-21	地盤改良平面図	1/100					
C-22	地盤改良断面図	1/100					
C-23	仮桟橋構造図	1/100					
C-24	仮桟橋詳細図	1/20					
C-25	既設土留め撤去図	1/100					
C-26	撤去平面図	1/100					
C-27	撤去詳細図	図示					

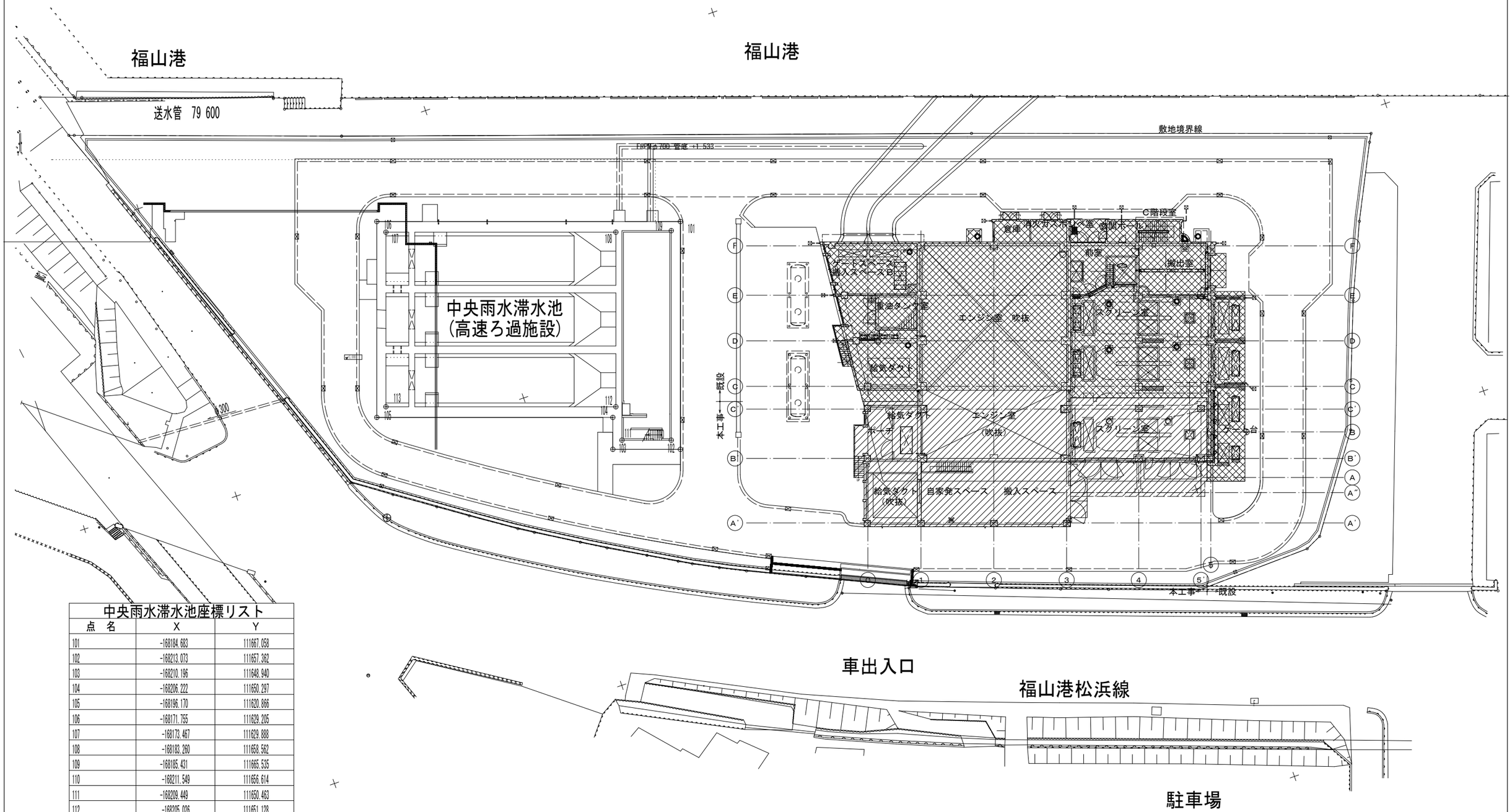
図面番号	D－01	縮 尺	1/250
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	一般平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

一般平面図

凡例

- 既設
- 増設(新設)



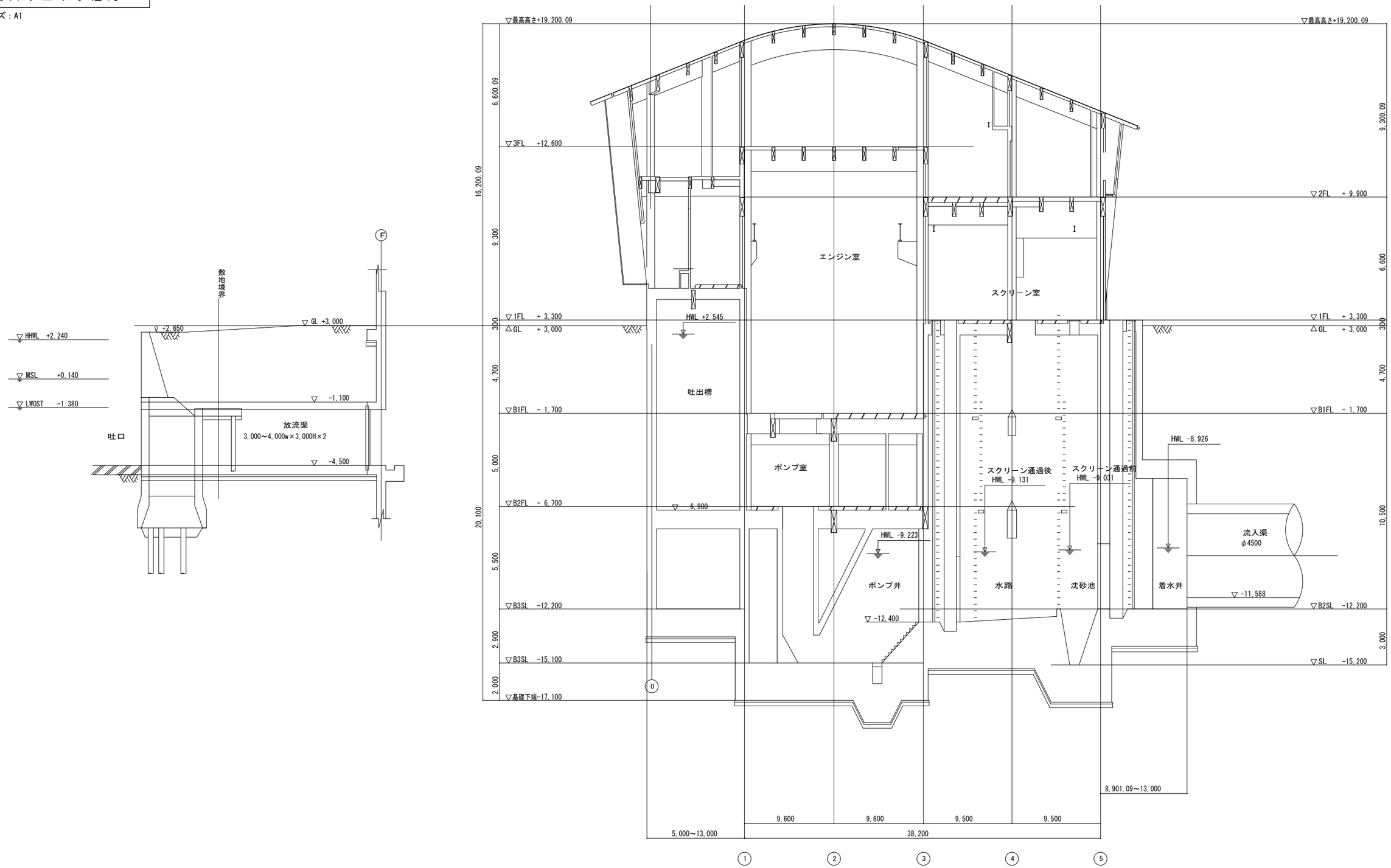
中央雨水滞水池座標リスト

点　名	X	Y
101	-168184.683	111667.058
102	-168213.073	111657.362
103	-168210.196	111648.940
104	-168206.222	111650.297
105	-168196.170	111620.866
106	-168171.755	111629.205
107	-168173.467	111629.888
108	-168183.260	111658.562
109	-168185.431	111665.535
110	-168211.549	111656.614
111	-168209.449	111650.463
112	-168205.026	111651.128
113	-168195.233	111622.454

図面番号	Ｄ－０２	縮 尺	V=1/100 H=1/200
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	水位関係図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

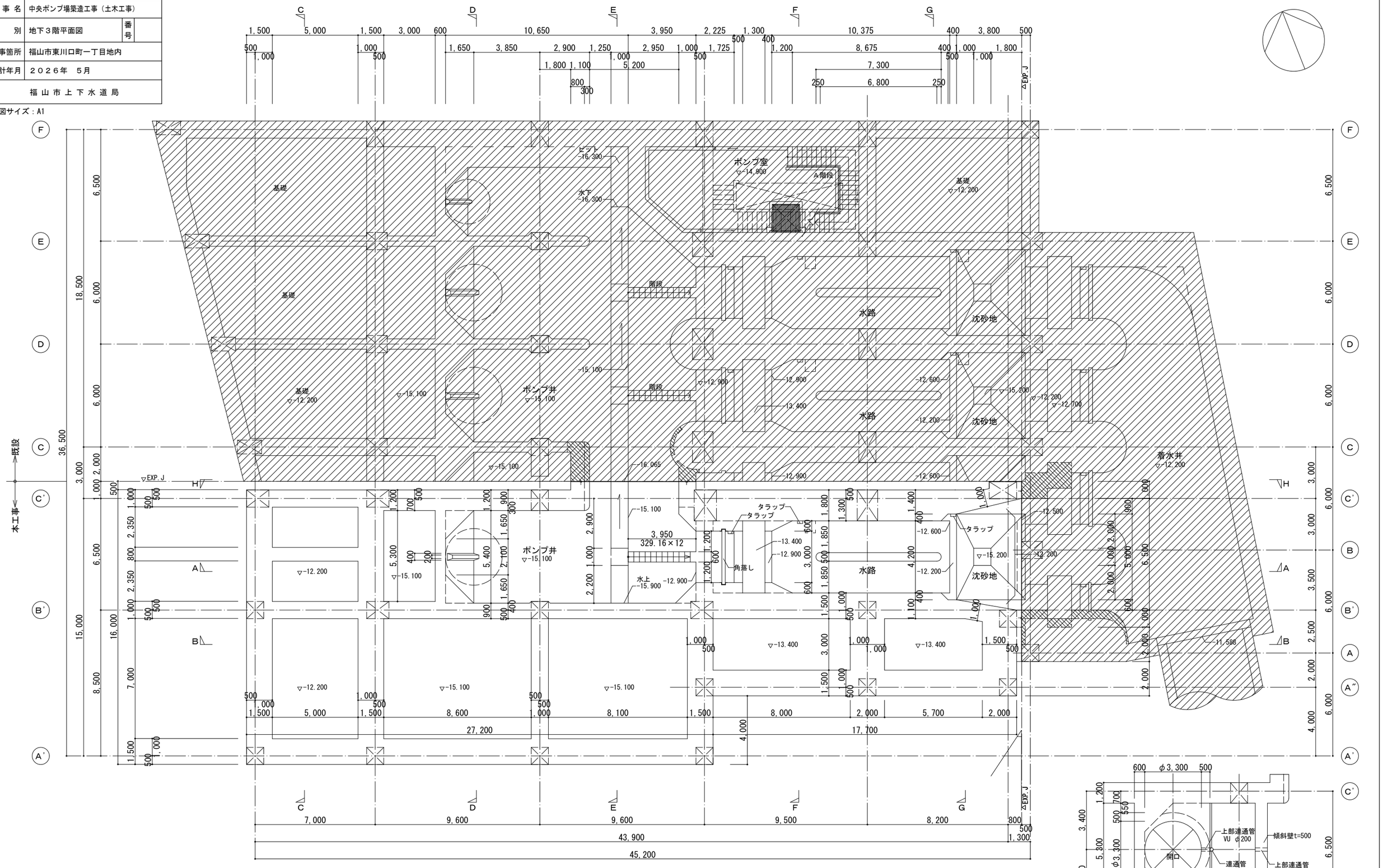
原図サイズ：A1

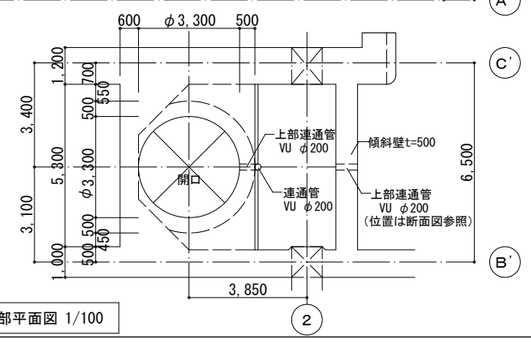
水位関係図　V=1:100　H=1:200



図面番号	1D-01	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下３階平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

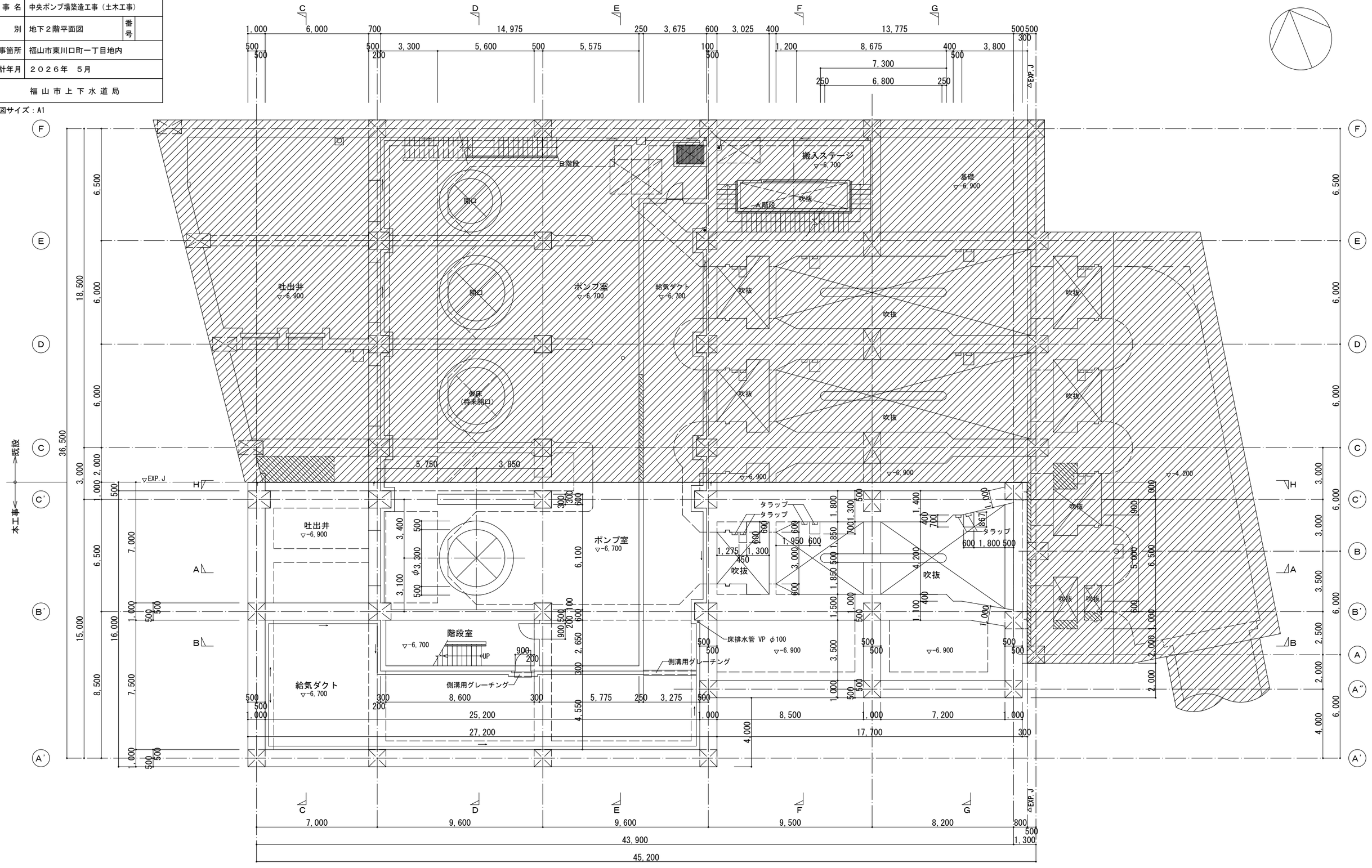
2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

地下３階平面図　1/100

地下３階上部平面図 1/100

図面番号	1D-02	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下２階平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



【凡例】

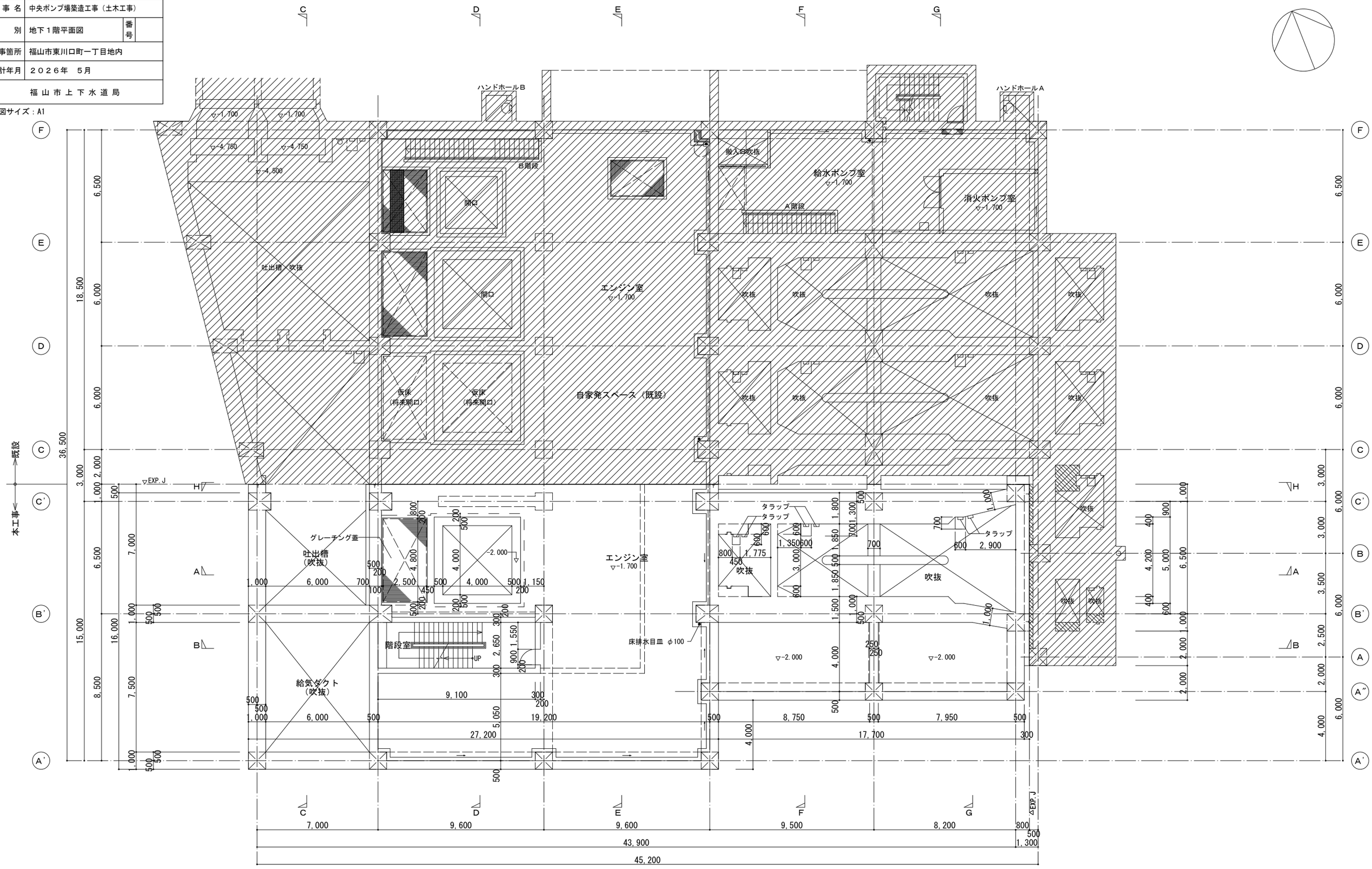
1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

地下２階平面図　　1/100

図面番号	1D-03	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下１階平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

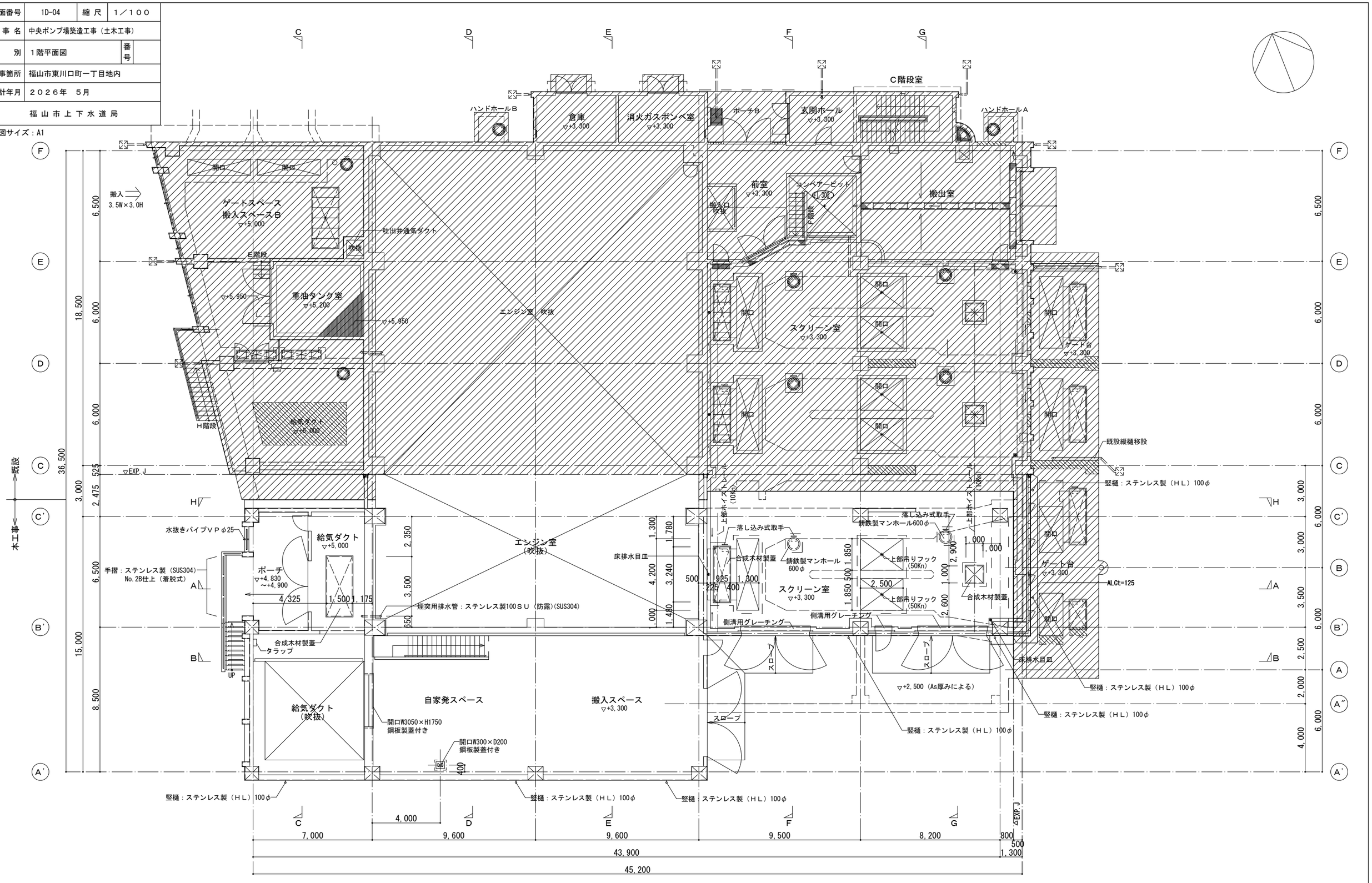
2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

地下１階平面図　　1/100

本工事 ← → 既設

図面番号	1D-04	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	1階平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



【凡例】

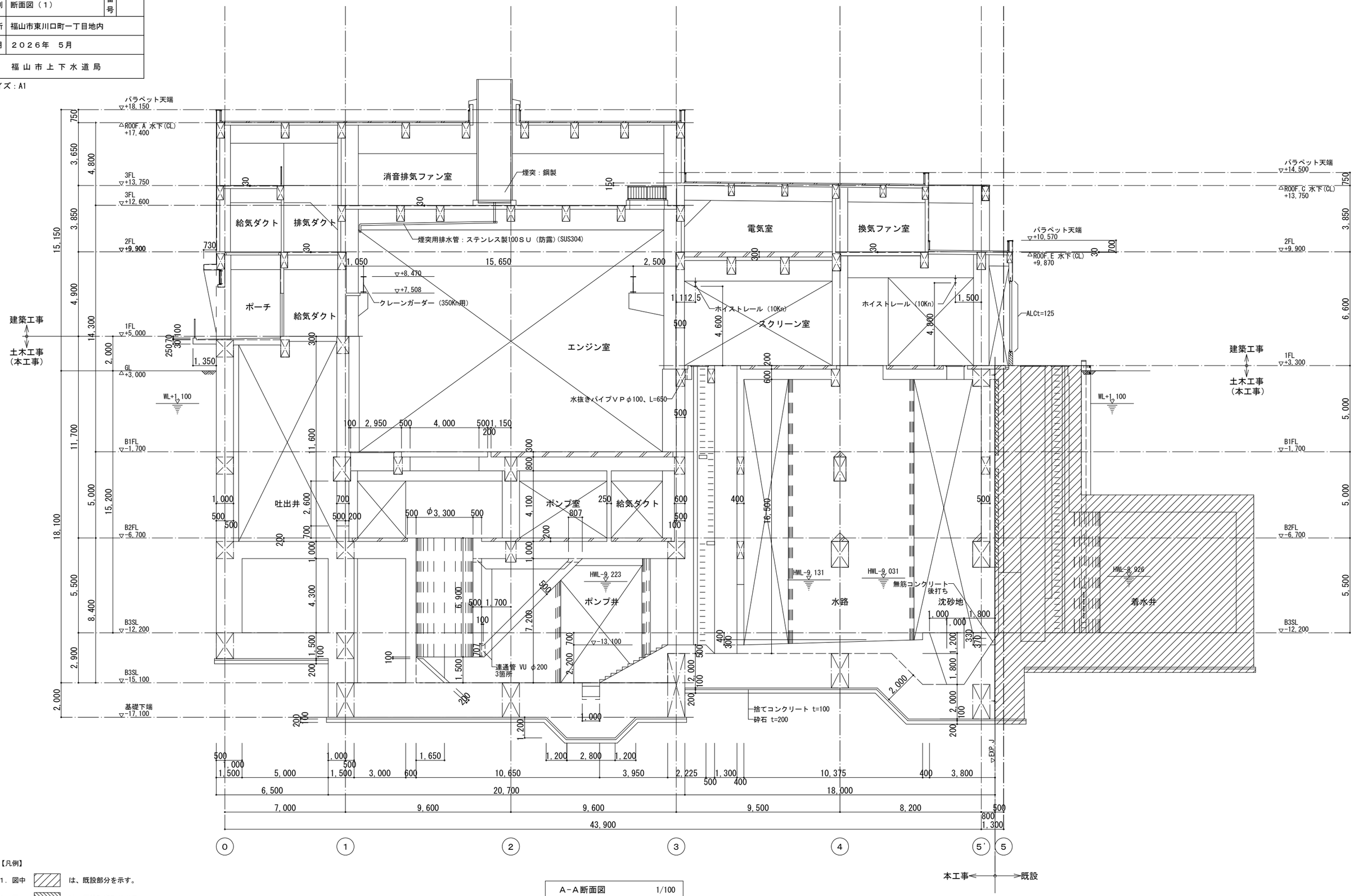
1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

1階平面図　1/100

図面番号	1D-05	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



【凡例】

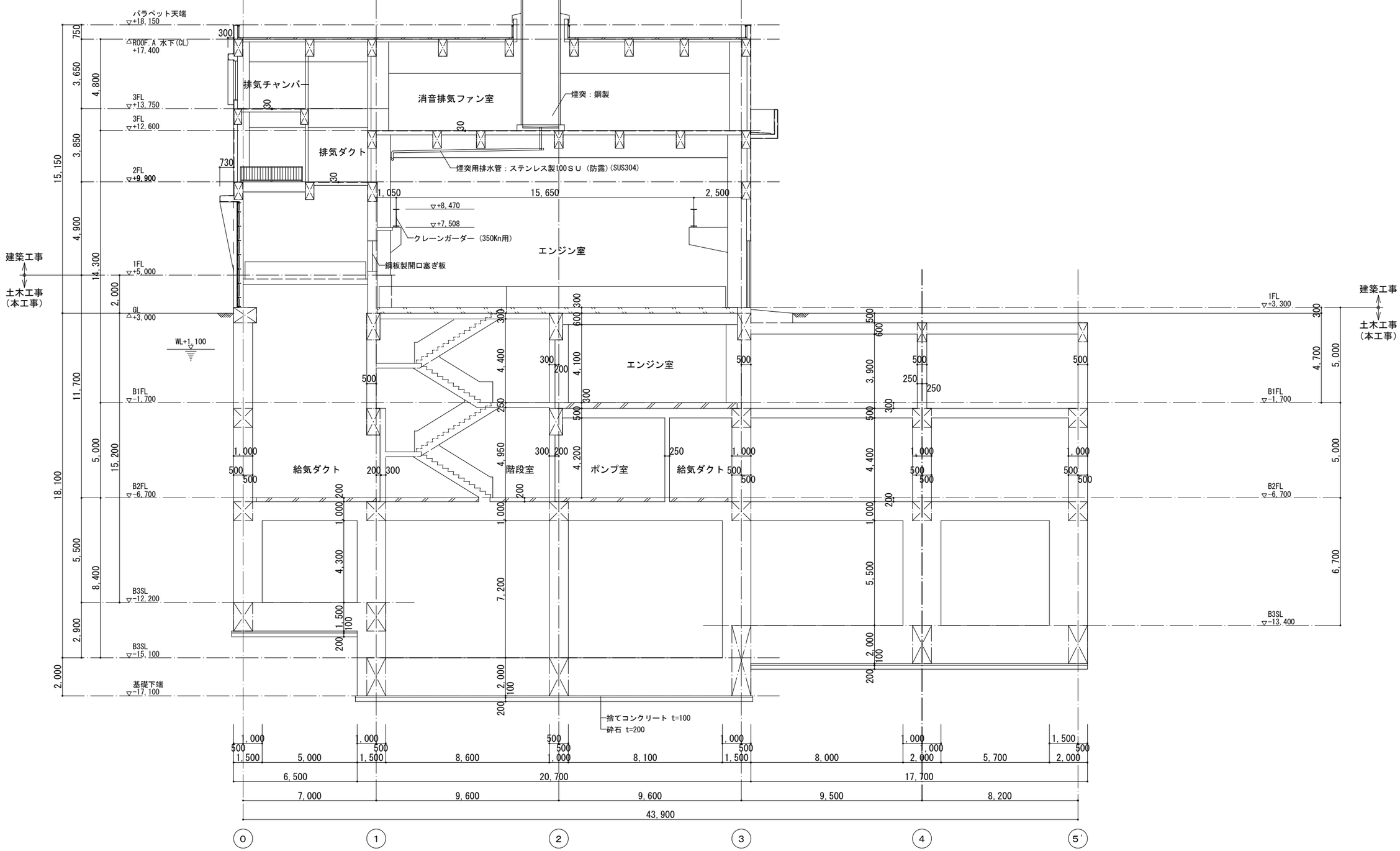
1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

A－A断面図　1/100

図面番号	1D-06	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



【凡例】

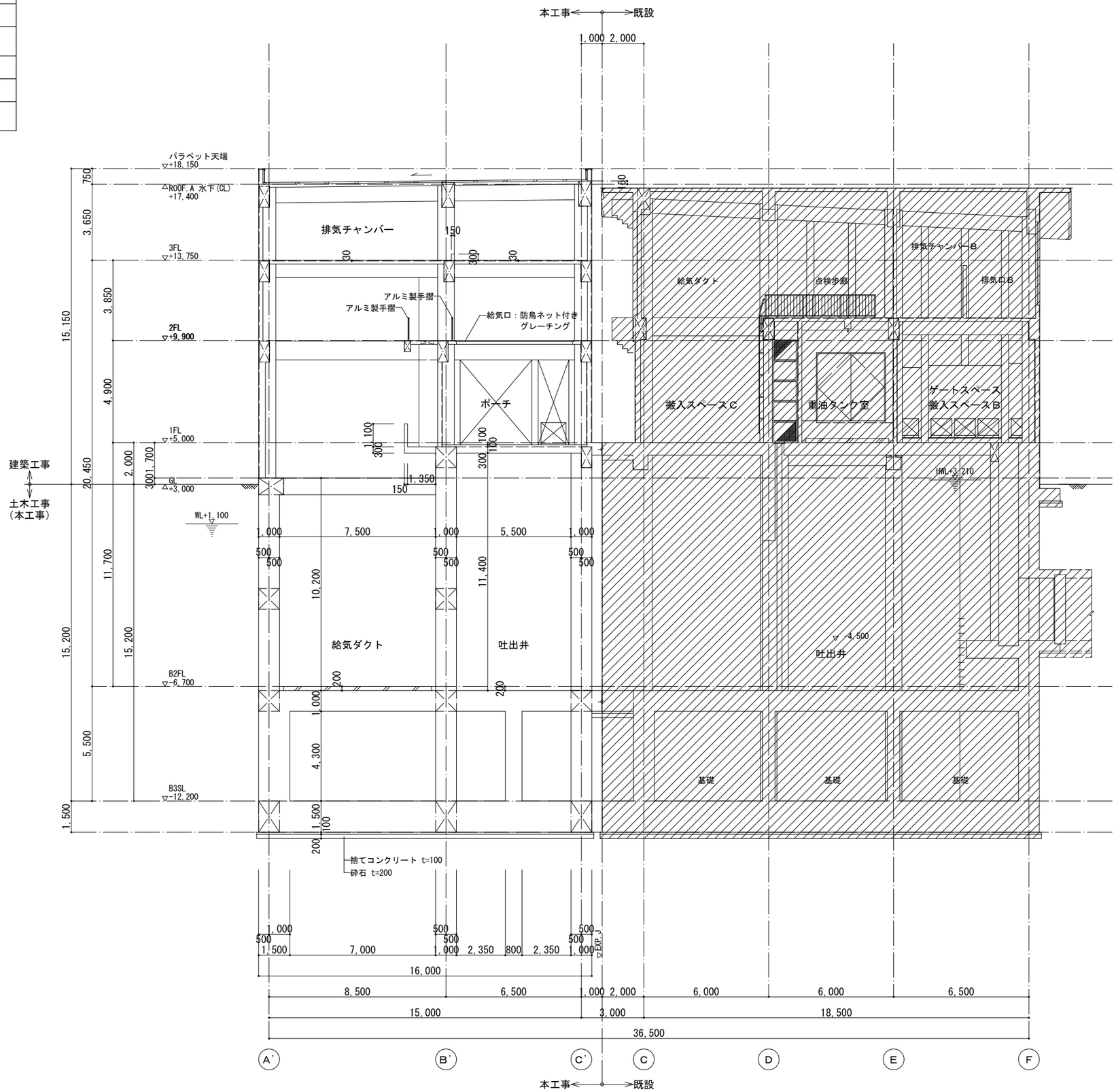
1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

B－B断面図　1/100

図面番号	1D-07	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



C－C断面図　1/100

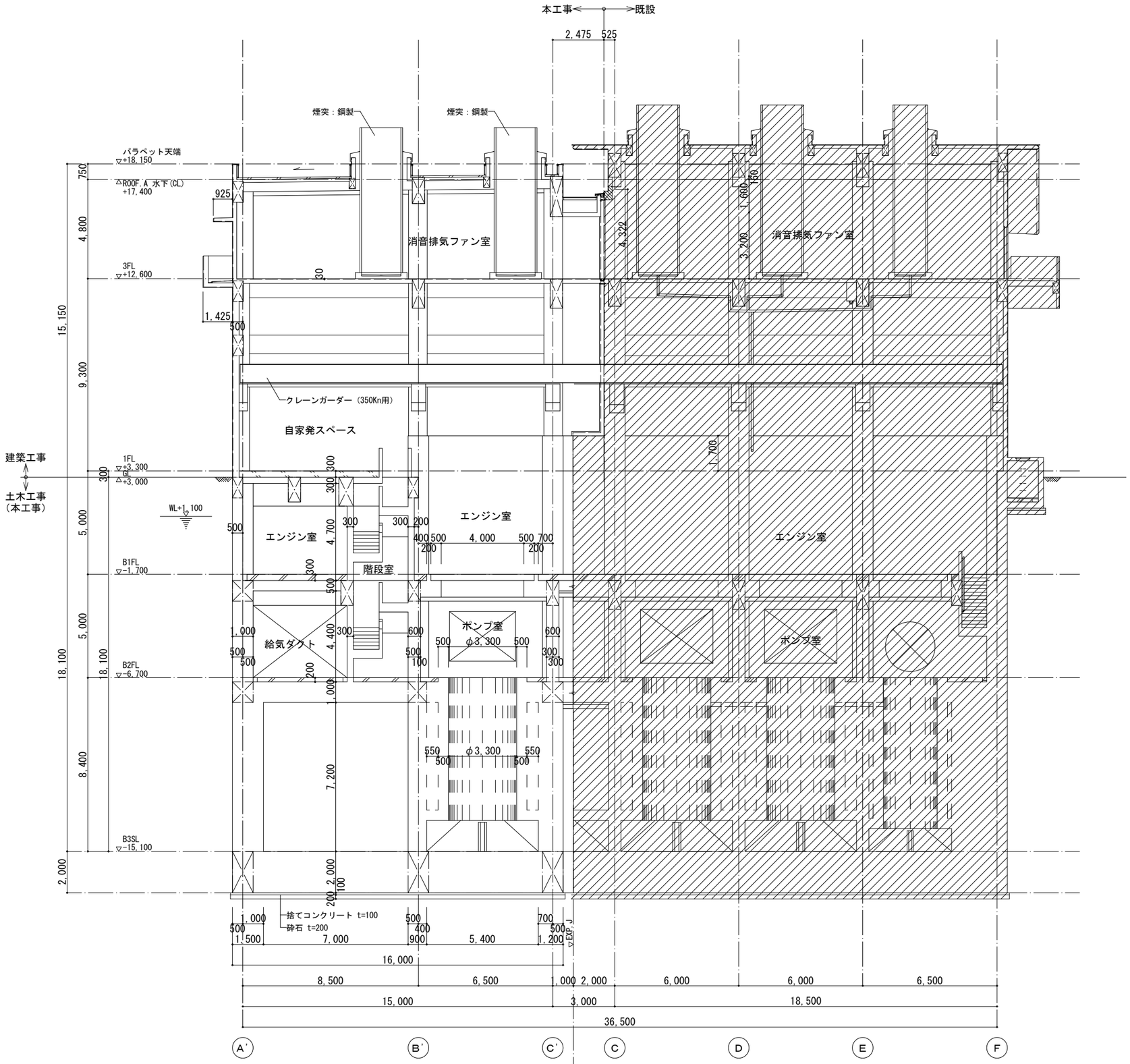
【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

図面番号	1D-08	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



D－D断面図　1/100

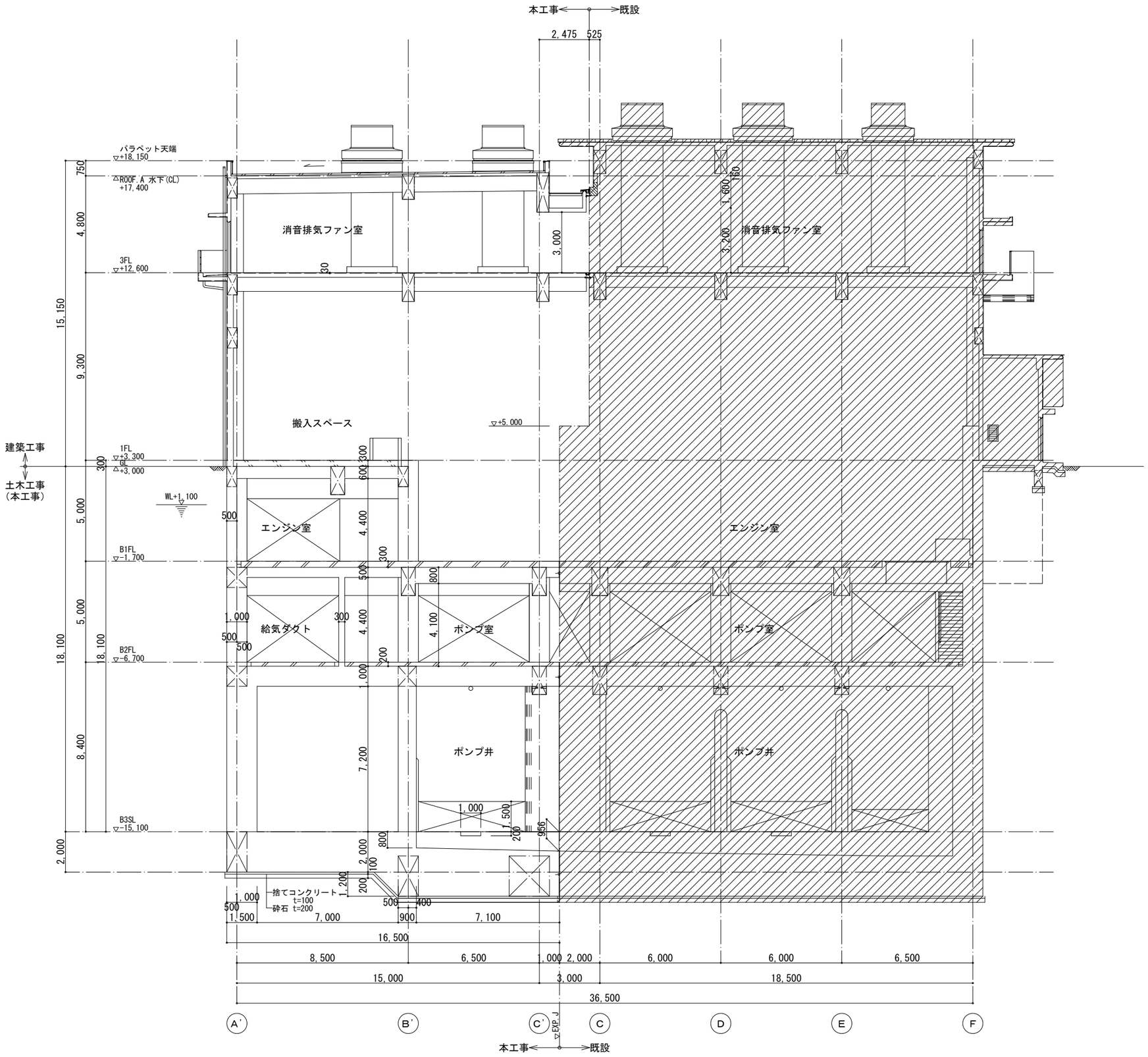
【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

図面番号	1D-09	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



【凡例】

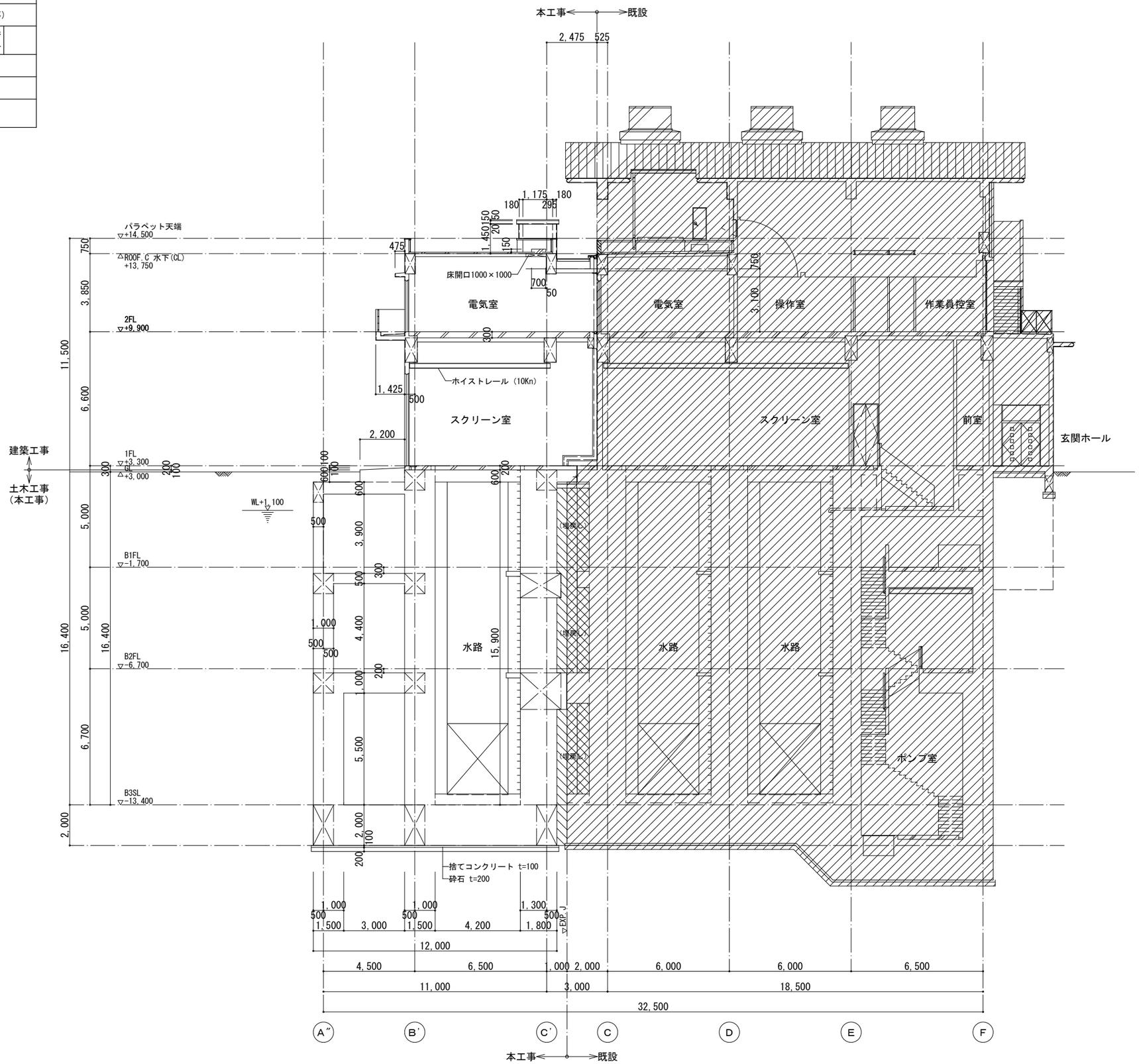
1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

E－E断面図　1/100

図面番号	1D-10	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



F－F断面図　1/100

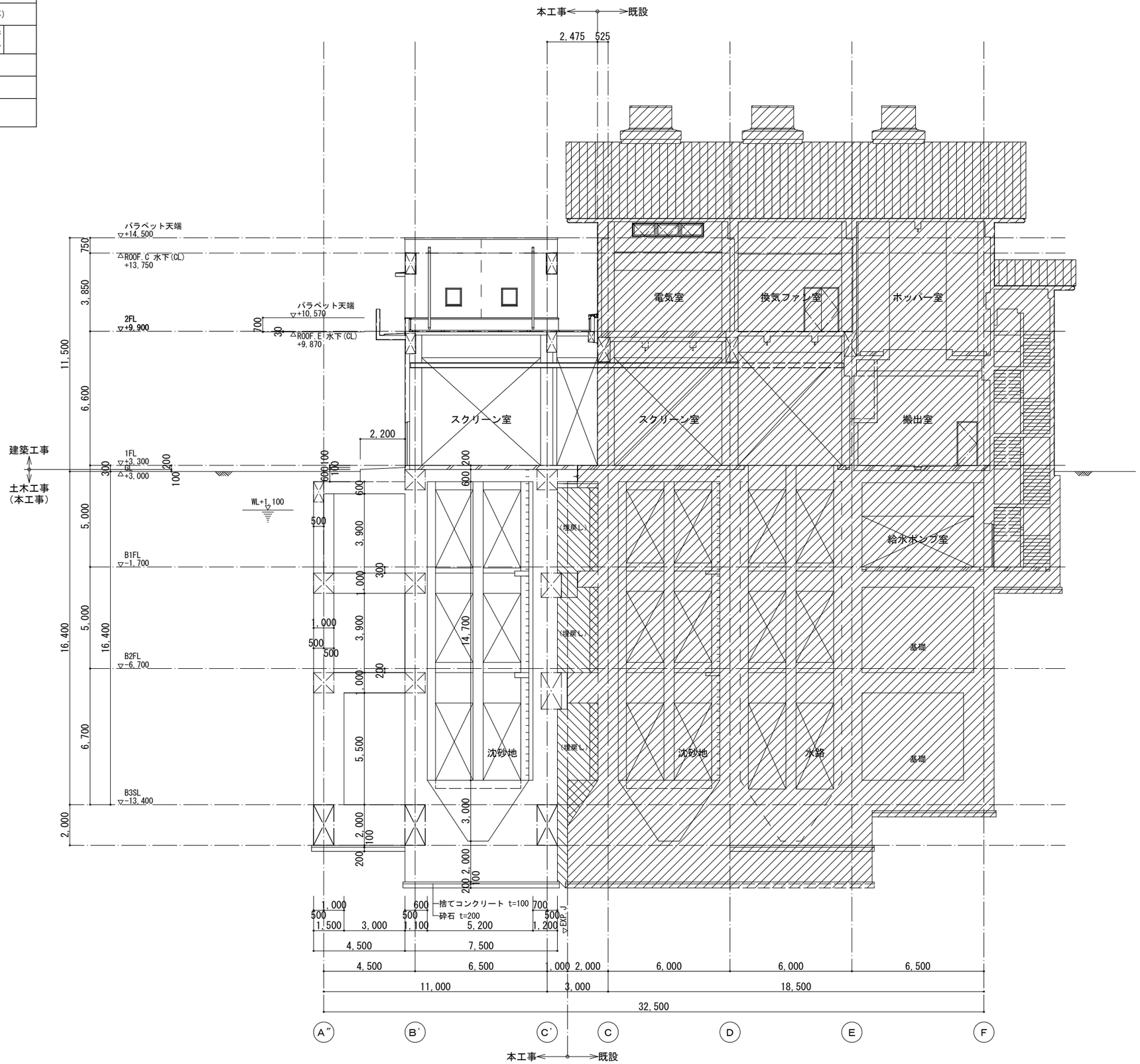
【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。

図面番号	1D-11	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（7）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



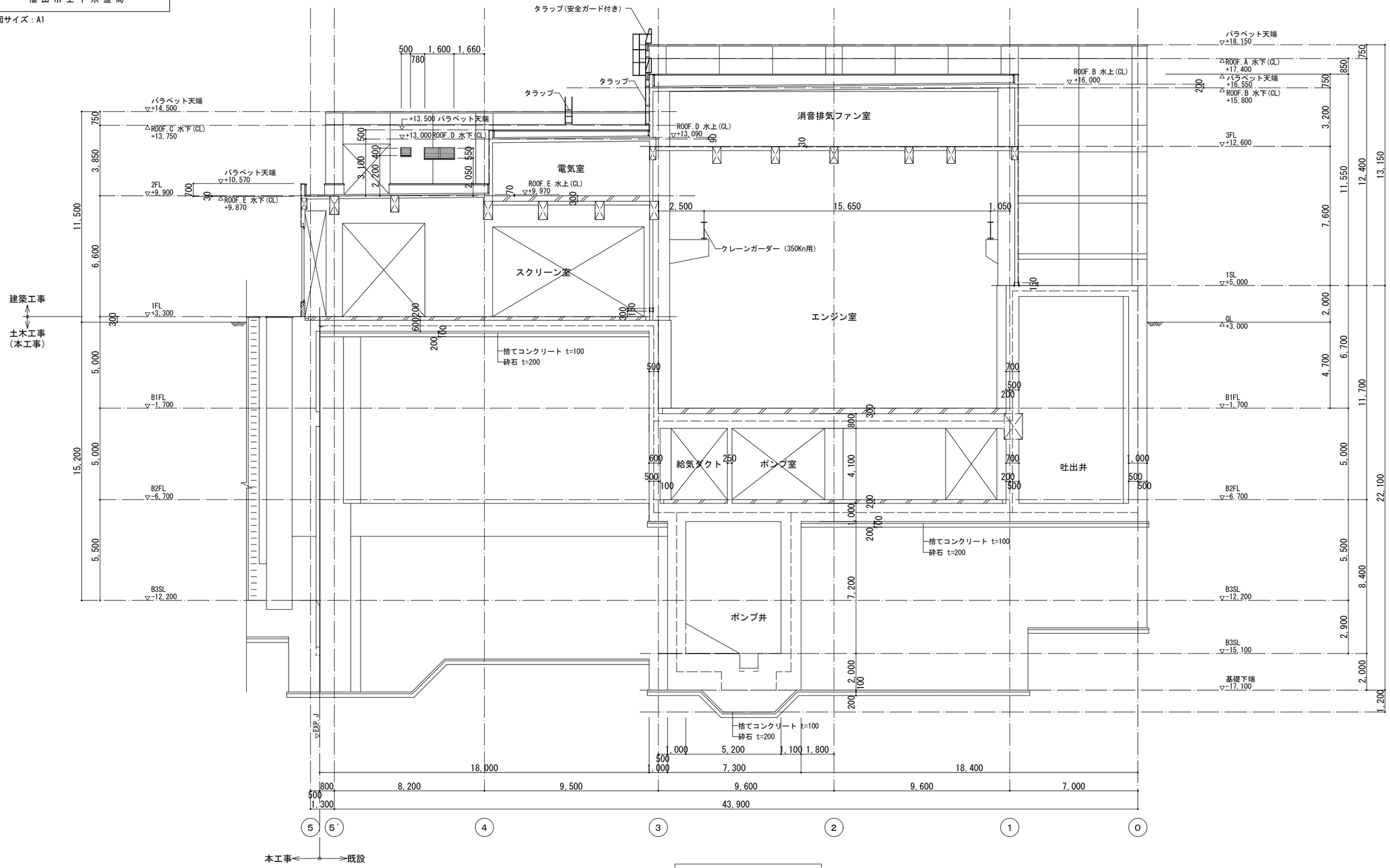
G－G断面図　1/100

【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

図面番号	1D-12	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（8）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



H-H断面図　1/100

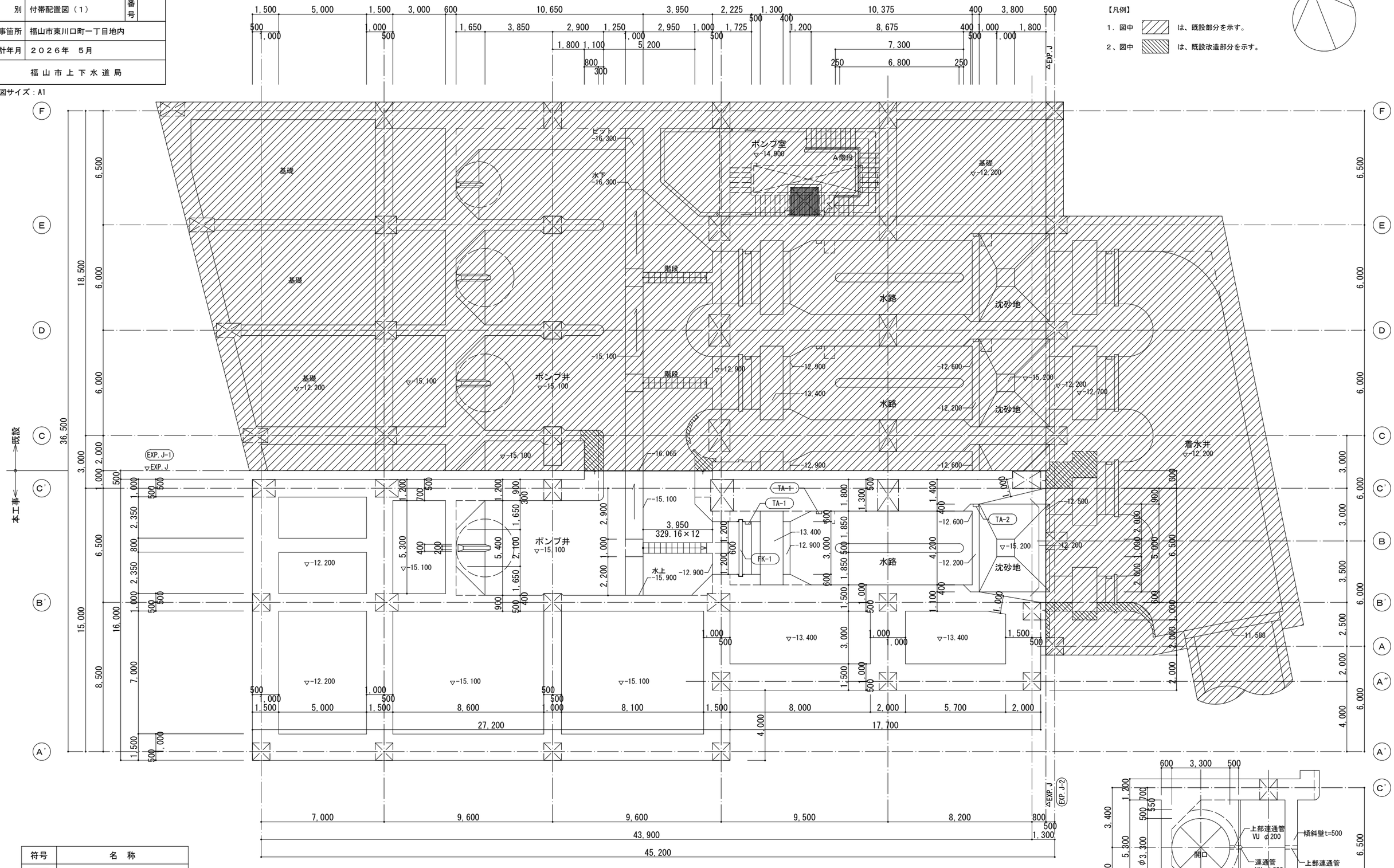
図面番号	1D-13	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯配置図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

【凡例】

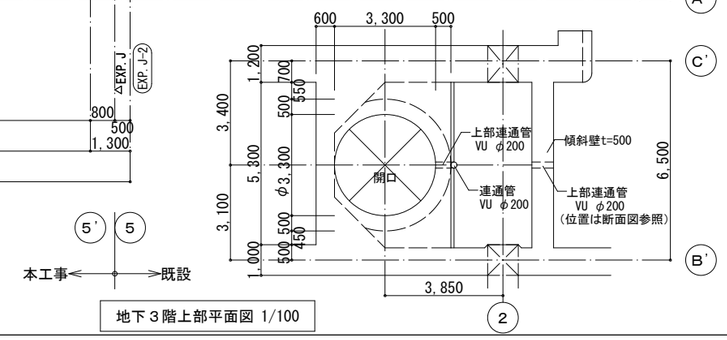
1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。



符号	名　称
FK-	合成木材製角落し　※枠のみ設置
TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製
EXP. J-	伸縮継手

地下３階平面図　　1/100



地下３階上部平面図 1/100

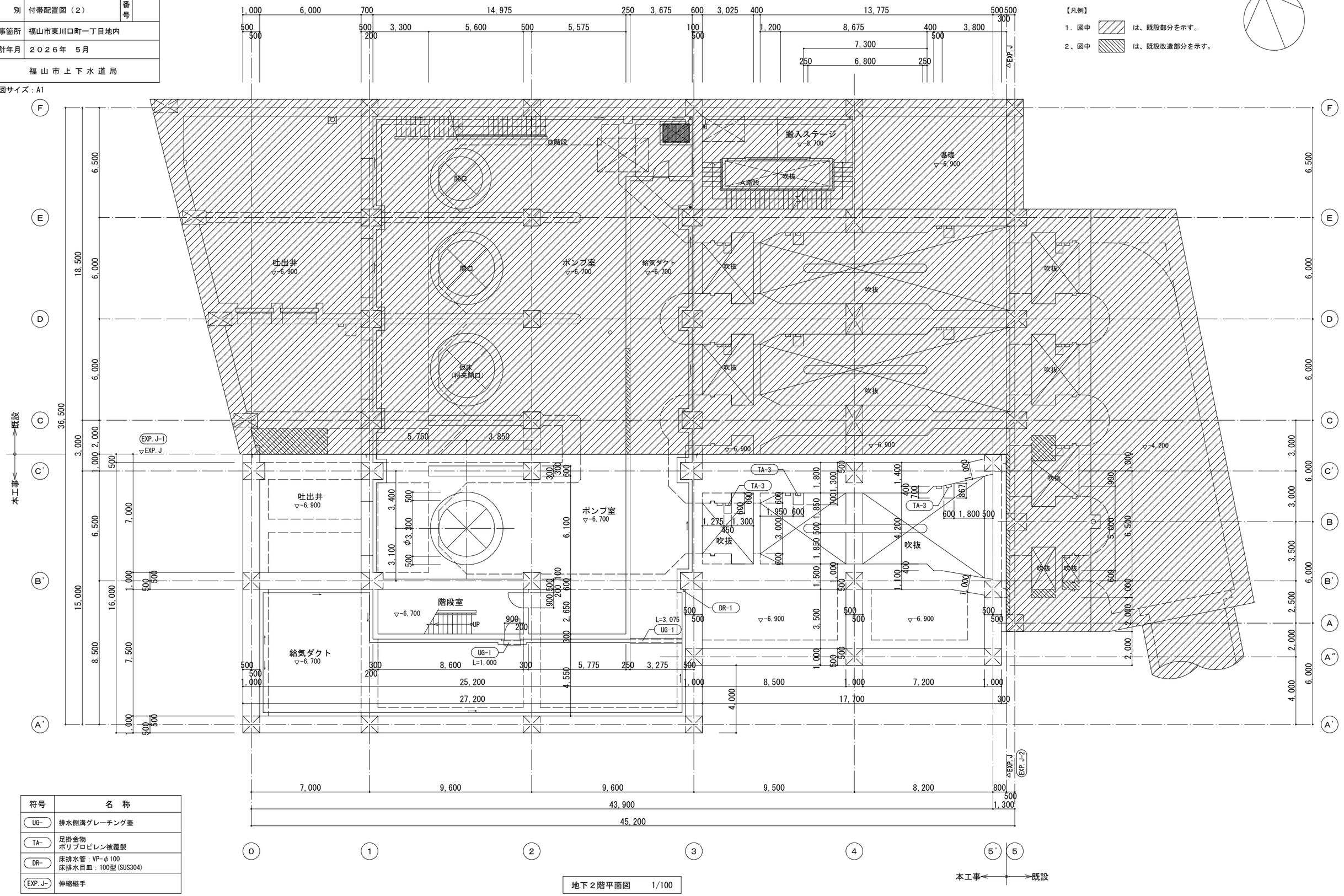
図面番号	1D-14	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯配置図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。



符号	名　称
UG-	排水側溝グレーチング蓋
TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製
DR-	床排水管：VP-φ100 床排水目皿：100型(SUS304)
EXP.J-	伸縮継手

地下２階平面図　　1/100

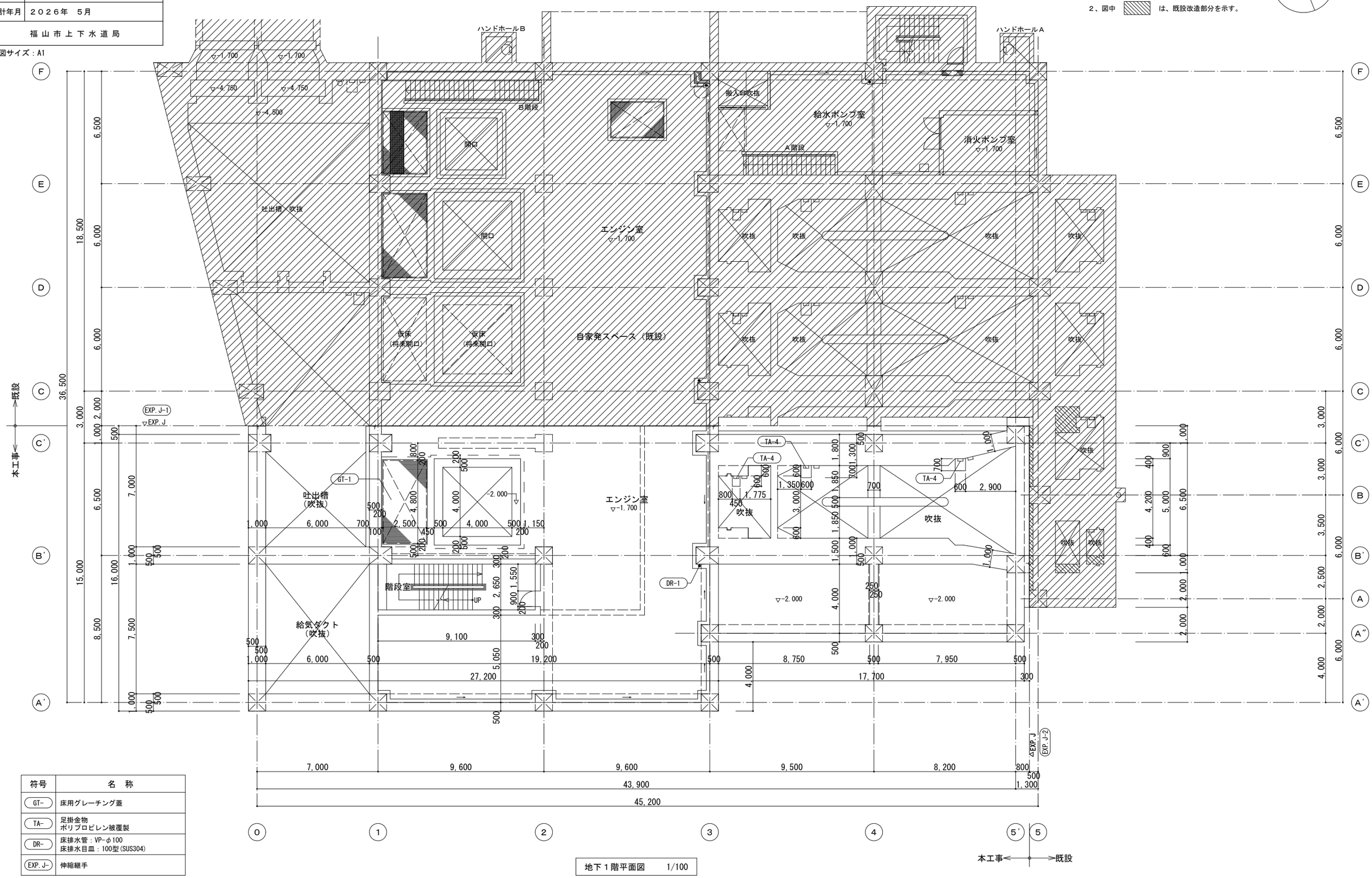
図面番号	1D-15	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯配置図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2、図中 ▨ は、既設改造部分を示す。



符号	名　称
GT-	床用グレーチング蓋
TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製
DR-	床排水管：VP-φ100 床排水目皿：100型(SUS304)
EXP.J-	伸縮継手

地下１階平面図　　1/100

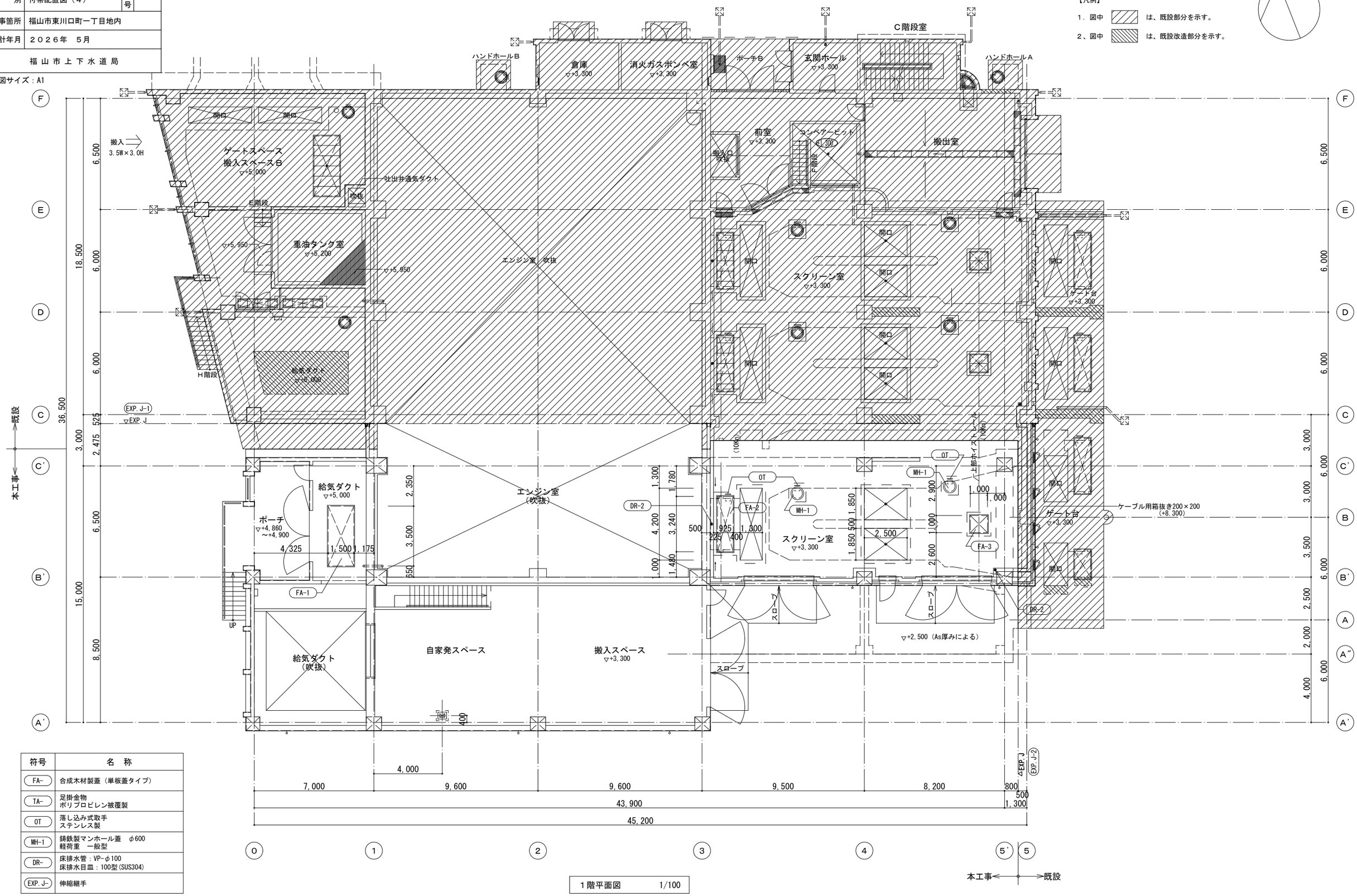
図面番号	1D-16	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯配置図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

【凡例】

1．図中 ▨ は、既設部分を示す。

2．図中 ▨ は、既設改造部分を示す。



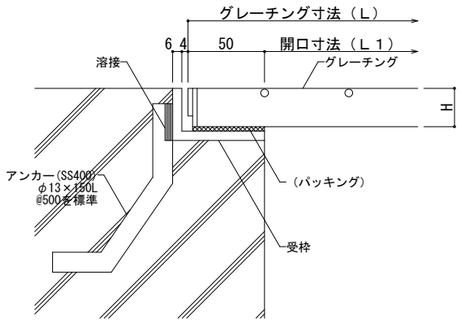
符号	名　称
FA-	合成木材製蓋（単板蓋タイプ）
TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製
OT	落し込み式取手 ステンレス製
MH-1	鋳鉄製マンホール蓋　φ600 軽荷重　一般型
DR-	床排水管：VP-φ100 床排水目皿：100型(SUS304)
EXP. J-	伸縮継手

1階平面図　　1/100

図面番号	1D-17	縮 尺	図示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯詳細図（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

ＧＴ－ グレーチング（床用）鋼製及び受枠標準図



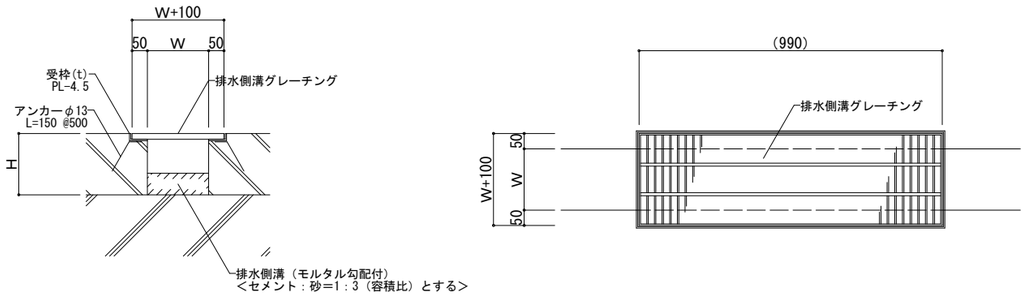
仕様
1）グレーチング、枠は、製造所の仕様による。
2）グレーチング、枠は同材質のものを使用する。
3）鋼製グレーチング及び受枠はJIS H 8641の2種55の溶融亜鉛めっきとする。
4）パッキングが必要な場合は受枠側に接着する。
5）蓋には荷重表示（N、T）を行う。蓋への表示が困難な場合は、適切な箇所に荷重表示板を設置する。
6）受枠はアンカー筋で躯体の配筋に溶解して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に１点ずつ、辺については、500mm以内の等間隔とする。

設計注意事項
1）設計荷重は、歩行用3.5kN/m2とする。
2）許容たわみ量は、歩行用L/300以下（Lはスパン長）とする。
3）多雪地域は、ラバー付の採用を検討とする。
4）本図は歩行用に適用し、車両用は、別途Ｔ荷重仕様とする。
5）スベリ止めは、特別の配慮が必要な場合を除き、「有」を原則とする。

グレーチング蓋鋼製リスト

符　号	開口寸法		蓋寸法		割付枚数（参考）	箇所数	工事区分		材質		備　考
	L1	B1	L	B			本体	受枠	本体	受枠	
GT-1	2,500	4,800	2,600	4,900	4	1	土木	土木	鋼製	鋼製	グレーチングバー形状：IB-75×7×4

ＵＧ－ 排水側溝鋼製グレーチング蓋及び受枠標準図



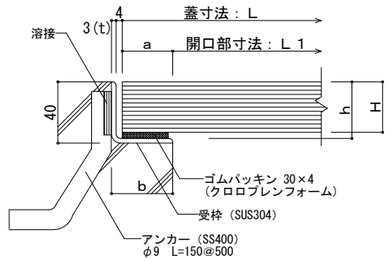
仕様
1）受枠は鋼製(SS400：溶融亜鉛メッキ)とする。
2）鋼製グレーチングは JIS H 8641の2種55の溶融亜鉛メッキとする。

排水側溝鋼製グレーチング蓋リスト

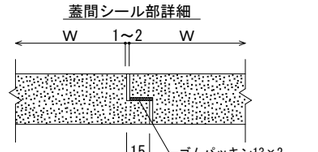
符　号	排水側溝巾 W	グレーチング巾 W+100	H	箇所数	受枠（ｔ）	工事区分		材質		備　考
						本体	受枠	本体	受枠	
UG-1	200	300	19	1	4.5	土木	土木	鋼製	鋼製	

ＦＡ－ 合成木材製蓋（単板蓋タイプ）及び受枠標準図

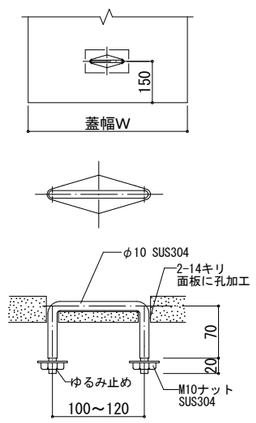
蓋形式：タイプⅠ



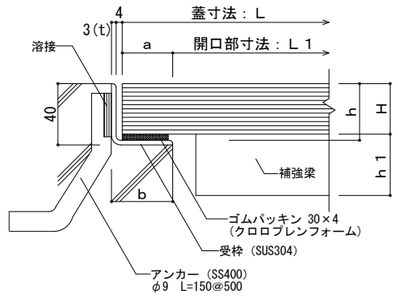
蓋間シール部詳細



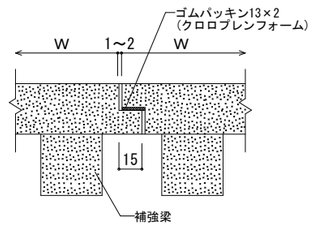
落し込み取手詳細図



蓋形式：タイプⅡ
単板蓋（補強梁付きの場合）



蓋間シール部詳細



合成木材製蓋（単板蓋タイプ）形式選定表

タイプ区分		蓋形式（Ｌ×Ｗ×Ｈ）	開口部寸法 Ｌ１(mm)	受枠寸法 a	h	h1	b	t	参考蓋重量 (kg/m2)
Ⅰ	①	（　～1,066）×600×33.5	～1,000	33	37	－	40	3	20
	②	(1,067～1,266) ×600×33.5	1,001～1,200	33	37	－	40	3	22
Ⅱ 補強梁付	③	(1,267～1,666) ×600×33.5	1,201～1,600	33	37	40	40	3	23
	④	(1,667～2,066) ×600×33.5	1,601～2,000	33	37	60	40	3	24

注　1）受枠寸法のｈにはパッキン厚を含む。
2）蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300～600mmとする。
3）受枠がL-50×50×4の場合、蓋裏面にスペーサー(45×9)を接着して対応する。（参考図-1参照）
4）タイプ②については、補強梁付きも可能とする。(タイプⅡ参照)

仕様
1）受枠は、アンカー筋(φ9mm)で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に１点ずつ、辺については、500mm以内の等間隔とする。
2）蓋には荷重表示(N、T)を行う。
3）蓋にはすべり止め加工を行う。

設計注意事項
1）設計荷重は、3.5kN/m2又は中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。ただし、機器の搬出入経路にある場合などは必要に応じ別途検討し、設計荷重を特記すること。
2）許容たわみ量はL/200以下とする。
3）板厚は、単板部分33.5mmを基本とする。
4）可動式の場合は、中央線荷重1.0kN/mにおいて、十分な破壊安全率を有し、脱輪を起こさないこと。
5）屋外設置の場合、強風による蓋の飛散防止を行う。
6）開閉時の作業の安全性を確認する。
7）受枠下のコンクリートの厚み等安全性を確認する。
8）回転式取手としても躓く可能性はあるので、維持管理時の支障とならないよう配慮する。

合成木材製蓋（単板蓋タイプ）リスト

符　号	開口寸法		蓋寸法		a	h	H	割付枚数（参考）	蓋形式タイプ区分		箇所数	取手（2個/組）		300角点検口（箇所）		飛散防止金具（個）		工事区分		備　考
	L1	B1	L	B								一箇所当り	合計	一箇所当り	合計	一箇所当り	合計	本体	受枠	
FA-1	1,500	3,500	1,566	3,566	33	37	33.5	6	Ⅱ	③	1	6	6	—	—	—	—	土木	土木	
FA-2	925	3,240	991	3,306	33	37	33.5	6	Ⅰ	①	1	6	6	—	—	—	—	土木	土木	
FA-3	1,000	1,000	1,066	1,066	33	37	33.5	2	Ⅰ	①	1	2	2	—	—	—	—	土木	土木	

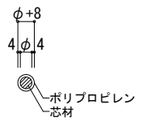
図面番号	1D-18	縮 尺	図示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯詳細図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

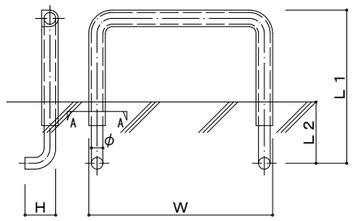
原図サイズ：A1

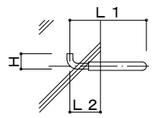
ＴＡ－ ポリプロピレン製足掛金物標準図

足掛金物標準図

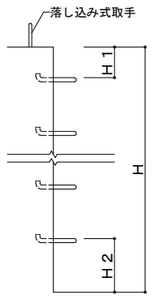
Ａ－Ａ断面図







一般の場合

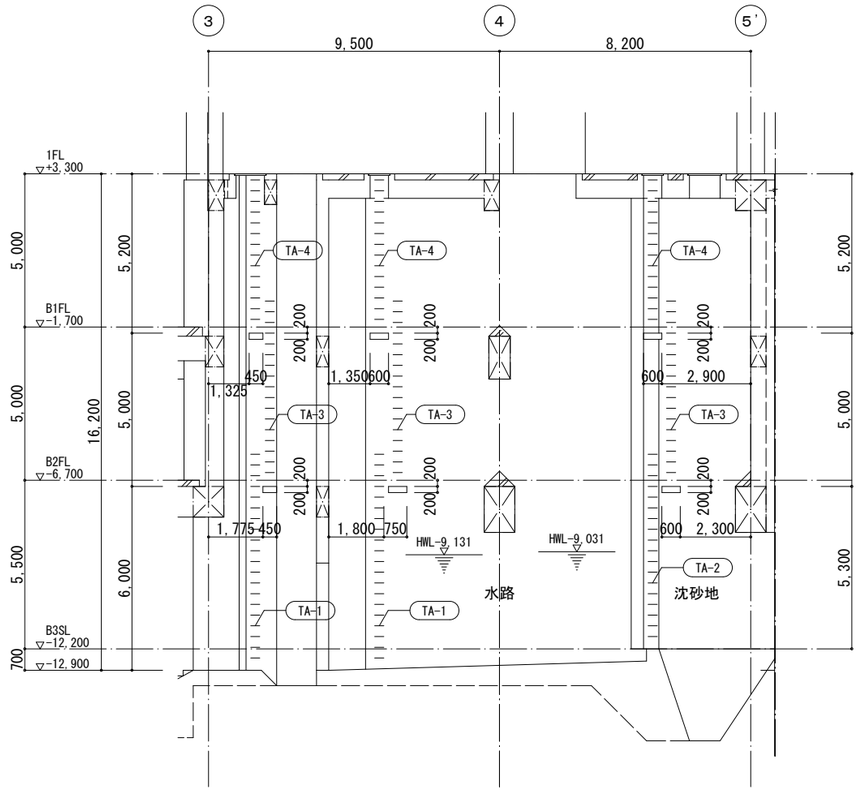


形状寸法表（参考）

適用	W	L１	L２	H	φ
○	300	250	100	50	19
	400	300	150	50	22

仕様
１）ポリプロピレン製の形状寸法は製造所の仕様による。芯材の材質は、SWCH12R、SUS304又はSUS403とする。
２）壁に100mm以上埋め込む。
３）ポリプロピレン製の足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。

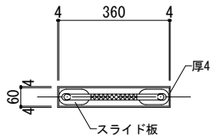
設計注意事項
１）ポリプロピレン製は、原則として水槽部分に用いる。芯材の材質は、設置場所の環境条件を考慮して選定する。
２）足掛金物の取付間隔は350mmを標準とし、可能な限り、どこも一定とする。

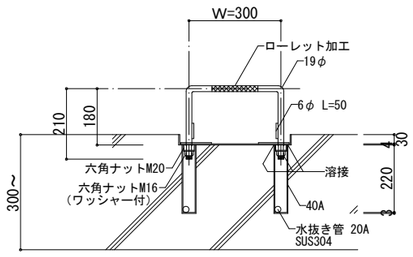


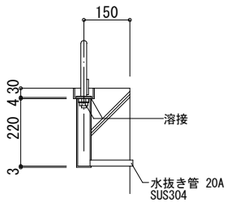
足掛金物案内図　　1/100

ＯＴ 落し込み式取手標準図

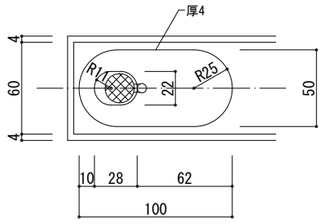
落し込み式取手（W=300）詳細図







スライド板詳細図



仕様
１）材料は全てSUS304を用いる。

設計注意事項
１）原則として全ての足掛金物上部には、手掛け用取手を設ける。
２）手掛け用取手は、壁付を原則とするが、やむを得ない場合、可倒型取手、回転式取手、又は落し込み式取手とする。
３）水抜き管は、原則として水路側又は池側へ設ける。排水対策の講じられていない配管・配線ピット側には原則として設けてはならない。

ポリプロピレン製足掛金物リスト

符　号	H	H1	H2	１箇所当りの本数			箇所数	総本数			備　考
				足掛金物	手掛り	落込み取手		足掛金物	手掛り	落込み取手	
TA-1	6,000	0	400	17	3	—	2	34	6	—	
TA-2	5,300	0	400	15	3	—	1	15	3	—	
TA-3	5,000	0	450	14	3	—	3	42	9	—	
TA-4	5,200	200	450	14	—	1	3	42	—	3	

図面番号	1D-19	縮 尺	図示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯詳細図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

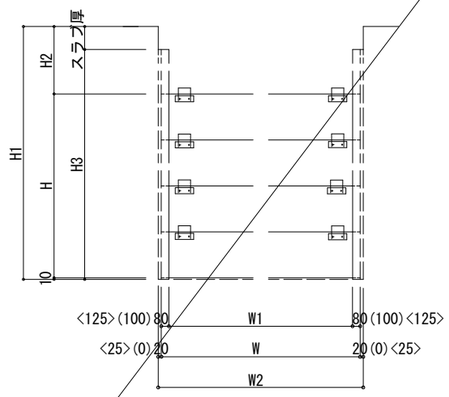
原図サイズ：A1

（ＦＫ－）合成木材製角落し及び受枠標準図

厚み選定表〔許容たわみ率より算定〕

（単位mm）

スパンW1 ＼ 水深	750	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
1000	49	49	59	78	98	118	138	138	157	177	197	207	227	247	257	277
1500	49	49	69	98	118	138	138	157	177	197	217	237	257	277	297	317
2000	49	49	69	98	118	138	157	177	197	217	237	267	287	307	327	347
2500	49	49	78	98	118	147	167	197	217	237	257	287	307	327		
3000	49	59	78	118	138	177	177	197	227	247	277	297	327	347		
3500	49	59	98	118	138	177	187	207	237	267	287	317	347			
4000	49	59	98	118	138	177	197	217	247	277	307	327				
4500	49	59	98	118	147	177	197	227	257	287	317	347				
5000	49	69	98	138	147	177	207	237	267	297	327					
5500	49	69	98	138	177	197	217	247	277	307	337					
6000	49	69	98	138	177	197	217	257	287	317	347					
6500	59	69	98	138	177	197	227	257	287	327						
7000	59	69	118	138	177	197	237	267	297	327						
7500	59	69	118	138	177	207	237	267	307	337						
8000	59	78	118	138	177	207	247	277	317	347						
8500	59	78	118	147	177	217	247	287	317							
9000	59	78	118	147	197	217	257	287	327							
9500	59	78	118	147	197	217	257	297	327							
10000	59	78	118	177	197	227	267	297	337							
材質	（太枠内：比重＝０．５）									比重＝０．７４						



注（　）内寸法は呼称１５０以上の場合を示す
＜　＞内寸法は呼称２６０以上の場合を示す

形状寸法表

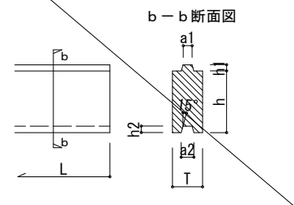
タイプ	寸法 呼称	板厚 T	はめあい溝 a1	a2	h1	h2	有効高さ h	長さ W	参考質量(kg／m2) 比重0.5	比重0.74	比重1.0	受枠寸法 内幅 呼称＋A	A	奥行き D	取手タイプ H-09参照 Ⅰ	Ⅱ
A	50	49	－	－	20	20	170-600	W1+160	25.0	37.0	50.0	75	25	100	○	—
	60	59	20	20.5	20	21	170-600		30.0	44.4	60.0	85	25	100	○	—
	70	69	25	25.5	20	21	170-600		35.0	51.8	70.0	95	25	100	○	—
	80	78	25	25.5	20	21	170-600		39.0	57.7	78.0	105	25	100	○	—
	100	98	35	35.5	20	21	170-600		49.0	72.5	98.0	125	25	100	○	○
	120	118	40	40.5	20	21	170-600		59.0	87.3	118.0	145	25	100	○	○
	140	138	45	45.5	30	31	160-600		69.0	102.1	138.0	165	25	100	○	○
B	150	147	45	45.5	30	31	160-300	W1+200	73.5	108.7	147.0	175	25	120	○	○
	160	157	50	50.5	30	31	160-300		78.5	116.2	157.0	185	25	120	○	○
	180	177	55	55.5	30	31	160-300		88.5	131.0	177.0	205	25	120	○	○
	200	197	65	65.5	30	31	160-300		98.5	145.8	197.0	225	25	120	○	○
	210	207	70	70.5	30	31	160-300		103.5	153.2	207.0	235	25	120	○	○
	220	217	70	70.5	30	31	200-400		108.5	160.6	217.0	250	30	120	—	○
	230	227	75	75.5	30	31	250-400		113.5	168.0	227.0	260	30	120	—	○
	240	237	80	80.5	30	31	250-400		118.5	175.4	237.0	270	30	120	—	○
	250	247	85	85.5	35	36	250-400		123.5	182.8	247.0	280	30	120	—	○
	260	257	90	90.5	35	36	250-400	W1+250	128.5	190.2	257.0	290	30	150	—	○
	270	267	95	95.5	35	36	250-400		133.5	197.6	267.0	300	30	150	—	○
	280	277	100	101	35	36	250-400		138.5	205.0	277.0	310	30	150	—	○
	290	287	105	106	35	36	300-400		143.5	212.4	287.0	320	30	150	—	○
	300	297	110	111	35	36	300-400		148.5	219.8	297.0	340	40	150	—	○
	310	307	115	116	35	36	300-400		153.5	227.2	307.0	350	40	150	—	○
	320	317	120	121	35	36	300-400		158.5	234.6	317.0	360	40	150	—	○
	330	327	120	121	40	41	350-500		163.5	242.0	327.0	370	40	150	—	○
	340	337	120	121	40	41	350-500		168.5	249.4	337.0	380	40	150	—	○
	350	347	120	121	40	41	350-500		173.5	256.8	347.0	390	40	150	—	○

注　１）合成木材を貼り合わせ接着する場合は、エポキシ系接着剤を使用する。
　　２）参考質量は、金具（引き上げ用取手）の重量を含まない。
　　３）製品比重は、0.5及び0.74を標準とする。（形状寸法表内の太枠は、厚み選定表範囲外を示す）
　　４）製品比重1.0は、比重調整用重り（ＳＵＳ製）を本体外に組み込み作製する。
　　５）角落し厚み350mmを超える場合はスパン（Ｌ）と水深（Ｈ）より都度設計する。

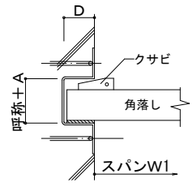
合成木材製角落しリスト

符号	水路寸法 W1	H1	受枠寸法 W2	H3	角落し寸法 W	H	H2	板厚T	１箇所当り割付枚数（参考）	１箇所当り取手（組）(2箇所/組)	１箇所当りクサビ（組）(2箇所/組)	水深	箇所数 受枠	本体	備考
FK-1	3,000	16,200	3,200	15,400	3,200	4,000	12,190	177	16	16	1	3,877	1	1	

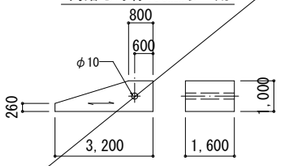
厚み59mm以上



浮力防止用クサビ



角落し呼称150mm以上用

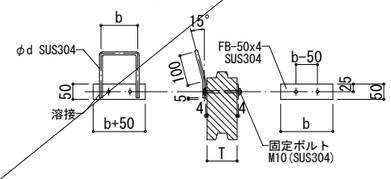


仕様
　１）合成木材は、ガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂の材質を示す。

設計注意事項
　１）許容たわみ量は、W/200以下とする。
　２）浮力防止用クサビを、最上段部に使用する。

取手標準図

タイプ（Ⅰ）



取手寸法表

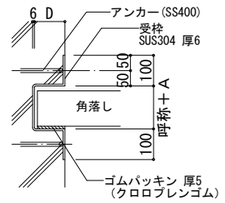
寸法 ＼ 呼称	サイズ(mm) φd	b
～ 80	10	120
100～140	12	120
150～210	16	140

仕様
　１）取手の材質は、SUS304、φ10を基本とする。
　２）受枠は、SUS304製とし、アンカー（SS400）φ13、L=150を受枠に溶接する。
　３）アンカーは、躯体の鉄筋に溶接して固着する。

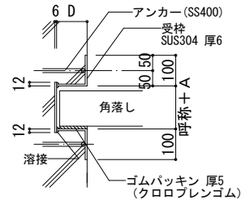
設計注意事項
　１）上部に吊フックを設ける
　２）開閉時の作業の安全性を確認する。
　３）受枠下のコンクリートの厚み等安全性を確認する。

受枠標準図

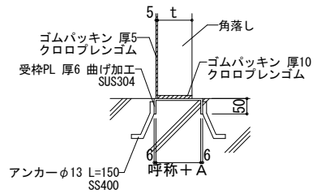
壁部（曲げ加工タイプ）



壁部（溶接タイプ）



底部敷金物



Ａ寸法

呼称	A
～210	25mm
～290	30mm
～350	40mm

Ｄ寸法

呼称	D
～140	100mm
～250	120mm
～350	150mm

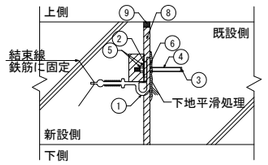
図面番号	1D-20	縮 尺	図示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯詳細図（４）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

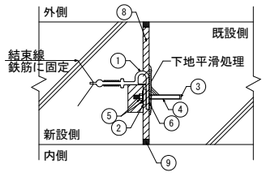
EXP. J- 伸縮継手標準図

新設-既設部取合い（後付用止水板）

底　版　部



側壁部頂版部



材　料　表

番号	名　　称	材　　質	備　　考
1	伸縮ゴム	NR系	
2	押さえ板	SUS304	
3	接着系アンカー	樹脂製又は無機系	
4	アンカーボルト	SUS304	
5	ナット，ワッシャ	SUS304	
6	シール材	ブチルゴム系	
7	クッション材	ポリエチレン	メーカーにより幅が異なる
8	目地材	樹脂発泡体系	t=20mm
9	目地充填材	樹脂系	20×20mm

性　能　表

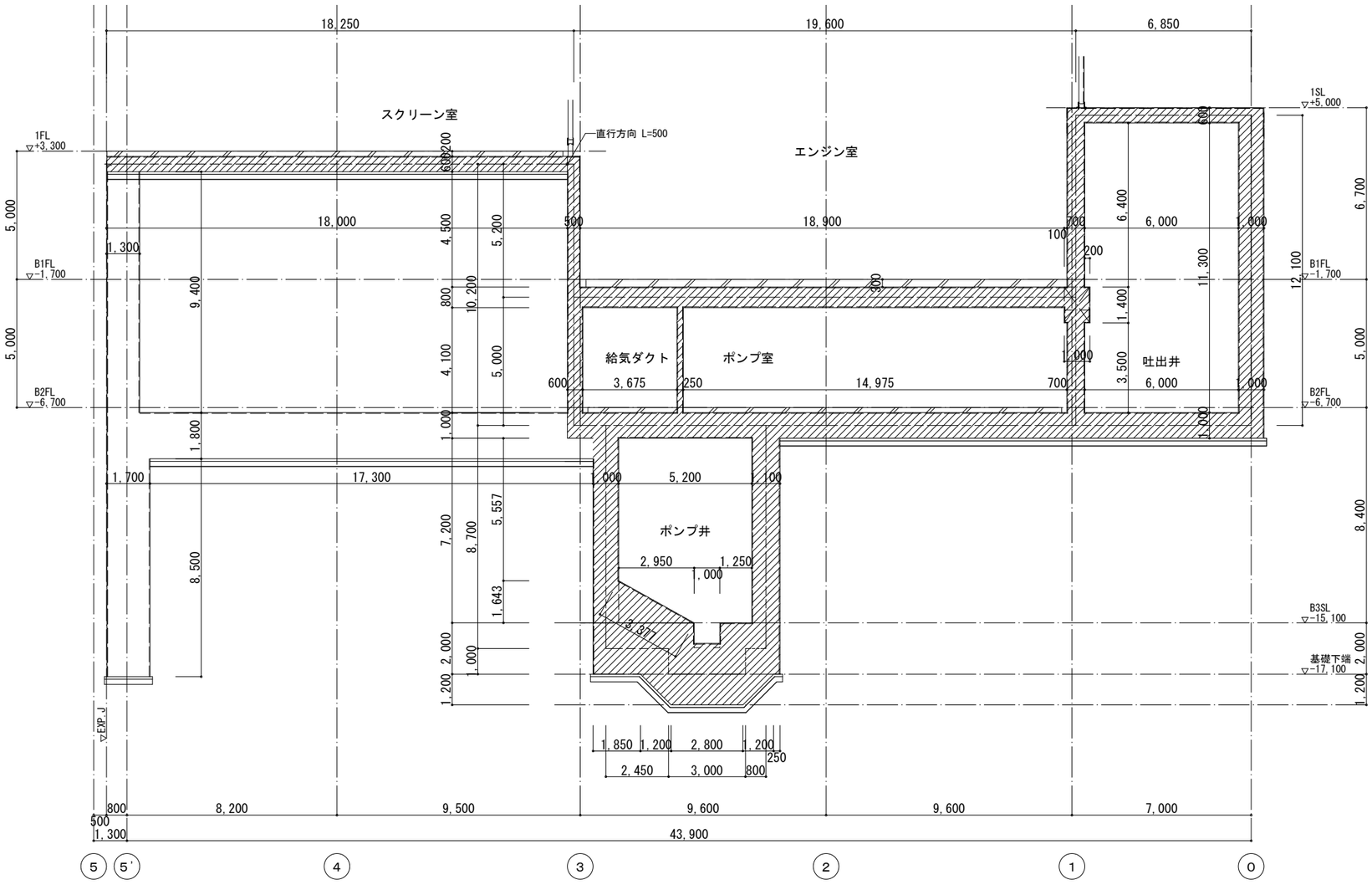
水圧条件	0.19 MPa

注記

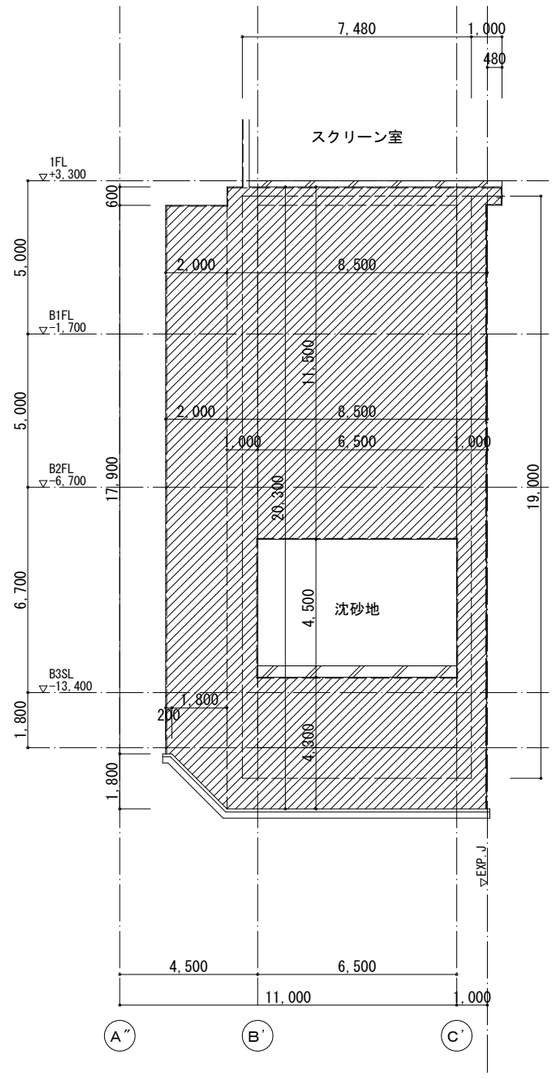
1）目地部の幅及びナット・ワッシャー廻りの納まりは
　　メーカーにより異なる為、参考とする。
　　採用されたメーカーの承諾図によること。

凡　例

- ----- 止水板
- ▨ 目地材
- ▬▬ 目地充填材



EXP. J-1断面図　　1/100



EXP. J-2断面図　　1/100

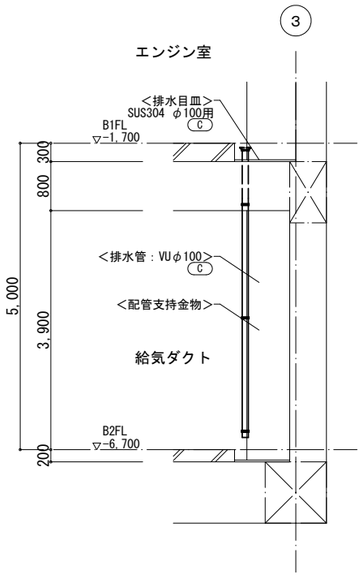
図面番号	1D-21	縮 尺	図示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	付帯詳細図（５）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

注記

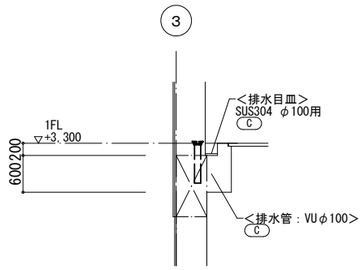
排水管及び呼び管は硬質塩化ビニル管（ＶＰ管）とする
配管支持金物は２５Ｘ２．８以上の市売品で
亜鉛メッキを行ったものとする（@２０００）
下がり止め金物は支持金物１本おきに付ける

ＤＲ－　排水管詳細図



DR-1　詳細図　1/50

合計・・・１箇所



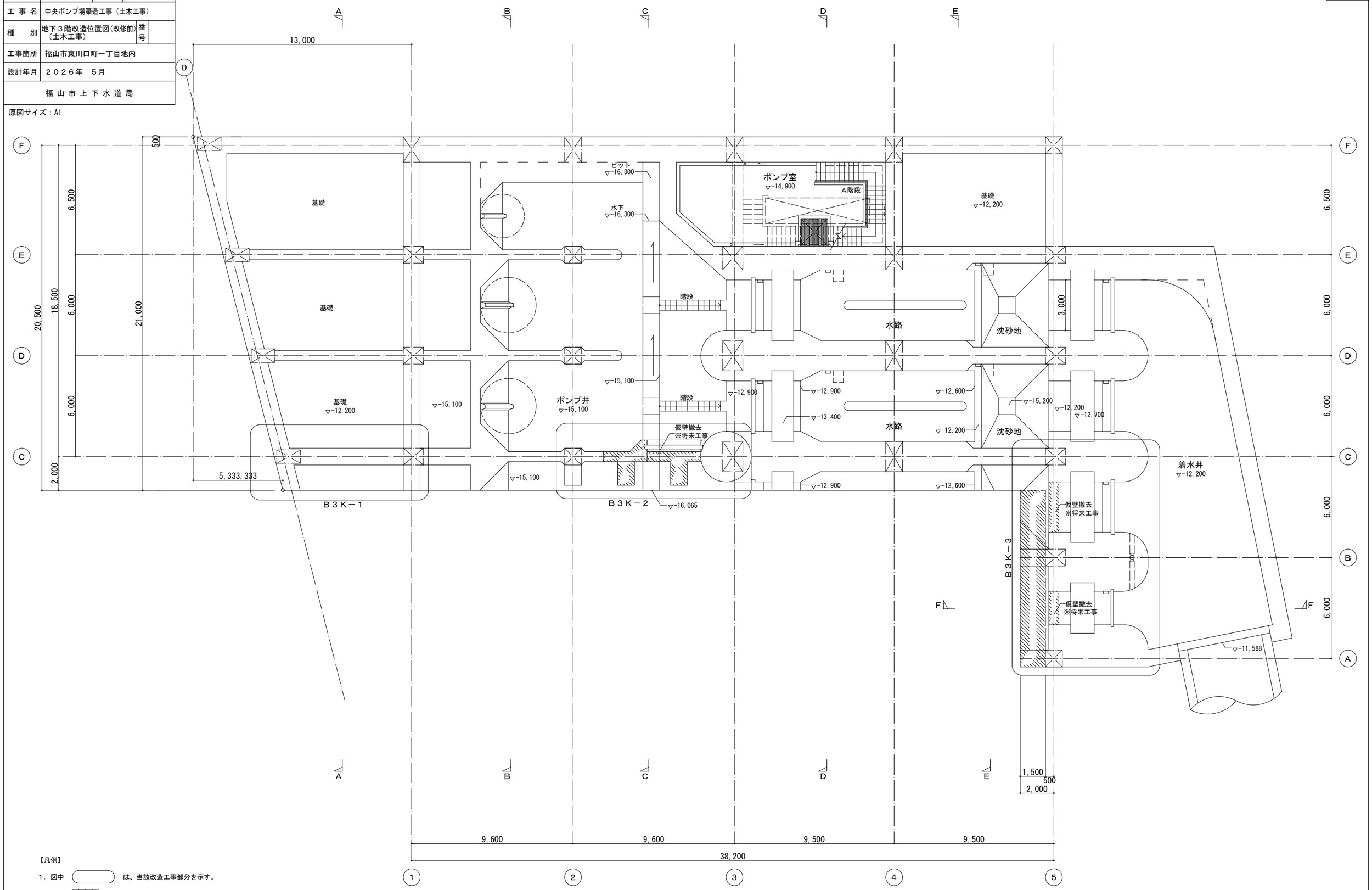
DR-2　詳細図　1/50

合計・・・２箇所

図面番号	2D-01	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下３階改造位置図(改修前)（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



【凡例】

1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

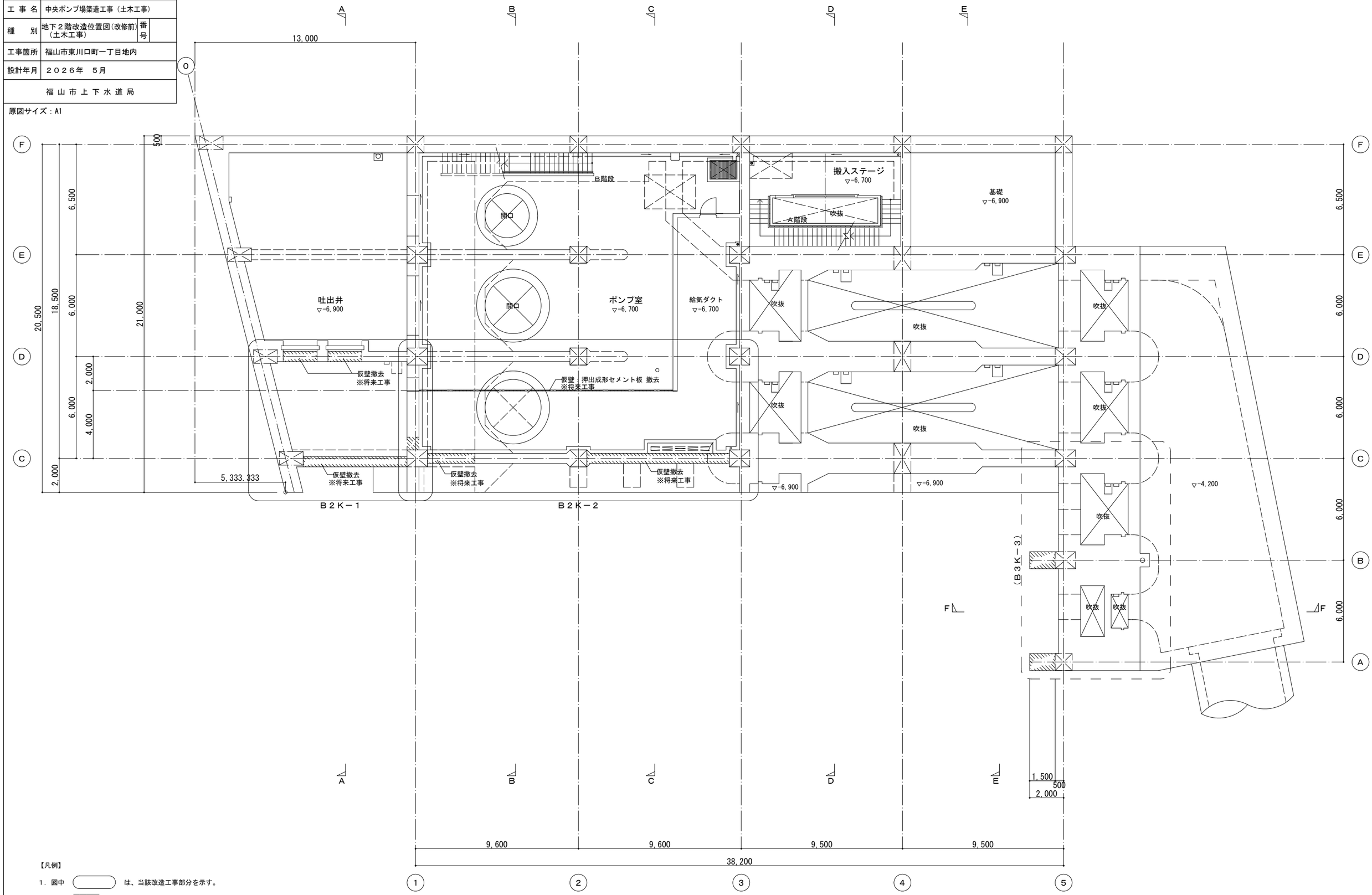
2、図中 ( ) は、躯体等撤去範囲を示す。

地下３階平面図　　1/100

図面番号	2D-02	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下２階改造位置図(改修前)（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



【凡例】

1．図中 ▭ は、当該改造工事部分を示す。

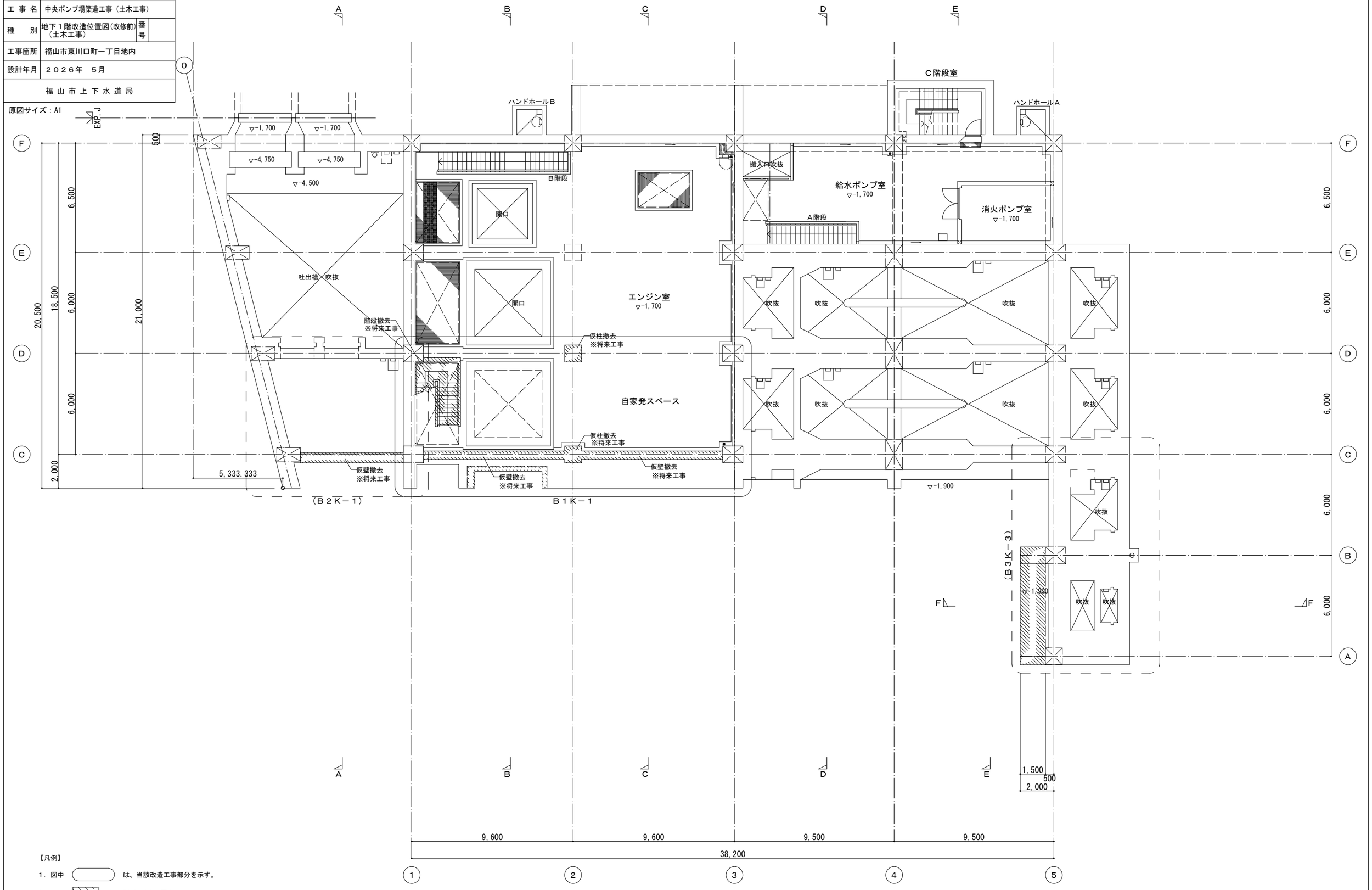
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

地下２階平面図　1/100

図面番号	2D-03	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下１階改造位置図(改修前)（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

改修前

原図サイズ：A1



【凡例】

1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

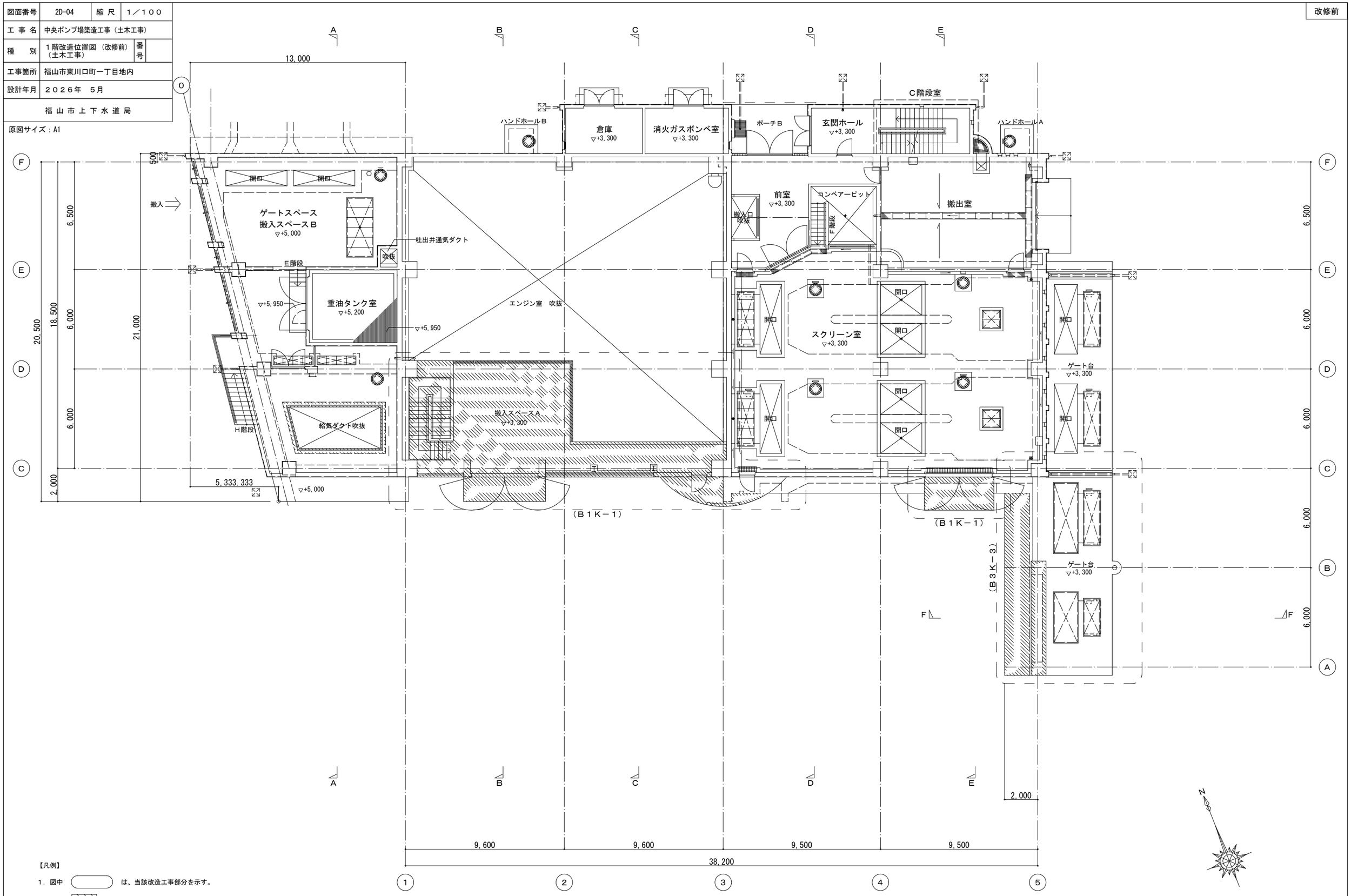
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

地下１階平面図　1/100

図面番号	2D-04	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	1階改造位置図 （改修前）（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



【凡例】

1．図中 ◯ は、当該改造工事部分を示す。

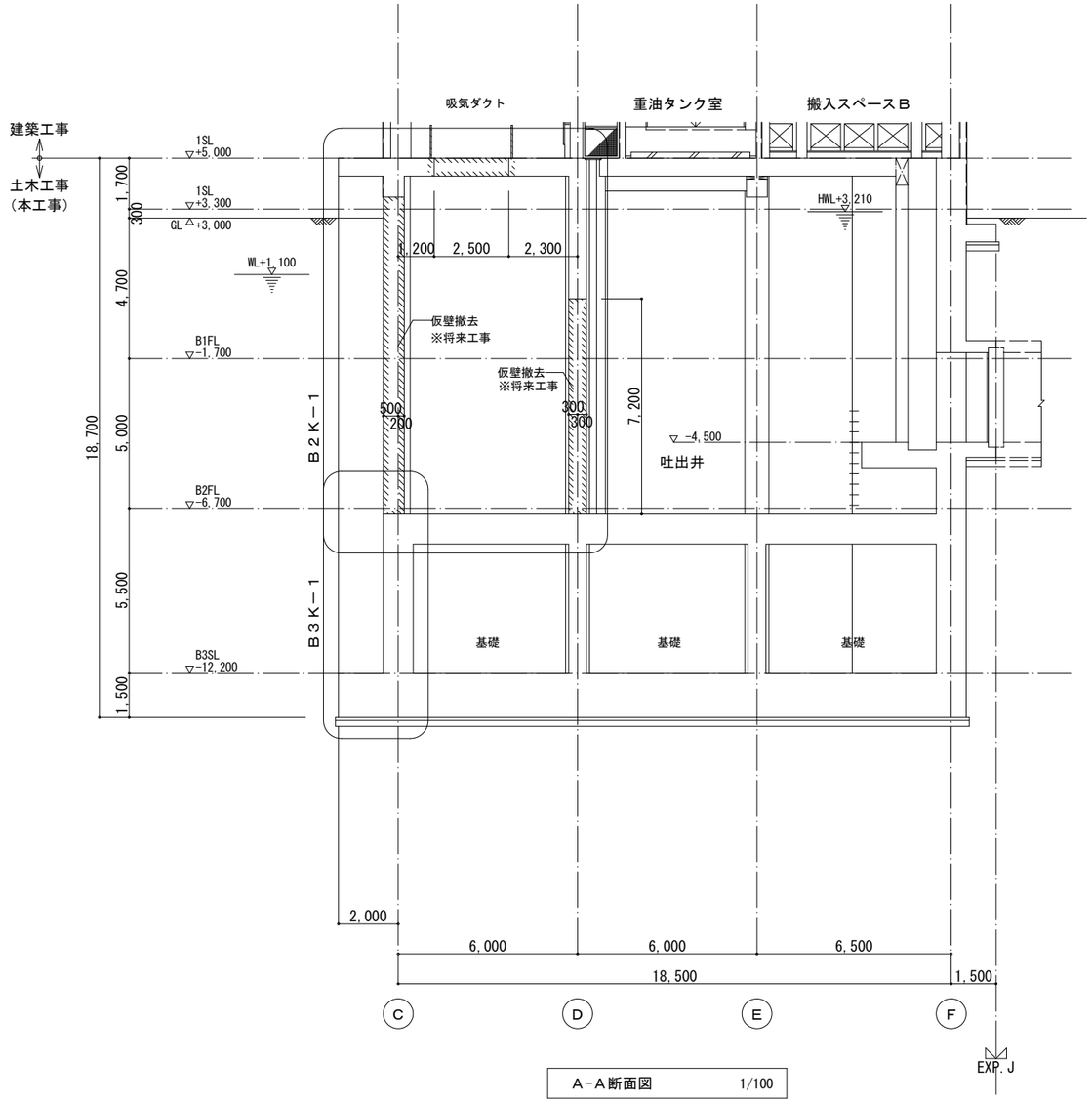
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

1階平面図　1/100

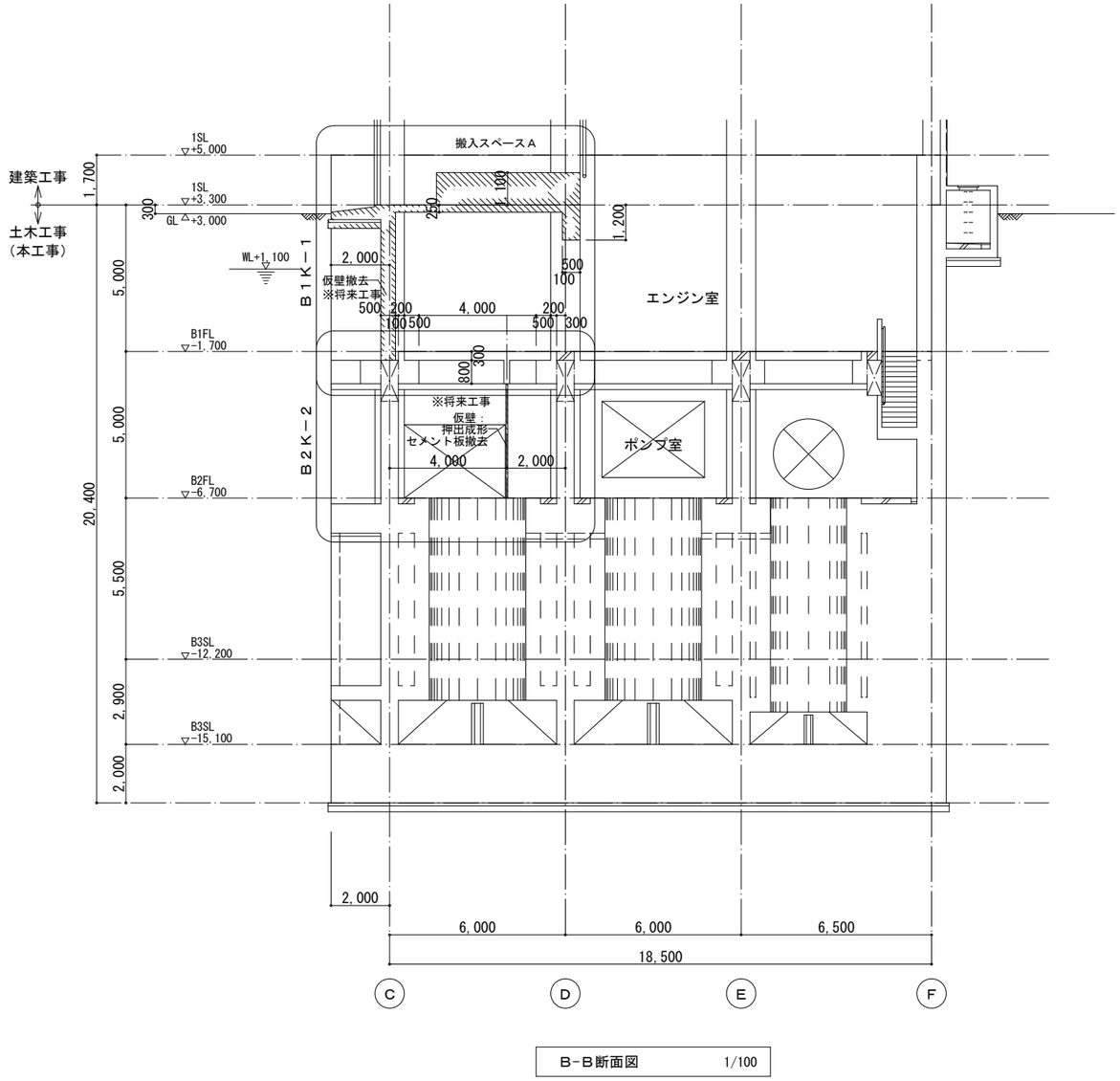
図面番号	2D-05	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（1）（改修前）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



A－A断面図　1/100



B－B断面図　1/100

【凡例】

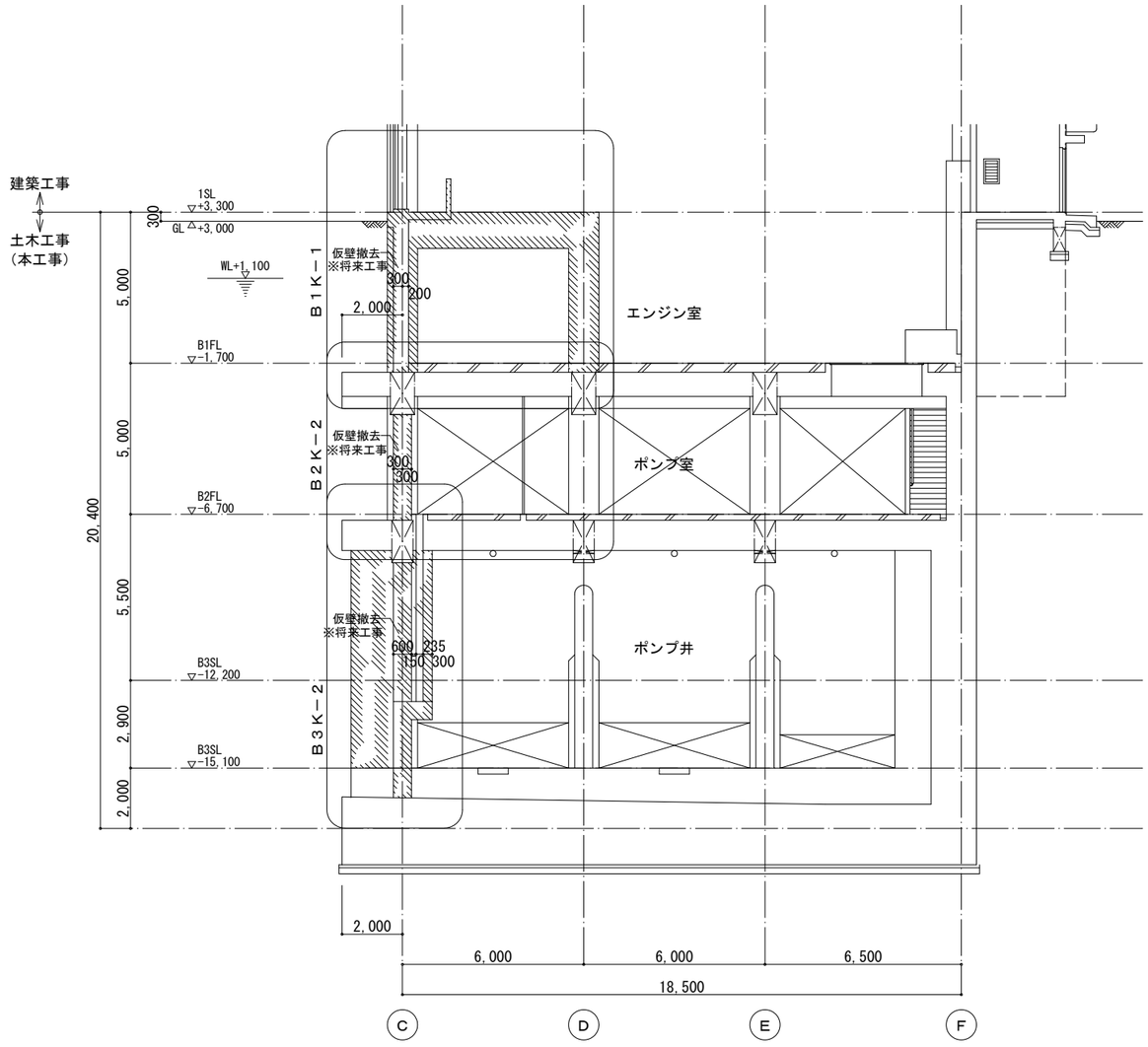
1．図中　　は、当該改造工事部分を示す。

2、図中　　は、躯体等撤去範囲を示す。

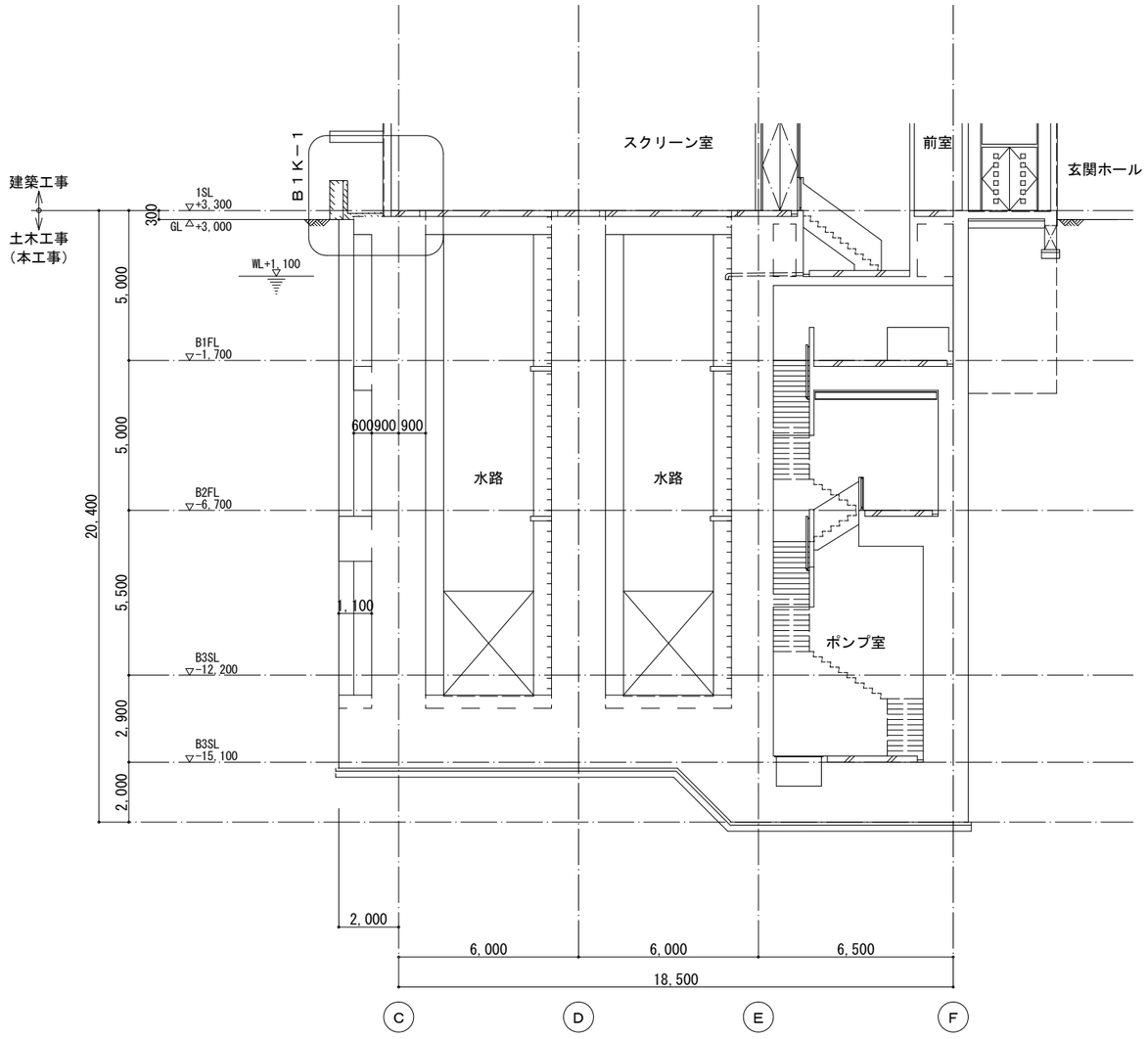
図面番号	2D-06	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（2）（改修前）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



C－C断面図　1/100



D－D断面図　1/100

【凡例】

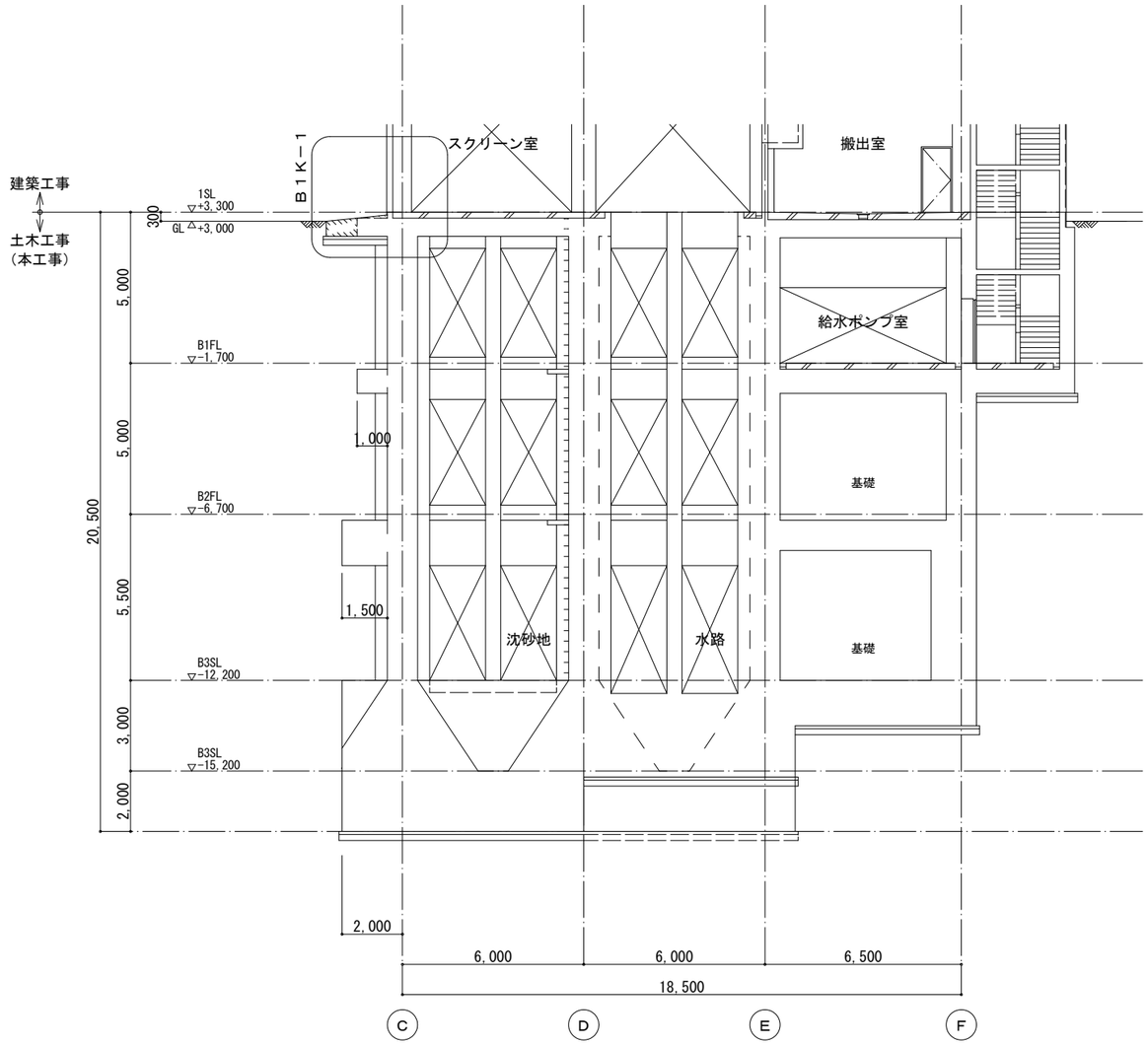
1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

2、図中 [ ] は、躯体等撤去範囲を示す。

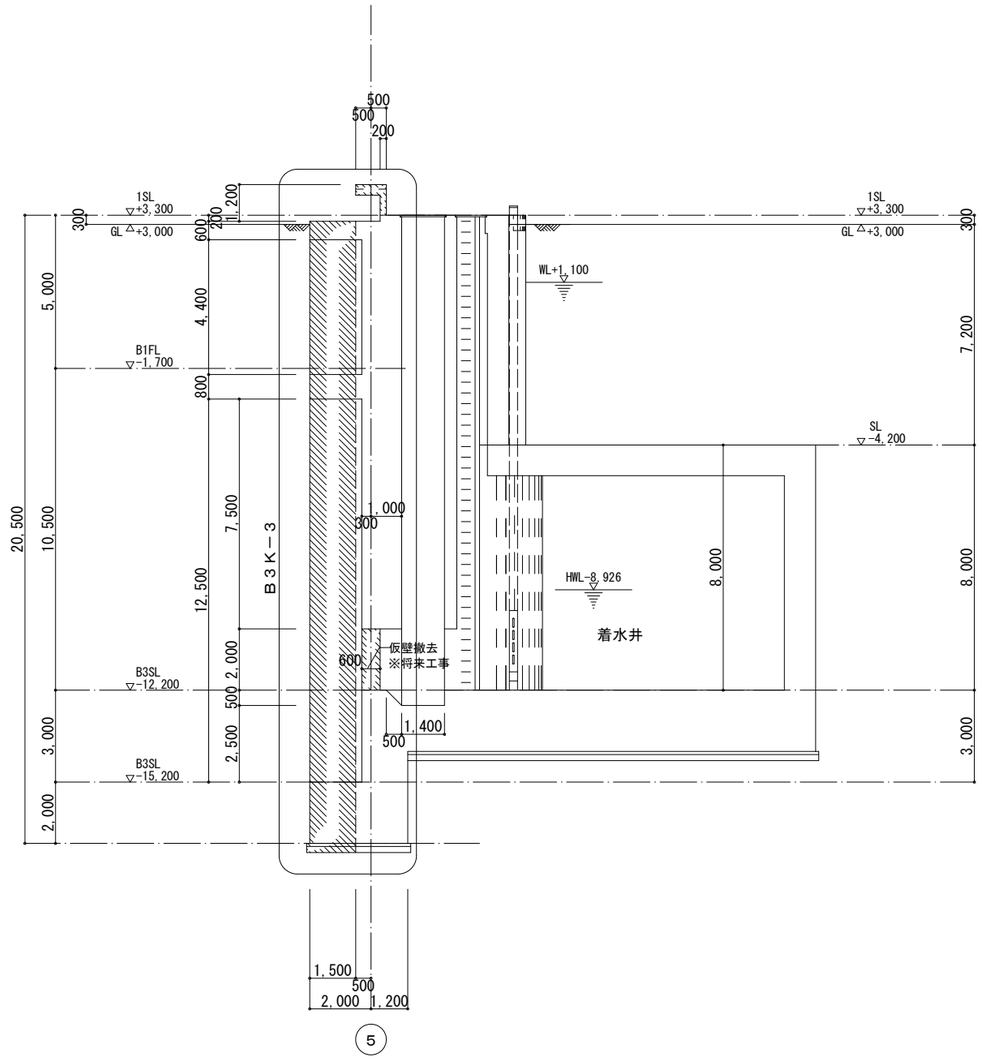
図面番号	2D-07	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（3）（改修前）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



E－E断面図　1/100



F－F断面図　1/100

【凡例】

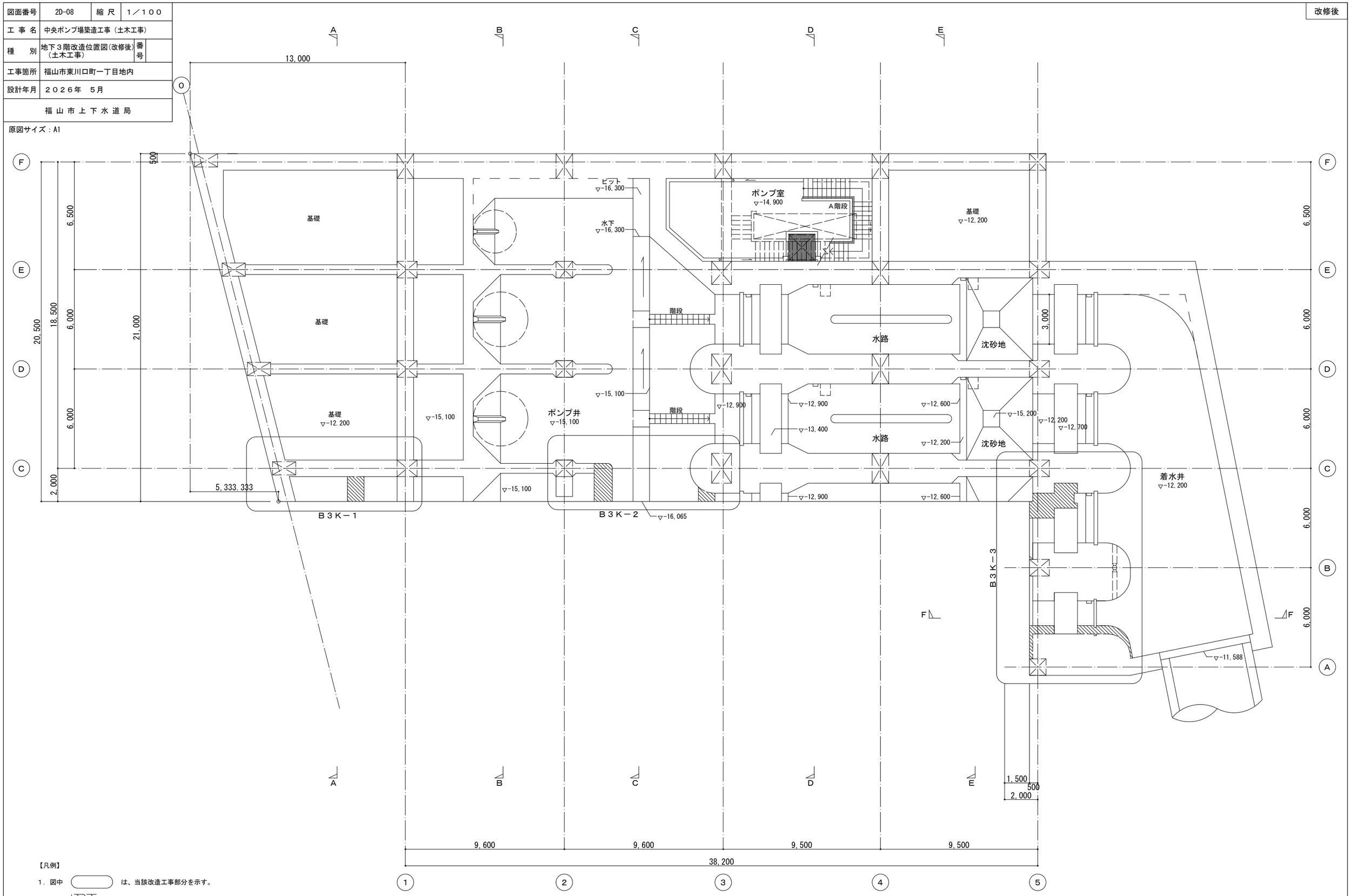
1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

2、図中 [ ] は、躯体等撤去範囲を示す。

図面番号	2D-08	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下３階改造位置図(改修後)（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



【凡例】

1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

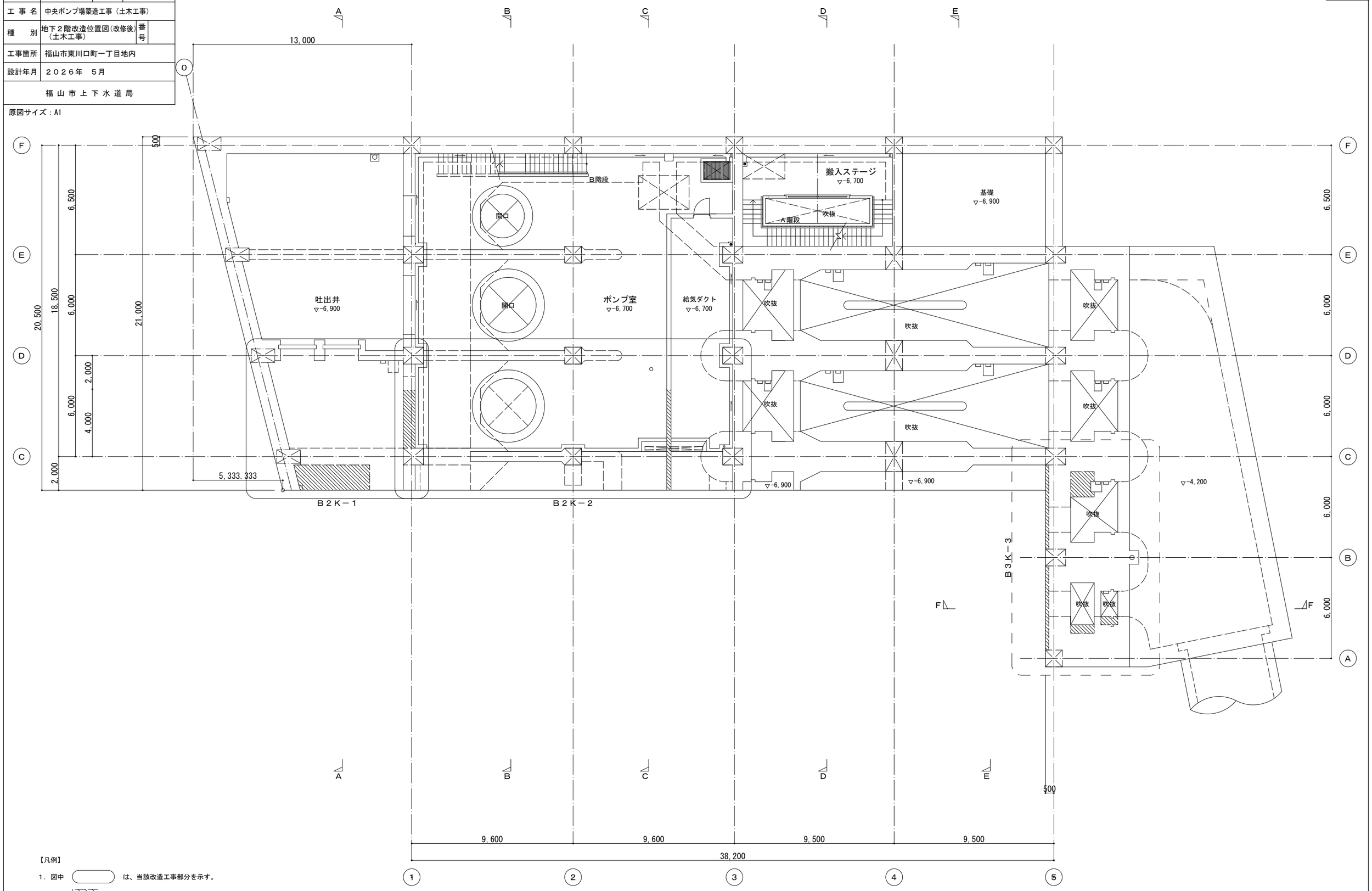
2、図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

地下３階平面図　　1/100

図面番号	2D-09	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下２階改造位置図(改修後)（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



【凡例】

1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

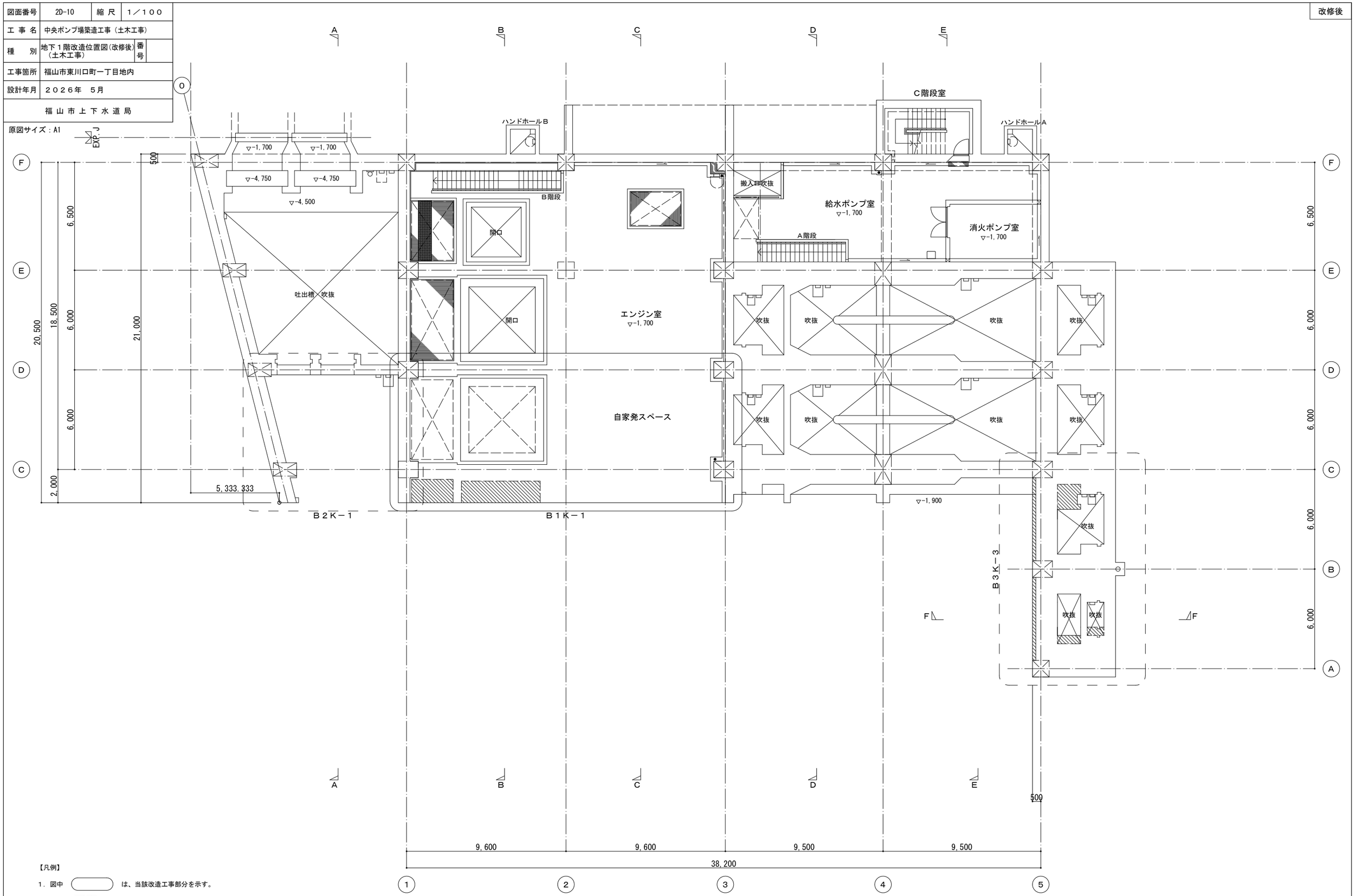
2、図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

地下２階平面図　1/100

図面番号	2D-10	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下１階改造位置図(改修後)（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



【凡例】

1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

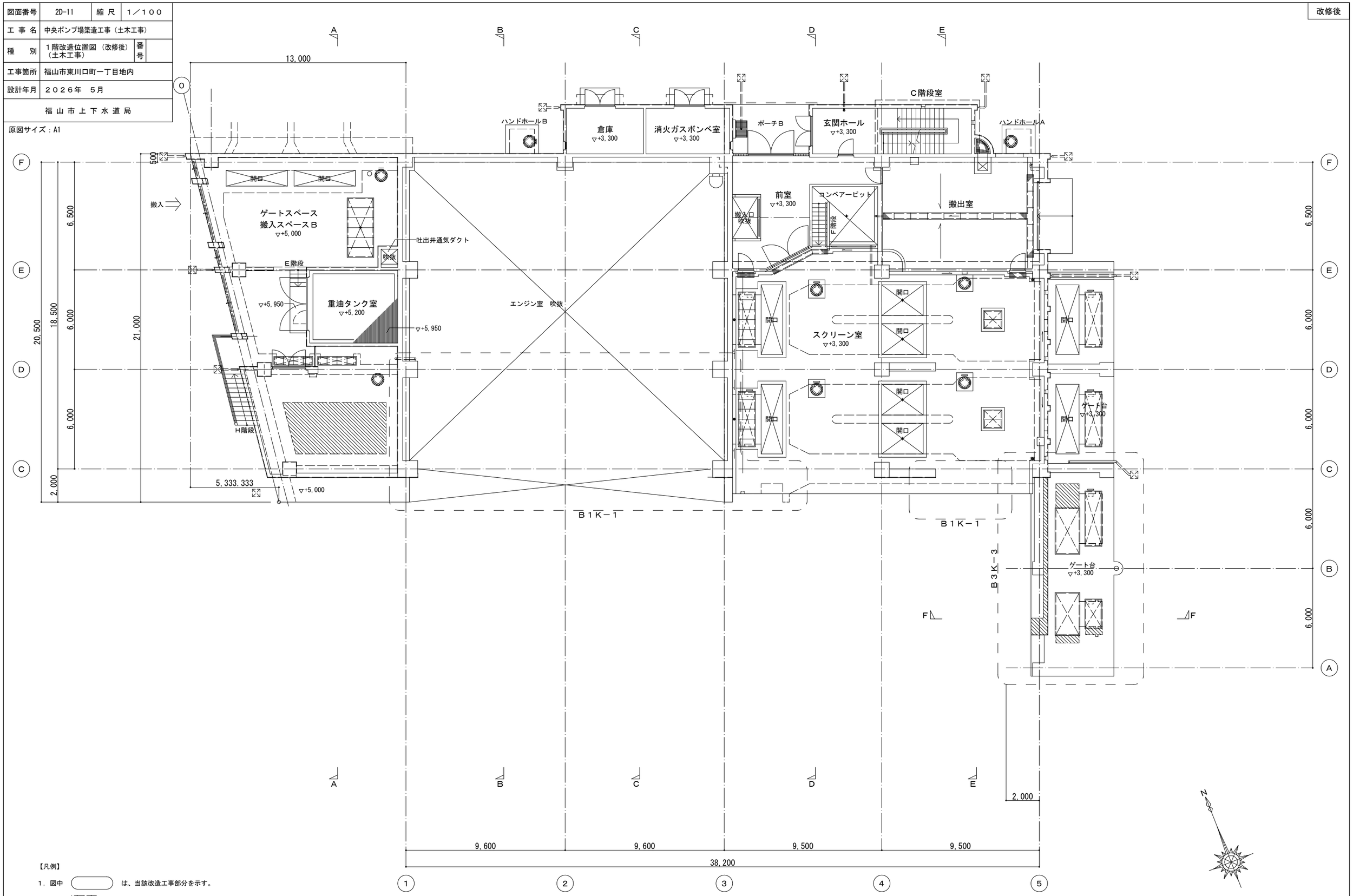
2、図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

地下１階平面図　　1/100

図面番号	2D-11	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	1階改造位置図 （改修後）（土木工事）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



【凡例】

1．図中 ( ) は、当該改造工事部分を示す。

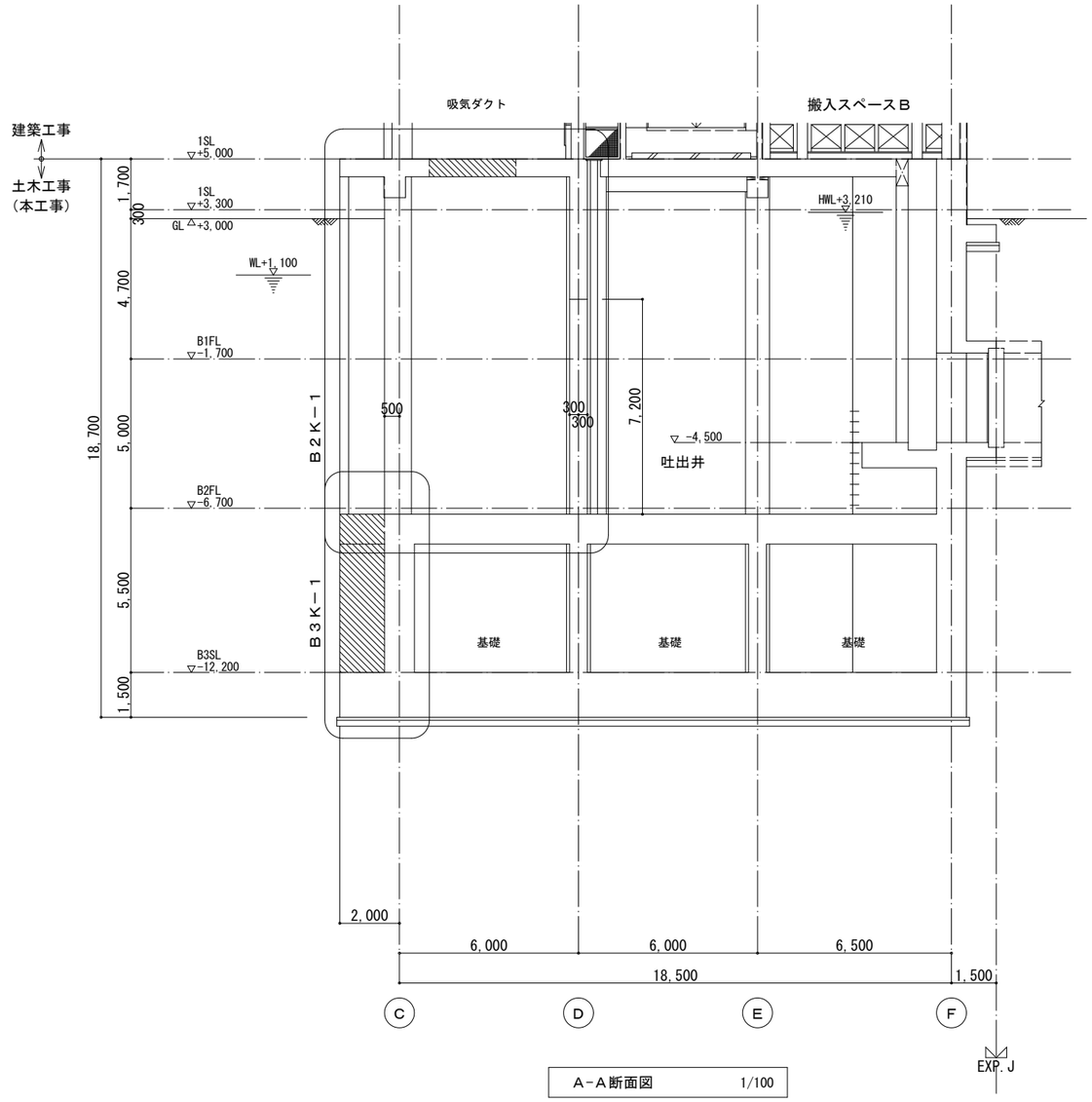
2、図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

1階平面図　1/100

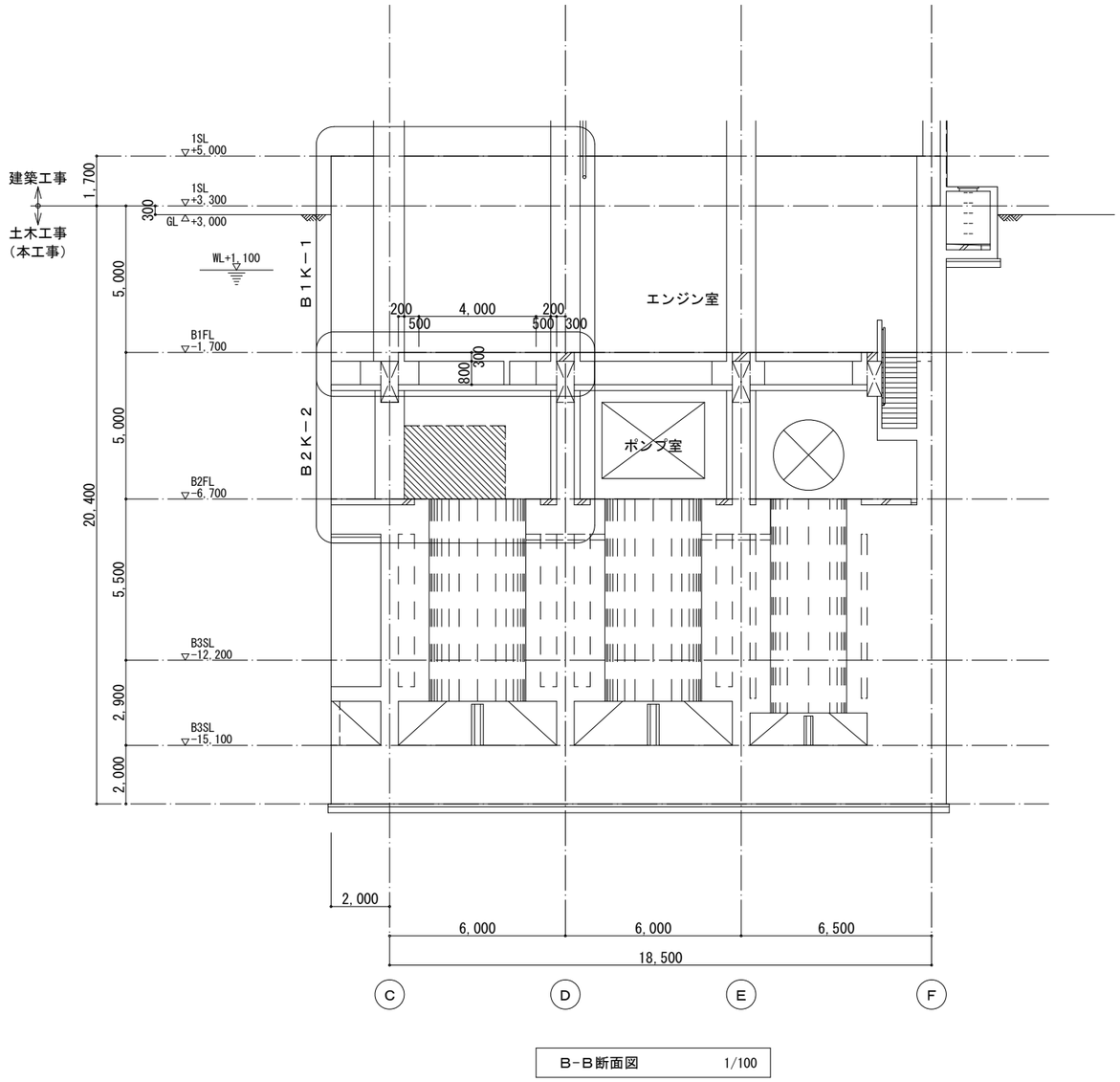
図面番号	2D-12	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（1）（改修後）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



A－A断面図　1/100



B－B断面図　1/100

【凡例】

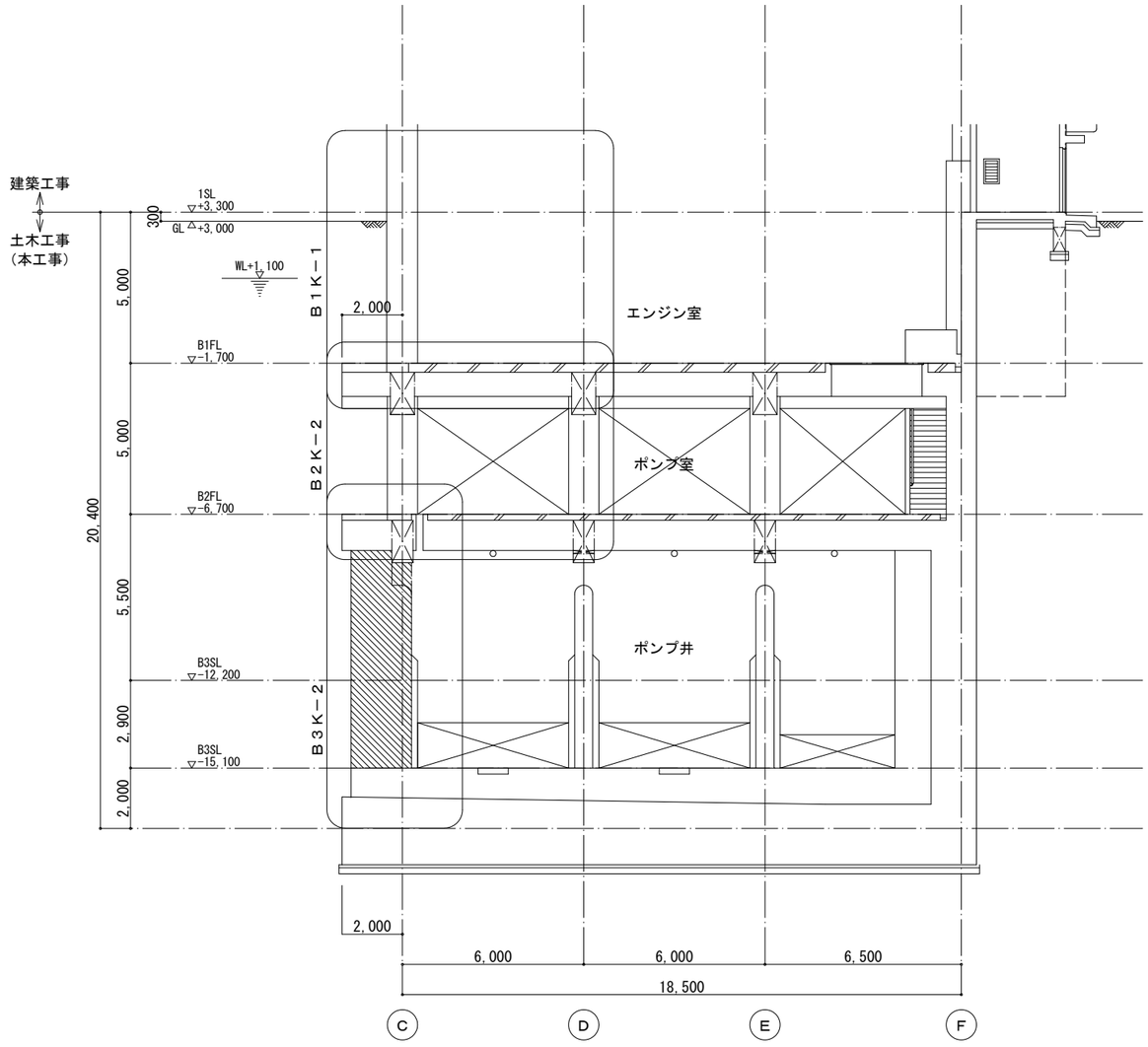
1．図中　　は、当該改造工事部分を示す。

2、図中　　は、躯体等新設範囲を示す。

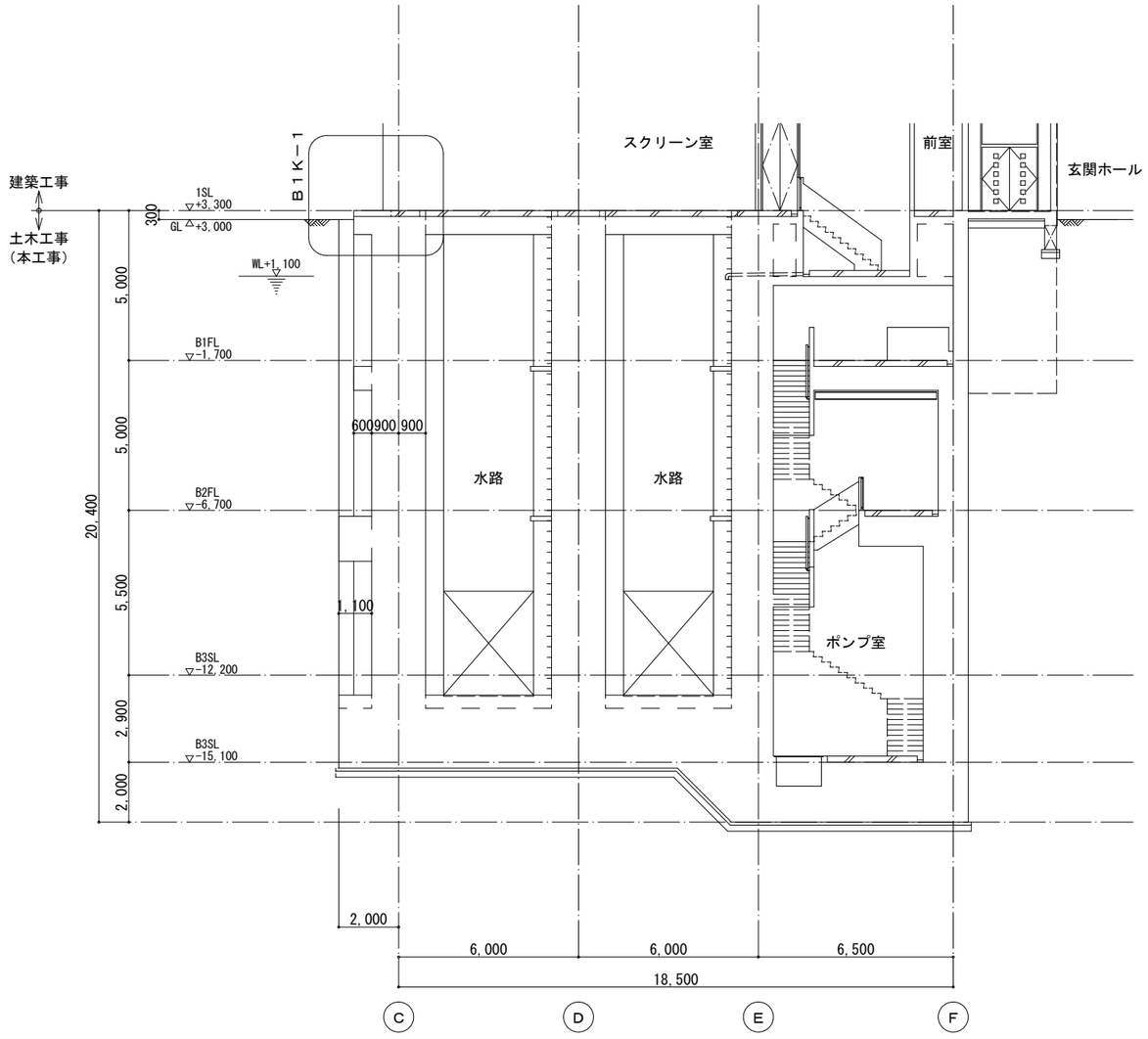
図面番号	2D-13	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（2）（改修後）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



C－C断面図　1/100



D－D断面図　1/100

【凡例】

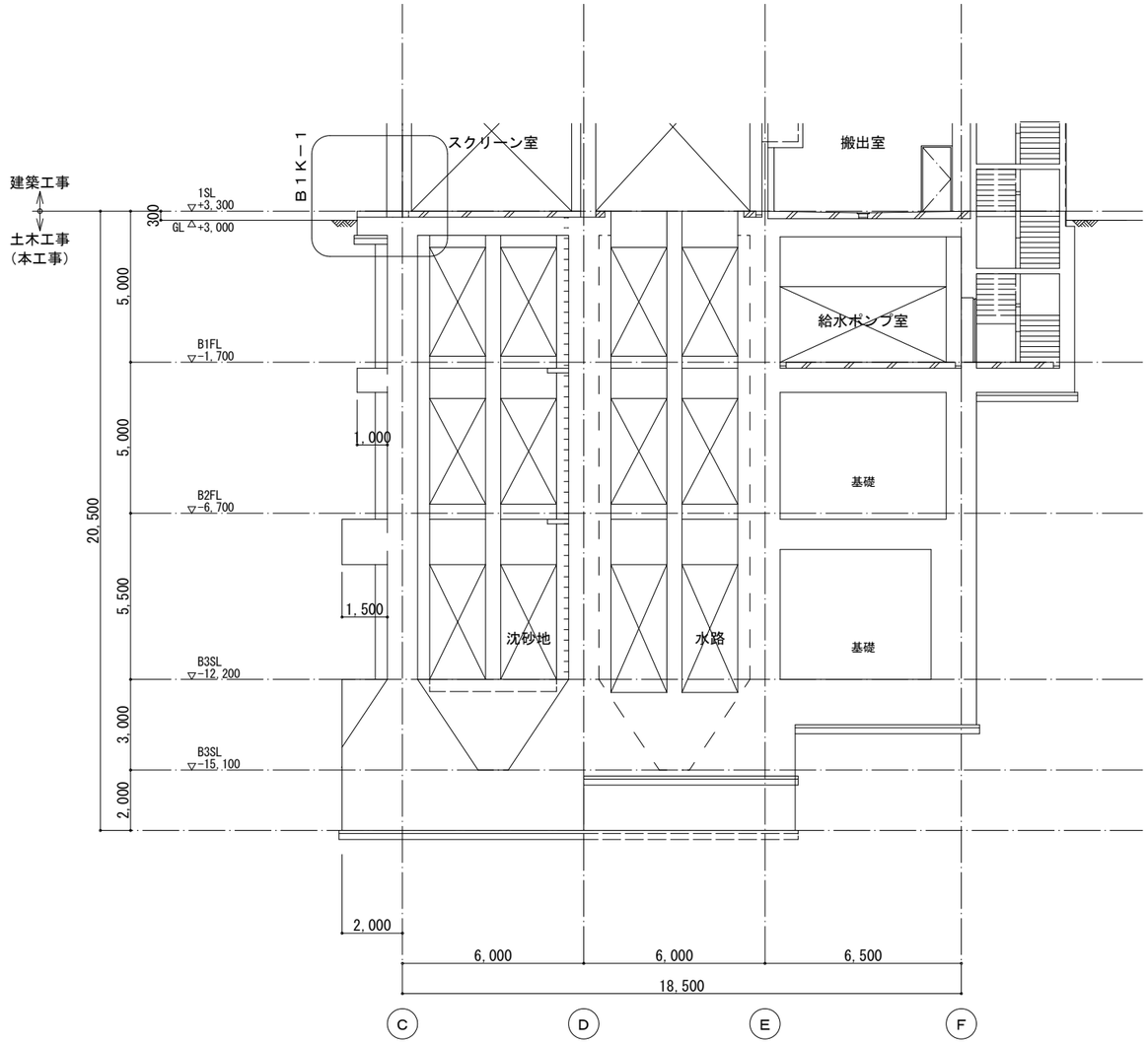
1．図中　　は、当該改造工事部分を示す。

2、図中　　は、躯体等新設範囲を示す。

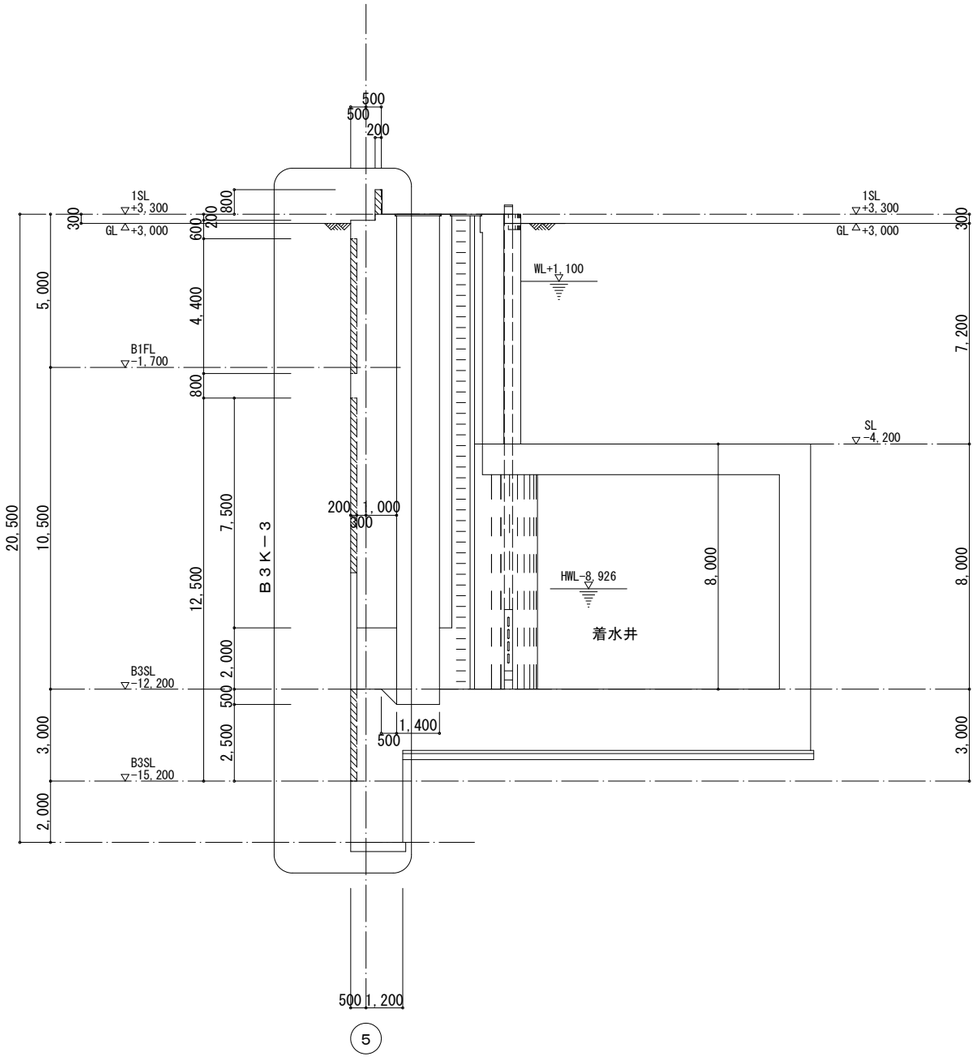
図面番号	2D-14	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	断面図（３）（改修後）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



E－E断面図　1/100



F－F断面図　1/100

【凡例】

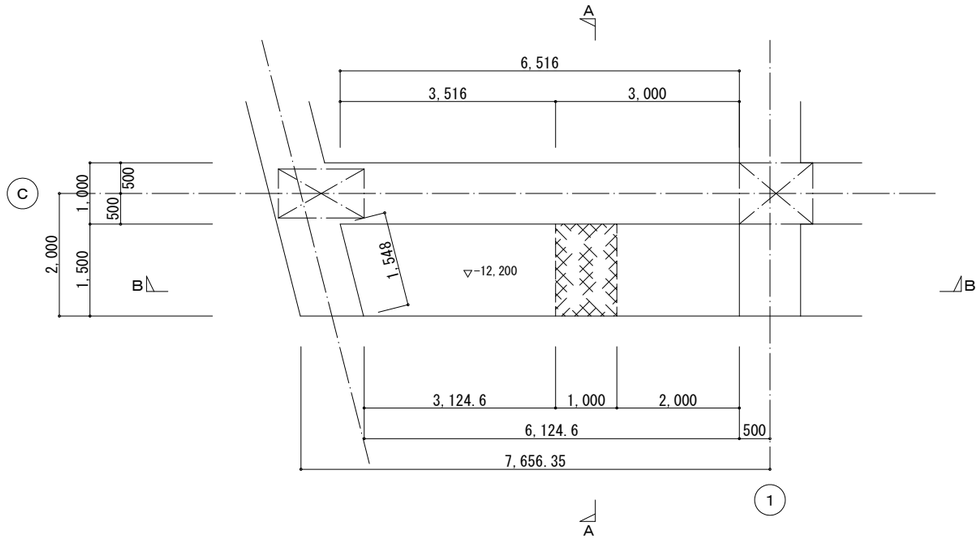
1．図中　　は、当該改造工事部分を示す。

2、図中　　は、躯体等新設範囲を示す。

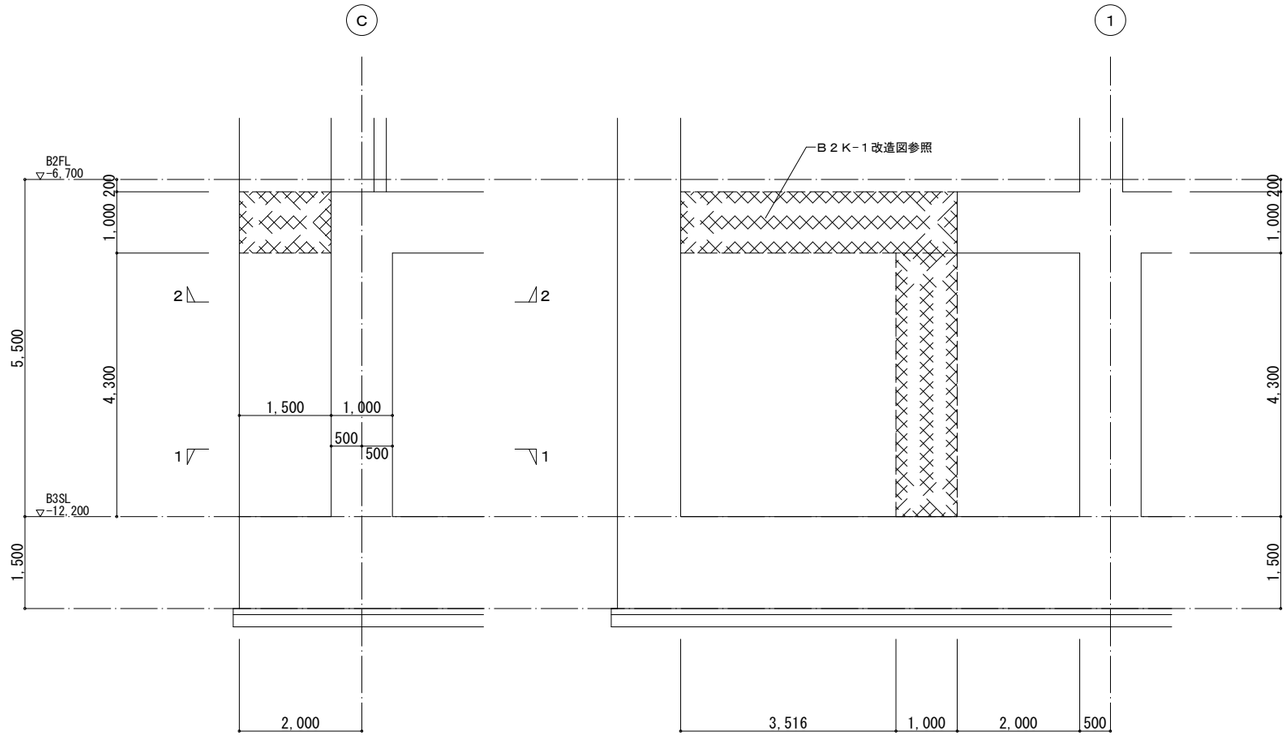
図面番号	2D-15	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－１改造図（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

改修前

原図サイズ：A1

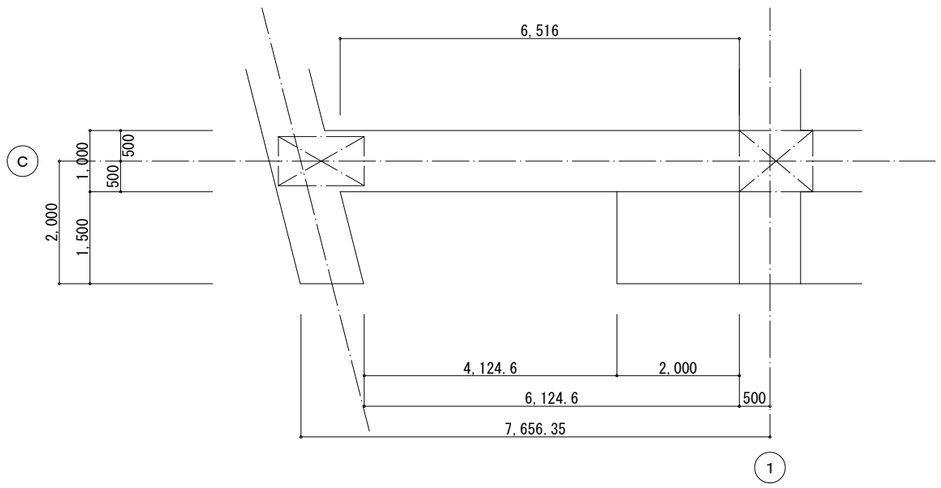


１－１平面図　　1/50



Ａ－Ａ断面図　　1/50

Ｂ－Ｂ断面図　　1/50



２－２平面図（見上げ）　1/50

【凡例】

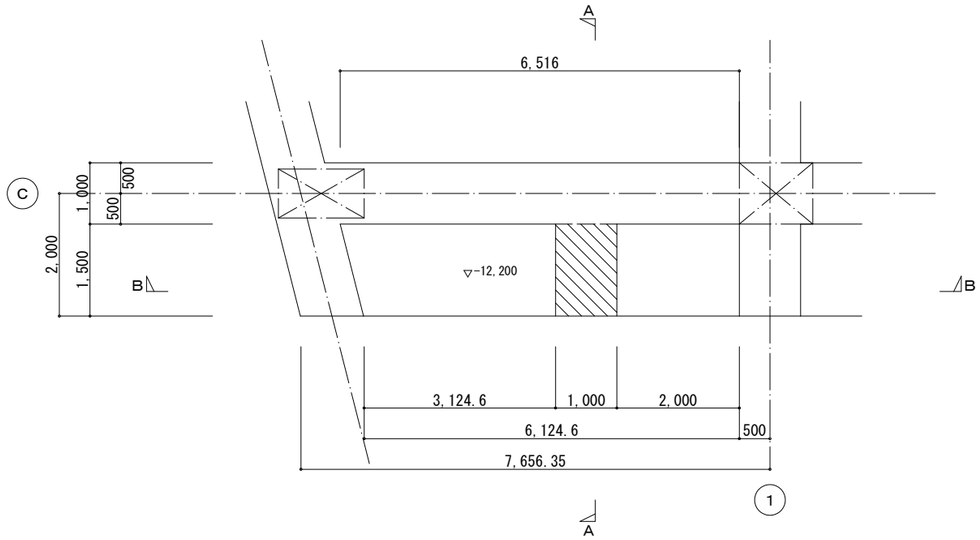
1、図中　▷　は、カッター位置を示す。

2、図中　　は、目荒し範囲を示す。

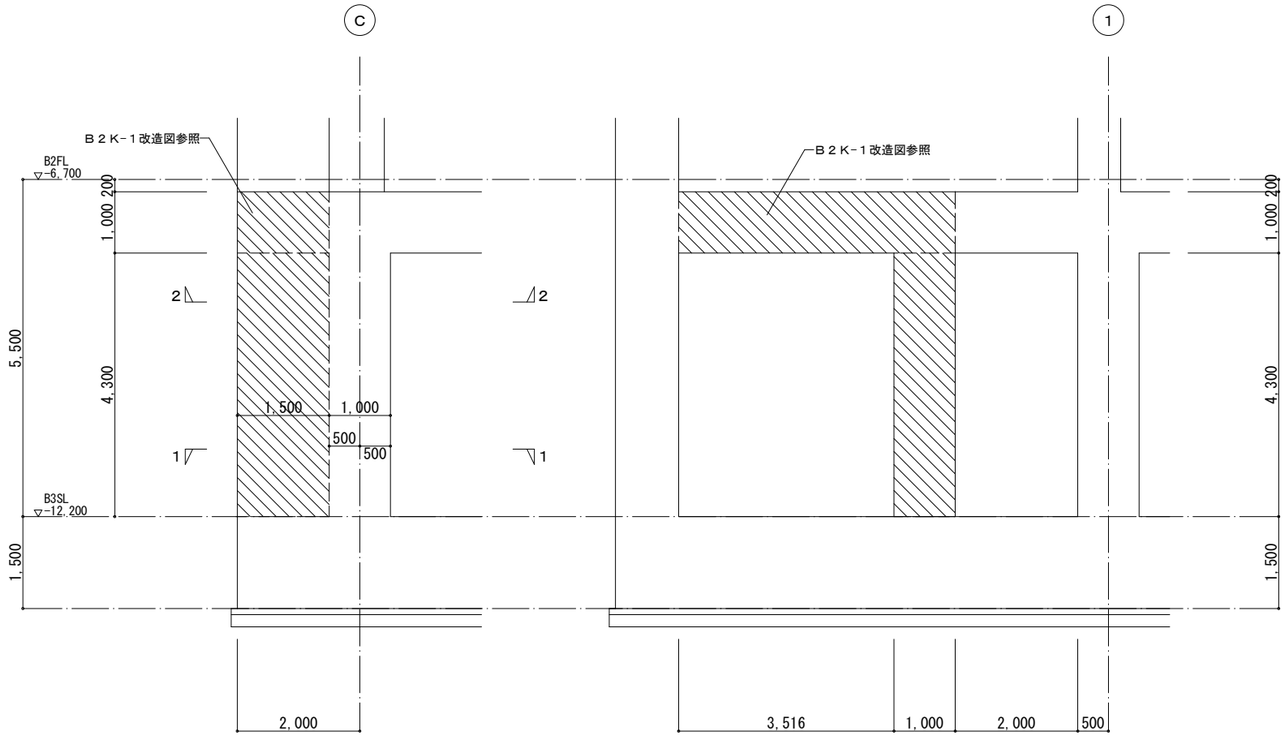
図面番号	2D-16	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－１改造図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

改修後

原図サイズ：A1

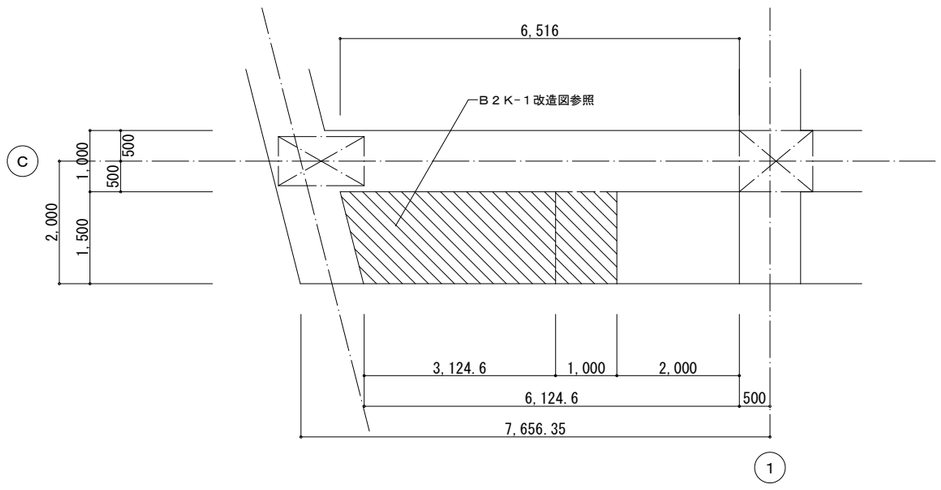


１－１平面図　　1/50



Ａ－Ａ断面図　　1/50

Ｂ－Ｂ断面図　　1/50



２－２平面図（見上げ）　1/50

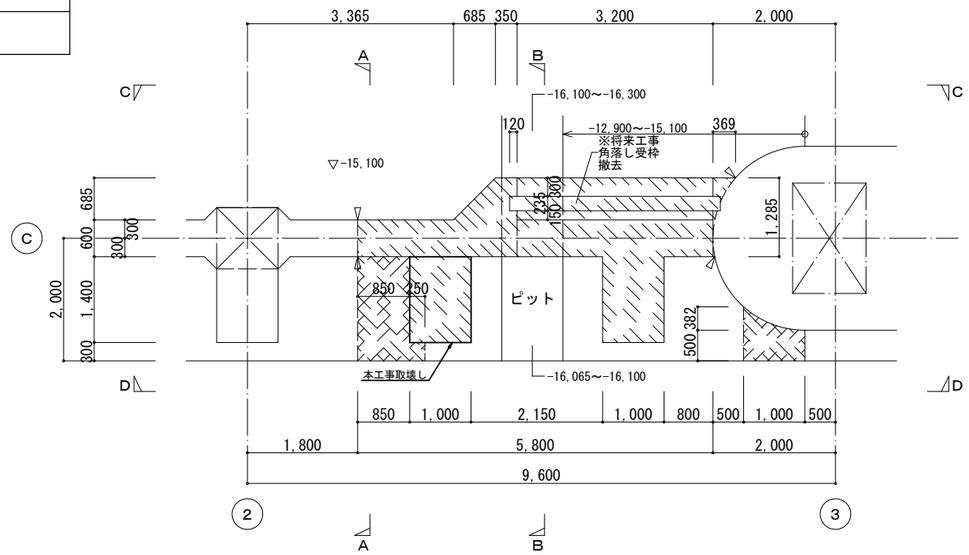
【凡例】

1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

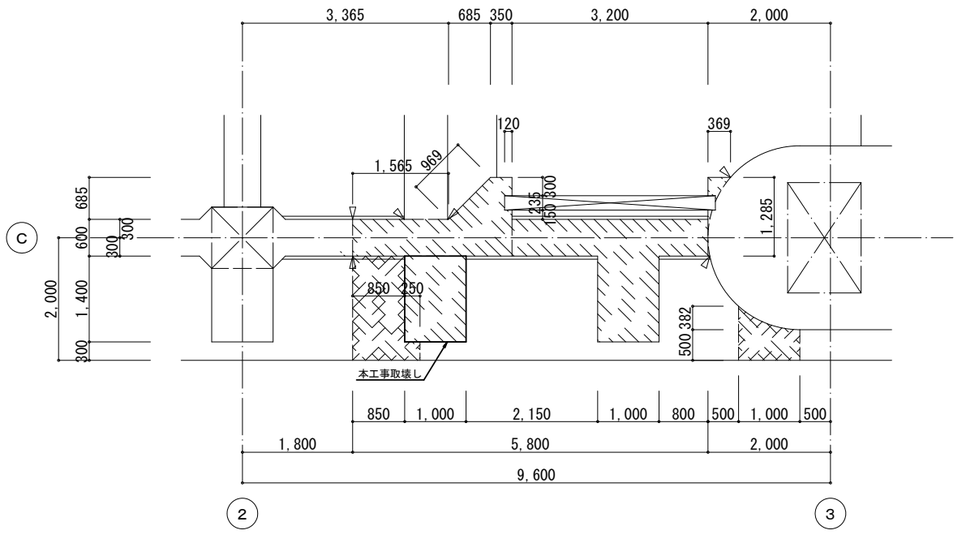
図面番号	2D-17	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－２改造図（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

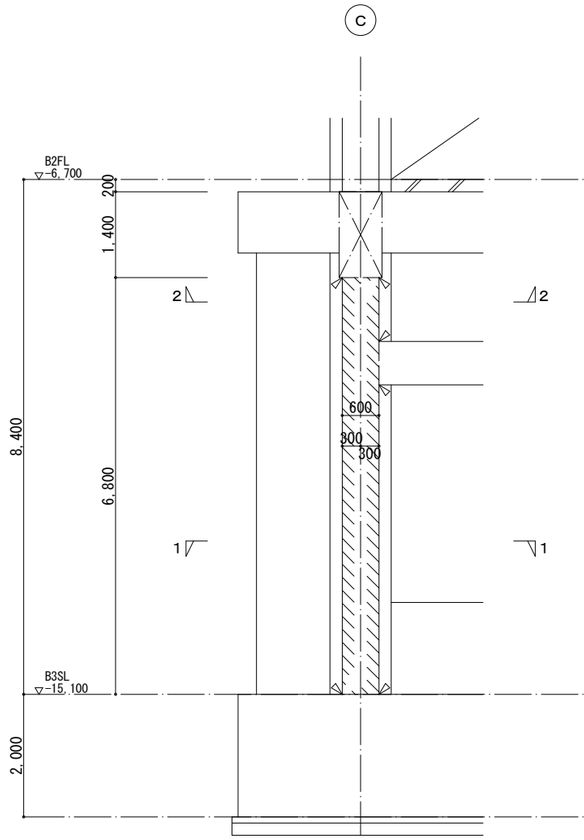
改修前



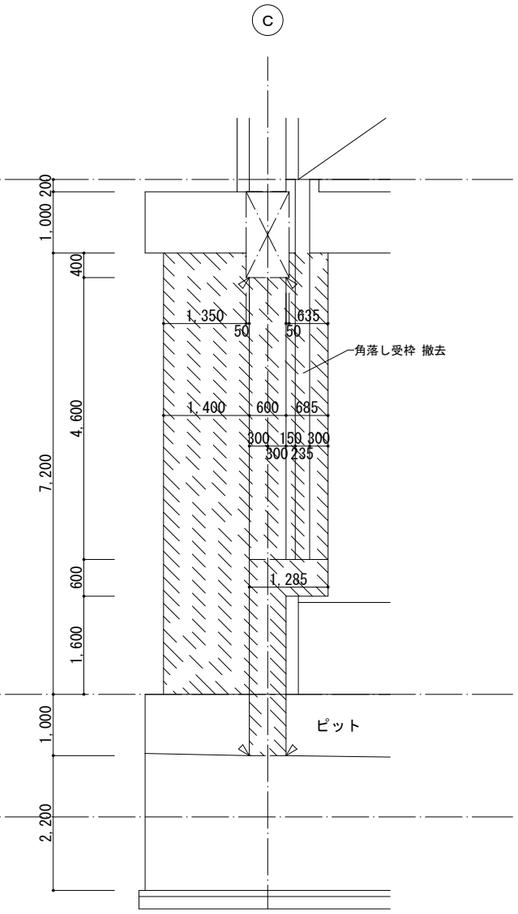
１－１平面図　　1/50



２－２平面図（見上げ）1/50



Ａ－Ａ断面図　　1/50



Ｂ－Ｂ断面図　　1/50

【凡例】

1、図中 ▷ は、カッター位置を示す。 ※将来工事

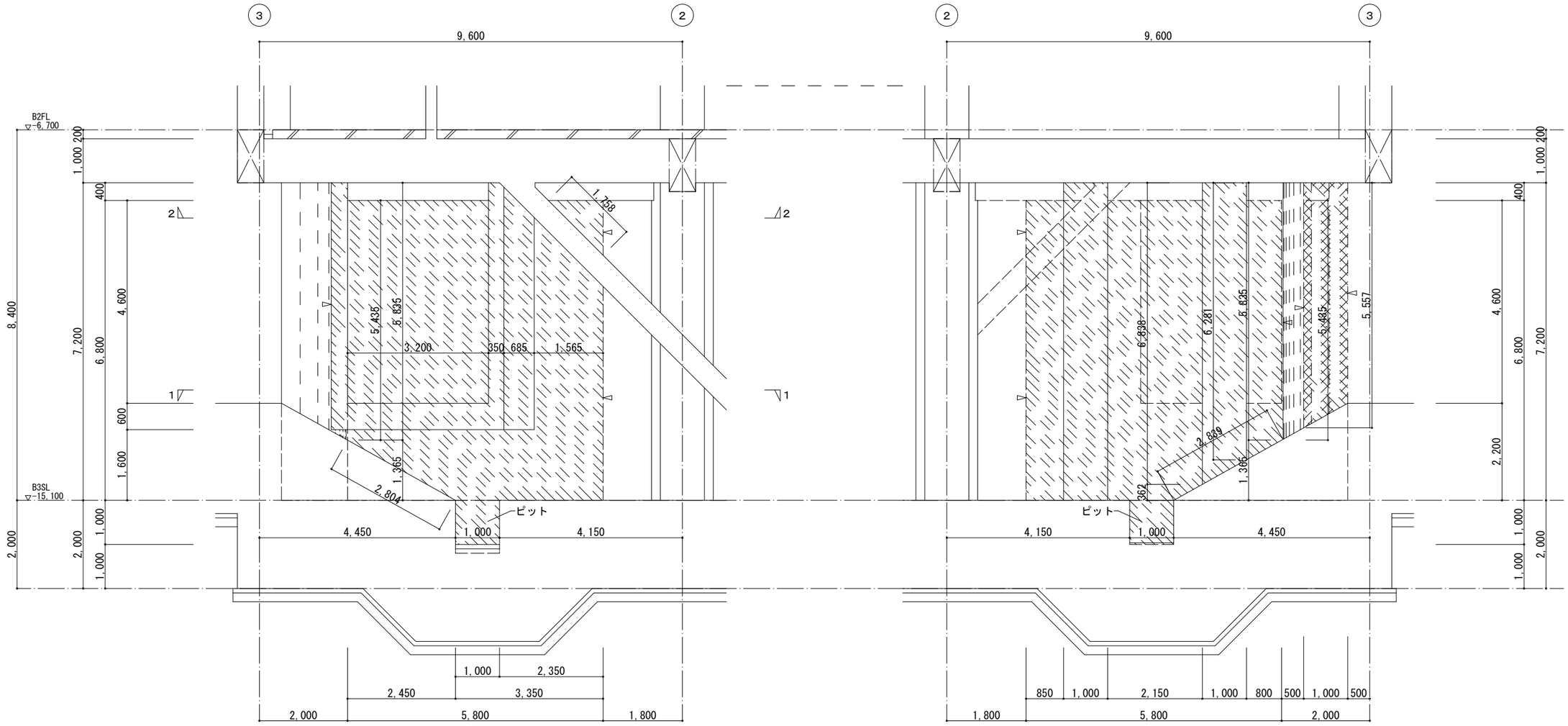
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▨ は、目荒し範囲を示す。

図面番号	2D-18	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B3K－2改造図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



C－C断面図　1/50

D－D断面図　1/50

【凡例】

1、図中 ▷ は、カッター位置を示す。

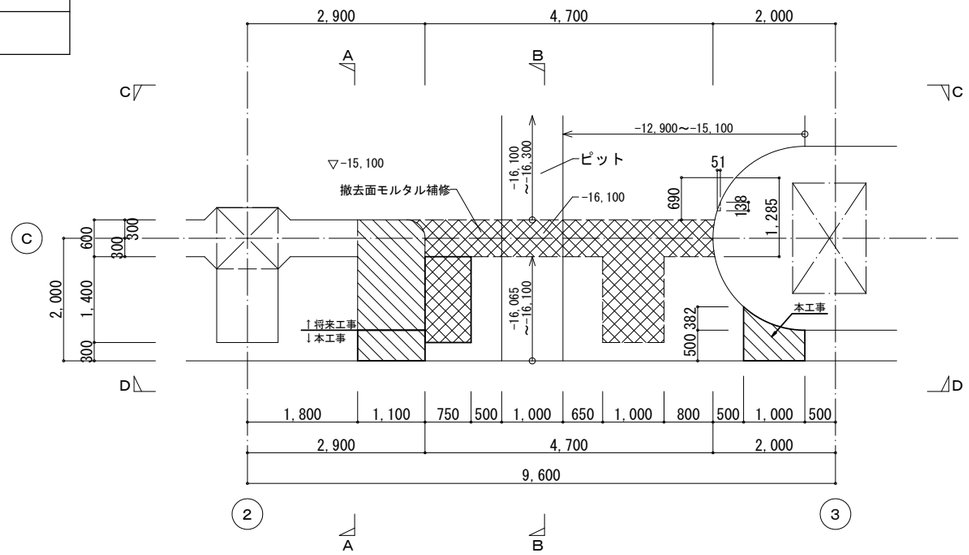
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▨ は、目荒し範囲を示す。

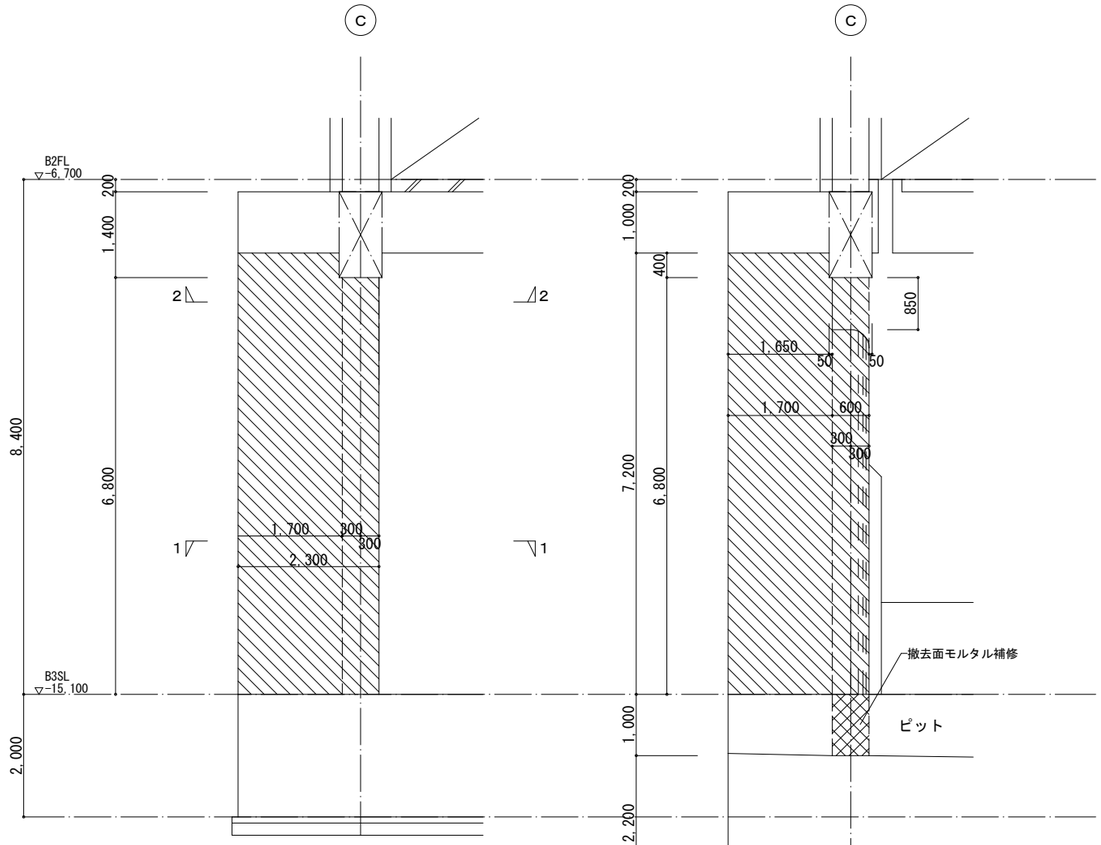
図面番号	2D-19	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B3K－2改造図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後

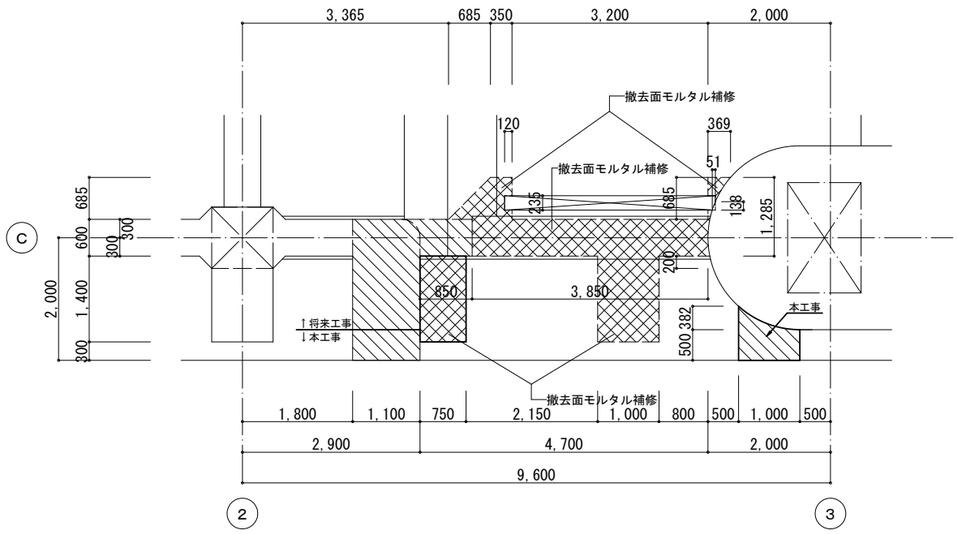


1－1平面図　1/50



A－A断面図　1/50

B－B断面図　1/50



2－2平面図（見上げ）1/50

【凡例】

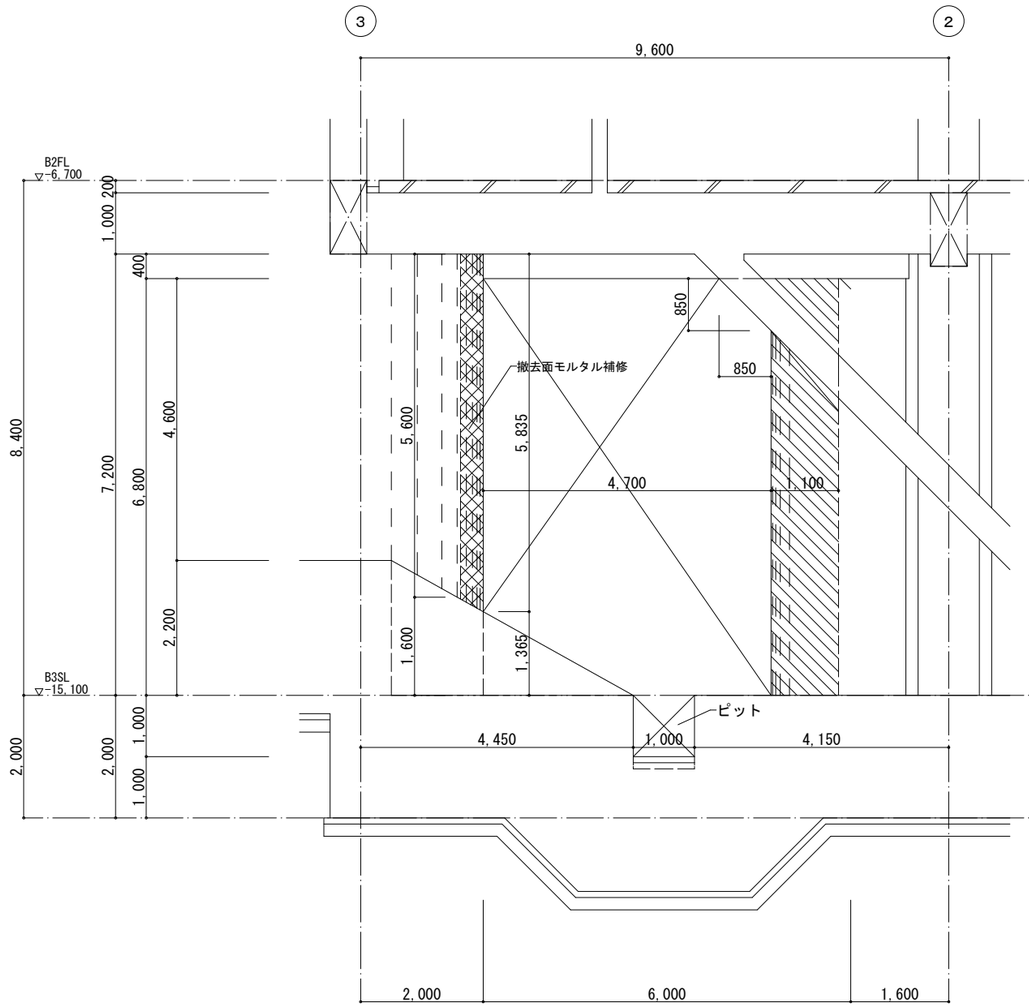
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

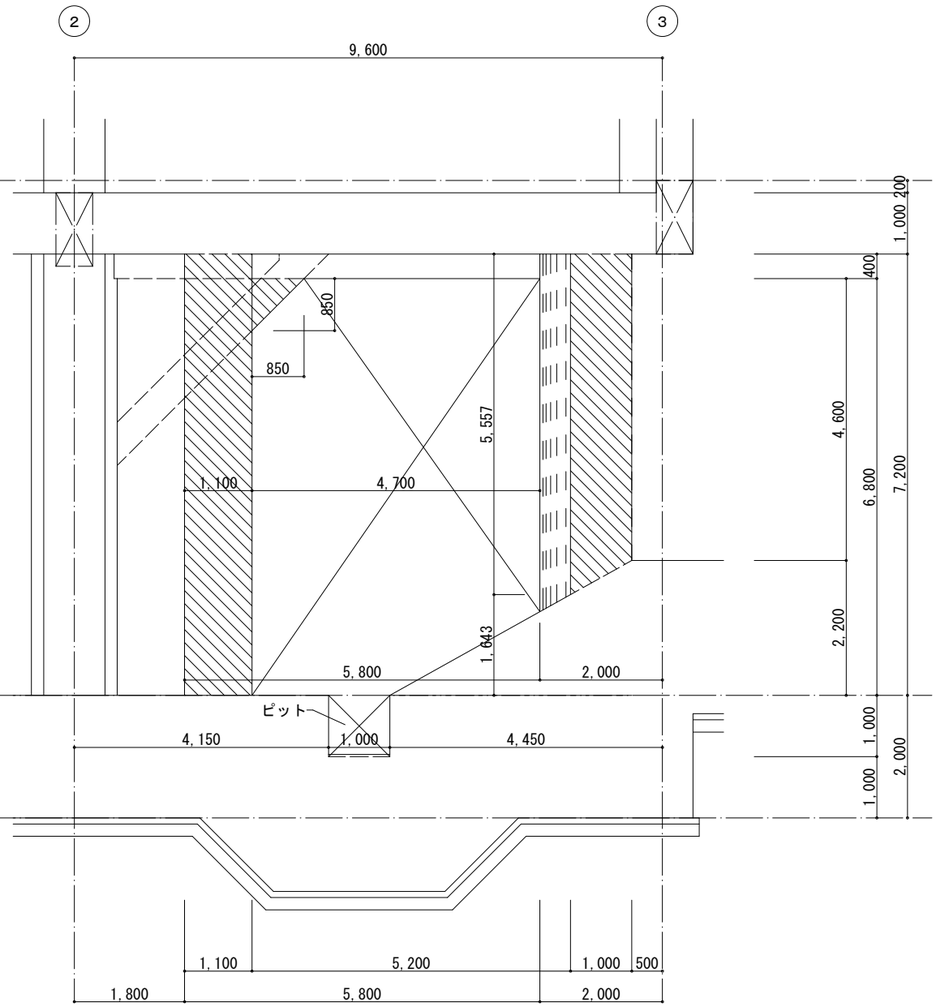
図面番号	2D-20	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B3K－2改造図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

改修後

原図サイズ：A1



C－C断面図　　1/50



D－D断面図　　1/50

【凡例】

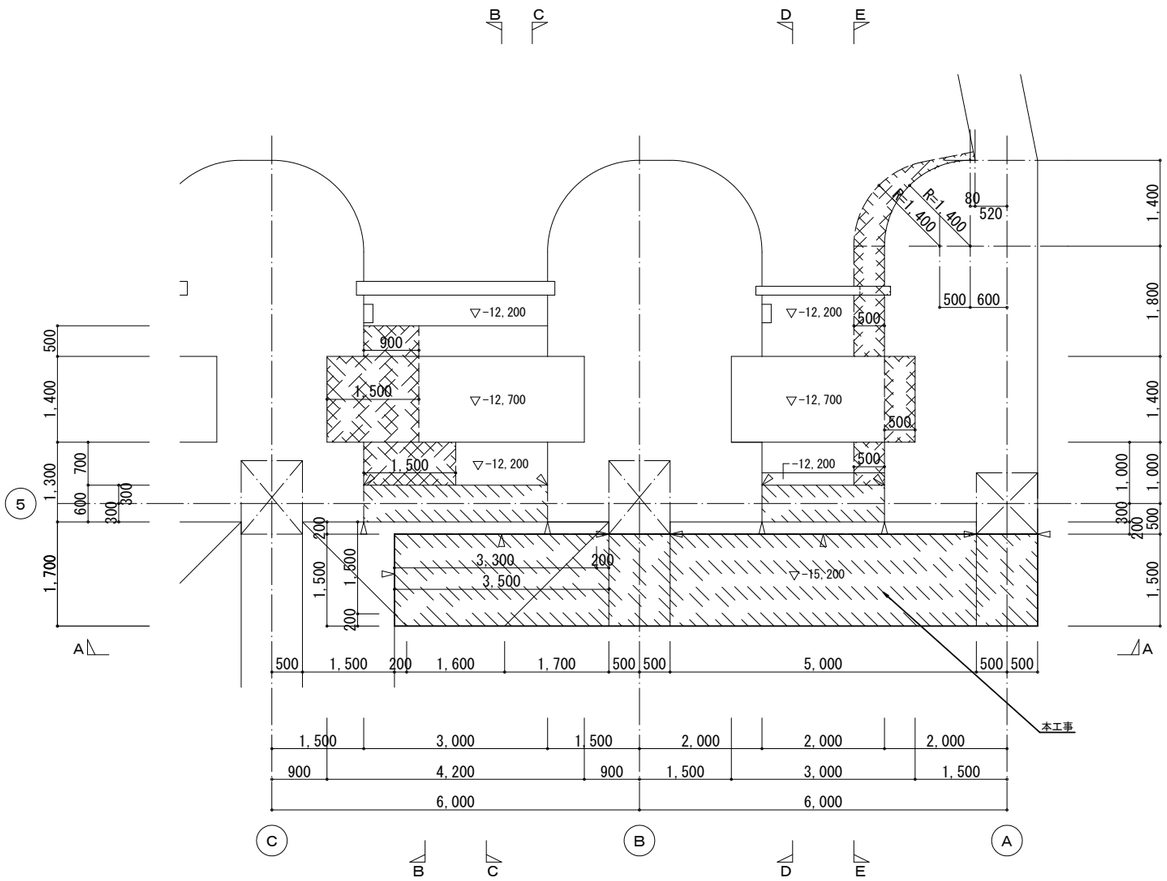
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

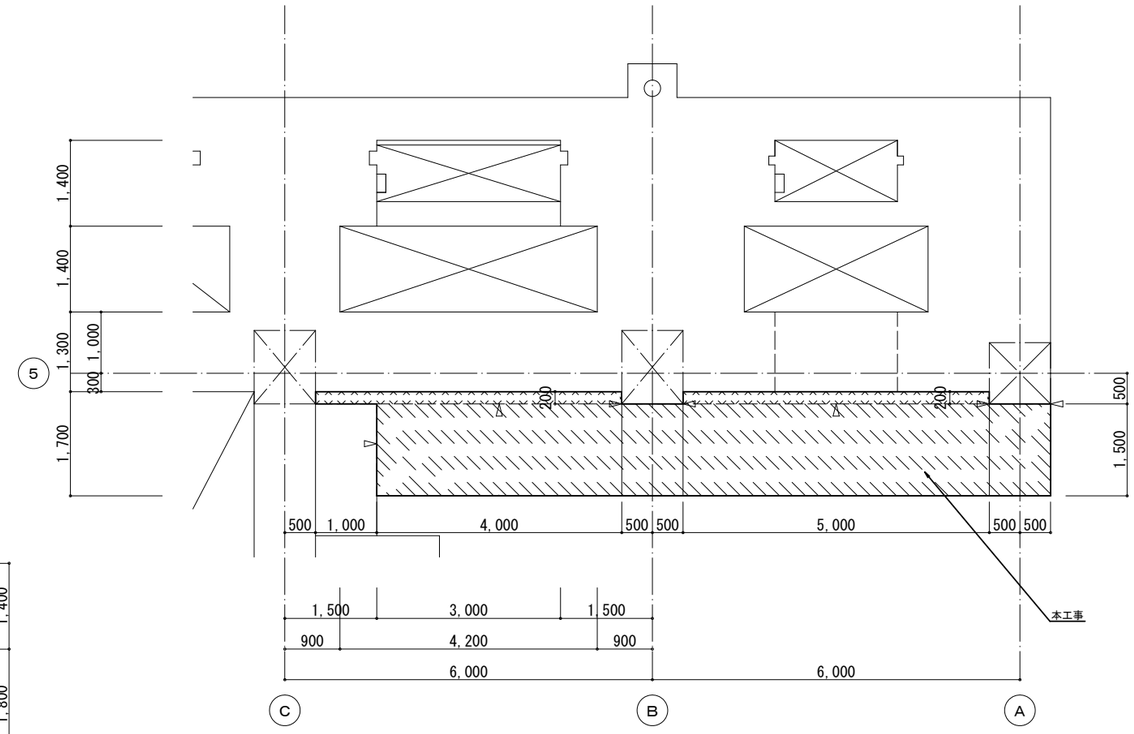
図面番号	2D-21	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B3K－3改造図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

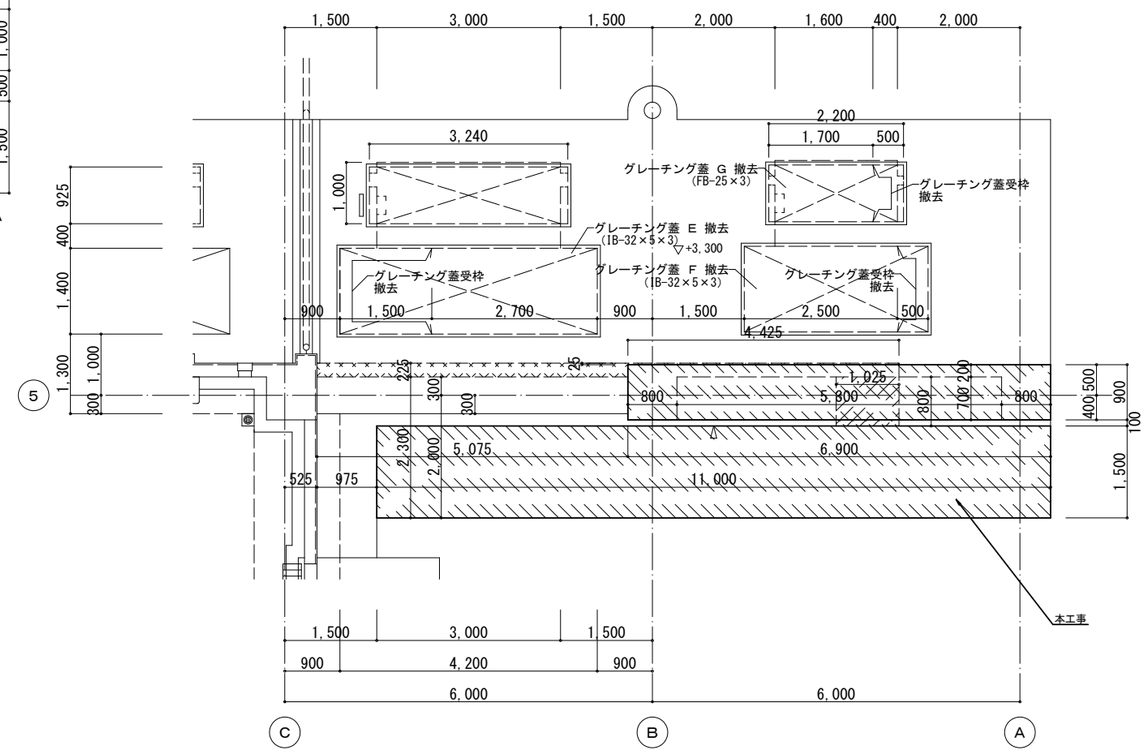
改修前



1－1平面図　1/50



2－2平面図（見上げ）1/50



3－3平面図　1/50

【凡例】

1、図中 ▷ は、カッター位置を示す。

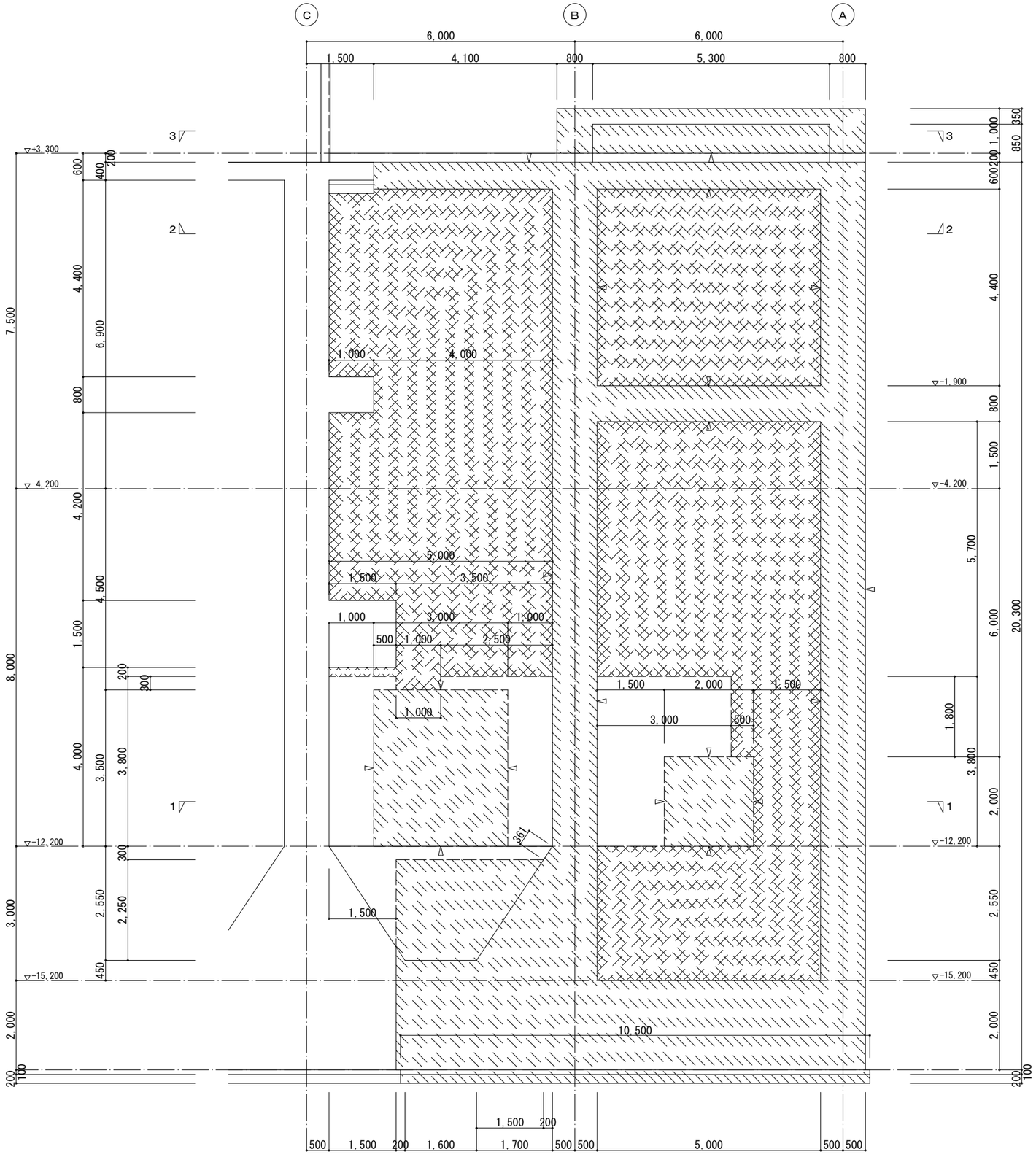
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▩ は、目荒し範囲を示す。

図面番号	2D-22	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－３改造図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



A－A断面図　　1/50

【凡例】

1、図中 ▷ は、カッター位置を示す。

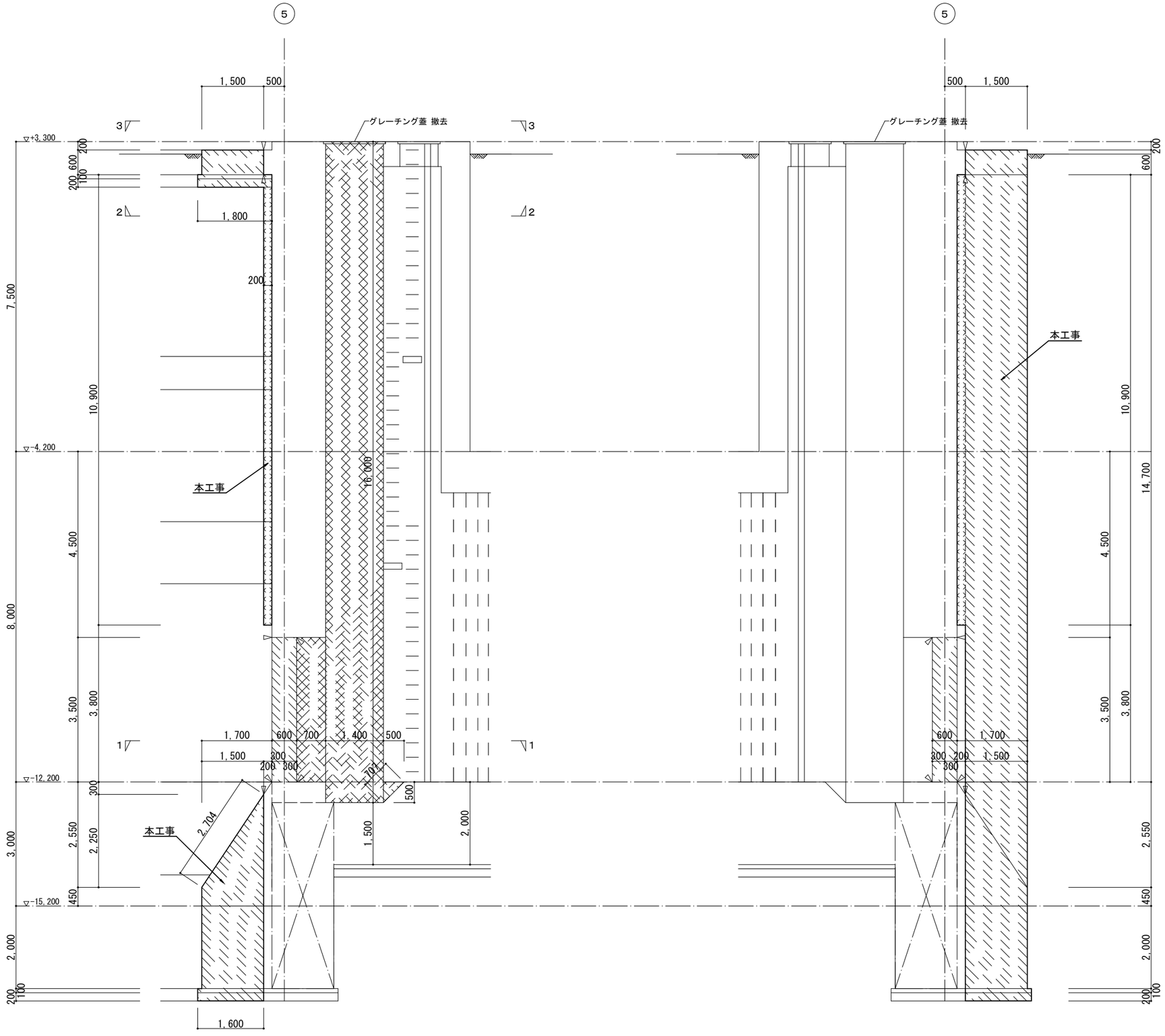
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▨ は、目荒し範囲を示す。

改修前

図面番号	2D-23	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B３K－３改造図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



B－B断面図　　1/50

C－C断面図　　1/50

【凡例】

1、図中 ▷ は、カッター位置を示す。

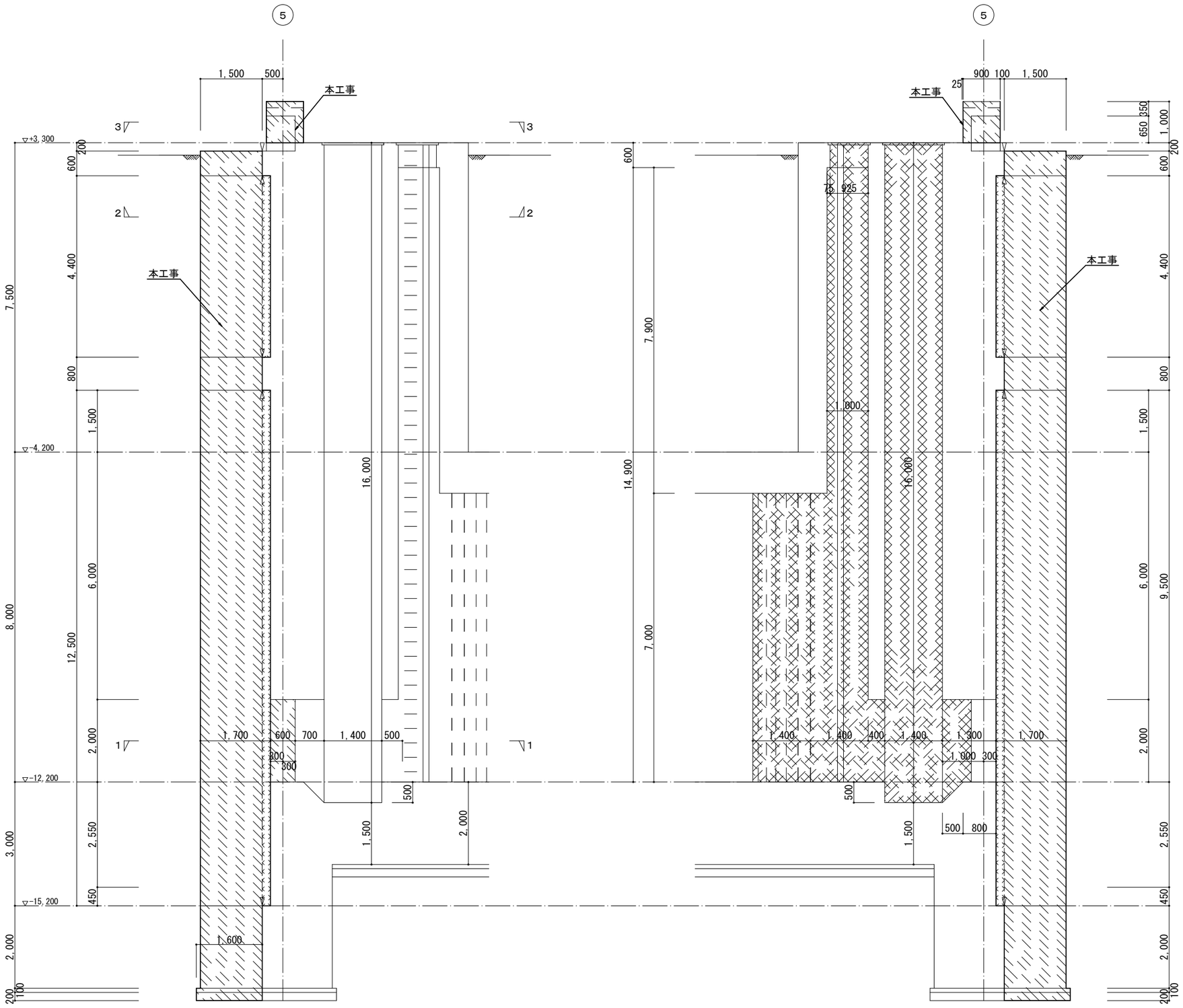
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▨ は、目荒し範囲を示す。

図面番号	2D-24	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－３改造図（４）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



Ｄ－Ｄ断面図　　1/50

Ｅ－Ｅ断面図　　1/50

【凡例】

1、図中 ▷ は、カッター位置を示す。

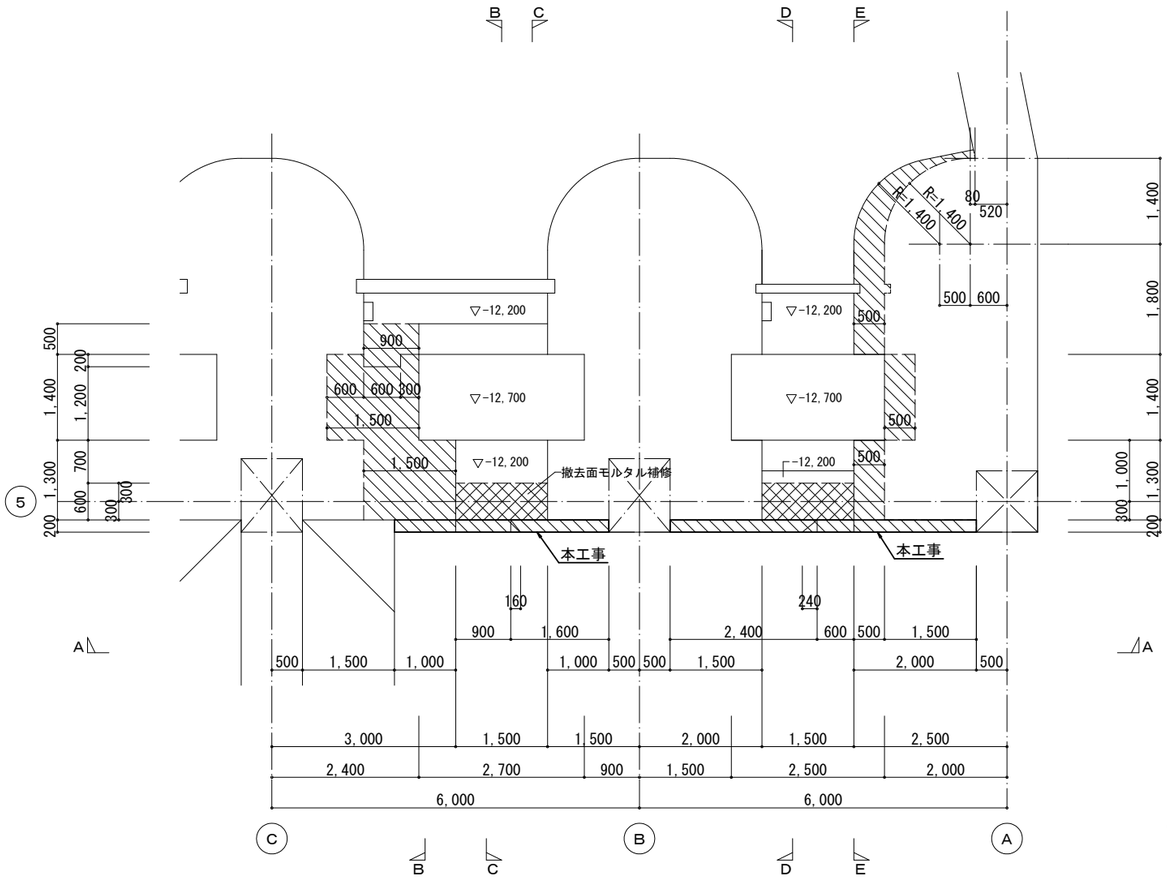
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▨ は、目荒し範囲を示す。

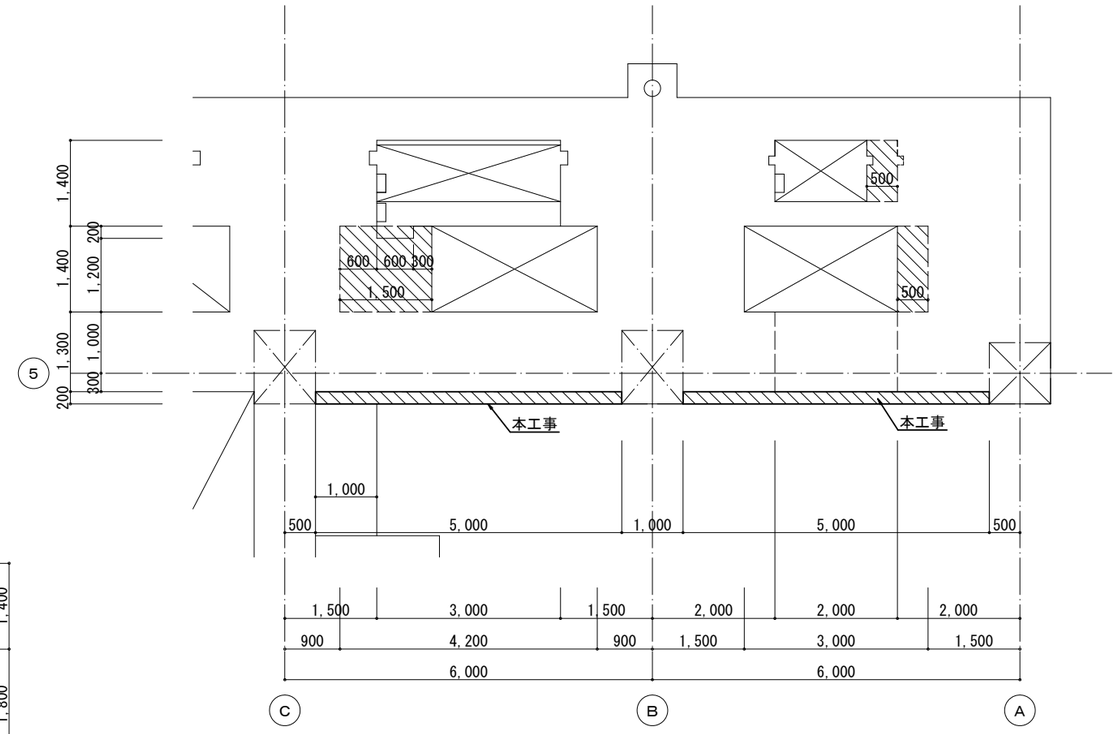
図面番号	2D-25	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B3K－3改造図（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

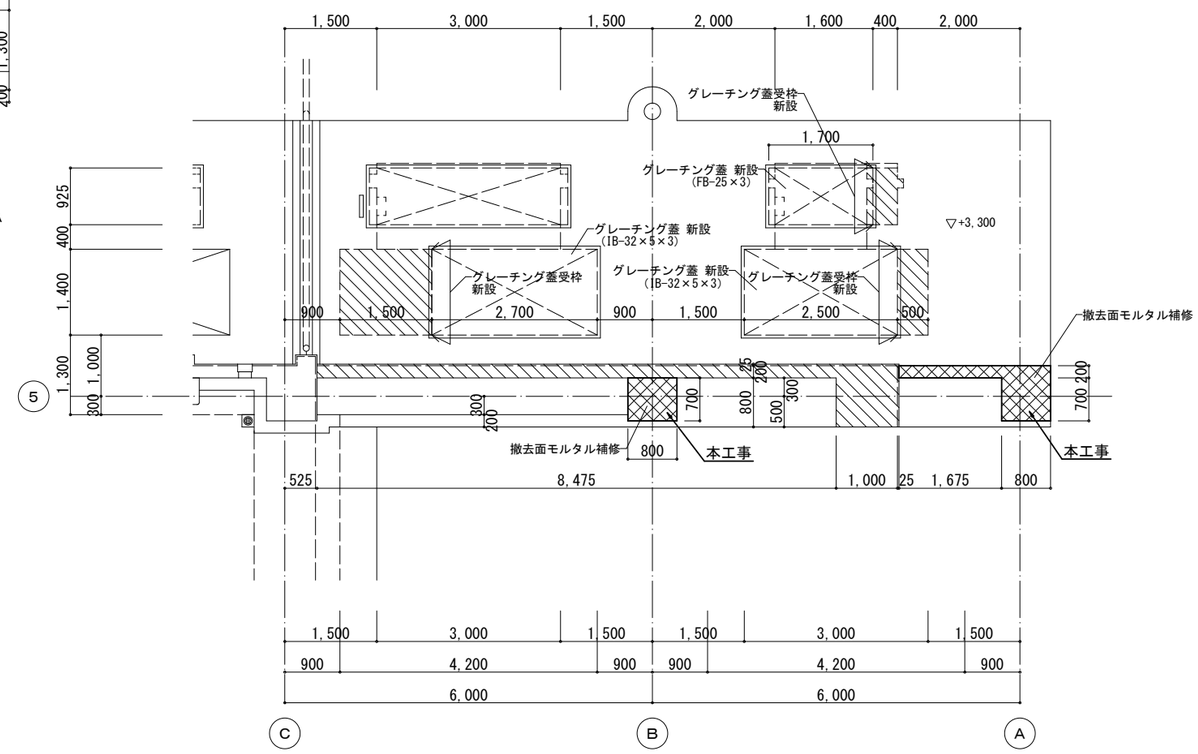
改修後



1－1平面図　1/50



2－2平面図（見上げ）1/50



3－3平面図　1/50

【凡例】

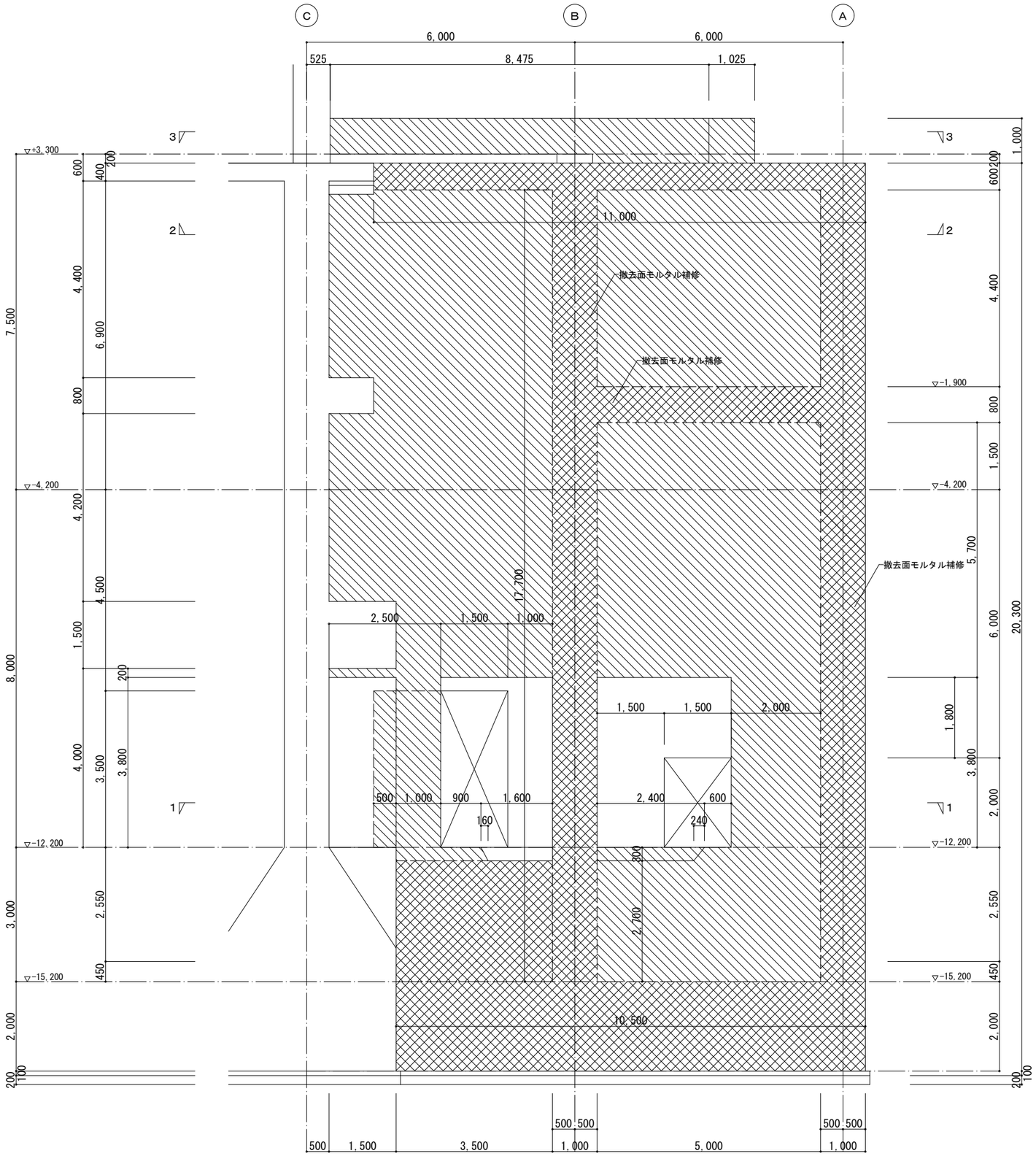
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

図面番号	2D-26	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－３改造図（６）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



【凡例】

1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

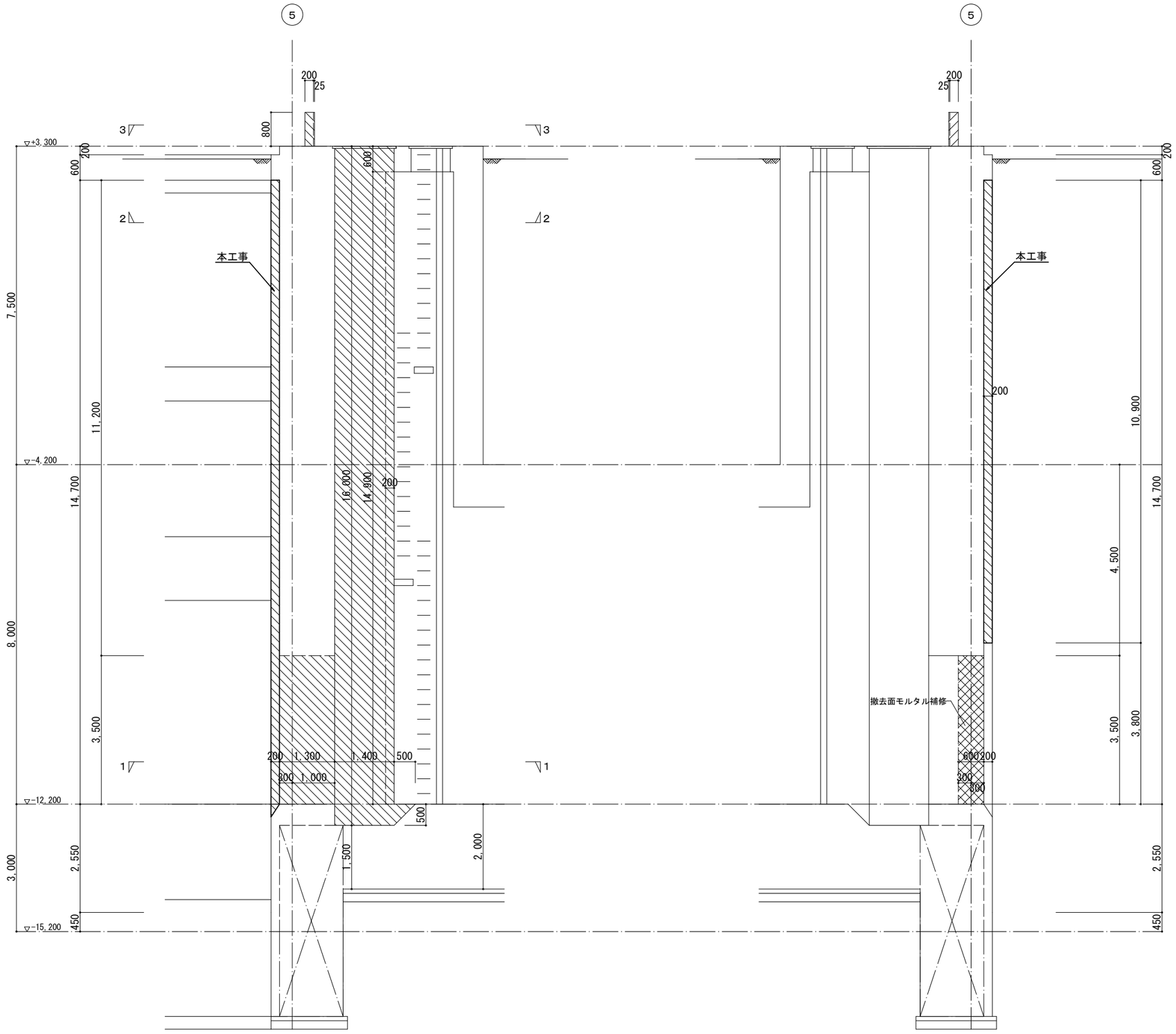
2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

Ａ－Ａ断面図　　1/50

図面番号	2D-27	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－３改造図（７）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



Ｂ－Ｂ断面図　　1/50

Ｃ－Ｃ断面図　　1/50

【凡例】

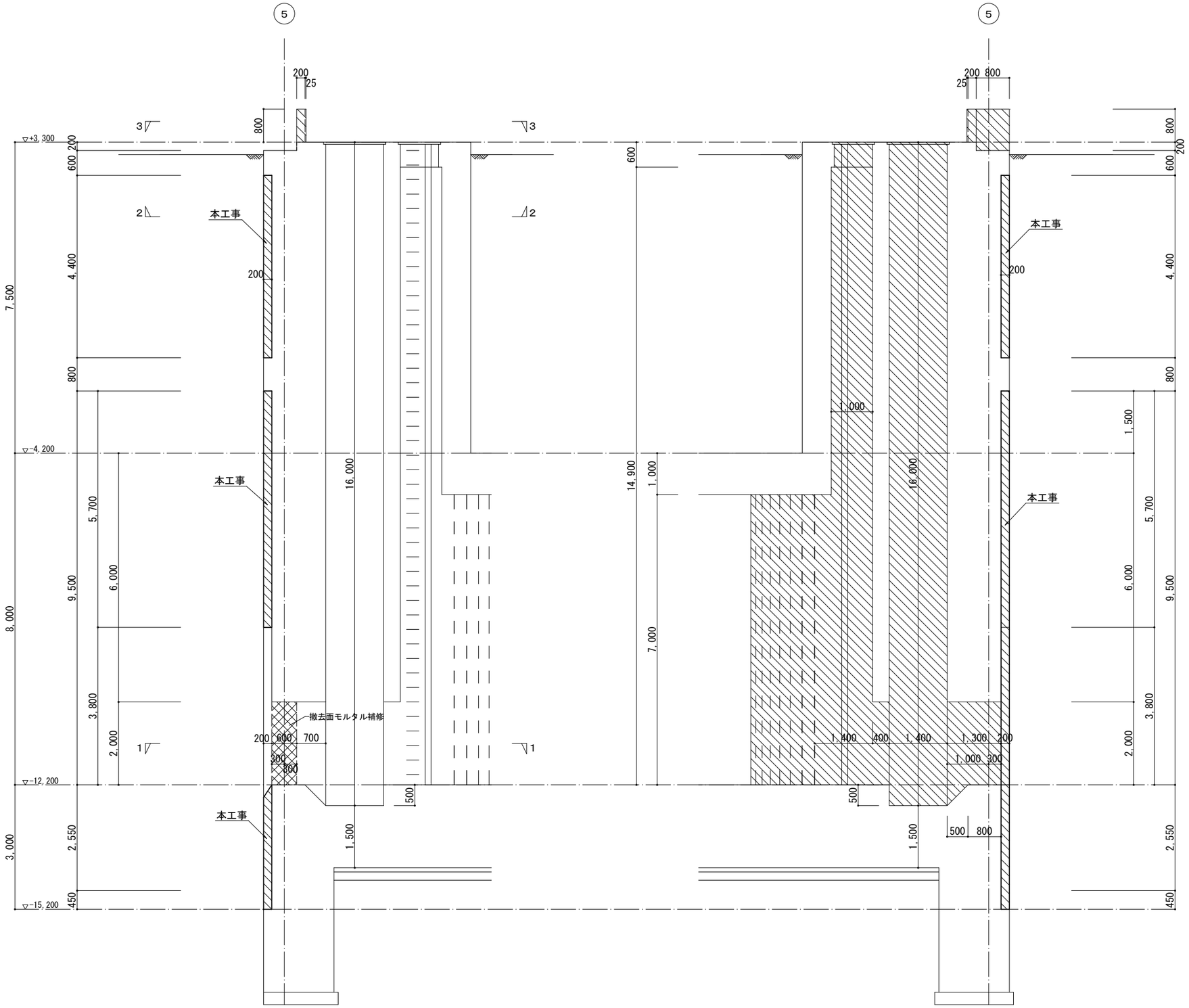
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

図面番号	2D-28	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ３Ｋ－３改造図（８）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修後



Ｄ－Ｄ断面図　　1/50

Ｅ－Ｅ断面図　　1/50

【凡例】

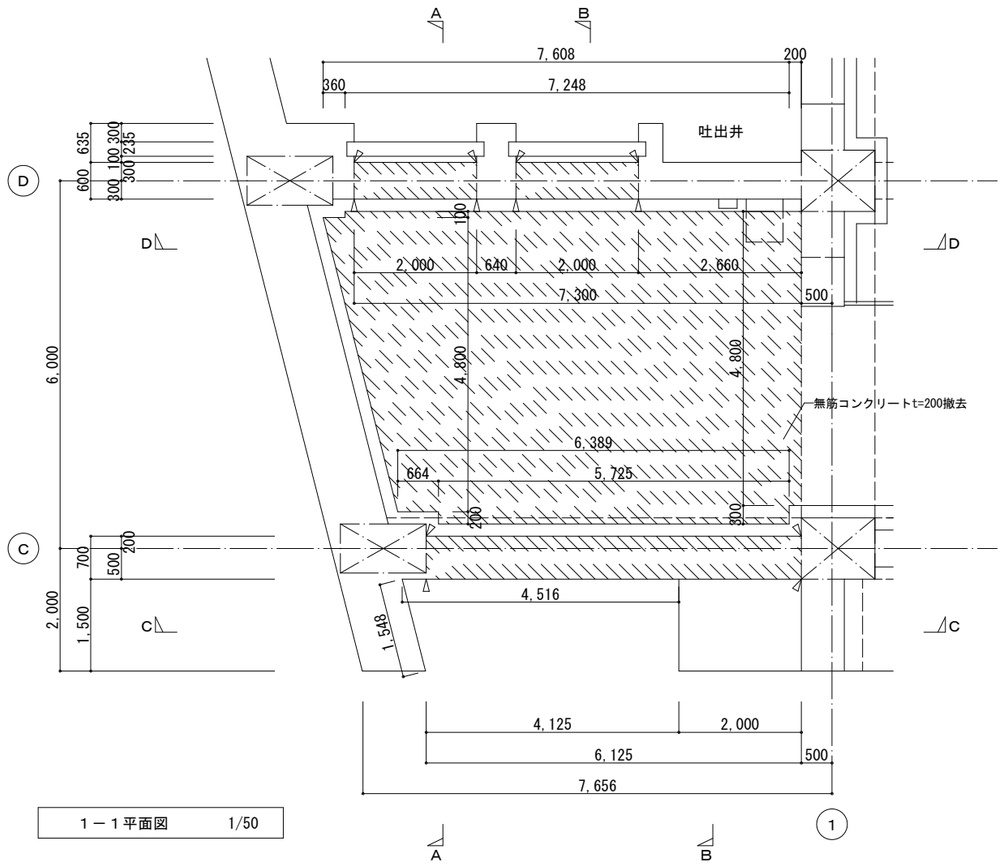
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

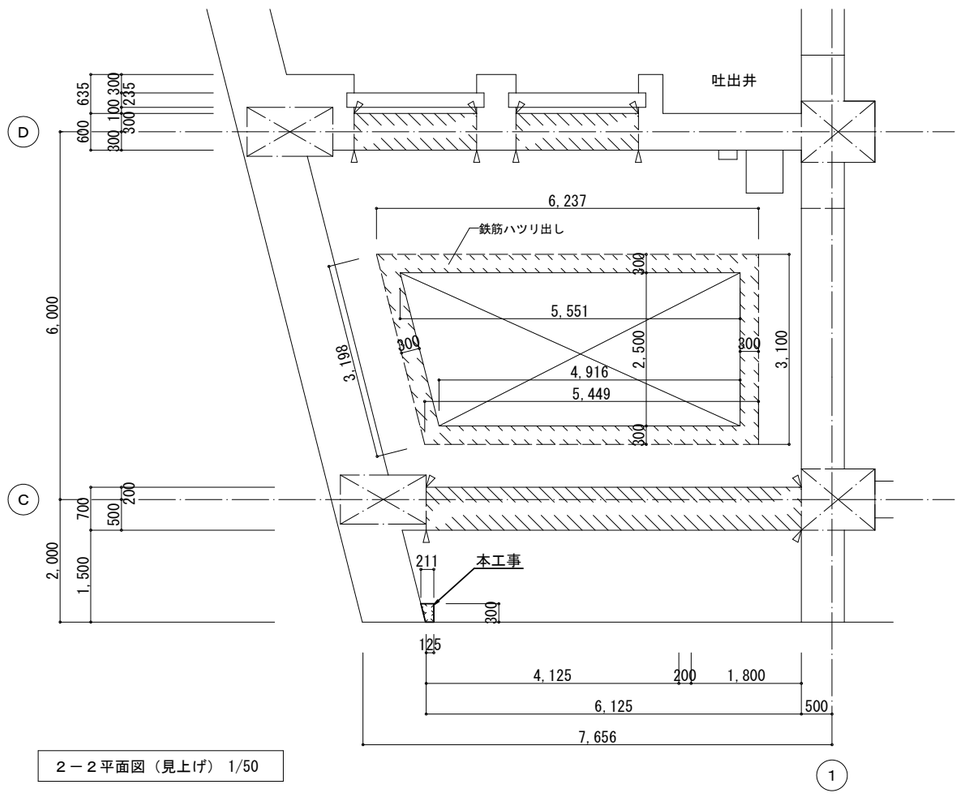
図面番号	2D-29	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ２Ｋ－１改造図（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

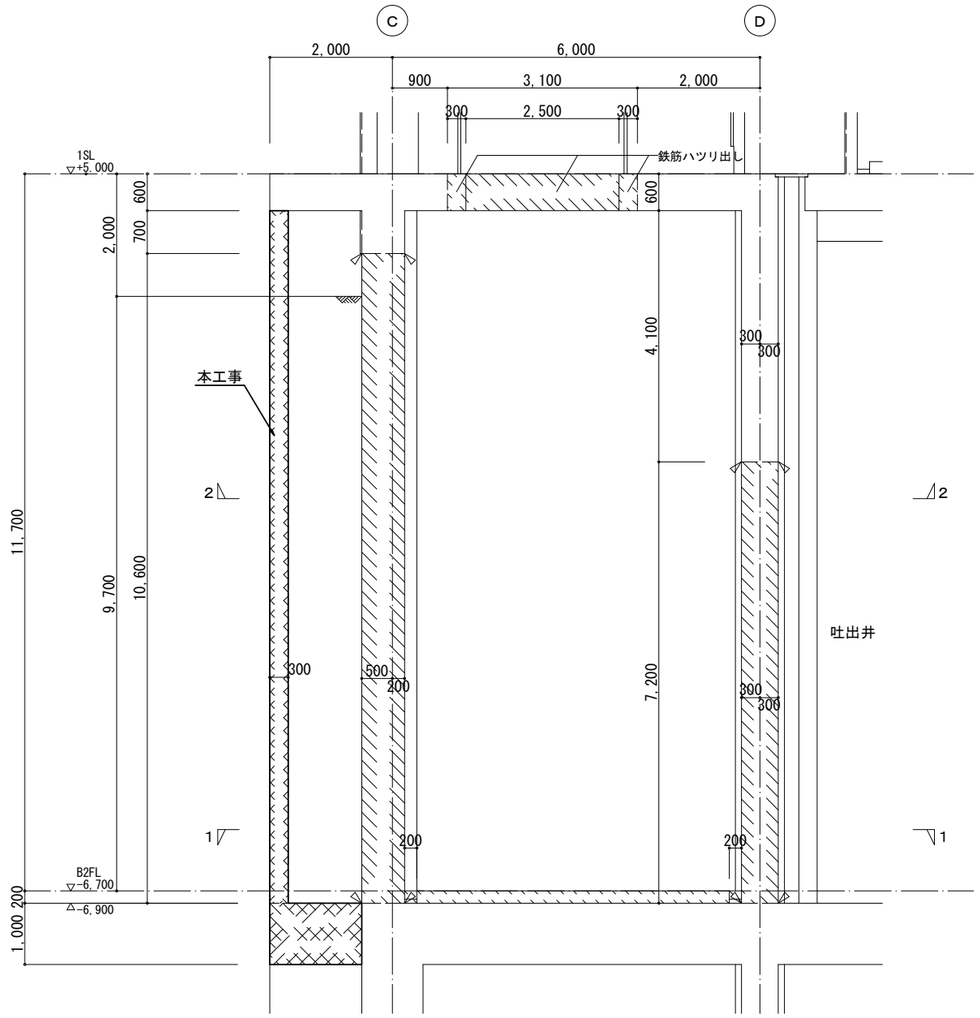
改修前



１－１平面図　　1/50



２－２平面図（見上げ）1/50



Ａ－Ａ断面図　　1/50

【凡例】

1．図中 ▷ は、カッター位置を示す。

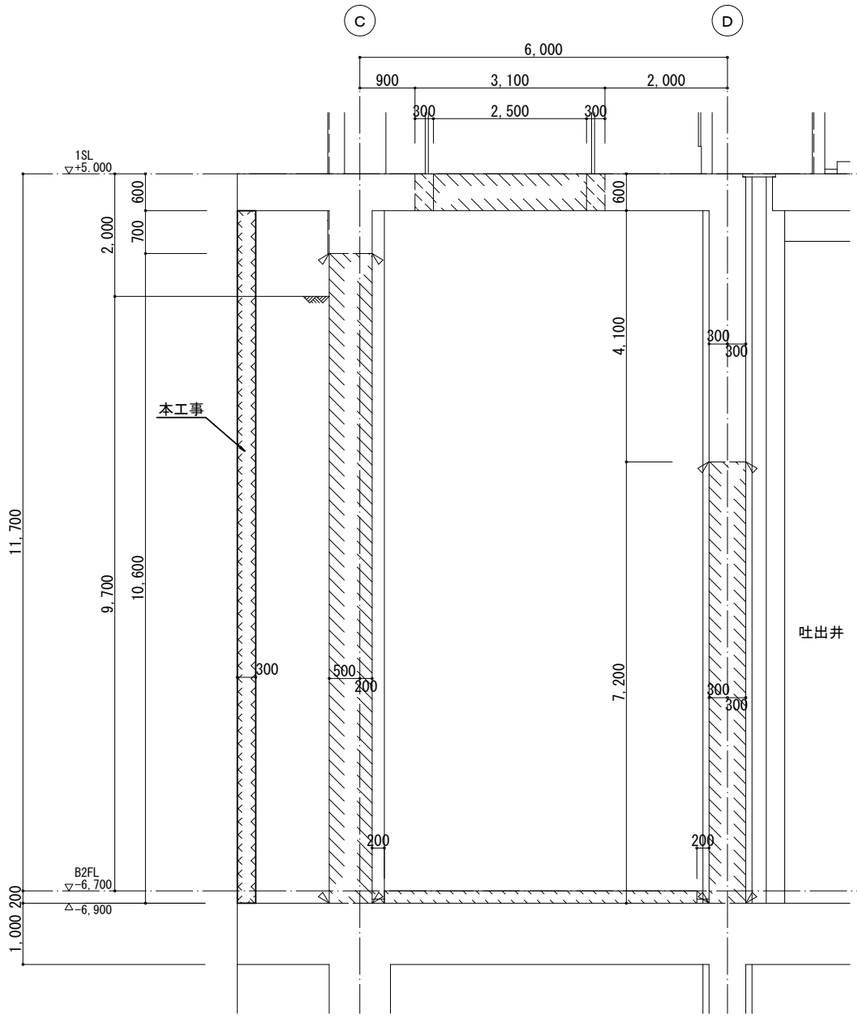
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▩ は、目荒し範囲を示す。

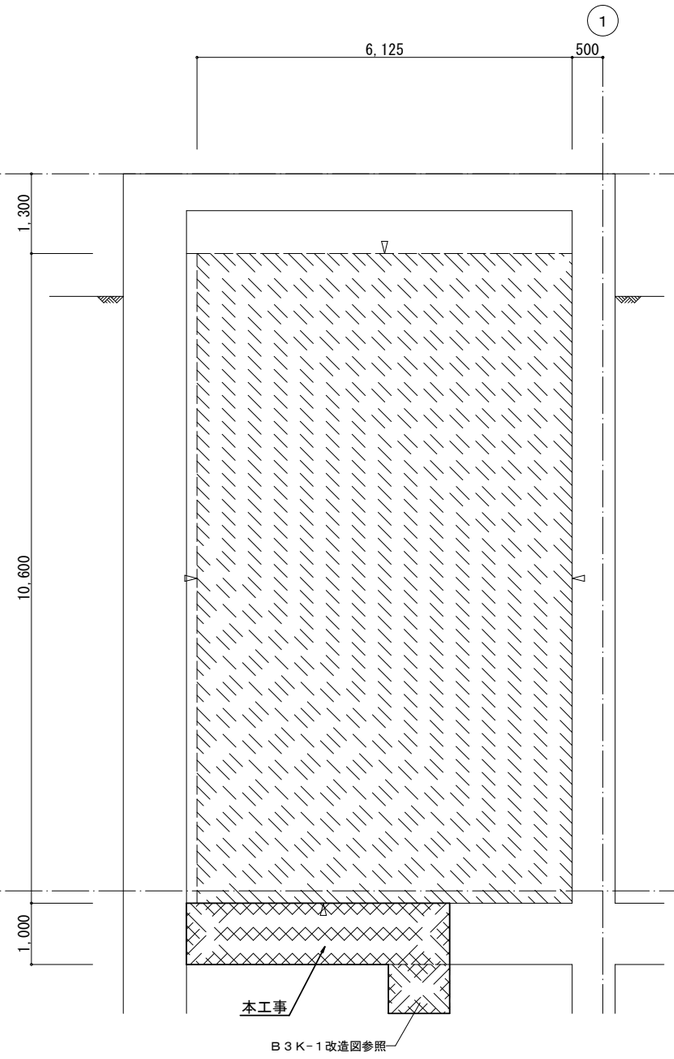
図面番号	2D-30	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ２Ｋ－１改造図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

改修前

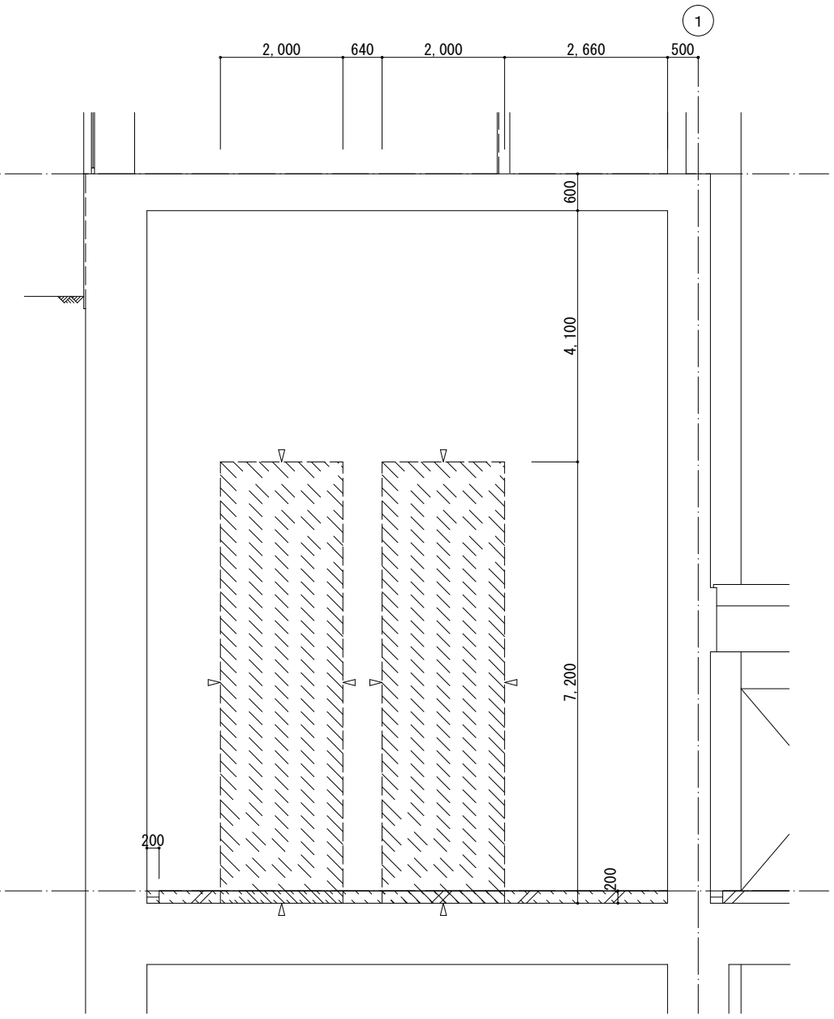
原図サイズ：A1



Ｂ－Ｂ断面図　　1/50



Ｃ－Ｃ断面図　　1/50



Ｄ－Ｄ断面図　　1/50

【凡例】

1．図中 ▷ は、カッター位置を示す。

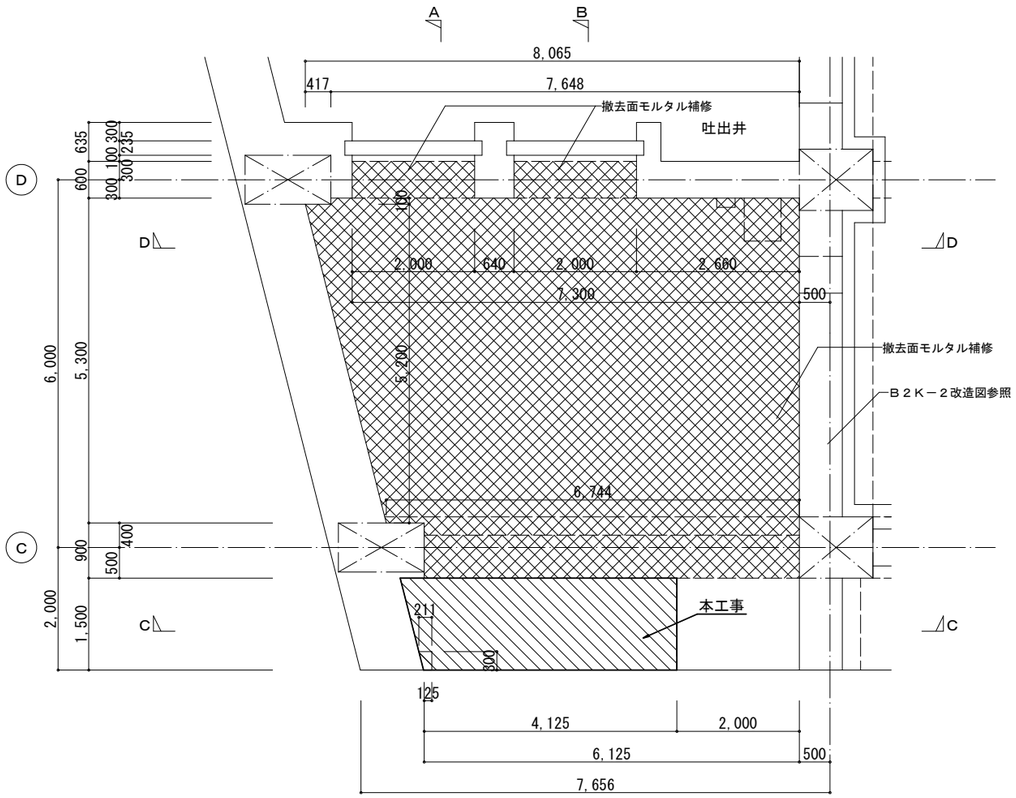
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▩ は、目荒し範囲を示す。

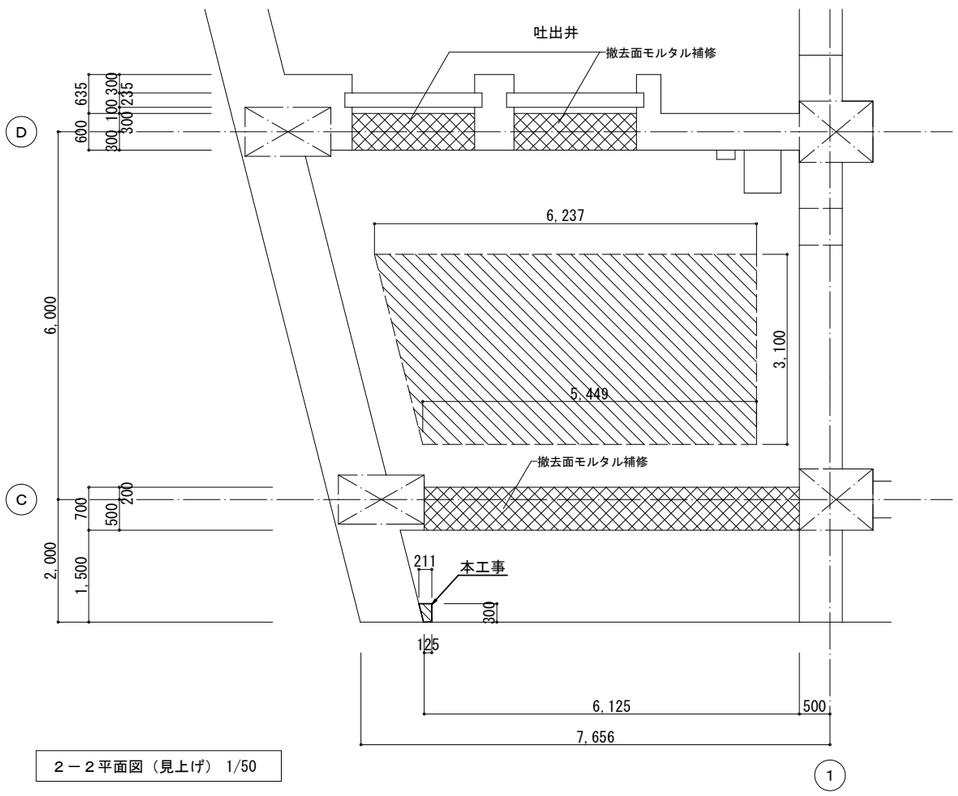
図面番号	2D-31	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ２Ｋ－１改造図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

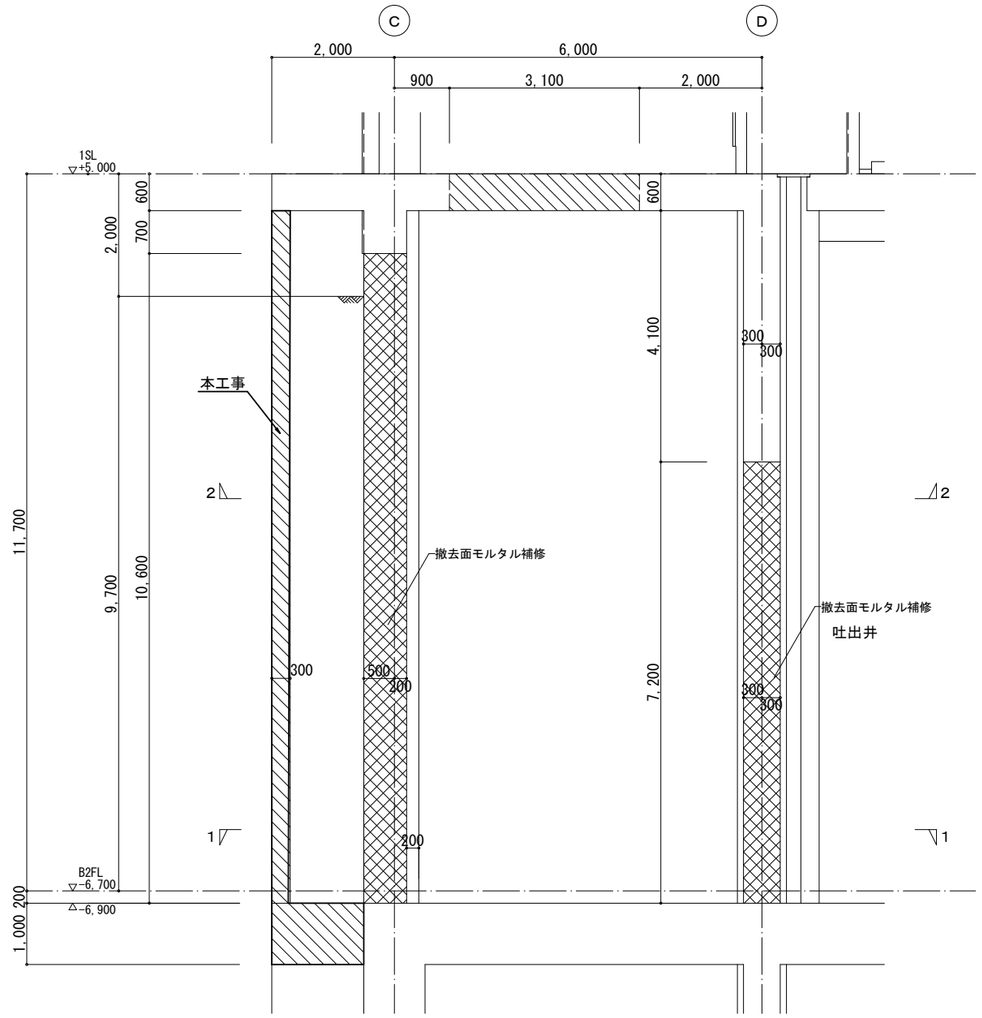
改修後



１－１平面図　1/50



２－２平面図（見上げ）1/50



Ａ－Ａ断面図　1/50

【凡例】

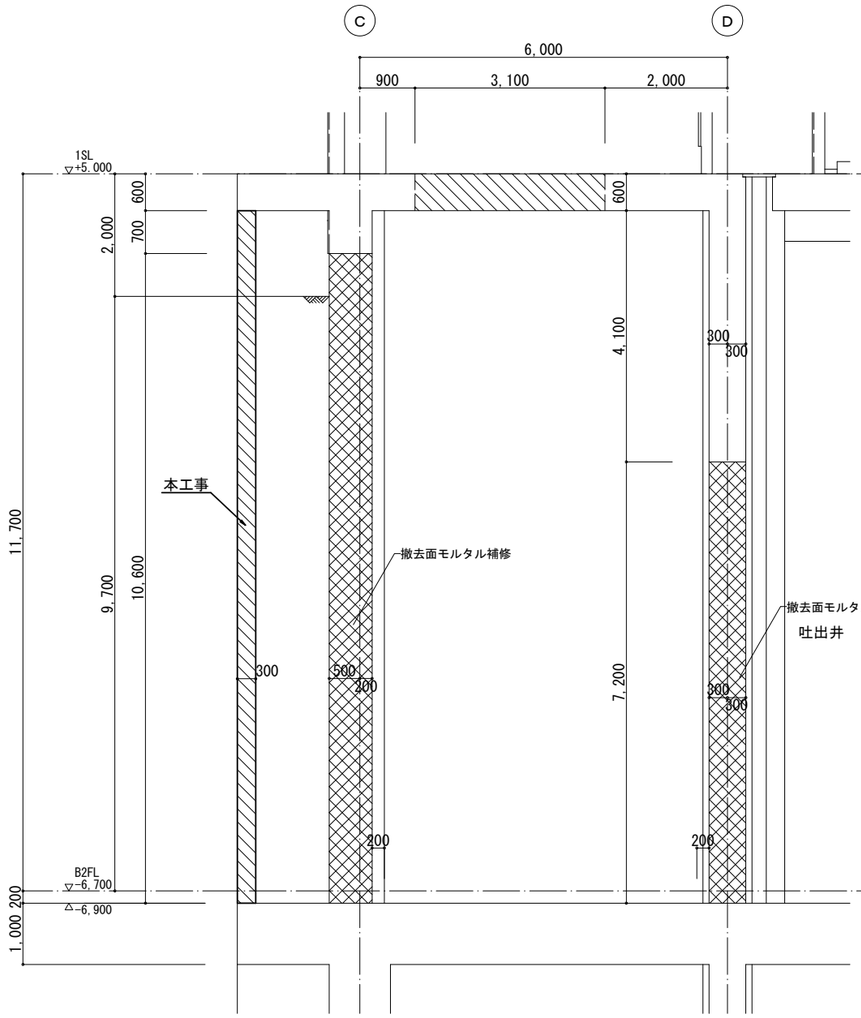
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

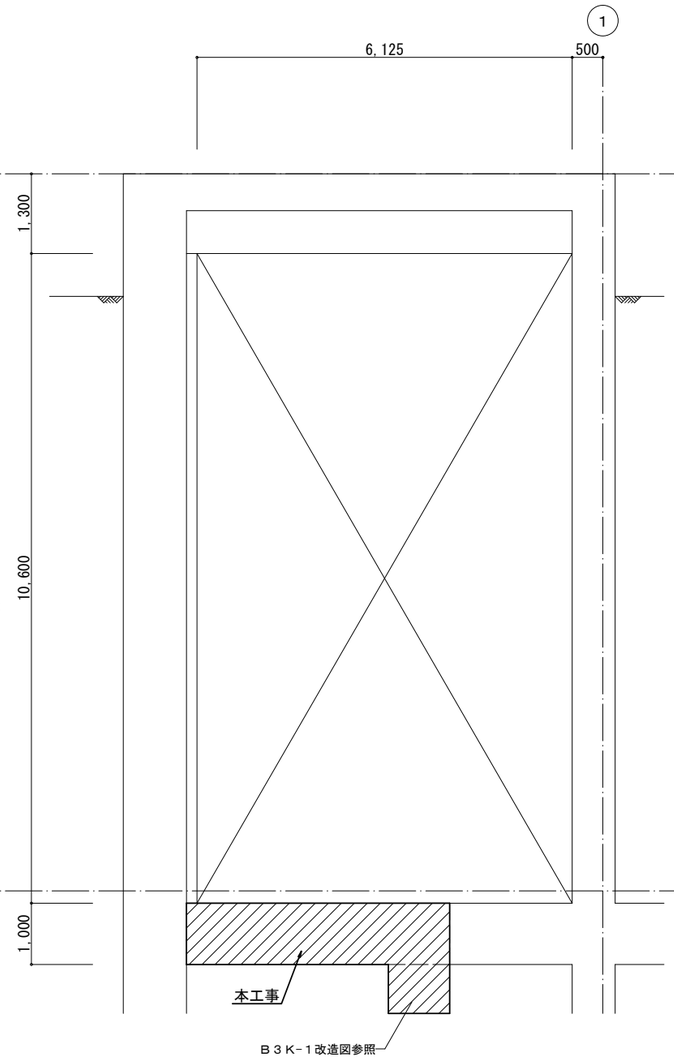
図面番号	2D-32	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ２Ｋ－１改造図（４）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

改修後

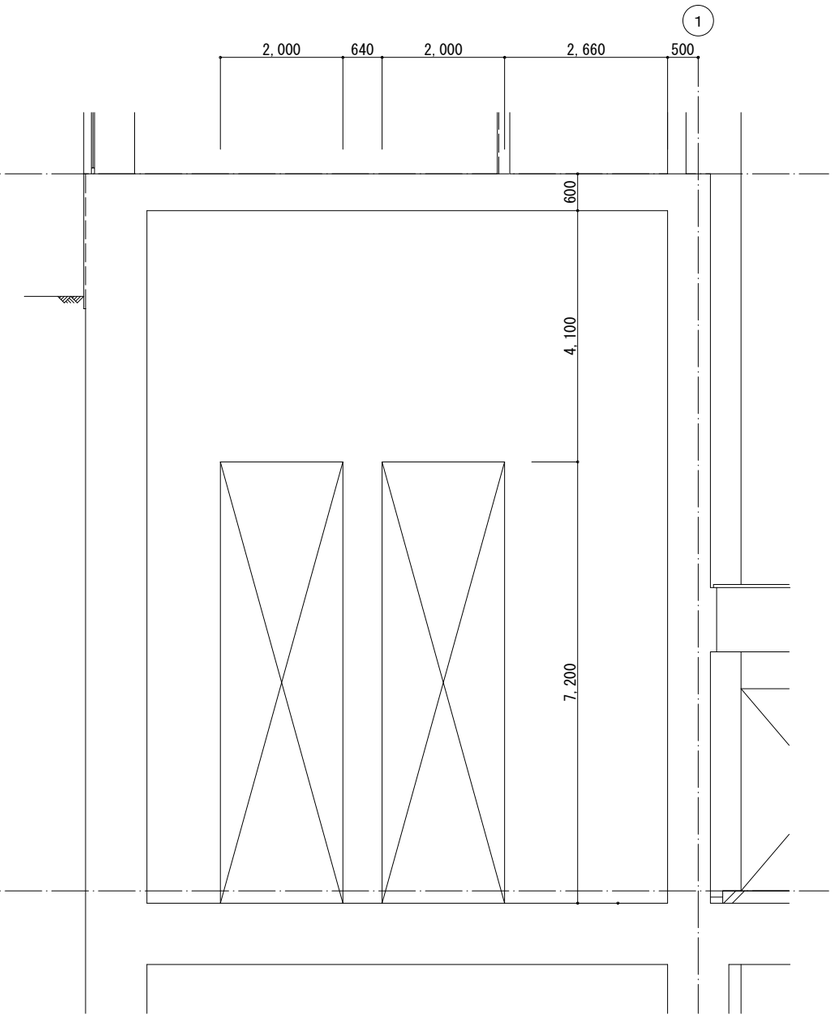
原図サイズ：A1



Ｂ－Ｂ断面図　　1/50



Ｃ－Ｃ断面図　　1/50



Ｄ－Ｄ断面図　　1/50

【凡例】

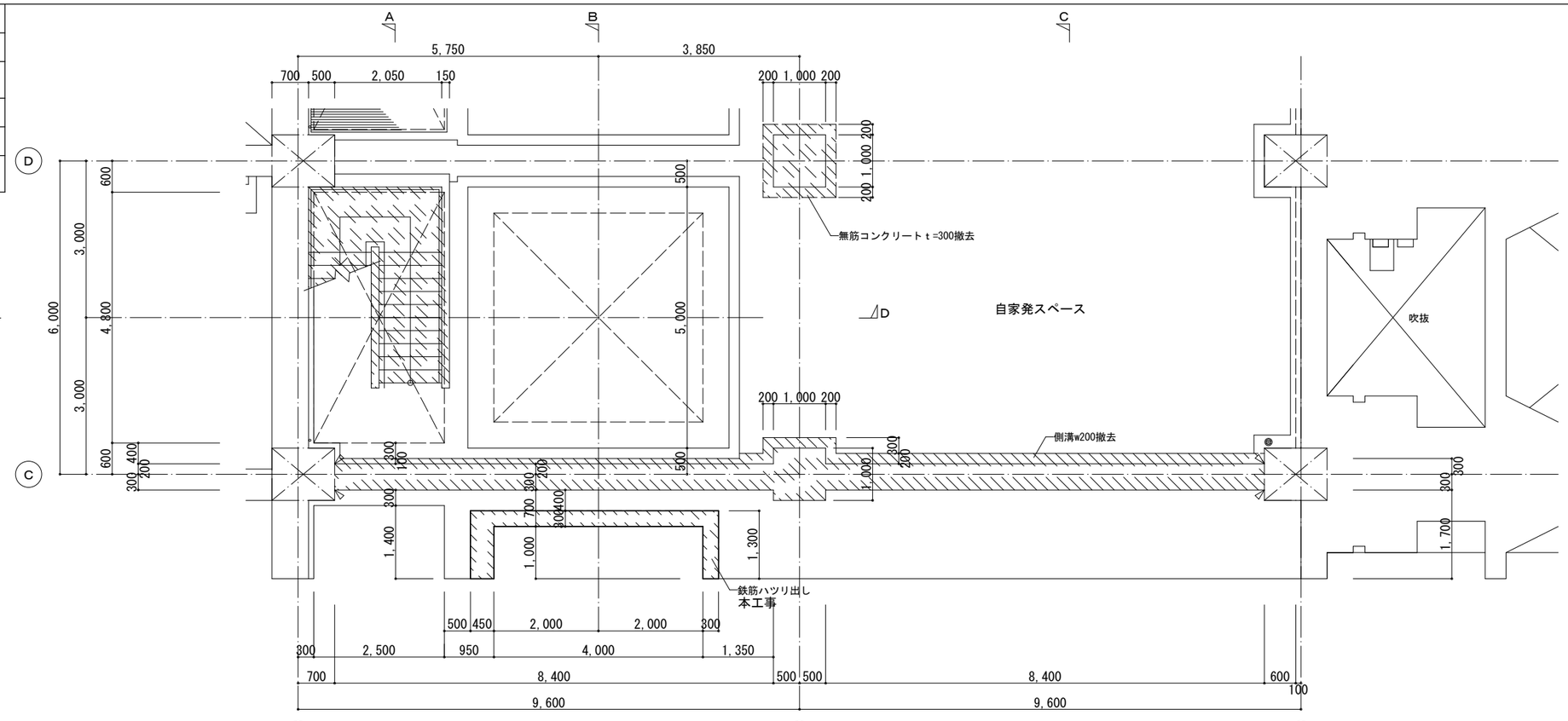
1．図中 ▨ は、躯体等新設範囲を示す。

2、図中 ▩ は、仕上復旧範囲を示す。

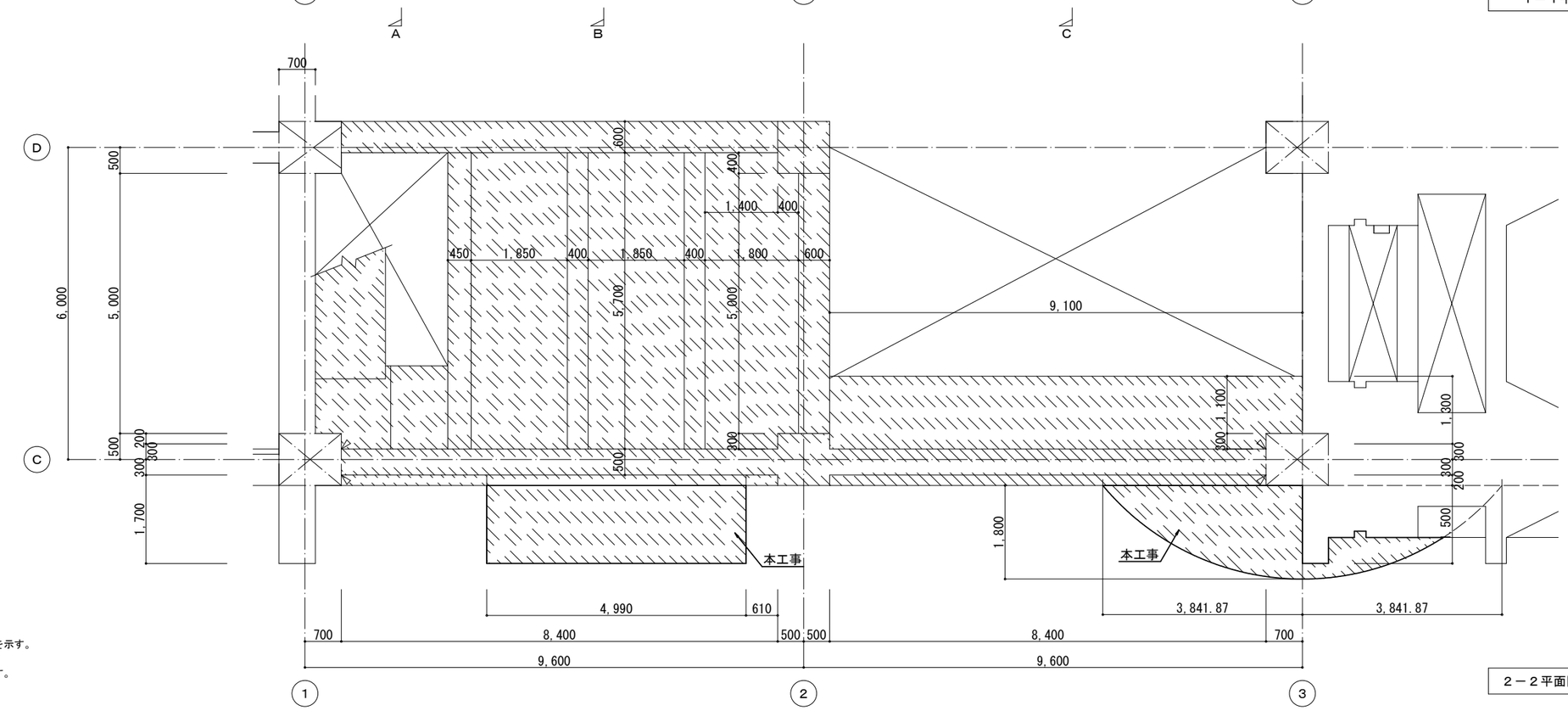
図面番号	2D-37	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ１Ｋ－１改造図（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

改修前



１－１平面図　　1/50



２－２平面図（見上げ）1/50

【凡例】

1．図中 ▷ は、カッター位置を示す。

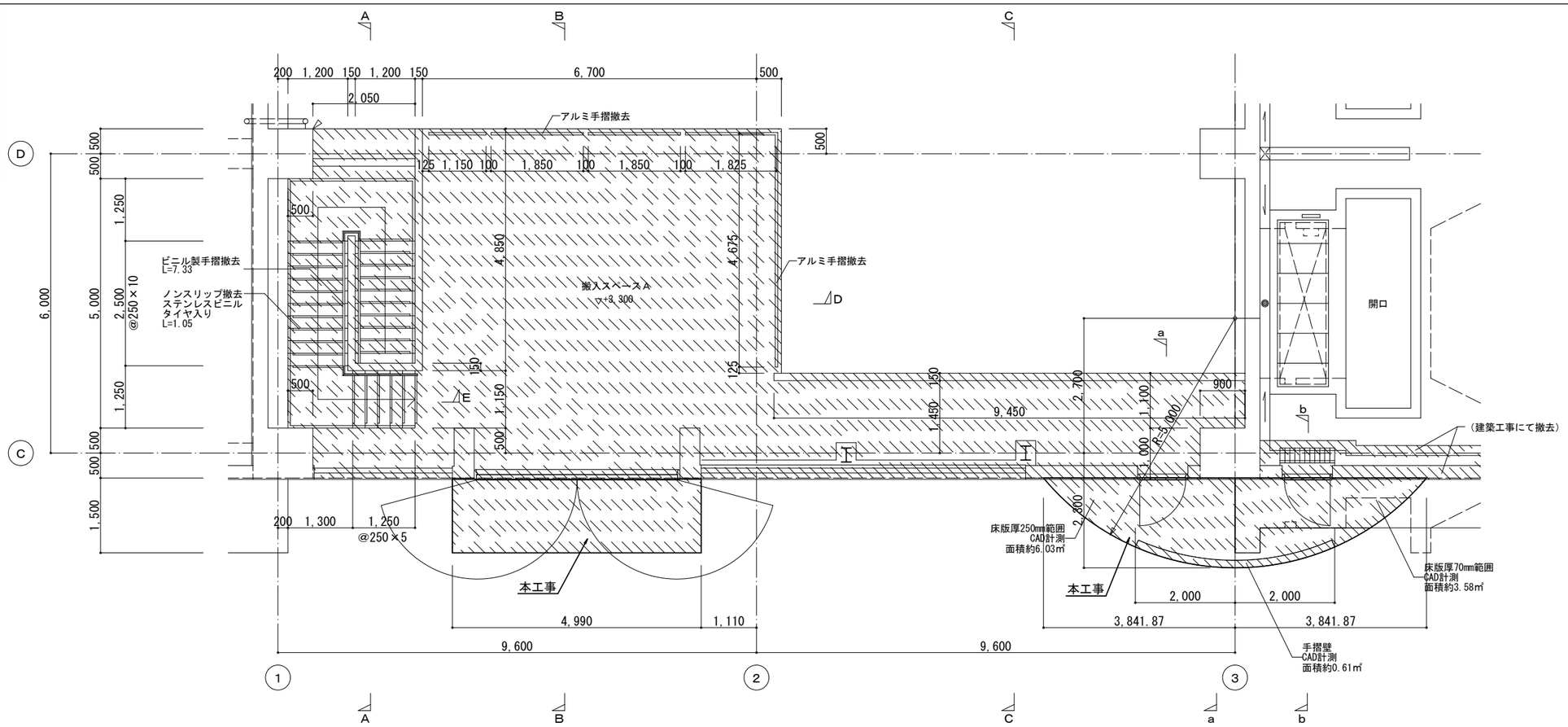
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▩ は、目荒し範囲を示す。

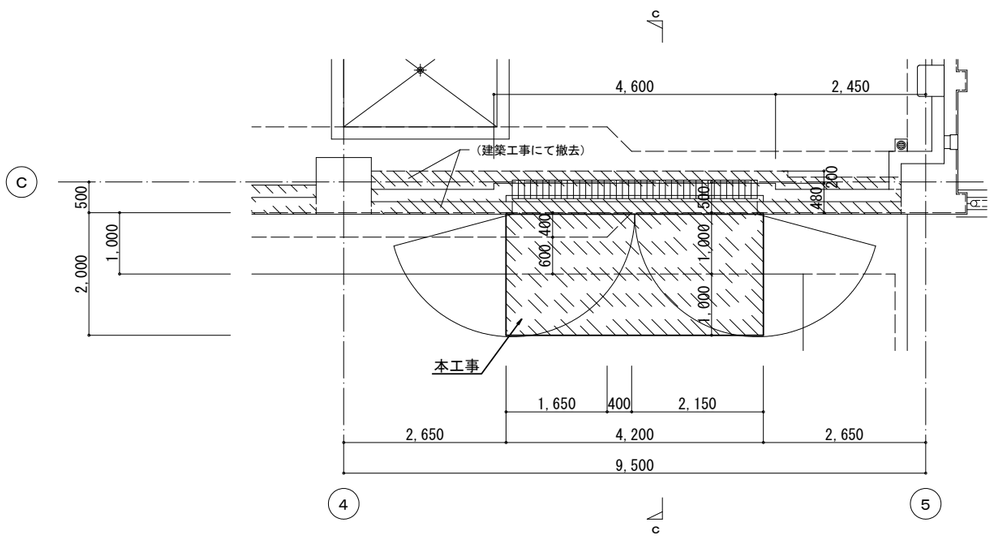
図面番号	2D-38	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	B１K－１改造図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

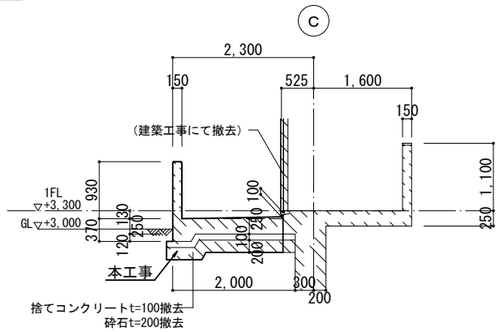
改修前



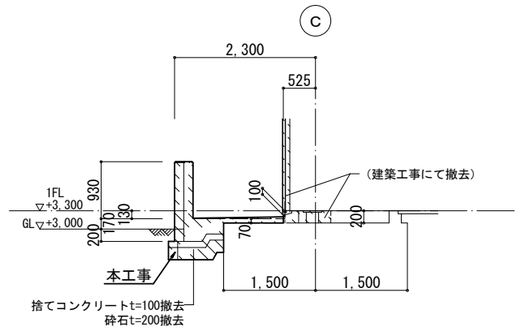
３－３平面図　1/50



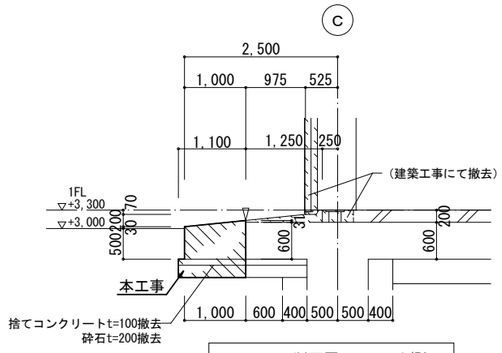
３－３平面図　1/50



ａ－ａ断面図　1/50



ｂ－ｂ断面図　1/50



ｃ－ｃ断面図　1/50

【凡例】

1．図中 ▷ は、カッター位置を示す。

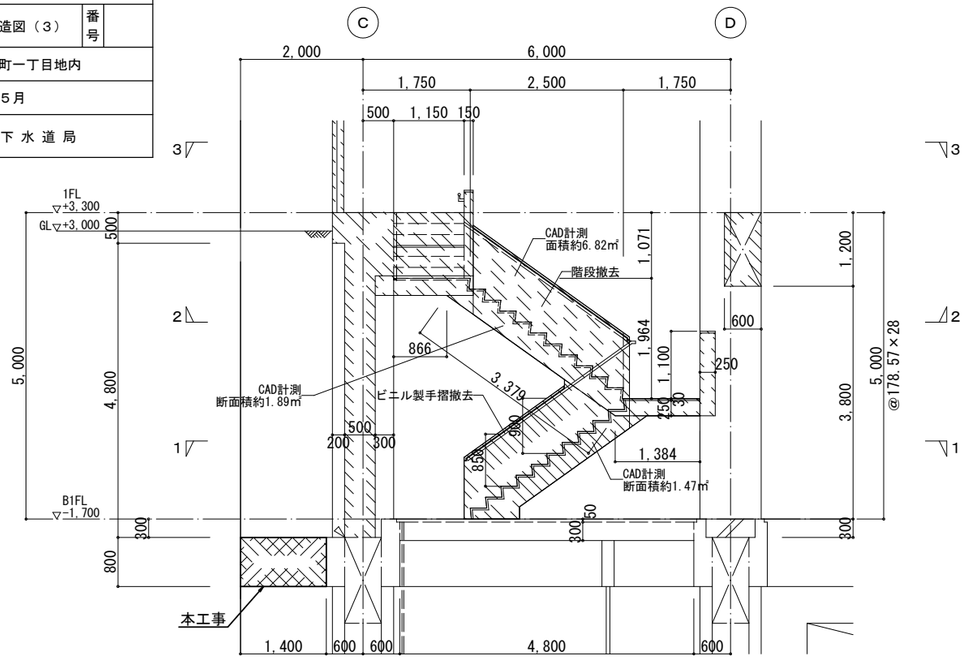
2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▨ は、目荒し範囲を示す。

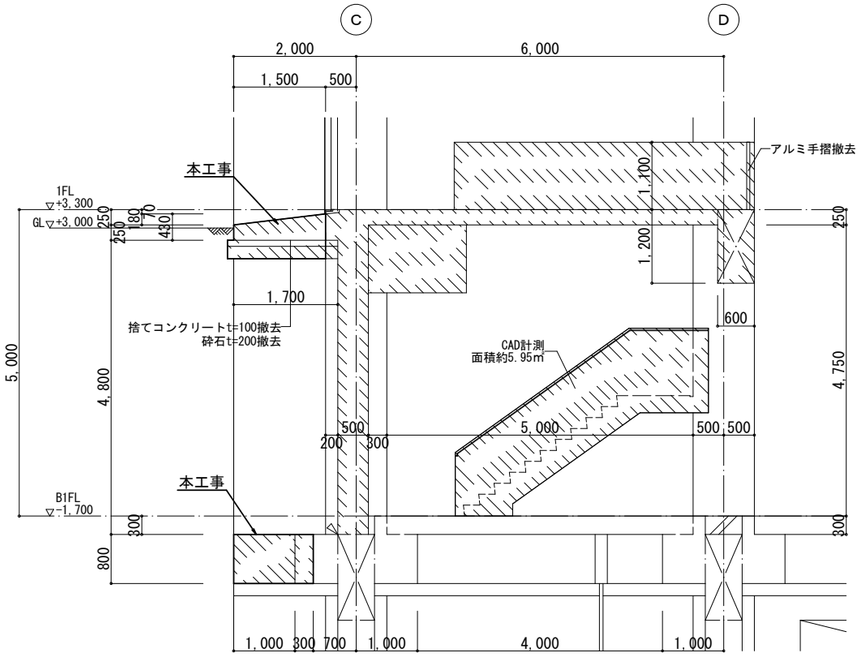
図面番号	2D-39	縮 尺	１／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	Ｂ１Ｋ－１改造図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

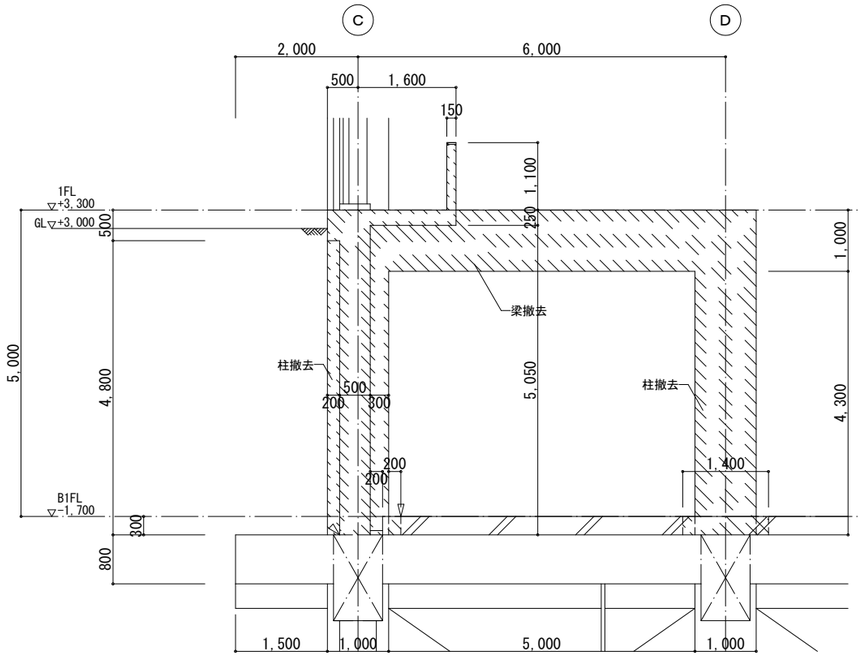
改修前



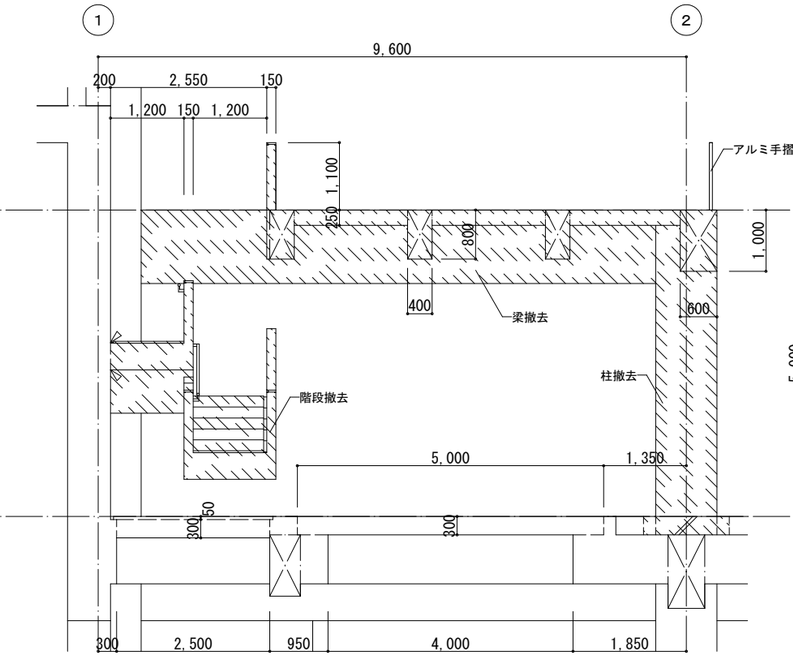
Ａ－Ａ断面図　　1/50



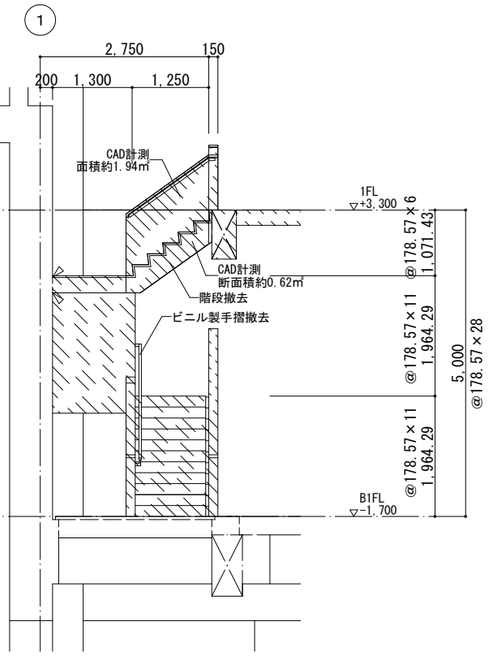
Ｂ－Ｂ断面図　　1/50



Ｃ－Ｃ断面図　　1/50



Ｄ－Ｄ断面図　　1/50



Ｅ－Ｅ断面図　　1/50

【凡例】

1．図中 ▷ は、カッター位置を示す。

2、図中 ▨ は、躯体等撤去範囲を示す。

3、図中 ▩ は、目荒し範囲を示す。

図面番号	3D-01	縮 尺	
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	埋込管・箱抜きリスト	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

機械設備

機械設備

符　号	形 状 寸 法	数量	材料-形式	壁	床	用　途	位　置	備　考	区分け
(PM・S-01)	(3200W×2400H)	(1)		○		(雨水管)	① ◯ Ⓒ→Ⓓ 3000	B2F ▽-4.700	(将来工事)
PM・S-02	3200W×2400H	1		○		雨水管	① ◯ Ⓑ'→Ⓒ' 3100	B2F ▽-4.700	土木
PM・S-03	2000W×1700H	1		○		給気ダクト	②→③ 5700 Ⓒ→Ⓓ 4200	B2F ▽-5.500	土木
PM・S-04	2000W×1700H	1		○		給気ダクト	②→③ 5700 Ⓑ'→Ⓒ' 2200	B2F ▽-5.500	土木
PM・S-05	φ250W×1000H	16			○	排水ポンプ	①→② 5700 Ⓑ'→Ⓒ' 3100	B2F PCD:φ3800	土木
PM・S-06	2200W×1450H	1		○		換気ダクト	① ◯ Ⓑ'→Ⓒ' 2000	3F ▽+15.700	建築
AM・S-01	1600W×1800H	1		○		換気ダクト	②→③ 5700 Ⓒ→Ⓓ 1600	B2F ▽-5.600	土木
AM・S-02	1600W×1800H	1		○		換気ダクト	②→③ 5700 Ⓑ'→Ⓒ 5150	B2F ▽-5.600	土木
AM・S-03	φ200	1		○		換気ダクト	③→④ 1070 Ⓑ'→Ⓐ' 400	2F ▽+12.400	建築
AM・S-04	φ200	1		○		換気ダクト	③→④ 3500 Ⓑ'→Ⓐ' 400	2F ▽+12.400	建築
AM・S-05	□550×550	1			○	換気ダクト	④→⑤' 800 Ⓒ'→Ⓑ' 1000	2F ▽+9.900	建築
AM・S-06	1600W×550H	1		○		換気ダクト	④→⑤' 2460 Ⓒ'→Ⓒ 400	2F ▽+12.225	建築
AM・S-07	□550×550	1			○	換気ダクト	⑤'→④ 3800 Ⓑ'→Ⓑ 3500	2F ▽+9.900	建築
AM・S-08	500W×400H	1		○		換気ダクト	④→⑤' 4290 Ⓒ'→Ⓒ 400	2F ▽+12.300	建築
AM・S-09	1400W×500H	1		○		換気ダクト	⑤'→④ 3150 Ⓑ'→Ⓑ 710	2F ▽+12.200	建築
AM・S-10	φ250	1		○		換気ダクト	⑤'→④ 3150 Ⓑ'→Ⓑ 2610	2F ▽+12.400	建築
AM・S-11	1350W×1350H	1		○		換気ダクト	①→⓪ 360 Ⓐ'→Ⓑ' 2200	3F ▽+13.700	建築
AM・S-12	1350W×1350H	1		○		換気ダクト	①→⓪ 360 Ⓐ'→Ⓑ' 6200	3F ▽+13.700	建築
AM・S-13	1000W×1000H	1			○	ハト小屋	③→④ 1655 Ⓒ→Ⓑ' 885	3F ▽+13.750	建築
AM・S-14	100φ	1		○		制御ケーブル	②→① 350 Ⓑ'→Ⓐ' 2490	B1F ▽+800	土木
AM・S-15	100φ	1		○		制御ケーブル	②→① 350 Ⓑ'→Ⓐ' 1150	B2F ▽-4200	土木
AM・S-16	100φ	1		○		制御ケーブル	③→② 3900 Ⓑ'→Ⓐ' 1150	B2F ▽-2900	土木
AM・S-17	100φ	1			○	消火配管	④→⑤ 340 Ⓑ'→Ⓒ' 2520	2F ▽9600	建築
AM・S-18	125φ	1			○	消火配管	③→② 600 Ⓑ'→Ⓒ' 840	B1F ▽-2000	土木
AM・S-19	100φ	1		○		消火配管	①→◯ Ⓑ'→Ⓒ' 900	1F ▽3600	建築
AM・S-20	100φ	1		○		消火配管	③→◯ Ⓑ'→Ⓒ' 900	1F ▽3600	建築
AM・S-21	100φ	1			○	ドレン配管	④→◯ Ⓒ→Ⓒ' 900	2F ▽12500	建築

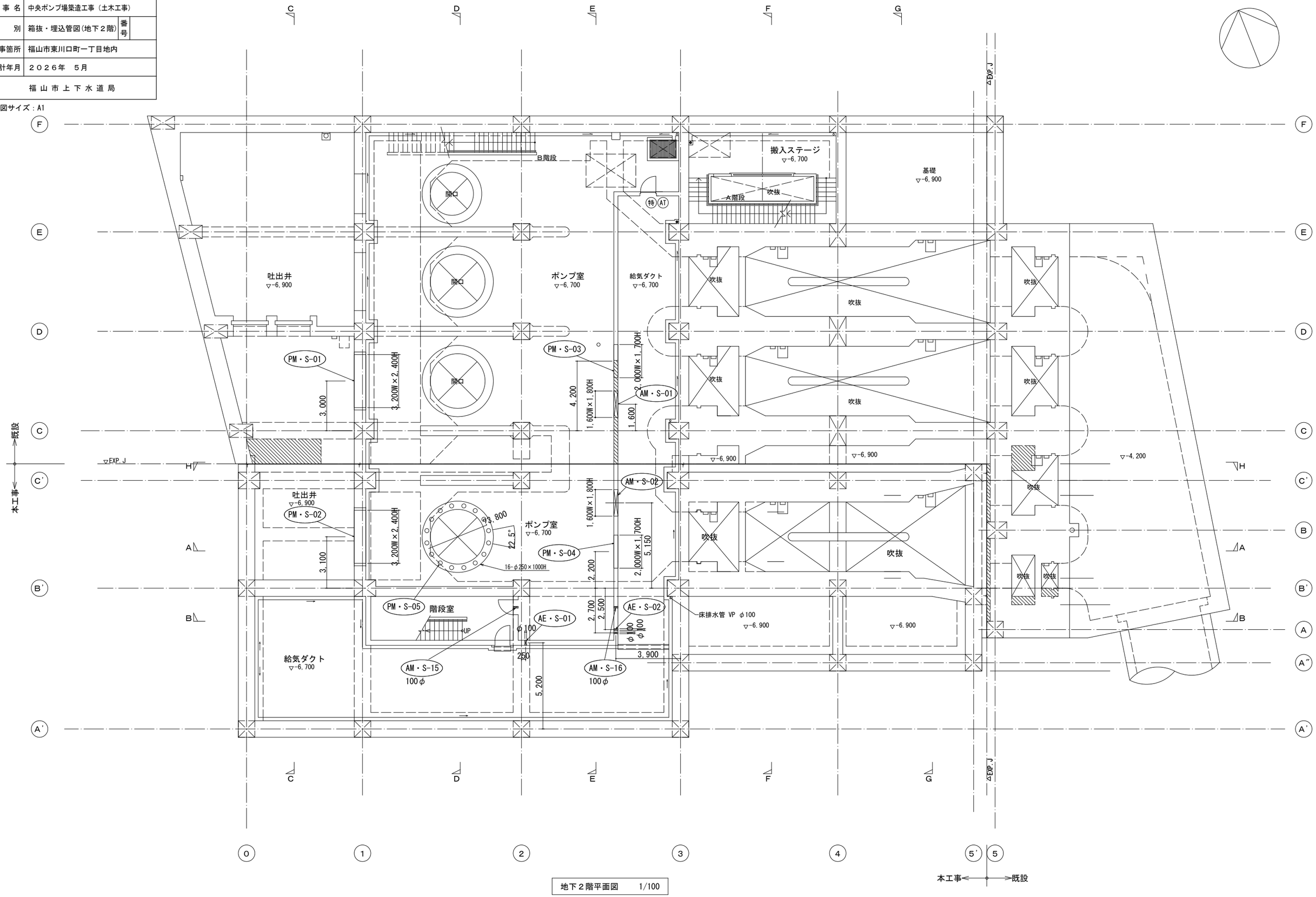
電気設備

電気設備

符　号	形 状 寸 法	数量	材料-形式	壁	床	用　途	位　置	備　考	区分け
PE・S-01	300W×200D	1			○	電気ケーブル	③→② 4150 Ⓒ'→Ⓑ' 1200	B1F ▽-2.000	土木
PE・S-04	200W×200H	1		○		電気ケーブル	⑤→◯ 410 Ⓑ→◯	1F ▽+8.300	建築
PE・S-05	800W×300H	1		○		ケーブルダクト	③→④ 400 Ⓑ'→Ⓐ' 1200	2F ▽+10.050	建築
PE・S-06	800W×300H	1		○		ケーブルダクト	③→④ 1150 Ⓑ'→Ⓐ' 400	2F ▽+9.750	建築
PE・S-07	1000W×300H	1		○		ケーブルピット	③→④ 1250 Ⓒ→Ⓒ' 420	2F ▽+9.750	建築
PE・S-8	800W×300H	1		○		ケーブルピット	③→④ 3650 Ⓒ→Ⓒ' 420	2F ▽+9.750	建築
PE・S-9	800W×300H	1		○		ケーブルピット	③→④ 5900 Ⓒ→Ⓒ' 420	2F ▽+9.750	建築
PE・S-10	600W×600D	1			○	ケーブルダクト	④→③ 900 Ⓒ'→Ⓑ' 500	2F ▽+9.600	建築
PE・S-11	1600W×1600H	1		○		排風ダクト	①→⓪ 360 Ⓐ'→Ⓑ' 2400	3F ▽+15.600	建築
PE・S-12	1600W×1600D	1			○	排風ダクト	②→① 3110 Ⓐ'→Ⓑ' 975	3F ▽+12.600	建築
PE・S-13	φ600	1			○	排気管	②→① 950 Ⓐ'→Ⓑ' 400	3F ▽+12.600	建築
PE・S-14	200W×150D×180H	1			○	電気ケーブル	③→② 50 Ⓑ'→Ⓐ' 1050	3F ▽+12.600	建築
AE・S-01	φ100	1		○		電気配管	②→③ 250 Ⓐ'→Ⓑ' 5200	B2F ▽-3.700	土木
AE・S-02	φ100	2		○		電気配管	③→② 3900 Ⓑ'→Ⓐ' 2500,2700	B2F ▽-3.700	土木
AE・S-03	φ100	1			○	電気配管	②→③ 250 Ⓑ'→Ⓐ' 1275	B1F ▽-1.700	土木
AE・S-04	φ100	1		○		電気配管	②→① 350 Ⓑ'→Ⓐ' 1275	B1F ▽+1.800	土木
AE・S-05	φ100	1		○		電気配管	②→① 350 Ⓑ'→Ⓐ' 550	B1F ▽+1.300	土木
AE・S-06	φ100	2			○	電気配管	③→② 150 Ⓑ'→Ⓒ' 1500,1700	B1F ▽-1.700	土木
AE・S-07	φ100	1			○	電気配管	③→② 900 Ⓒ'→Ⓒ 450	B1F ▽-1.700	土木
AE・S-08	φ100	1		○		電気配管	①→⓪ 550 Ⓑ'→Ⓐ' 300	1F ▽+8.000	建築
AE・S-09	φ100	1		○		電気配管	⓪→① 3100 Ⓒ'→Ⓒ 375	1F ▽+8.500	建築
AE・S-10	φ100	1		○		電気配管	⓪→① 3320 Ⓒ'→Ⓒ 100	1F ▽+8.000	建築
AE・S-11	φ100	1		○		電気配管	①→⓪ 3500 Ⓒ'→Ⓒ 900	1F ▽+8.000	建築
AE・S-12	φ100	1		○		電気配管	③→④ 1400 Ⓑ'→Ⓐ' 175	1F ▽+6.300	建築
AE・S-13	φ100	1		○		電気配管	④→⑤' 2100 Ⓑ'→Ⓐ' 400	1F ▽+6.300	建築
AE・S-14	φ100	1		○		電気配管	⓪→① 3350 Ⓑ'→Ⓐ' 300	2F ▽+12.400	建築
AE・S-15	φ100	1		○		電気配管	④→③ 350 Ⓑ'→Ⓑ 1600	2F ▽+12.400	建築
AE・S-16	φ100	1		○		電気配管	④→③ 350 Ⓑ'→Ⓑ 2100	2F ▽+12.700	建築
AE・S-17	φ100	3		○		電気配管	④→③ 350 Ⓒ'→Ⓑ 1500,1800 2100	2F ▽+12.400	建築
AE・S-18	φ100	3		○		電気配管	④→③ 800,1100 1400 Ⓒ→Ⓒ' 420	2F ▽+12.400	建築
AE・S-19	φ100	1		○		電気配管	⑤'→④ 3155 Ⓒ'→Ⓒ 150	2F ▽+12.400	建築
AE・S-20	φ100	1		○		電気配管	③→④ 400 Ⓐ'→Ⓐ" 1650	3F ▽+15.600	建築
AE・S-21	φ100	1		○		電気配管	③→④ 400 Ⓒ'→Ⓑ 600	3F ▽+15.600	建築
AE・S-22	φ100	4			○	電気配管	③→④ 150 Ⓒ'→Ⓒ 550,750 950,1150	3F ▽+12.600	建築

図面番号	3D-02	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	箱抜・埋込管図(地下２階)	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

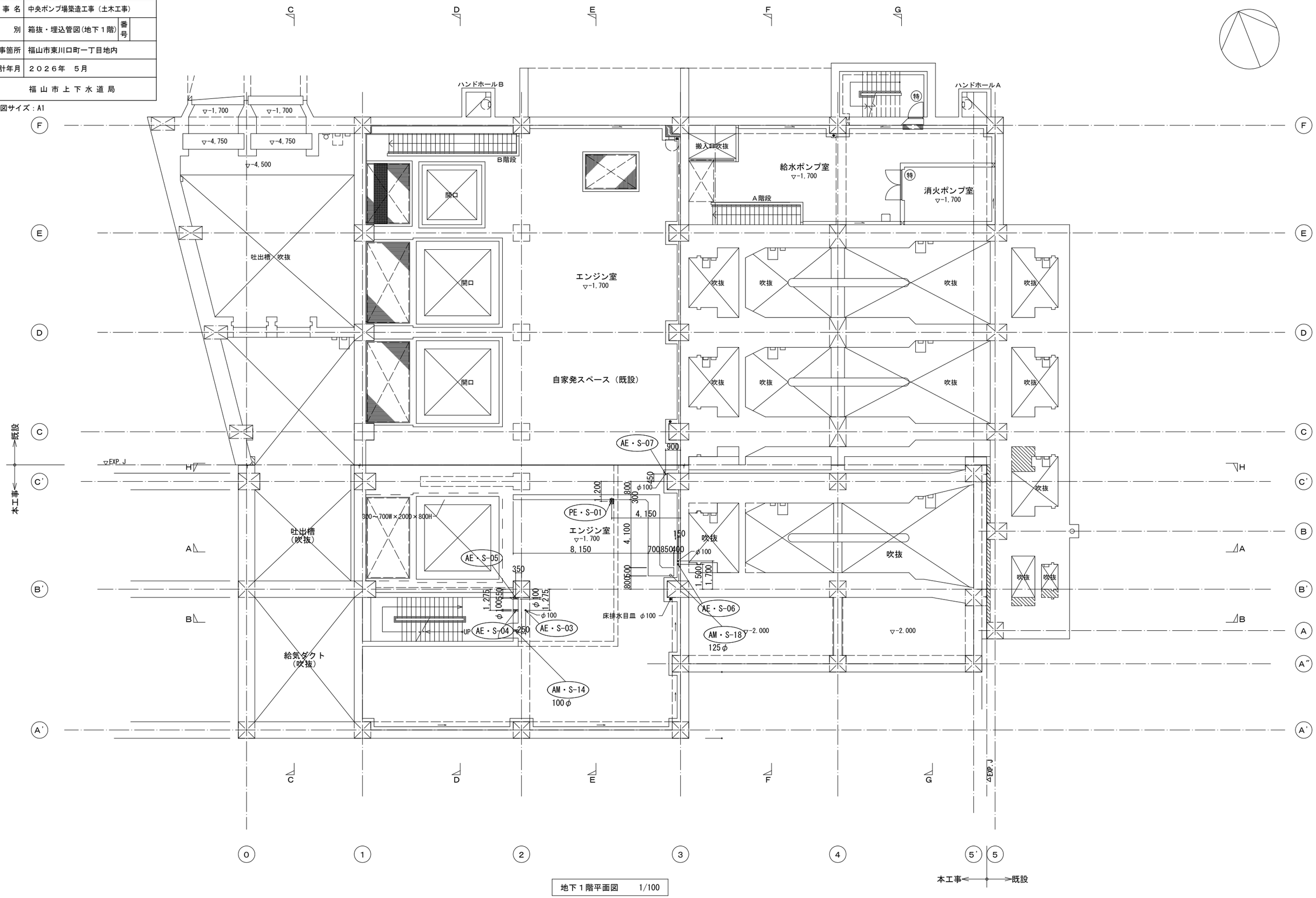
原図サイズ：A1



地下２階平面図　　1/100

図面番号	3D-03	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	箱抜・埋込管図(地下１階)	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

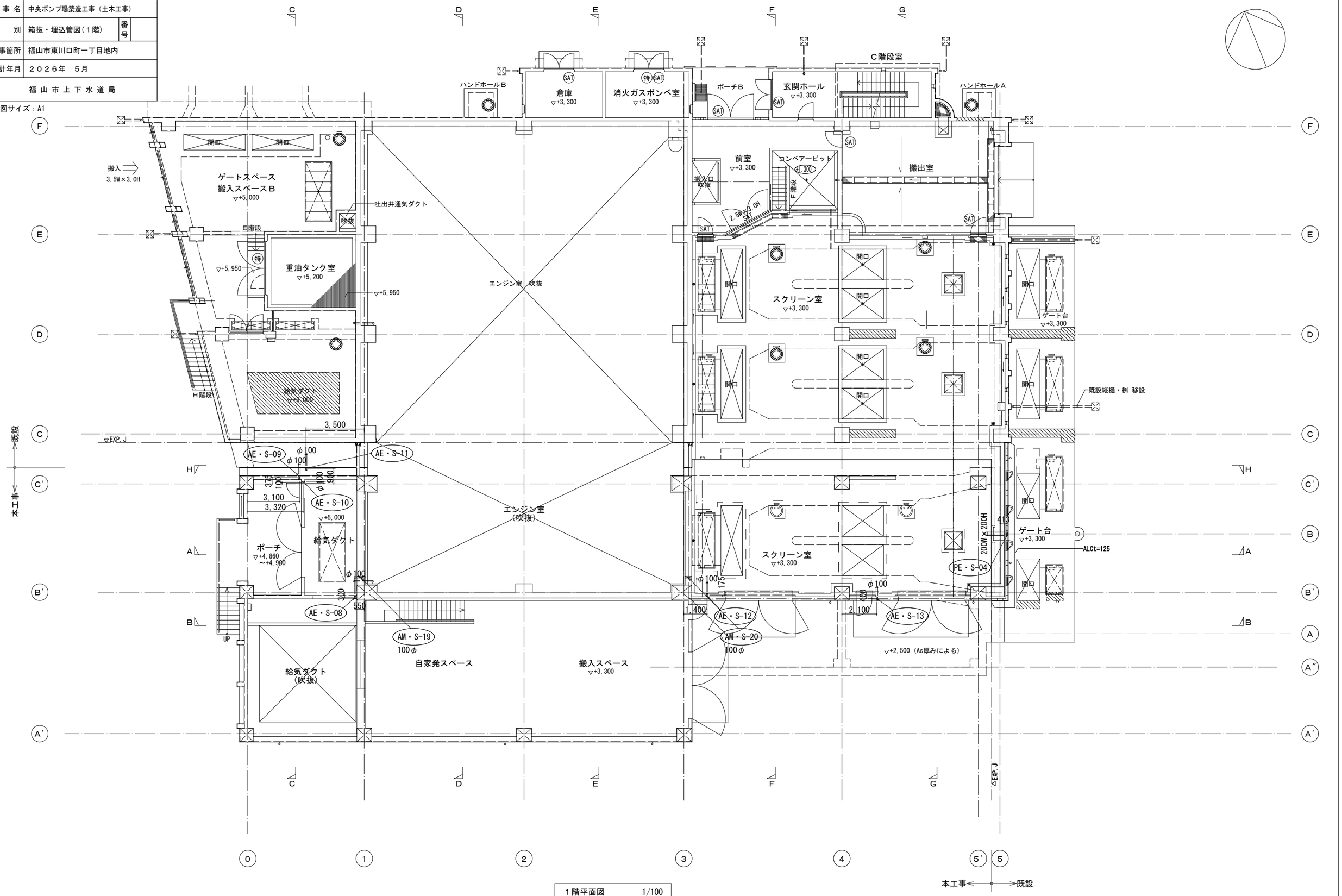
原図サイズ：A1



地下１階平面図　　1/100

図面番号	3D-04	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	箱抜・埋込管図（1階）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



1階平面図　　1/100

構 造 細 目 共 通 図（複合構造物）

＜ 令和４年版 ＞

※本図面は（一社）全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。
使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。
枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。

１　特記事項

１．１　適用範囲

（１）本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。
（２）土木工事と建築工事の区分は図面による。
（３）図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

土木工事	１）土木工事特記仕様書	福山市上下水道局	（別紙による）
	２）土木工事共通仕様書	広島県	（令和7年版）
	３）コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	（ 2023年版 ）
	４）コンクリート標準示方書・設計編	土木学会	（ 2022年版 ）
建築工事	１）建築工事特記仕様書		（別紙による）
	２）建築改修工事特記仕様書		（別紙による）
	３）建築工事一般仕様書		（令和7年版）
	４）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）	国土交通省大臣官房官庁営繕部	（令和7年版）
	５）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）	国土交通省大臣官房官庁営繕部	（令和7年版）

（４）項目は、⊙ 印のついたものを適用する。⊙ 印のない場合は、※ 印のあるものを適用する。⊙ 印と ※ 印のある場合は、共に適用する。

１．２　鉄筋の仕様

土木の鉄筋の種類及び継手は１．２．１表による。
建築の鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

１．２．１表　鉄筋の種類及び継手

	種　別	径	
		土　木	建　築
鉄筋の種類	ＳＤ２９５	――――	※ Ｄ１６以下
	※ ＳＤ３４５ ・ ＳＤ３９０ ・ ＳＤ４９０	※ Ｄ１３以上 ・	――――
	ＳＤ３４５	――――	※ Ｄ１９以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外	
	ガス圧接	※ Ｄ１９以上の柱、梁主筋 ※ Ｄ１６以上の増設端の床、壁鉄筋 ・	※ Ｄ１９以上、Ｄ２９以下の柱、梁主筋
	機械式継手	・ 図面による。	

１．３　コンクリートの仕様

土木のコンクリートの仕様は１．３．１表による。
建築のコンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

１．３．１表　コンクリートの仕様

分　類			コンクリート種別	設計基準強度（N/mm2）	スランプ（cm）	セメントの種類
土木	鉄筋コンクリート		※ 普通コンクリート ・	※ ２４ ・ ３０ ・	※ １２ ・	※ 高炉セメントＢ ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント
建築	鉄筋コンクリート	地上	※ 普通コンクリート	※ ２４	※ １８	※ 普通ポルトランドセメント
		地下 基礎、基礎梁	※ 普通コンクリート	※ ２４	※ １５	※ 普通ポルトランドセメント
土木	無筋コンクリート		※ 普通コンクリート ・	※ １８ ・	※ １２ ・	※ 高炉セメントＢ ・ 普通ポルトランドセメント ・
建築	無筋コンクリート		※ 普通コンクリート	※ １８	※ １５	※ 普通ポルトランドセメント

注１：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

１．４　砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは１．４．１表による。

１．４．１表　砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

部　位	種　別	厚さ（mm）
土木工事	砂利または砕石	※ ２００　・
	均しコンクリート	※ １００
建築工事	砂利または砕石	※ ６０
	捨てコンクリート	※ ５０

２　共通事項

２．１　記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、２．１．１表及び２．１．２表を標準とする。

２．１．１表　鉄筋の断面表示

区分＼径	Ｄ１０	Ｄ１３	Ｄ１６	Ｄ１９	Ｄ２２	Ｄ２５	Ｄ２９	Ｄ３２
建　築	●	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎
土　木		● 又は建築による。						

２．１．２表　一般凡例

記号・符号	内　容	※印の説明及び注意事項
Ｆ※	フーチング断面種別	※　番号
※１Ｃ※２	柱断面種別	※１　階数 ※２　その階の番号
※１Ｇ※２	大梁断面種別	※１　階数、地中大梁はＦとする ※２　その階の番号 Ｘ方向１，２，３－－－－ Ｙ方向Ａ，Ｂ，Ｃ－－－－
ＣＧ※	片持大梁断面種別	※　番号、階別区分はしない
※１Ｂ※２	小梁断面種別	※１　地中小梁のみＦとする ※２　階別区部はしない 地中小梁を除く
ＣＢ※	片持小梁断面種別	※　番号、階別区分はしない
※１Ｗ※２	壁配筋種別	※１　Ｅ：耐震壁、Ｋ：階段壁 Ｄ：土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※２　壁厚（cm）
※１Ｓ※２※３	床版配筋種別	※１　片持床版のみＣとする ※２　床版厚（cm） ※３　配筋種別（英大文字） 階別区分はしない
※１Ｋ※２	階段の配筋種別	※１　Ａ：片持床版形 Ｂ：二辺固定床版形 ※２　配筋種別（数字） 階別区分はしない
ＣＢ※	コンクリートブロック壁	※　壁厚（cm）
	打ち増し範囲	
	梁・床版の上がり下がり	一般には基準ＦＬよりの＋、－に応じた凡例により表示
（※）	床用積載荷重	積載荷重の値（ｋＮ/m ）
ＳＴＰ	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
ＨＯＯＰ	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
Ｓ．ＨＯＯＰ	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、底版

（用語の定義）
・床版とは、常時荷重及び地震時荷重を負担する主部材をいう。壁式構造のボックスカルバートやラーメン構造の頂版や底版がある。
・スラブとは、常時荷重のみを負担する梁に支持される副部材をいう。

２．２　一般注意事項

（１）設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。
変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

３　土木工事

３．１　鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、３．１．１表及び３．１．２表を標準とする。
（１）Ｄは、折曲げ内法直径を示す。
（２）ｄは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

３．１．１表　鉄筋曲げ加工（１）

位　置	曲げ角度	折曲げ図及び折曲げ後の余長	曲げ内法直径	使用箇所	
末端部	１８０°	４ｄ以上かつ６０mm以上	５ｄ以上	定着末端部	
	１３５°	６ｄ以上かつ６０mm以上	５ｄ以上	スターラップ、帯鉄筋、フープ筋　等	
	９０°	１２ｄ以上	５ｄ以上		
	９０° １３５°	４ｄ以上　１３５°　９０°　４ｄ以上	５ｄ以上	梁	幅止め鉄筋
		１００mm		壁	
	９０°	１００mm　（馬筋）　直交方向に９０°		床版 底版	
中間部	９０°		５ｄ以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋	
	θ＜９０°	θ	１０ｄ以上	折曲げ鉄筋	

３．１．２表　鉄筋曲げ加工（２）

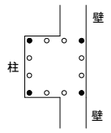
位　置	曲げ角度	折曲げ図	曲げ内法直径	使用箇所
最上階	９０°		２０ｄ以上	ラーメン隅角部
一般階	９０°		５ｄ以上	

３．２　異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、３．２．１表によりフックを設ける。

３．２．１表　フックを設ける位置

部　位		継手方式		備　考
		重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	―	１）最上階の柱頭	３．２．１図の ● 印 ３．８．１図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	―	１）下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	３．２．１図の ● 印 ３．８．２図参照
	帯筋（ＨＯＯＰ）	１）末端部 ２）継手部	１）末端部	３．９．１図参照
梁	あばら筋（ＳＴＰ）	１）末端部 ２）継手部	１）末端部	３．１２．１図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底版筋	１）末端部 ２）継手部	１）末端部	３．２５．１図参照
煙突の鉄筋		１）末端部 ２）継手部	１）末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋		―	―	３．１．１表参照



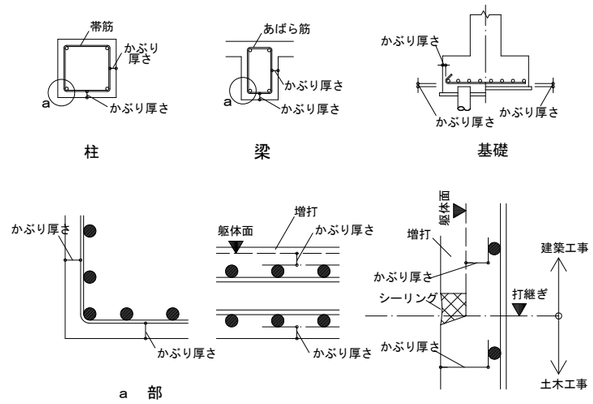
平　面

３．２．１図　異形鉄筋の末端部

３．３　鉄筋のかぶり及び間隔

３．３．１　かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋を除く）の外面から躯体面までの距離（３．３．１図）をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容誤差１０mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



３．３．１図　鉄筋のかぶり厚さ

３．３．２　最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、３．３．１表による。
床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。

３．３．１表　鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

※　通常の施工の場合

環境＼部位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
大気中	５０	５０	－
水中・土中等	５０	７０	７０

・　塩害対策地域の施工の場合

対策区分		環境＼部位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
・	Ⅰ	大気中	７０	７０	－
		水中・土中等			７０
・	Ⅱ，Ⅲ	大気中	５０	７０	－
		水中・土中等			７０

１：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。
２：杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、７．杭基礎の補強を参照する。

（注）梁：大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。

原図サイズ：A1

図面番号	S-01	縮　尺	１／１００
工事名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　別	構造細目共通図（複合構造物）（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福山市上下水道局			

３　土木工事

３．４　鉄筋相互のあき

３．４．１　梁・壁・床版

鉄筋相互のあきは、下記（１）、（２）、（３）の最大値以上とする。

（１）粗骨材の最大寸法の４/３倍

（２）最小のあき２５㎜

（３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の１．５倍

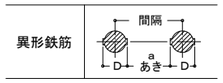
３．４．２　柱

鉄筋相互のあきは、下記（１）、（２）、（３）の最大値以上とする。

（１）粗骨材の最大寸法の４/３倍

（２）最小のあき４０㎜

（３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の１．５倍



（注）Ｄ：鉄筋の最外径
ｄ：鉄筋径（呼び名）

３．４．１図　鉄筋のあき

３．４．１表　鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径（㎜）		鉄筋相互のあき：ａ			最小鉄筋芯間隔	
鉄筋径 d	最外径 D	（１）粗骨材径×４/３倍	（２）最小あき	（３）鉄筋径×１．５	（梁）a＋D	（柱）a＋D
Ｄ１３	１４	３３㎜ 粗骨材最大径２５㎜の場合	梁：２５㎜ 柱：４０㎜	２０㎜	４７㎜	５４㎜
Ｄ１６	１８			２４㎜	５１㎜	５８㎜
Ｄ１９	２１			２９㎜	５４㎜	６１㎜
Ｄ２２	２５			３３㎜	５８㎜	６５㎜
Ｄ２５	２８			３８㎜	６６㎜	６８㎜
Ｄ２９	３３			４４㎜	７７㎜	７７㎜

３．５　鉄筋の継手及び定着

３．５．１　継手長及び定着長の基本

（１）鉄筋の重ね継手長さは３．５．１表、定着の長さは３．５．２表による。

① 本表の適用は、鉄筋種類ＳＤ３４５、鉄筋径Ｄ１３～Ｄ３２とする。

② 定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。

③ 壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が１００㎜未満の場合は、別途図示による。

３．５．１表　鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋の種類	鉄筋径	設計基準強度	S_1：重ね継手長			
			鉄筋中心間隔２００㎜以上		１００㎜以上２００㎜未満	
			フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
ＳＤ３４５	Ｄ１６以下	２４以上２７未満（N/mm²）	４０・ｄ	３０・ｄ	５０・ｄ	４０・ｄ
	Ｄ１９～Ｄ２２		４５・ｄ	３５・ｄ	６０・ｄ	５０・ｄ
	Ｄ２５～Ｄ３２		５０・ｄ	４０・ｄ	６５・ｄ	５５・ｄ

３．５．２表　鉄筋の定着長さ

鉄筋の種類	鉄筋径	設計基準強度	S_2：定着長		S_3：定着長		S_4：定着長	
			フックなし	フックあり	フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
ＳＤ３４５	Ｄ１６以下	２４以上２７未満（N/mm²）	４０・ｄ	３０・ｄ	３５・ｄ	２５・ｄ	３５・ｄ	２５・ｄ
	Ｄ１９～Ｄ２２		５０・ｄ	４０・ｄ	４０・ｄ	３０・ｄ	３５・ｄ	２５・ｄ
	Ｄ２５～Ｄ３２		６０・ｄ	５０・ｄ	４５・ｄ	３５・ｄ	３５・ｄ	２５・ｄ

（２）S_2，S_3，S_4 の適用区分を以下に記す。

S_2：(最上層)大梁上端、基礎梁上端、床版(壁構造)、床版上端(ラーメン構造)、底版。

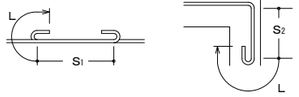
S_3：柱、壁、(中間層)大梁上端、大梁下端、床版下端(ラーメン構造)、基礎梁下端。

S_4：小梁、スラブ(地震力を受けない部材)。

（３）径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

（４）継手は相互にずらすことを原則とする。

（５）フックのある場合の継手長及び定着長には、３．５．１図に示すようにフック部分Ｌを含まない。



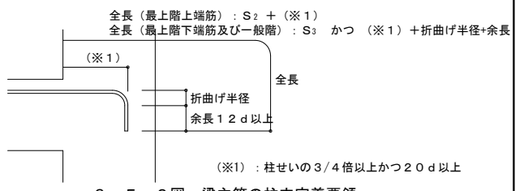
３．５．１図　フックのある場合の継手及び定着要領

３．５．２　継手の特記事項

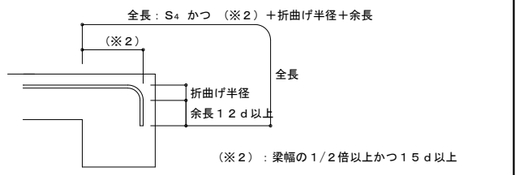
（１） 継手は極力応力の小さい位置に設ける。

（２） 異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が５㎜を超える圧接をしてはならない。

３．５．３　梁主筋の柱内定着



３．５．２図　梁主筋の柱内定着要領



３．５．３図　小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着要領

３．６　隣り合う継手の位置

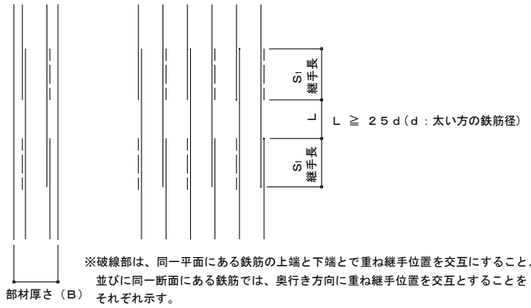
３．６．１　鉄筋の重ね継手

（１） 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

（２） ずらす距離（Ｌ）は、太いほうの鉄筋径の２５倍以上とする。

（３） 前記（２）を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。

（４） 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



※破線部は、同一平面にある鉄筋の上端と下端とで重ね継手位置を交互にすること、並びに同一断面にある鉄筋では、奥行き方向に重ね継手位置を交互とすることをそれぞれ示す。

３．６．１図　重ね継手工法

３．６．２ 鉄筋のガス圧接および機械式継手

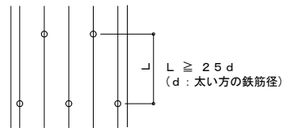
鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

（１） 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

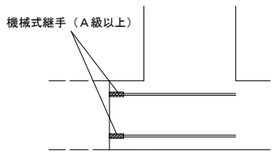
（２） ガス圧接の場合のずらす距離（Ｌ）は、太い方の鉄筋径の２５倍以上とする。

（３） 機械式継手の場合のずらす距離（Ｌ）は、太いほうの鉄筋径の２５倍以上とする。

（４） 機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合は、構造計算等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]（土木学会）」による。



３．６．２図　ガス圧接継手工法及び機械式継手工法



３．６．３図　機械式継手におけるイモ継手位置

３．７　継手及び圧接中心位置（柱、大梁）

継手及び圧接中心位置は図面にない場合は、３．７．１図による。

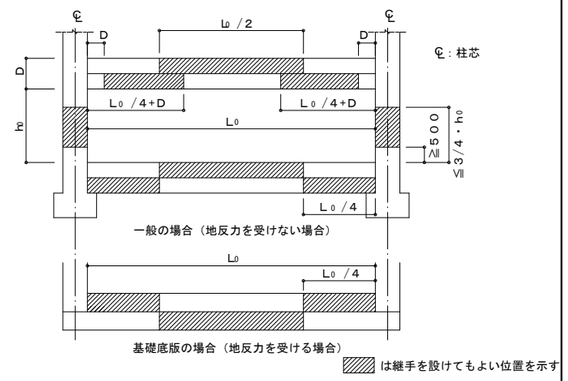
（１）柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から５０㎝以上、１５０㎝以下かつ３/４h_0　（h_0　は柱の内法高さ）以下とする。

（２）梁の継手及び圧接中心位置は下記による。

上端筋　中央0: Ｌ　/２以内

下端筋　両端：柱面より梁せい（Ｄ）以上離し、Ｌ　/４を加えた範囲以内

（３）通常の応力と異なる場合の継手位置は、３．７．１図によらず図面による。



３．７．１図　継手及び圧接中心位置

３．８　柱筋の継手及び定着

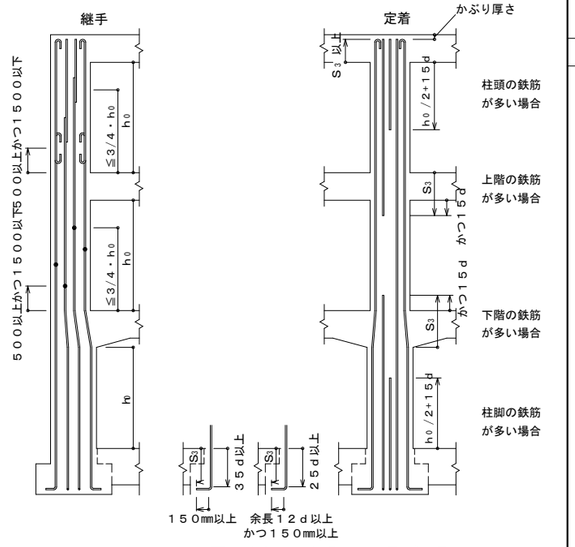
３．８．１　一般事項

（１）継手長さはS_1 とし、定着及び余長は、３．８．１図による。

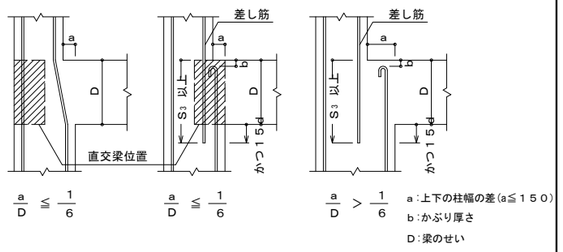
（２）柱頭定着長さS_3 が確保出来ない場合は、図面による。

（３）上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、３．８．２図による。

（４）柱脚定着長さ２５ｄ(余長１２ｄ以上)または３５ｄが確保出来ない場合は、図面による。



３．８．１図　柱主筋の継手、定着及び余長



３．８．２図　上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

３．９　帯筋の形状

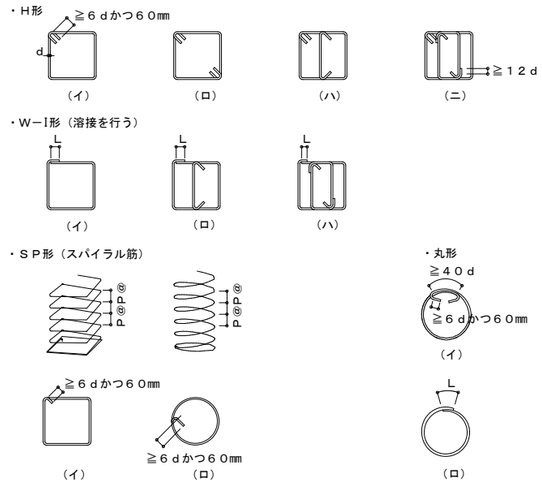
（１）帯筋の形状は、３．９．１図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

（ａ）Ｈ形とする。

（ｂ）Ｈ形の１３５°曲げのフックが困難な場合は、Ｗ－Ｉ形とする。

（ｃ）溶接する場合の溶接長さＬは、両面フレア溶接の場合は５ｄ以上、片面フレア溶接の場合は１０ｄ以上とし、組立前に行う。

（ｄ）ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は、１．５巻以上の添巻きを行う。



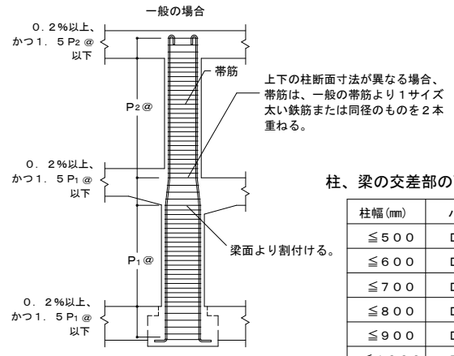
３．９．１図　帯筋組立の形

３．１０　帯筋の割付け

（１）フック及び継手の位置は交互とする。

（２）帯筋の割付けは、３．１０．１図による。ただし、図面にある場合は図面による。

（３）柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、０．２％以上を確保し、補強筋間隔は１．５Ｐ以下とする。



柱、梁の交差部の配筋例（０．２%確保）

柱幅(㎜)	パネルゾーン
≦５００	Ｄ１３ @１５０
≦６００	Ｄ１３ @１５０
≦７００	Ｄ１３ @１５０
≦８００	Ｄ１３ @１５０
≦９００	Ｄ１３ @１２５
≦１０００	Ｄ１３ @１２５
≦１１００	Ｄ１３ @１００
≦１２００	Ｄ１３ @１００

３．１０．１図　帯筋の割付け

※１．５P_1 、１．５P_2 のピッチは１５０㎜以下とする。

原図サイズ：A1

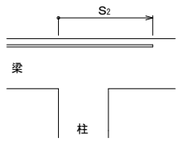
図面番号	S-02	縮 尺	１／１００
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	構造細目共通図（複合構造物）（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

3　土木工事

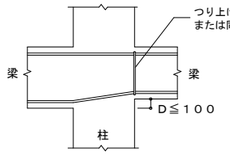
3．11　大梁筋の継手及び定着

3．11．1　一般事項

（1）継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3．11．1図から3．11．10図による。
（2）梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3．5．2図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3．11．1図による。
（3）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
　下端筋：原則として曲げ上げる。
　上端筋：曲げ下ろす
　梁主筋ののみ込み長さは、柱せいの3／4倍以上かつ20d以上を確保する。（※1）
　梁主筋の柱内定着は、3．5．2図による。
（4）梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1：4とする。
（5）　　印は、継ぎ手及び余長を示す。
（6）破線は柱内定着の場合を示す。
（7）3．2異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
（8）段違い梁は3．11．2図による。



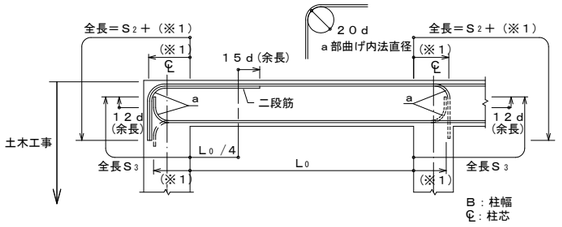
3．11．1図　梁主筋を梁内定着



3．11．2図　段違い梁

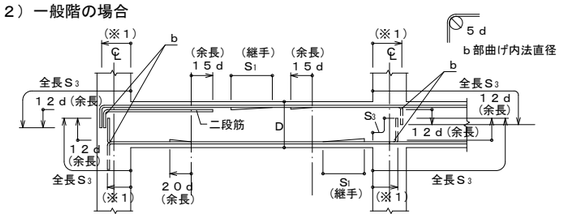
3．11．2　ハンチのない場合

（1）最上階の場合

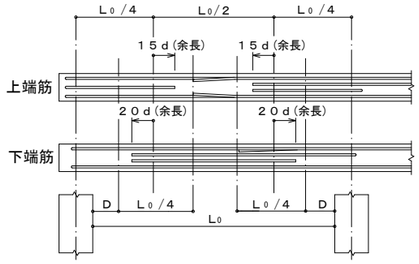


3．11．3図　大梁の重ね継手、定着及び余長（最上階）

（2）一般階の場合



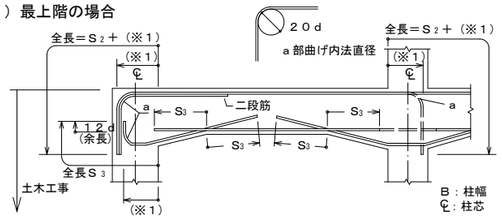
3．11．4図　大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その1）



3．11．5図　大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その2）

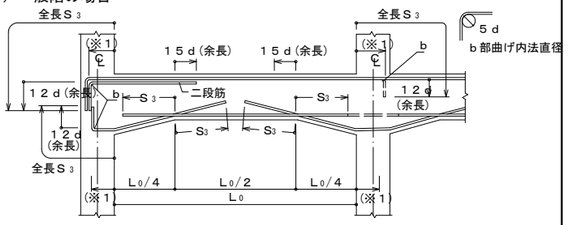
3．11．3　ハンチのある場合

（1）最上階の場合



3．11．6図　ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

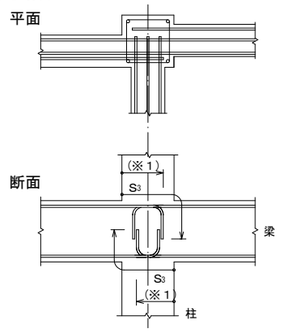
（2）一般階の場合



3．11．7図　ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

3．11．4　水平段差のある場合

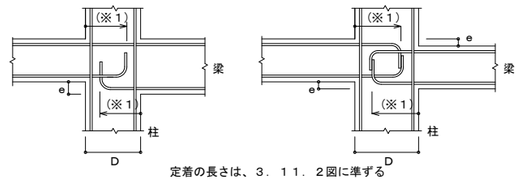
（1）水平段差のある場合



3．11．8図　大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

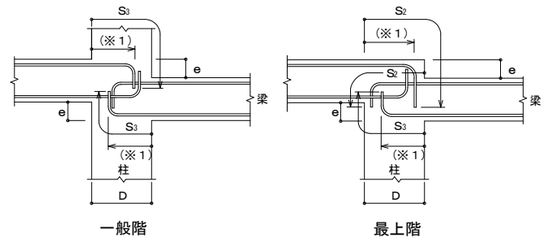
3．11．5　鉛直段差（e）のある場合

（1）e／D≦1／6の場合



3．11．9図　鉛直段差梁（その1）

（2）e／D＞1／6の場合



3．11．10図　鉛直段差梁（その2）

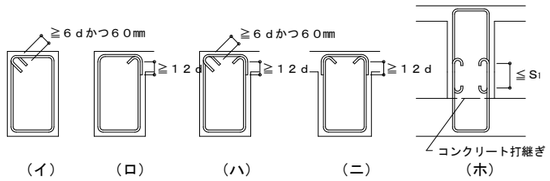
3．12　梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3．12．1　一般事項

（1）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150㎜程度とする。
（2）壁梁の場合、腹筋の継手長さはS1　、定着長さをS　とする。
（3）土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
（4）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13－1000㎜ピッチ程度とする。
（5）破線は柱内定着の場合を示す。

3．12．2　あばら筋組立の形及びフックの位置

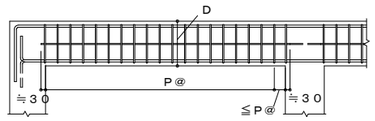
（1）形は、3．12．1図（イ）を標準とする。
　ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。
　a．床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
　b．床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）
（2）フックの位置
　a．（イ）の場合は交互とする。
　b．（ロ）の場合　床版が片側に付く場合は床版の付く側、床版が両側に付く場合は交互
　c．（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
　d．（ホ）は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1．5m以上の場合に適用することが出来る。（基礎梁）



3．12．1図　あばら筋組立の形及びフックの位置

3．12．3　あばら筋の割付け

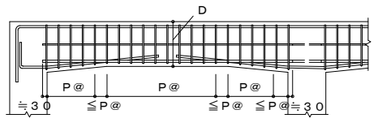
（1）間隔が一様でハンチのない場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3．12．2図　あばら筋の割付け（その1）

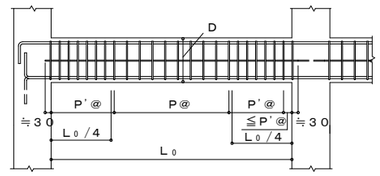
（2）間隔が一様でハンチのある場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3．12．3図　あばら筋の割付け（その2）

（3）梁の端部で間隔の異なる場合



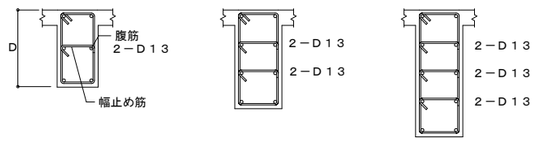
※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3．12．4図　あばら筋の割付け（その3）

3．12．4　腹筋及び幅止め筋

（1）一般の梁

a）　腹筋及び幅止め筋



3．12．5図　腹筋及び幅止め筋

（2）特殊な梁
腹筋及び幅止め筋は、図面による。

原図サイズ：A1

図面番号	S-03	縮　尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	構造細目共通図（複合構造物）（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

3　土木工事

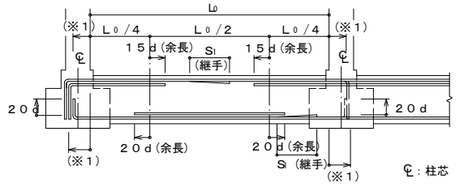
3．13　基礎梁及び底版の継手及び定着

3．13．1　一般事項

（1）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、3．11．1図に準ずる。
（2）梁筋を柱内に定着する場合は、3．11．1（3）による。
（3）柱幅＜梁幅の場合の定着は、3．13．3図による。
（4）═══ 印は、継ぎ手及び余長を示す。
（5）破線は柱内定着の場合を示す。
（6）図内（※1）は、3．11．1による。

3．13．2　基礎梁の場合

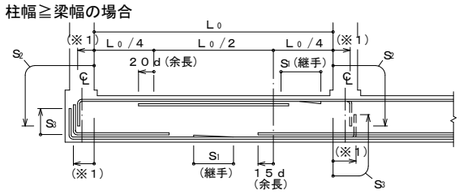
（1）基礎梁の継手及び定着



3．13．1図　主筋の継手、定着及び余長(その1)

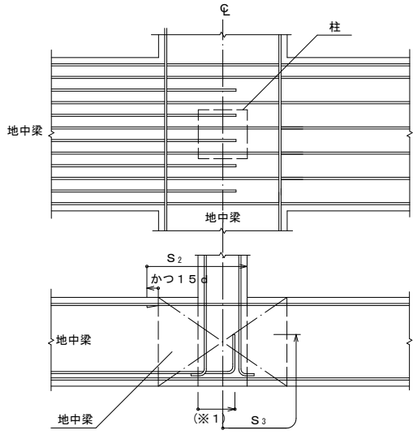
3．13．3　連続基礎及びべた基礎の場合

（1）柱幅≧梁幅の場合



3．13．2図　主筋の継手、定着及び余長（その2）

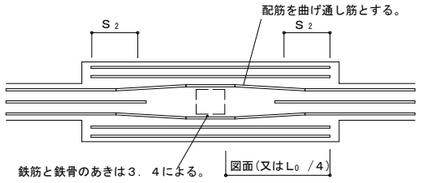
（2）柱幅＜梁幅の場合
（a）交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3．13．3図　主筋の継手、定着及び余長（その3）

3．13．4　梁形を設けない場合の基礎底版

（1）鉄骨造のＢＯＸ柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3．13．4図　主筋の継手、定着及び余長（その4）

3．14　小梁及び片持梁の配筋要領

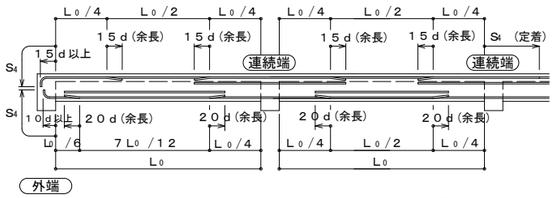
3．14．1　一般事項

（1）図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
（2）═══ 印は、余長位置を示す。

3．14．2　小　梁

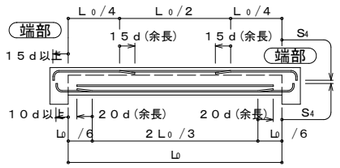
梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。

（1）連続小梁の場合



3．14．1図　小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

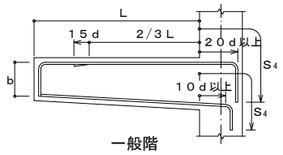
（2）単独小梁の場合



3．14．2図　小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

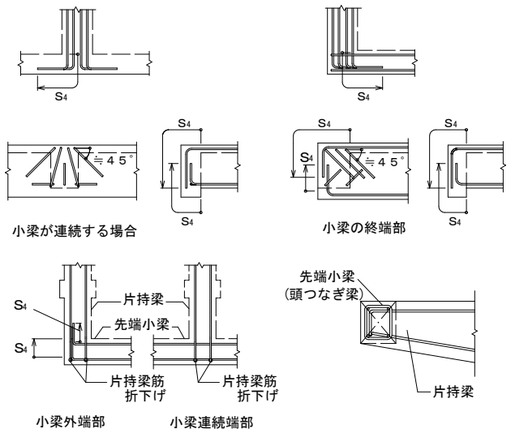
3．14．3　片持梁筋の定着

（1）先端に小梁のない場合
　a．先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
　b．梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



3．14．3図　片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁がない場合）

（2）先端に小梁がある場合
　a．上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
　b．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
　c．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

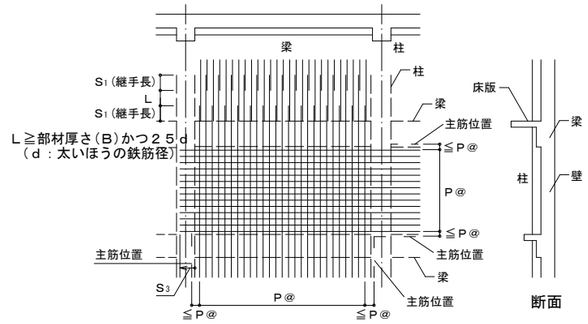


3．14．4図　片持梁主筋の定着

3．15　壁の配筋要領

3．15．1　一般事項

（1）壁配筋の継手長さをS1、定着の長さは、S3とする。
（2）土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをS1、定着長さをS2とする。
（3）幅止め筋は、縦、横ともD13－@1000㎜を標準とする。
（4）一般部壁筋は、3．15．1図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手を設ける場合は、3．6項に従うものとする。



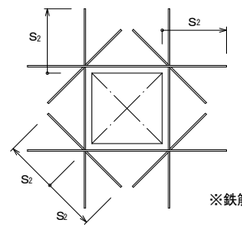
3．15．1図　壁の配筋

3．15．2　耐震壁の開口

（1）耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
（2）やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

3．15．3　壁開口部の補強

（1）壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3．15．2図を標準とする。



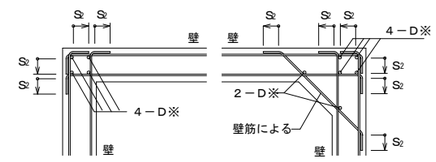
※鉄筋径及び本数は、図面による

3．15．2図　壁開口部の補強要領

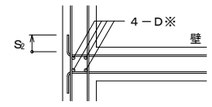
（2）開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来るを場合は、補強筋を省略することができる。

3．15．4　壁の交差部及び端部

（1）壁と壁の交差部は3．15．3図による。
　a．交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



一般の場合のＬ形交差部　　ハンチを設け定着した場合のＬ形交差部

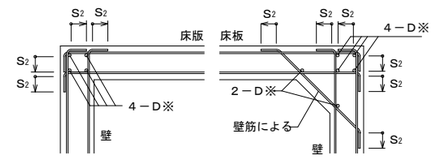


一般の場合のＴ形交差部

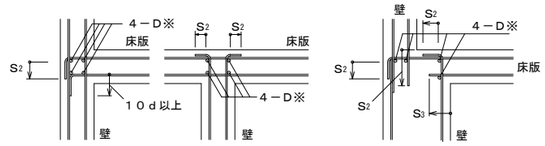
※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はS2を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長S2を確保する。定着長S2は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3．15．3図　壁と壁の交差部及び端部の配筋

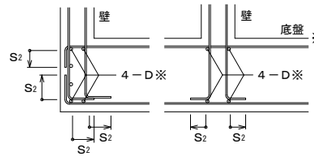
（2）壁と床版の交差部は3．15．4図による。
　a．交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



一般で最上階の交差部　　ハンチを設け定着した場合の最上階の交差部



（1）中間部の交差部　（2）中間部の交差部　（3）中間部の交差部



最下階の交差部　　最下階中間部の交差部

※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はS　を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長S2を確保する。定着長S2は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3．15．4図　壁と床の交差部及び端部の配筋

※3．15．4図は、柱梁構造の場合である。地下階が壁式構造の場合は、構造細目共通図（土木構造物）（2）の「6．1．4　壁と床版・底板の交差部」を参照のこと。

原図サイズ：A1

図面番号	S-04	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	構造細目共通図（複合構造物）（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

3　土木工事

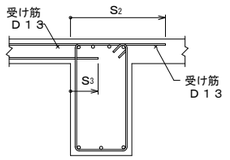
3．18　床の配筋要領

3．18．1　一般事項

（1）鉄筋の継手長さは、S　とする。

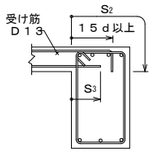
（2）ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3．18．1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3．18．2図、3．18．3図により梁内に定着する。
なお、スラブ筋の場合は、3．18．1図～3．18．3図の定着長さS_2、S_3を、S_4と読み替える。

（3）基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。
図面になければ3．20．5図による。

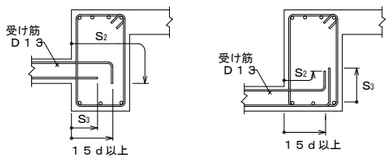


一般部

3．18．1図　床版筋の定着長さ及び受け筋（その1）



3．18．2図　床版筋の定着長さ及び受け筋（その2）

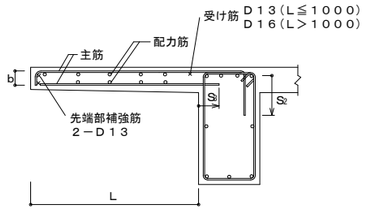


一般床版

3．18．3図　床版筋の定着長さ及び受け筋（その3）

3．18．2　片持床版

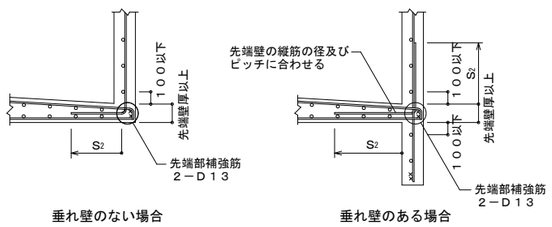
（1）片持床版の配筋



※片持スラブの場合は、3．18．4図及び図3．18．5図の定着長さS_2、S_3を、S_4と読み替える。
※先端の折り曲げ長さbは、片持部材の厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
※床版に段差のない場合は、主筋を引き通して床版またはスラブに定着してもよい。

3．18．4図　片持床版の配筋

（2）先端に小梁がなく壁が取り付く場合



垂れ壁のない場合　　垂れ壁のある場合

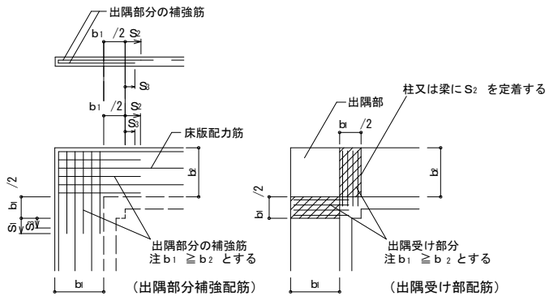
3．18．5図　先端に壁が付く場合の配筋

3．18．3　出隅部の配筋方法

（1）補強の配筋は図面による。配筋方法は、3．18．6図による。特記にない場合は、D13@100ダブル程度とする。

（2）出隅受け部分（図のハッチ部分）の配筋は、図面（幅は$b_1/2$とする）による。

（3）片持スラブの場合は、3．18．6図の定着長さS_2、S_3を、S_4と読み替える。



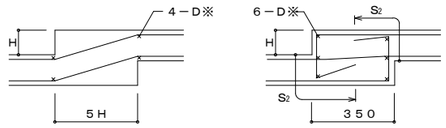
（出隅部分補強配筋）　　（出隅受け部配筋）

3．18．6図　片持床版出隅部の補強配筋

3．18．4　段差床版の補強

（1）同一床版に段差がある場合、3．18．7図の補強を行う。ただし、H＞150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。

（2）段差スラブの場合は、3．18．7図の定着長さS_2、S_3を、S_4と読み替える。

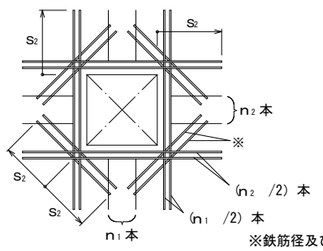


H≦70　　70＜H≦150
D※：鉄筋径は、図面による。

3．18．7図　段差のある床版の補強配筋

3．18．5　床版及びスラブ開口部の補強

（1）開口の最大径≦700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する（3．18．8図）。
開口の最大径＞700の場合は図面による。



※鉄筋径及び本数は、図面による

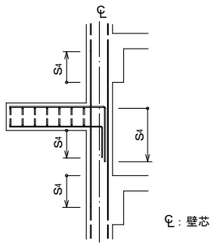
3．18．8図　床版及びスラブ開口部の補強配筋

（2）開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋を出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3．19　階段の配筋要領

（1）壁配筋は、図面による。

（2）階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

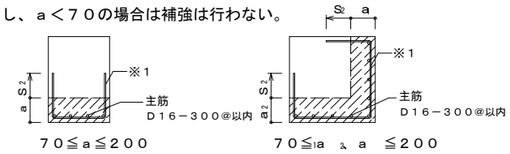


3．19．1図　片持スラブ形階段配筋の定着

3．20　柱及び梁の増し打ち要領

3．20．1　柱

（1）増し打ちコンクリートの補強は、3．20．1図による。
ただし、a＜70の場合は補強は行わない。



70≦a≦200　　70≦a1、a2≦200

※1．帯筋と同径・同ピッチとする。

3．20．1図　柱の増し打ち補強配筋

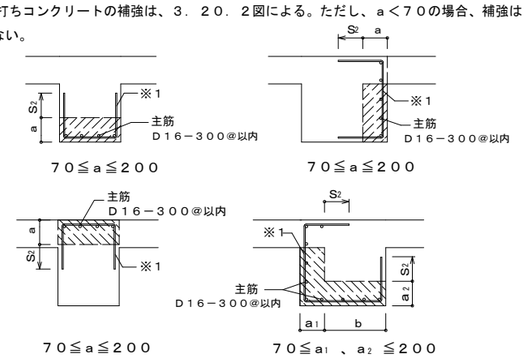
（2）増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

（3）増し打ち部分の帯筋の定着長さは、S_2以上とする。

（4）増し打ち部分主筋の定着，重ね長さは、柱の主筋による。

3．20．2　梁

（1）増し打ちコンクリートの補強は、3．20．2図による。ただし、a＜70の場合、補強は行わない。



70≦a≦200　　70≦a1、a2≦200

※1．あばら筋と同径・同ピッチとする。

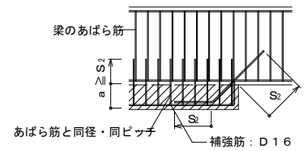
3．20．2図　梁の増し打ち補強配筋

（2）増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

（3）増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、S_2以上とする。

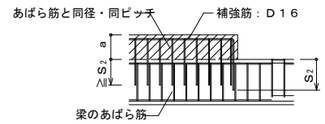
（4）増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。

（5）梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3．20．3図　梁の上下の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

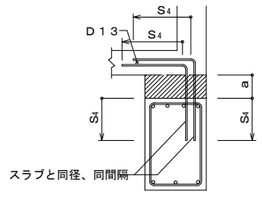
（6）梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3．20．4図　梁の側面の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

3．20．3　土間スラブの打継ぎ補強

（1）基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。



（端　部）

a≦300㎜の場合

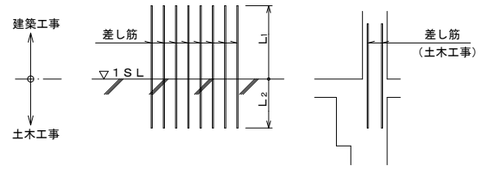
3．20．5図　土間スラブの打継ぎ補強配筋（ダブル）

3．21　土木部分と建築部分の取り合い

3．21．1　壁縦筋の取り合い

（1）差し筋の仕様は建築工事仕様とする。（径は図面による）

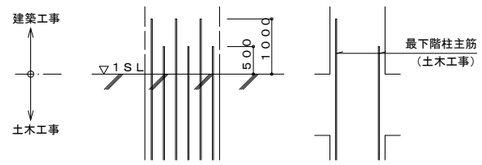
（2）L_1及びL_2は4．5．1表による。



3．21．1図　壁縦筋の取り合い差し筋

3．21．2　柱主筋の取り合い

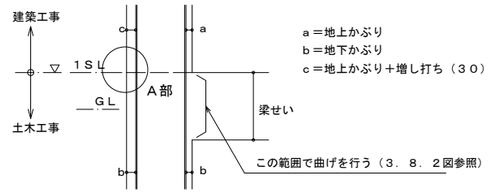
（1）最上部の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3．21．2図の圧接位置まで延ばすこと。

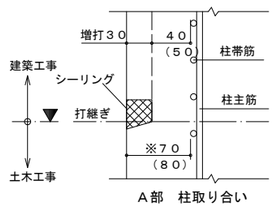


3．21．2図　柱主筋の取り合い差し筋

3．21．3　柱主筋かぶり厚の取り合い

（1）土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶりは、3．3．1表によらず、3．21．3図による。





A部　柱取り合い

※かぶり厚さ70（80）㎜は、柱部材の外壁に面する部分のみに適用する。
（　）内は、塩害対策地域に適用する。

3．21．3図　柱主筋かぶり厚の取り合い

原図サイズ：A1

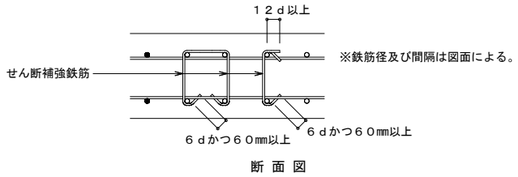
図面番号	S-05	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　別	構造細目共通図（複合構造物）（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

3　土木工事

3．23　せん断補強鉄筋

3．23．1　底版、床版

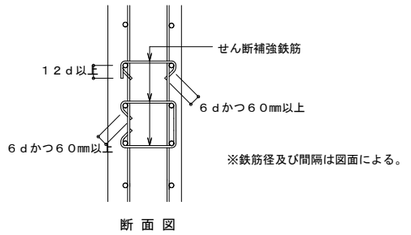
（1）底版、床版のせん断補強要領は3．23．1図及び3．23．3図による。



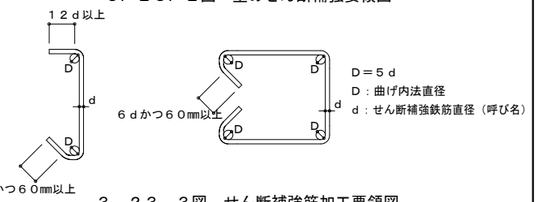
3．23．1図　底版、床版のせん断補強要領図

3．23．2　壁

（1）壁のせん断補強要領は3．23．2図及び3．23．3図による。



3．23．2図　壁のせん断補強要領図



3．23．3図　せん断補強筋加工要領図

3．24　杭基礎の補強

3．24．1　一般事項

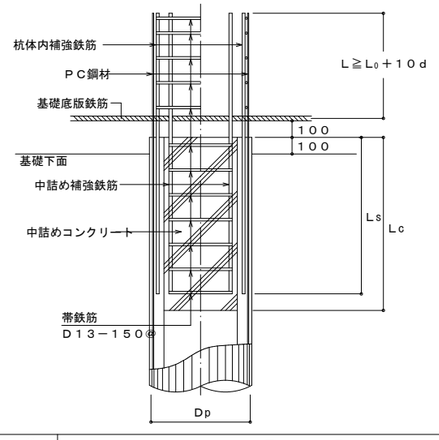
（1）補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計基準強度を30N/mm²以上とする。

（2）鉄筋種別、径・本数は、図面による。

（3）杭基礎の補強鉄筋の定着長L_0は、主筋の材質がSD345およびSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。

（4）杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、3．24．6図による。

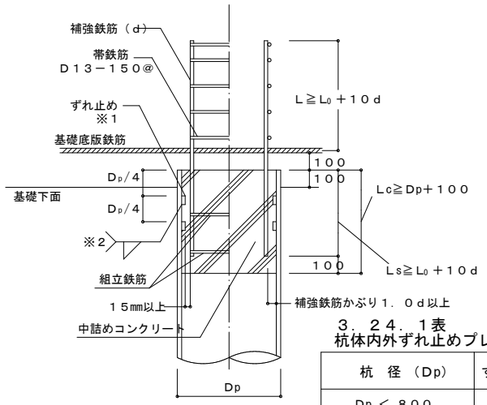
（5）杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



杭頭処理形態		Type B
カットオフする場合	鉄筋	Ls≧50φ＋L_0＋10d
	コンクリート	Lc≧2．5Dp＋100、かつ50φ＋L_0＋10d＋（かぶり100）
カットオフしない場合	鉄筋	Ls≧L_0＋10d
	コンクリート	Lc≧2．5Dp＋100、かつL_0＋10d＋（かぶり100）

注1．φは、PC鋼材径とする。

3．24．1図　PHC杭の杭頭補強



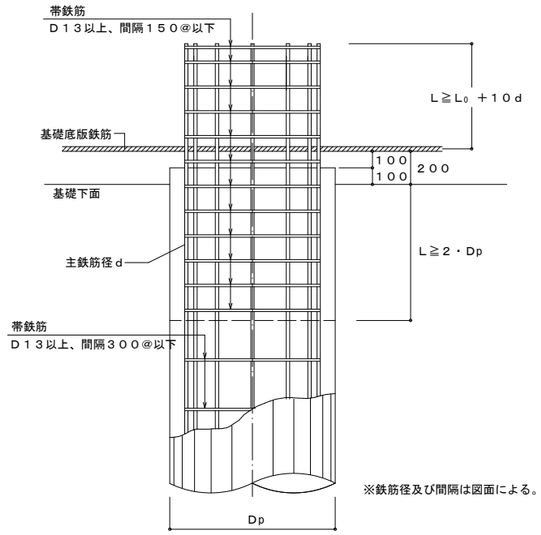
3．24．1表
杭体内外ずれ止めプレートの肉厚

杭　径（Dp）	ずれ止め厚さ
Dp＜800	9
800≦Dp＜1200	12
1200≦Dp＜1500	16

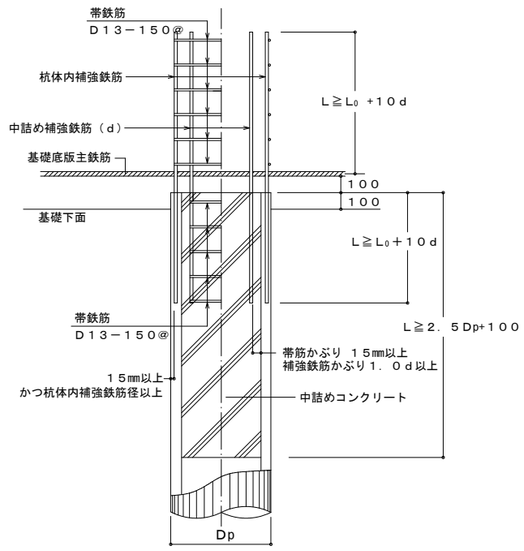
※1：ずれ止めの大きさは、3．24．1表による。
※2：全周現場すみ肉溶接

※材質はSS400

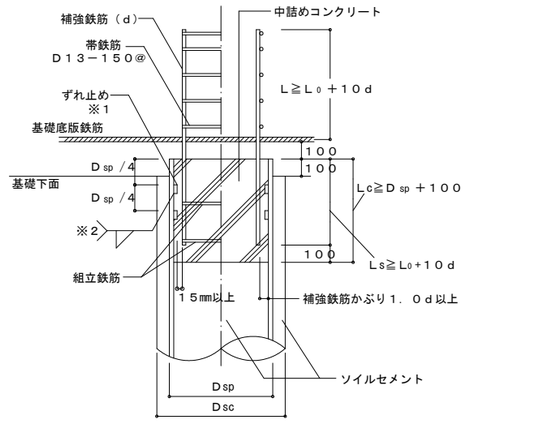
3．24．2図　鋼管杭の杭頭補強



3．24．3図　場所打ち杭の杭頭補強

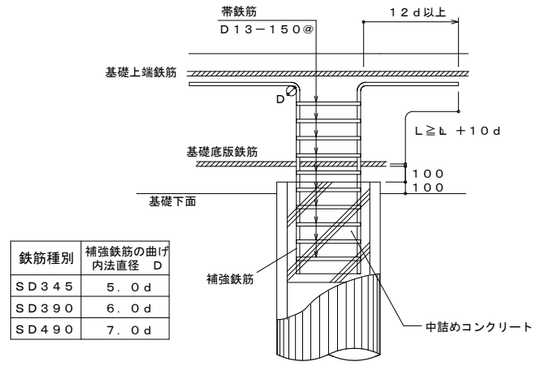


3．24．4図　SC杭の杭頭補強



※1：ずれ止めの大きさは、3．24．1表による。
※2：全周現場すみ肉溶接

3．24．5図　鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



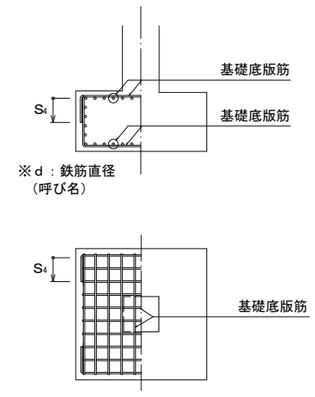
鉄筋種別	補強鉄筋の曲げ内法直径　D
SD345	5．0d
SD390	6．0d
SD490	7．0d

3．24．6図　杭頭補強筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

3．25　独立基礎の補強

3．25．1　フーチングの補強

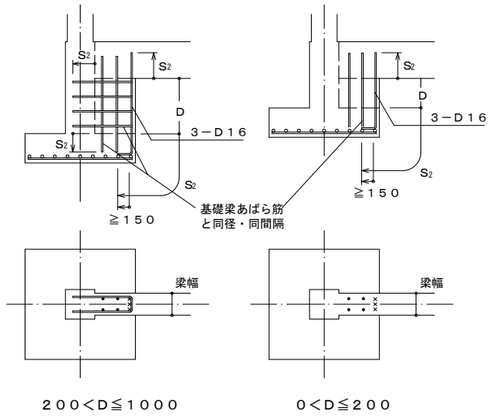
（1）補強方法は図面による。



3．25．1図　独立基礎の補強配筋

（2）基礎底版筋の配筋は、図面による。

3．25．2　基礎接合部の補強



※壁厚ならびに配筋は図面による。

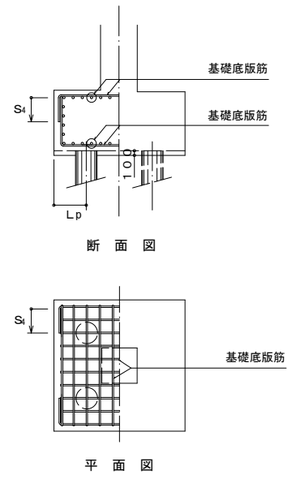
3．25．2図　基礎接合部の補強配筋

3．25．3　杭基礎の場合のフーチング配筋方法

（1）杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、3．25．3図とする。

（2）杭頭処理の方法は、3．24項に基づくものとする。

（3）杭芯とフーチング外端面との距離（Lp）は、場所打杭、打込み杭、埋め込み杭は1．0D（Dは杭径）以上とする。



3．25．3図　杭基礎の場合のフーチング配筋方法

原図サイズ：A1

図面番号	S-06	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　別	構造細目共通図（複合構造物）（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

3　土木工事

3．26　耐震補強

3．26．1　適用範囲

（1）本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物の耐震補強に適用する。

（2）図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1）土木工事特記仕様書	福山市上下水道局	（別紙による）
2）土木工事共通仕様書	広島県	（令和7年版）
3）コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	（ 2023年版 ）
4）コンクリート標準示方書・構造性能照査編	土木学会	（ 2022年版 ）
5）官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説	建築保全センター	（平成　8年版）
6）鉄筋定着・継手指針	土木学会	（2020年版　）
7）2017年改訂版　既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説	日本建築防災協会	（2017年版　）
8）あと施工アンカー連続繊維補強設計・施工指針	国土交通省	（2006年版　）

3．26．2　鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は3．26．1表による。

3．26．1表　鉄筋の種類及び継手

	種　別	径
鉄筋の種類	※SD345	※ D13以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	※1）ガス圧接	・ D19以上の柱、梁主鉄筋 ・ D16以上の増設端の床・壁鉄筋
	フレアー溶接	・ D13以上
	機械式継手	・ 図面による

※1）既存の鉄筋種別がSR235、295及びSD295Aの場合は、SD材との継手にガス圧接を使用してはならない。

3．26．3　鉄筋の継手長及び定着長

SD345以外の鉄筋との継手長・定着長については図面による。

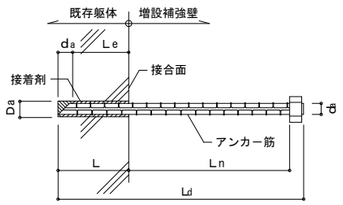
3．26．4　あと施工アンカー（接着系）

（1）アンカー径は、D13以上、D22以下とする。

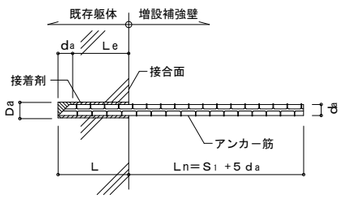
（2）アンカーの打設は、増設壁が接合する四周の柱、梁に行うことを原則とする。

（3）アンカーの埋め込み・定着長さを3．26．2表に示す。

（ナット付き）



（ナットなし）



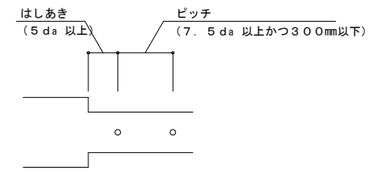
L　：コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ
Le：アンカ-の有効埋め込み長さ
Ld　：アンカ-筋の全長
Ln：有効定着長さ
Da：既存コンクリート躯体への穿孔径
da　：アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名
Si　：補強筋との継手長

3．26．1図　あと施工アンカー埋め込み・定着図

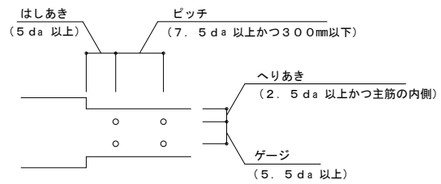
3．26．2表　あと施工アンカー埋め込み・定着長さ

区 分	位 置	用 途	長 さ	備 考
有効埋め込み長（Le）	一般部	曲げモーメント	12・da	先端形状45°カット
		せん断力	7・da	
	開口補強部	曲げモーメント	12・da	
		せん断力	10・da	
有効定着長（Ln）	一般部	－	20・da	ナットあり
	開口補強部	－	Si＋5・da	ナットなし

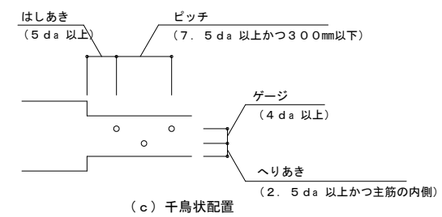
（あと施工アンカーの位置と間隔）



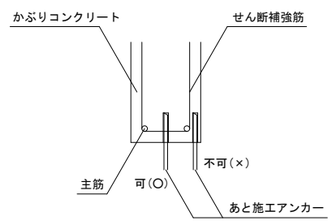
（a）シングル配置



（b）ダブル配置



（c）千鳥状配置



（d）断面配置

3．26．2図　あと施工アンカー配置図

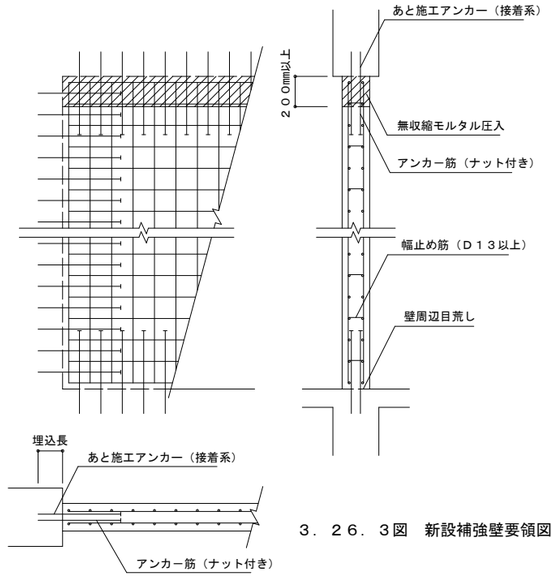
3．26．5　新設補強壁

（1）新設補強壁の配筋は3．26．3図を標準とする。

（2）新設部と接する既存の壁面には目荒しを施す。

（3）あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。

（4）新設壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。



3．26．3図　新設補強壁要領図

3．26．6　増打ち補強壁ほか

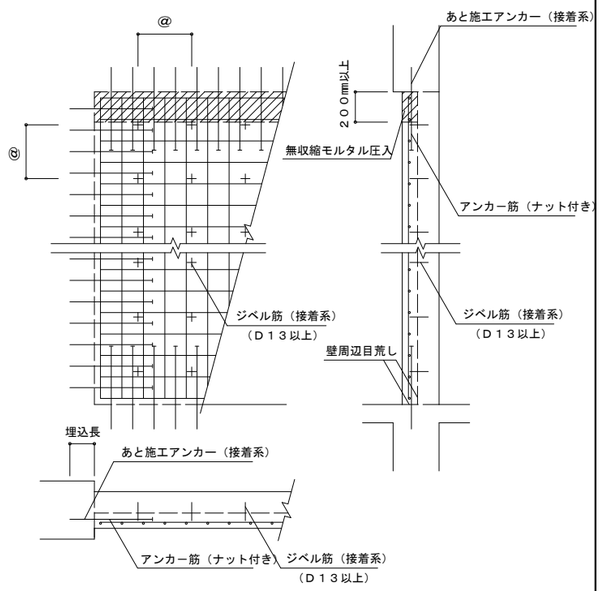
（1）増打ち補強壁の配筋は3．26．4図を標準とする。

（2）あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。

（3）増打ち部と接する既存の壁面を目荒しするほか、新旧の壁面にジベル筋を設けるものとし、配置間隔は図面による。

（4）増打ち壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

（5）梁下端部や垂れ壁下端部の施工では、コンクリートのブリーディングや沈下を考慮して、打継目が一体となるように留意する。



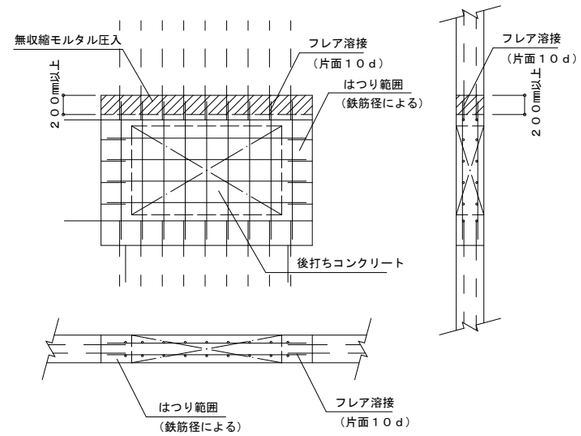
3．26．4図　増打ち補強壁要領図

3．26．7　開口閉塞

（1）既存壁と増設壁との接合は、開口周囲のコンクリートをはつり、鉄筋同士をフレア溶接で行う。

（2）閉塞部分が既存梁、柱と接する部位は全てあと施工アンカーで接合する。

（3）閉塞部分の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。



はつり範囲例　mm

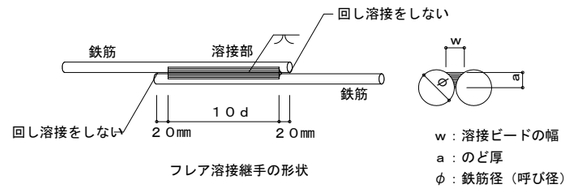
壁の鉄筋径	はつり幅
D13	200
D16	200
D19	300
D22	300
D25	300

3．26．5図　開口閉塞要領図

3．26．8　フレア溶接

（1）特記なき鉄筋のフレア溶接の継手形状を3．26．6図に示す。
（詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」（土木学会）による。）

（2）継手長さは鉄筋径の10倍とし、回し溶接は行わない。



フレア溶接継手の形状

3．26．6図　フレア溶接継手形状

原図サイズ：A1

図面番号	S-07	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　別	構造細目共通図（複合構造物）（7）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

4　建築工事

4．1　鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、4．1．1表を標準とする。
（1）Dは、折曲げ内法直径を示す。
（2）dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

4．1．1表　鉄筋の折曲げ形状及び寸法（末端部）

曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径（D） SD295、SD345 D16以下	D19～D38	使用箇所
180°	4d以上	3d以上	4d以上	柱、梁の主筋 D16以上の鉄筋
135°	6d以上	3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、スパイラル筋
90°	8d以上	3d以上	4d以上	T形及びL形の梁のあばら筋
135° 90°	4d以上 4d以上	3d以上	4d以上	90° 135° 幅止め筋

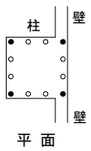
（注）1．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
2．90°未満の折曲げの内法直径は図面による。

4．2　異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、4．2．1表によりフックを設ける。

4．2．1表　フックを設ける位置

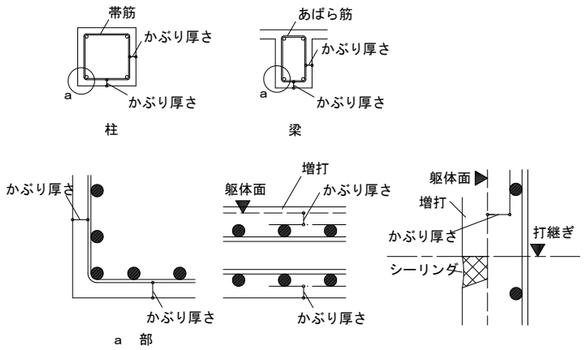
部位		継手方式 重ね継手	圧接継手	備考
柱	四隅の主筋	―――	1）最上階の柱頭部	4．2．1図の● 印 4．7．1図参照
柱	上下階の柱断面が異なる場合	―――	1）下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部	4．2．1図の● 印 4．7．2図参照
柱	帯筋（HOOP）	1）末端部 2）継手部	1）末端部	4．8．1図参照
梁	あばら筋（STP）	1）末端部 2）継手部	1）末端部	4．11．1
煙突の鉄筋		1）末端部 2）継手部	1）末端部	壁の一部となる場合を含む図参照
幅止め筋		―――	―――	4．1．1表参照



4．2．1図　異形鉄筋の末端部

4．3　鉄筋のかぶり及び間隔

4．3．1　かぶり厚さ
かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋、組立筋を除く）の外面から躯体面までの距離（4．3．1図）をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10㎜を加えた厚さ以内に納めるものとする。



4．3．1図　鉄筋のかぶり厚さ

4．3．2　最小かぶり厚さ
最小かぶり厚さは、4．3．1表による。
（1）床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
（2）柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1．5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。
（3）溶接金網にも適用する。

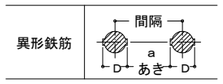
4．3．1表　鉄筋の最小かぶり厚さ(㎜)

構造部分の種別＼塩害区分		※ 通常の施工の場合	・ 塩害対策を必要とする場合
一般	床、耐力壁以外の壁	30	40
	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
土、水に接する部分	柱、梁、床、壁	40	50
	底版、基礎	60	70
煙突等高熱を受ける部分		60	70

1：打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。
2：仕上なしの場合を標準とする。

4．4　鉄筋相互のあき及び間隔

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手のあきは、図面による。
（1）粗骨材の最大寸法の1．25倍
（2）最小のあき25㎜
（3）異形鉄筋の直径（呼び径）の1．5倍以上



（注）D：鉄筋の最外径　d：鉄筋直径（呼び名）
4．4．1図　鉄筋のあき

4．4．1表　鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径(㎜) 鉄筋径d	最外径D	鉄筋相互のあき：a （1）粗骨材径×1．25	（2）最小あき	（3）鉄筋径×1．5	最小鉄筋芯間隔 a＋D
D10	11	32㎜	25㎜	15㎜	43㎜
D13	14			20㎜	46㎜
D16	18			24㎜	50㎜
D19	21	粗骨材最大径25㎜の場合		29㎜	53㎜
D22	25			33㎜	58㎜
D25	28			38㎜	66㎜
D29	33			44㎜	77㎜

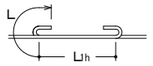
4．5　鉄筋の継手及び定着

4．5．1　鉄筋の重ね継手
（1）鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、4．5．1表による。
（2）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
（3）主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

4．5．1表　鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種別	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/㎟）	L_l（フックなし）	L_{lh}（フックあり）
SD295	24　27	35d	25d
	30	35d	25d
SD345	24　27	40d	30d
	30	35d	25d

（注）1．L_1、L_{1h}　：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2．フックありの場合のL_{1h}は、4．5．1図に示すようにフック部分Lを含まない。



4．5．1図

4．5．2　継手の特記事項
（1）　継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

4．5．3　鉄筋の定着
（1）　鉄筋の定着の長さは、4．5．2表による。

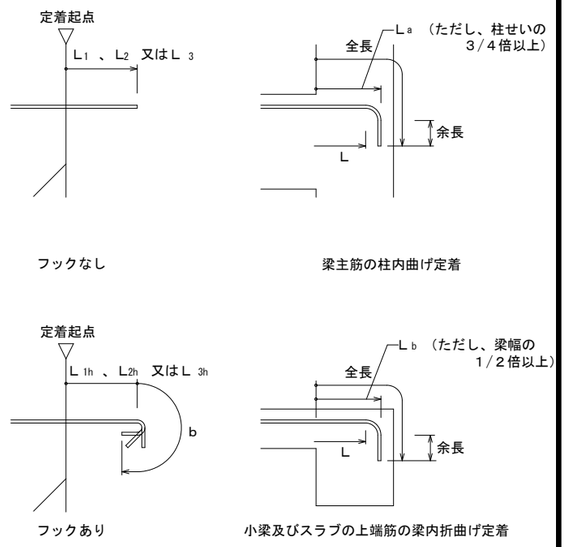
4．5．2表　鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種別	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/㎟）	フックなし L_1	L_2	L_3 小梁	L_3 スラブ	フックあり L_{1h}	L_{2h}	L_{3h} 小梁	L_{3h} スラブ
SD295	24、27	35d	30d	20d	10dかつ150㎜以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	24、27	40d	35d			30d	25d		
	30	35d	30d			25d	20d		

（注）1．L_1、L_{1h}　：2．以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ
2．L_2、L_{2h}　：割裂破壊の恐れのない個所への直接定着の長さ及びフックありの定着の長さ
3．L_3：小梁及びスラブの下端筋の直筋の直線定着長さ(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。)
なお、片持小梁及び片持スラブの場合は20d及び10dを25d以上とする。
4．L_{3h}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
5．フックありの定着の場合は、4．5．2図(イ)に示すようにフック部分bを含まない。
また中間部での折曲げは行わない。

4．5．4　定着の方法
定着の方法は4．5．2図による。
なお、（ロ）折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、4．5．2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を4．5．2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4．5．3表に示す長さをのみ込ませる。

（注）1．L_a、L_b　は、4．5．3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記の条件を満たすものとする。
・梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上
・小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上
・スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上



（イ）直線定着　（ロ）折曲げ定着
4．5．2図　定着の方法

4．5．3表　鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種別	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/㎟）	L_a	L_b
SD295	24　27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24　27	20d	15d
	30	15d	15d

（注）1．L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
（基礎梁、片持ちスラブを含む。）
2．L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）

原図サイズ：A1

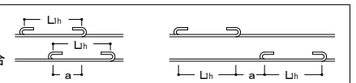
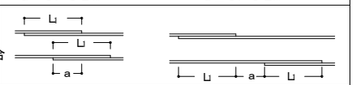
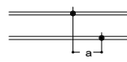
図面番号	S-08	縮尺	1／100
工事名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種別	構造細目共通図（複合構造物）（8）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福山市上下水道局			

4　建築工事

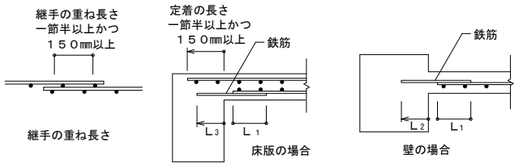
4．5．5　隣り合う継手の位置及び定着

（1）隣り合う継手の位置は、4．5．4表により、a寸法を守ること。
　　ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4．5．4表　隣り合う継手の位置

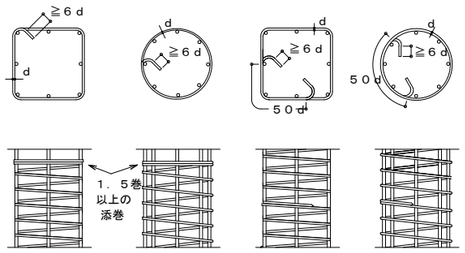
重ね継手	フック有りの場合		
		a＝0．5 L_{1h}	a≧0．5 L_{1h}
	フックなしの場合		
		a＝0．5 L_1	a≧0．5 L_1
圧接継手	――		
		a≧400mm	

（2）溶接金網の継手及び定着は、4．5．3図による。



4．5．3図　溶接金網の継手及び定着要領

（3）スパイラル筋の継手及び定着



末　端　部
（柱頭又は柱脚部）

中　間　部
（重ね継手）

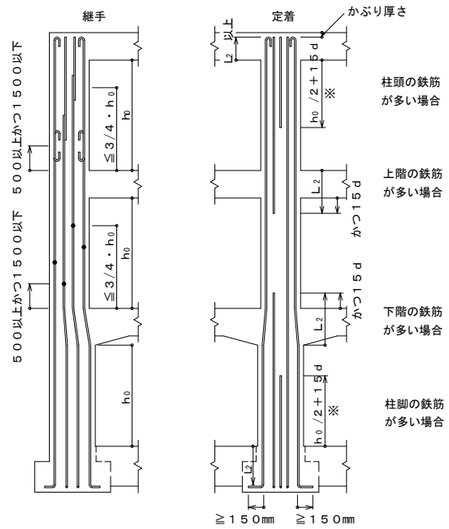
4．5．4図　スパイラル筋の継手及び定着要領

4．6　（欠番）

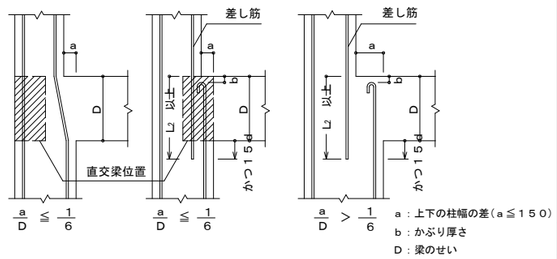
4．7　柱筋の継手及び定着

4．7．1　隣り合う継手の位置及び定着

（1）継手長さはL_1とし、定着及び余長は、4．7．1図による。
（2）柱頭定着長さL_2が確保出来ない場合は、図面による。
（3）上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4．7．2図による。
（4）柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ
　　3／4h（hは柱の内法高さ）以下とする。
（5）※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



4．7．1図　柱主筋の継手、定着及び余長

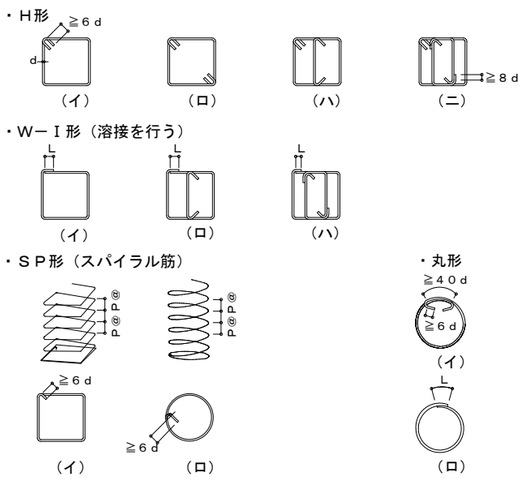


4．7．2図　上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

4．8　帯筋

4．8．1　帯筋の形状

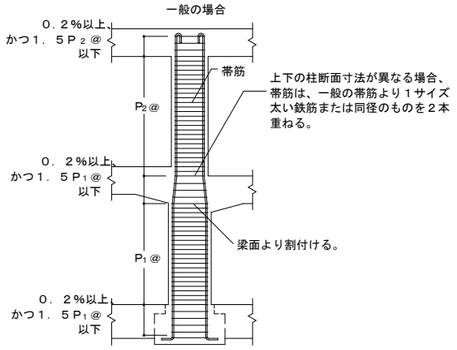
（1）帯筋の形状は、4．8．1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
　（a）H形を標準とする。
　（b）H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W－I形とする。
　（c）溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア
　　溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
　（d）SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1．5巻以上の添巻きを行う。



4．8．1図　帯筋組立の形

4．9　帯筋の割付け

（1）フック及び継手の位置は交互とする。
（2）帯筋の割付けは、4．9．1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
（3）柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、0．2%以上を
　　確保し、補強筋間隔≦1．5Pとする。



4．9．1図　帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例（0．2%確保）

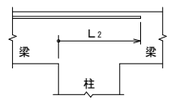
柱幅(mm)	パネルゾーン
≦500	D10 @125
≦600	D10 @100
≦700	D10 @100
≦800	D13 @150
≦900	D13 @125
≦1000	D13 @125
≦1100	D13 @100
≦1200	D13 @100

※1．5P_1、1．5P_2　のピッチは150mm以下とする。

4．10　大梁筋の継手及び定着

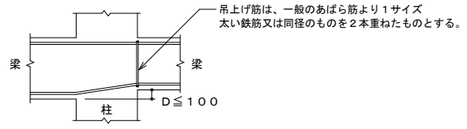
4．10．1　大梁（基礎梁以外の大梁に限る）主筋の継手、定着及び余長

（1）大梁主筋の継手及び定着の一般事項
　a．梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すこと
　　が出来ない場合は、b．により柱内に定着することができる。
　　ただし、やむ得ず梁内に定着する場合は、4．10．1図による。



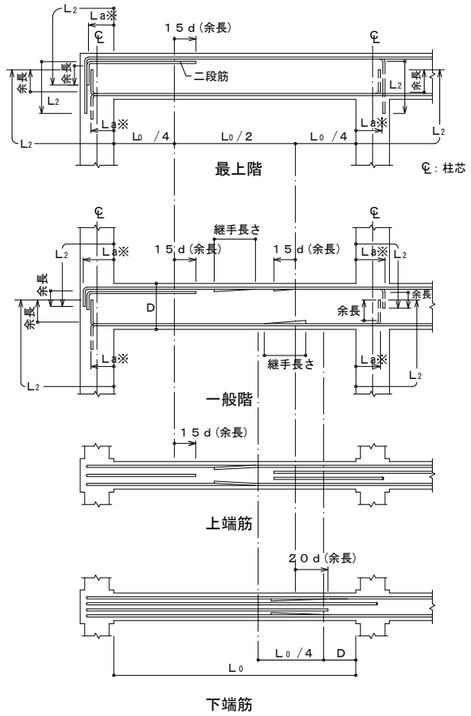
4．10．1図　梁主筋の梁内定着

　b．梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。
　　なお、定着の方法は、4．5．4による。
　　上端筋：曲げ下ろす。
　　下端筋：原則として曲げ上げる。
　c．段違い梁は4．10．2図による。



4．10．2図　段違い梁

4．10．2　ハンチのない場合

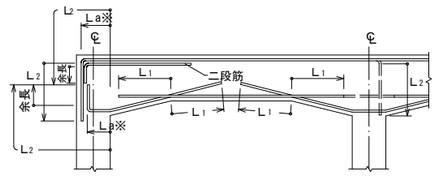


（注）1．継手中心位置は次による。
　　上端筋：中央L_0／2以内
　　下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、L_0／4を加えた範囲以内
　2．4．2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
　3．　　印は、継手及び余長を示す。
　4．破線は、柱内定着の場合を示す。
　5．梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。
　※ Laは、原則として、4．5．3表の数値かつ柱せいの3／4倍以上とする。

4．10．3図　大梁の重ね継手、定着及び余長

4．10．3　ハンチのある場合

（1）最上階の場合



※ Laは、原則として、4．5．3表の数値かつ柱せいの3／4倍以上とする。

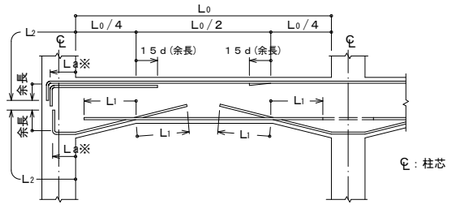
4．10．4図　ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

原図サイズ：A1

図面番号	S-09	縮尺	1／100
工事名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種別	構造細目共通図（複合構造物）（9）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福山市上下水道局			

4　建築工事

（2）一般階の場合

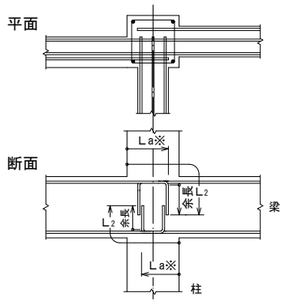


4．10．5図　ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

(注)1．4．2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
2．　　印は、継手及び余長を示す。
3．梁内定着の端部下端筋が接近するときは、　　のように引き通すことができる。
4．破線は、梁内定着の場合を示す。
5．梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。
※ Laは、原則として、4．5．3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4．10．4　水平段差のある場合

（1）水平段差のある場合

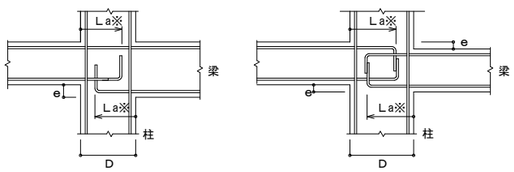


※ Laは、原則として、4．5．3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4．10．6図　大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

4．10．5　鉛直段差（e）のある場合

（1）e/D≦1/6の場合

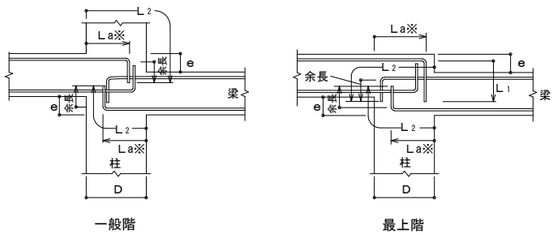


定着の長さは、4．10．2図に準ずる

※ Laは、原則として、4．5．3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4．10．7図　鉛直段差梁（その1）

（2）e/D＞1/6の場合



※ Laは、原則として、4．5．3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4．10．8図　鉛直段差梁（その2）

4．11　梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

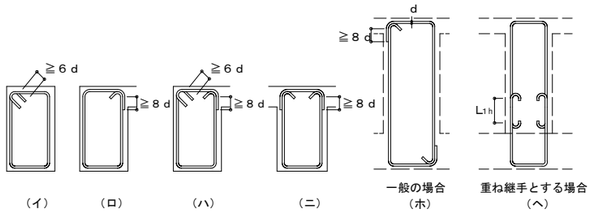
4．11．1　一般事項

（1）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150㎜程度とする。
（2）壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、L　とする。
（3）土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
（4）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10－1000㎜ピッチ程度とする。

4．11．2　あばら筋組立の形及びフックの位置

（1）形は、4．11．1図（イ）を標準とする。
ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。
a．床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
b．床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）

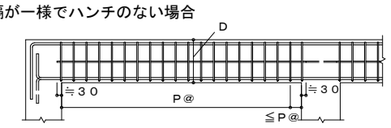
（2）フックの位置
a．（イ）の場合は交互とする。
b．（ロ）の場合　床版が片側に付く場合は床版の付く側
床版が両側に付く場合は交互
c．（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。
d．（ホ）（へ）の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1．5m以上の場合に適用する事ができる。（基礎梁）



4．11．1図　あばら筋組立の形及びフックの位置

4．11．3　あばら筋の割付け

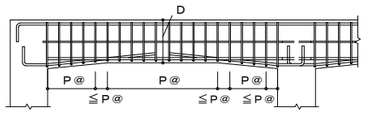
（1）間隔が一様でハンチのない場合



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2．図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4．11．2図　あばら筋の割付け（その1）

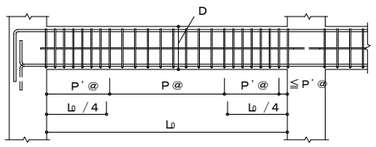
（2）間隔が一様でハンチのある場合



（注）1．あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。
2．図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4．11．3図　あばら筋の割付け（その2）

（3）梁の端部で間隔の異なる場合



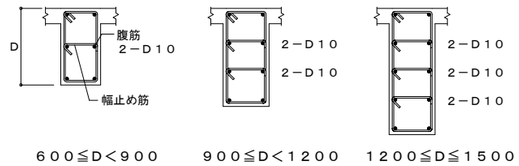
（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2．図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4．11．4図　あばら筋の割付け（その3）

4．11．4　腹筋及び幅止め筋

（1）一般の梁

a）　腹筋及び幅止め筋



4．11．5図　腹筋及び幅止め筋

（2）特殊な梁
腹筋及び幅止め筋は、図面による。

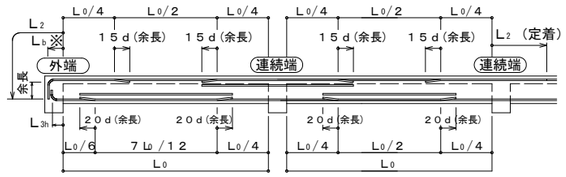
4．12　小梁及び片持梁の配筋要領

4．12．1　一般事項

（1）図面にない事項は大梁、梁のあばら筋の項に準ずる。
（2）　　印は、継手及び余長を示す。

4．12．2　小　梁

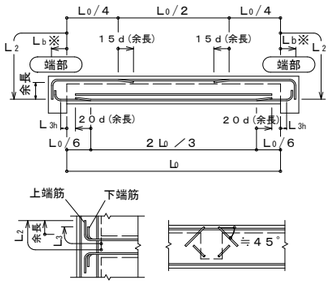
（1）連続小梁の場合



※ Lb の数値は、原則として、4．5．3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4．12．1図　小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

（2）単独小梁の場合

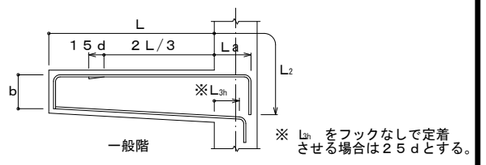


4．12．2図　小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

（注）1．　　印は、継手及び余長を示す。
2．梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
※ Lb は、原則として、4．5．3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

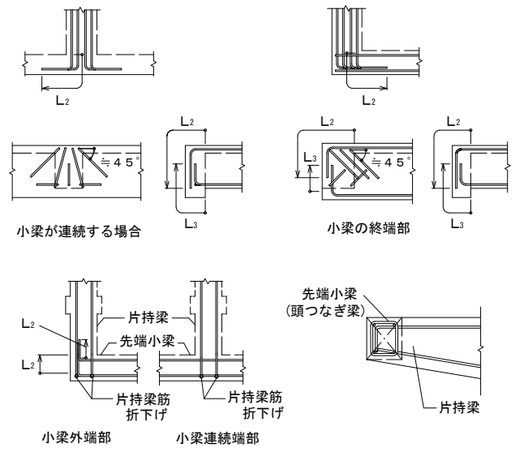
4．12．3　片持梁筋の定着

（1）先端に小梁のない場合
a．先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
b．梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



4．12．3図　片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）

（2）先端に小梁がある場合
a．上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
b．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
c．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



4．12．4図　片持梁主筋の定着

原図サイズ：A1

図面番号	S-10	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	構造細目共通図 （複合構造物）（10）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

4　建築工事

4．13　壁の配筋要領

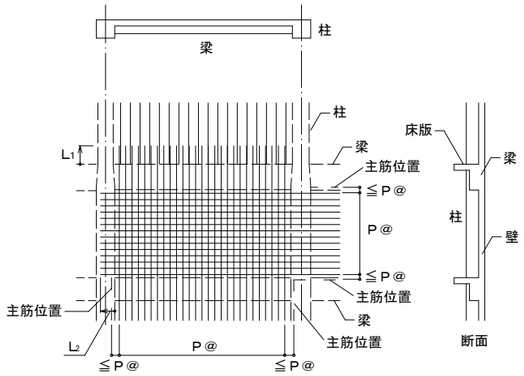
4．13．1　一般事項

（1）一般壁配筋の重ね継手の長さはL　とし、耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390，SD490を使用する場合は特記による。また、定着の長さはL　とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。

（2）幅止め筋は、縦、横ともD10－@1000を標準とする。

（3）打増し部分に、壁及びスラブ等が取りつく場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。

（4）土圧及び水圧などを受ける壁の配筋は、図面による。



（注）図中のP@は、図面の壁筋の間隔を示す

4．13．1図　壁の配筋

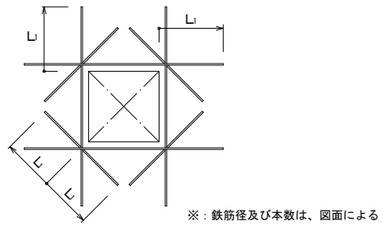
4．13．2　耐震壁の開口

（1）耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。

（2）やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

4．13．3　壁開口部の補強

（1）壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4．13．3図を標準とする。



※：鉄筋径及び本数は、図面による

4．13．3図　壁開口部の補強の定着長さ

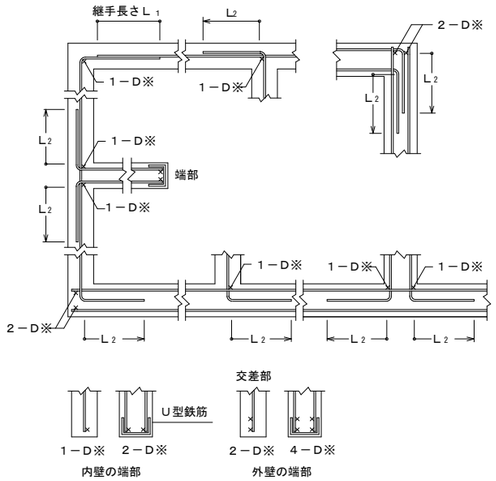
（2）開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

4．13．4　壁の交差部及び端部

壁の交差部及び端部の交差部は、4．13．4図による。

a．交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。

b．壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。



4．13．4図　壁の交差部及び端部の配筋

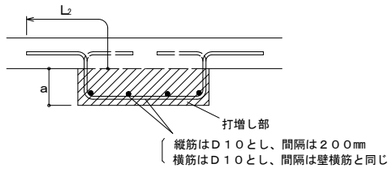
※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」（日本建築学会）に基づき図面による。

4．14　壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4．14．1図による。

打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。

200mmを越える場合は、特記による。



4．14．1図　壁の打増し補強配筋

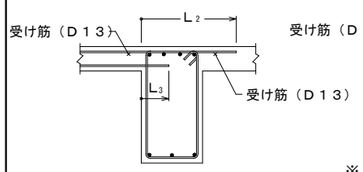
4．15　床の配筋要領

4．15．1　一般事項

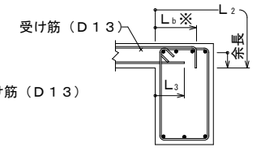
（1）鉄筋の継手長さは、L1 とする。

（2）定着長さ及び受け筋は、4．15．1図による。ただし、引き通すことができない場合は、4．15．2図、4．15．3図により梁内に定着する。

（3）基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。

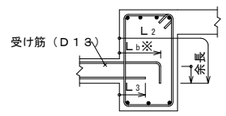


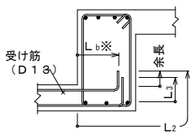
4．15．1図　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その1）



※　Lb の数値は、原則として、6．3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4．15．2図　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その2）



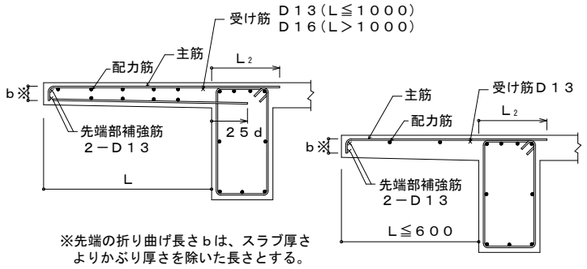


※　原則としてL　は、4．5．3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4．15．3図　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その3）

4．15．2　片持スラブ

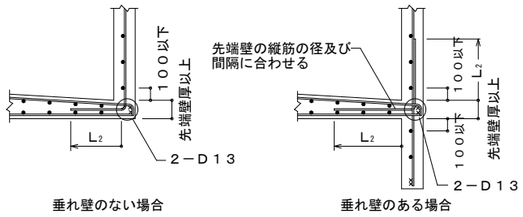
（1）片持スラブの配筋



※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

4．15．4図　片持スラブの配筋

（2）先端に小梁がなく壁が取り付く場合



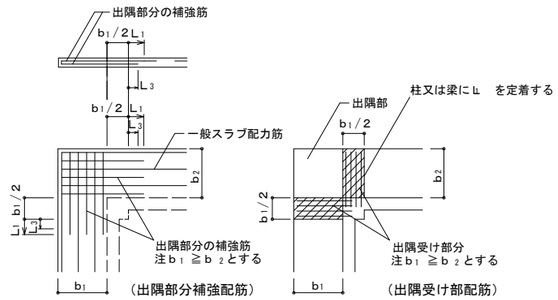
垂れ壁のない場合　　垂れ壁のある場合

4．15．5図　先端に壁が付く場合の配筋

4．15．3　片持ちスラブ出隅部の補強配筋

（1）出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、4．15．6図による。

（2）出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。

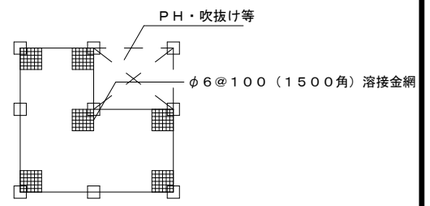


4．15．6図　片持スラブ出隅部の補強配筋

4．15．4　地上部最上階の屋根床版

（1）出隅及び入隅部分には、4．15．7図により、補強筋（溶接金網）を上端筋の下側に配筋する。

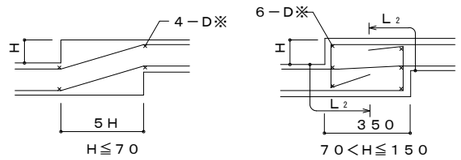
（2）陸屋根、勾配屋根共通とする。



4．15．7図　出隅及び入隅部分の補強配筋

4．15．5　段差床版の補強

（1）同一床版に段差がある場合、4．15．8図の補強を行う。ただし、H＞150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。

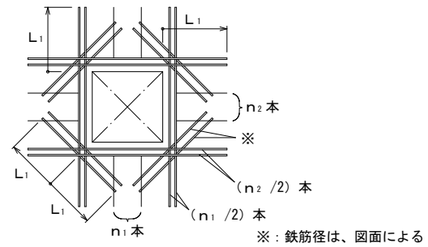


D※：鉄筋径は、図面による。

4．15．8図　段差のある床版の補強配筋

4．15．6　床版開口部の補強

（1）開口の最大径≦700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。（4．15．9図）開口の最大径＞700の場合は図面による。



※：鉄筋径は、図面による

4．15．9図　床版開口部の補強配筋

（2）床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

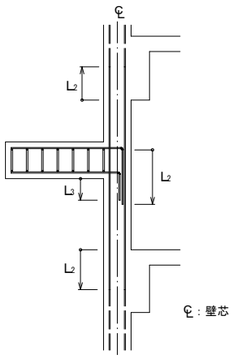
原図サイズ：A1

図面番号	S-11	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	構造細目共通図 （複合構造物）（11）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

4　建築工事

4．17　階段の配筋要領

（1）壁配筋は、図面による。
（2）階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。

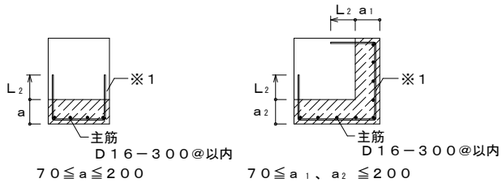


4．17．1図　片持スラブ形階段配筋の定着

4．18　柱及び梁の増し打ち要領

4．18．1　柱

（1）増し打ちコンクリートの補強は、4．18．1図による。
　ただし、a＜70㎜の場合、補強は行わない。200㎜＜aの場合は、図面による。



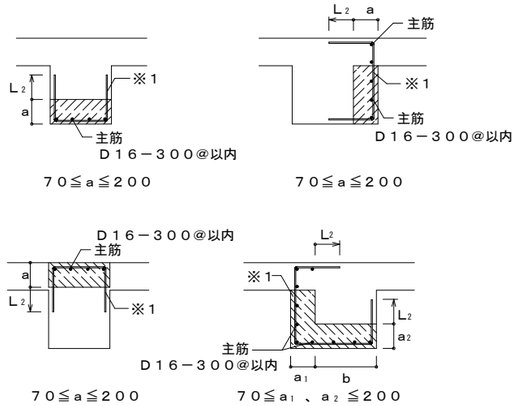
※1．帯筋と同径・同材質・同ピッチとする。

4．18．1図　柱の増し打ち補強配筋

（2）増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
（3）増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L2 以上とする。
（4）増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

4．18．2　梁

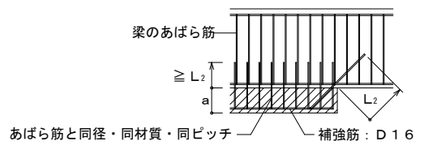
（1）増し打ちコンクリートの補強は、4．18．2図による。ただし、
　a＜70㎜の場合、補強は行わない。200㎜＜aの場合は、図面による。



※1．あばら筋と同径・同材質・同ピッチとする。

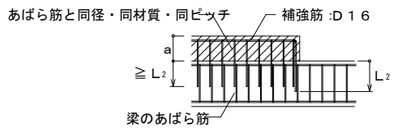
4．18．2図　梁の増し打ち補強配筋

（2）増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
（3）増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L 2 以上とする。
（4）増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
（5）梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



4．18．3図　梁の上下の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

（6）梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合



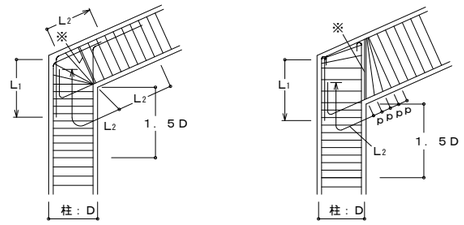
4．18．4図　梁の側面の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

4．19　勾配屋根の取り合い

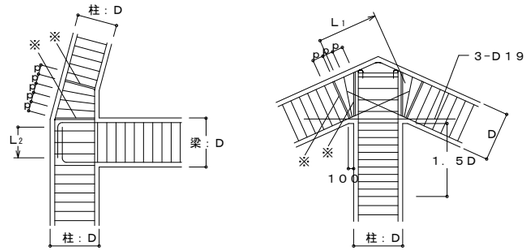
4．19．1　斜め柱・斜め梁の取り合い

（1）※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
（2）1．5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。
（3）柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔ｐ以下とする。

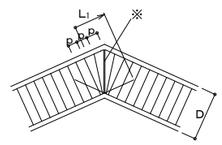
a）柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一　　b）柱幅と斜材幅が異なる



c）柱脚で斜材となる　　d）柱頭で斜材となる上端筋は、連続筋とする。

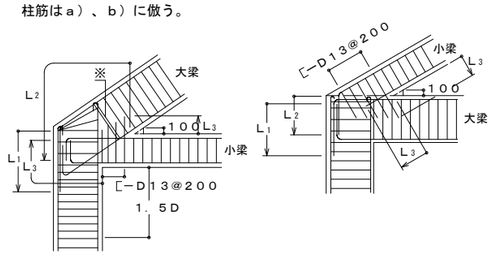


e）梁が斜材となる上端筋は、連続筋とする。



f）斜め大梁に小梁が接する場合
　柱筋はa）、b）に倣う。

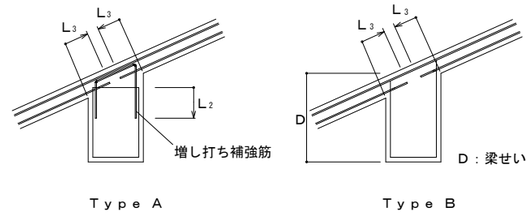
g）大梁に斜め小梁が接する場合



4．19．1図　斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

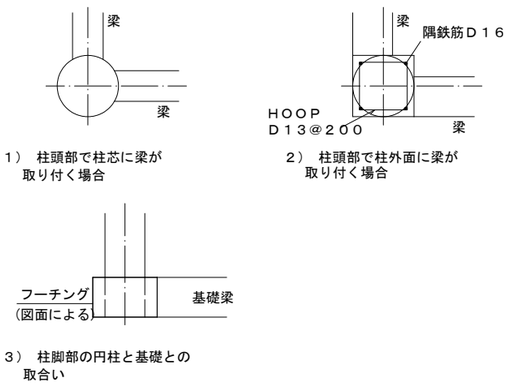
4．19．2　梁と床版の取り合い

増し打ち補強要領は、4．19．2図による。



4．19．2図　梁と床版の取り合い配筋

4．19．3　円柱の取り合い



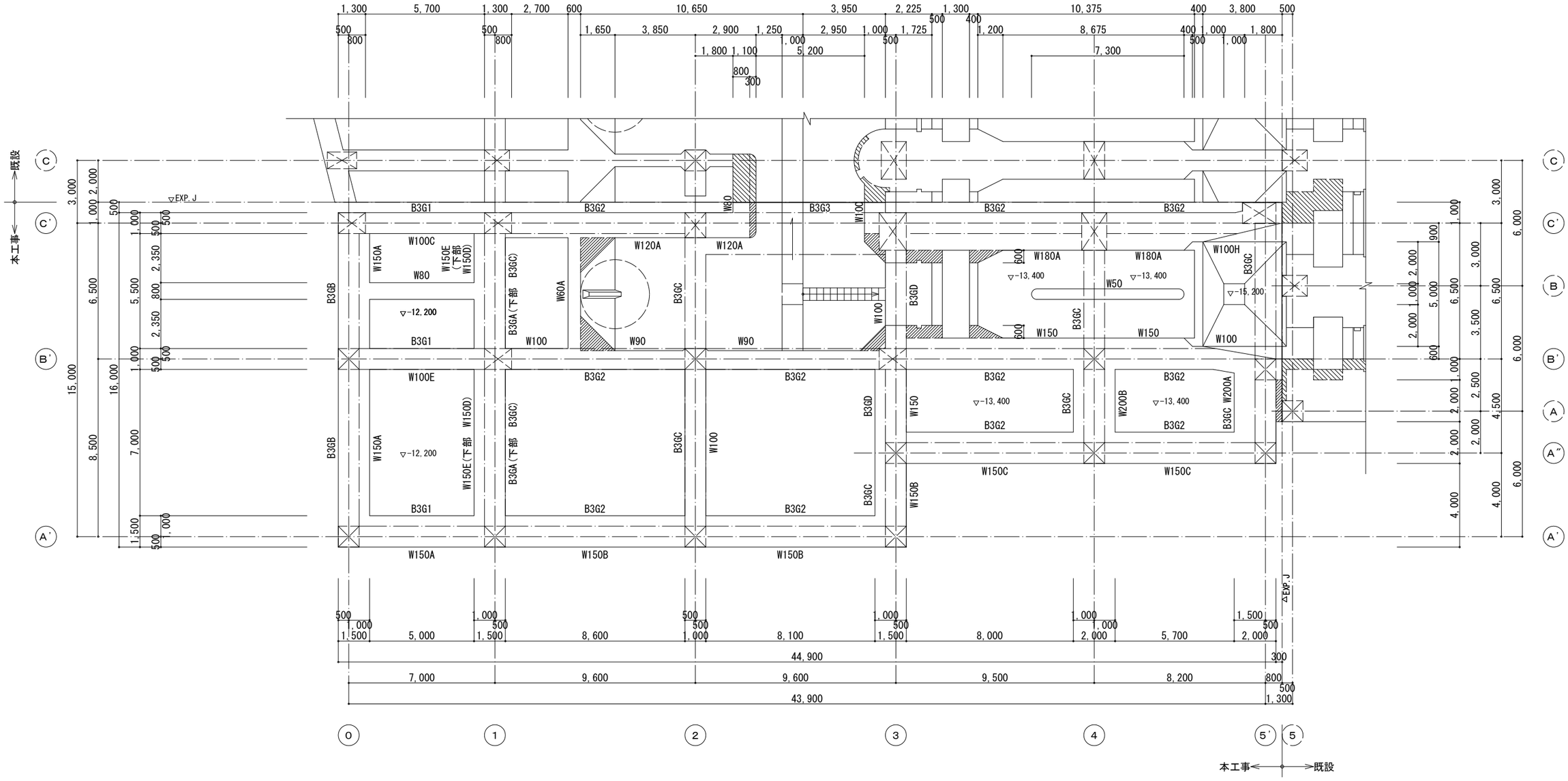
4．19．3図　円柱の取り合い配筋

原図サイズ：A1

図面番号	S-12	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	構造細目共通図 （複合構造物）（12）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

図面番号	1S-01	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下３階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

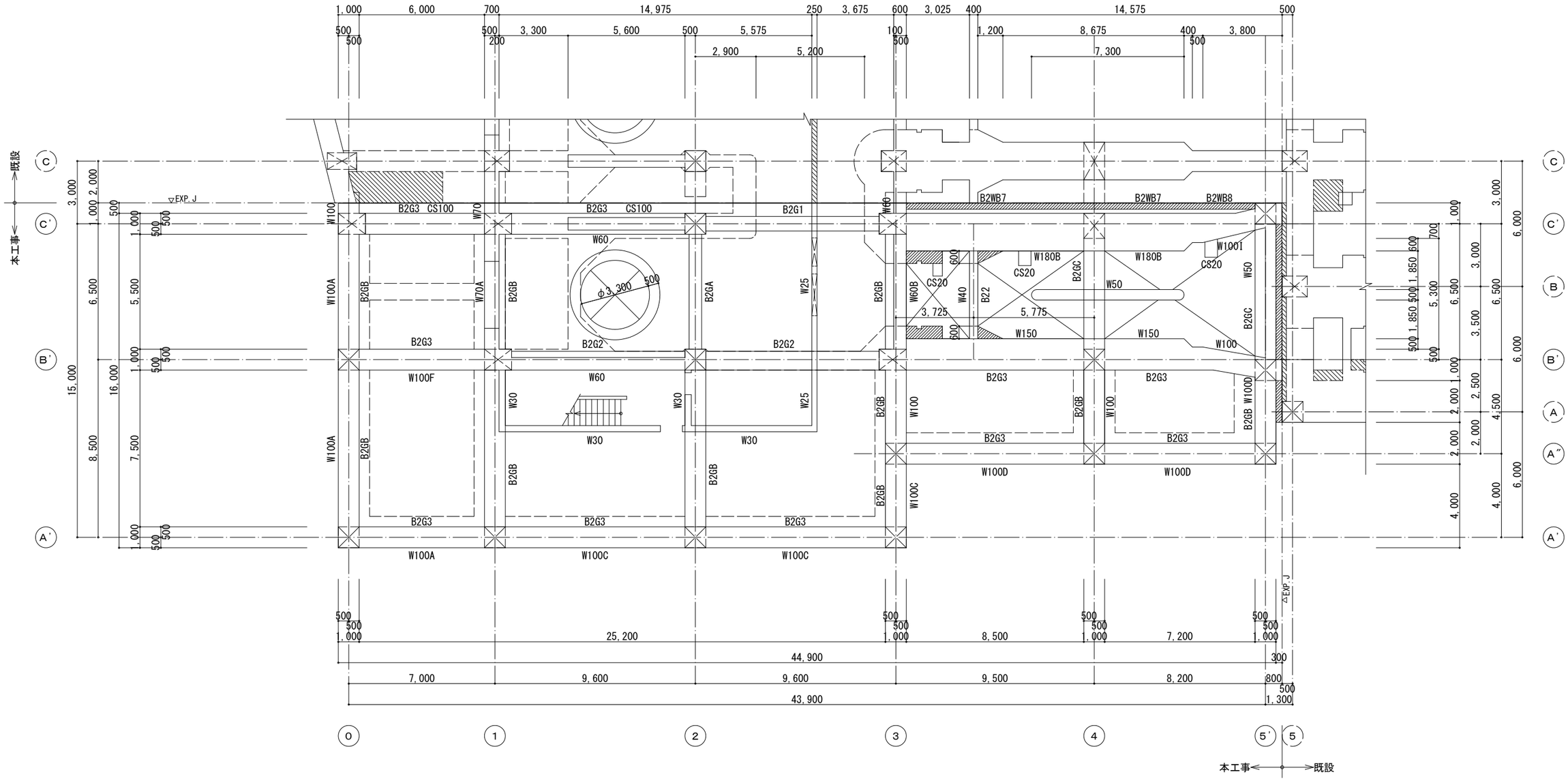


地下３階伏図　　1/100

特記なき限り（共通事項）
１．B3SLは、-15,100を示す。
２．▨は、増打ちを示す。

図面番号	1S-02	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下２階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

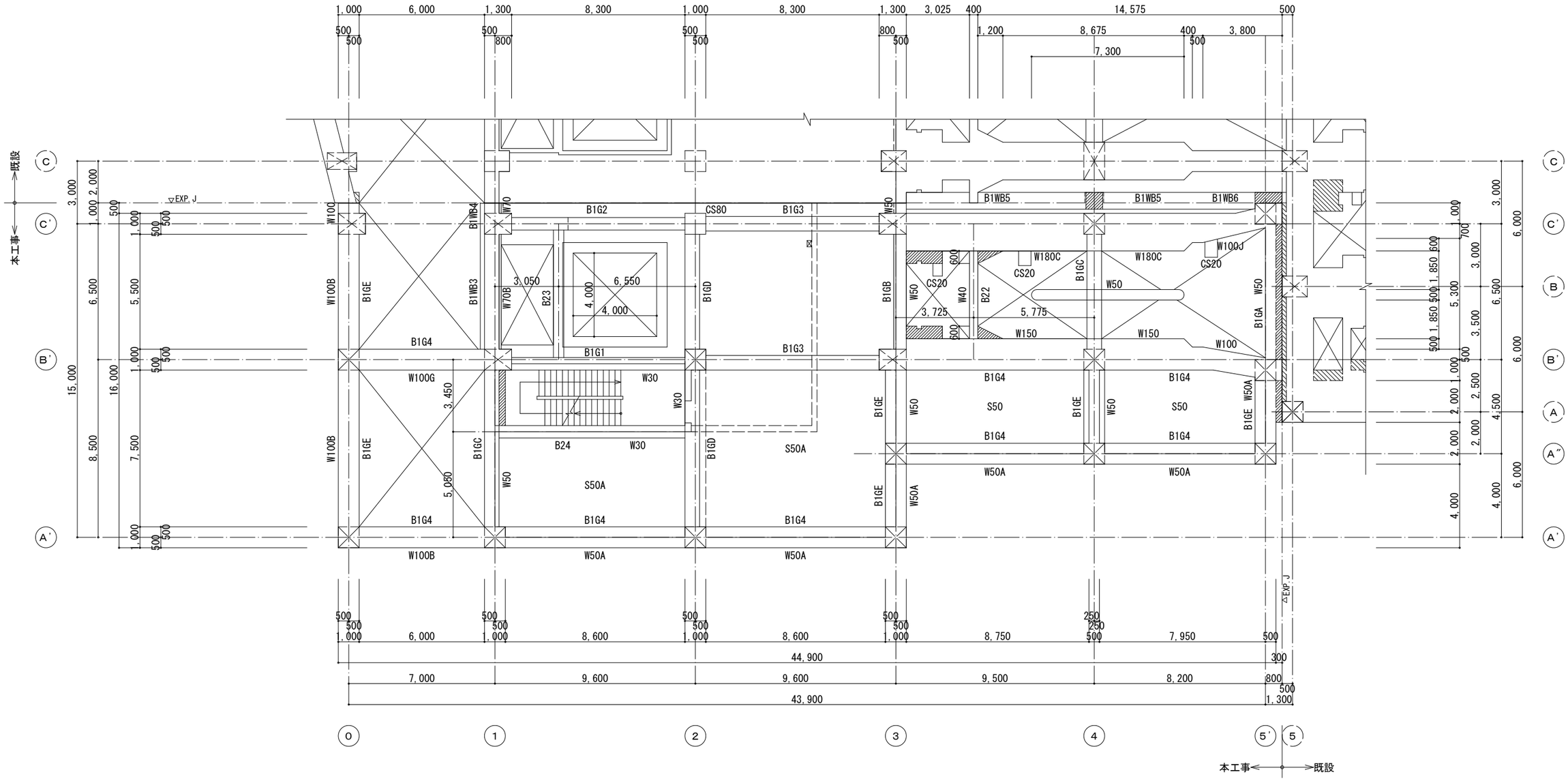


地下２階伏図　　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．B2FLは、-6,700を示す。
2．床版・梁天端は、-6,900（B2FL-200）とする。
3．床版は、S100とする。
4．▨は、増打ちを示す。

図面番号	1S-03	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下１階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

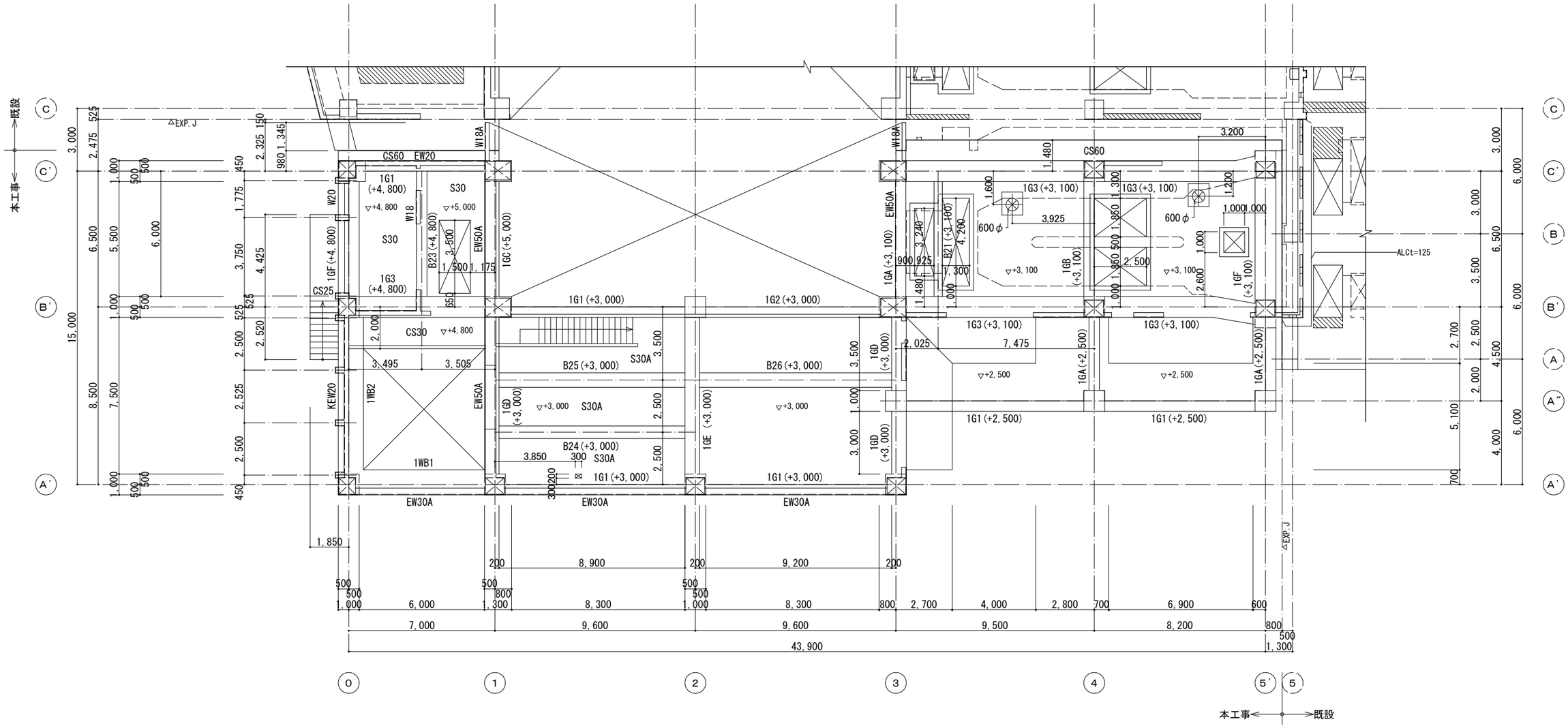


地下１階伏図　　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．B1FLは、-1,700を示す。
2．床版・梁天端は、-2,000（B1FL-300）とする。
3．床版は、S80とする。
4．▨は、増打ちを示す。

図面番号	1S-04	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	1階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

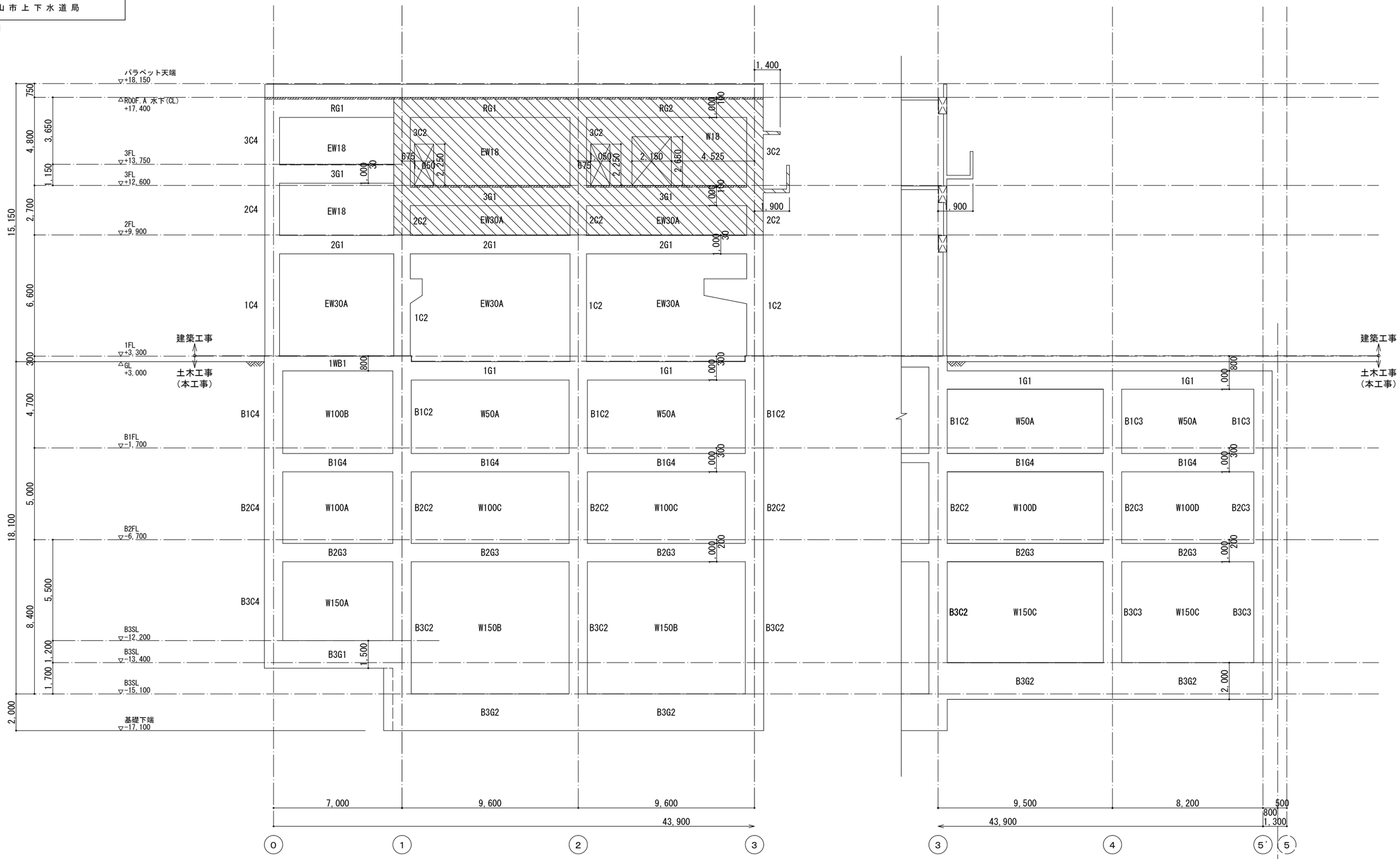


1階伏図　1/100　（見下げ）

特記なき限り（共通事項）
1．1FLは、+3,300を示す。
2．床版・梁天端は、+3,300（1FL±0）とする。
3．（　）内は、梁天端を示す。
4．床版は、S60とする。
5．壁は、W20とする。
6．▨は、増打ちを示す。

図面番号	1S-05	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



A'通軸組図　1/100

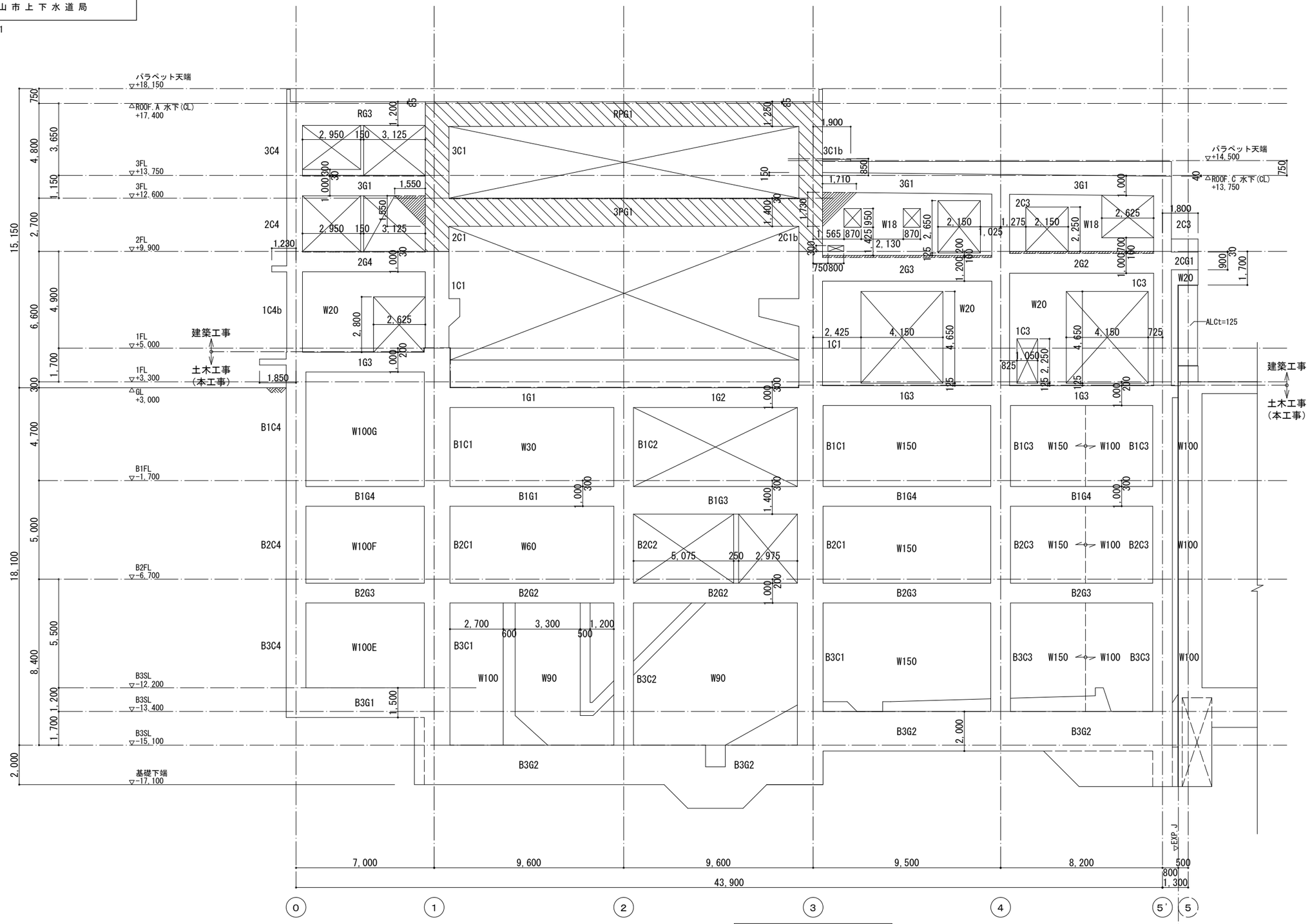
特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。
2．▧部分のコンクリートは、Fc30とする。

A"通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

図面番号	1S-06	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

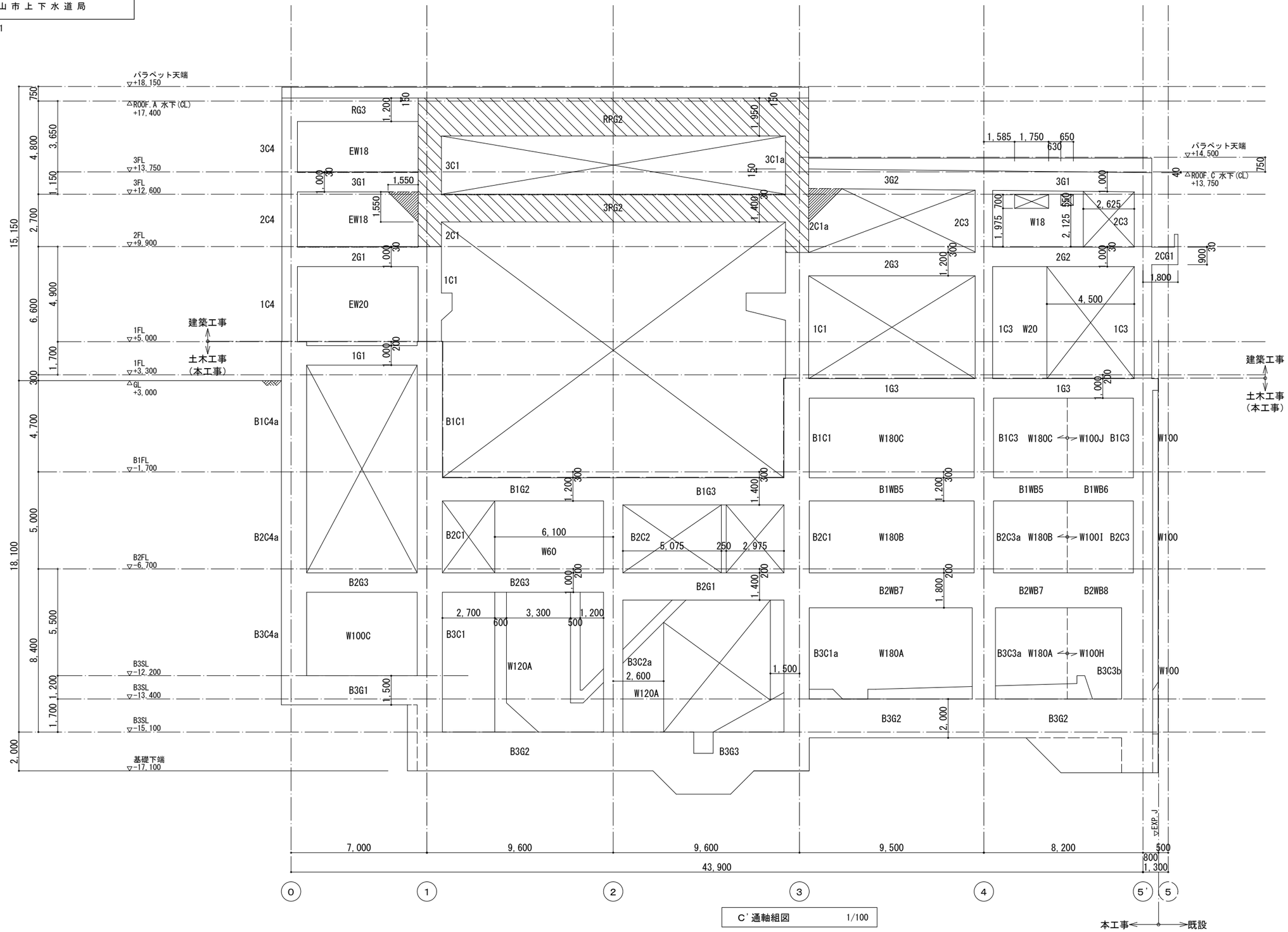


B'通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。
2．▧部分のコンクリートは、Fc30とする。

図面番号	1S-07	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

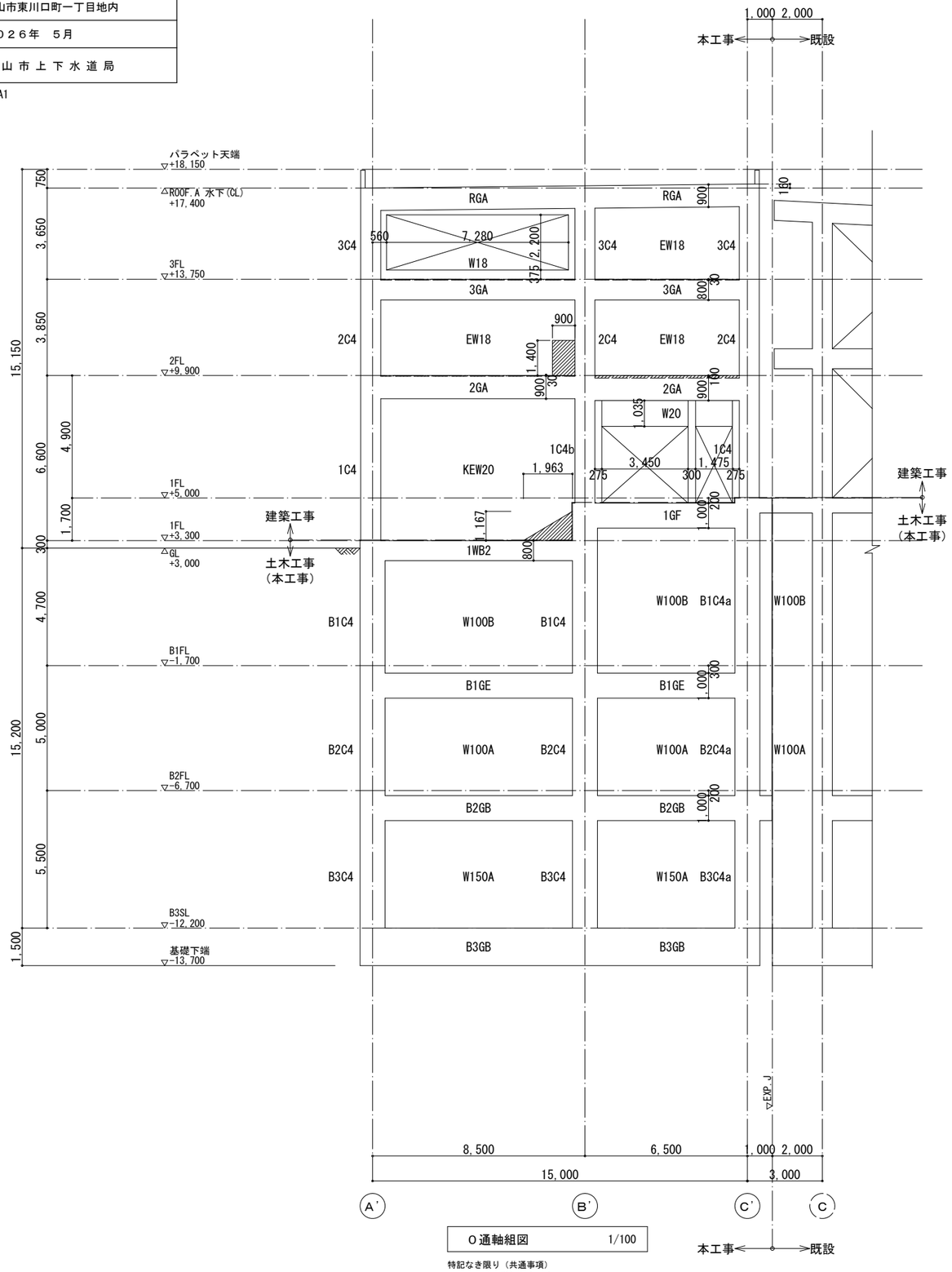


C'通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。
2．▧部分のコンクリートは、Fc30とする。

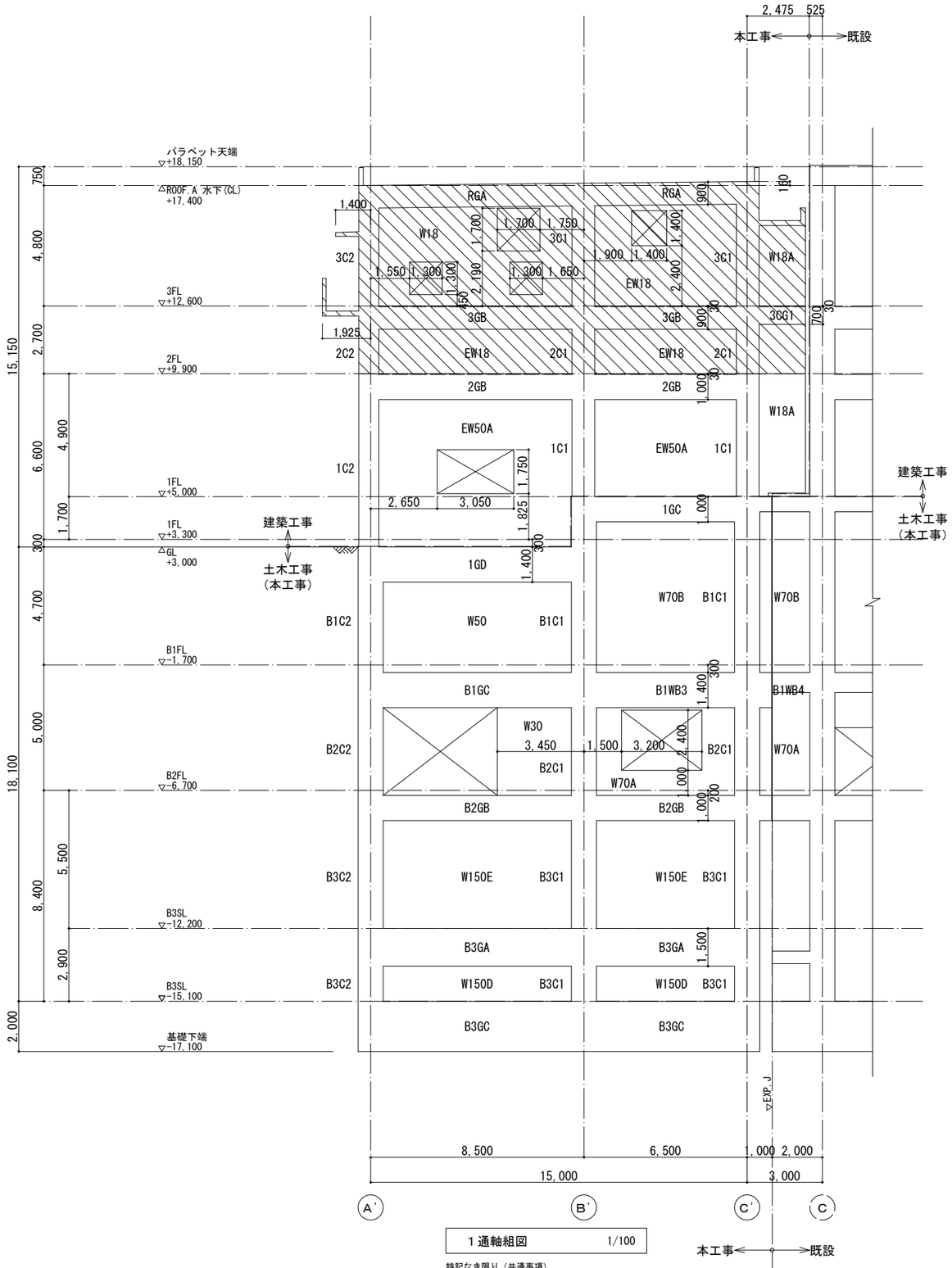
図面番号	1S-08	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



O通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

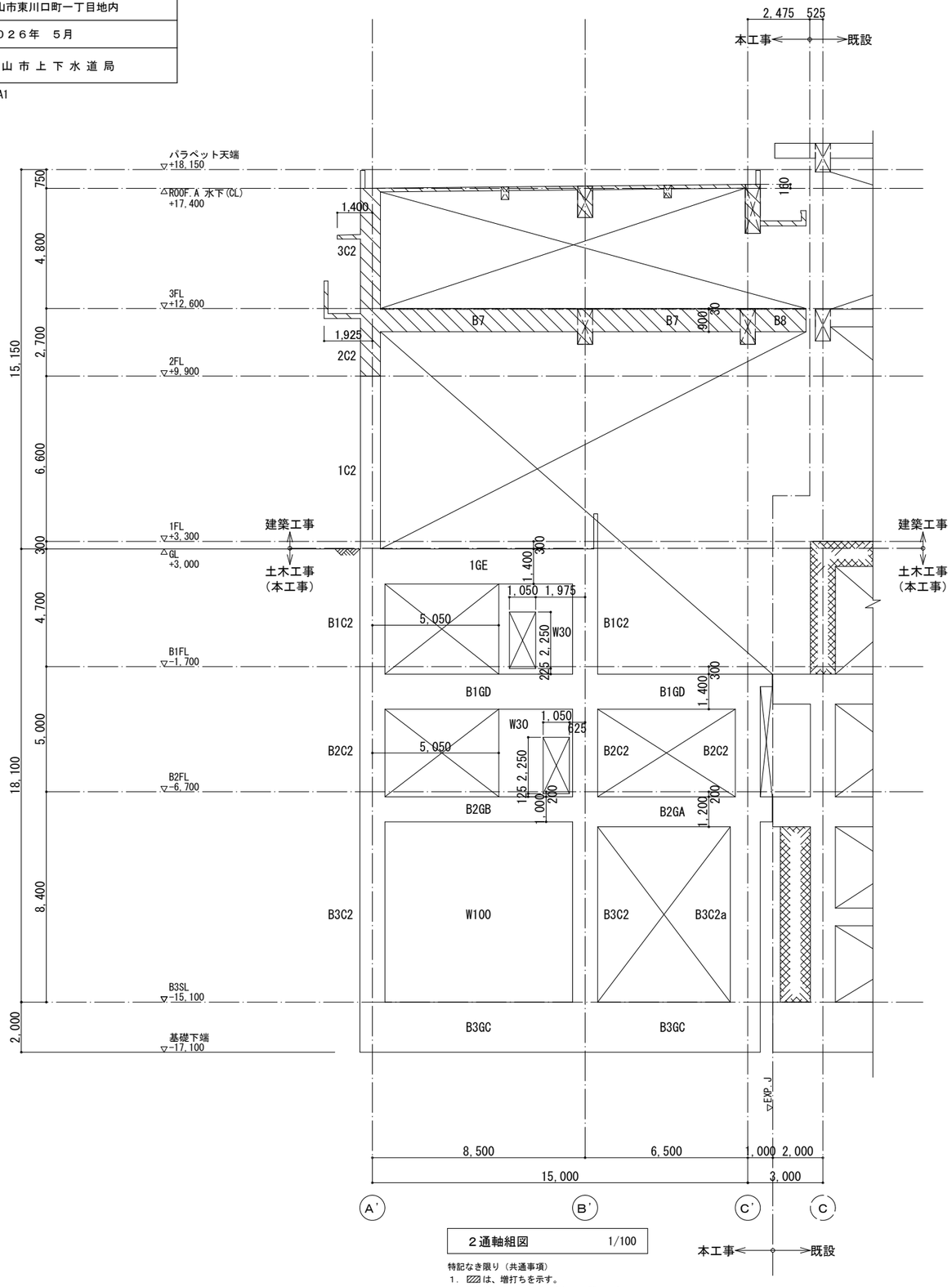


1通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。
2．▧部分のコンクリートは、Fc30とする。

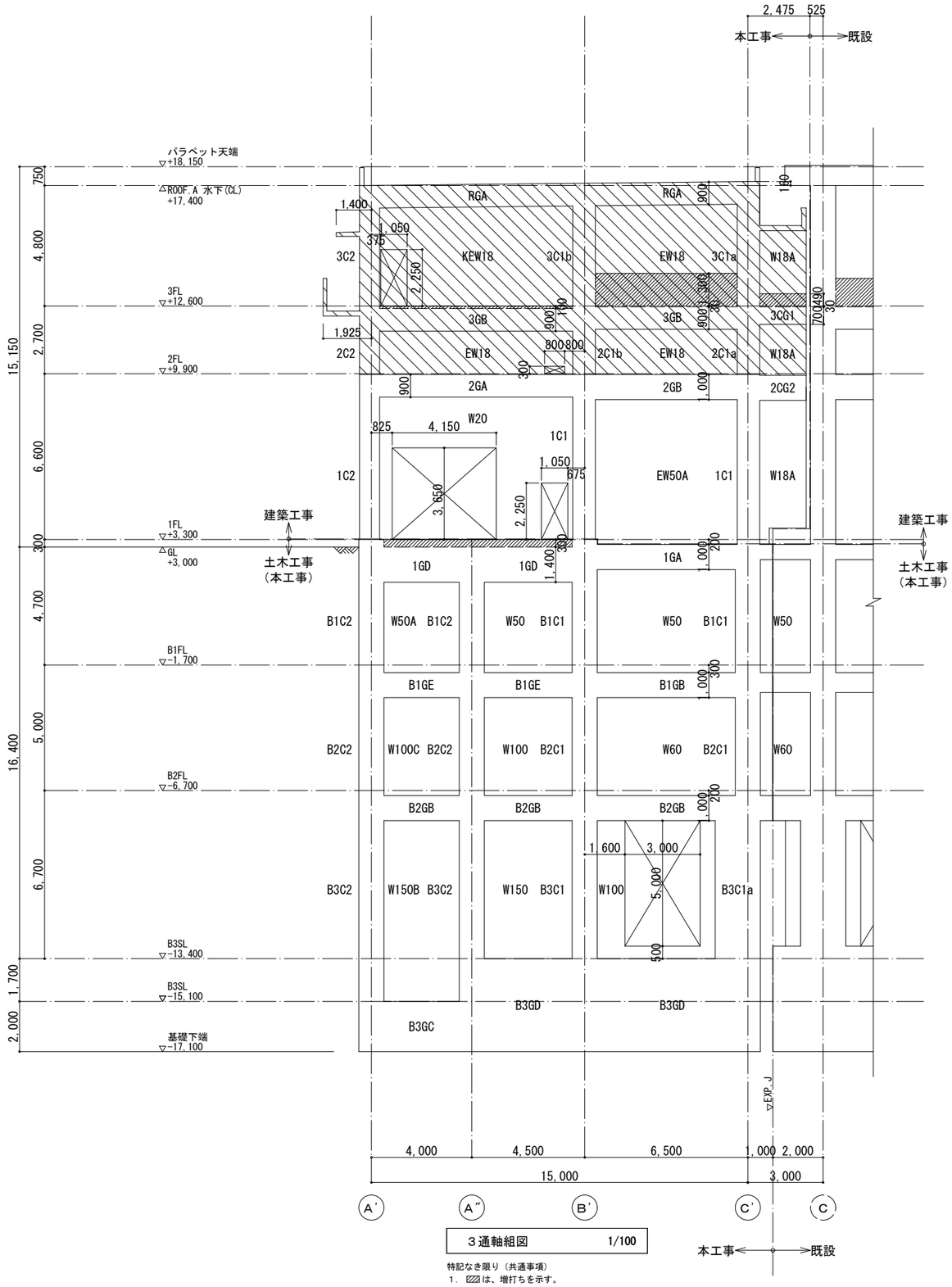
図面番号	1S-09	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（５）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



２通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。
2．▧部分のコンクリートは、Fc30とする。

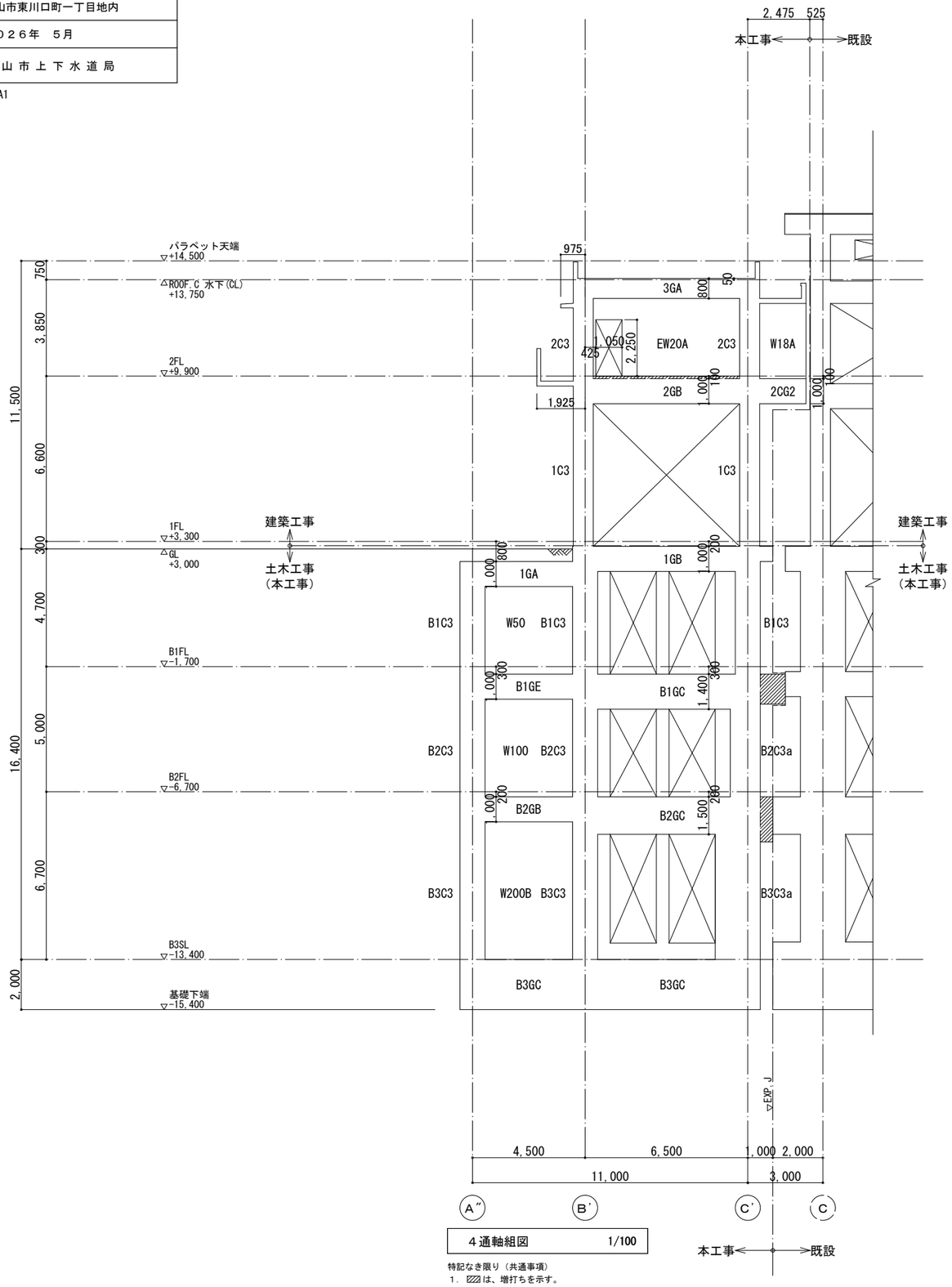


３通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。
2．▧部分のコンクリートは、Fc30とする。

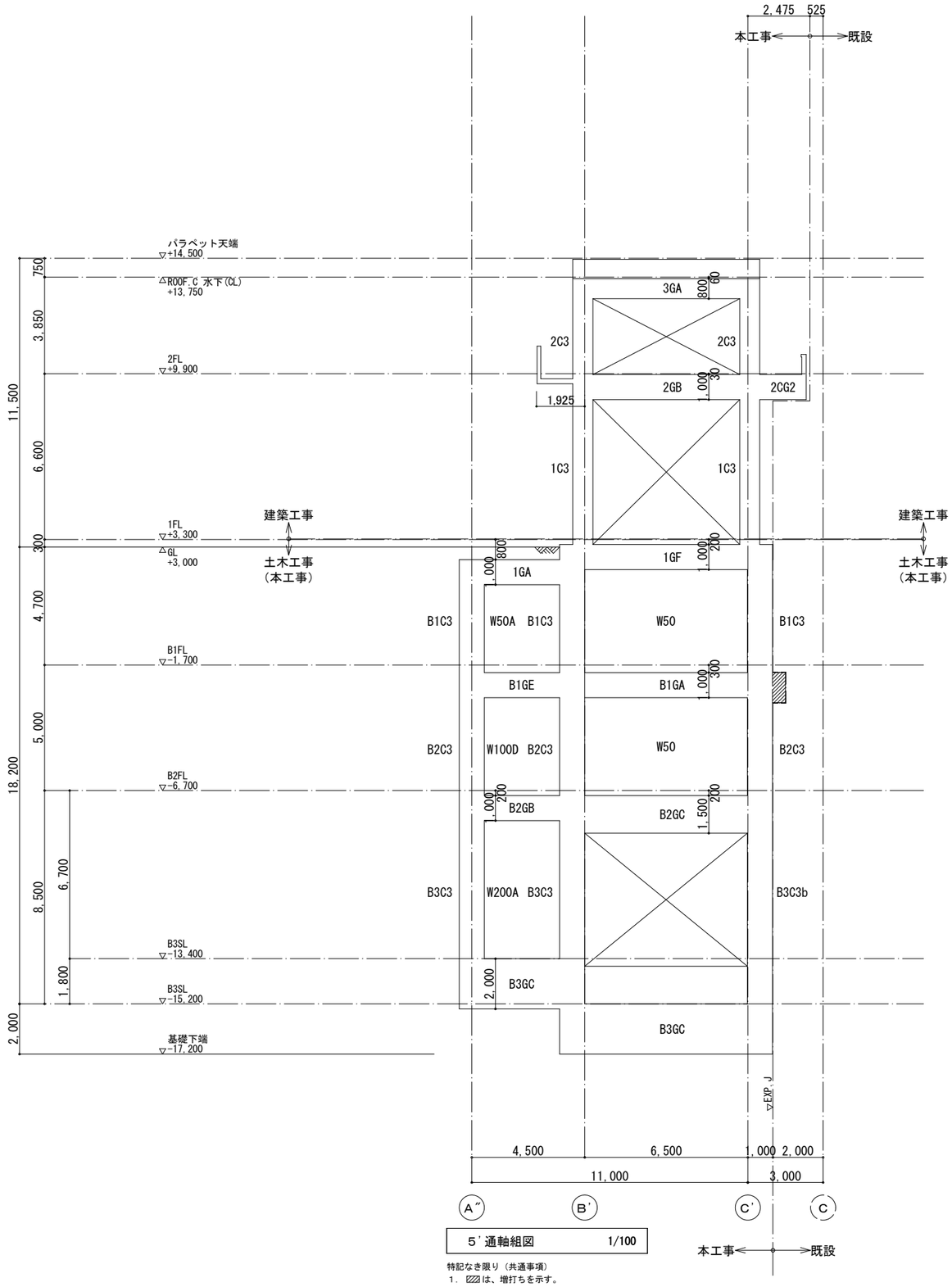
図面番号	1S-10	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



４通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

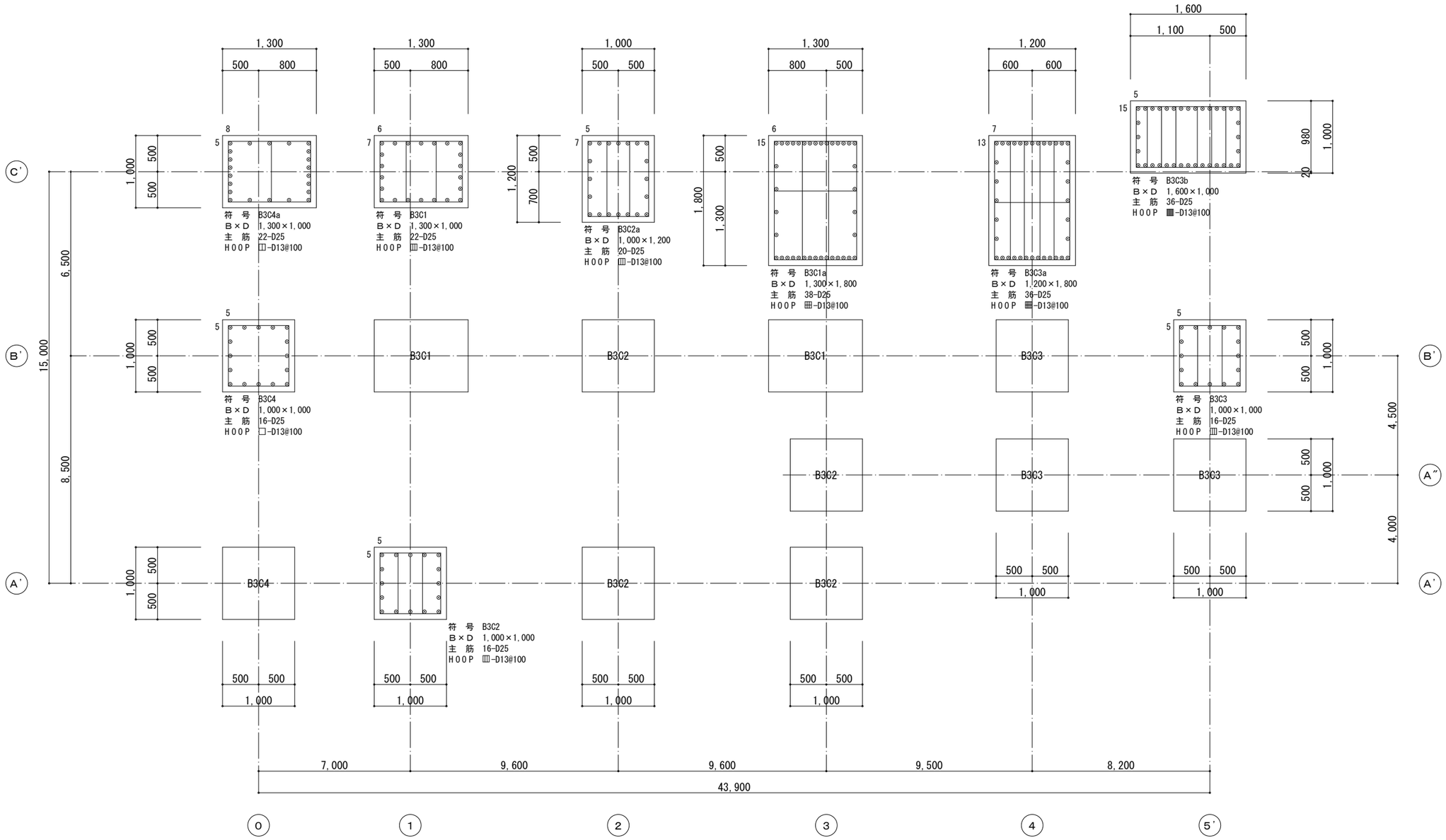


５'通軸組図　1/100

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

図面番号	1S-11	縮 尺	1／30
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下３階柱リスト	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

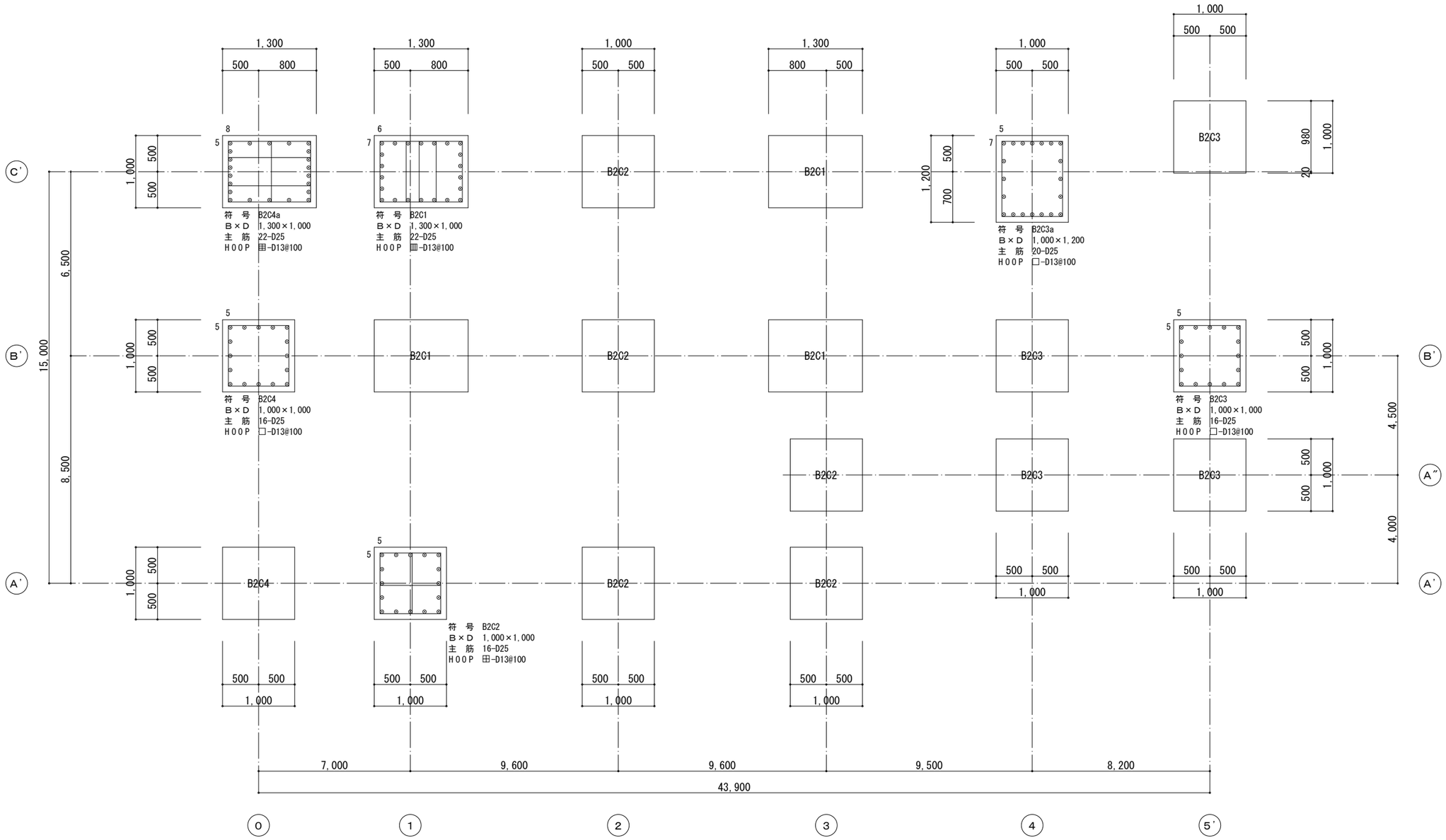
原図サイズ：A1



地下３階柱リスト　　1/30

図面番号	1S-12	縮 尺	１／３０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下２階柱リスト	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

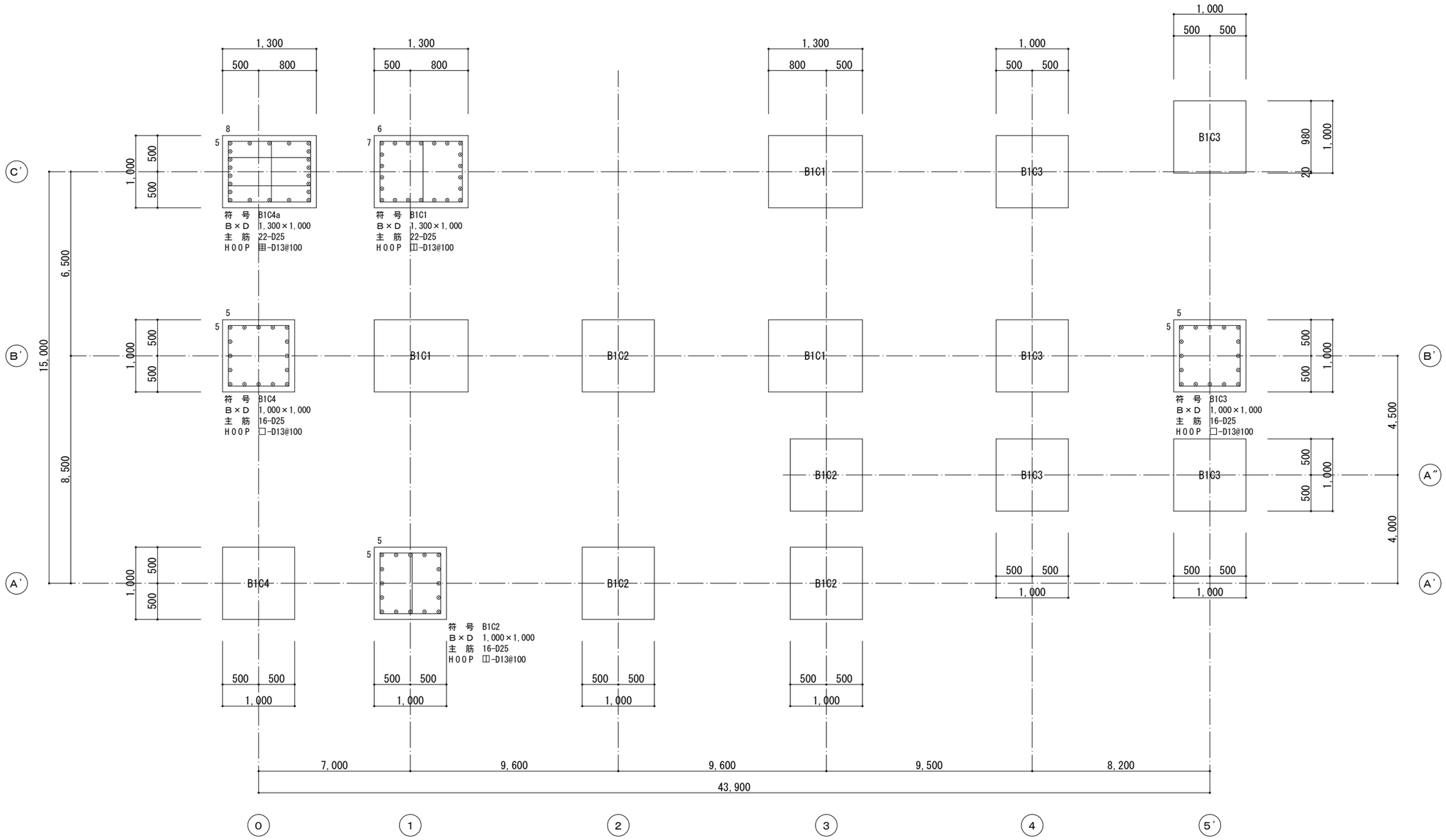
原図サイズ：A1



地下２階柱リスト　　1/30

図面番号	1S-13	縮 尺	１／３０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下１階柱リスト	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

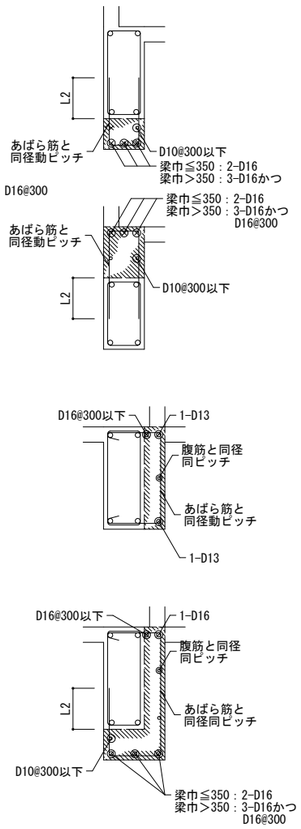


地下１階柱リスト　　1/30

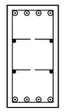
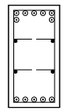
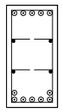
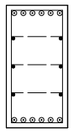
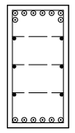
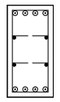
図面番号	1S-14	縮 尺	1／30
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	大梁リスト（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

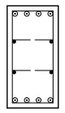
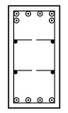
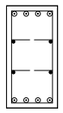
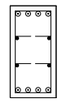
梁増打配筋要領



大梁リスト（1）　1/30

階	符　号	RG1	RG2		RG3			RGA		
R	位　置	全断面	端部	中央部	O通端部	中央部、1通端部		全断面		
	断　面									
	B × D	500×1,000	500×1,000		600×1,200			450×900		
	上 端 筋	4-D25	5/2-D25	5-D25	6-D25	6/2-D25		4-D25		
	下 端 筋	4-D25	5-D25	5/2-D25	6-D25	6-D25		4-D25		
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		□ 2-D13@200			□ 2-D13@200		
	腹　筋	4-D10	4-D10		6-D10			4-D10		
	幅 止 筋	⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000		⌐ -D10@1,000			⌐ -D10@1,000		

階	符　号	RPG1	RPG2
R	位　置		
	断　面	ＰＣ梁リスト参照	ＰＣ梁リスト参照
	B × D	600×1,250	600×1,950
	上 端 筋		
	下 端 筋		
	スターラップ		
	腹　筋		
	幅 止 筋		

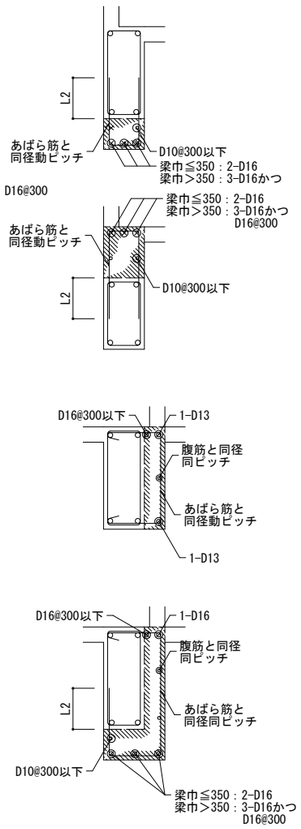
階	符　号	3G1	3G2			3GA	3GB	
3	位　置	全断面	端部	中央部		全断面	全断面	
	断　面							
	B × D	500×1,000	500×1,000			400×800	450×900	
	上 端 筋	4-D25	4/2-D25	4-D25		3-D25	4-D25	
	下 端 筋	4-D25	4-D25	4-D25		3-D25	4-D25	
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200			□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	
	腹　筋	4-D10	4-D10			2-D10	4-D10	
	幅 止 筋	⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000			⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000	

階	符　号	3PG1	3PG2			3CG1		
3	位　置					全断面		
	断　面	ＰＣ梁リスト参照	ＰＣ梁リスト参照					
	B × D	600×1,400	600×1,400			350×700		
	上 端 筋					3-D25		
	下 端 筋					3-D25		
	スターラップ					□ 2-D10@200		
	腹　筋					2-D10		
	幅 止 筋					⌐ -D10@1,000		

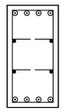
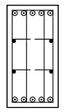
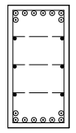
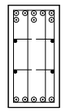
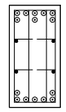
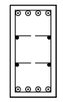
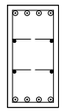
図面番号	1S-15	縮 尺	1／30
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	大梁リスト（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

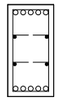
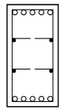
原図サイズ：A1

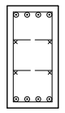
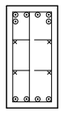
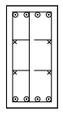
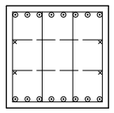
梁増打配筋要領

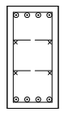
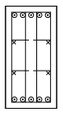
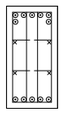
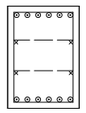
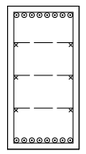
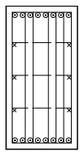
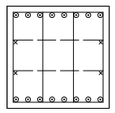


大梁リスト（2）　1/30

階	符号	2G1	2G2	2G3	2G4		2GA	2GB
2	位置	全断面	全断面	全断面	端部	中央部	全断面	全断面
	断面							
	B × D	500×1,000	500×1,000	600×1,200	500×1,000		450×900	500×1,000
	上端筋	4-D25	5-D25	6/2-D25	5/3-D25	5/3-D25	4-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	5-D25	6/2-D25	5-D25	5/2-D25	4-D25	4-D25
	スターラップ	□ 2-D13@200	▥ 4-D13@150	□ 2-D13@200	▥ 4-D13@150		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200
	腹筋	4-D10	4-D10	6-D10	4-D10		4-D10	4-D10
	幅止筋	⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000		⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000

階	符号	2CG1	2CG2
2	位置	全断面	全断面
	断面		
	B × D	450×900	500×1,000
	上端筋	5-D22	5-D22
	下端筋	5-D22	5-D22
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200
	腹筋	4-D10	4-D10
	幅止筋	⌐ -D10@1,000	⌐ -D10@1,000

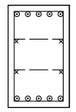
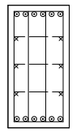
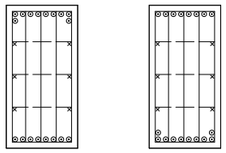
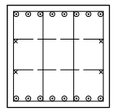
階	符号	1G1	1G2		1G3
1	位置	全断面	端部	中央部	全断面
	断面				
	B × D	500×1,000	500×1,000		1,000×1,000
	上端筋	4-D25	4/2-D25	4-D25	8-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	8-D25
	スターラップ	□ 2-D13@200	◫ 3-D13@150		▥ 4-D13@200
	腹筋	4-D13	4-D13		4-D13
	幅止筋	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000		⌐ -D13@1,000

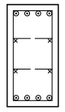
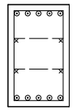
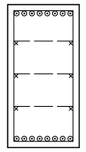
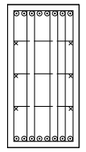
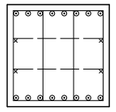
階	符号	1GA	1GB		1GC	1GD	1GE		1GF
1	位置	全断面	B'通端部、中央部	C'通端部	全断面	全断面	A'通端部	中央部、B'通端部	全断面
	断面							
	B × D	500×1,000	500×1,000		700×1,000	700×1,400	700×1,400		1,000×1,000
	上端筋	4-D25	5-D25	5/2-D25	6-D25	8-D25	8-D25	8-D25	8-D25
	下端筋	4-D25	5-D25	5-D25	6-D25	8-D25	8-D25	8/6-D25	8-D25
	スターラップ	□ 2-D13@200	▥ 4-D13@150		□ 2-D13@150	□ 2-D13@150	▦ 7-D13@150		▥ 4-D13@200
	腹筋	4-D13	4-D13		4-D13	6-D13	6-D13		4-D13
	幅止筋	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000		⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000		⌐ -D13@1,000

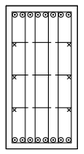
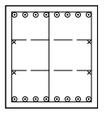
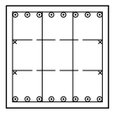
図面番号	1S-16	縮 尺	1／３０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	大梁リスト（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

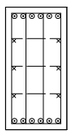
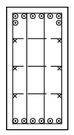
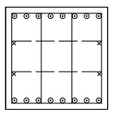
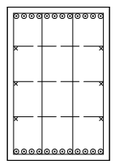
原図サイズ：A1

大梁リスト（３）　1/30

階	符　号	B1G1	B1G2	B1G3	B1G4			
B1	位　置	全断面	全断面	端部　中央部	全断面			
	断　面							
	Ｂ × Ｄ	600×1,000	600×1,200	700×1,400	1,000×1,000			
	上 端 筋	5-D25	6-D25	8/2-D25　8-D25	8-D25			
	下 端 筋	5-D25	6-D25	8-D25　8/2-D25	8-D25			
	スターラップ	□ 2-D13@200	▥ 4-D13@150	▥ 5-D13@150	▥ 4-D13@200			
	腹　筋	4-D13	6-D13	6-D13	4-D13			
	幅 止 筋	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000			

階	符　号	B1GA	B1GB	B1GC	B1GD	B1GE		
B1	位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		
	断　面							
	Ｂ × Ｄ	500×1,000	600×1,000	700×1,400	700×1,400	1,000×1,000		
	上 端 筋	4-D25	5-D25	8-D25	8-D25	8-D25		
	下 端 筋	4-D25	5-D25	8-D25	8-D25	8-D25		
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@150	▦ 7-D13@150	▥ 4-D13@200		
	腹　筋	4-D13	4-D13	6-D13	6-D13	4-D13		
	幅 止 筋	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000		

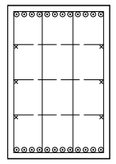
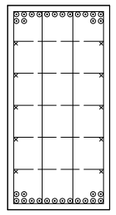
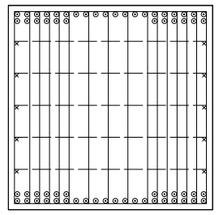
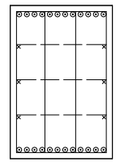
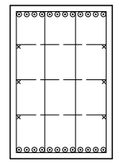
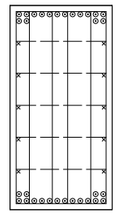
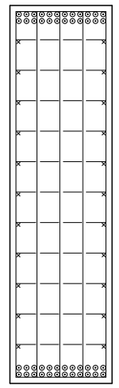
階	符　号	B2G1	B2G2	B2G3				
B2	位　置	全断面	全断面	全断面				
	断　面							
	Ｂ × Ｄ	700×1,400	900×1,000	1,000×1,000				
	上 端 筋	8-D25	8-D25	8-D25				
	下 端 筋	8-D25	8-D25	8-D25				
	スターラップ	▦ 6-D13@150	◫ 3-D13@200	▥ 4-D13@200				
	腹　筋	6-D13	4-D13	4-D13				
	幅 止 筋	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000				

階	符　号	B2GA	B2GB	B2GC				
B2	位　置	B'通端部　中央部、C'通端部	全断面	全断面				
	断　面	 						
	Ｂ × Ｄ	600×1,200	1,000×1,000	1,000×1,500				
	上 端 筋	6-D25　6/2-D25	8-D25	12-D25				
	下 端 筋	6-D25　6-D25	8-D25	12-D25				
	スターラップ	▥ 4-D13@150	▥ 4-D13@200	▥4-D13@150				
	腹　筋	6-D13	4-D13	6-D13				
	幅 止 筋	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000	⌐ -D13@1,000				

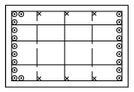
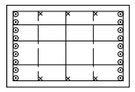
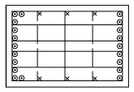
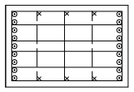
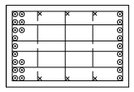
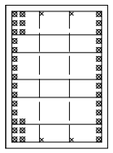
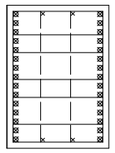
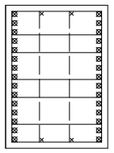
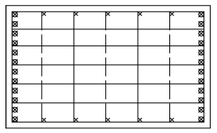
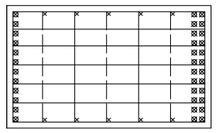
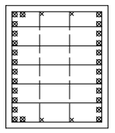
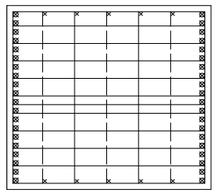
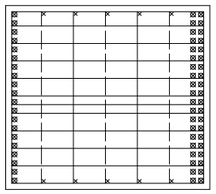
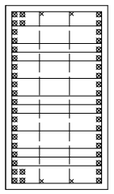
図面番号	1S-17	縮 尺	１／３０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	大梁リスト（４）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

大梁リスト（４）　1/30

階	符　号	B3G1	B3G2	B3G3	B3GA	B3GB	B3GC	B3GD
	位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
B3	断　面							
	Ｂ × Ｄ	1,000×1,500	1,000×2,000	2,000×2,000	1,000×1,500	1,000×1,500	1,000×2,000	1,000×3,700
	上　端　筋	12-D25	12/4-D25	20/12-D25	12-D25	12-D25	12/4-D25	12/12-D25
	下　端　筋	12-D25	12/4-D25	20/12-D25	12-D25	12-D25	12/4-D25	12/12-D25
	スターラップ	4-D13@200	4-D13@200	16-D16@150	4-D13@200	4-D13@200	6-D13@150	5-D13@150
	腹　筋	6-D13	10-D13	10-D13	6-D13	6-D13	10-D13	22-D13
	幅　止　筋	-D13@1,000	-D13@1,000	-D13@1,000	-D13@1,000	-D13@1,000	-D13@1,000	-D13@1,000

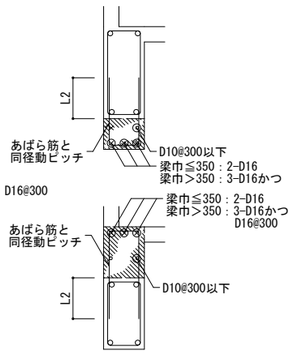
水平梁リスト　1/30

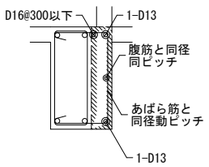
符　号	1WB1		1WB2			B1WB3		B1WB4
位　置	Ｏ通端部	中央部、１通端部	Ａ'通端部	中央部	Ｂ'通端部	Ｂ'通端部	中央部、Ｃ'通端部	全断面
断　面	外側 	 内側	外側 		 内側	水圧側 	 内側	
Ｂ × Ｄ	800×1,200		800×1,200			1,400×1,000		1,400×1,000
左　端　筋	9/2-D25	9-D25	9/2-D25	9-D25	9/6-D25	15/6-D29	15-D29	15-D29
右　端　筋	9-D25	9-D25	9-D25	9-D25	9-D25	15-D29	15-D29	15-D29
スターラップ	5-D13@150		6-D13@150			7-D16@150		7-D16@150
腹　筋	6-D13		6-D13			4-D13		4-D13
幅　止　筋	-D13@1,000		-D13@1,000			-D13@1,000		-D13@1,000
符　号	B1WB5		B1WB6			B2WB7		B2WB8
位　置	３通・B1WB6側端部、中央部	４通端部	全断面			３通・B2WB8側端部、中央部	４通端部	全断面
断　面	水圧側 	 外側	水圧側 		外側	水圧側 	 外側	水圧側 	外側
Ｂ × Ｄ	1,200×2,000		1,200×1,000			1,800×2,000		1,800×1,000
左　端　筋	12-D29	12-D29	12/2-D29			20-D29	20-D29	20/4-D29
右　端　筋	12-D29	12/12-D29	12-D29			20-D29	20/20-D29	20-D29
スターラップ	7-D16@150		7-D16@150			12-D16@150		14-D16@150
腹　筋	10-D13		4-D13			10-D13		4-D13
幅　止　筋	-D13@1,000		-D13@1,000			-D13@1,000		-D13@1,000

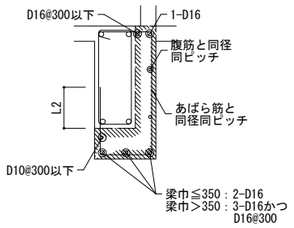
図面番号	1S-18	縮 尺	1／30
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	小梁リスト	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

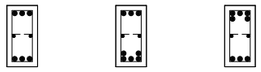
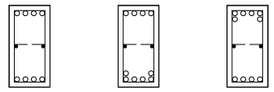
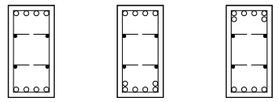
梁増打配筋要領

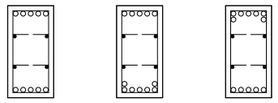
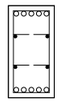


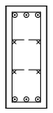
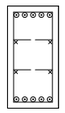
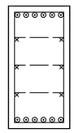
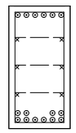
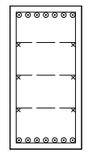
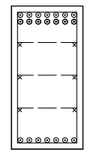
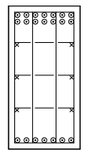
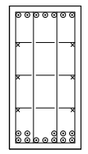
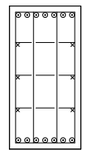




小梁リスト　1/30

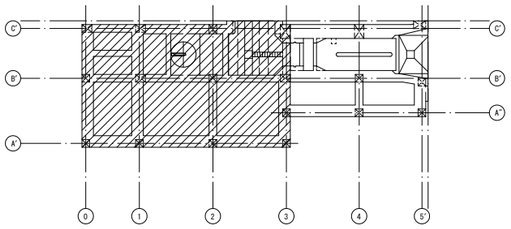
符　号	B1	B2		B3			B4		B5			B6		
位　置	全断面	C'通端部	中央部、C通端部	B'通端部	中央部	C'通端部	端部	中央部	A'・C'通端部	中央部	B'通端部	A'・C'通端部	中央部	B'通端部
断　面														
B × D	300×500	300×600		300×600			350×700		400×800			450×900		
上 端 筋	3-D19	3/2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3/2-D19	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22
下 端 筋	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3/2-D19	3-D19	3-D22	3/2-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22
スターラップ	□ 2-D10@200	□ 2-D10@200		□ 2-D10@150			□ 2-D10@200		□ 2-D13@200			□ 2-D13@200		
腹　筋	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10			4-D10		
幅 止 筋	⊓ -D10@1,000	⊓ -D10@1,000		⊓ -D10@1,000			⊓ -D10@1,000		⊓ -D10@1,000			⊓ -D10@1,000		

符　号	B7			B8	B9		
位　置	A'・C'通端部	中央部	B'通端部	全断面	B'・C通端部・中央部	C'通端部	
断　面							
B × D	450×900			450×900	500×1,000		
上 端 筋	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	
下 端 筋	5-D22	5/2-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	
スターラップ	□ 2-D13@150			□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		
腹　筋	4-D10			4-D10	4-D10		
幅 止 筋	⊓ -D10@1,000			⊓ -D10@1,000	⊓ -D10@1,000		

符　号	B21	B22	B23	B24		B25		B26		
位　置	全断面	全断面	全断面	端部	中央部	１通端部・中央部	２通端部	２通端部	中央部	３通端部
断　面										
B × D	400×800	400×1,000	500×1,000	600×1,200		700×1,400		700×1,400		
上 端 筋	3-D25	3-D25	5-D25	6-D25	6-D25	7-D25	7/7-D25	7/7-D25	7-D25	7-D25
下 端 筋	3-D25	3-D25	5-D25	6-D25	6/4-D25	7-D25	7-D25	7-D25	7/5-D25	7-D25
スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		□ 2-D13@150		▥ 4-D13@150		
腹　筋	2-D13	4-D13	4-D13	6-D13		6-D13		6-D13		
幅 止 筋	⊓ -D13@1,000	⊓ -D13@1,000	⊓ -D13@1,000	⊓ -D13@1,000		⊓ -D13@1,000		⊓ -D13@1,000		

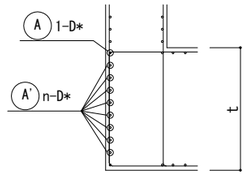
図面番号	1S-19	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	底版配筋図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

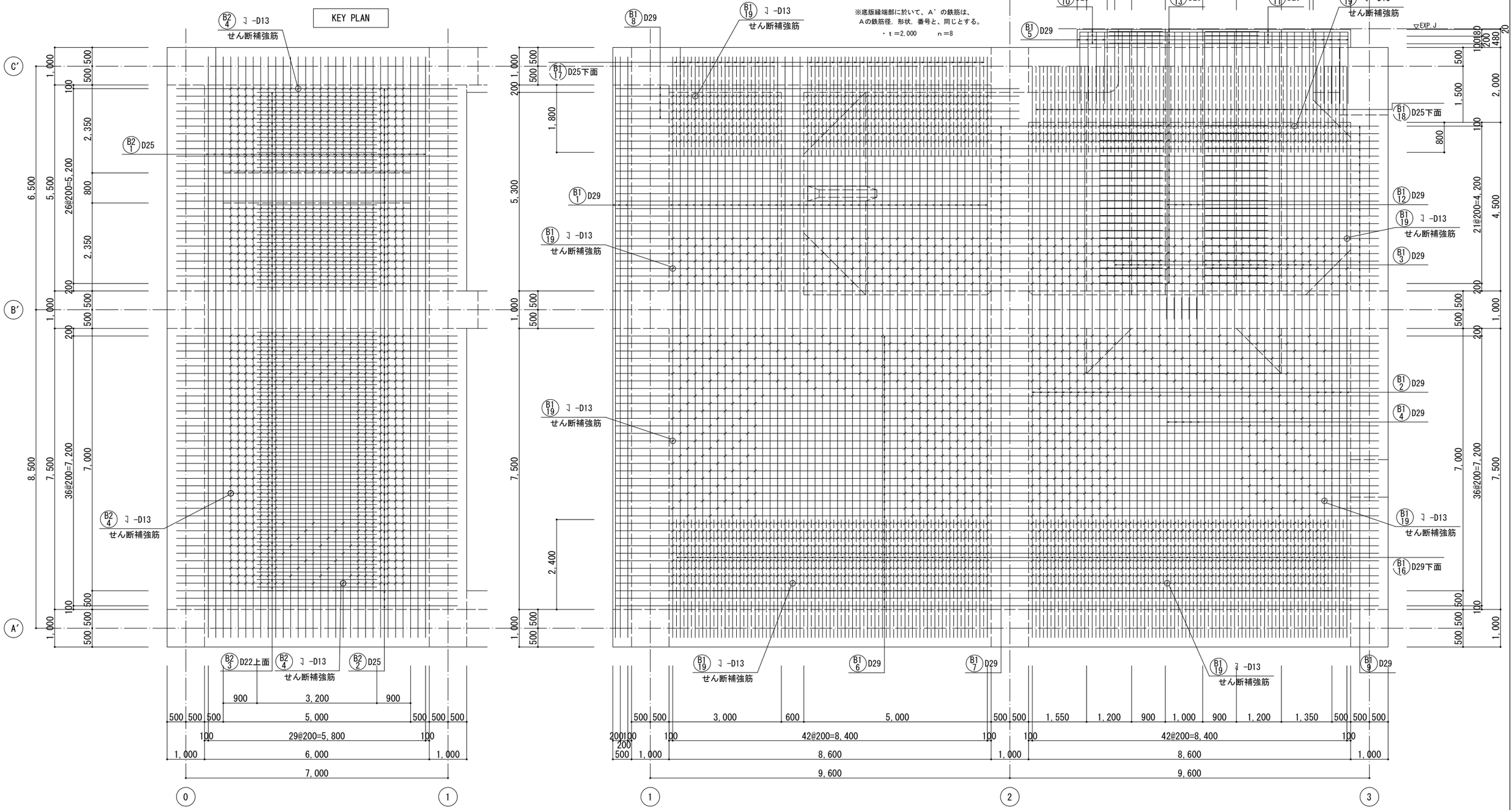


KEY PLAN

底版躯部分
鉄筋番号要領



※底版縁端部に於いて、A' の鉄筋は、
Aの鉄筋径，形状，番号と，同じとする。
・ｔ＝2,000　　ｎ＝8



底版配筋図　1/50　B2

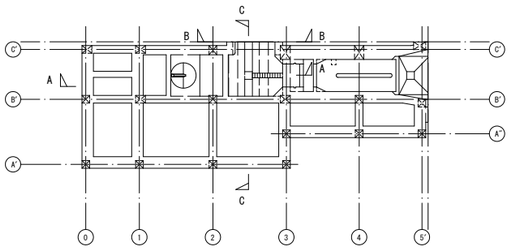
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。
2．底版幅止筋は、 □－D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋は、幅止筋と兼用とする。

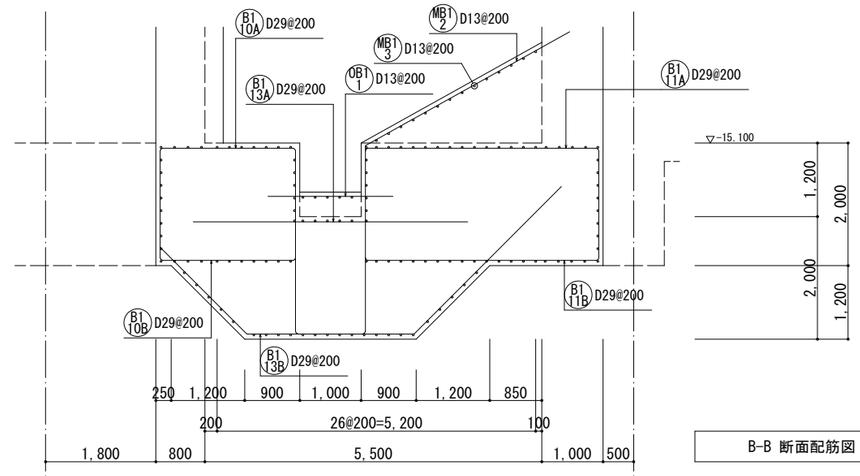
底版配筋図　1/50　B1

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。
2．底版幅止筋は、 □－D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋は、幅止筋と兼用とする。

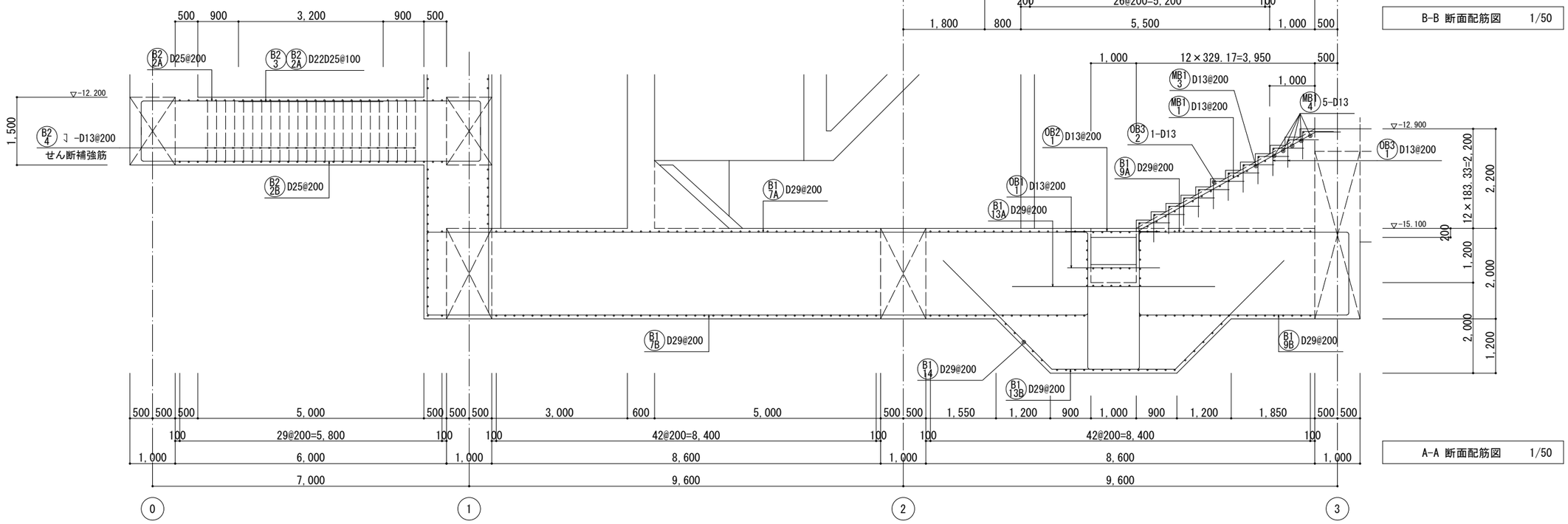
図面番号	1S-20	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	底版配筋図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

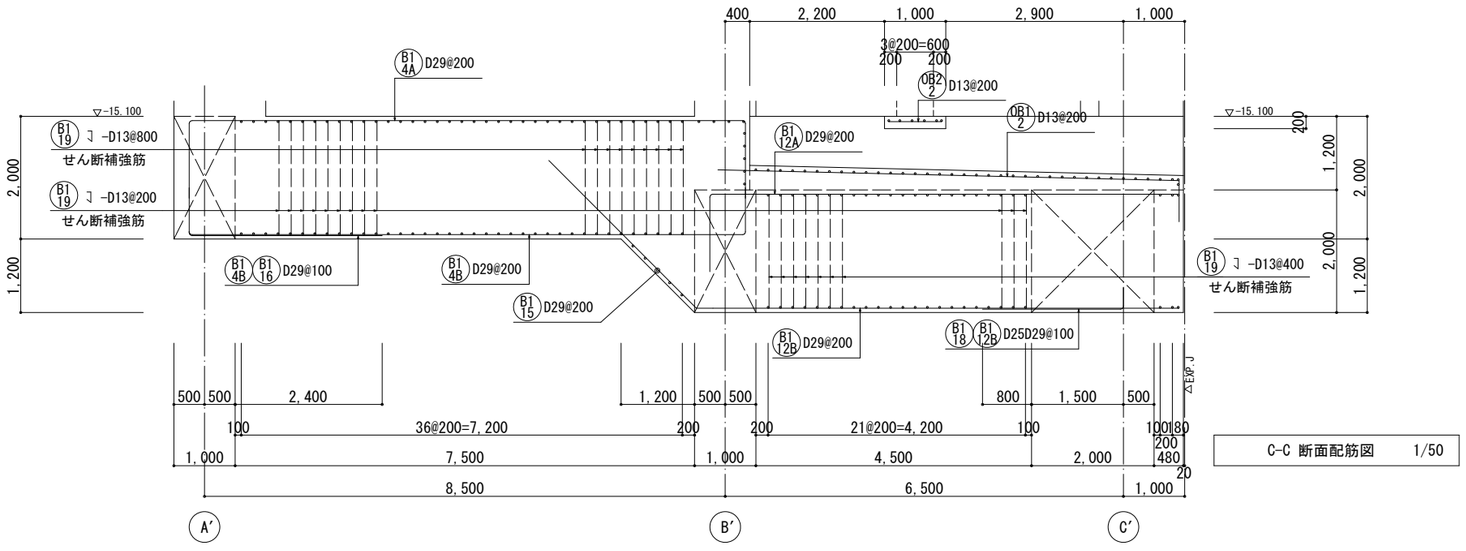




B-B 断面配筋図　1/50



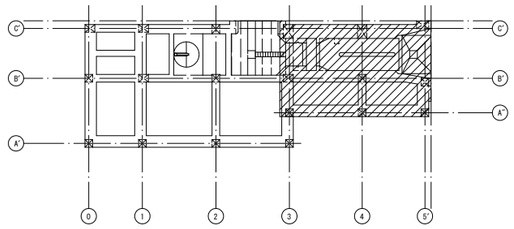
A-A 断面配筋図　1/50

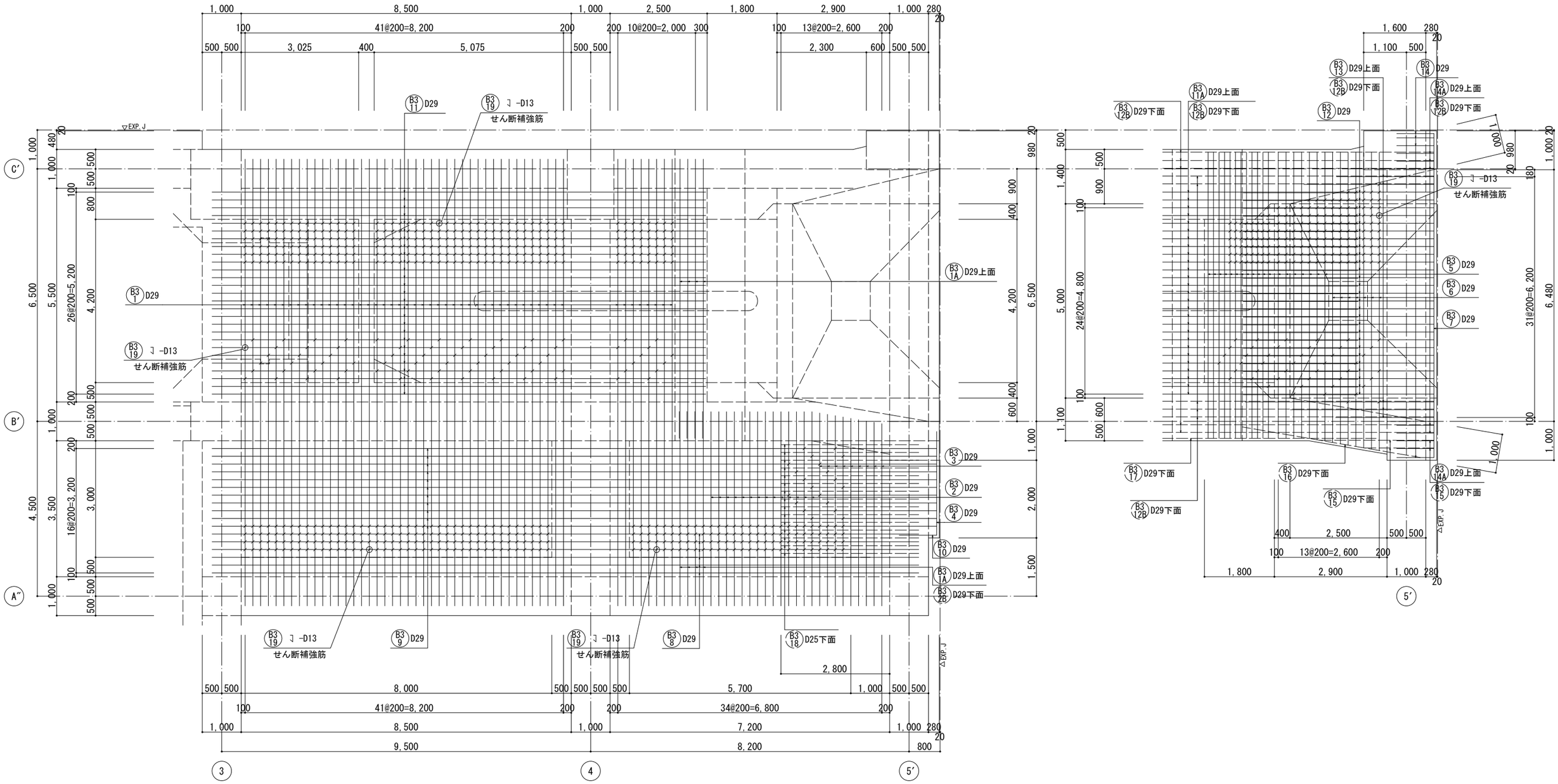


C-C 断面配筋図　1/50

図面番号	1S-21	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	底版配筋図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





底版配筋図　1/50　B3

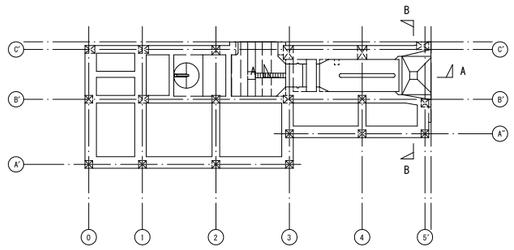
特記なき限り（共通事項）

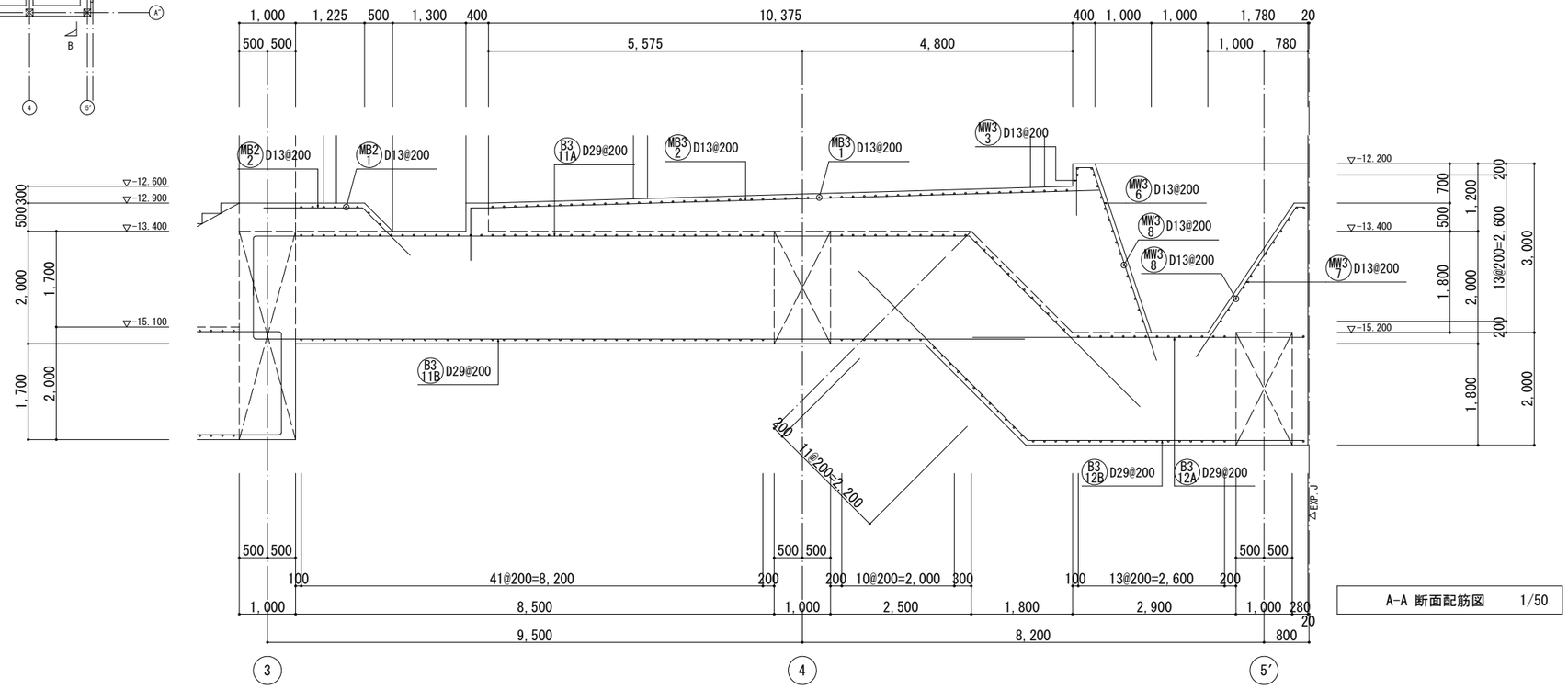
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。

2．底版幅止筋は、 ⅃ −D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋は、幅止筋と兼用とする。

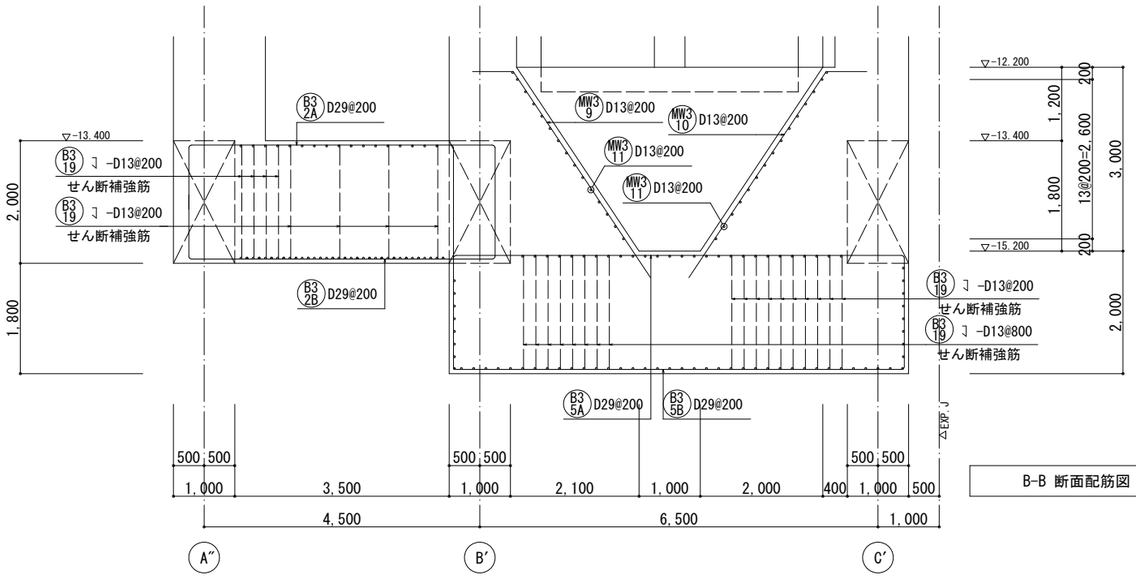
図面番号	1S-22	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	底版配筋図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

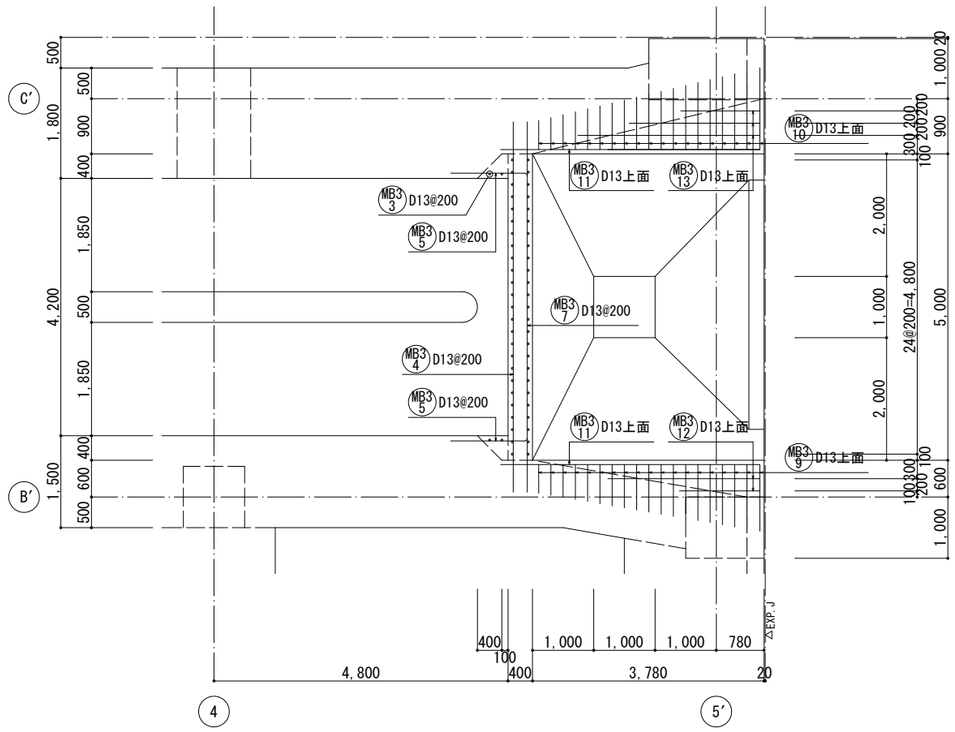




A-A 断面配筋図　1/50

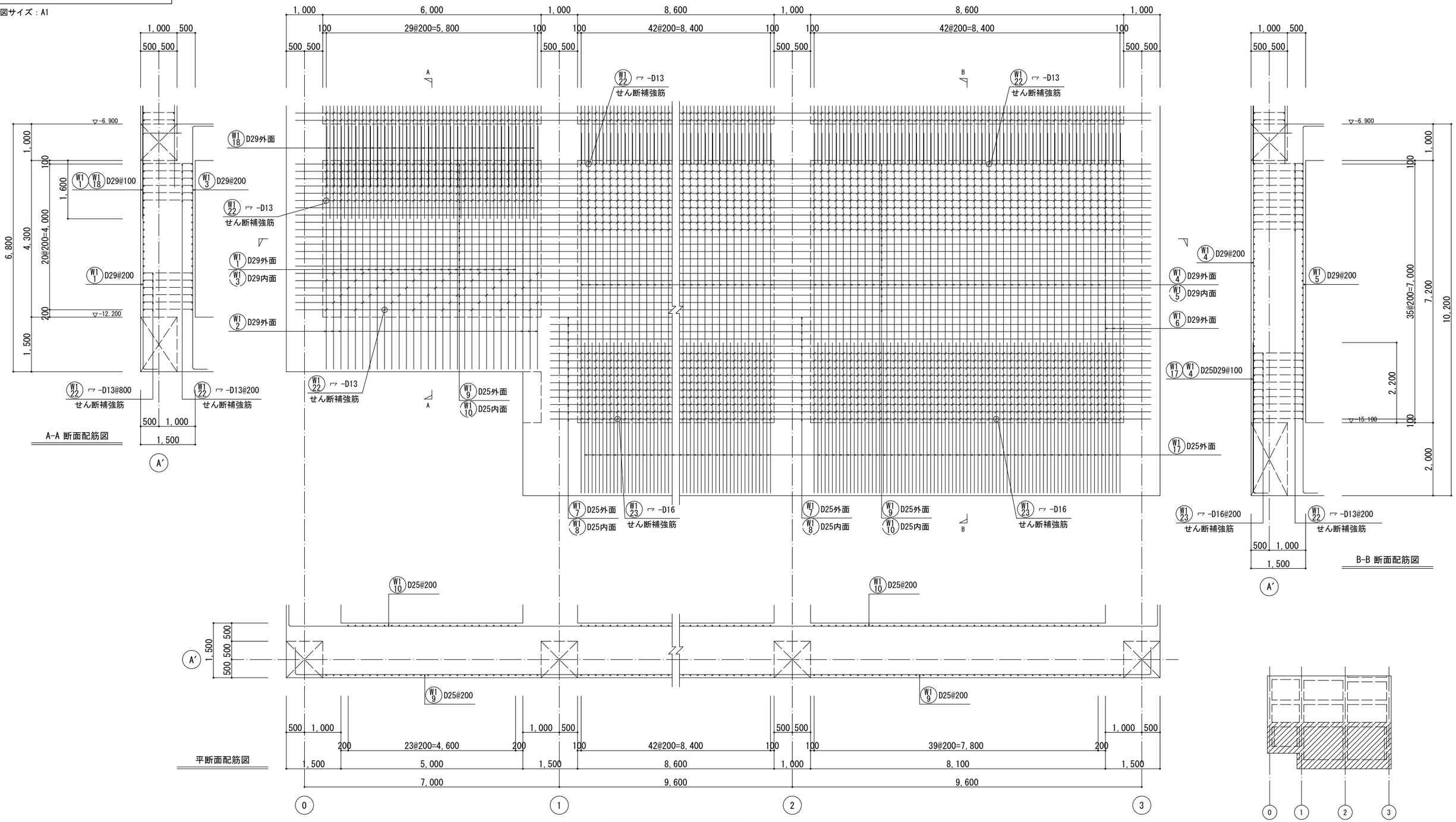


B-B 断面配筋図　1/50



図面番号	1S-23	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

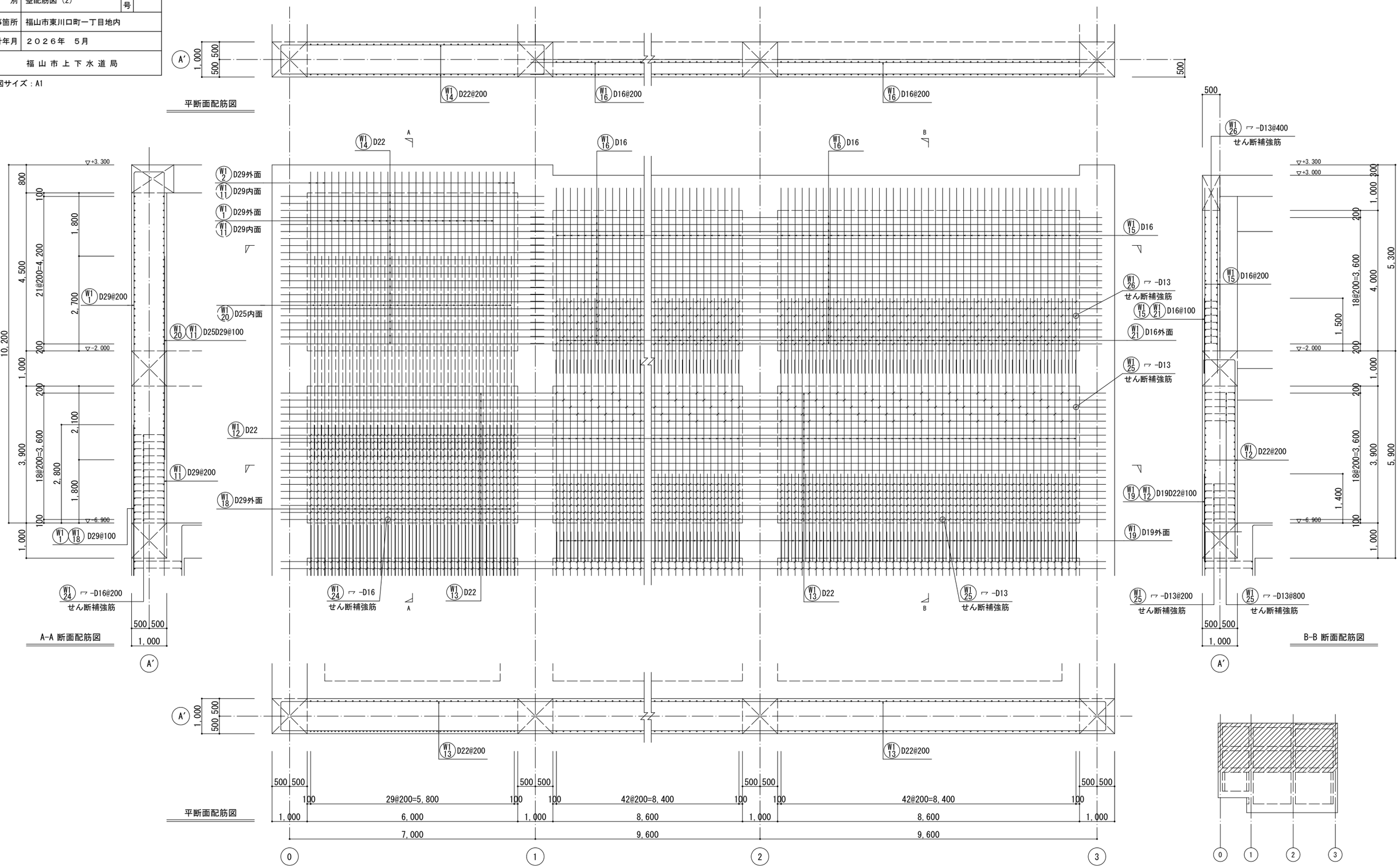


A′ 通　壁配筋図　1/50　W1

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⊓ −D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-24	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

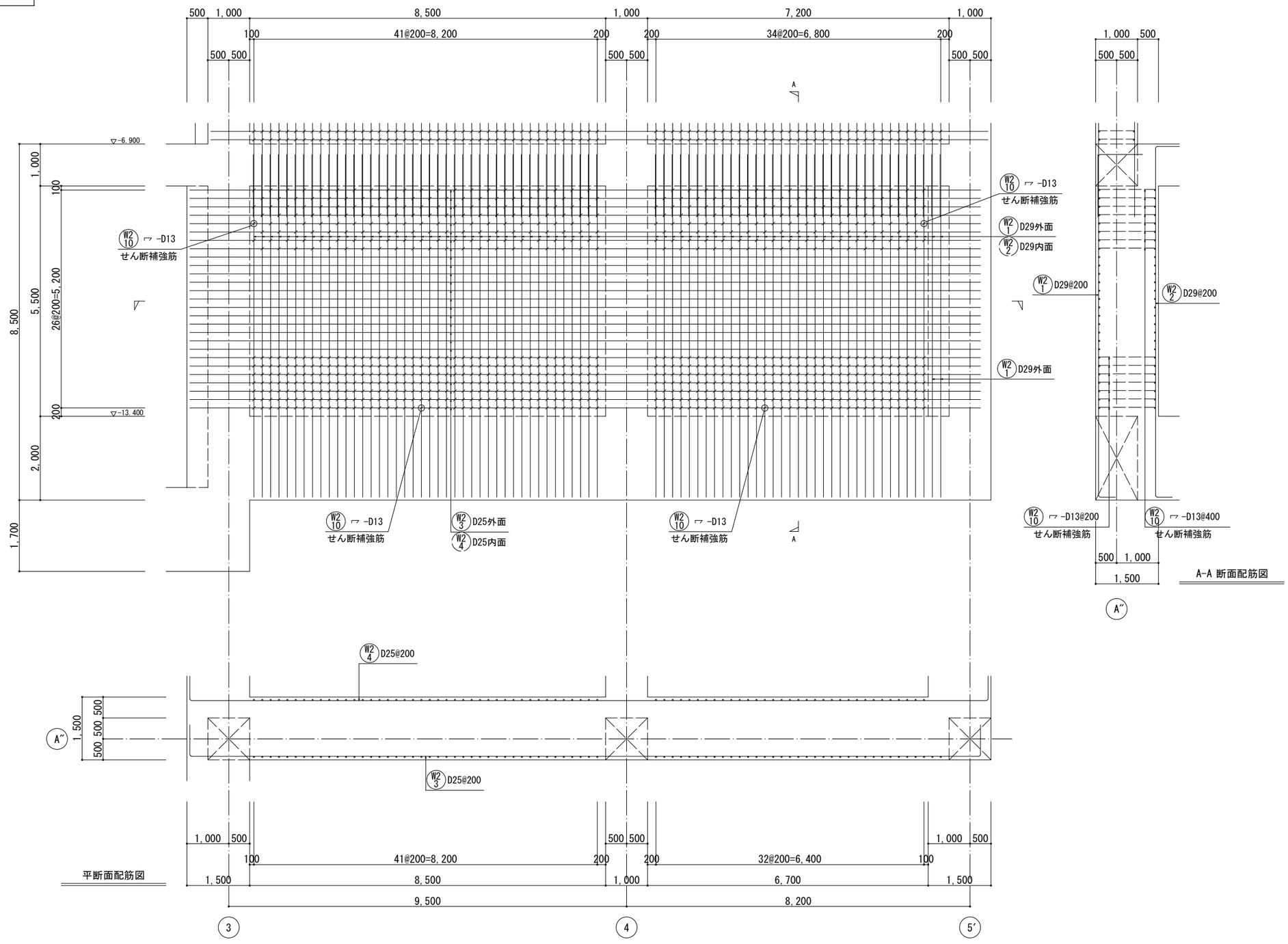


A′ 通　壁配筋図　1/50　W1

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐⌐−D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-25	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

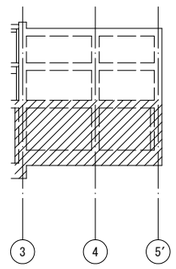
原図サイズ：A1



平断面配筋図

A-A 断面配筋図

A″通　壁配筋図　1/50　W2

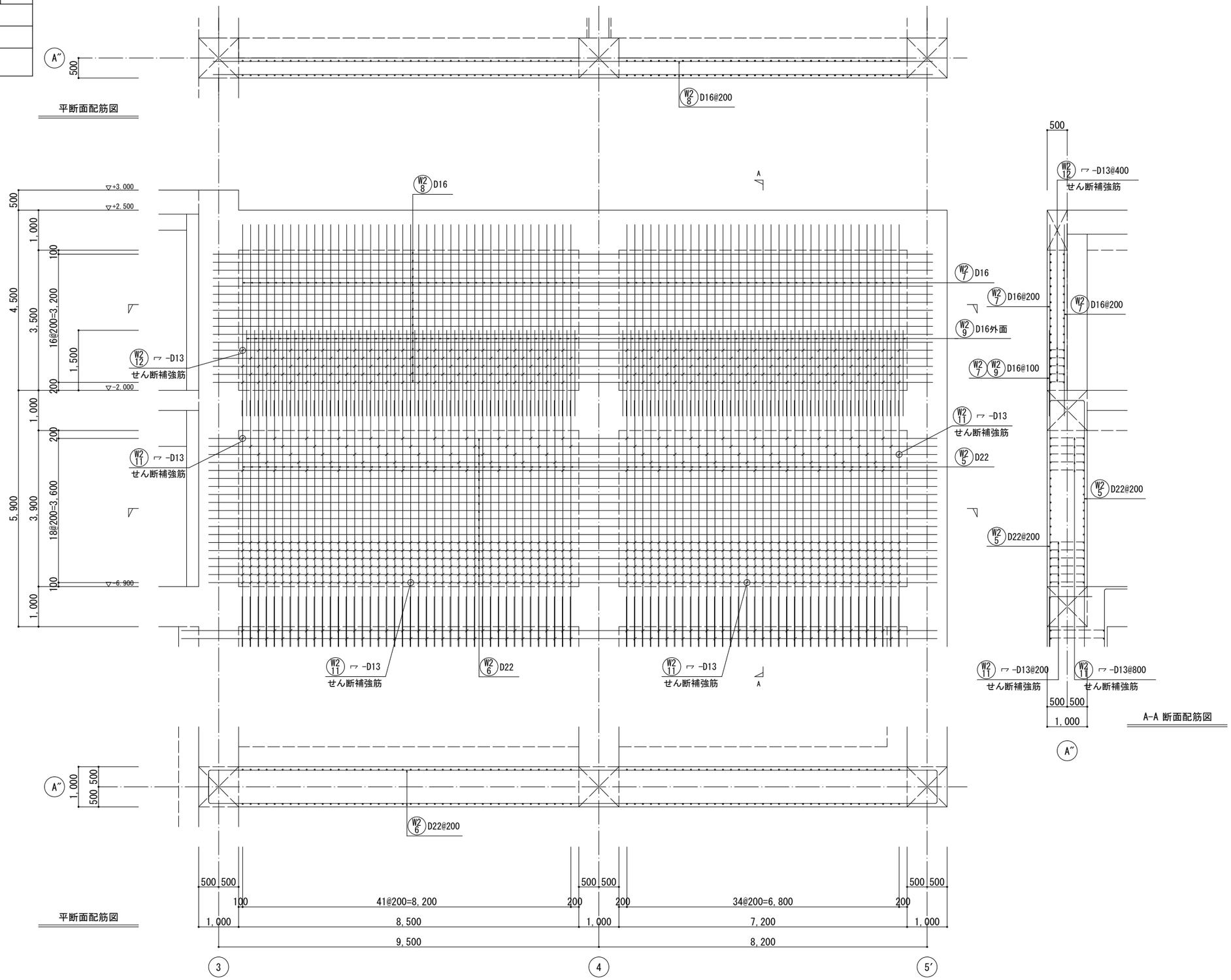


KEY PLAN

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、⌐ーD13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

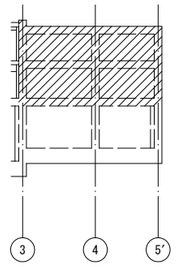
図面番号	1S-26	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



A″通　壁配筋図　1/50　W2

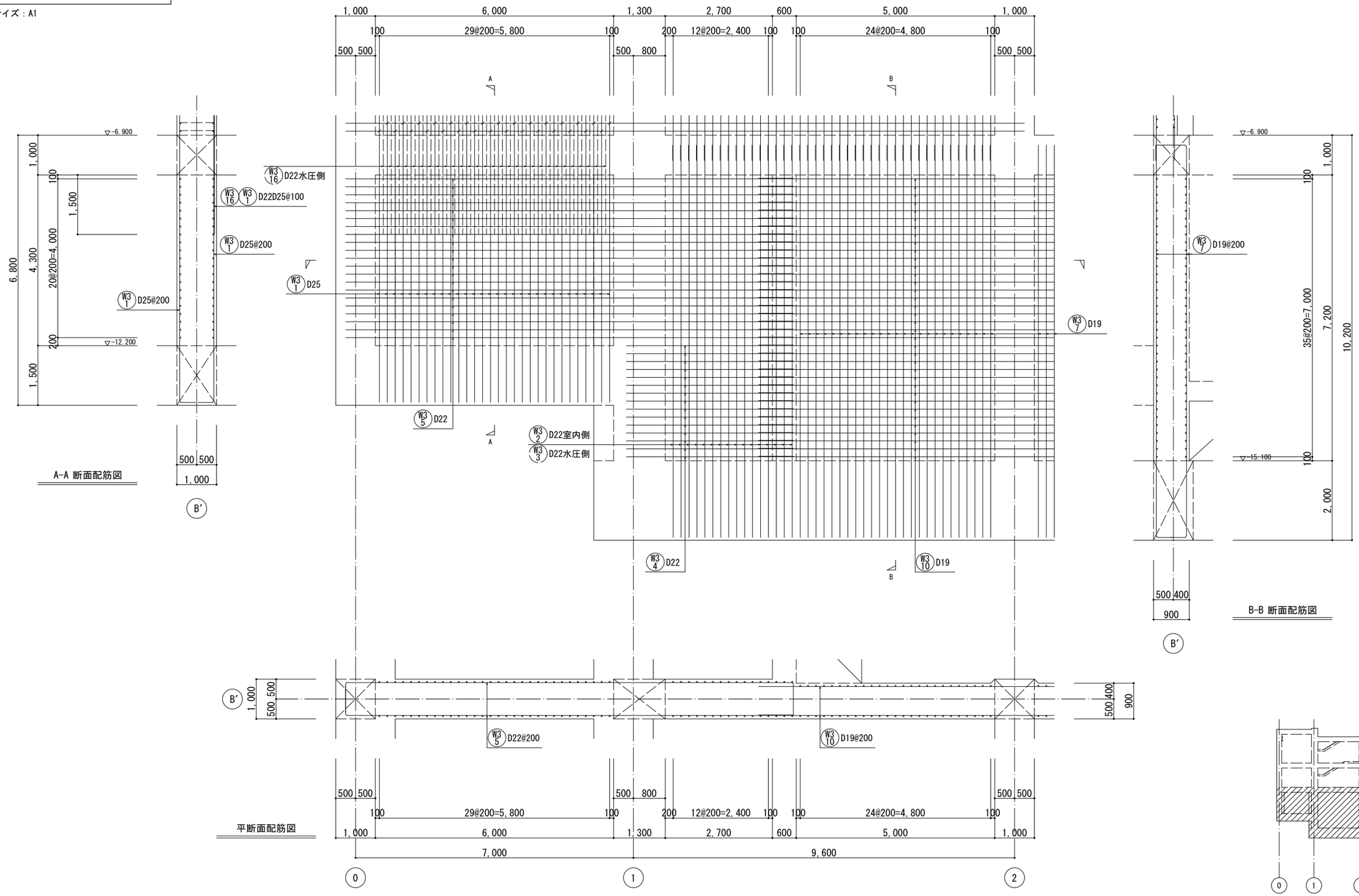
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、⌐¬D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



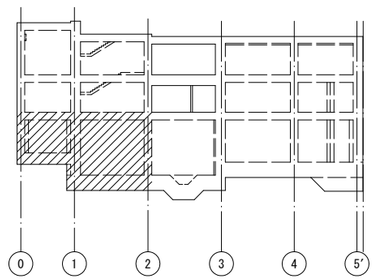
KEY PLAN

図面番号	1S-27	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



B′ 通　壁配筋図　1/50　W3

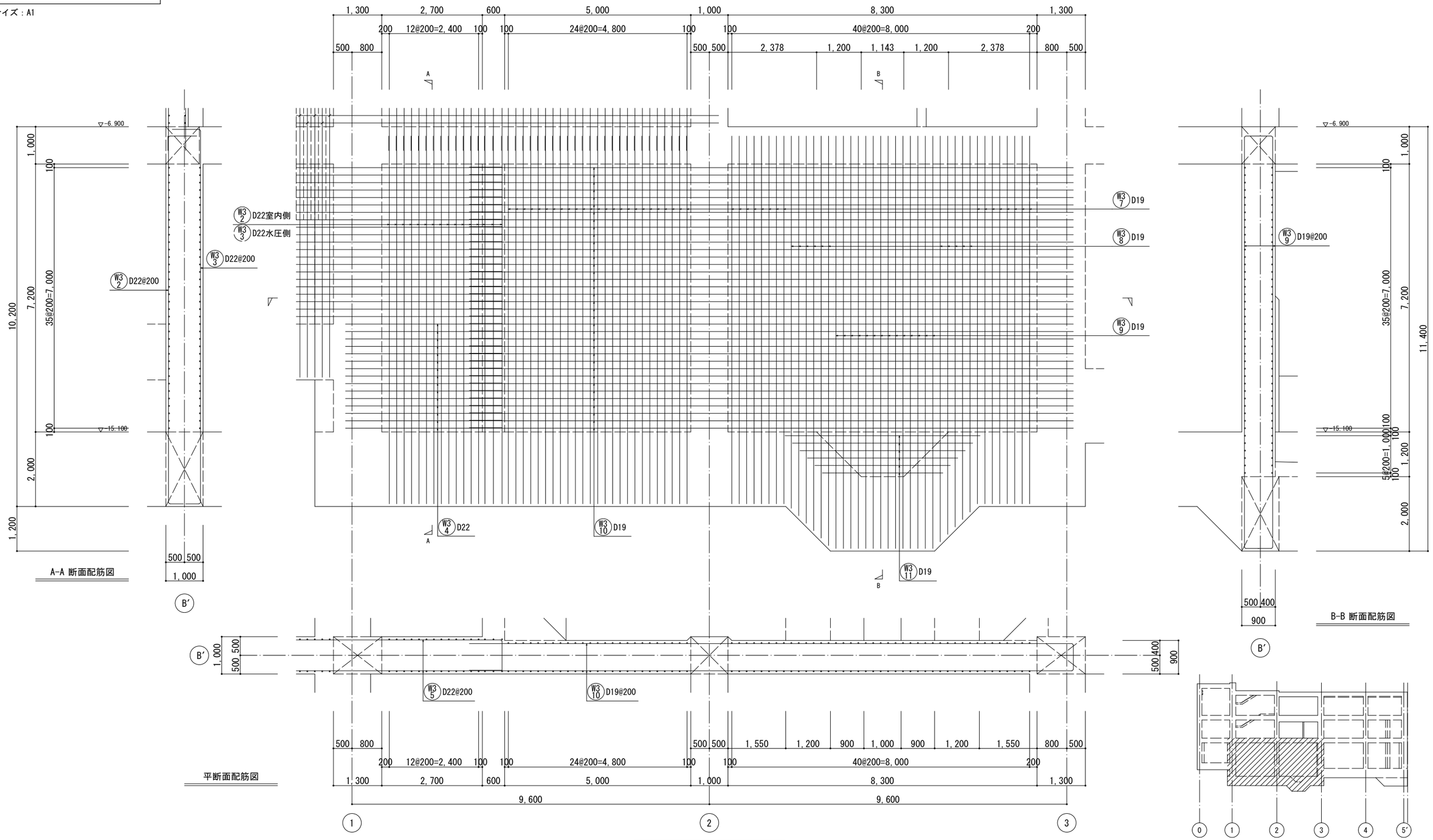


KEY PLAN

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、「ーD13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-28	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

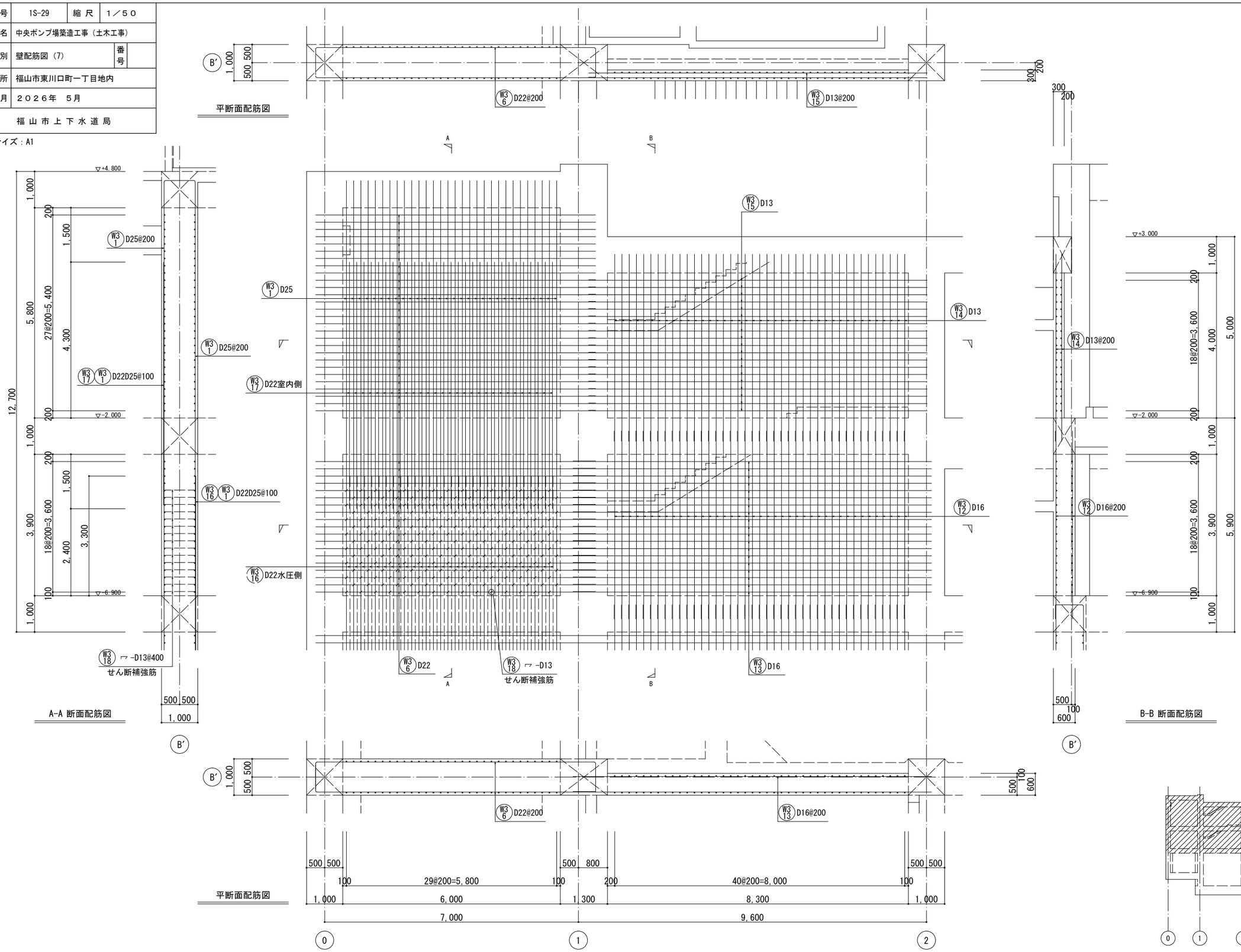
原図サイズ：A1



特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐¬D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-29	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（7）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

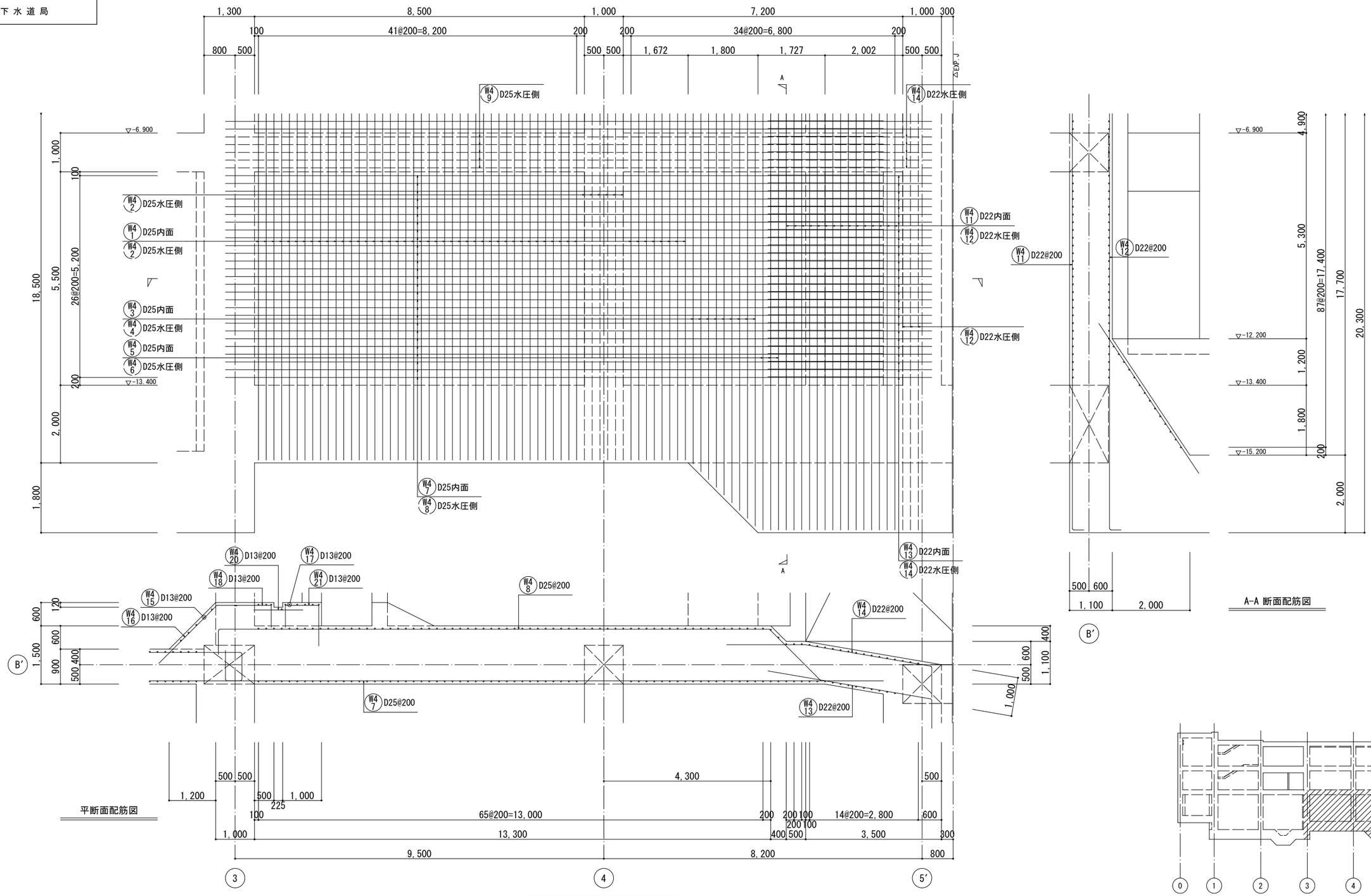


B′ 通　壁配筋図　1/50　W3

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ーD13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-30	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（8）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

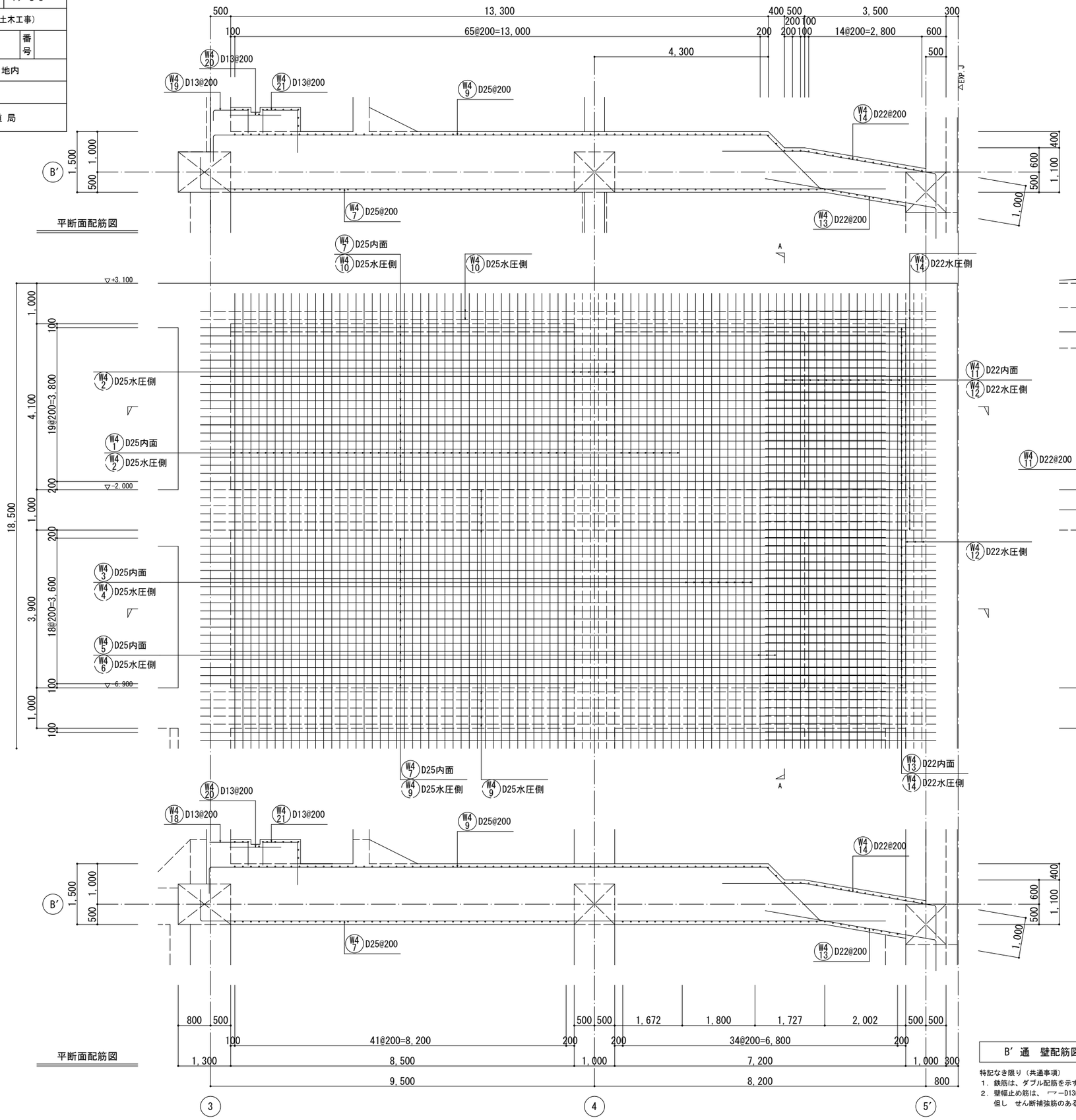


B′ 通　壁配筋図　1/50　W4

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐¬D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-31	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（9）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

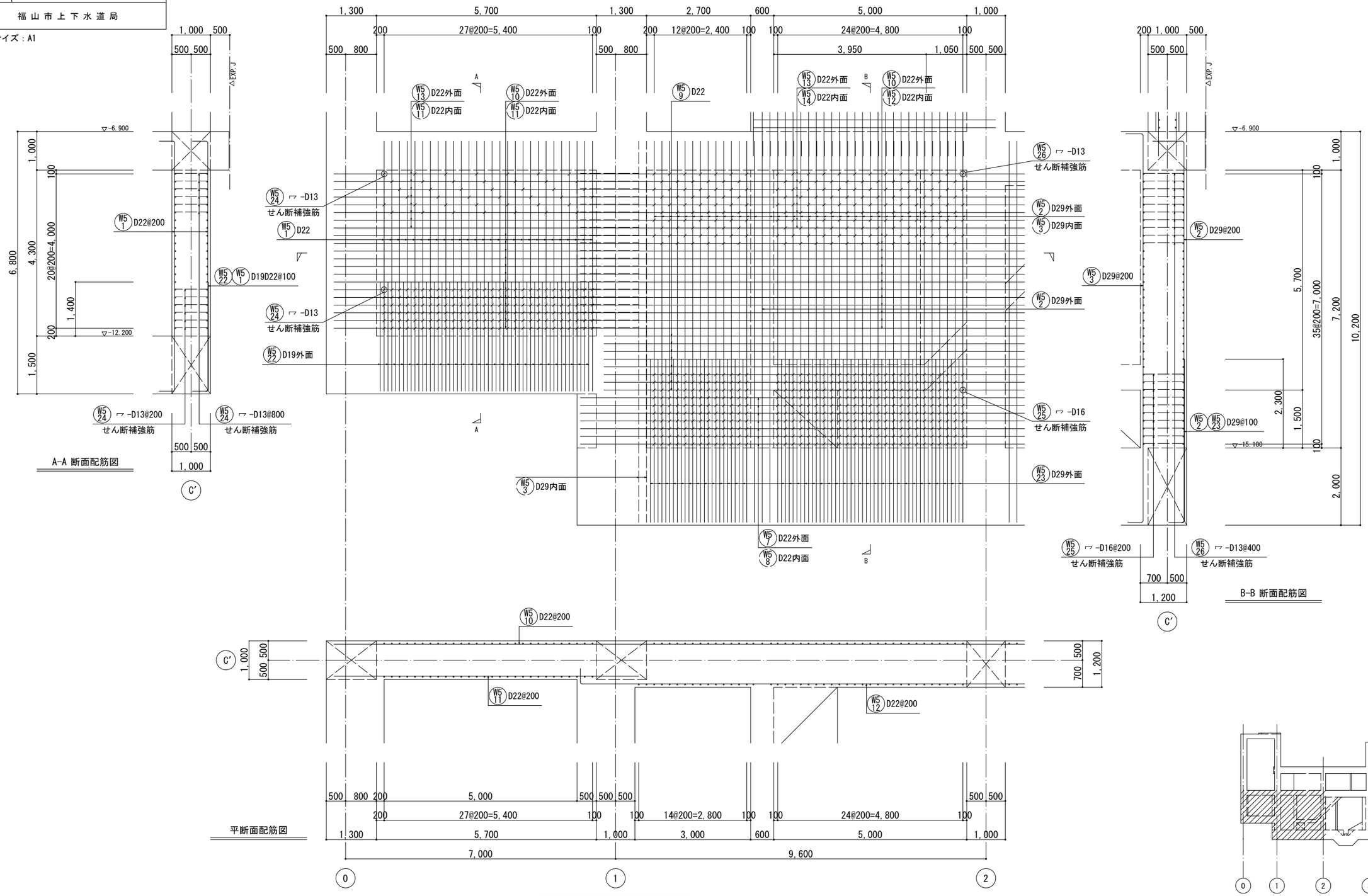


B′ 通　壁配筋図　1/50　W4

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、「フ」D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

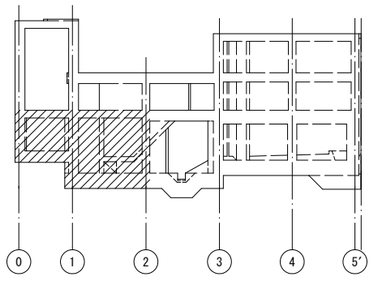
図面番号	1S-32	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（10）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



C′ 通　壁配筋図　1/50　W5

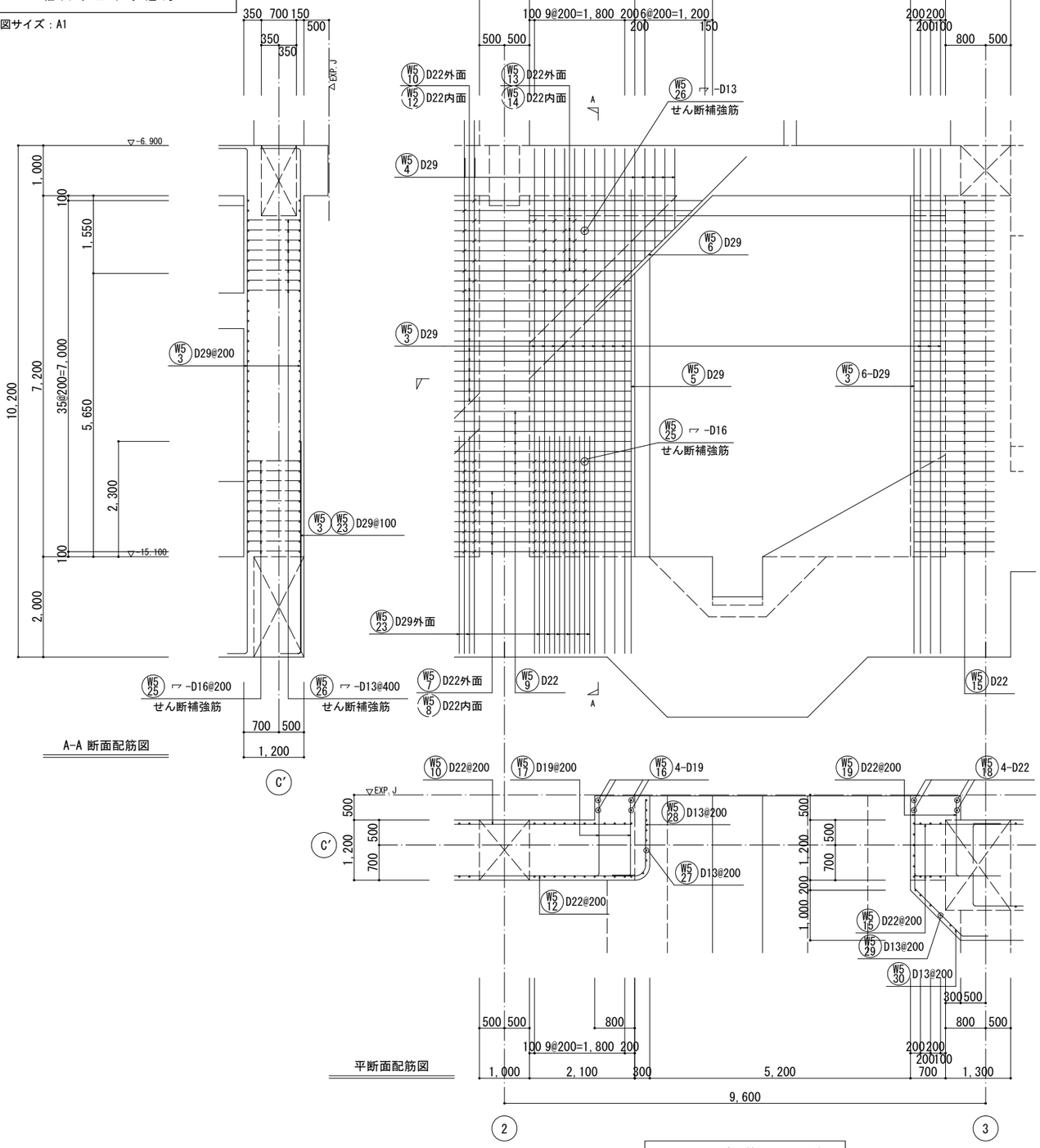
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⊓ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

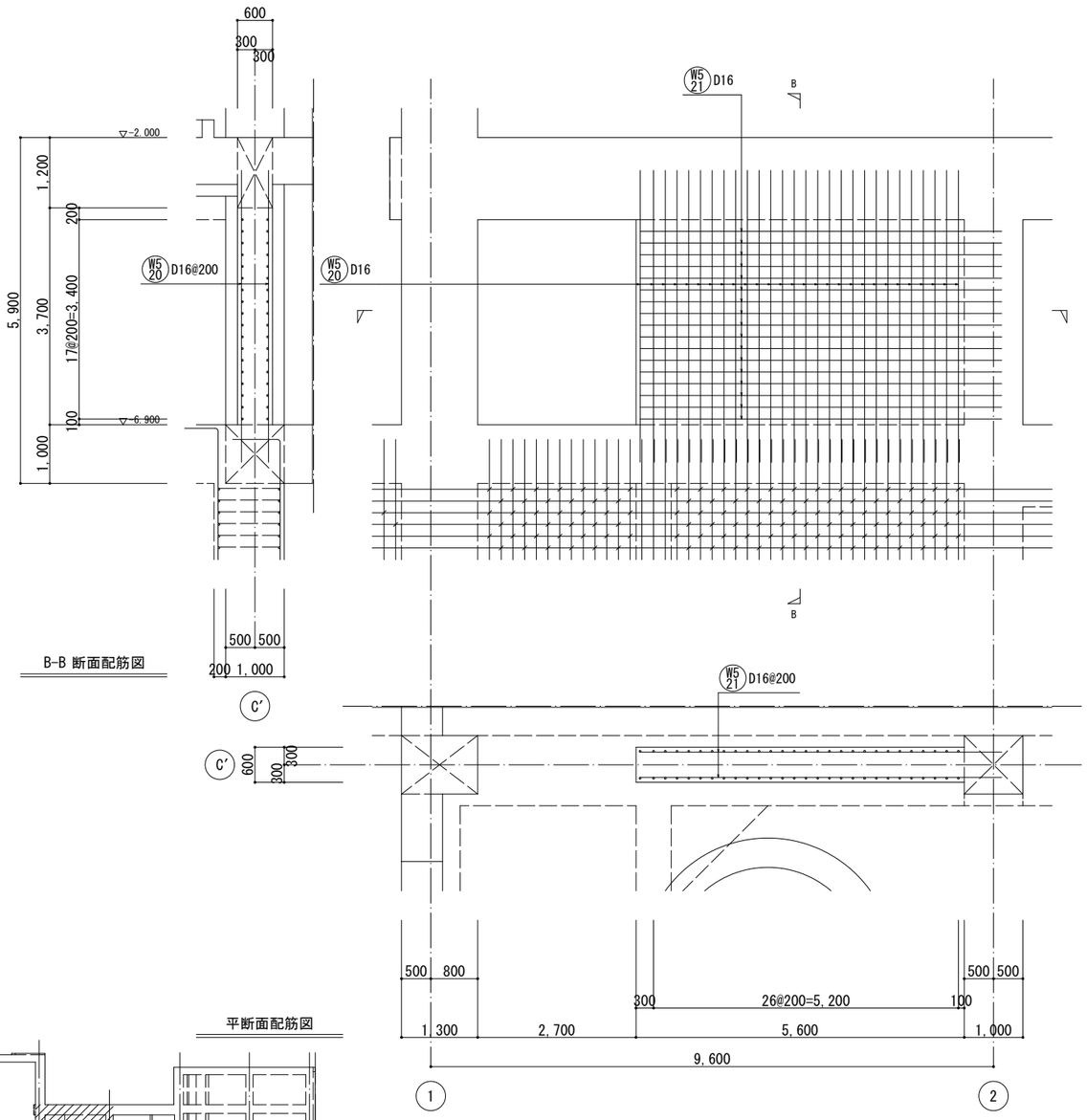


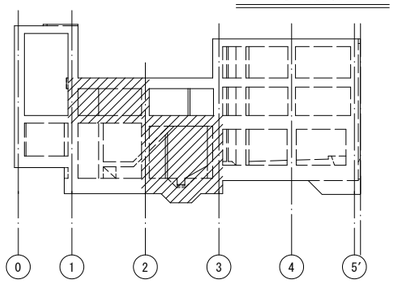
KEY PLAN

図面番号	1S-33	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（11）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1







C′ 通　壁配筋図　1/50　W5

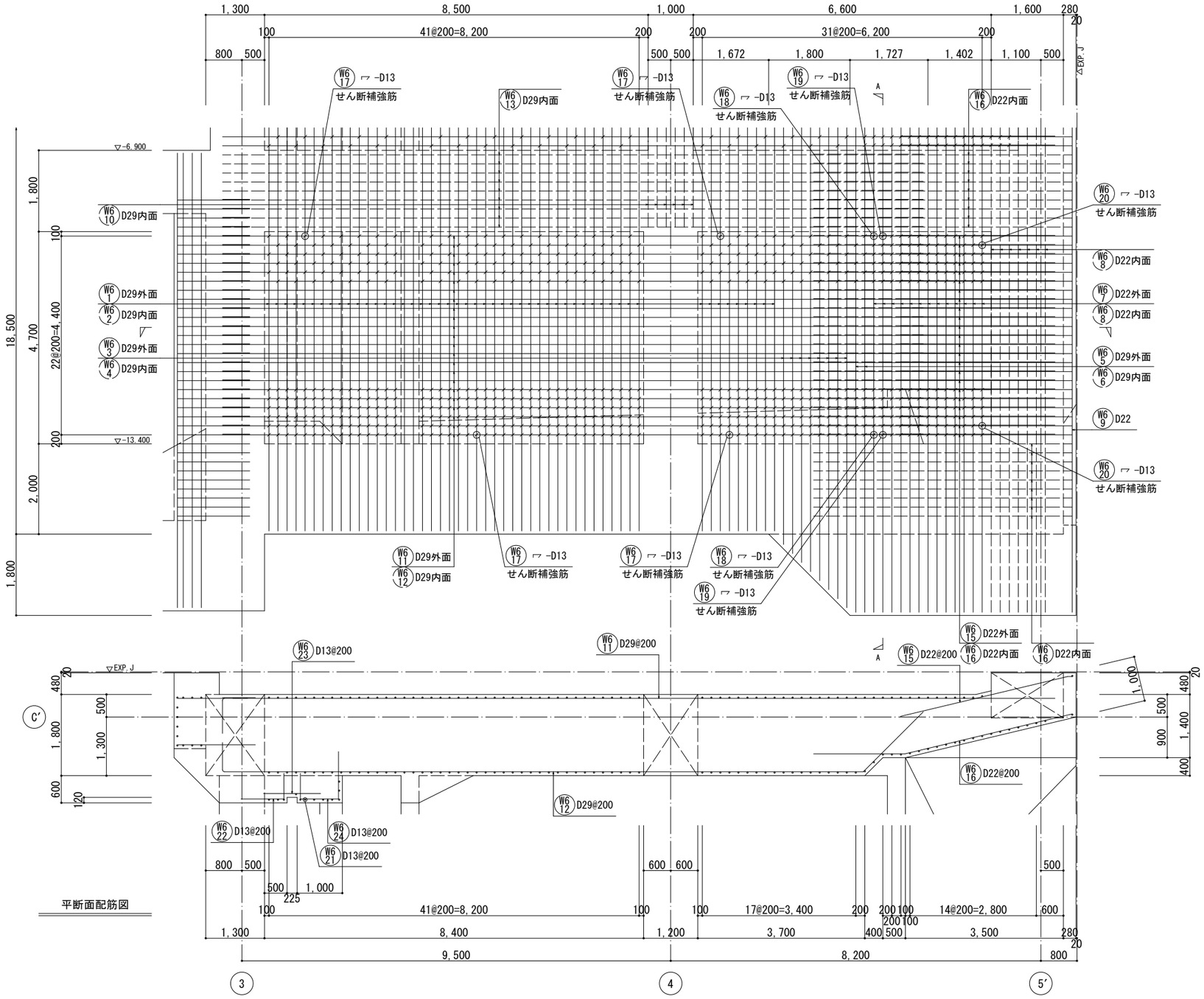
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

C′ 通　壁配筋図　1/50　W5

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

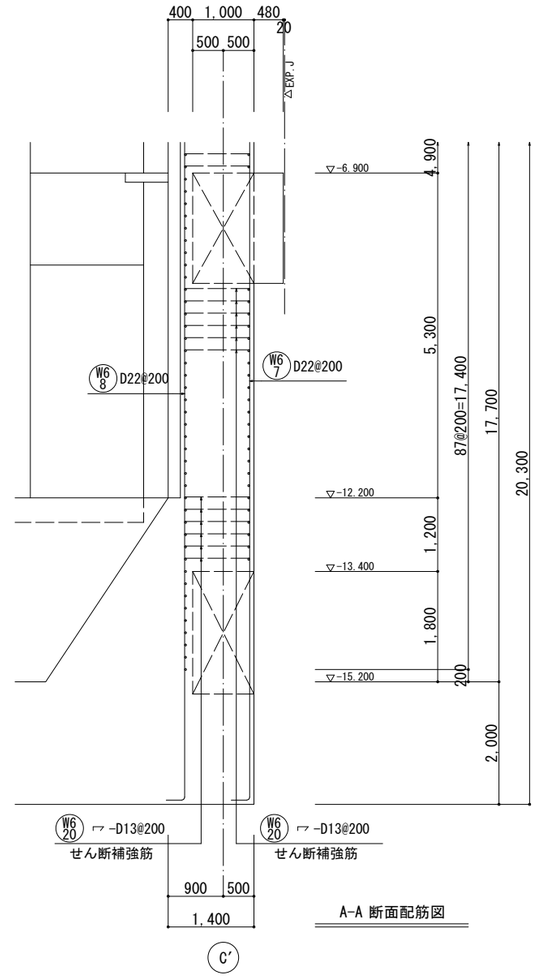
図面番号	1S-34	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（12）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

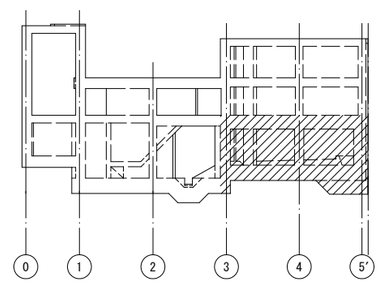


平断面配筋図

C′ 通　壁配筋図　1/50　W6



A-A 断面配筋図

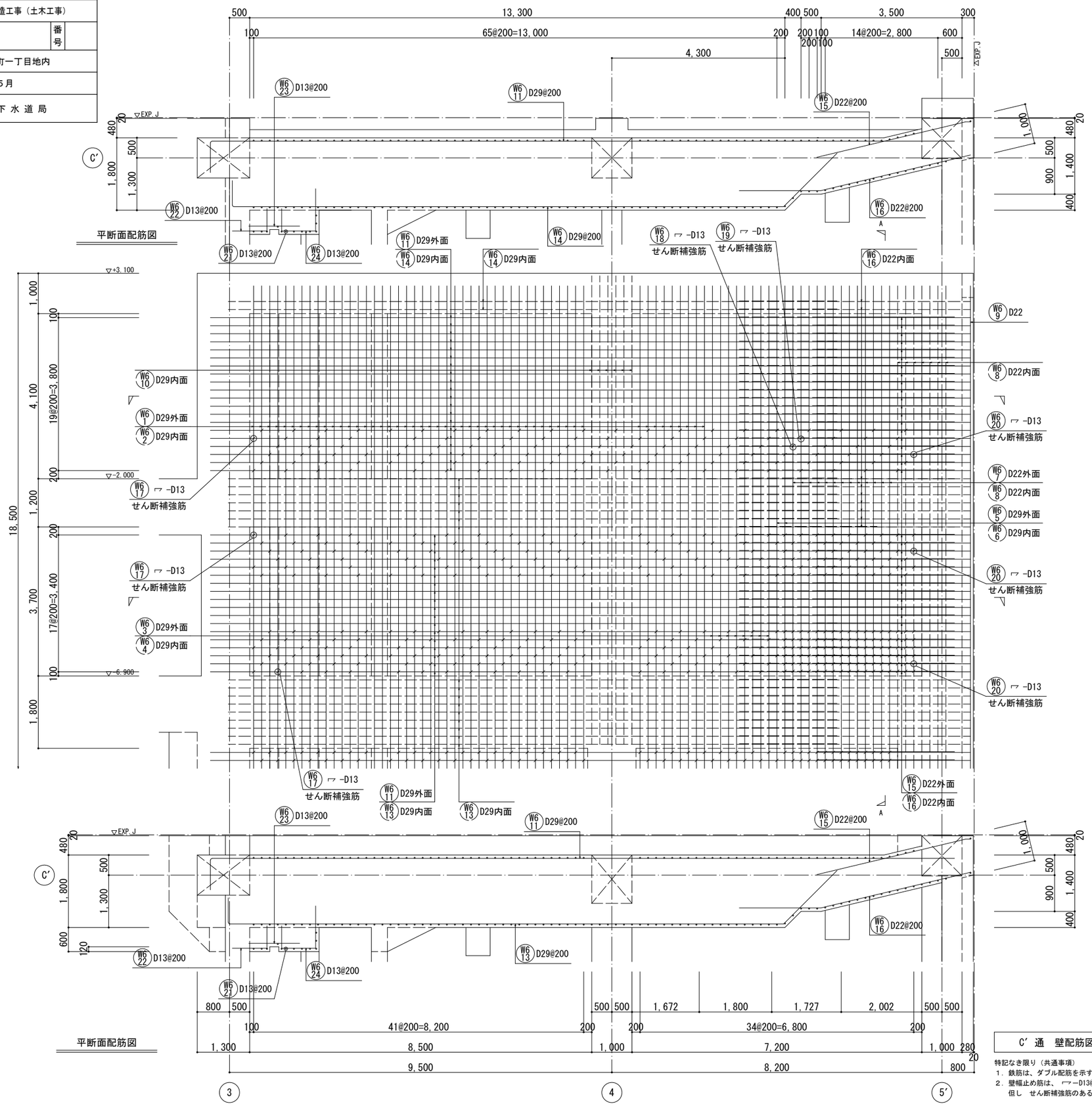


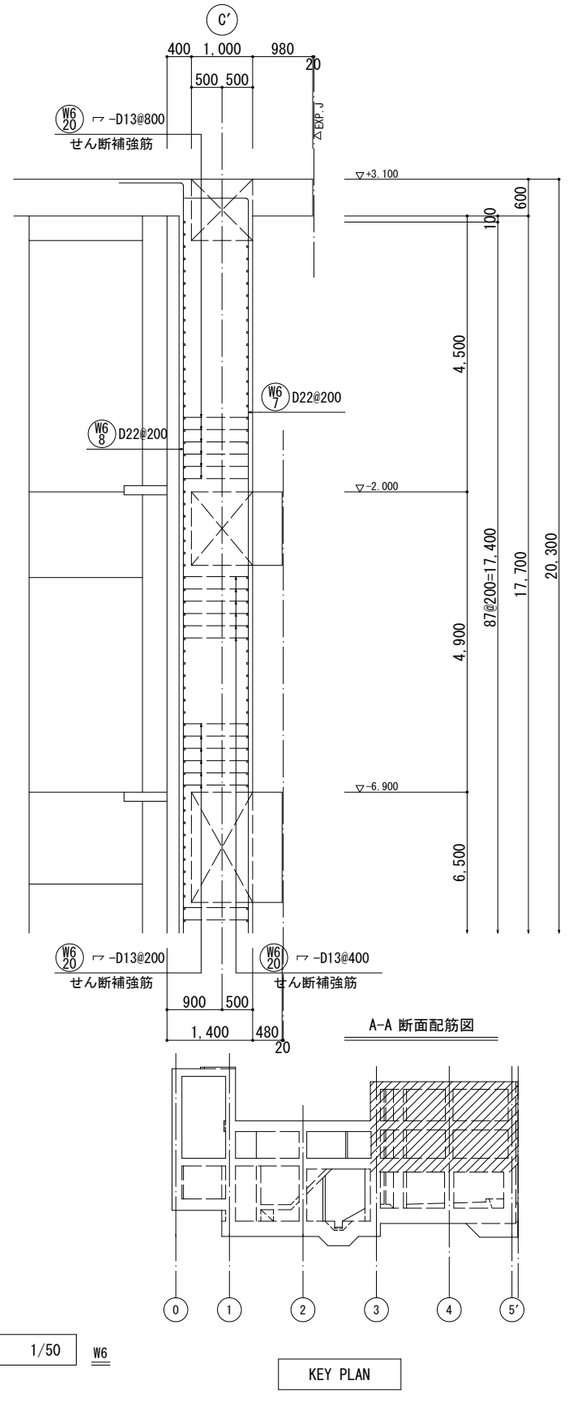
KEY PLAN

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ーD13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-35	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（13）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



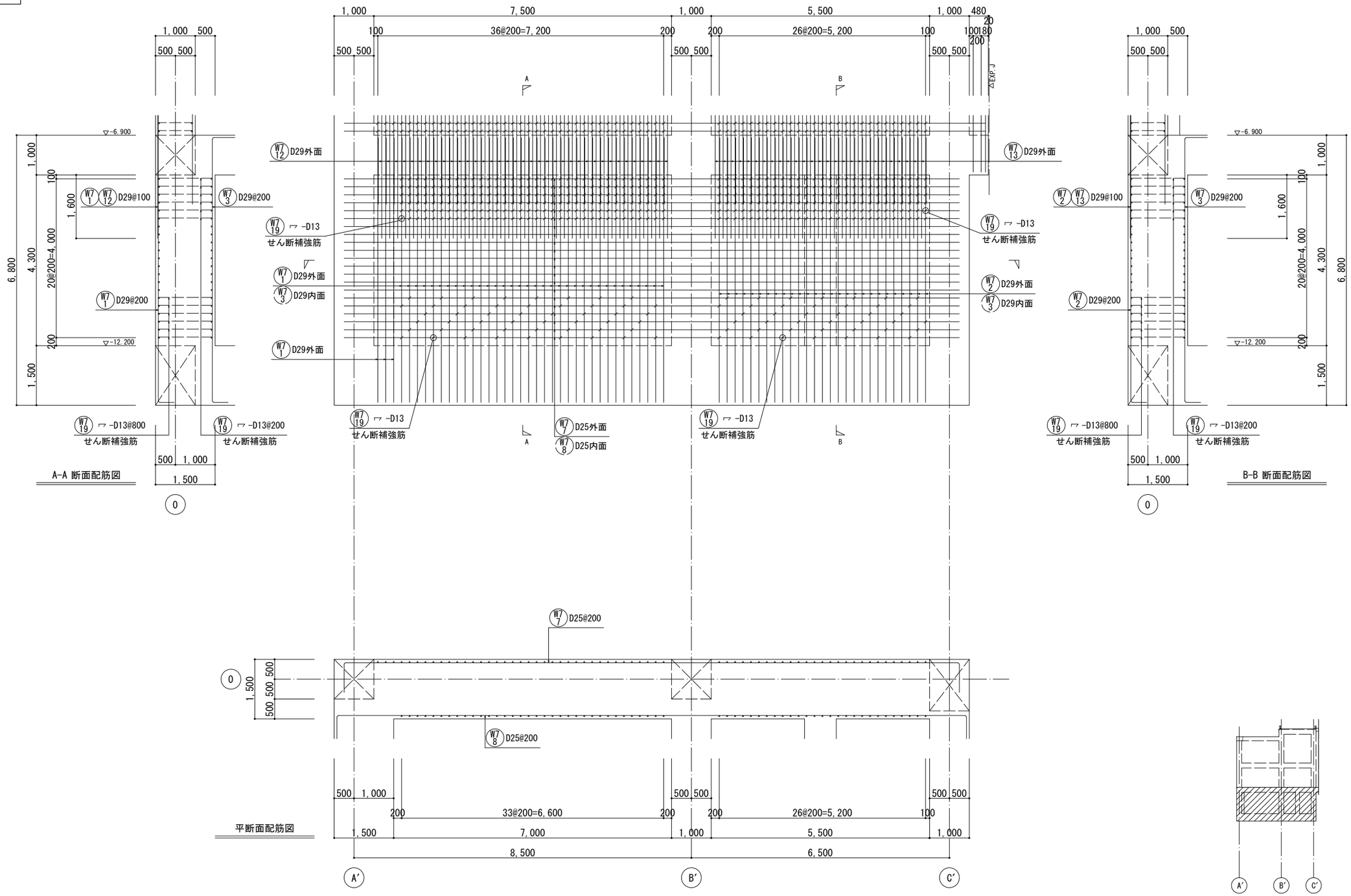


C′ 通　壁配筋図　1/50　W6

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⊓ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-36	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（14）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

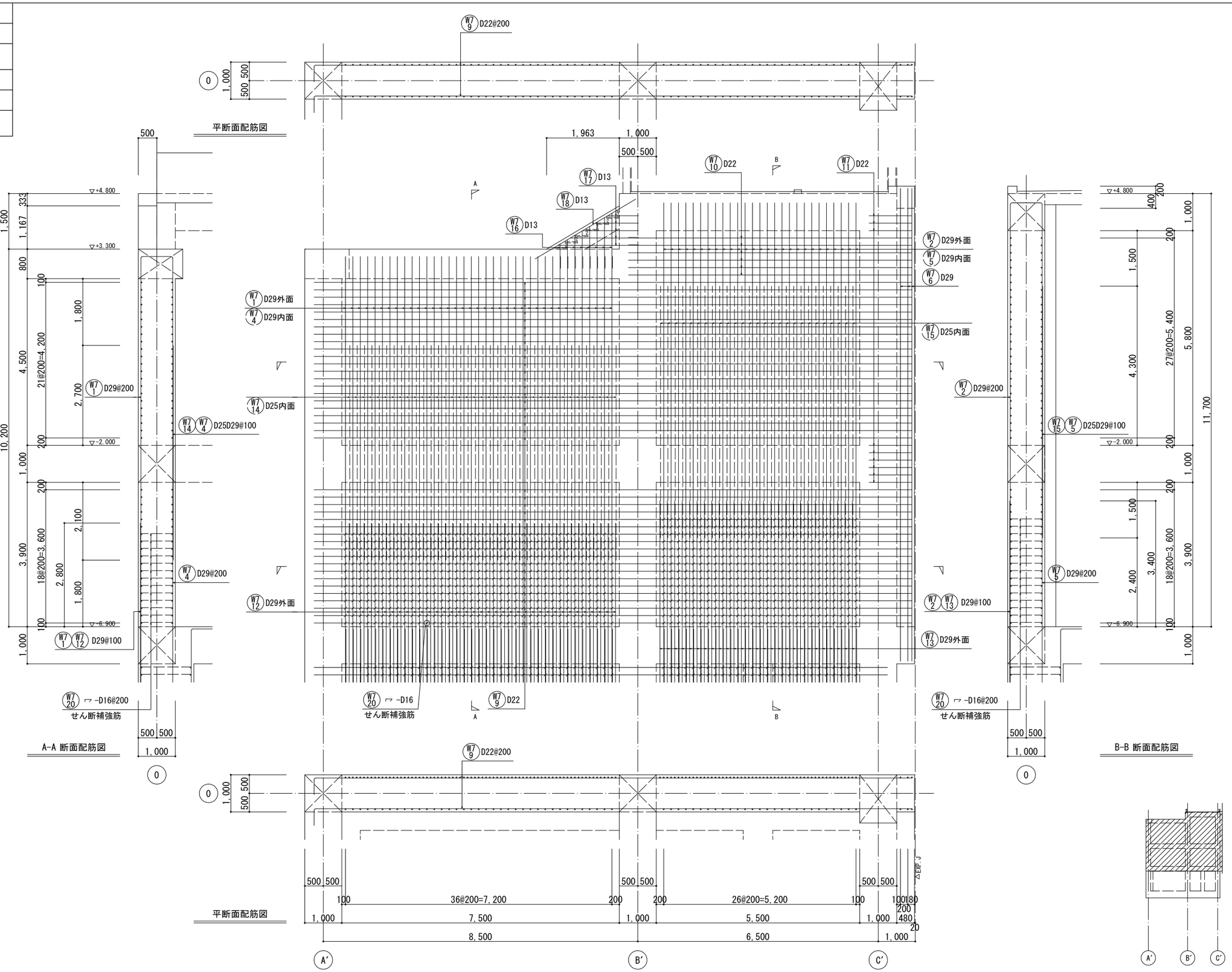


0通　壁配筋図　1/50　W7

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ▱ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-37	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（15）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



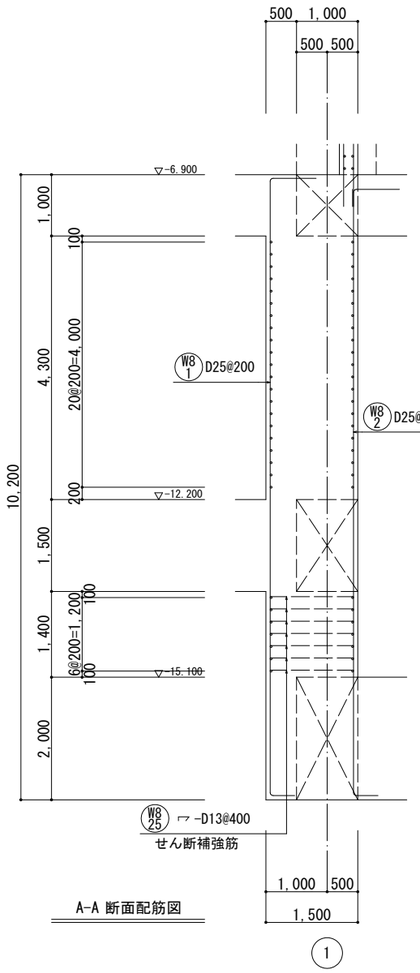
KEY PLAN

0通　壁配筋図　1/50　W7

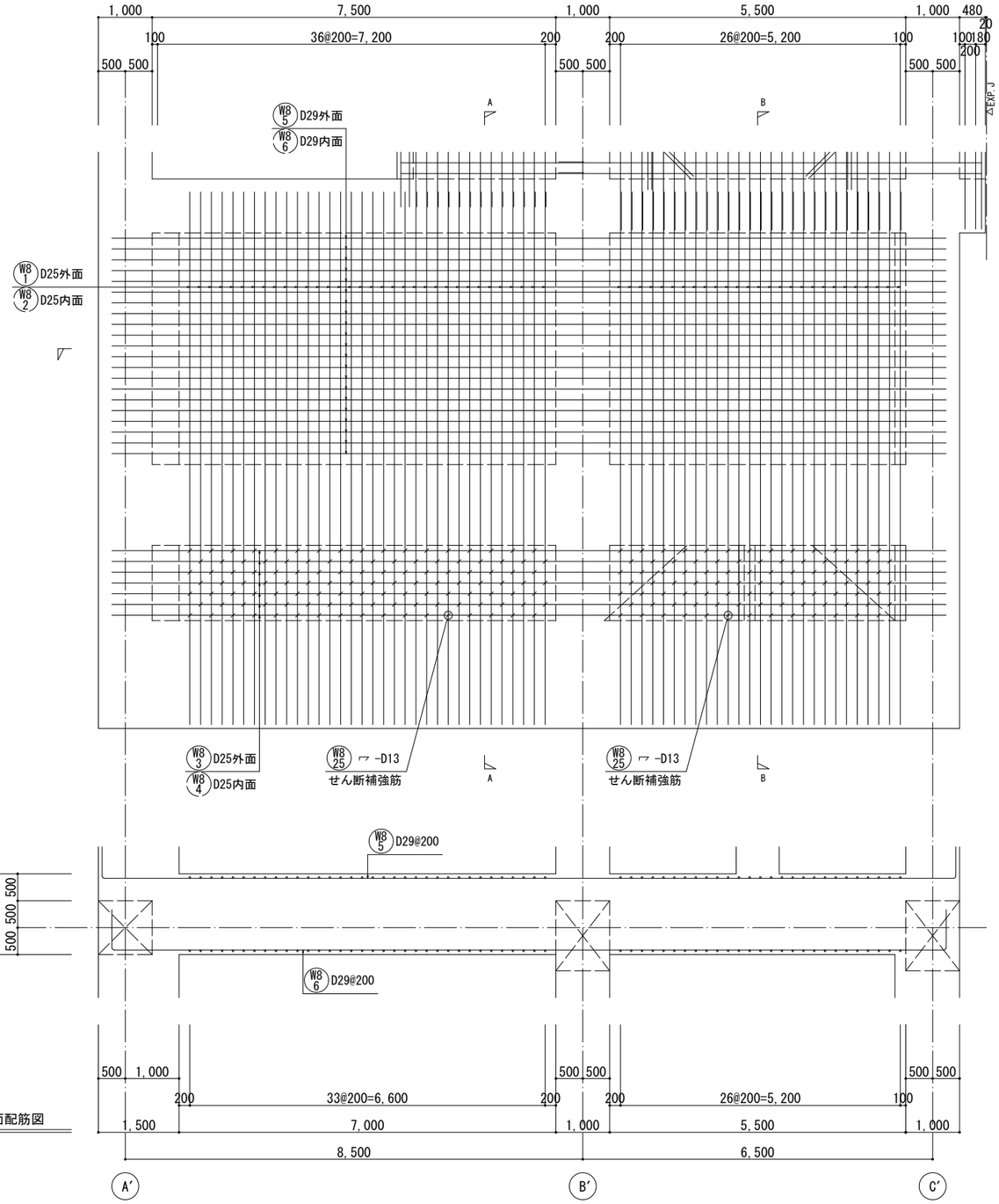
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-38	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（16）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

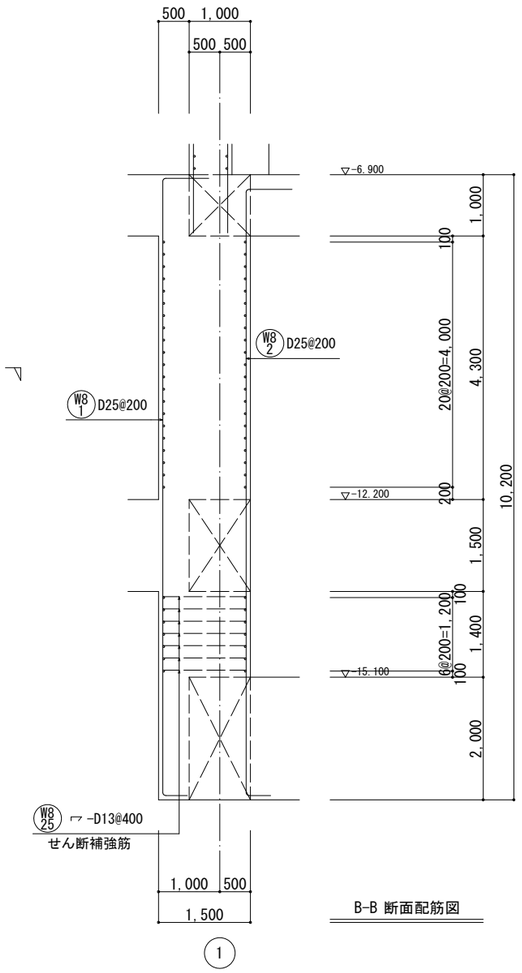
原図サイズ：A1



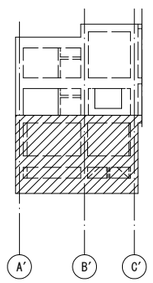
A-A 断面配筋図



平断面配筋図



B-B 断面配筋図



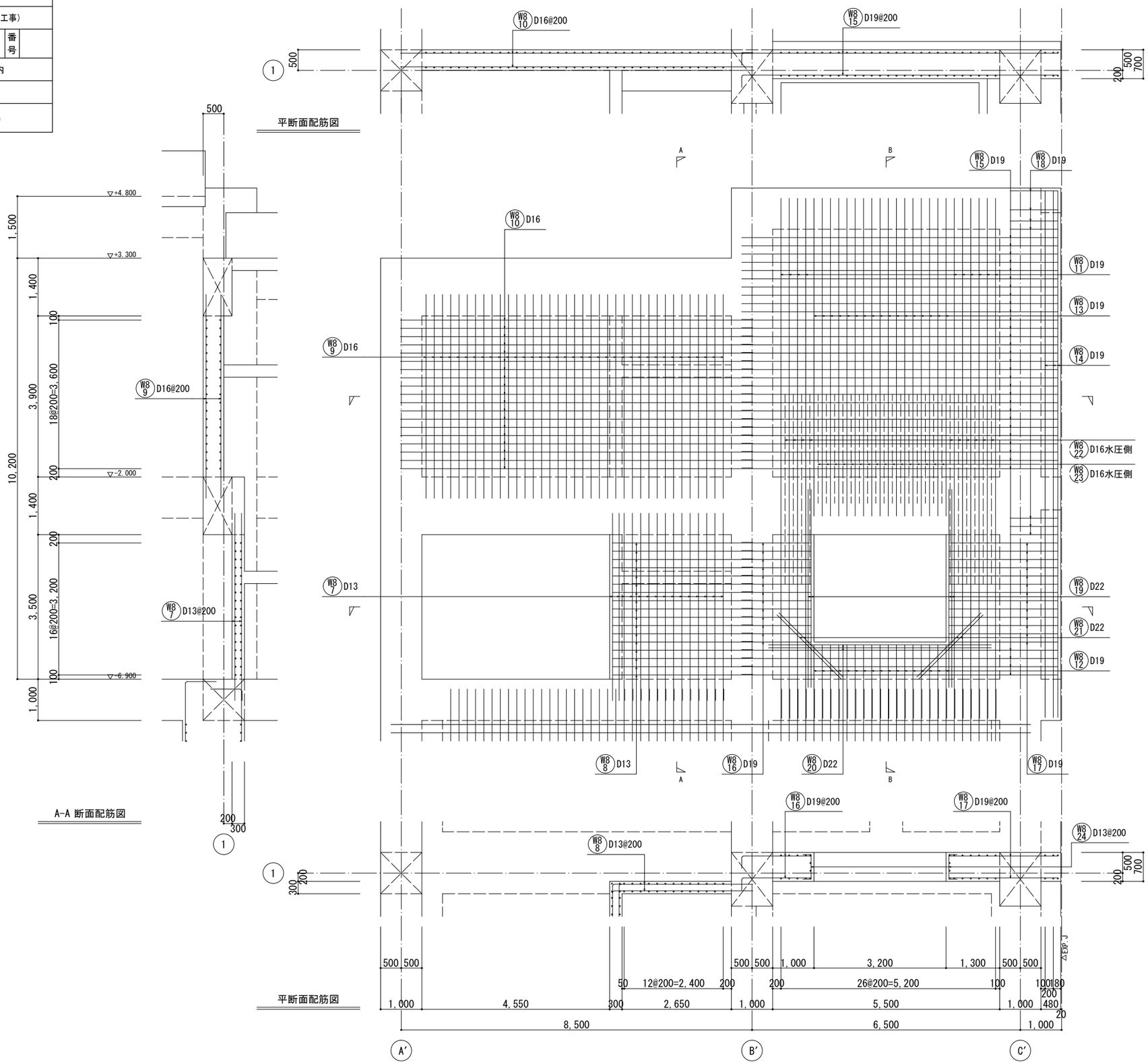
KEY PLAN

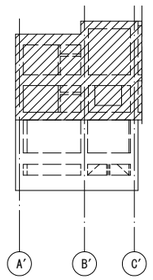
1通　壁配筋図　1/50　W8

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-39	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（17）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





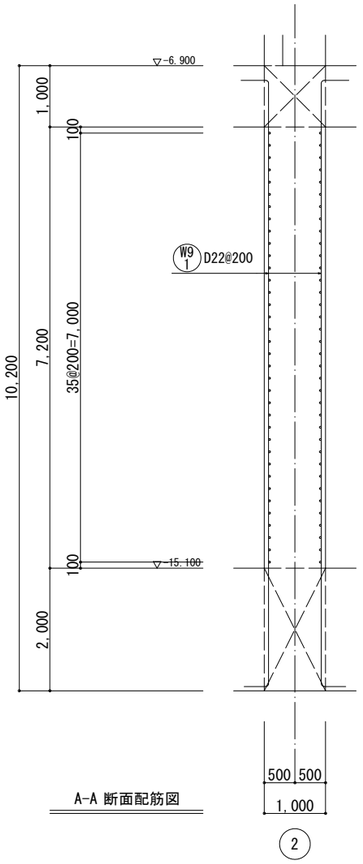
KEY PLAN

1通　壁配筋図　1/50　W8

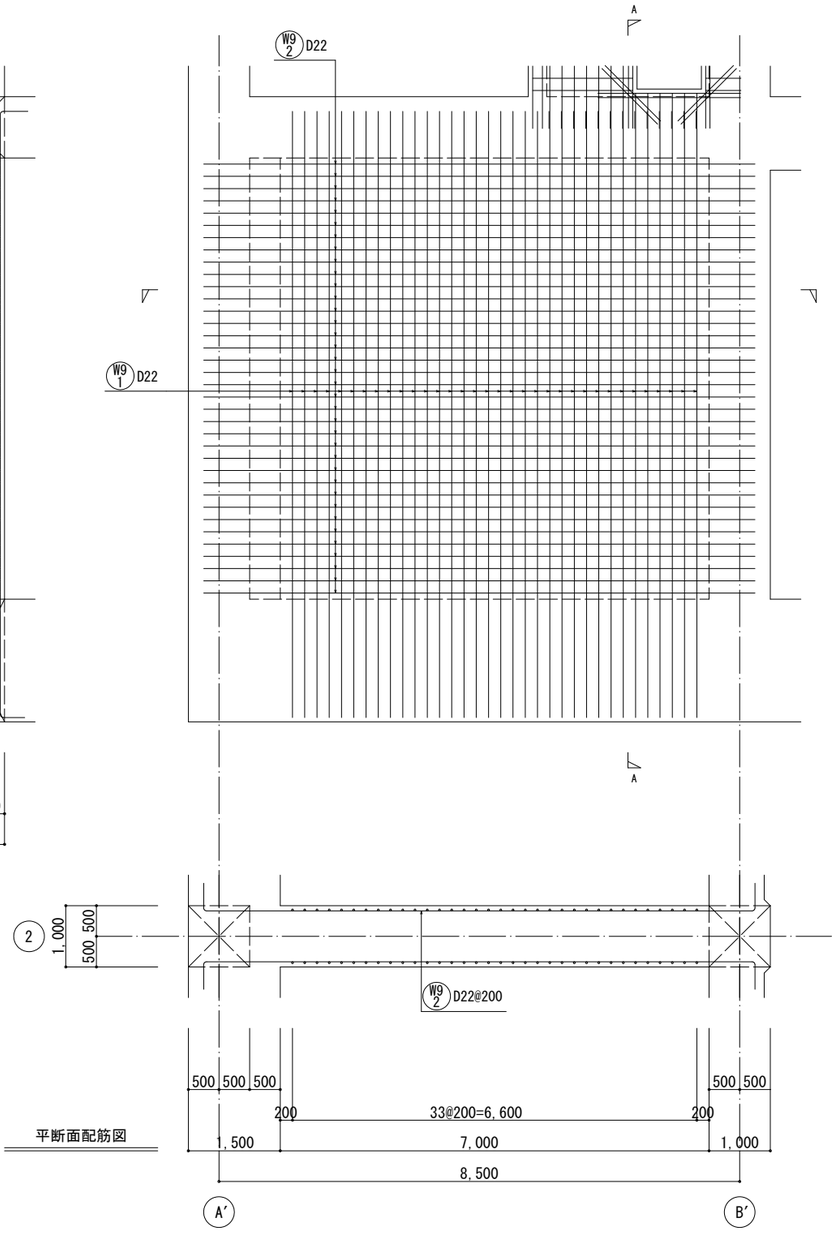
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⊏⊐ －D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-40	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（18）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

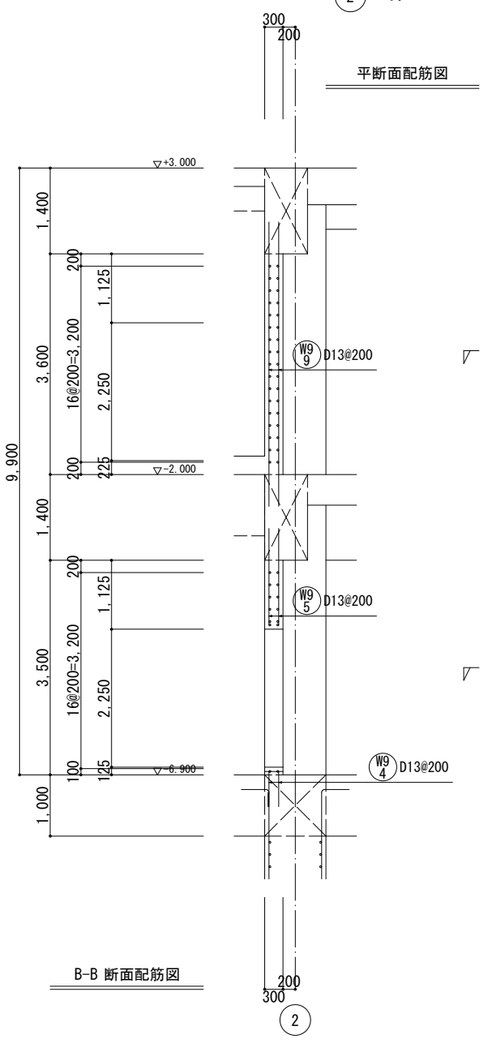
原図サイズ：A1



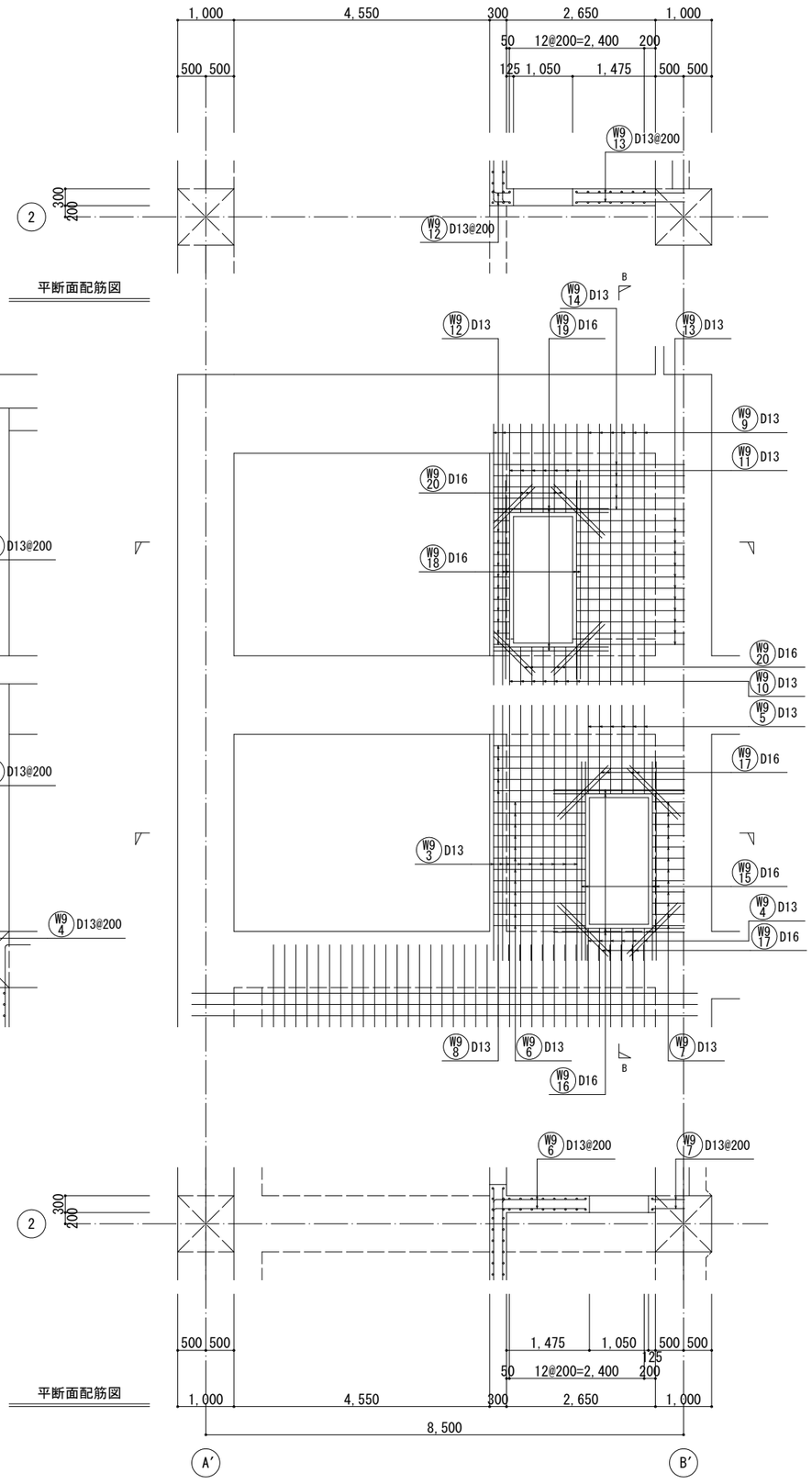
A-A 断面配筋図



平断面配筋図



B-B 断面配筋図



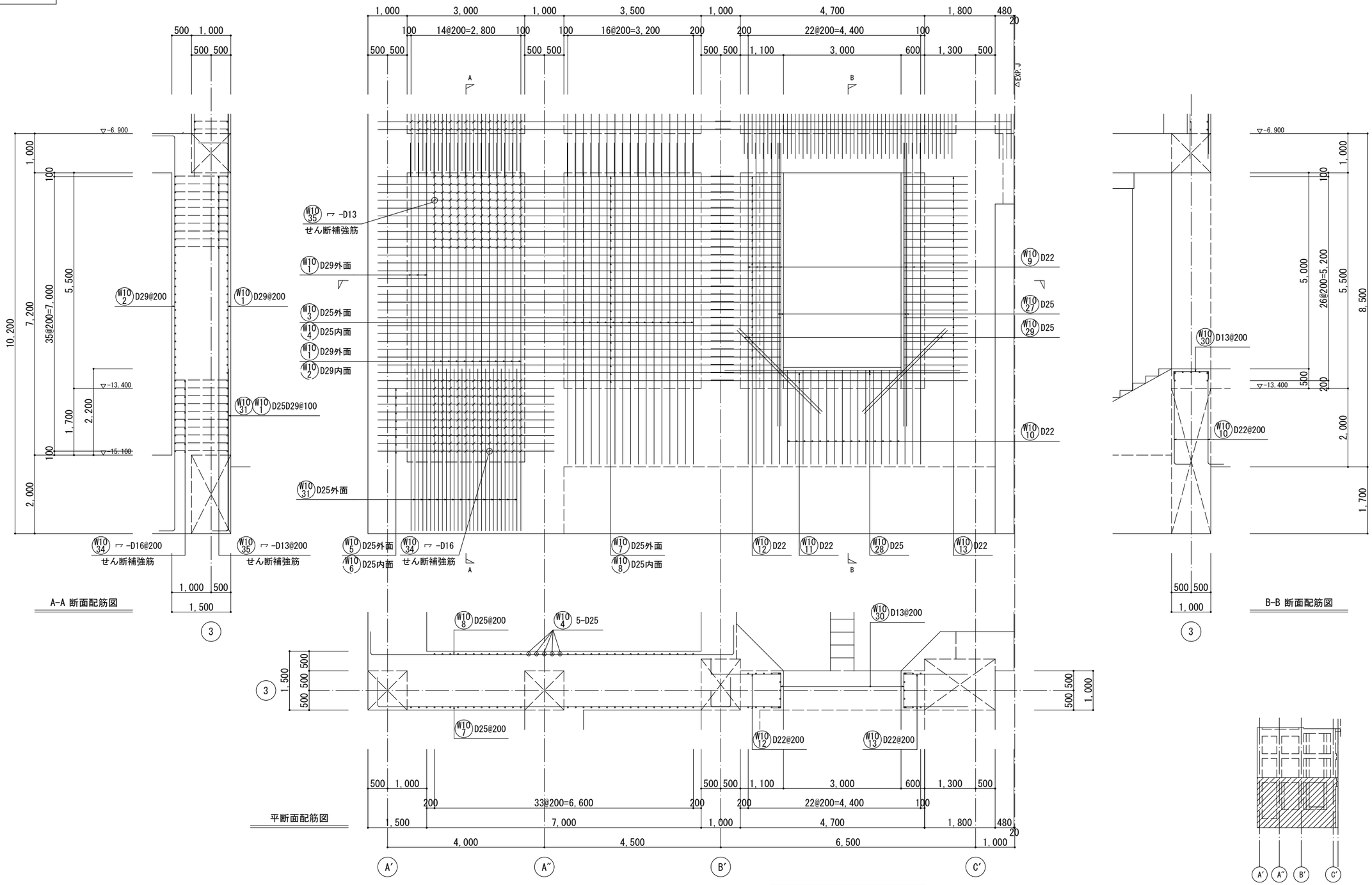
平断面配筋図

2通　壁配筋図　1/50　W9

特記なき限り（共通事項）
１．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
２．壁幅止め筋は、 ⌐⌐ D13@1,000×1,000程度とする。

図面番号	1S-41	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（19）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

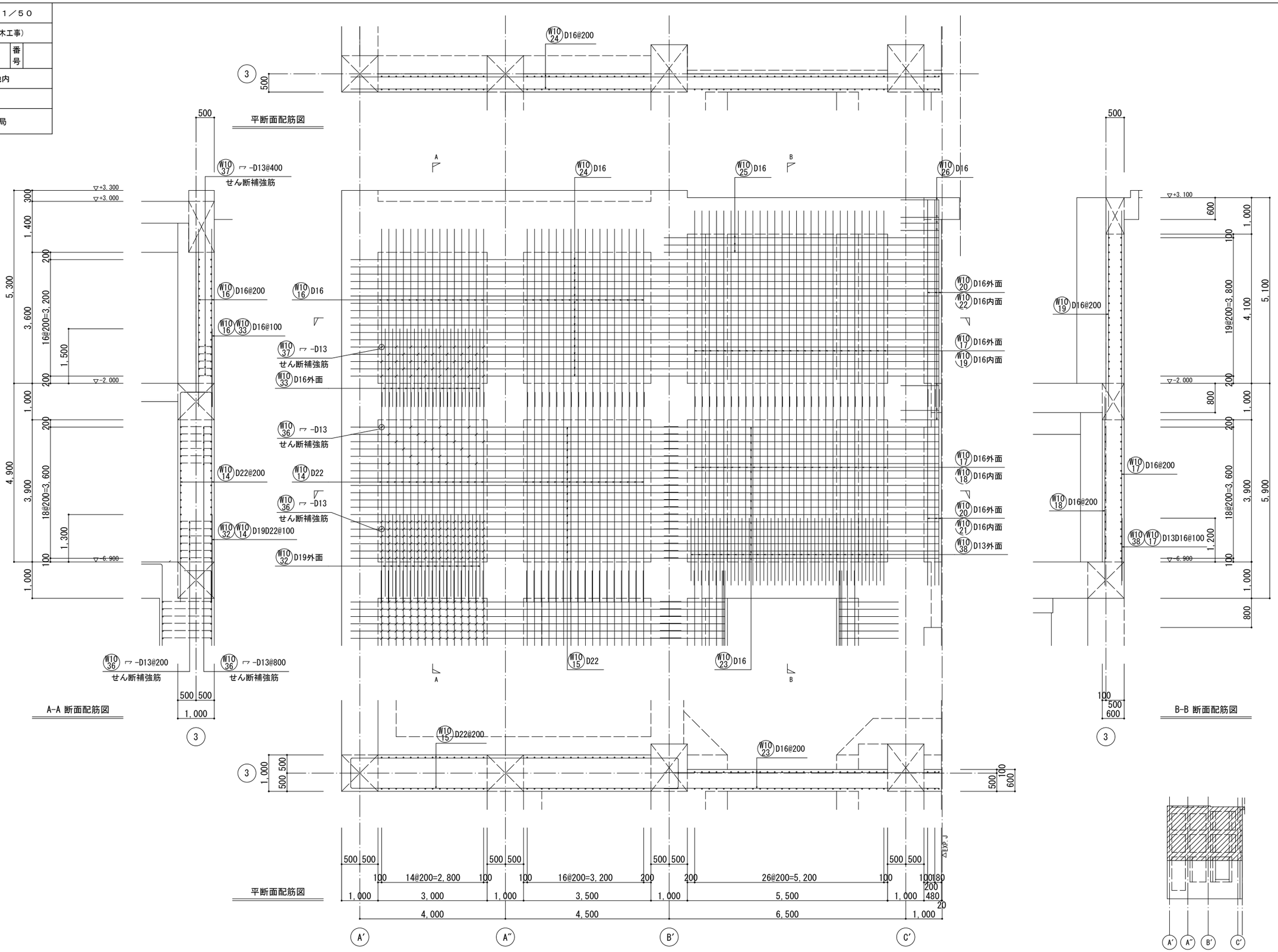


3通　壁配筋図　1/50　W10

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-42	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（20）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

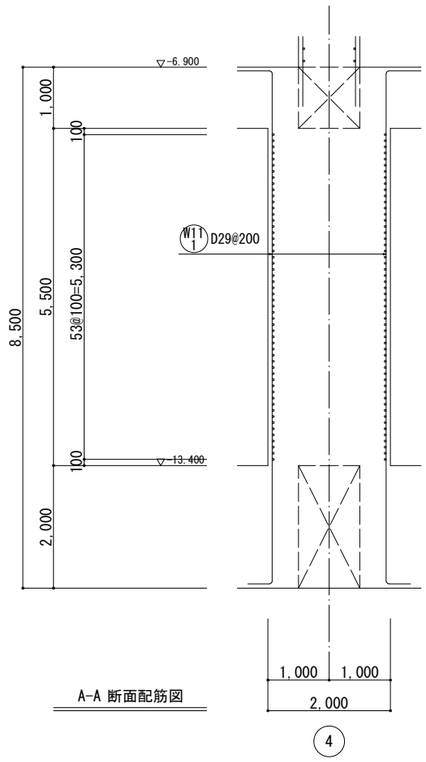


3通　壁配筋図　1/50　W10

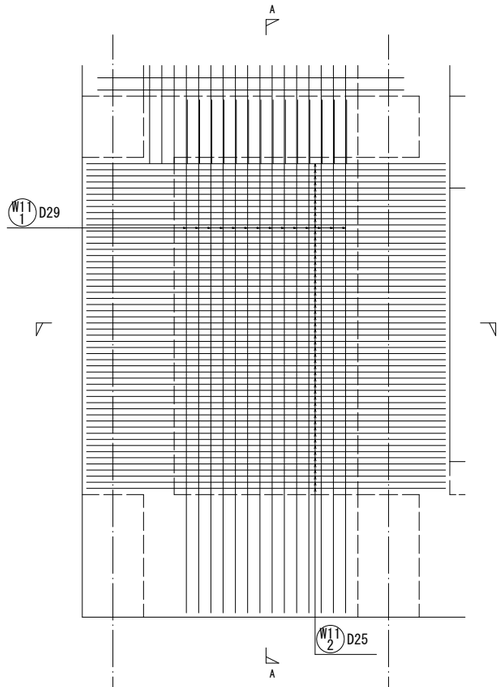
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ ―D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

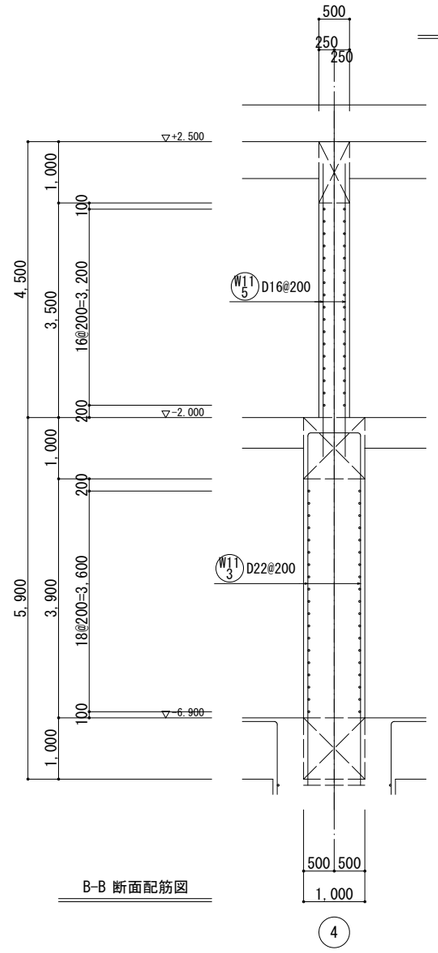
図面番号	1S-43	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（21）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

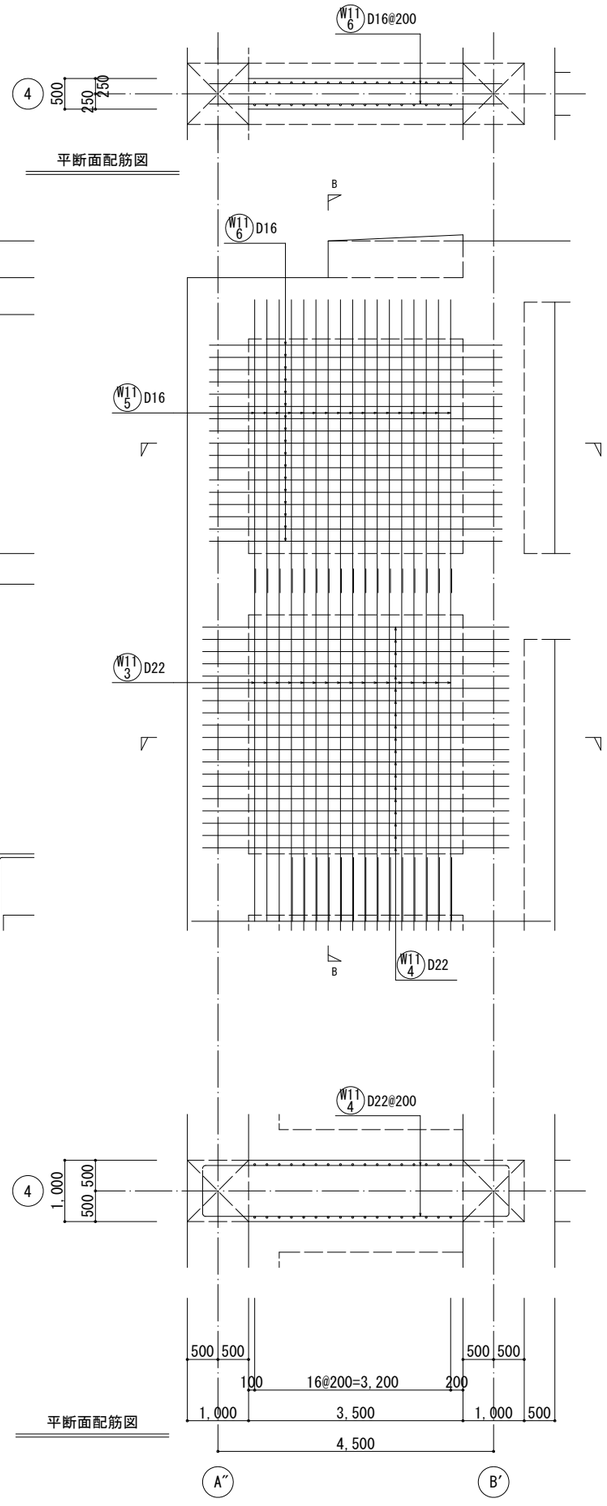


A-A 断面配筋図

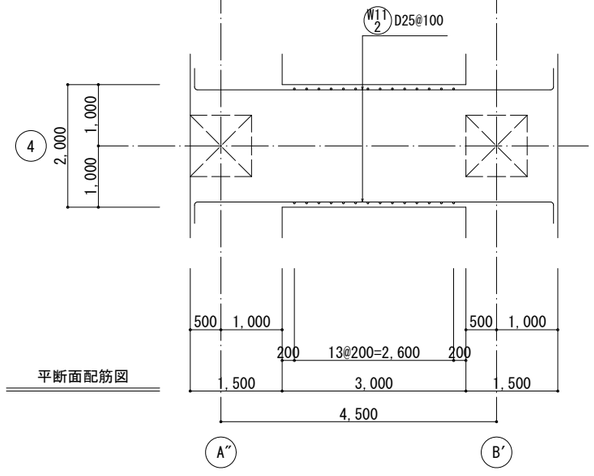




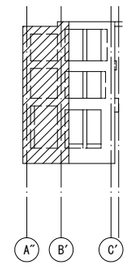
B-B 断面配筋図



平断面配筋図



平断面配筋図



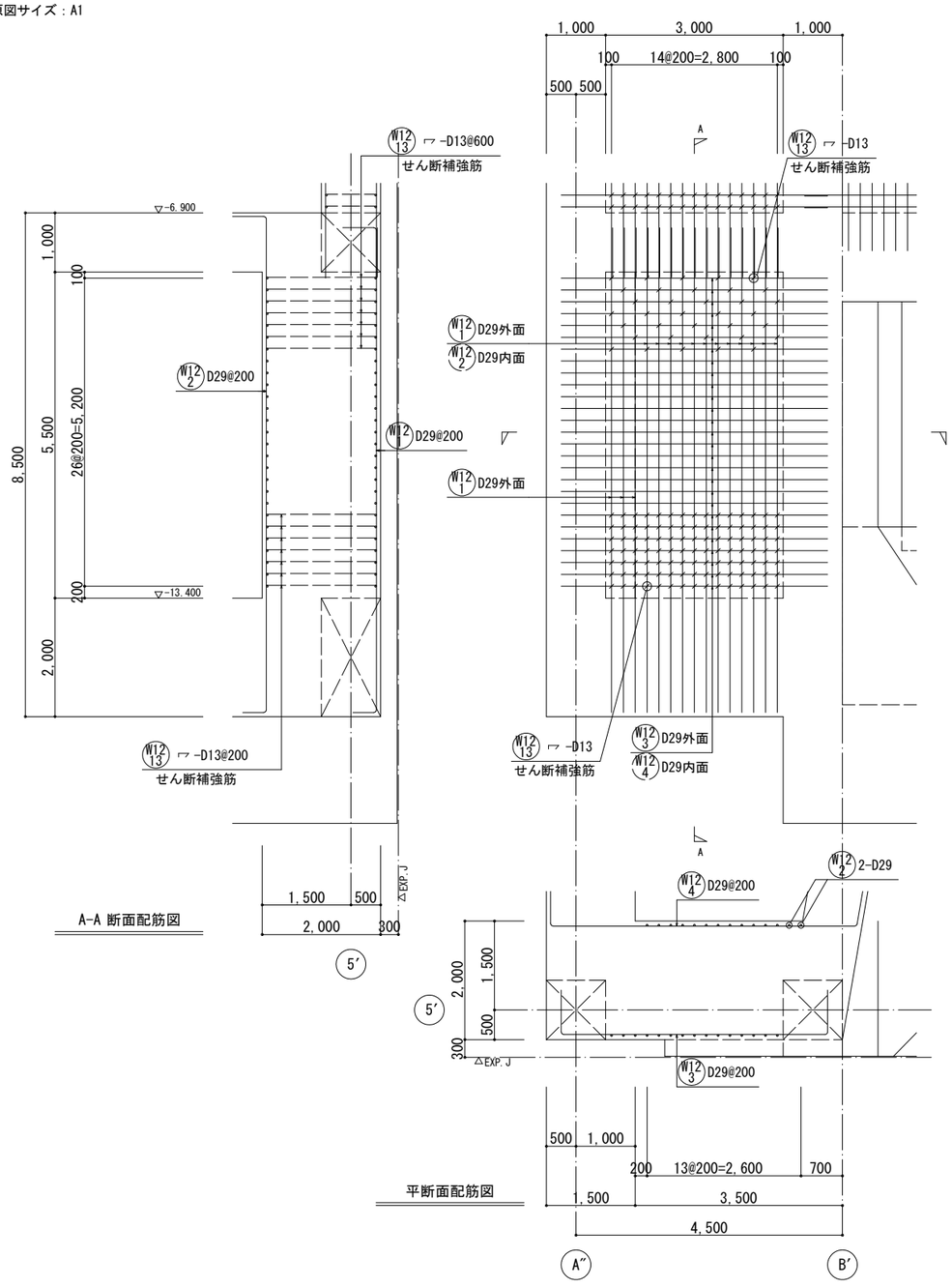
KEY PLAN

4通　壁配筋図　1/50　W11

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐¬D13@1,000×1,000程度とする。

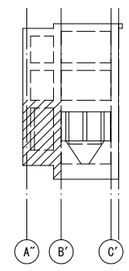
図面番号	1S-44	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（22）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



5′ 通　壁配筋図　1/50　W12

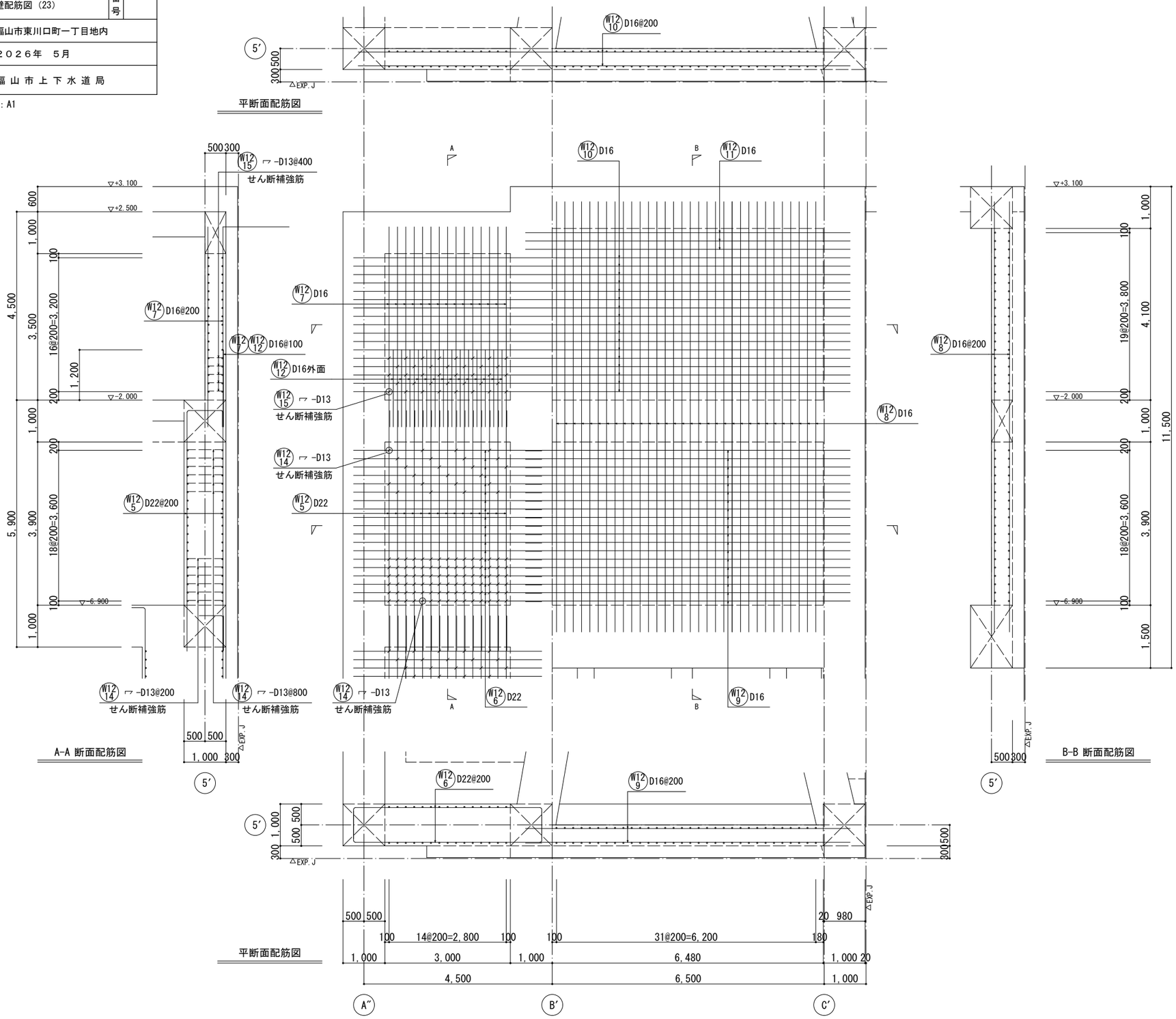
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

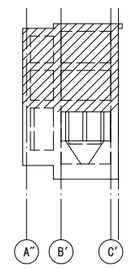
図面番号	1S-45	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（23）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



5′ 通　壁配筋図　1/50　W12

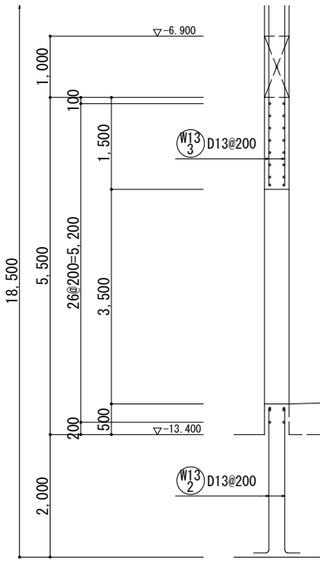
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐ーD13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



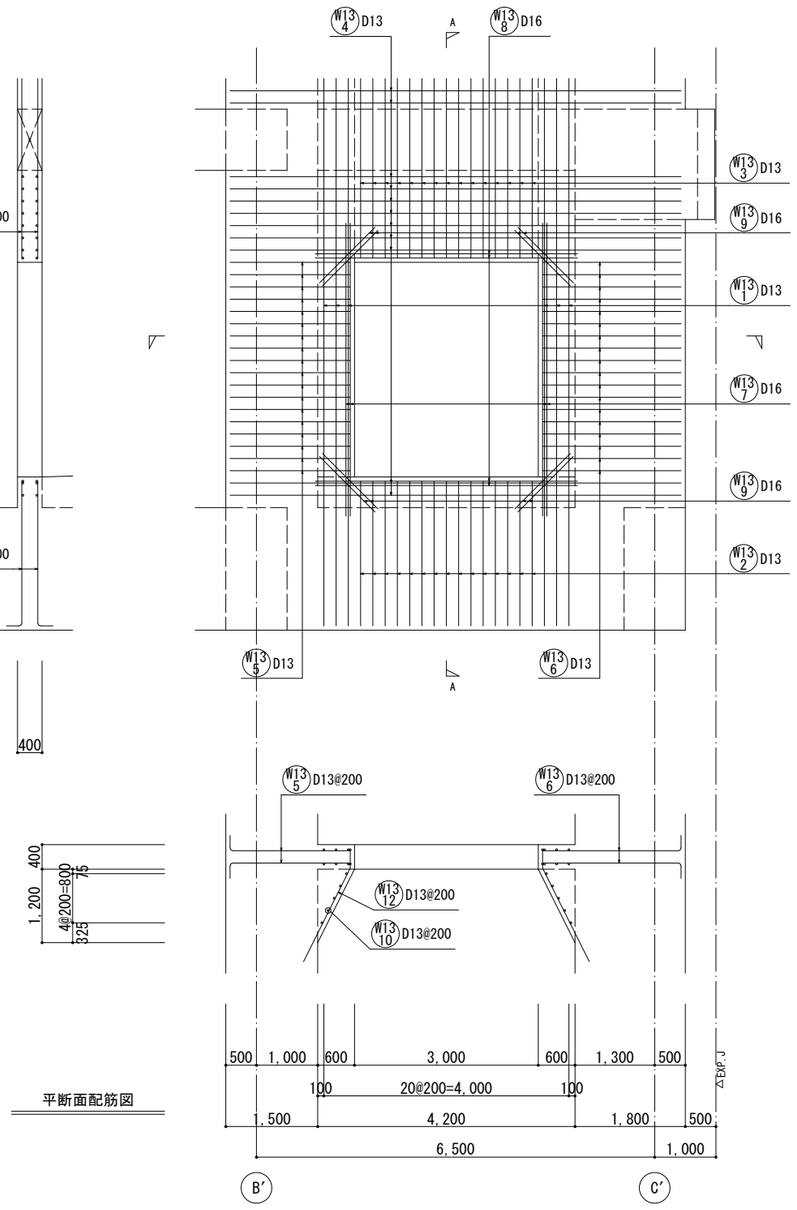
KEY PLAN

図面番号	1S-46	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（24）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

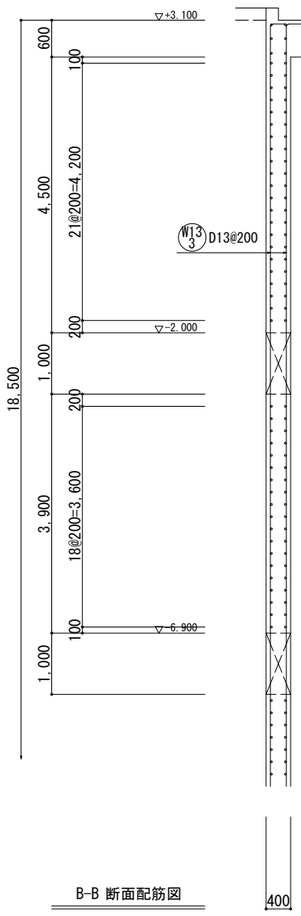
原図サイズ：A1



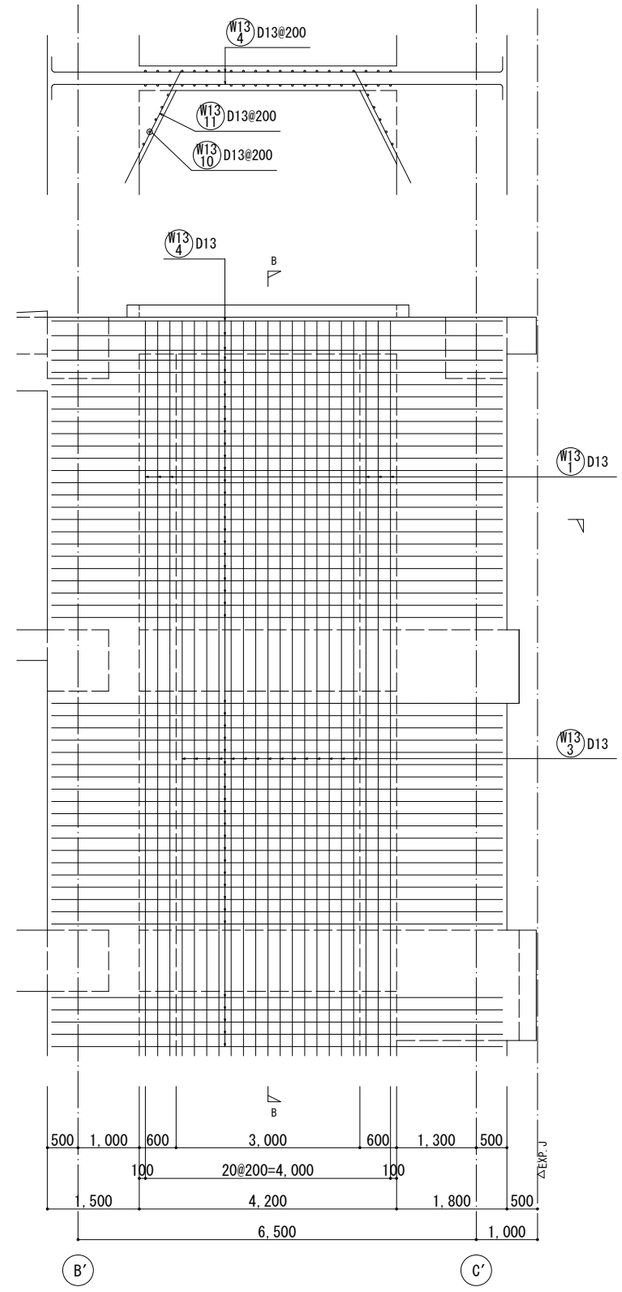
A-A 断面配筋図

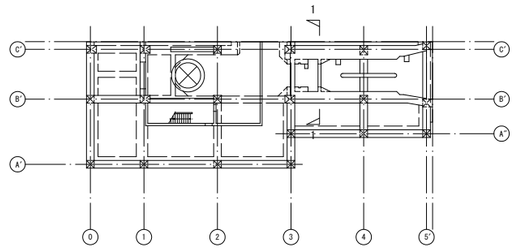


平断面配筋図



B-B 断面配筋図





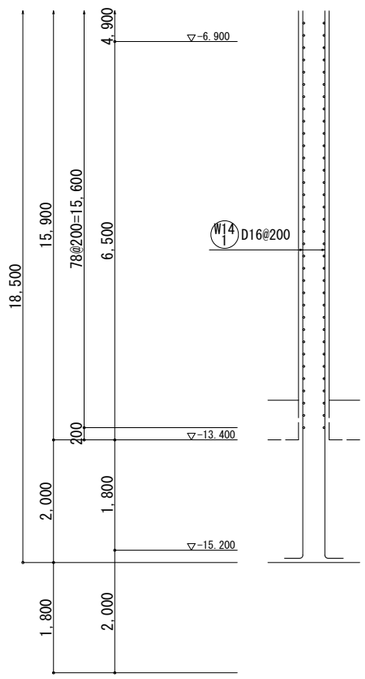
KEY PLAN

1-1　壁配筋図　1/50　W13

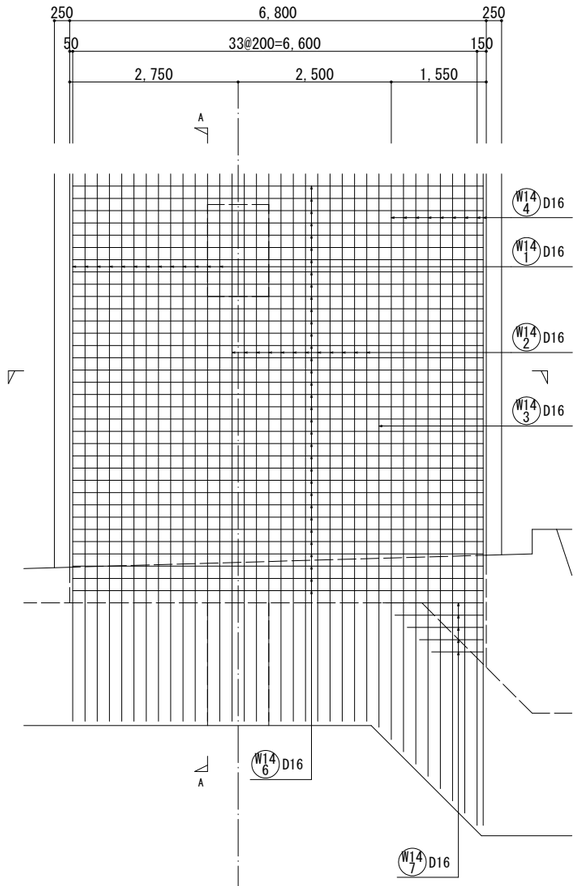
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐⌐ーD13@1,000×1,000程度とする。

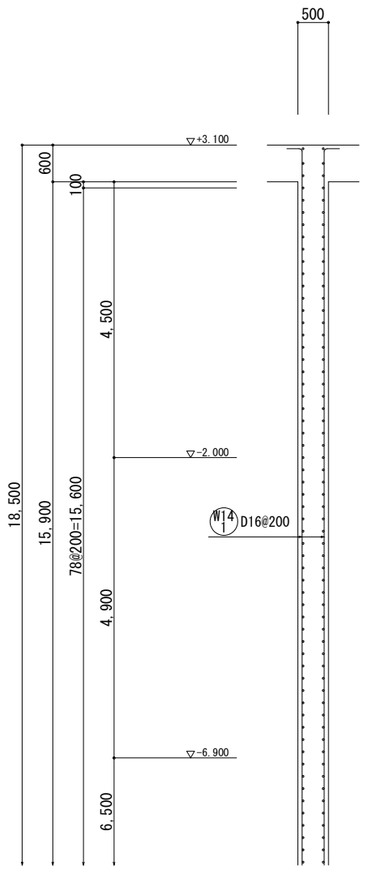
図面番号	1S-47	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（25）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

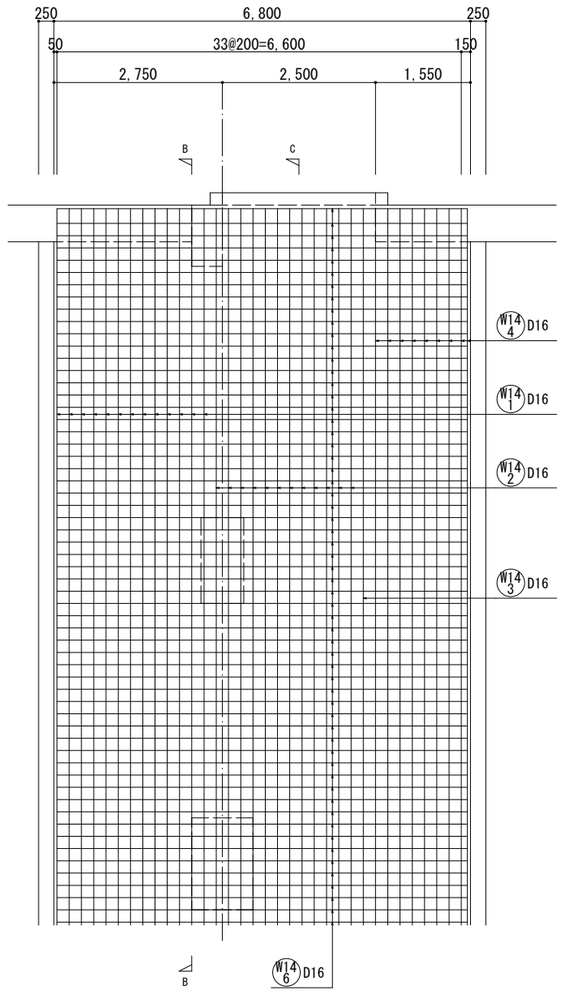


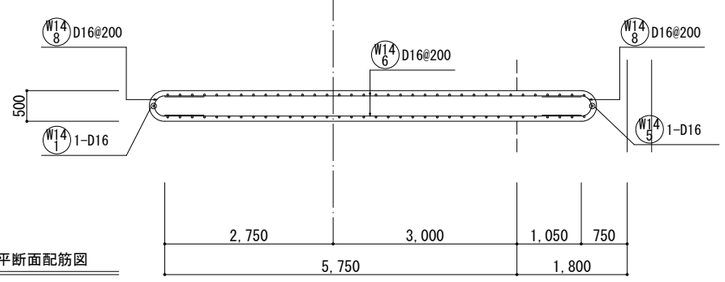
A-A 断面配筋図



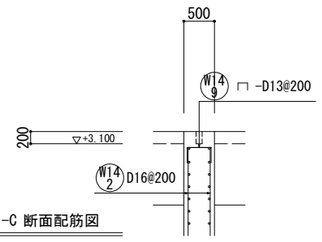


B-B 断面配筋図

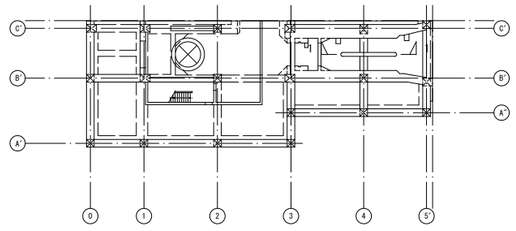




平断面配筋図



-C 断面配筋図



KEY PLAN

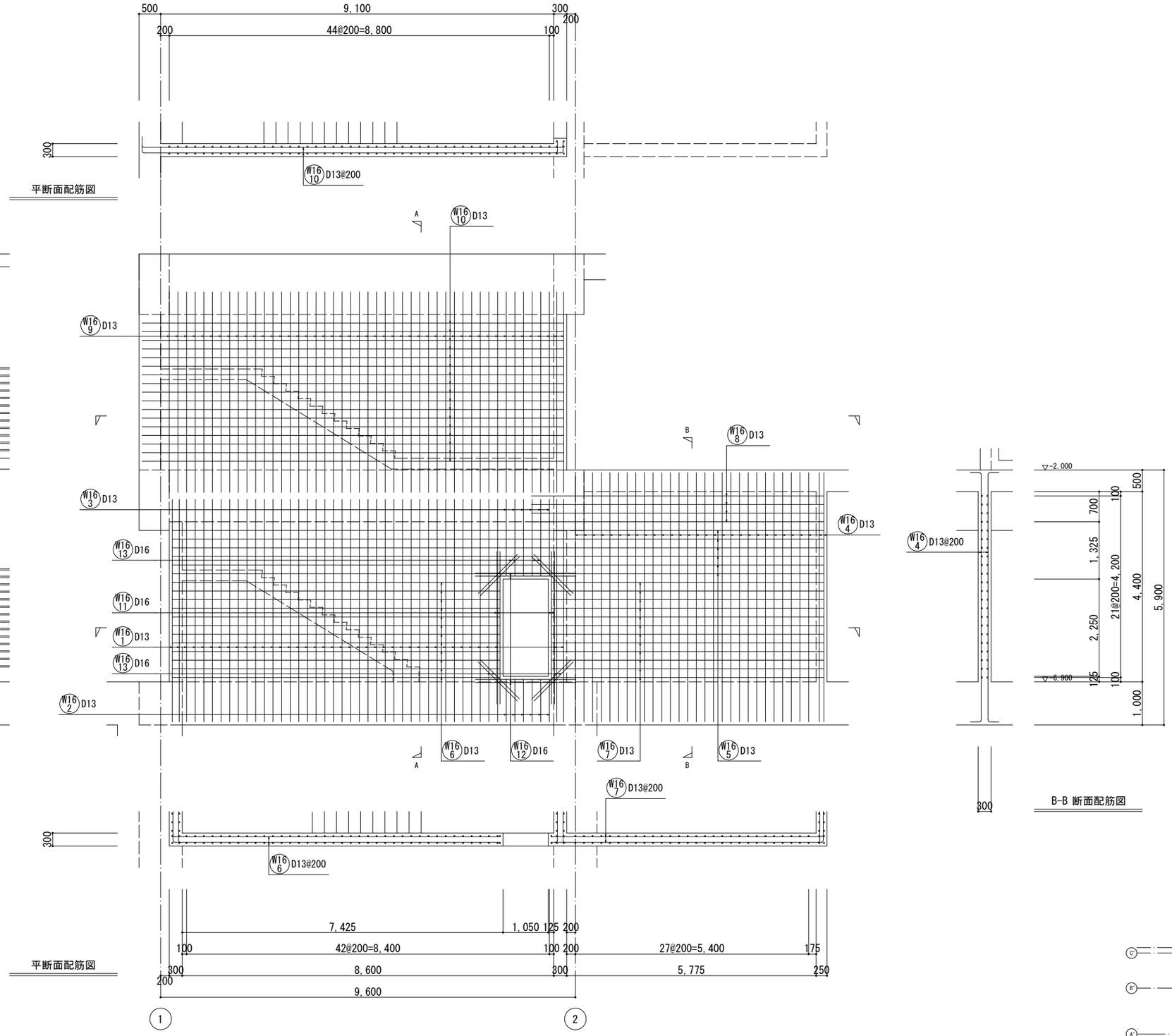
4

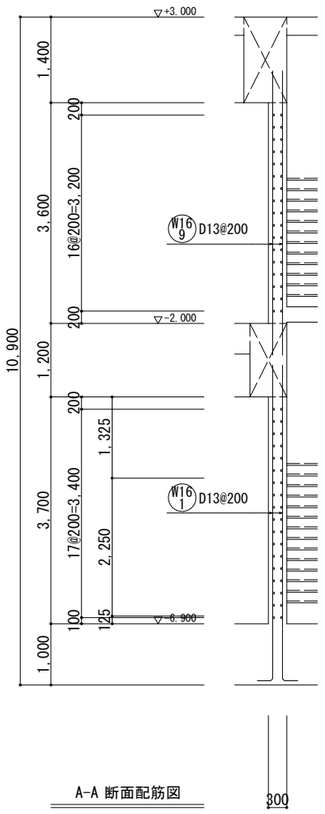
1-1　壁配筋図　1/50　W14

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、⊓ー D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

図面番号	1S-48	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（26）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



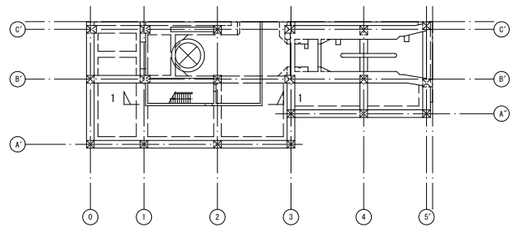


A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

1-1　壁配筋図　　1/50　W16

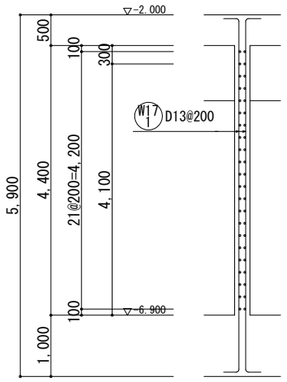
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐¬D13@1,000×1,000程度とする。



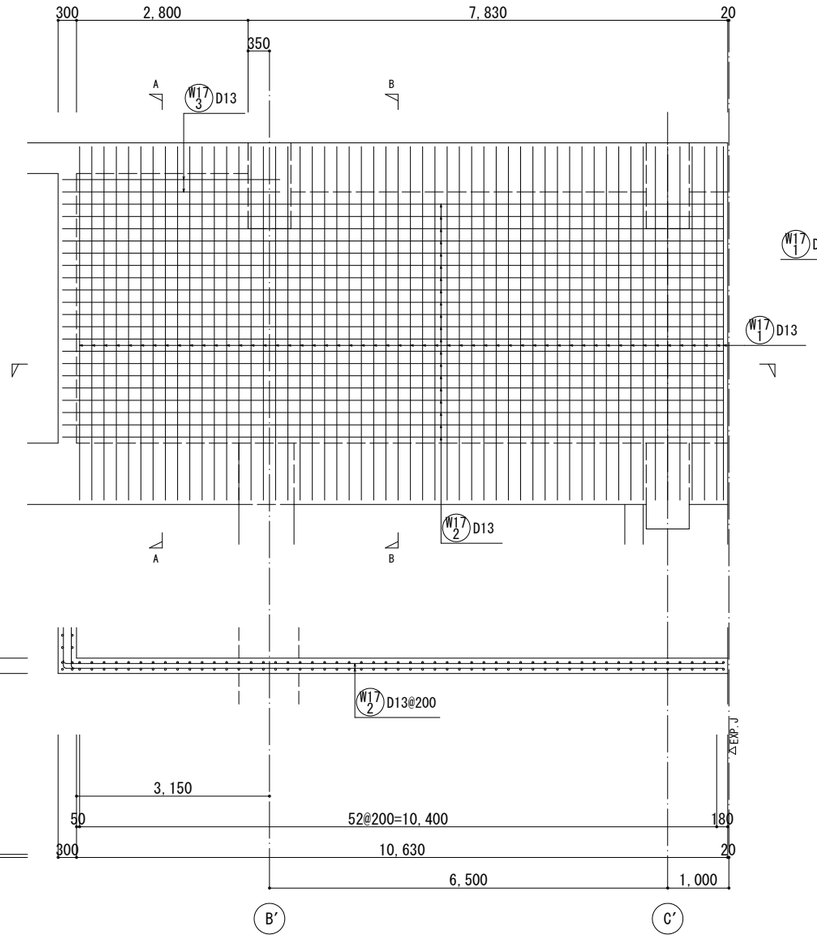
KEY PLAN

図面番号	1S-49	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（27）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

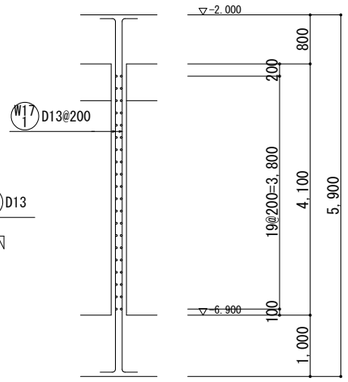
原図サイズ：A1



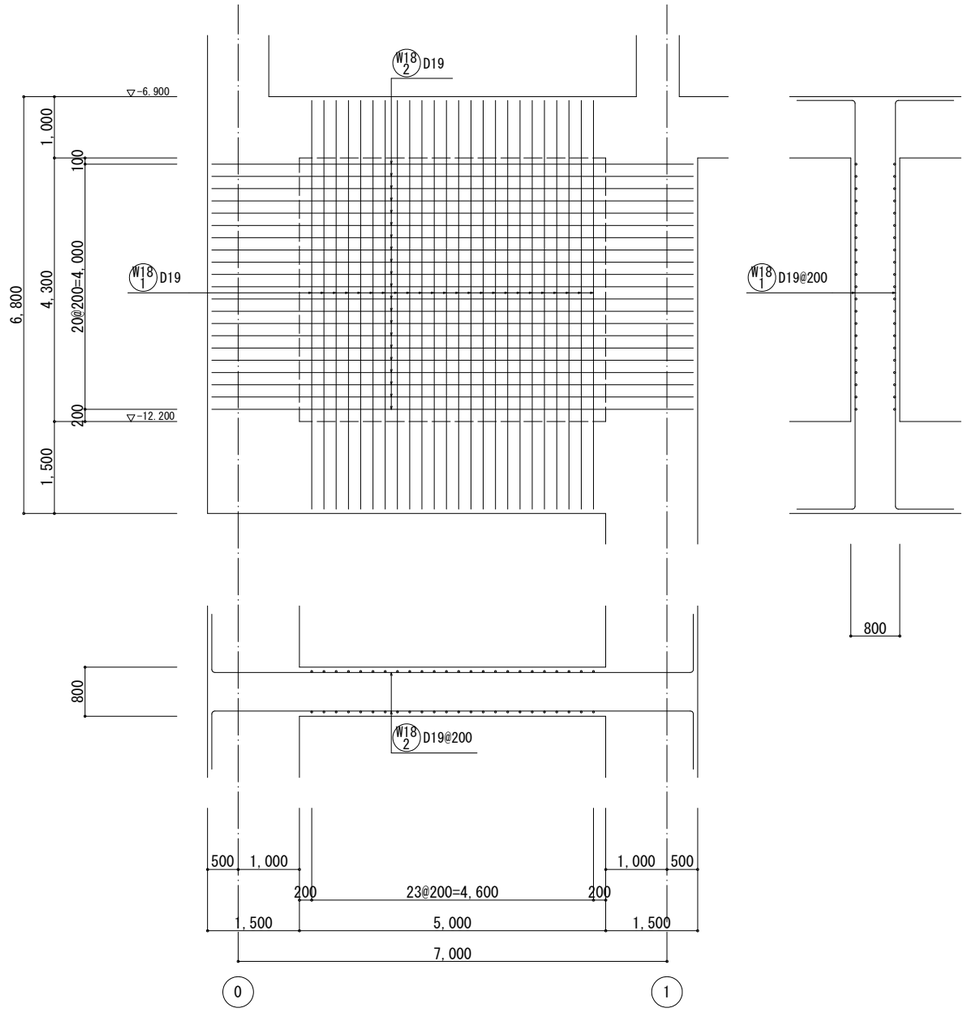
A-A 断面配筋図



平断面配筋図



B-B 断面配筋図

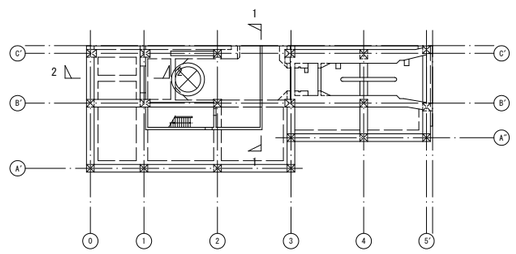


1-1　壁配筋図　　1/50　W17

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、「フ」ーD13@1,000×1,000程度とする。

2-2　壁配筋図　　1/50　W18

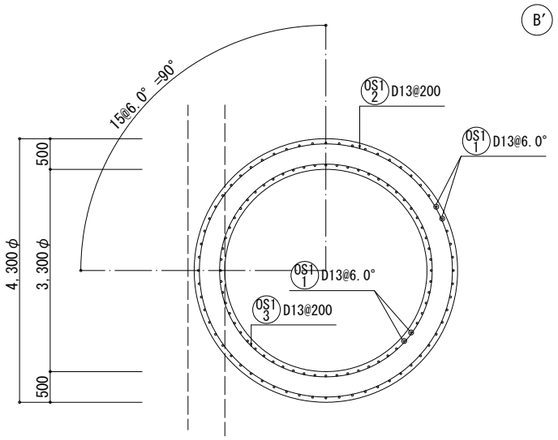
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、「フ」ーD13@1,000×1,000程度とする。

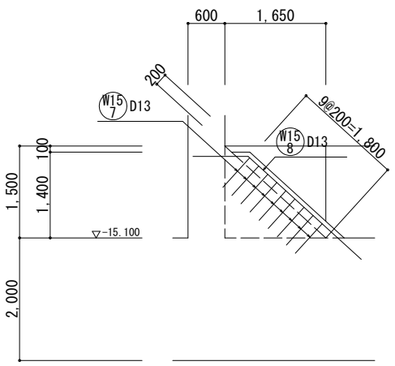


KEY PLAN

図面番号	1S-50	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	壁配筋図（28）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

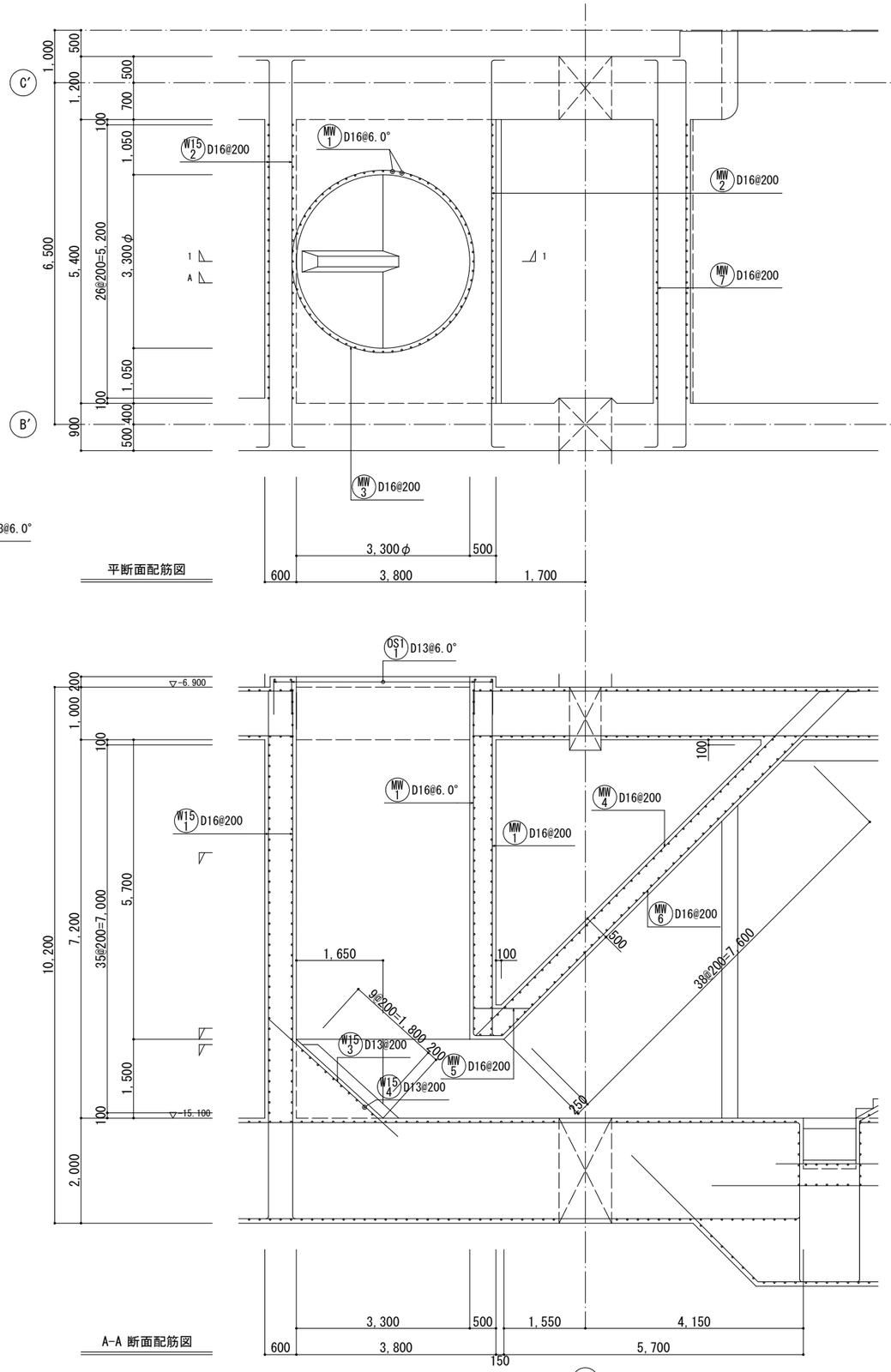
原図サイズ：A1





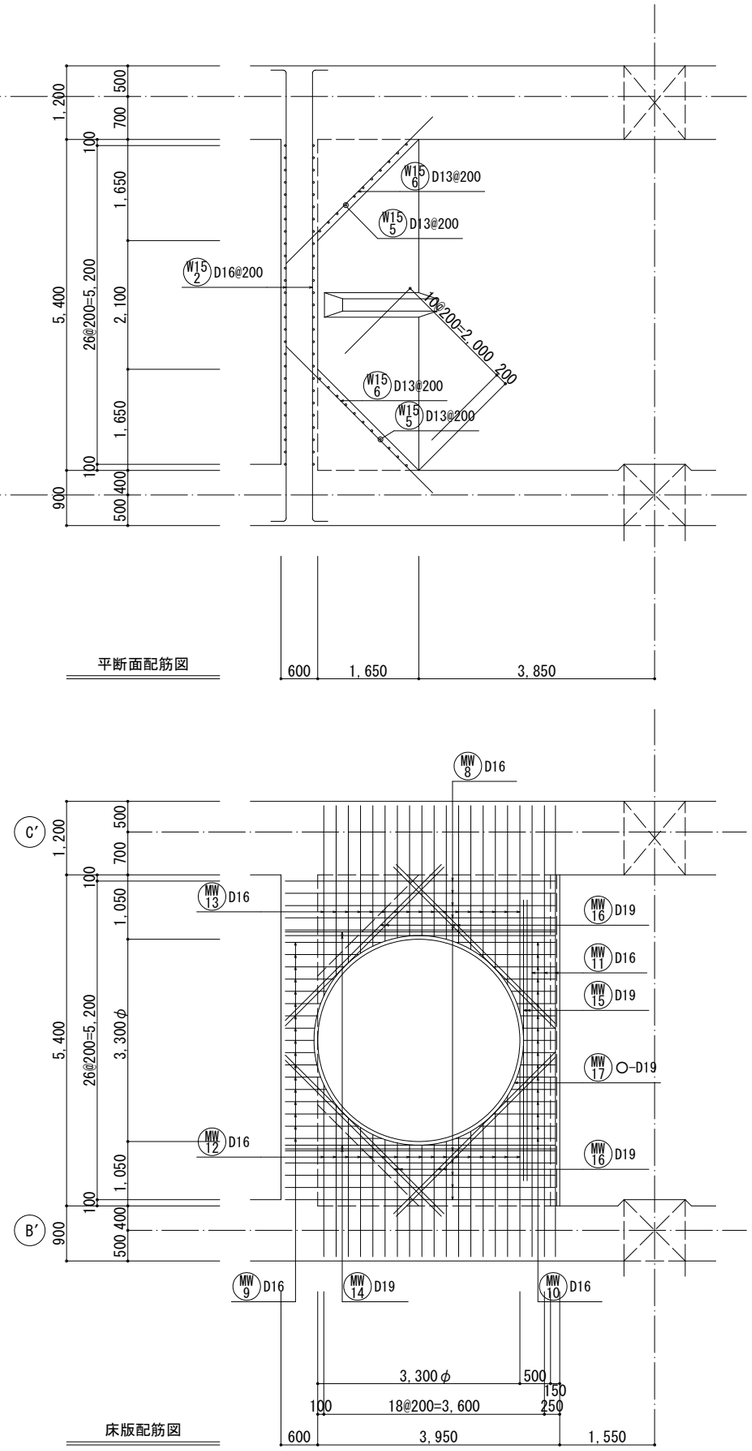
1-1　壁配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、シングル配筋を示す。



平断面配筋図

A-A 断面配筋図



平断面配筋図

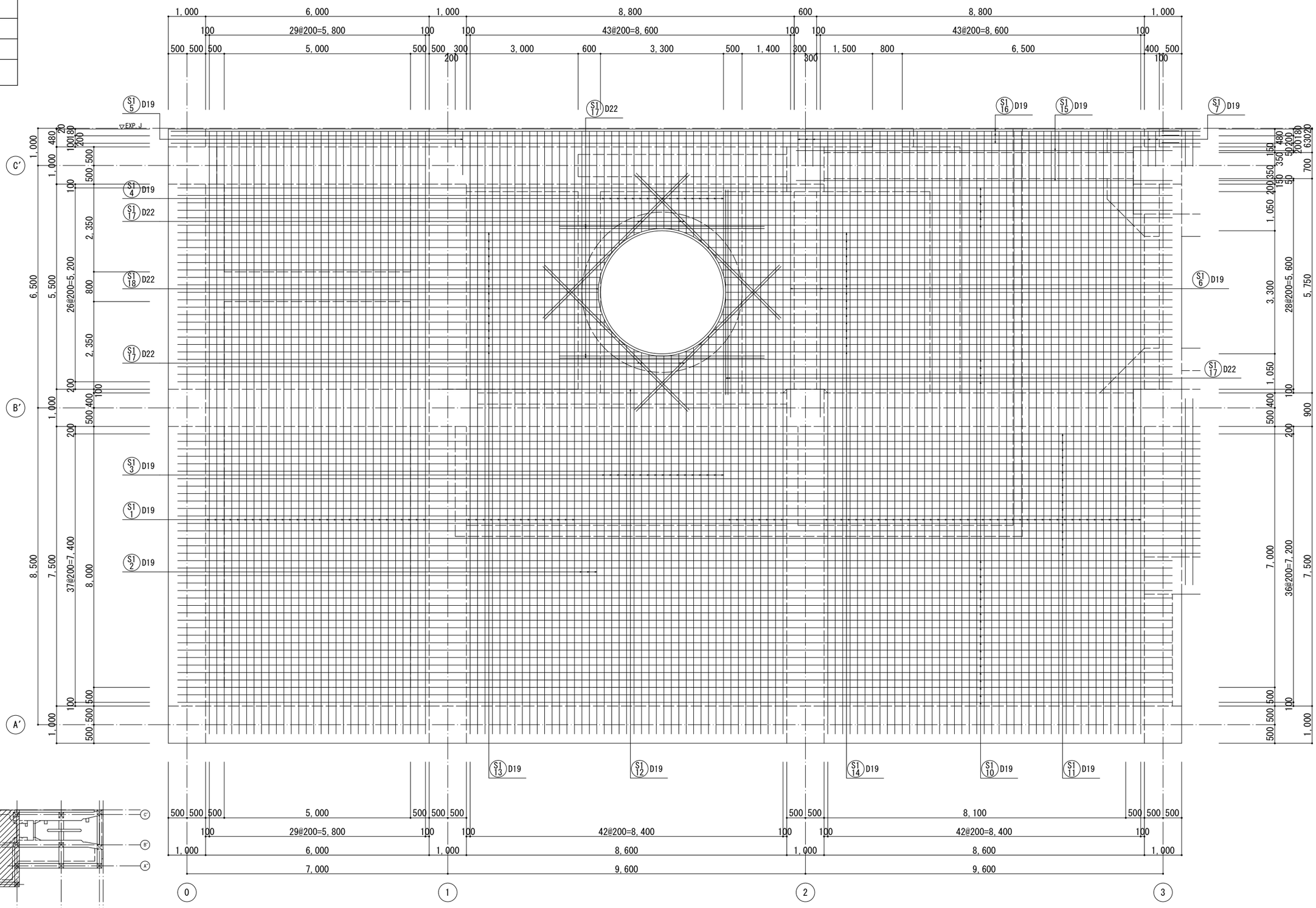
床版配筋図

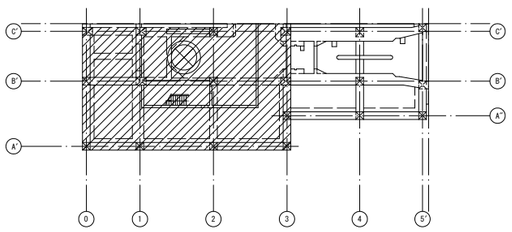
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、シングル配筋を示す。

2

図面番号	1S-51	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





KEY PLAN

床版配筋図　1/50　S1

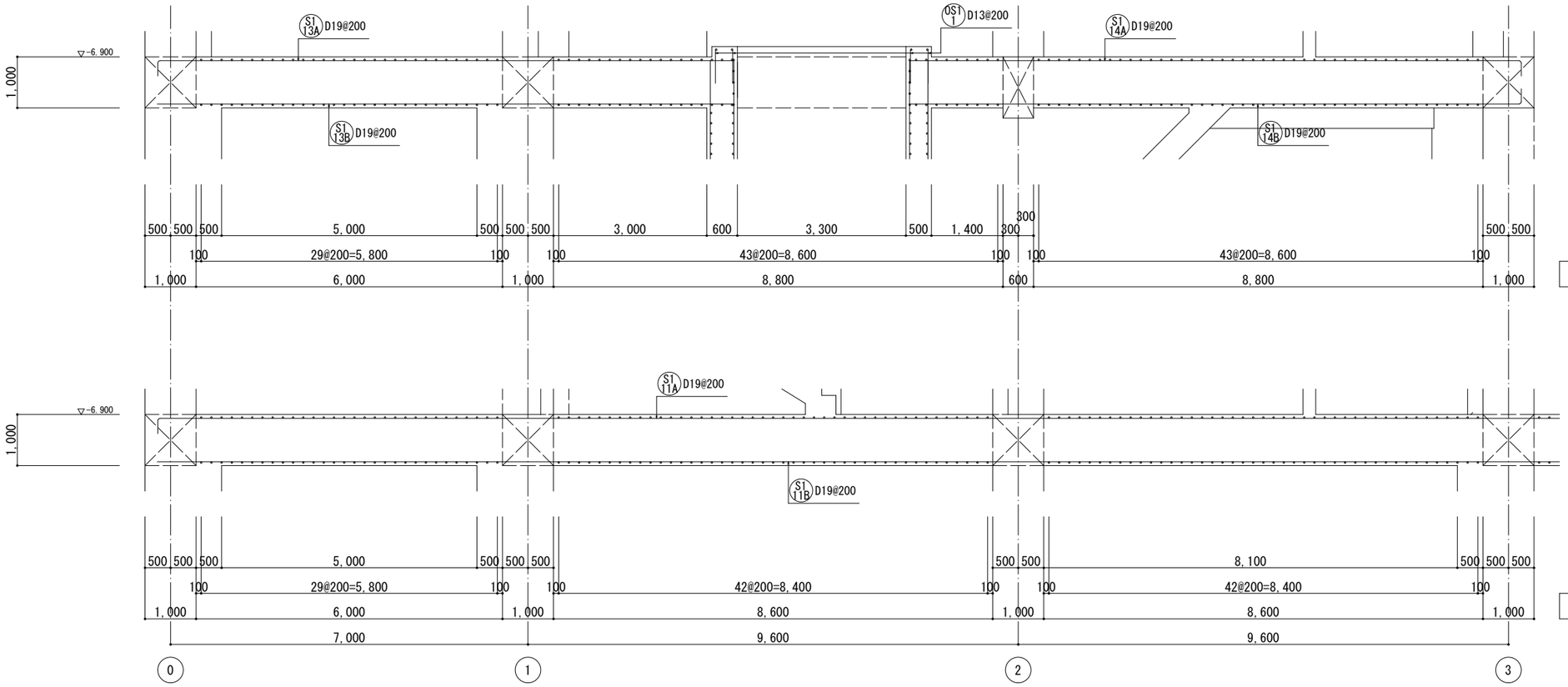
特記なき限り（共通事項）

1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。

2．床版幅止め筋は、[]－D13@1,000×1,000程度とする。

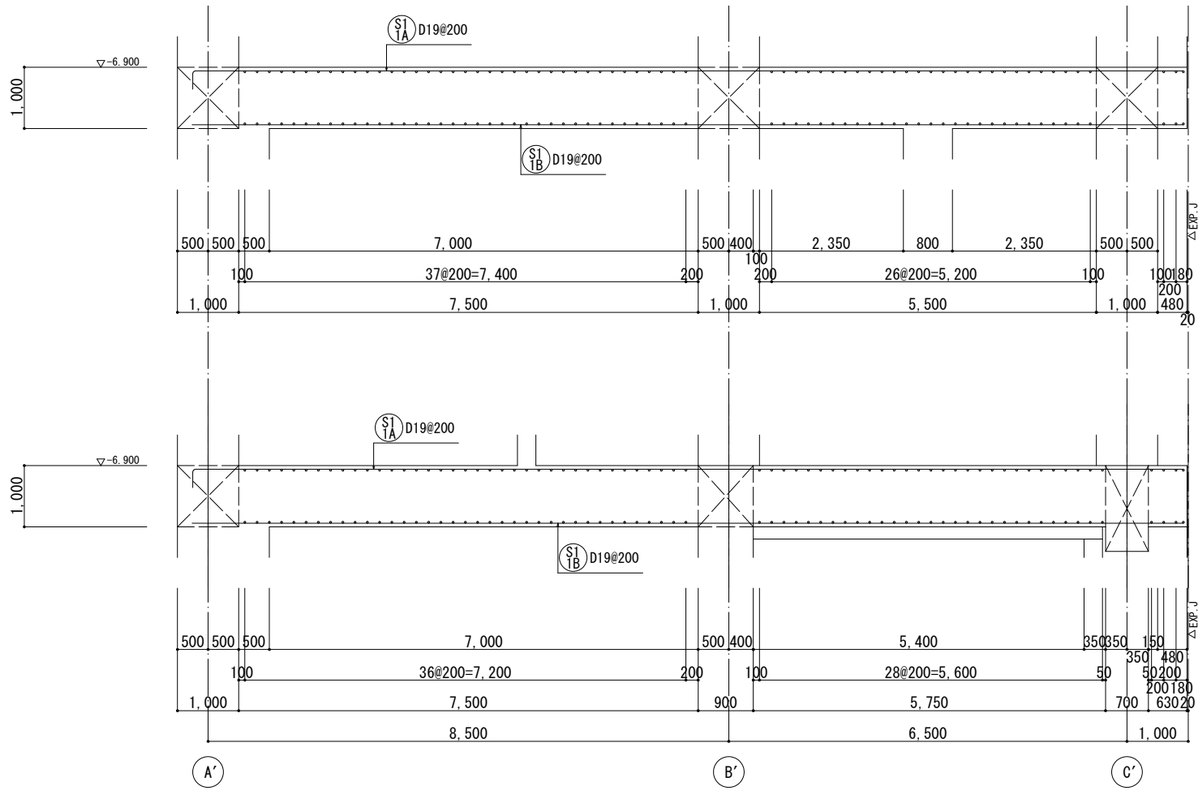
図面番号	1S-52	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



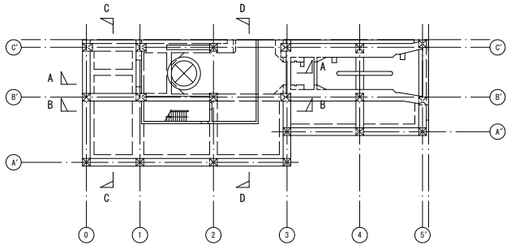
A-A 断面配筋図　1/50

B-B 断面配筋図　1/50



C-C 断面配筋図　1/50

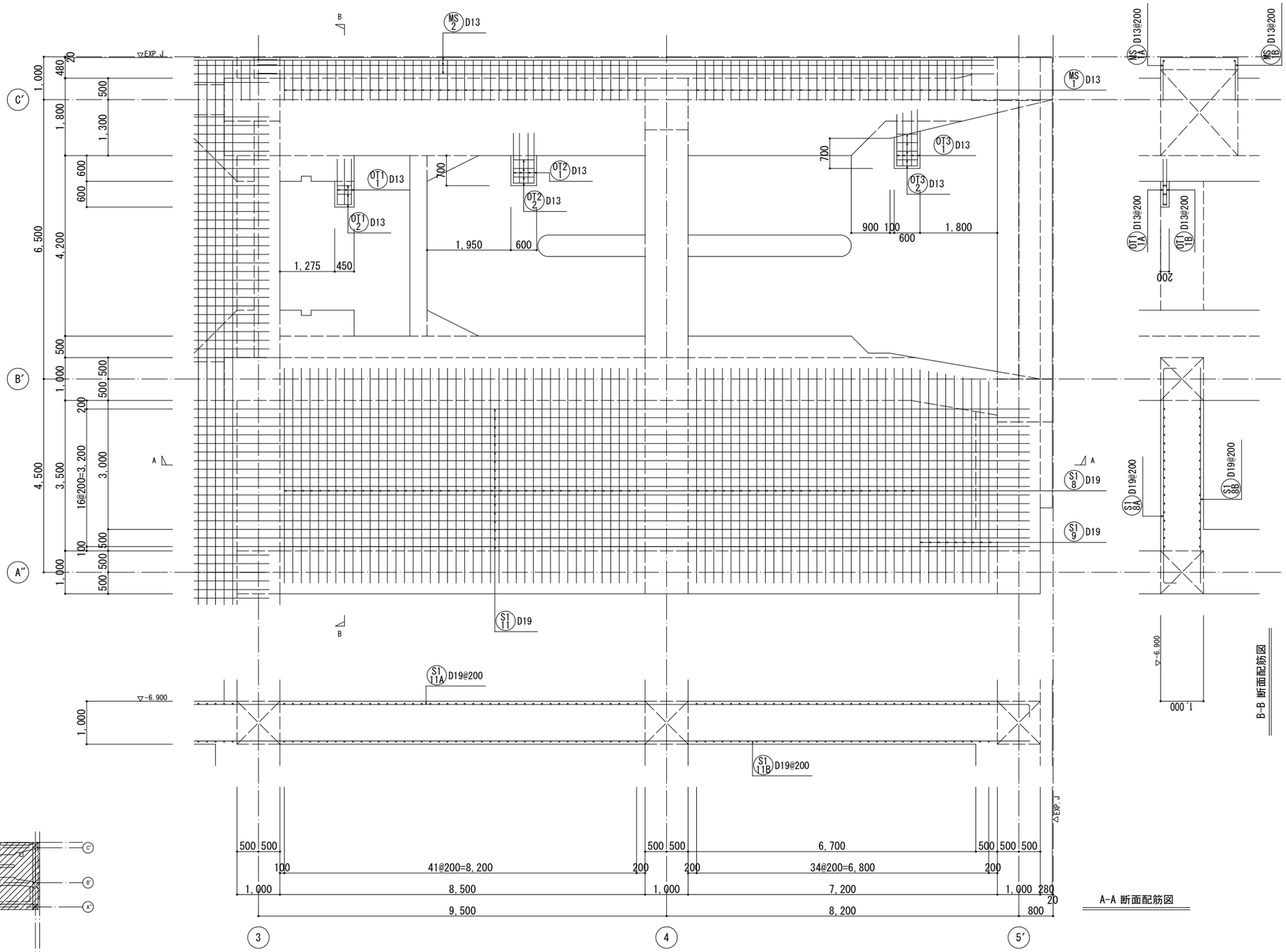
D-D 断面配筋図　1/50

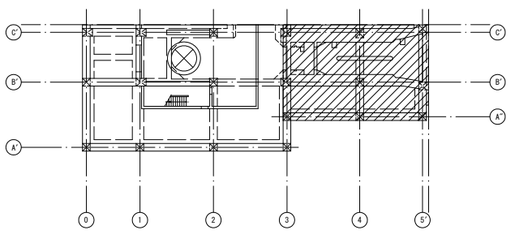


KEY PLAN

図面番号	1S-53	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





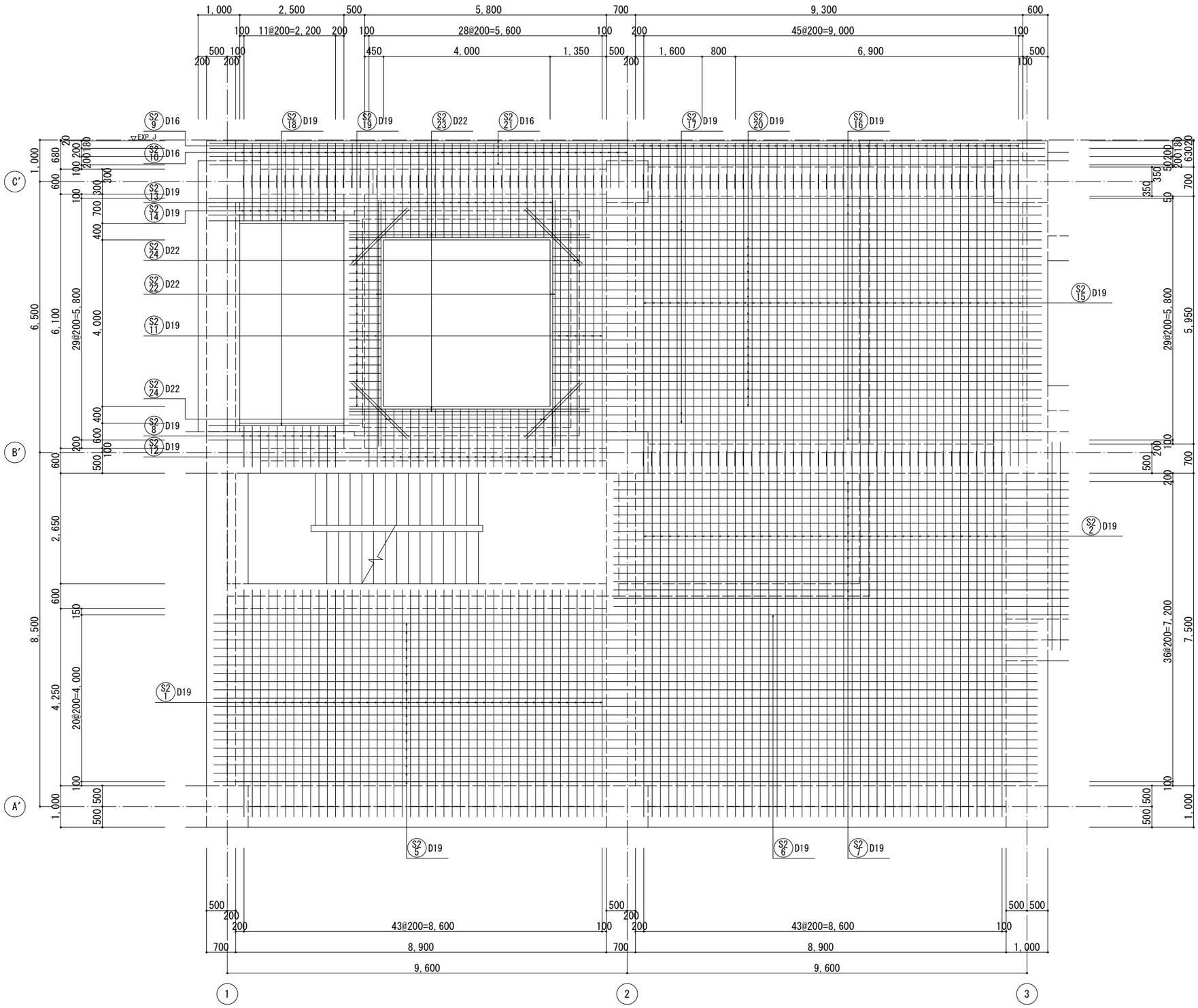
KEY PLAN

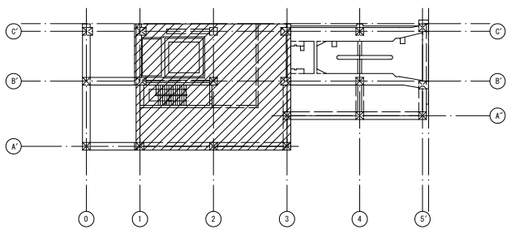
床版配筋図　1/50　S1　MS　OT1　OT2　OT3

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。
2．床版幅止め筋は、[ ]－D13@1,000×1,000程度とする。

図面番号	1S-54	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





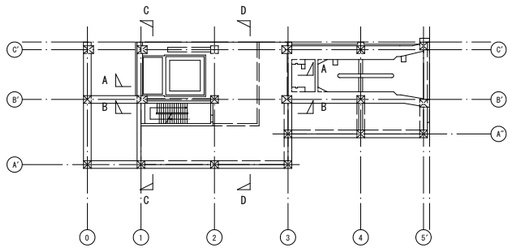
KEY PLAN

床版配筋図　1/50　S2

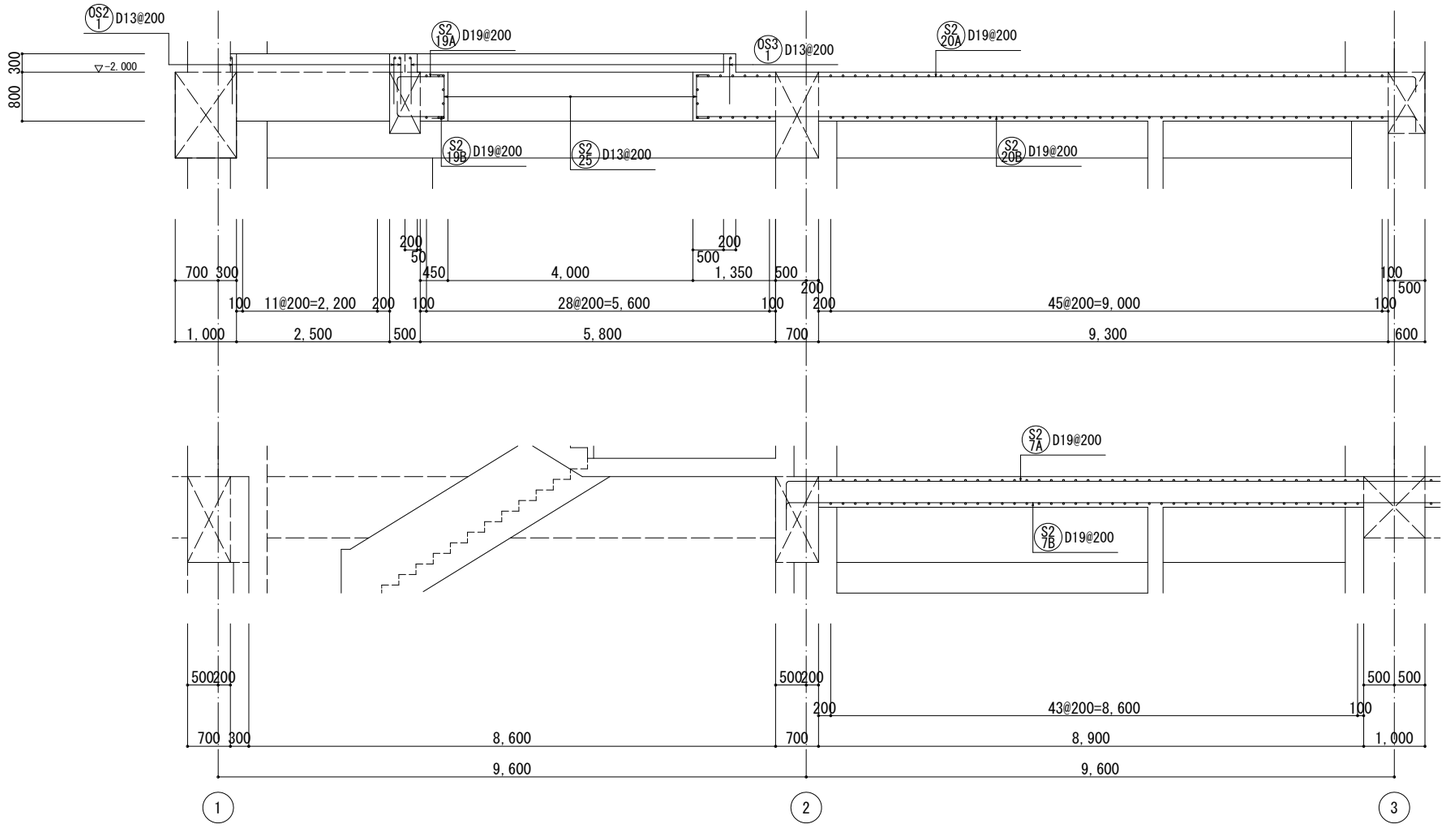
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。
2．床版幅止め筋は、[]−D13@1,000×1,000程度とする。

図面番号	1S-55	縮 尺	1／５０
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

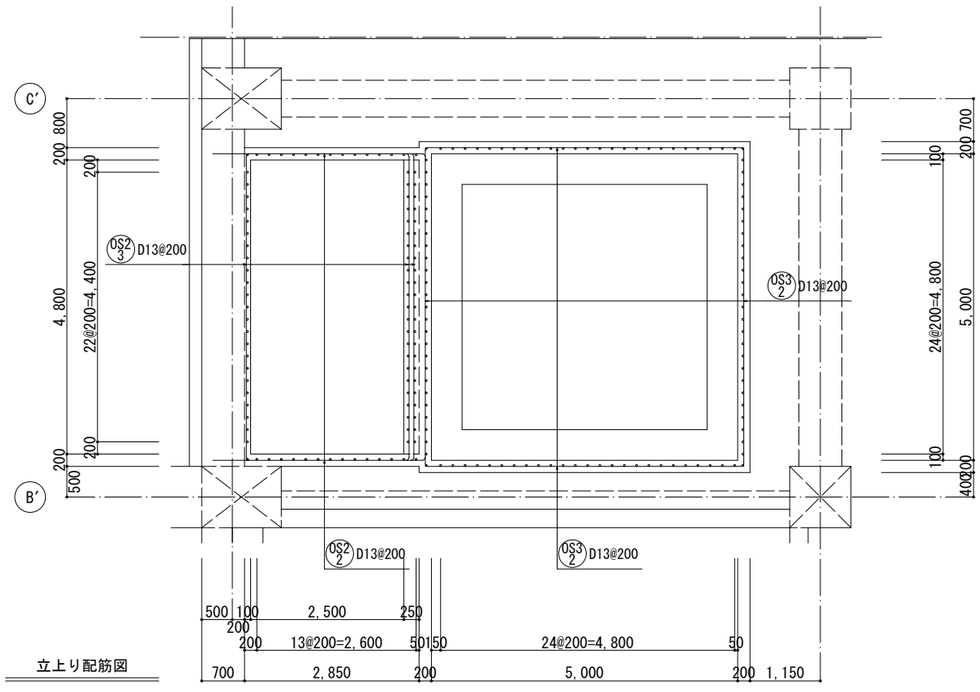


KEY PLAN

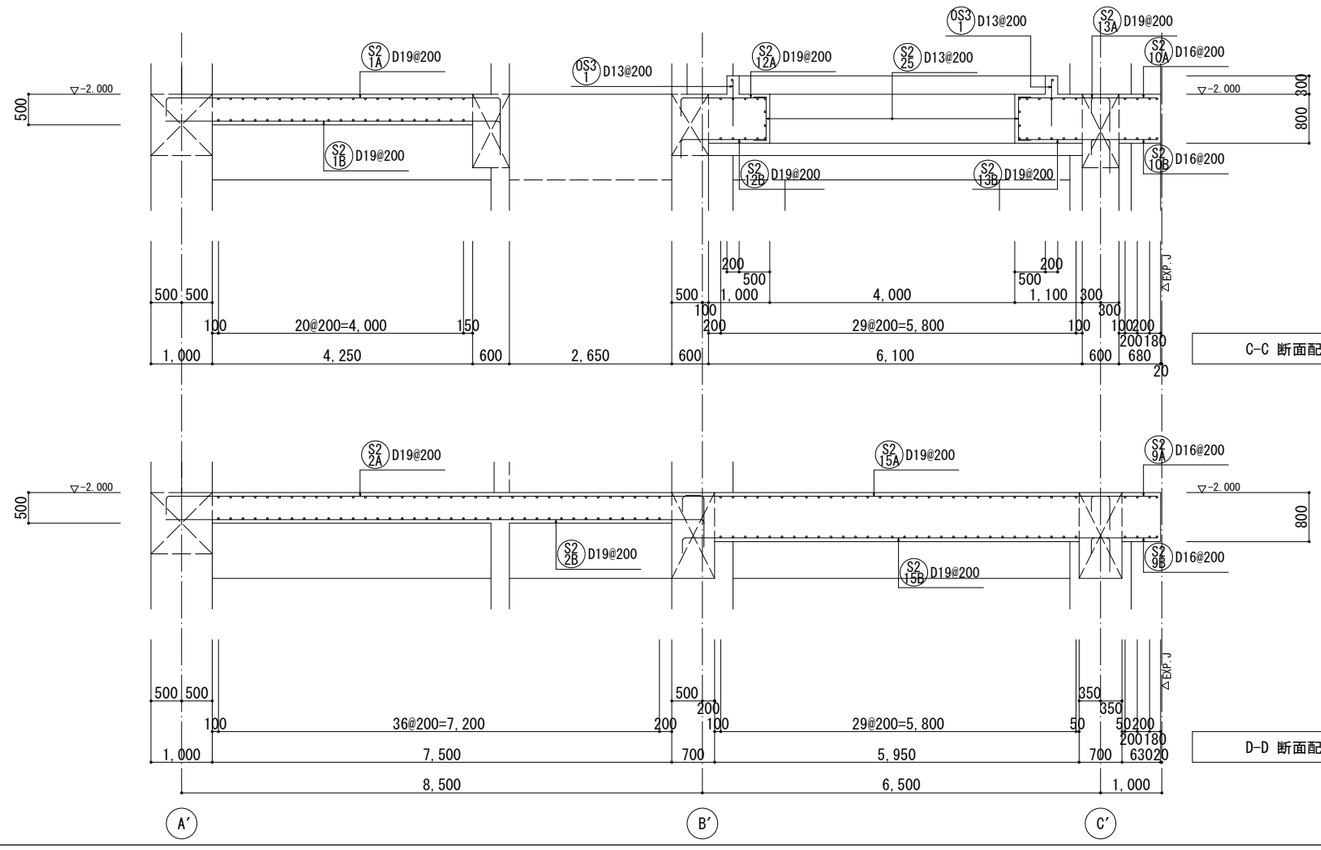


A-A 断面配筋図　1/50

B-B 断面配筋図　1/50



立上り配筋図

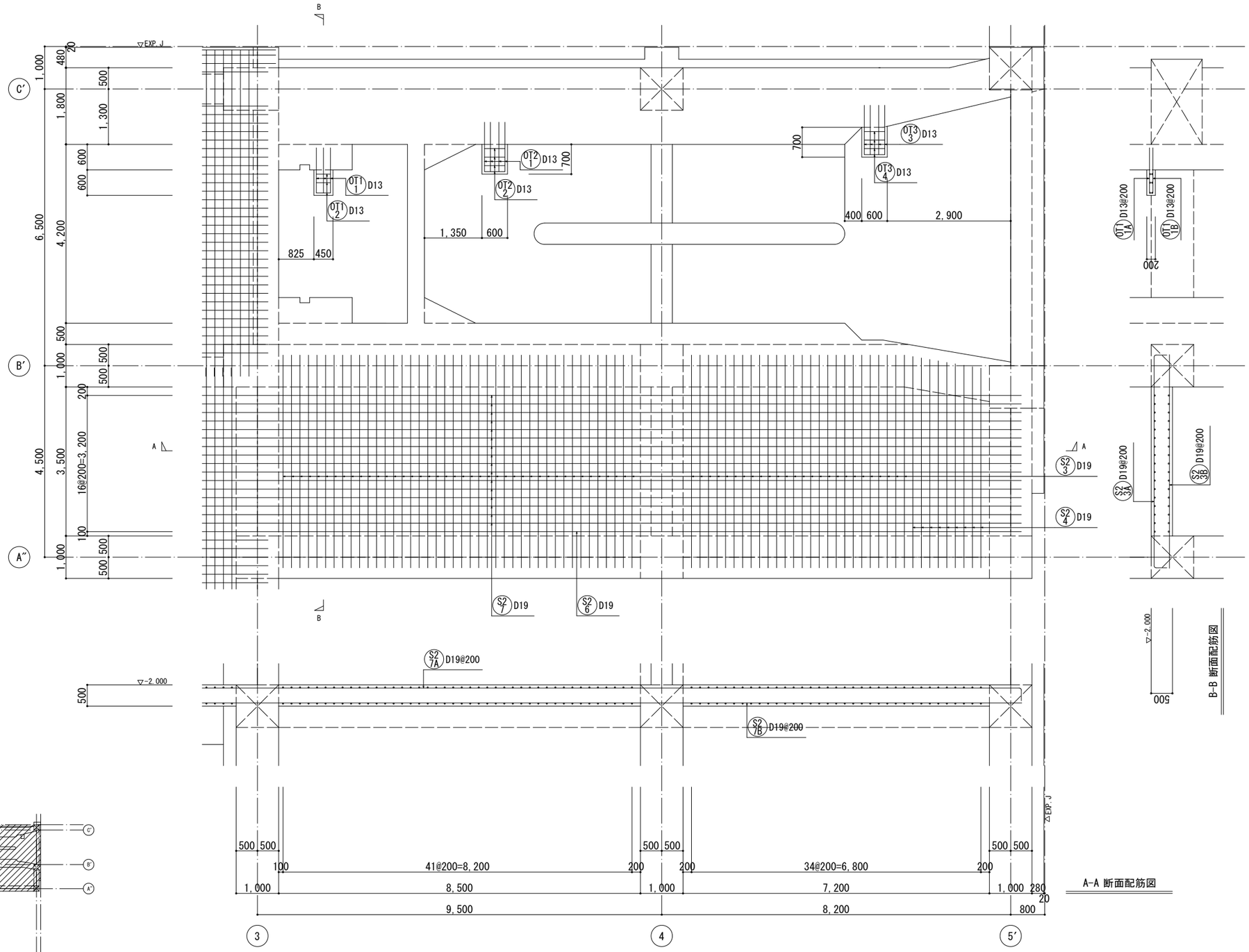


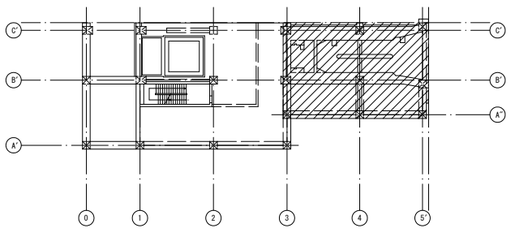
C-C 断面配筋図　1/50

D-D 断面配筋図　1/50

図面番号	1S-56	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





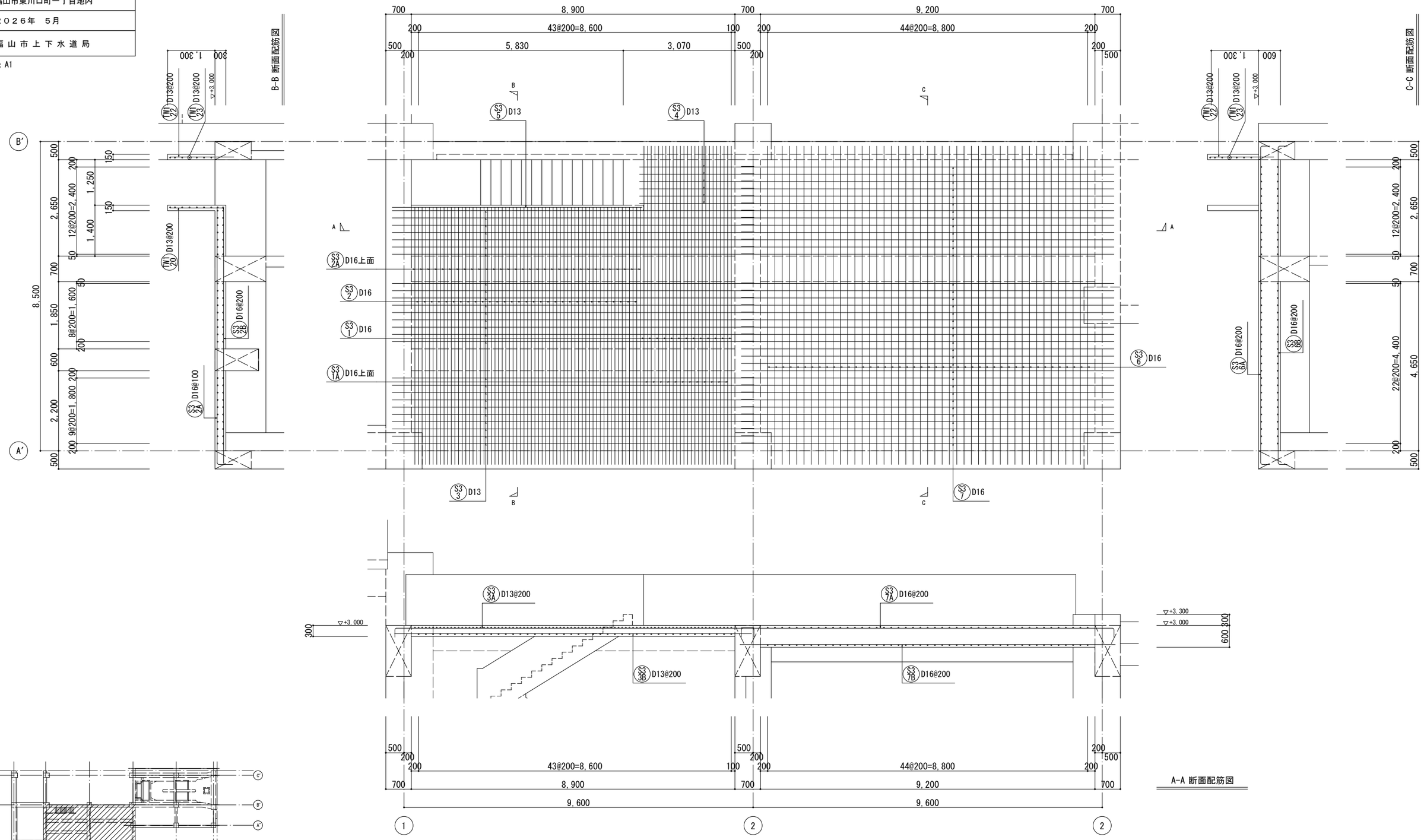
KEY PLAN

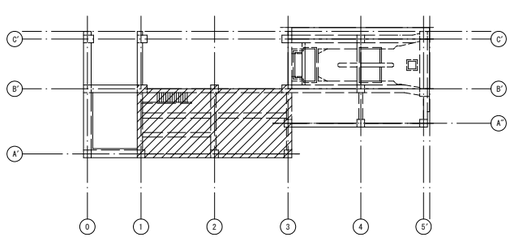
床版配筋図　1/50　S2　OT1　OT2　OT3

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA　下面をBとする。
2．床版幅止め筋は、□－D13@1,000×1,000程度とする。

図面番号	1S-57	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（7）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1





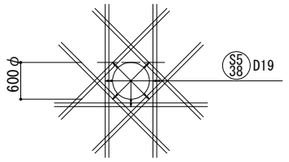
KEY PLAN

床版配筋図　1/50　S3

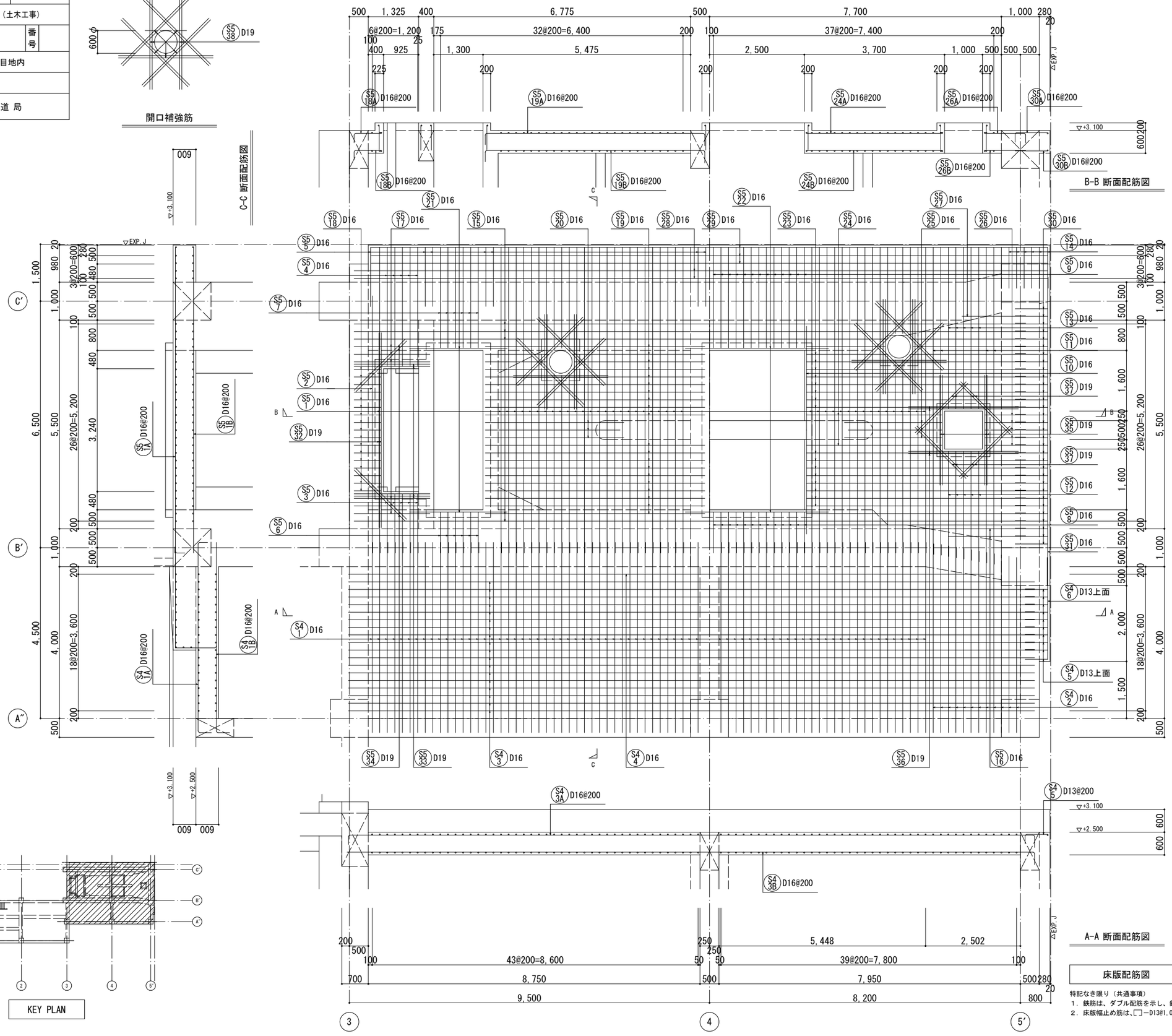
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。
2．床版幅止め筋は、□－D13@1,000×1,000程度とする。

図面番号	1S-58	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図 (8)	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



開口補強筋



特記なき限り（共通事項）

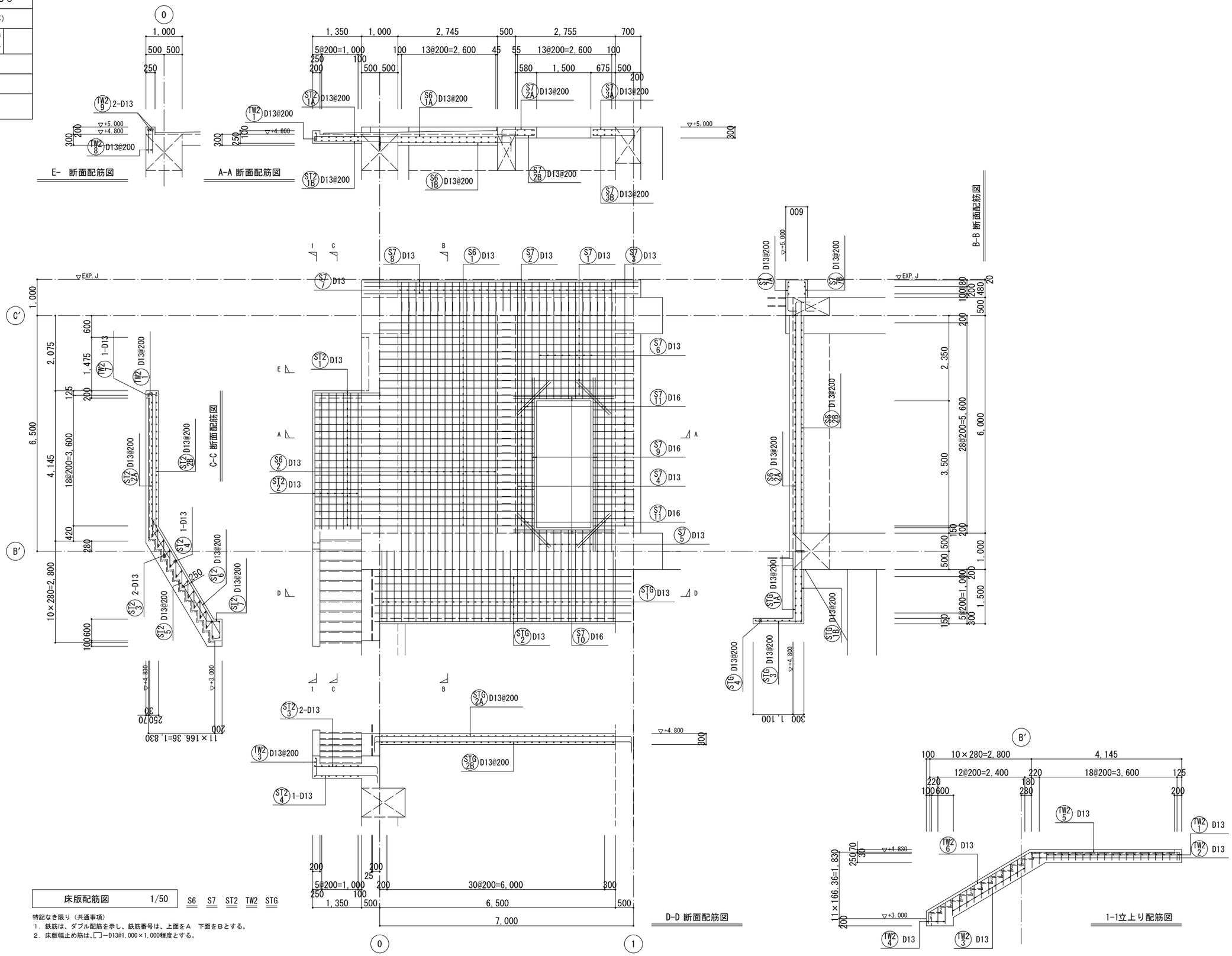
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA　下面をBとする。

2．床版幅止め筋は、[]−D13@1,000×1,000程度とする。

床版配筋図	1/50	S4	S5

図面番号	1S-59	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（9）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

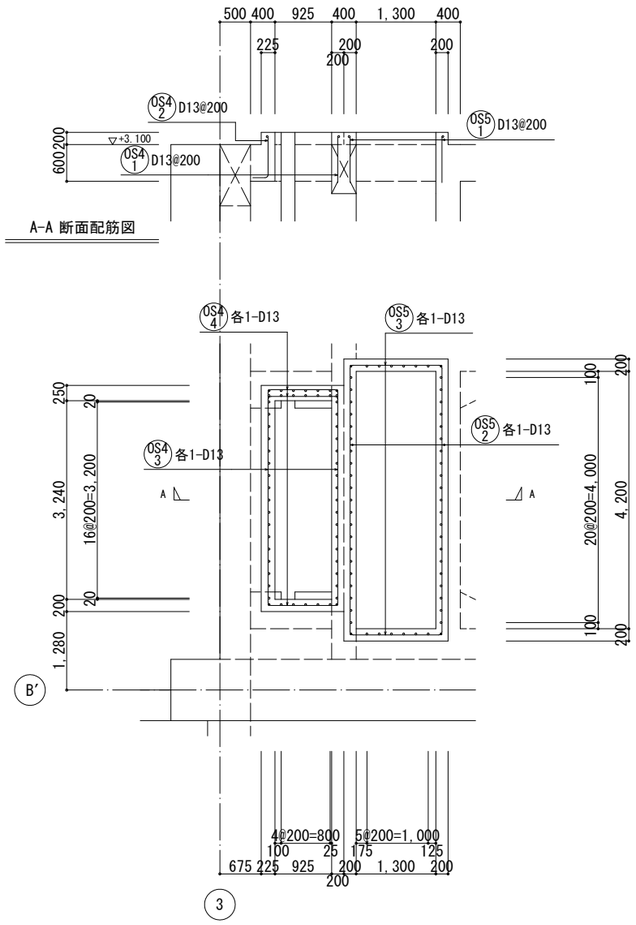
原図サイズ：A1

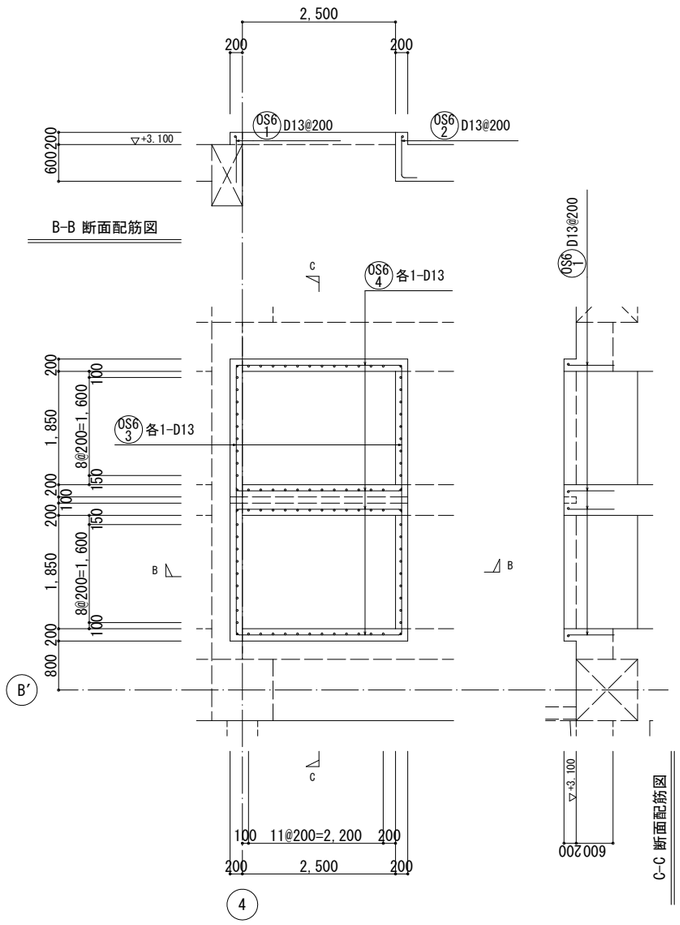


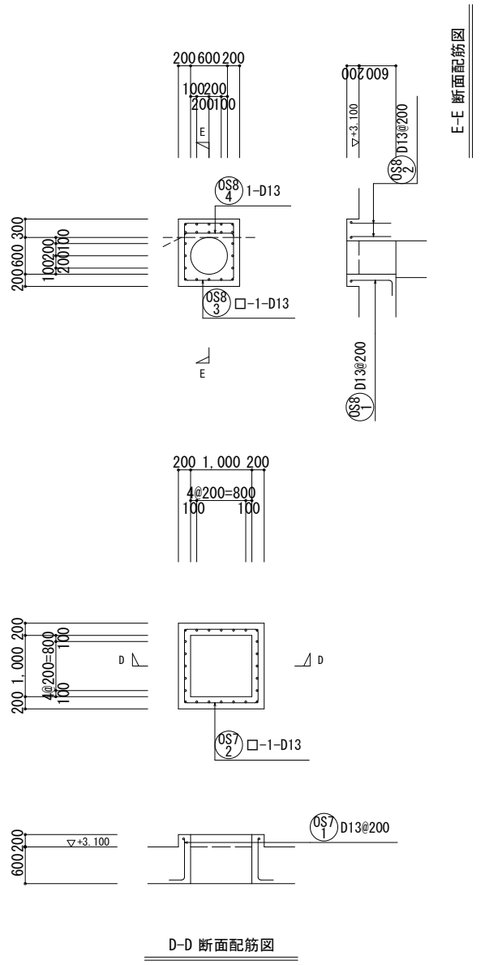
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。
2．床版幅止め筋は、[]−D13@1,000×1,000程度とする。

図面番号	1S-60	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（10）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



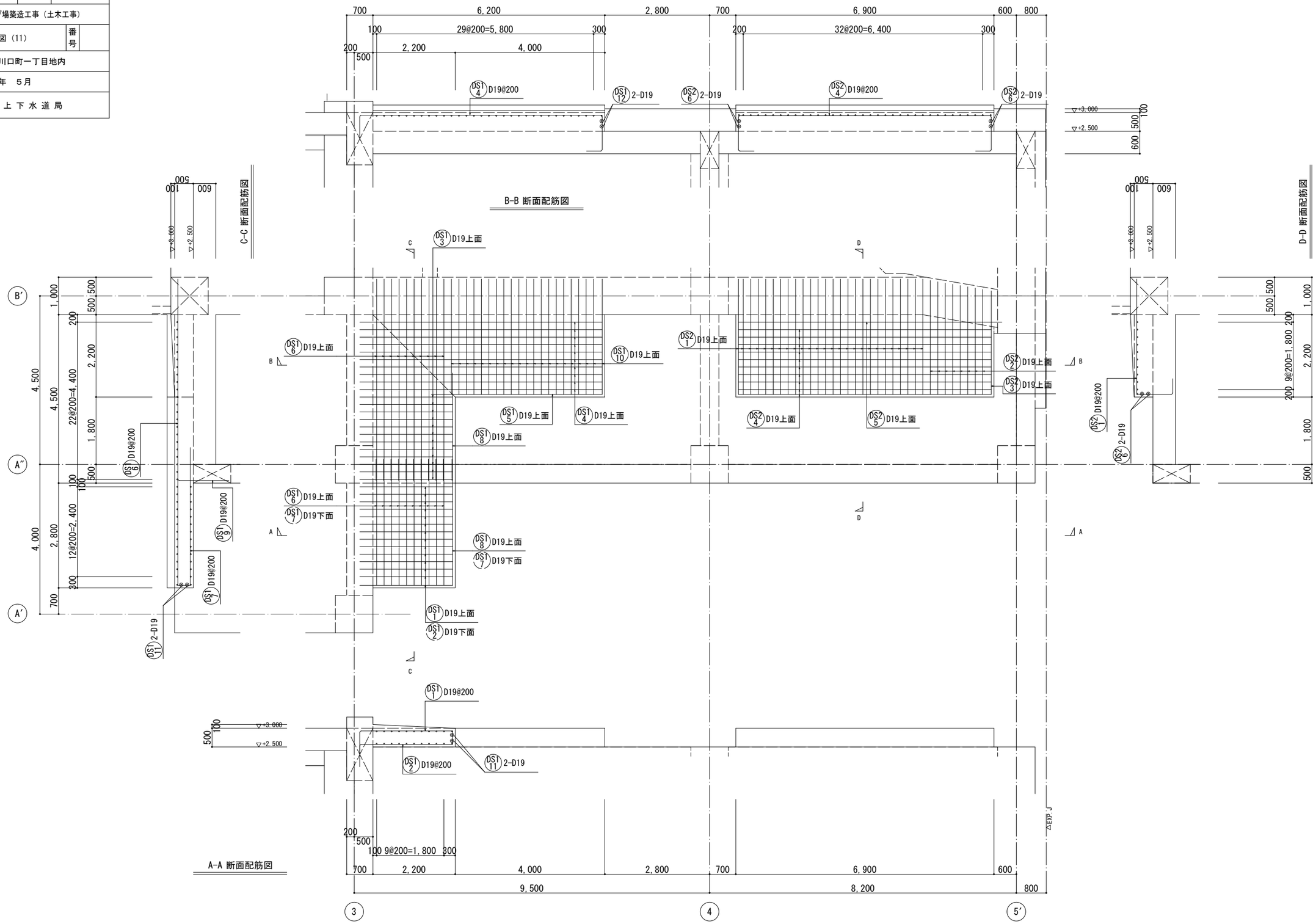




立上り配筋図　1/50　OS1

図面番号	1S-61	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	床版配筋図（11）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

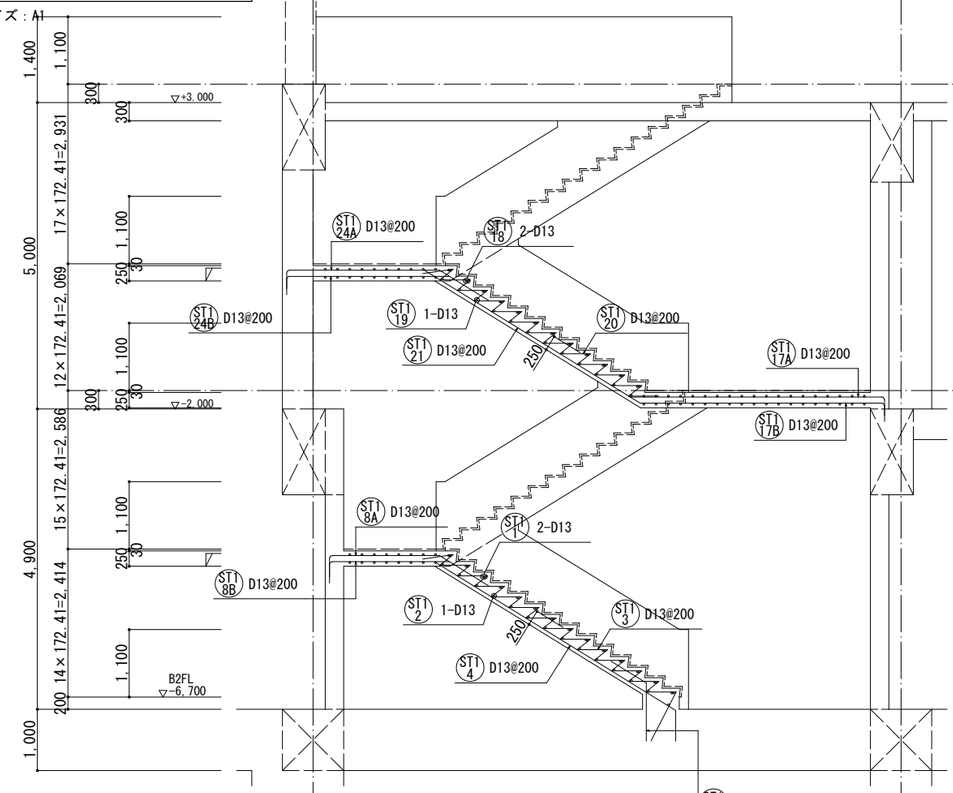
原図サイズ：A1



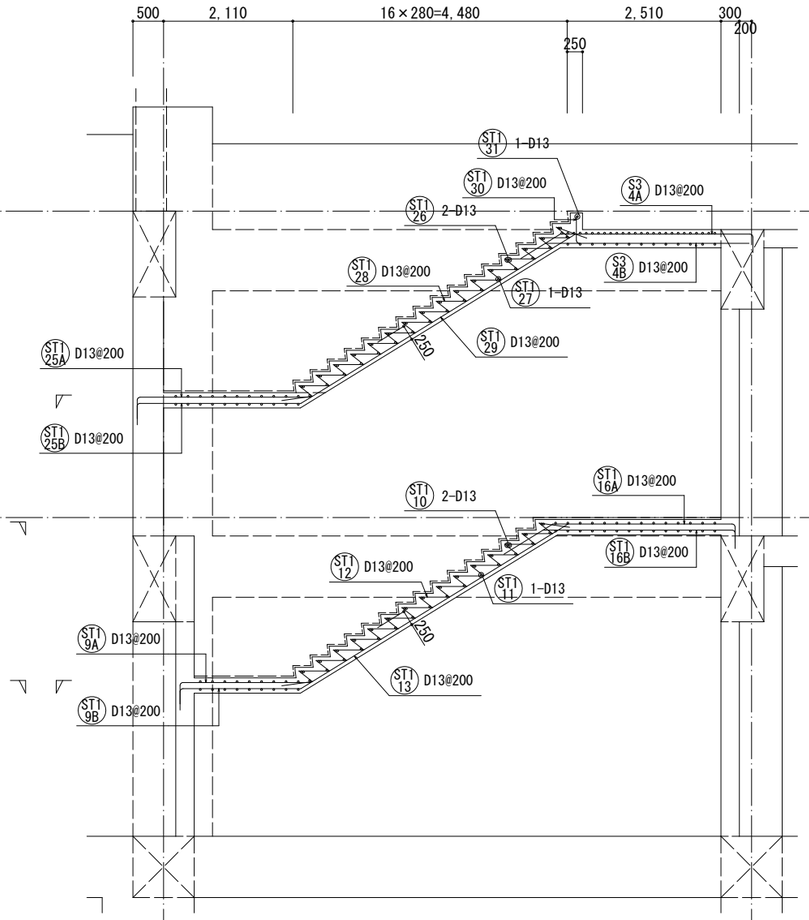
出入口土間配筋図　1/50　DS1　DS2

図面番号	1S-62	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	階段配筋図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

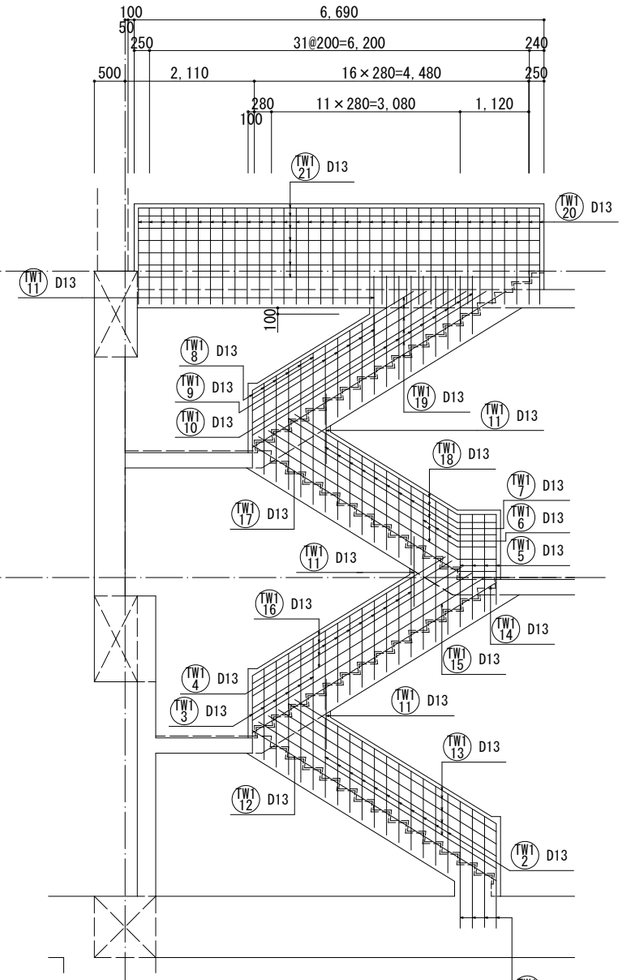
原図サイズ：A1



A-A 断面配筋図

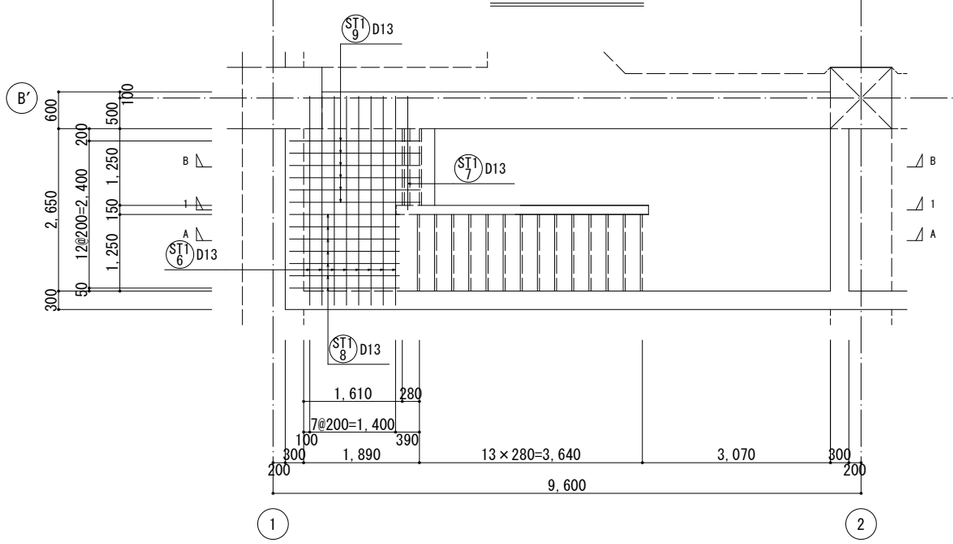


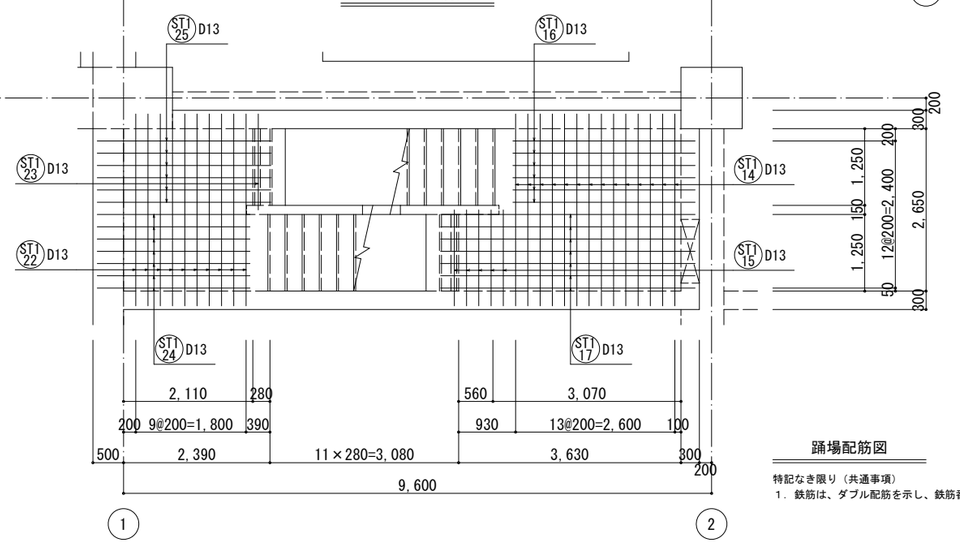
B-B 断面配筋図



1-1 手摺配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、シングル配筋を示す。





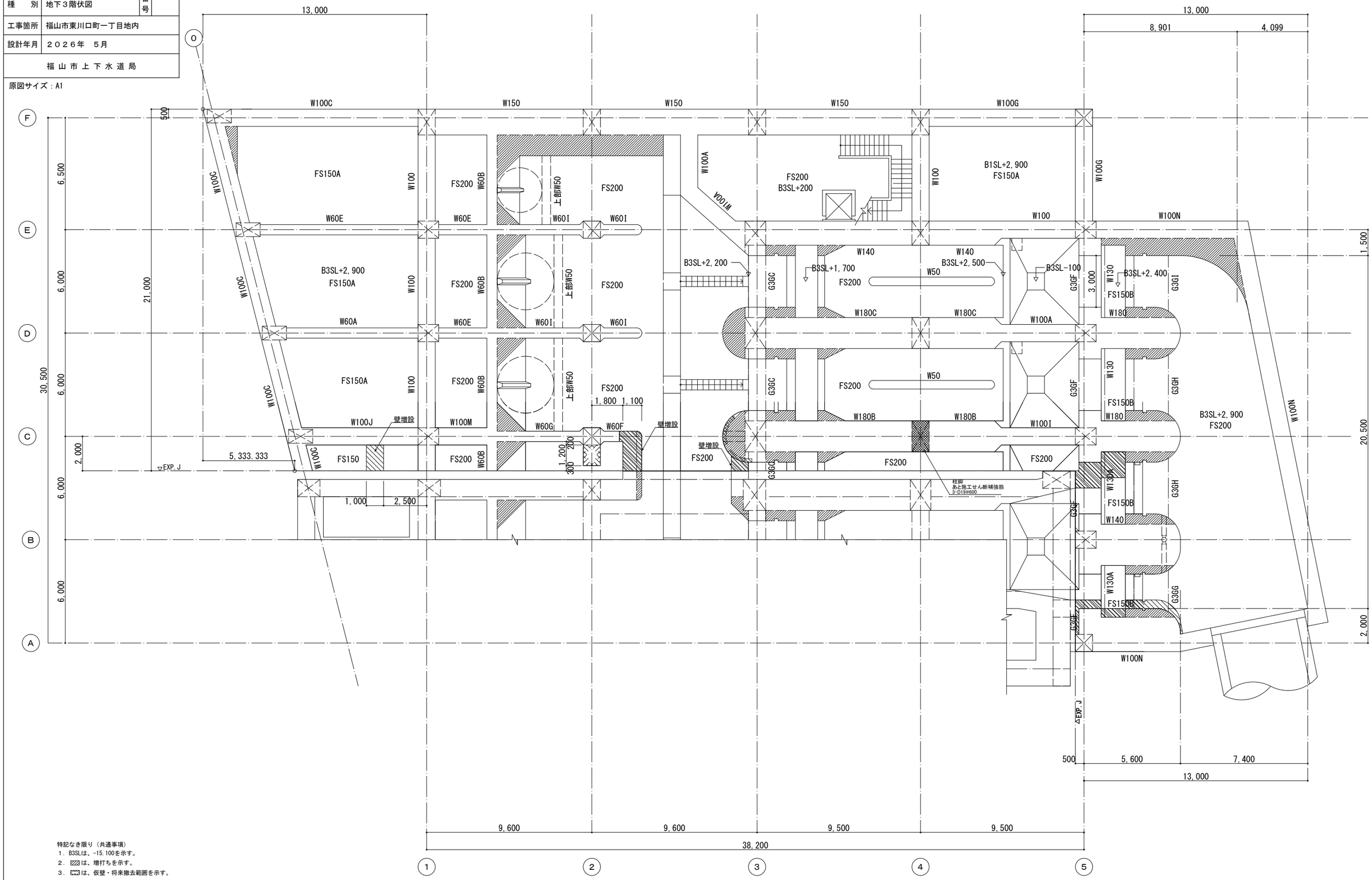
踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をＡ　下面をＢとする。

階段配筋図　1/50　ST1　TW1

図面番号	2S-01	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下３階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

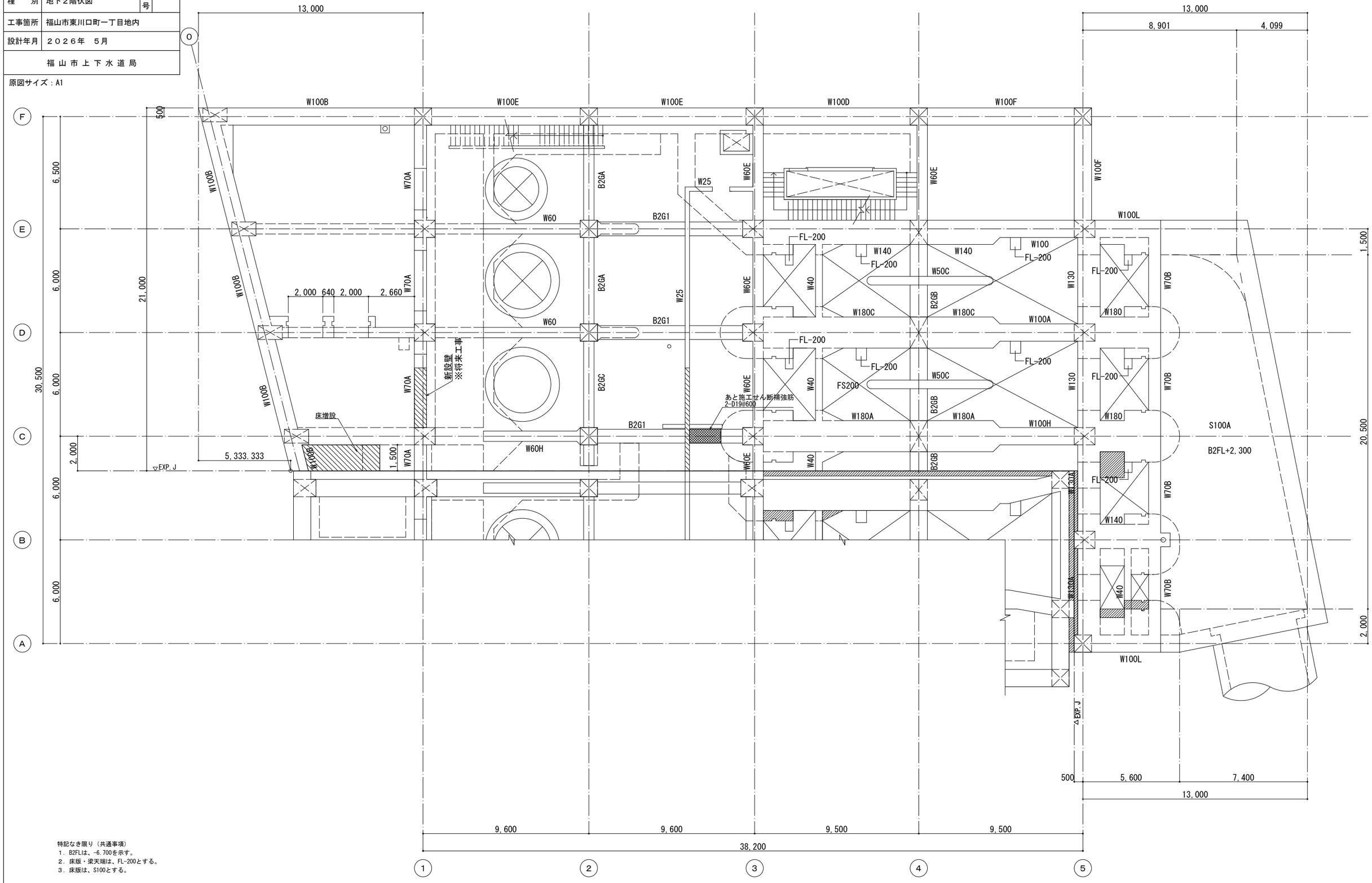


特記なき限り（共通事項）
1．B3SLは、-15.100を示す。
2．▨は、増打ちを示す。
3．▩は、仮壁・将来撤去範囲を示す。

地下３階伏図　　1/100

図面番号	2S-02	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下２階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

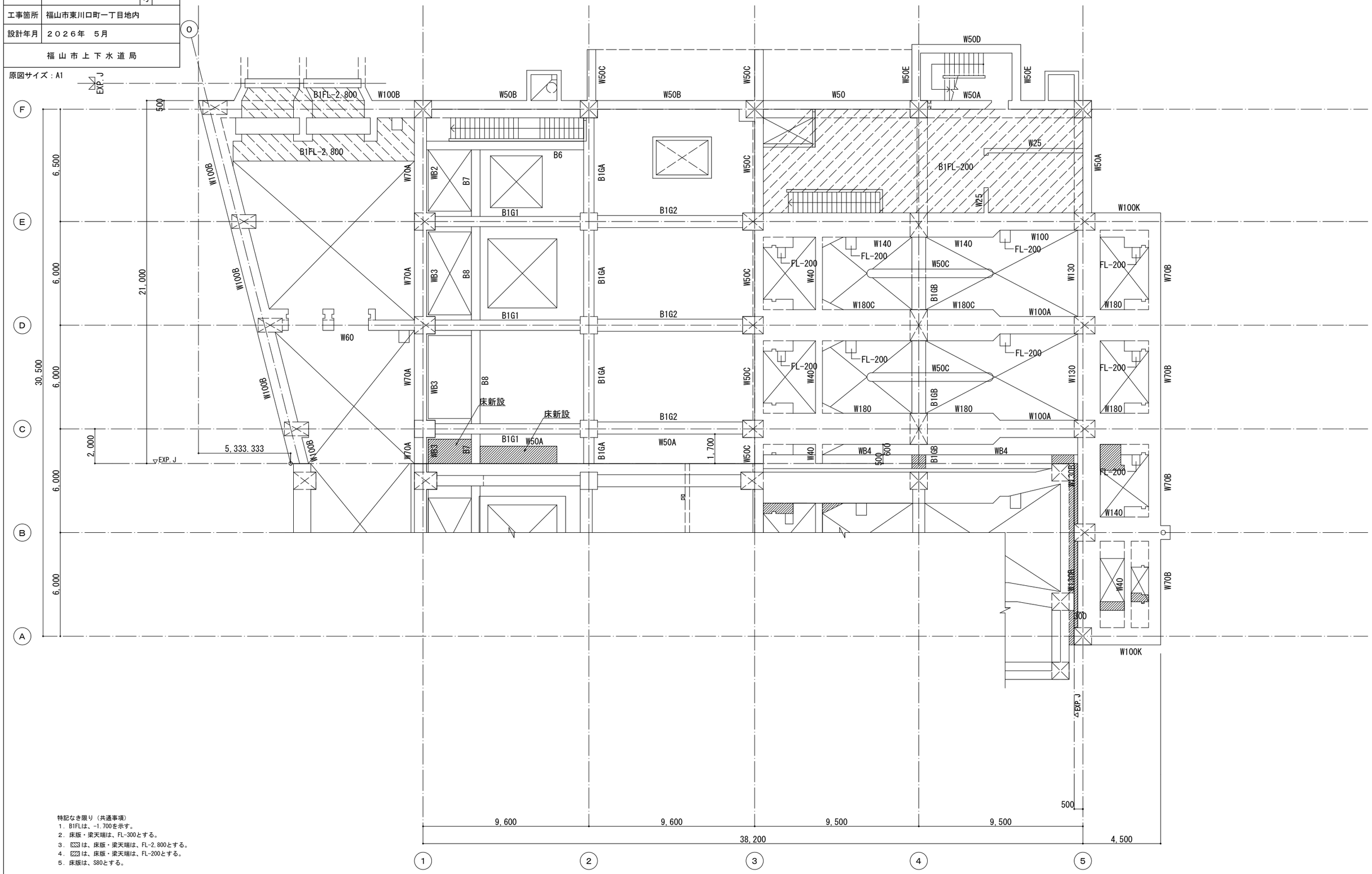


特記なき限り（共通事項）
1．B2FLは、-6.700を示す。
2．床版・梁天端は、FL-200とする。
3．床版は、S100とする。

地下２階伏図　　1/100

図面番号	2S-03	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地下１階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

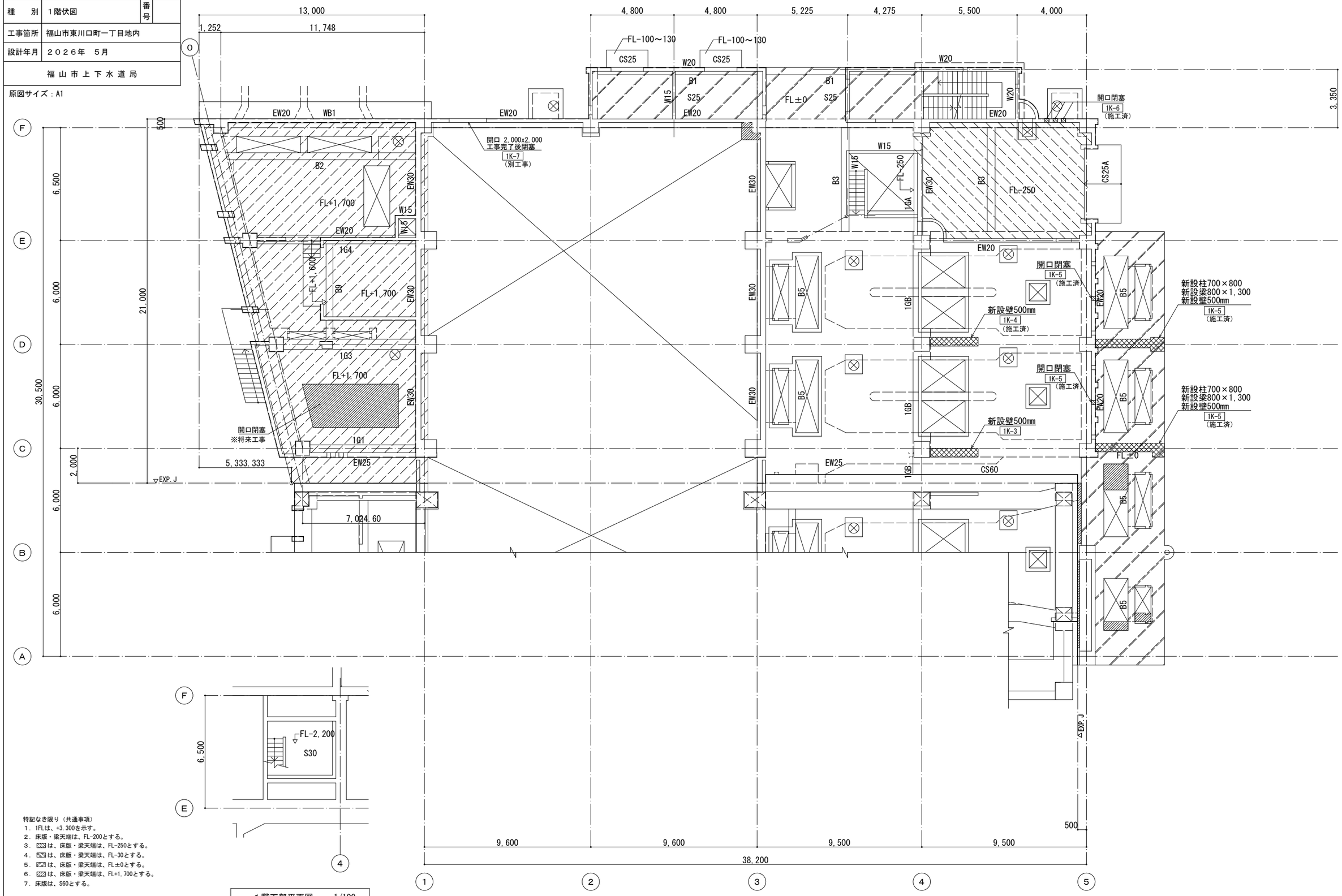


特記なき限り（共通事項）
1．B1FLは、-1.700を示す。
2．床版・梁天端は、FL-300とする。
3．▧は、床版・梁天端は、FL-2,800とする。
4．▨は、床版・梁天端は、FL-200とする。
5．床版は、S80とする。

地下１階伏図　　1/100

図面番号	2S-04	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	1階伏図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



1階下部平面図　1/100

1階伏図　1/100

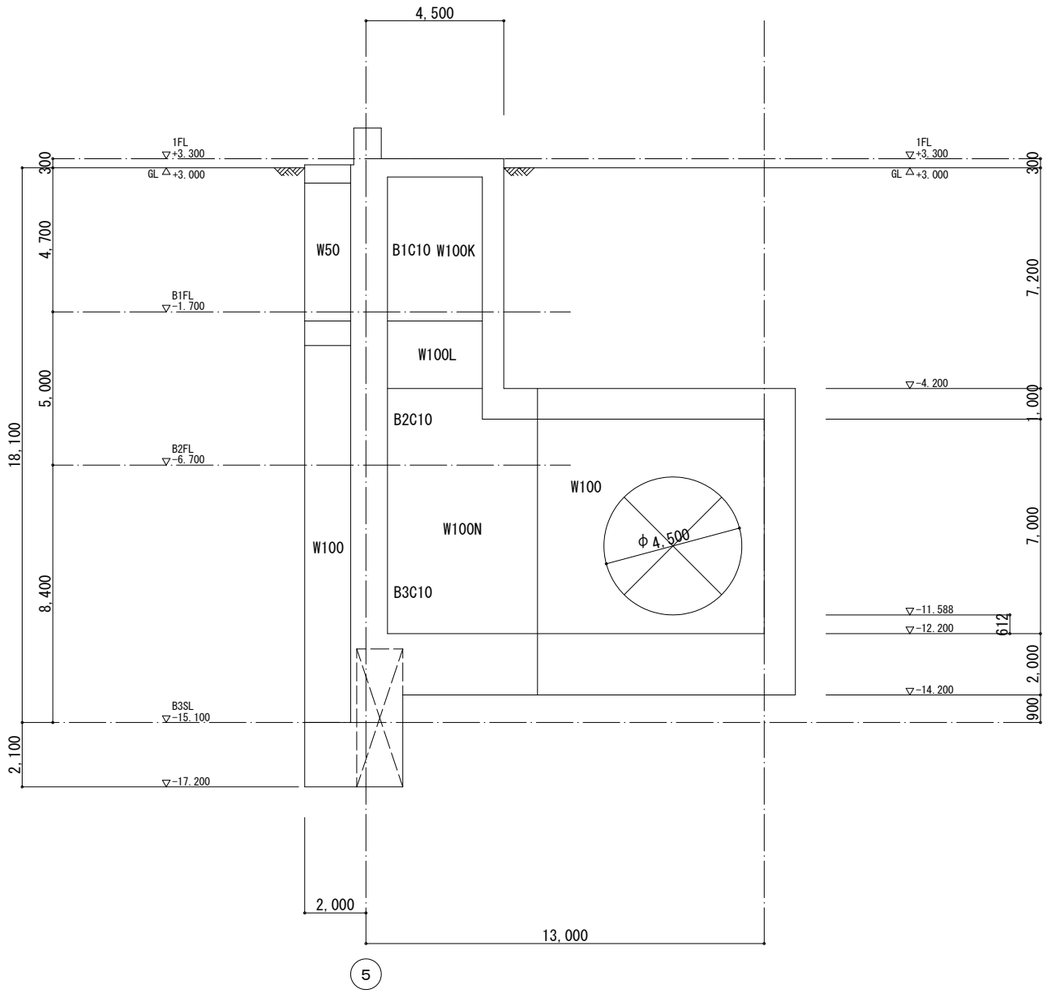
特記なき限り（共通事項）

1．1FLは、+3.300を示す。
2．床版・梁天端は、FL-200とする。
3．▧は、床版・梁天端は、FL-250とする。
4．▧は、床版・梁天端は、FL-30とする。
5．▨は、床版・梁天端は、FL±0とする。
6．▨は、床版・梁天端は、FL+1,700とする。
7．床版は、S60とする。

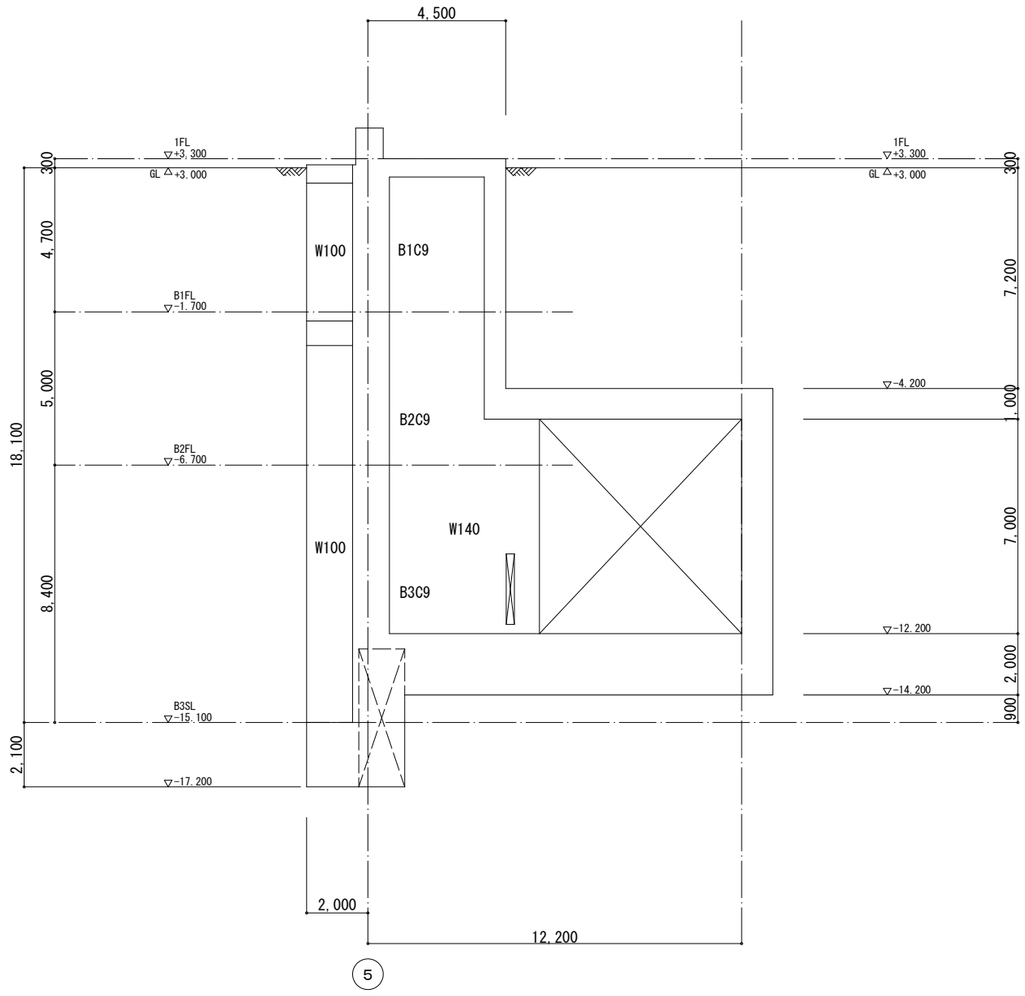
10．壁は、W18とする。

図面番号	2S-05	縮 尺	１／１００
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（１）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



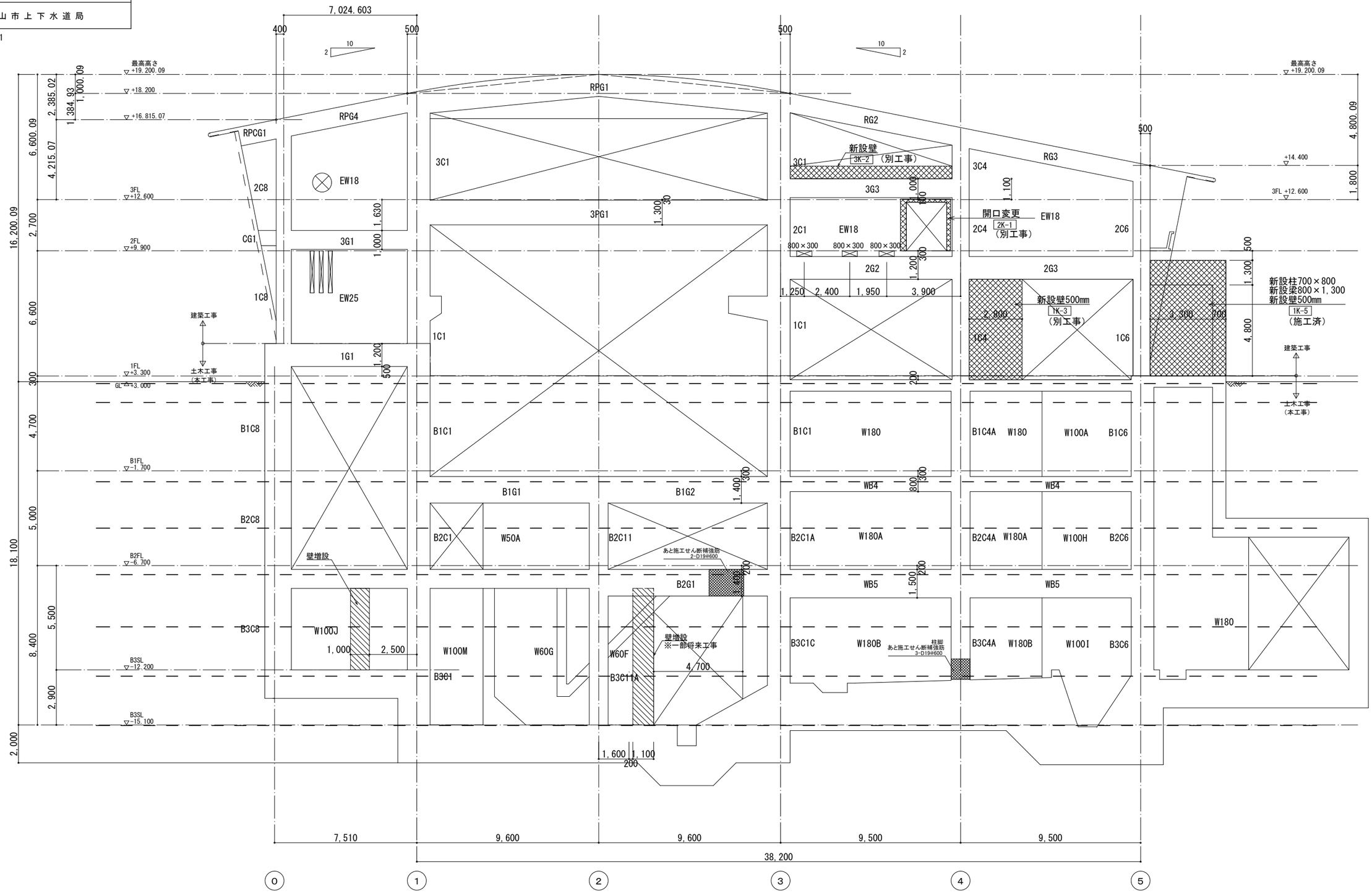
A通軸組図　　1/100



B通軸組図　　1/100

図面番号	2S-06	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

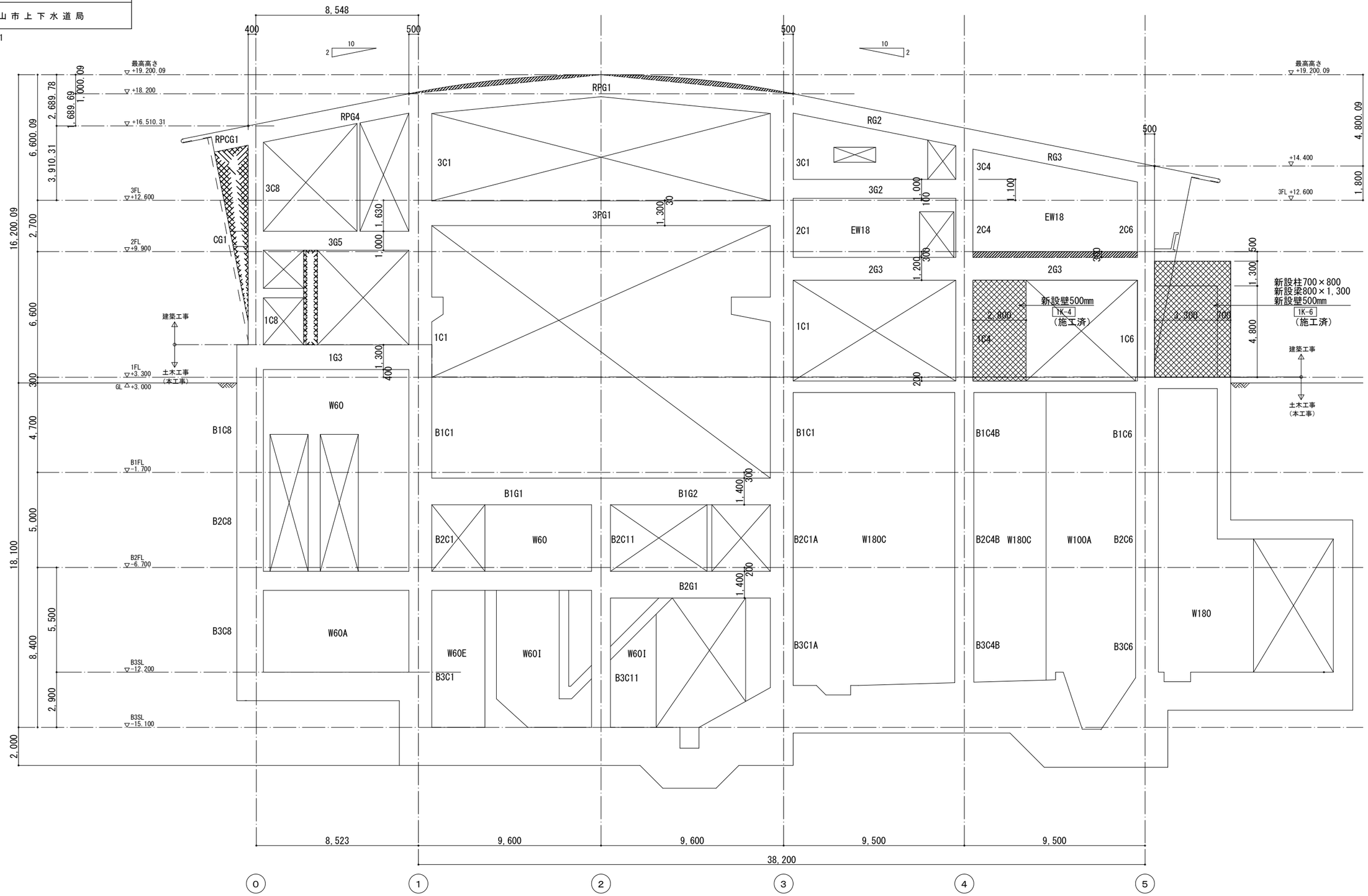
原図サイズ：A1



C通軸組図　　1/100

図面番号	2S-07	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	2026年　5月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

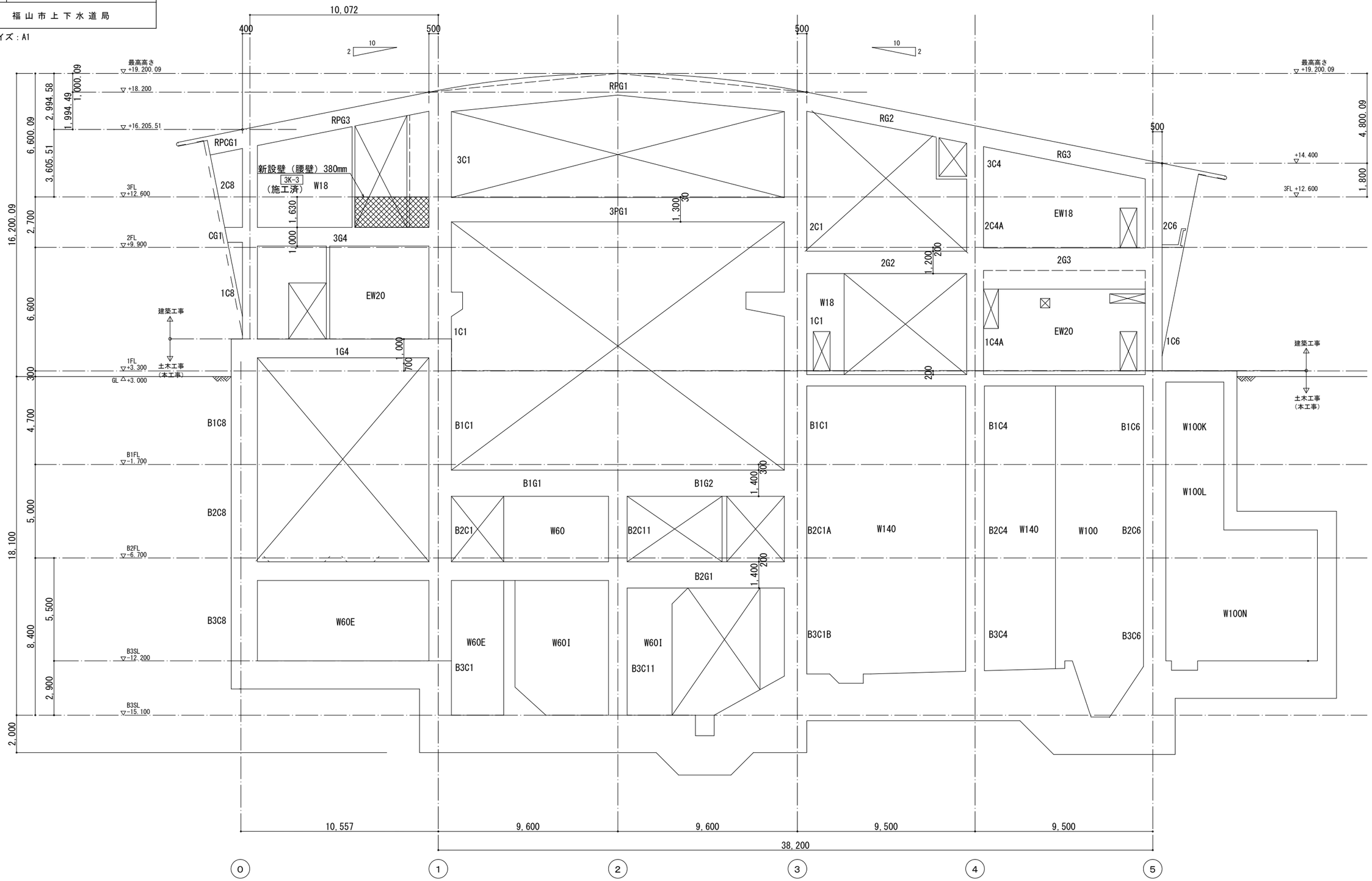
原図サイズ：A1



D通軸組図　　1/100

図面番号	2S-08	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

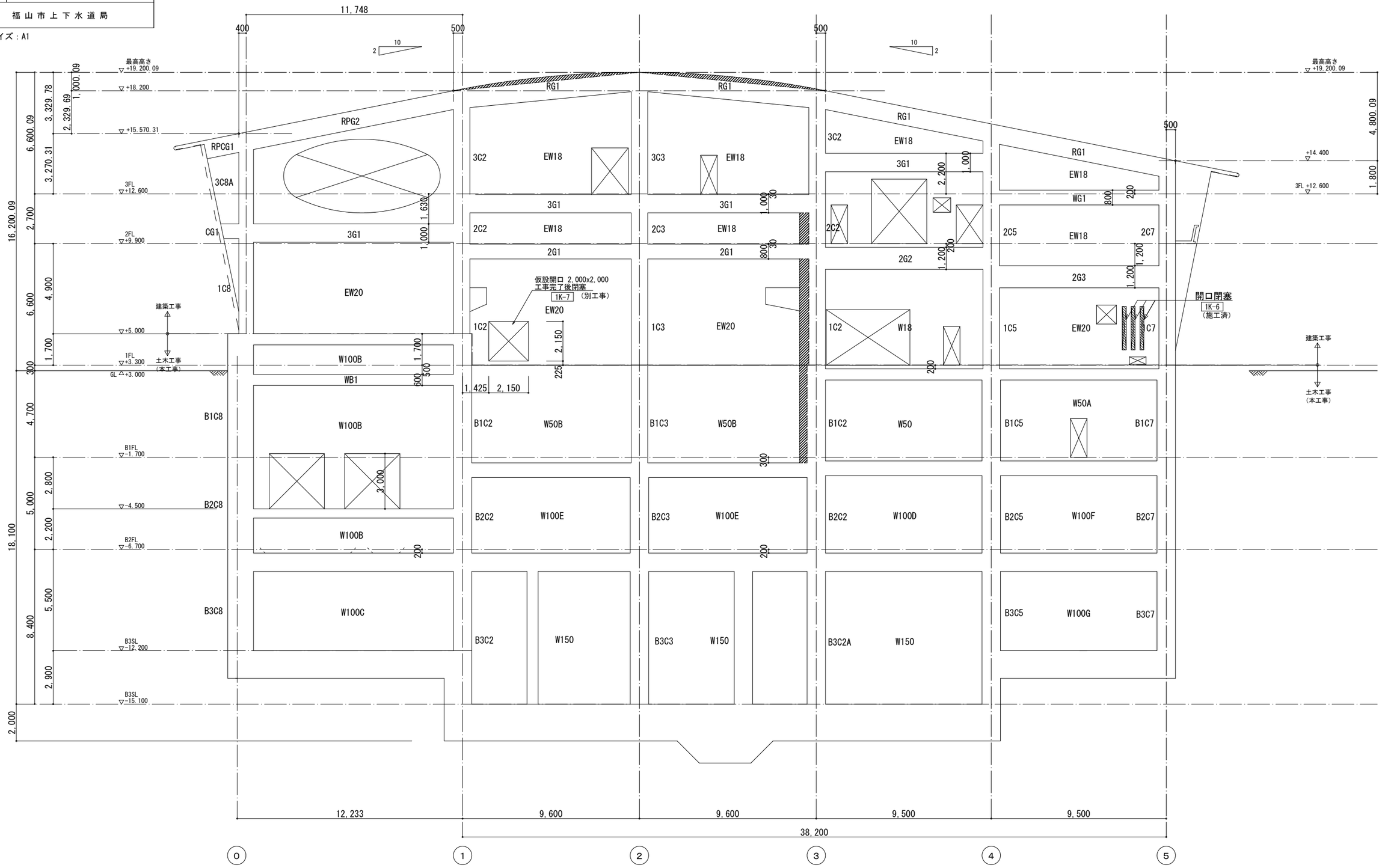
原図サイズ：A1



E通軸組図　　1/100

図面番号	2S-09	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

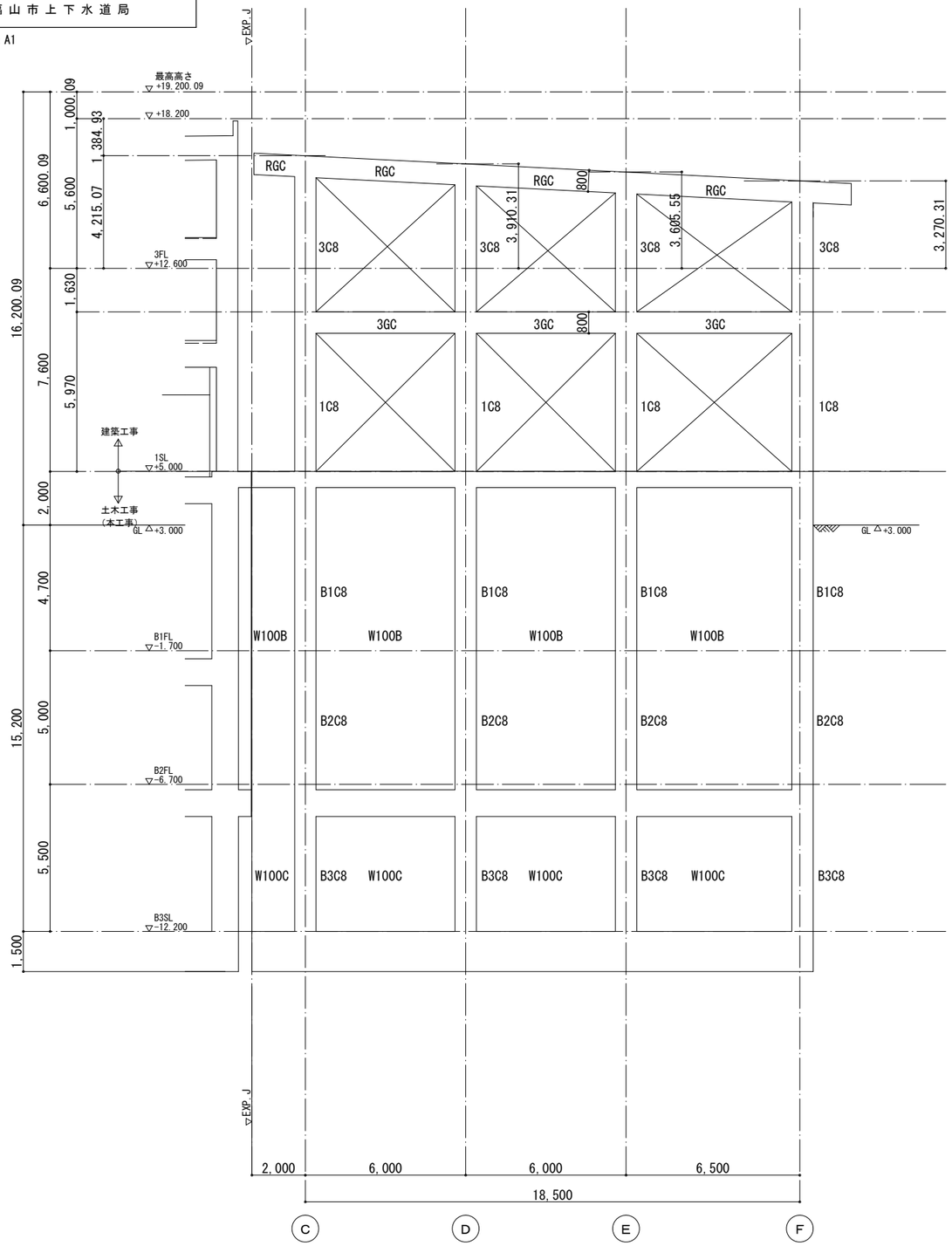


1．▨は、増打ちを示す。
2．▨は、仮壁・将来撤去範囲を示す。

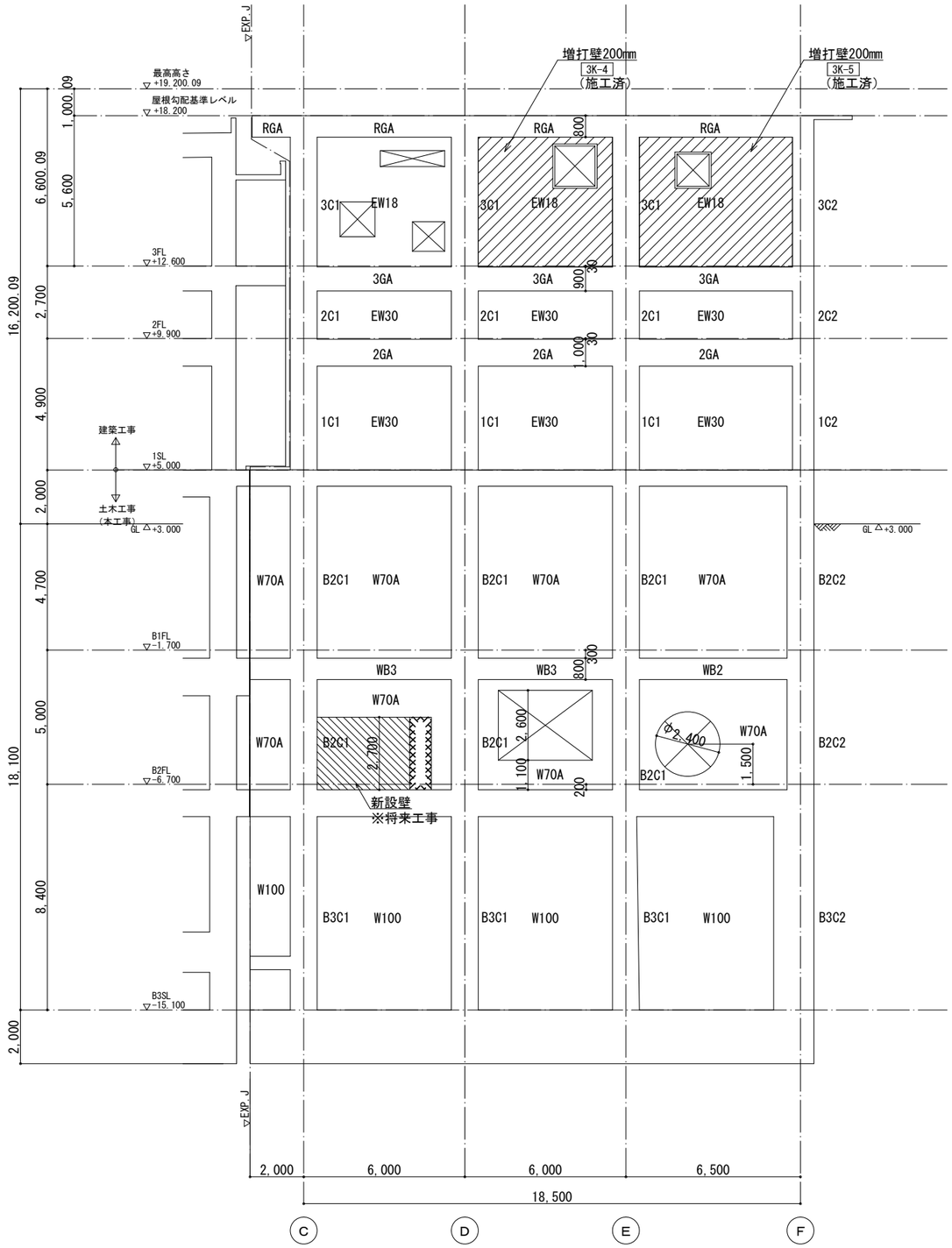
F通軸組図　　1/100

図面番号	2S-10	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



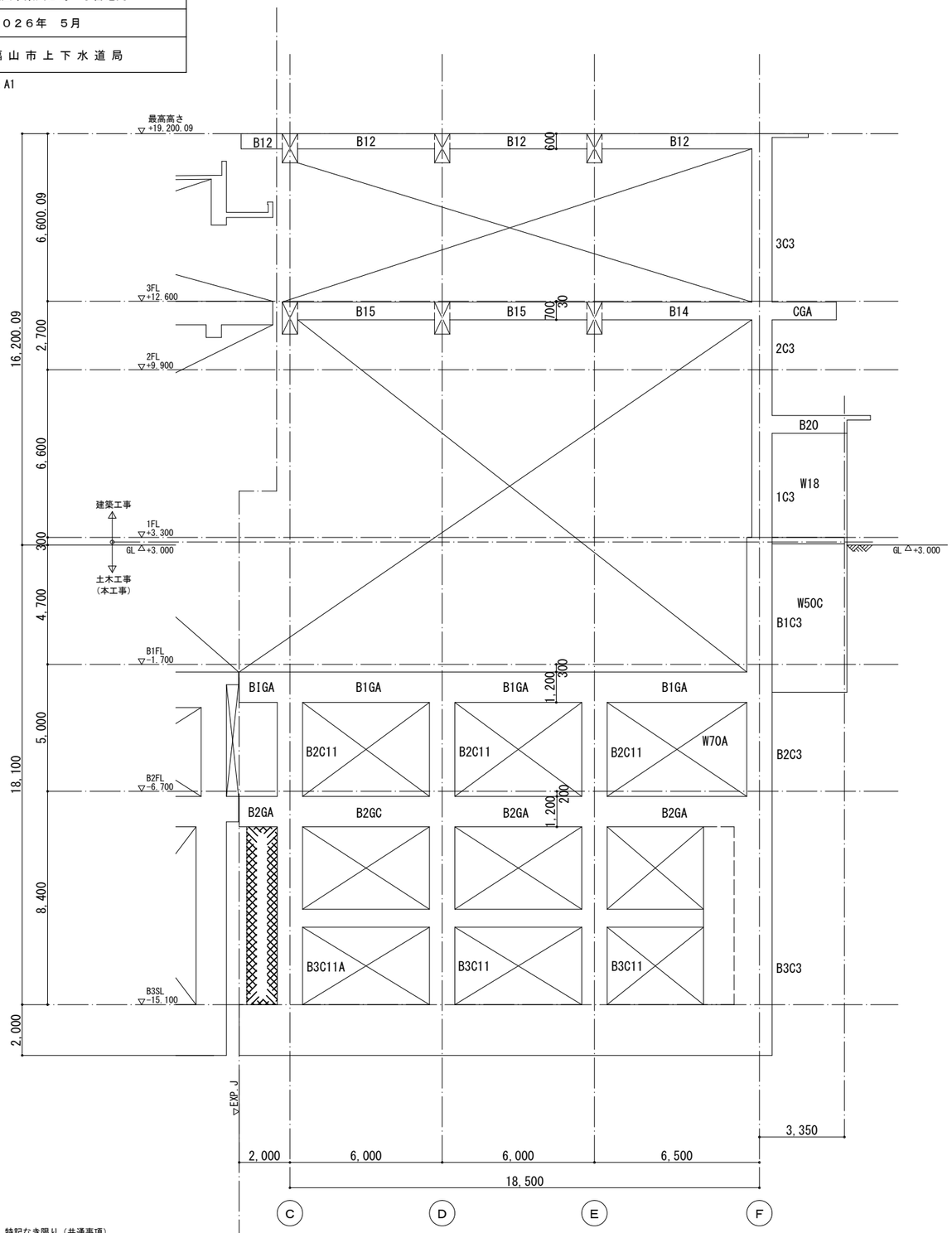
0通軸組図　　1/100



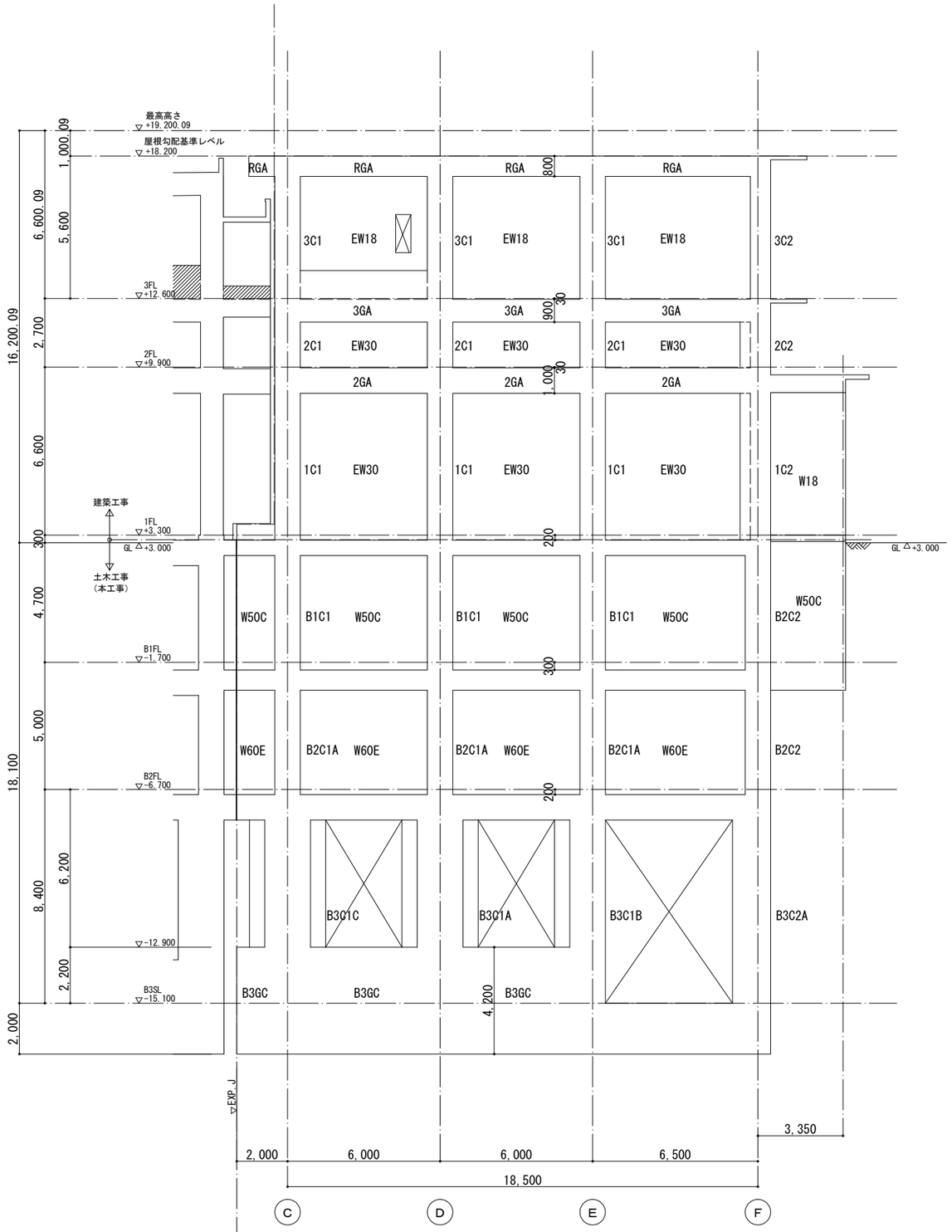
1通軸組図　　1/100

図面番号	2S-11	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（7）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



2通軸組図　　1/100

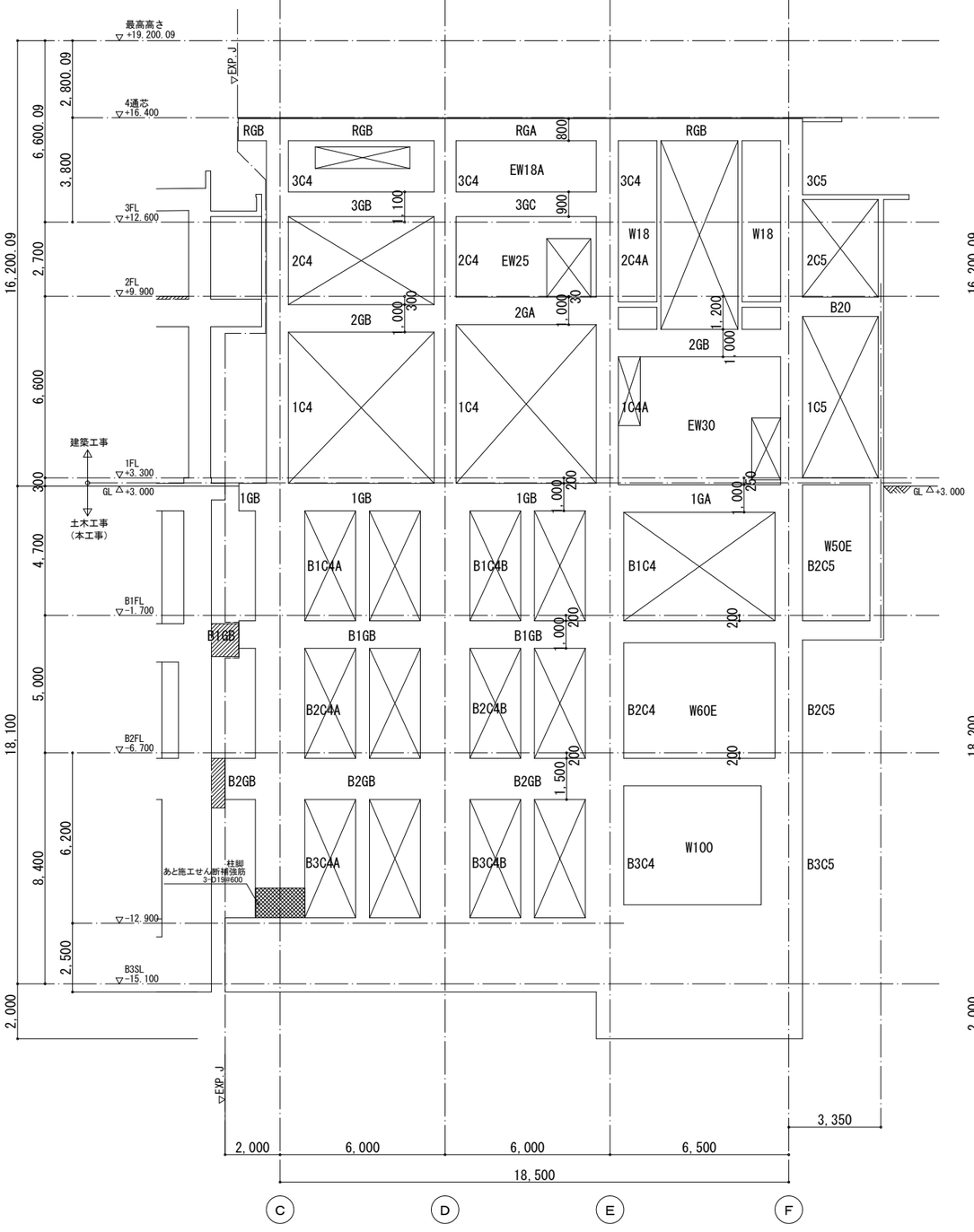


3通軸組図　　1/100

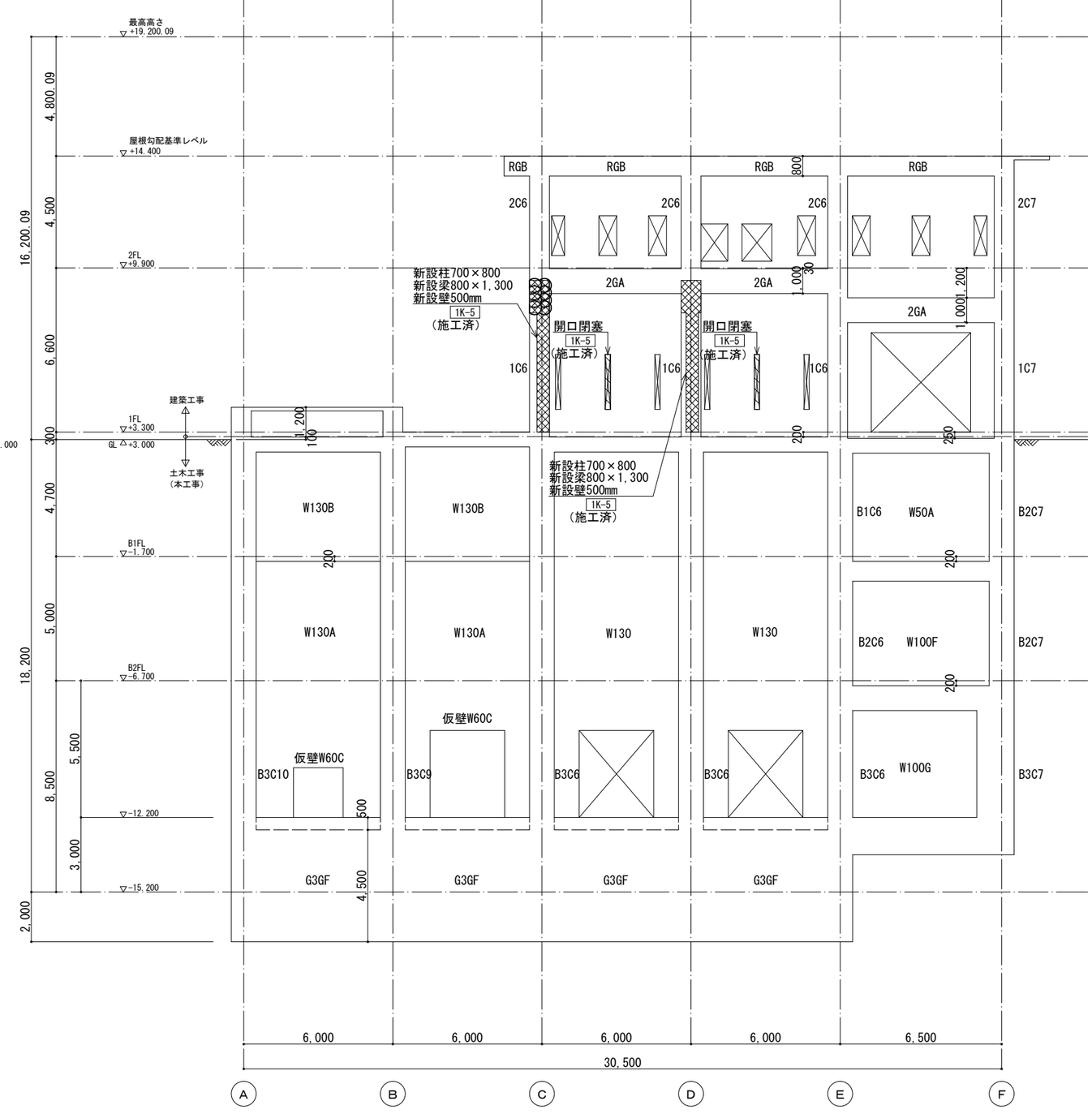
特記なき限り（共通事項）
1．□は、増打ちを示す。
2．▨は、仮壁・将来撤去範囲を示す。

図面番号	2S-12	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	軸組図（8）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



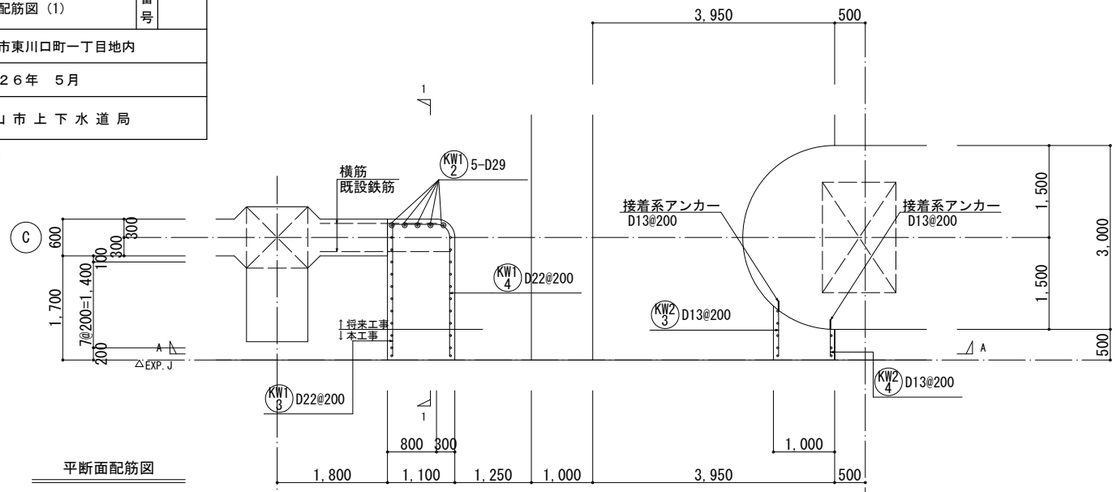
4通軸組図　　1/100



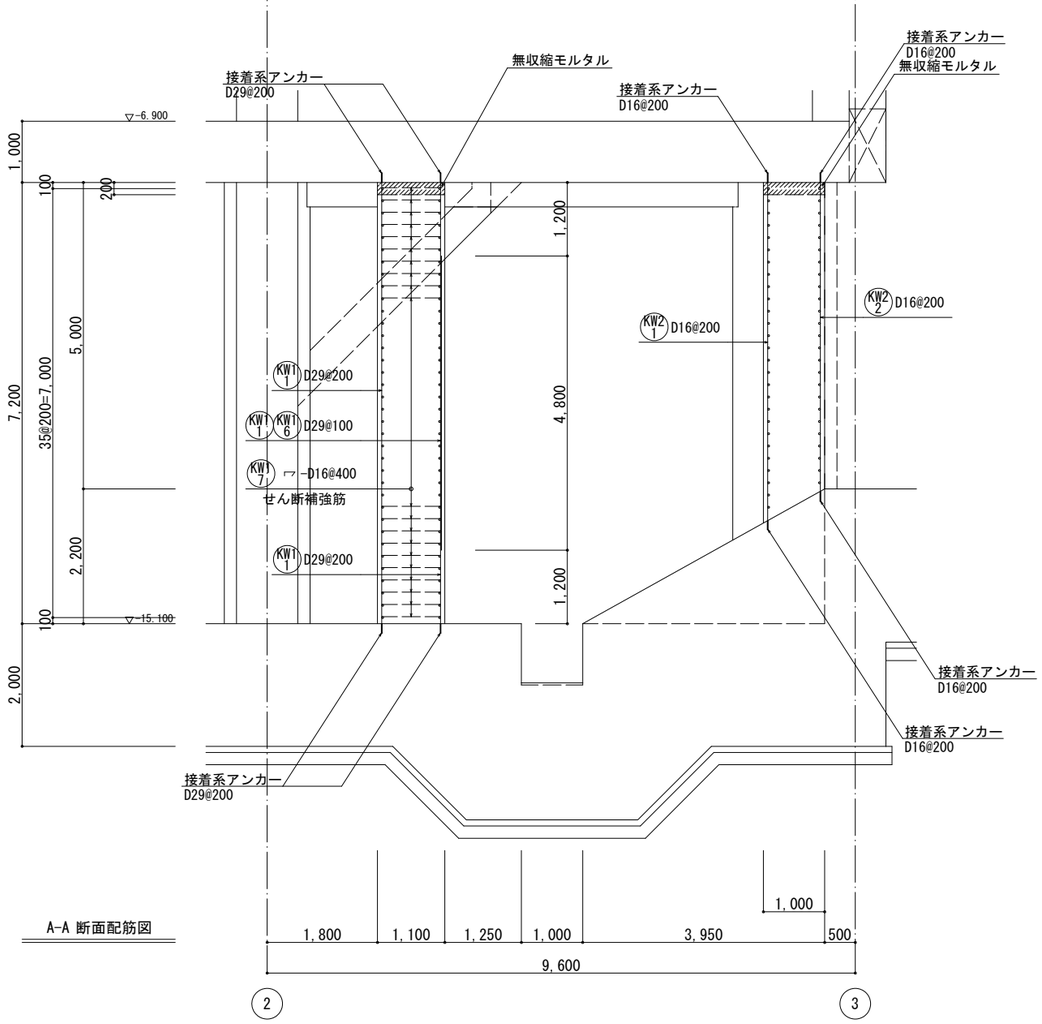
5通軸組図　　1/100

図面番号	2S-13	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

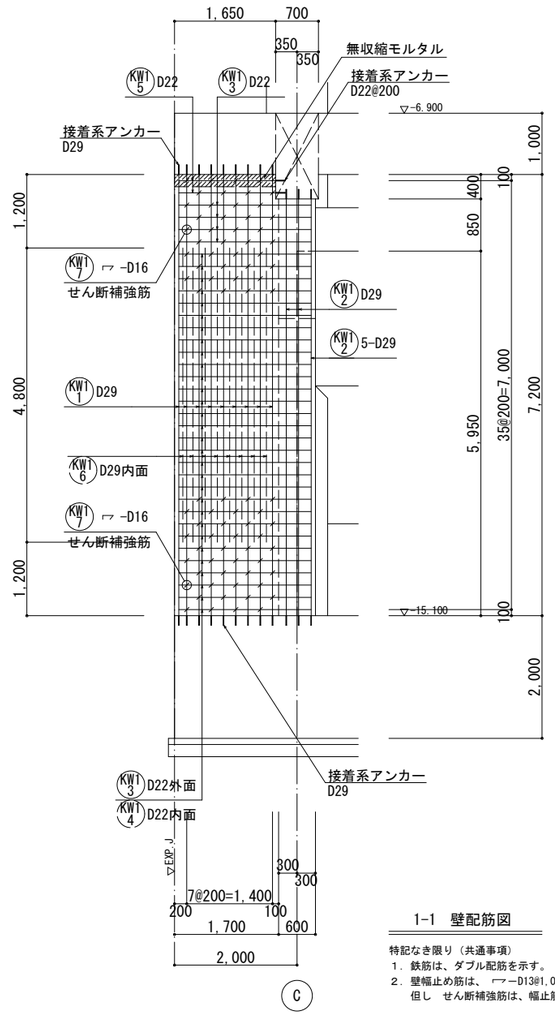
原図サイズ：A1



平断面配筋図

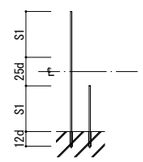


A-A 断面配筋図



1-1　壁配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐-D13@1,000×1,000程度とする。
　　但し　せん断補強筋は、幅止筋と兼用とする。



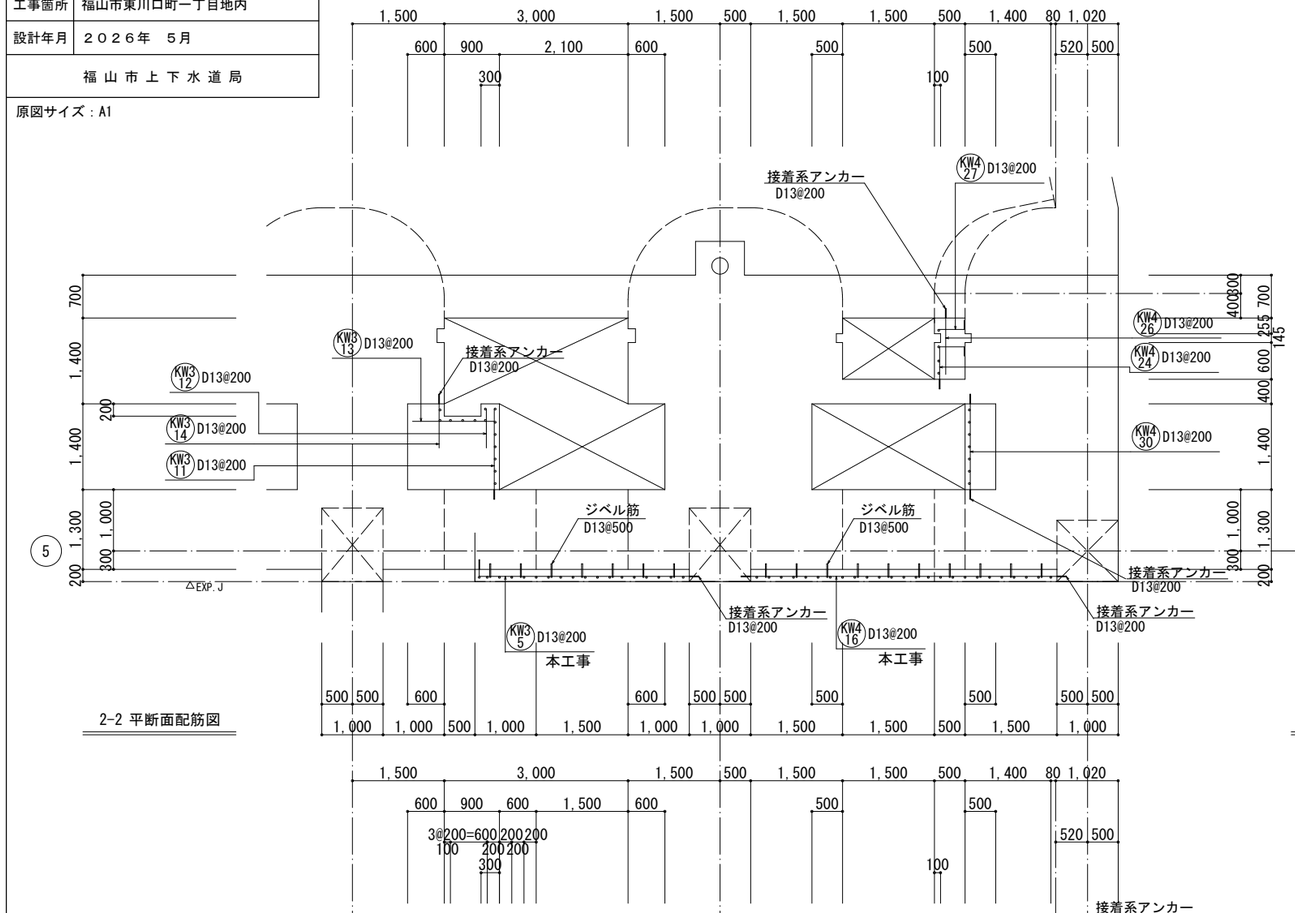
あと施工アンカー筋要領図

注１．コンクリートを新設する既設面は目荒しを行う。
注２．アンカー筋は、あと施工アンカーを用いる。

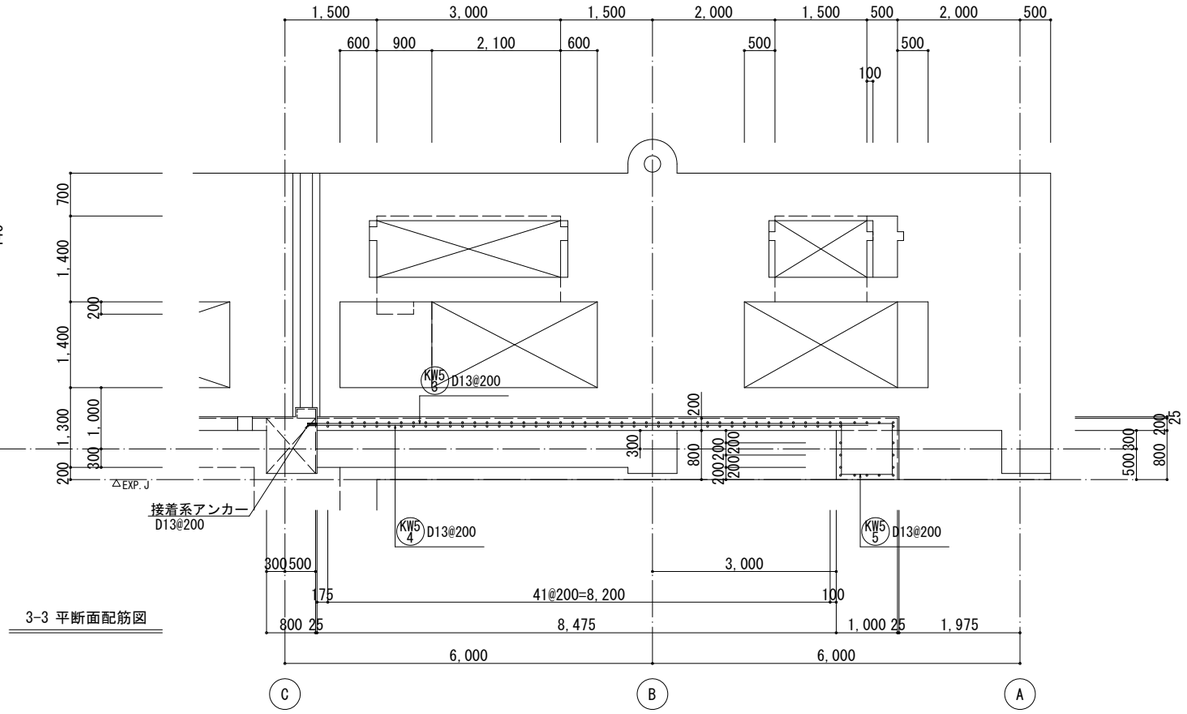
B3K-2配筋図　　1/50

図面番号	2S-14	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

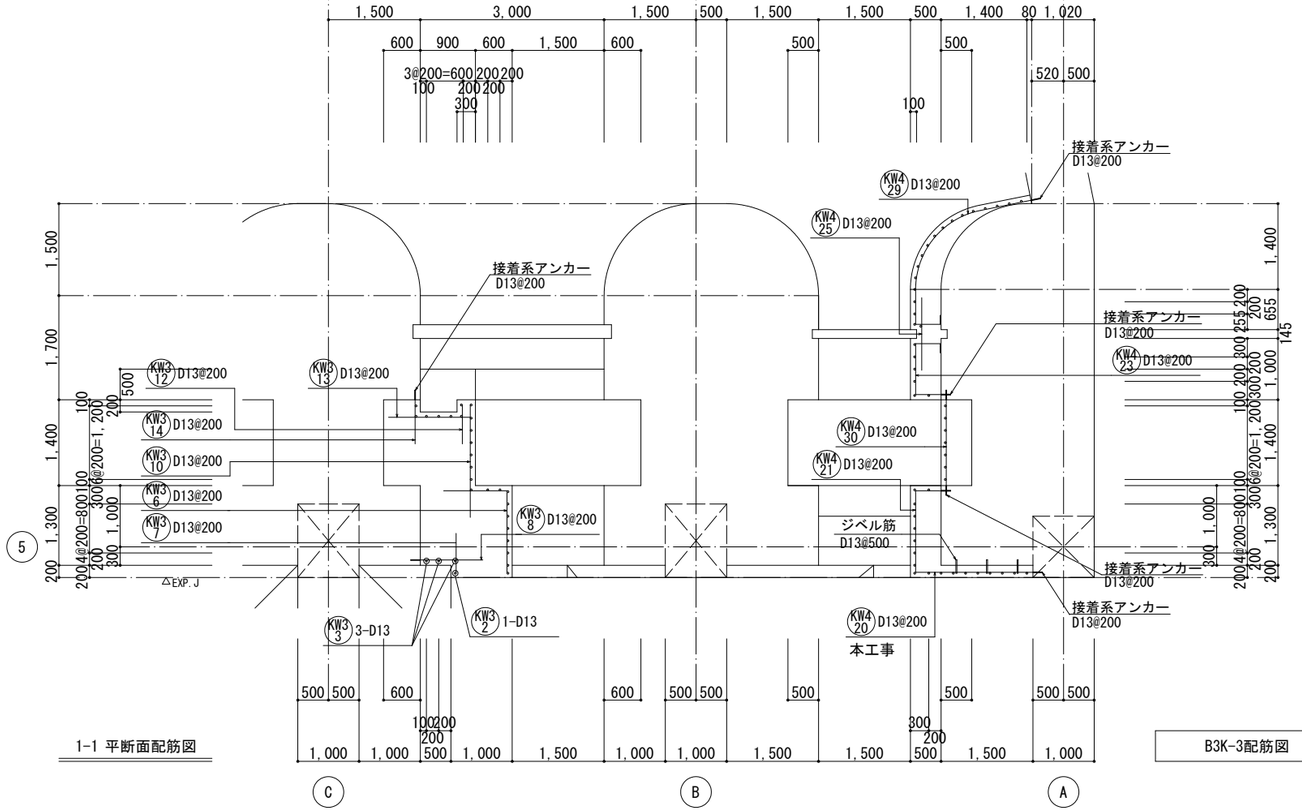
原図サイズ：A1



2-2 平断面配筋図

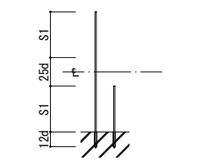


3-3 平断面配筋図

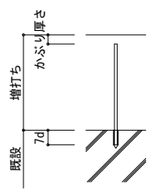


1-1 平断面配筋図

B3K-3配筋図　　1/50

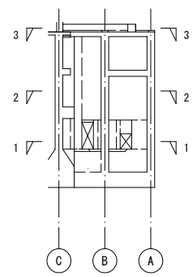


あと施工アンカー筋要領図



ジベル筋要領図

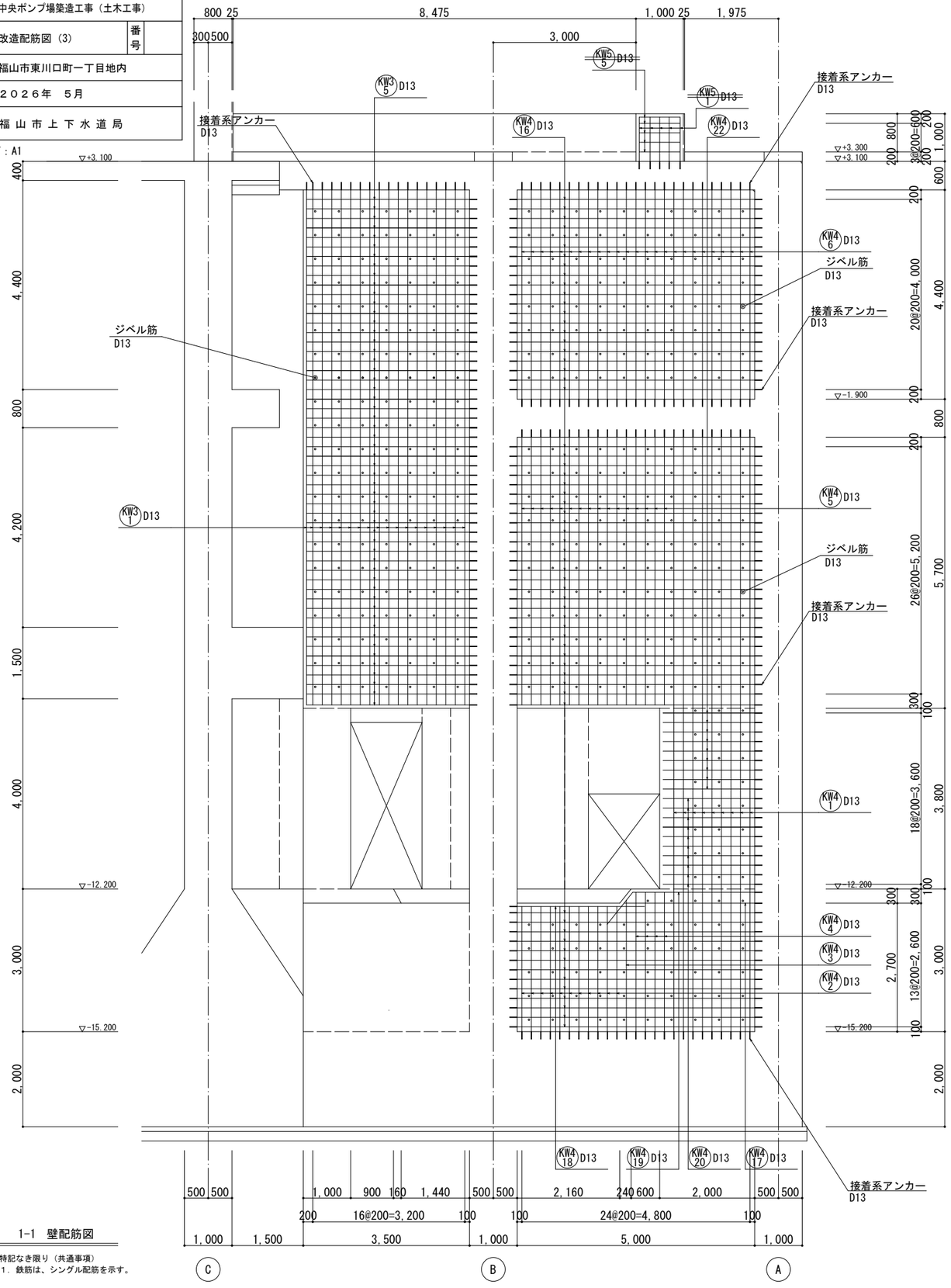
注１．コンクリートを新設する既設面は目荒しを行う。
注２．アンカー筋は、あと施工アンカーを用いる。



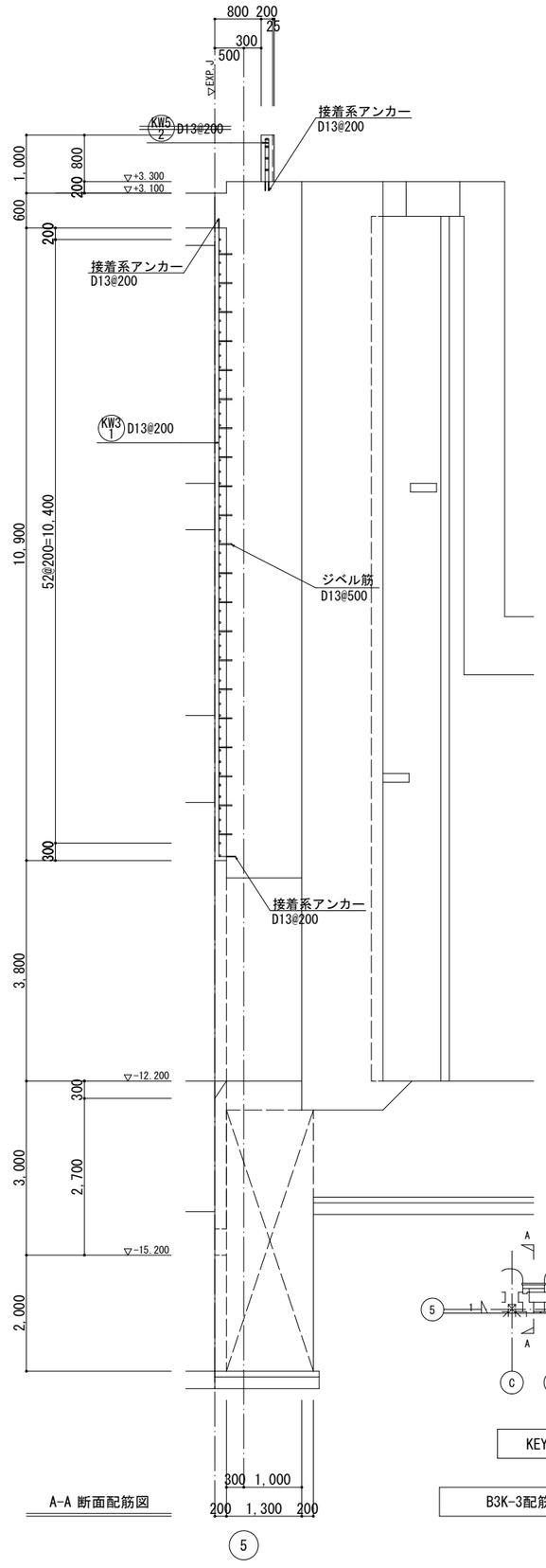
KEY PLAN

図面番号	2S-15	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（3）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

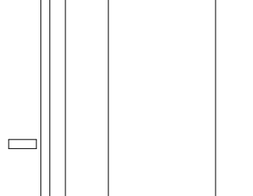
原図サイズ：A1



1-1　壁配筋図

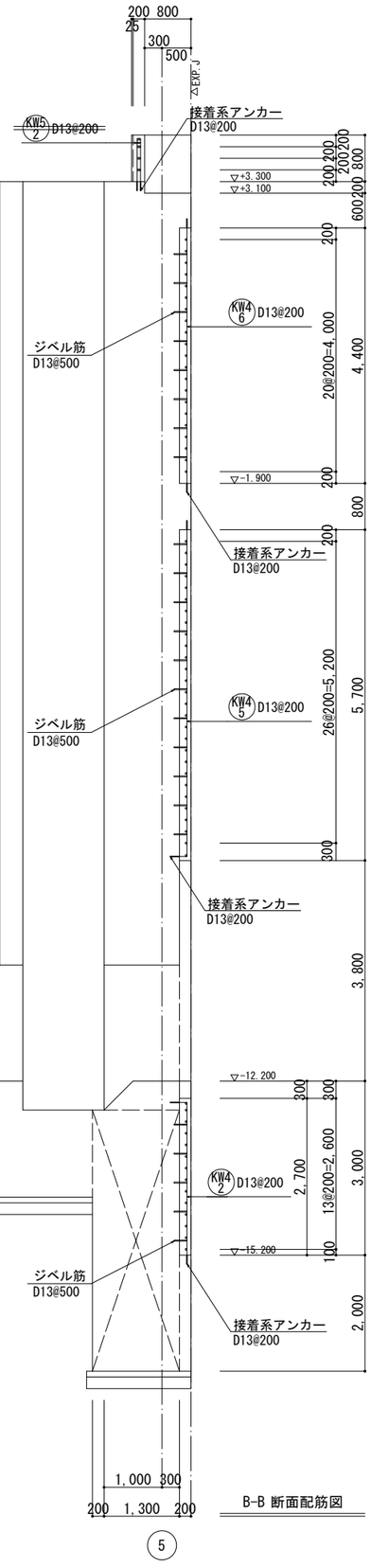


A-A 断面配筋図



KEY PLAN

B3K-3配筋図　1/50

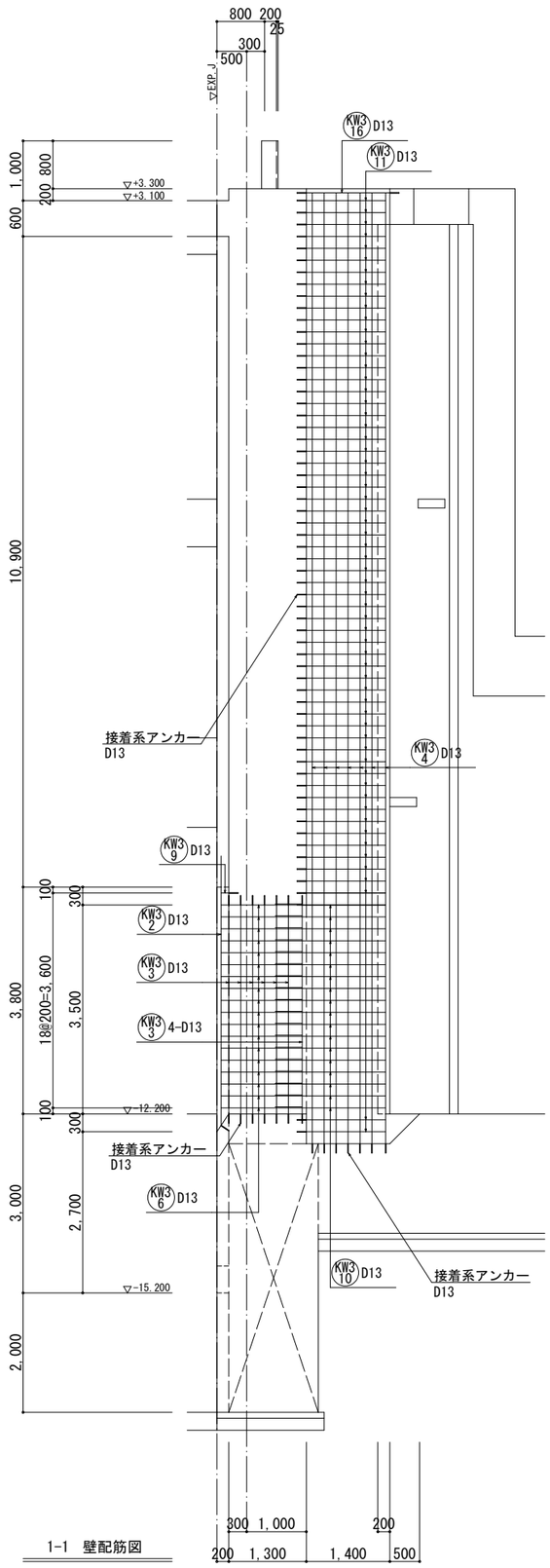


B-B 断面配筋図

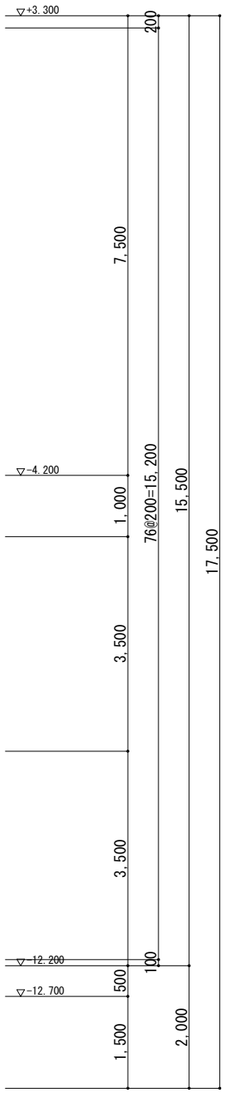
特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、シングル配筋を示す。

図面番号	2S-17	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（5）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

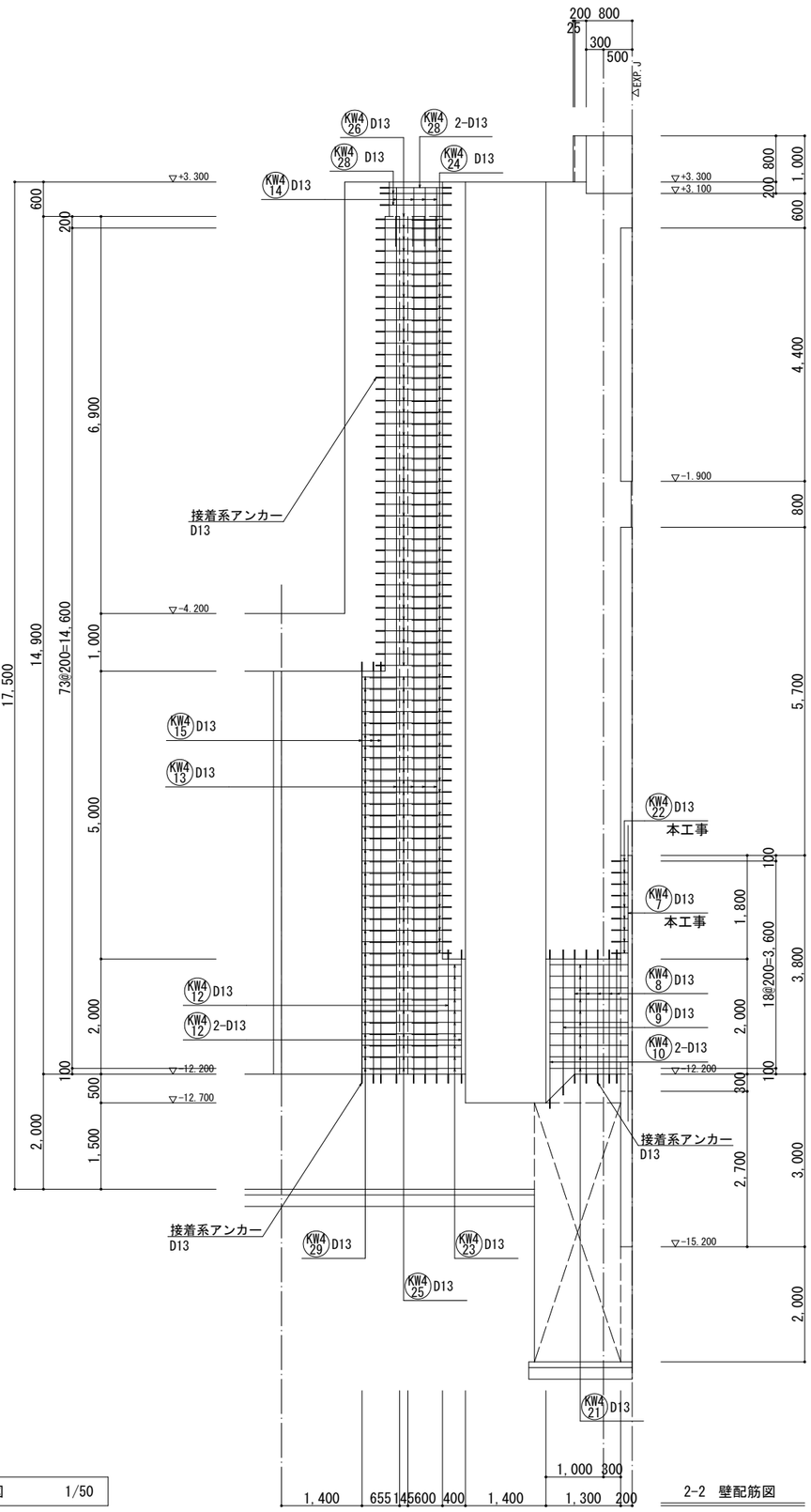
原図サイズ：A1



1-1　壁配筋図



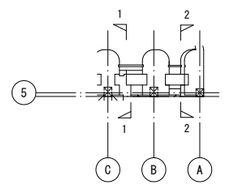
B3K-3配筋図　1/50



2-2　壁配筋図

あと施工アンカー筋要領図

注１．コンクリートを新設する既設面は目荒しを行う。
注２．アンカー筋は、あと施工アンカーを用いる。

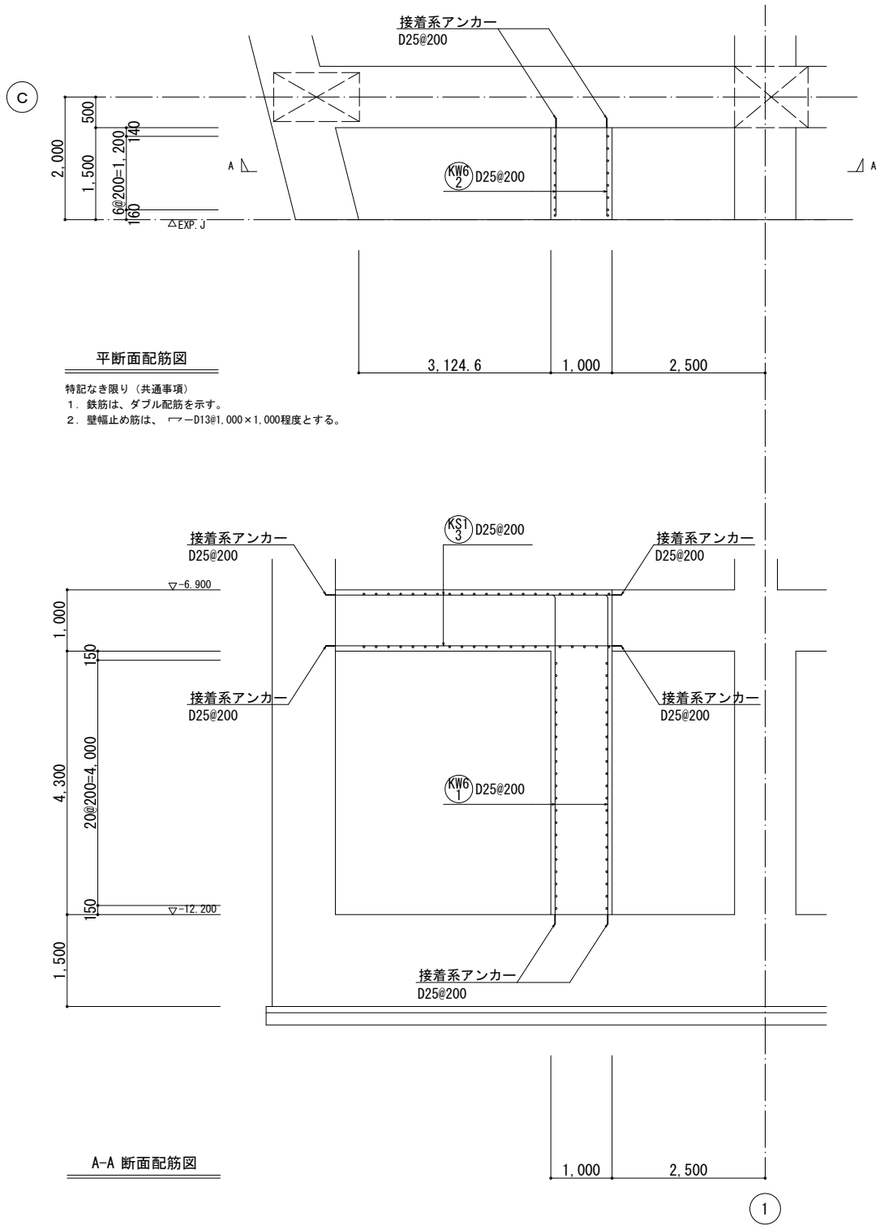


KEY PLAN

特記なき限り（共通事項）
１．鉄筋は、シングル配筋を示す。

図面番号	2S-18	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（6）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

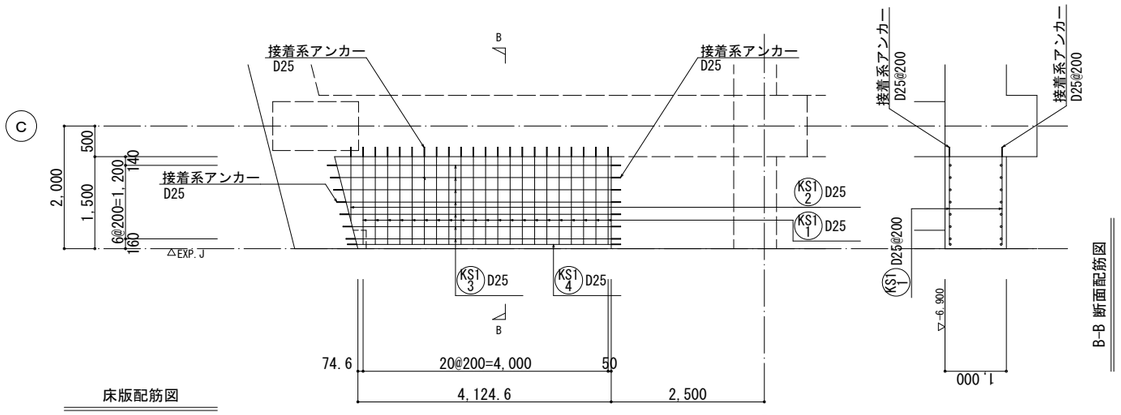
原図サイズ：A1



平断面配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．壁幅止め筋は、 ⌐¬ ―D13@1,000×1,000程度とする。

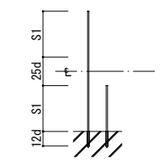
A-A 断面配筋図



床版配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．床版幅止め筋は、 ⌐¬ ―D13@1,000×1,000程度とする。

B-B 断面配筋図



あと施工アンカー筋要領図

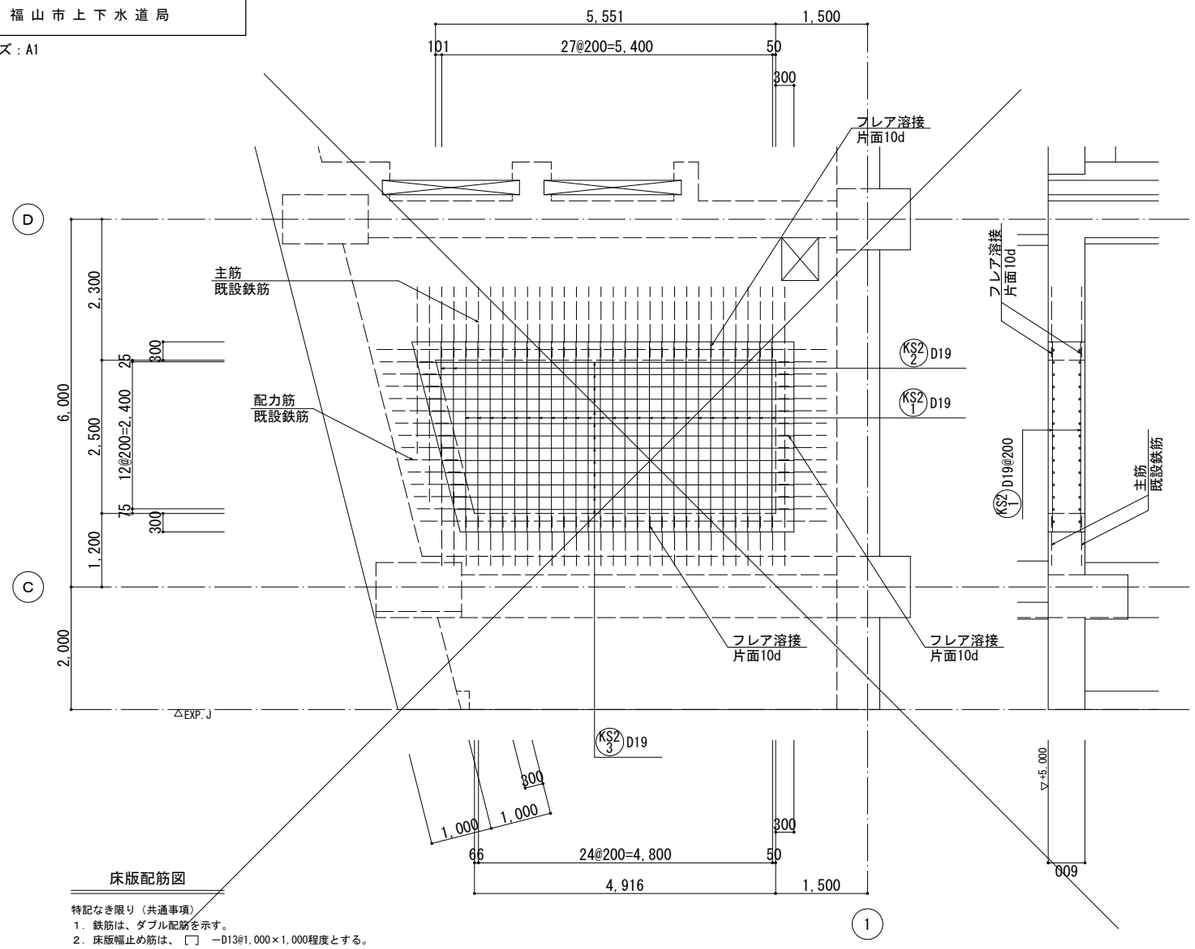
注1．コンクリートを新設する既設面は目荒しを行う。
注2．アンカー筋は、あと施工アンカーを用いる。

B3K-1,B2K-1配筋図　　1/50

図面番号	2S-19	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（7）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

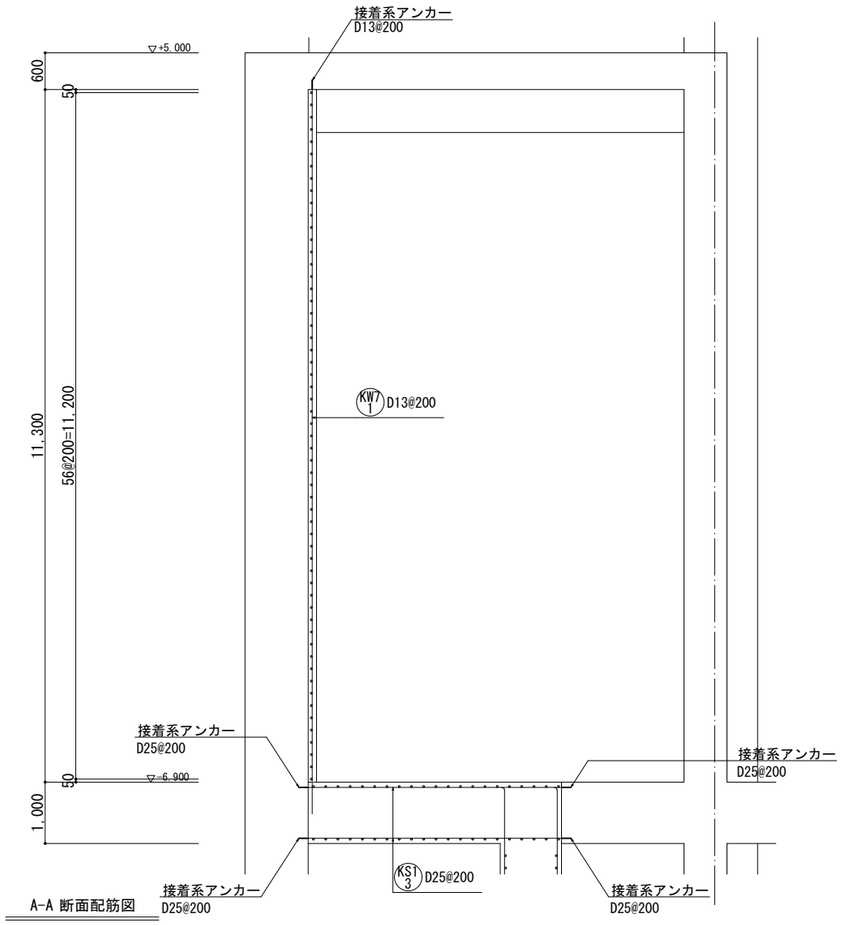
原図サイズ：A1

※将来工事



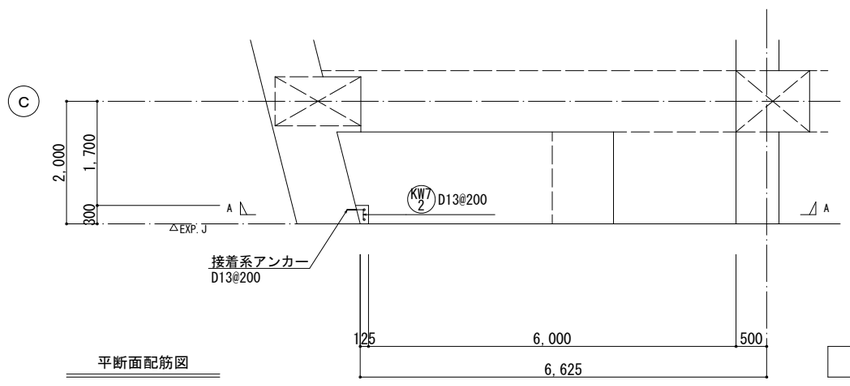
床版配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2．床版幅止め筋は、［］ ―D13@1,000×1,000程度とする。

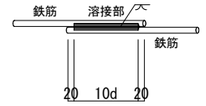


A-A 断面配筋図

特記なき限り（共通事項）
1．鉄筋は、シングル配筋を示す。

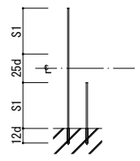


平断面配筋図



フレア溶接継手の要領図

dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。



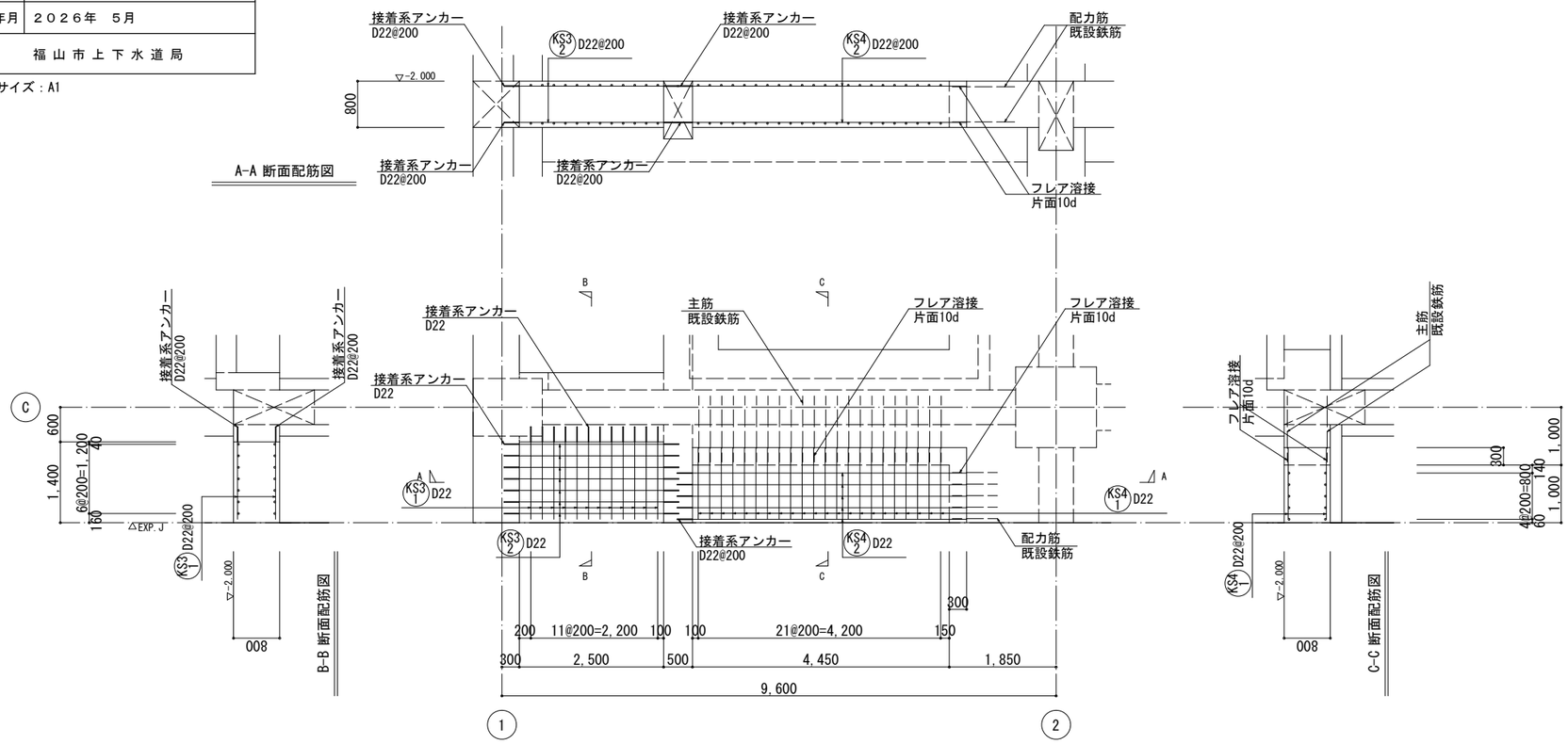
あと施工アンカー筋要領図

注1．あと施工アンカーの位置は既設鉄筋探査のうえ
　　干渉する場合は、監督職員の承認を得て変更する事。
注2．コンクリートを新設する既設面は目荒しを行う。
注3．アンカー筋は、あと施工アンカーを用いる。

B2K-1配筋図　1/50

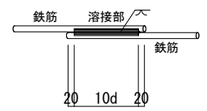
図面番号	2S-21	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	改造配筋図（9）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



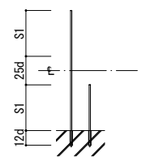
B1K-1配筋図　1/50　KS3　KS4

特記なき限り（共通事項）
１．鉄筋は、ダブル配筋を示す。
２．床版幅止め筋は、[]ーD13@1,000×1,000程度とする。



フレア溶接継手の要領図

ｄは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

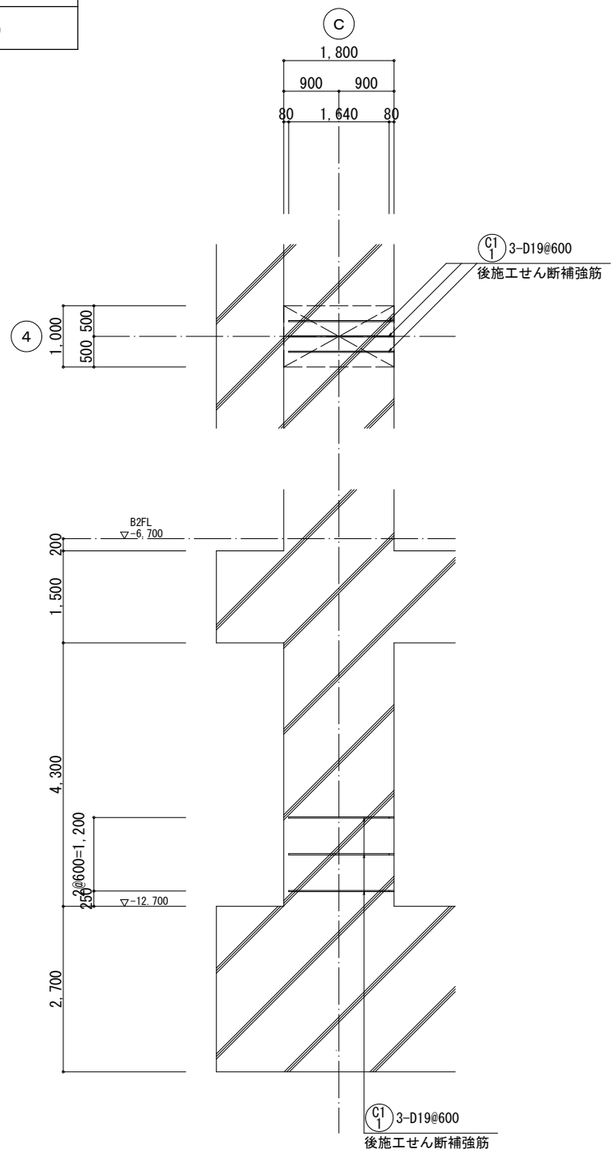


あと施工アンカー筋要領図

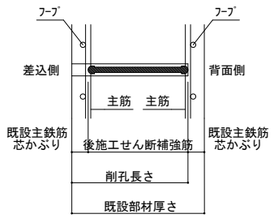
注１．あと施工アンカーの位置は既設鉄筋探査のうえ
　　干渉する場合は、監督職員の承認を得て変更する事。
注２．コンクリートを新設する既設面は目荒しを行う。
注３．アンカー筋は、あと施工アンカーを用いる。

図面番号	2S-22	縮 尺	1／50
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	補強図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



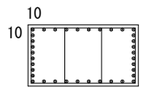
B3階4通柱配筋図　1/50　C1



後施工せん断補強筋工法施工要領図

注. 後施工せん断補強筋に使用する異形棒鋼は、
SD345を使用するものとする。
後施工せん断補強筋の位置は既設鉄筋探査のうえ
干渉する場合は、監督職員の承認を得て変更する事。
建設技術審査証明(財団法人 土木研究センター)
取得工法を採用の事。
補強仕様(配置位置、配置ピッチ、補強鉄筋径)の
変更は、監督職員の承認を得る事。
後施工せん断補強筋は、建設技術審査証明書
に記載されている有効率を用いてせん断耐力を
算出しているため使用にあたっては、同等以上の
せん断耐力を発揮できるものとする。

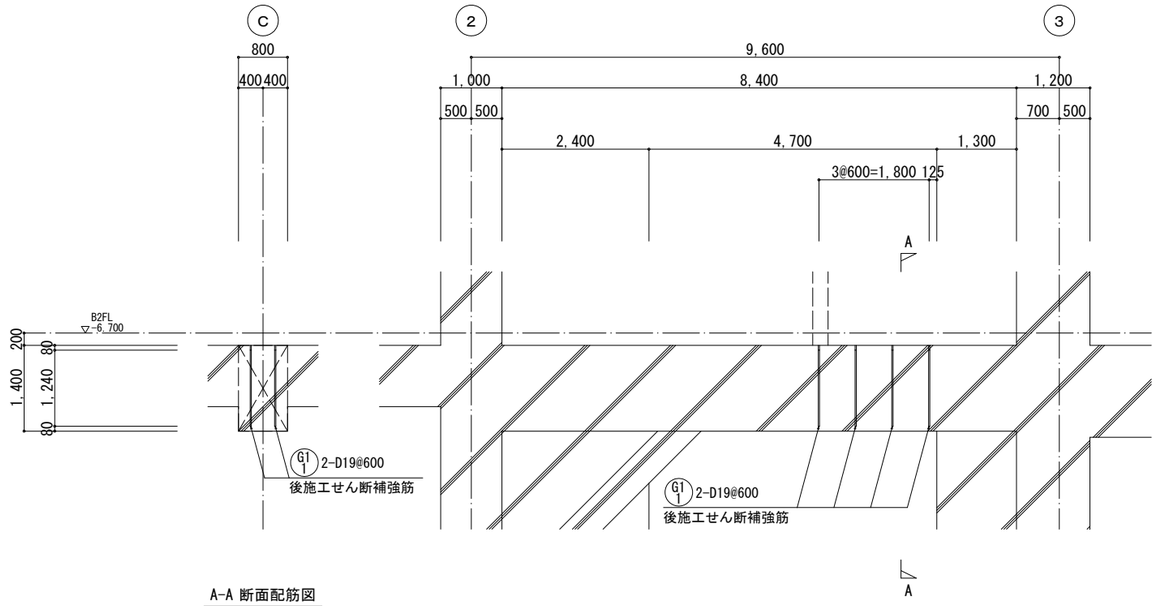
既設柱リスト

符　　号	C1
位　　置	全断面
断　　面	
B × D	1,800x1,000
主筋	36-D25
HOOP	▥-D13@100
D.HOOP	▥-D13@125

後施工せん断補強筋リスト

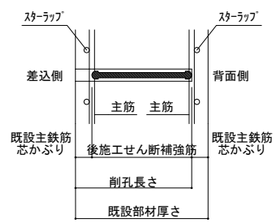
符号	部材厚(mm)	芯かぶり 差込側	芯かぶり 背面側	鉄筋径	削孔径	削孔長(mm)	鉄筋長(mm)	有効率
C1	1,800	80	80	D19	(28φ)	(1,720)	(1,640)	(0.90)

注. (　　)内は、後施工せん断補強筋工法決定後に確認するものとする。



A-A 断面配筋図

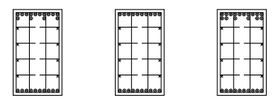
B2階C,2～3通梁配筋図　1/50　G1



後施工せん断補強筋工法施工要領図

注. 後施工せん断補強筋に使用する異形棒鋼は、
SD345を使用するものとする。
後施工せん断補強筋の位置は既設鉄筋探査のうえ
干渉する場合は、監督職員の承認を得て変更する事。
建設技術審査証明(財団法人 土木研究センター)
取得工法を採用の事。
補強仕様(配置位置、配置ピッチ、補強鉄筋径)の
変更は、監督職員の承認を得る事。
後施工せん断補強筋は、建設技術審査証明書
に記載されている有効率を用いてせん断耐力を
算出しているため使用にあたっては、同等以上の
せん断耐力を発揮できるものとする。

既設梁リスト

階	符　　号	B2G1		
	位　　置	２通端部	中央部	３通端部
B2	断　　面			
	B × D	800x1,400		
	上 端 筋	10/4-D25	10-D25	10/6-D25
	下 端 筋	10-D25	10-D25	10-D25
	スターラップ	▥ 4-D13@150		
	腹　　筋	8-D13		
	幅止筋	⊓ -D13@1,000		

後施工せん断補強筋リスト

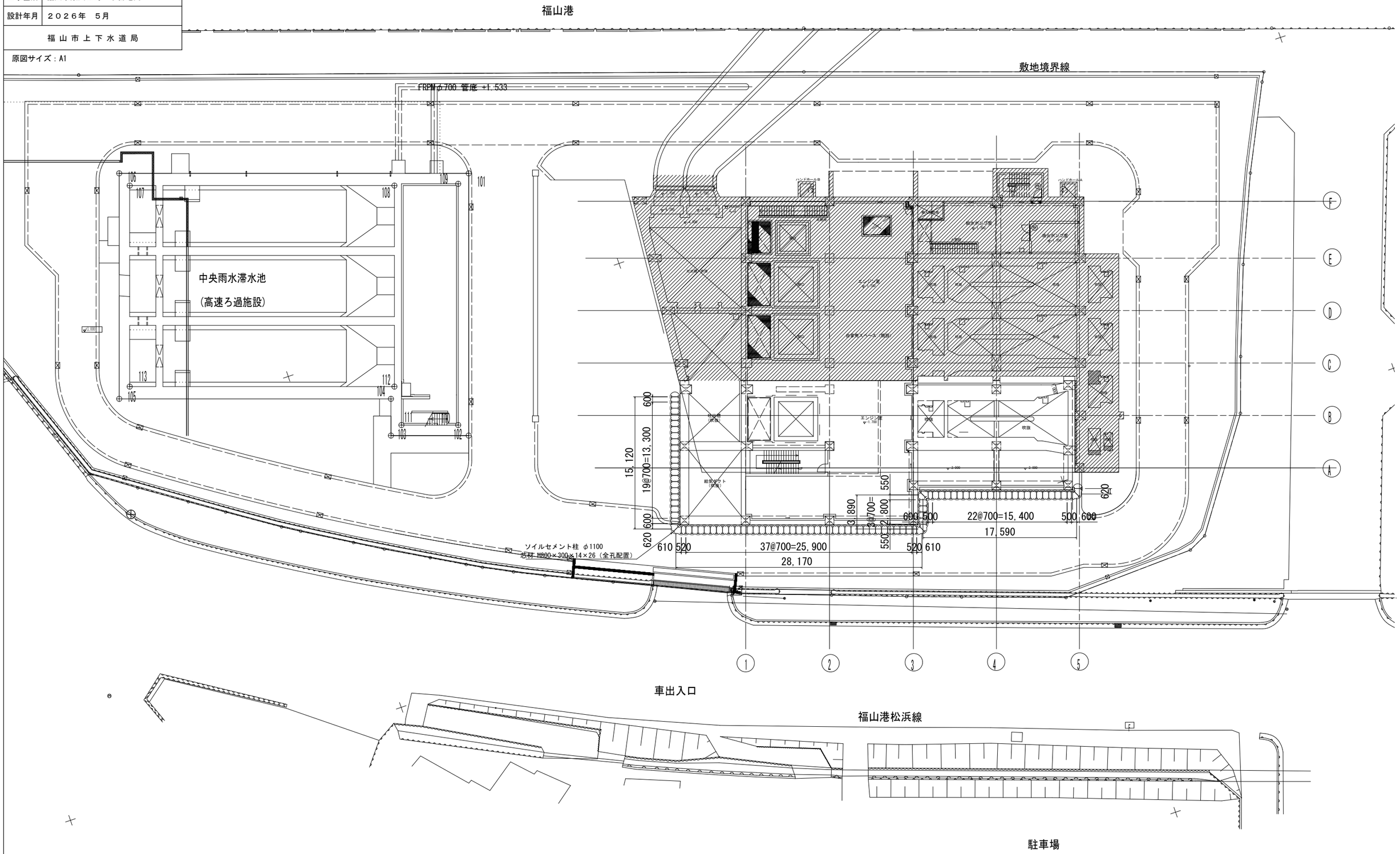
符号	部材厚(mm)	芯かぶり 差込側	芯かぶり 背面側	鉄筋径	削孔径	削孔長(mm)	鉄筋長(mm)	有効率
G1-1	1,400	80	80	D19	(28φ)	(1,320)	(1,240)	(0.90)

注. (　　)内は、後施工せん断補強筋工法決定後に確認するものとする。

図面番号	C-01	縮 尺	1／200
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	土留工平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

土留工平面図 1/200

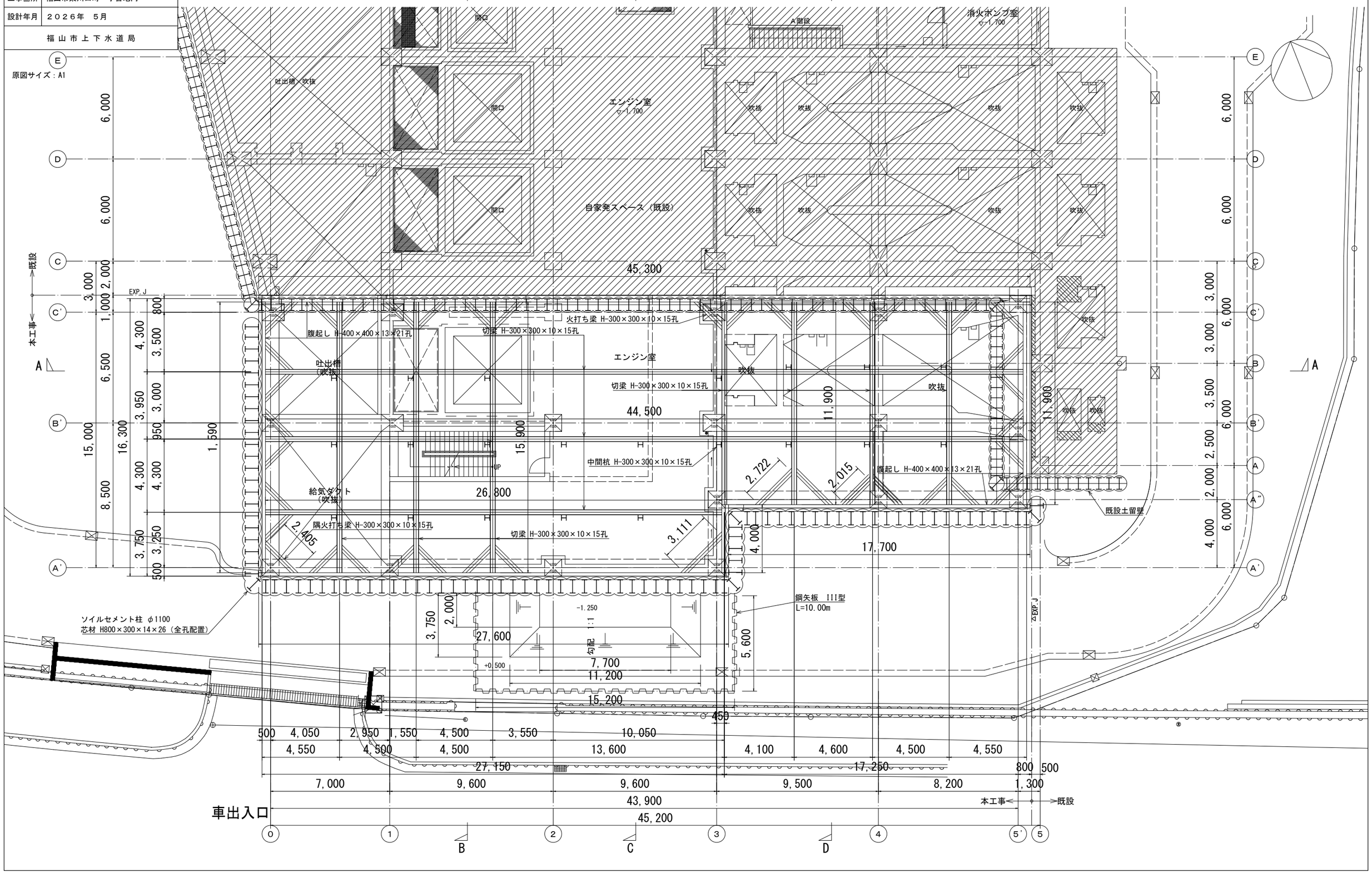


図面番号	C-02	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	支保工配置図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

支保工配置図（１） 1/100

（１段目支保工）

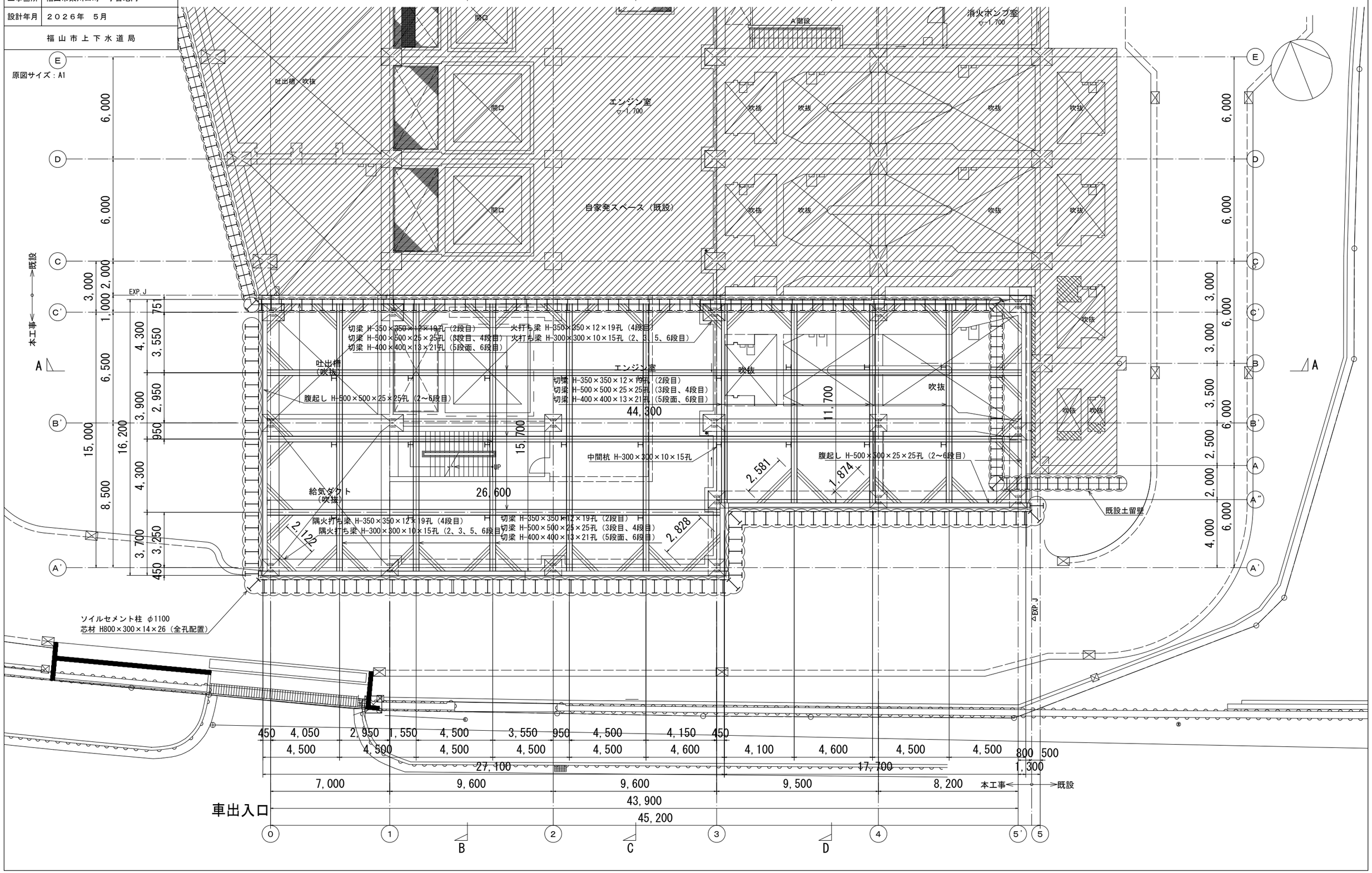


図面番号	C-03	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	支保工配置図（2）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

支保工配置図（２） 1/100

（２～６段目支保工）

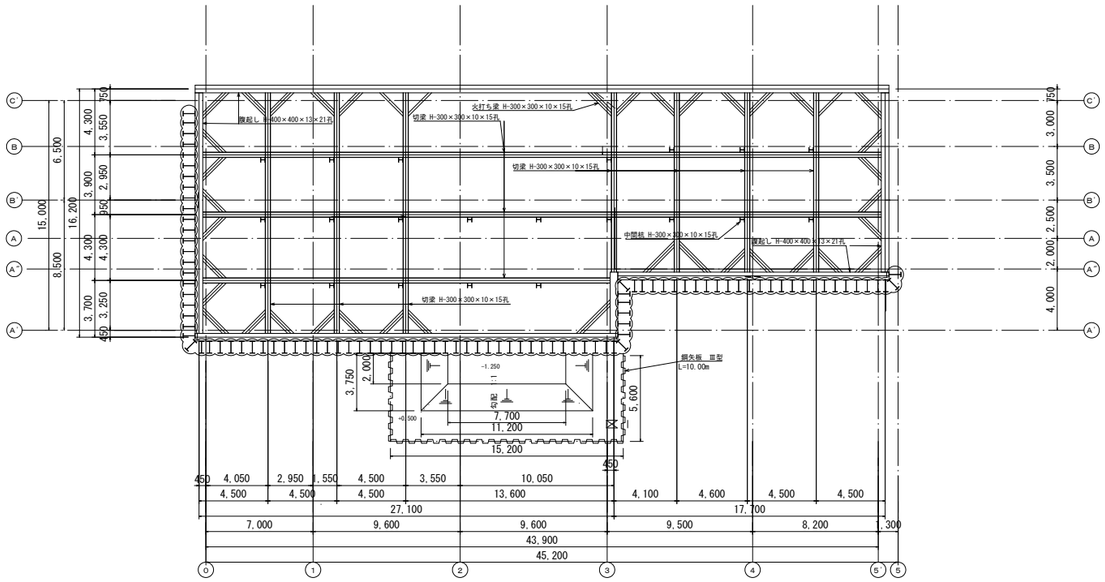


図面番号	C-04	縮 尺	1／200
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	支保工配置図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

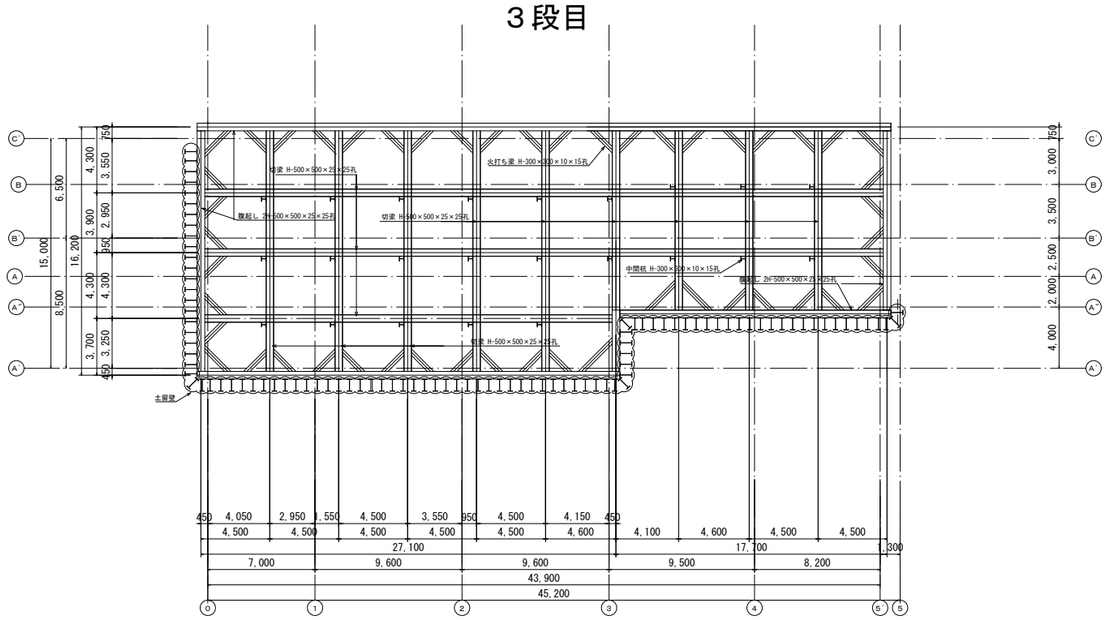
原図サイズ：A1

支保工配置図(3) 1/200

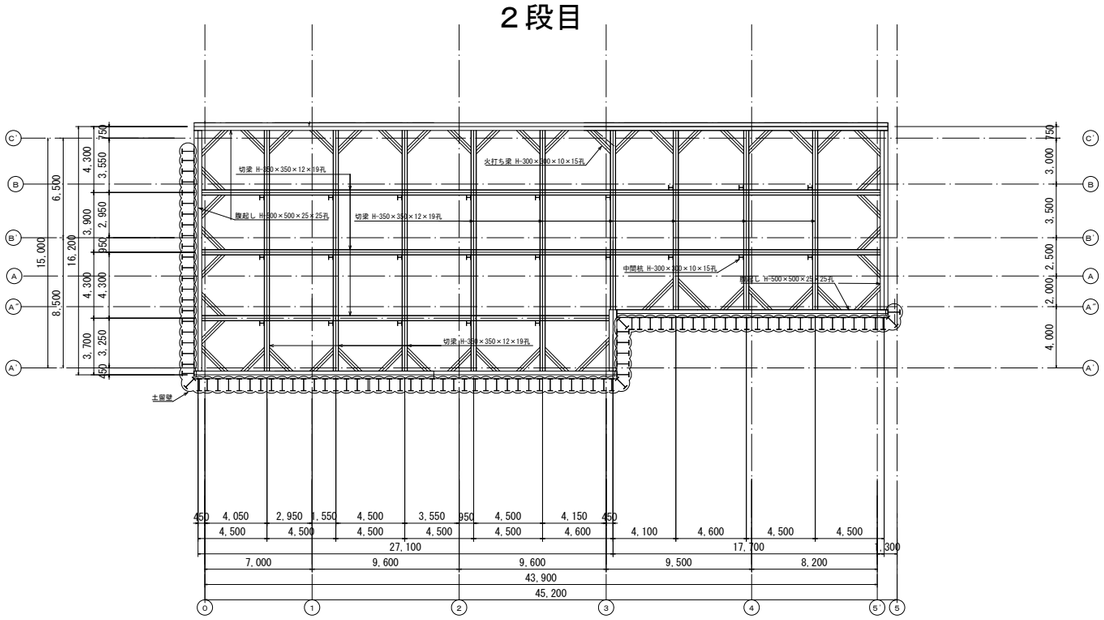
１段目



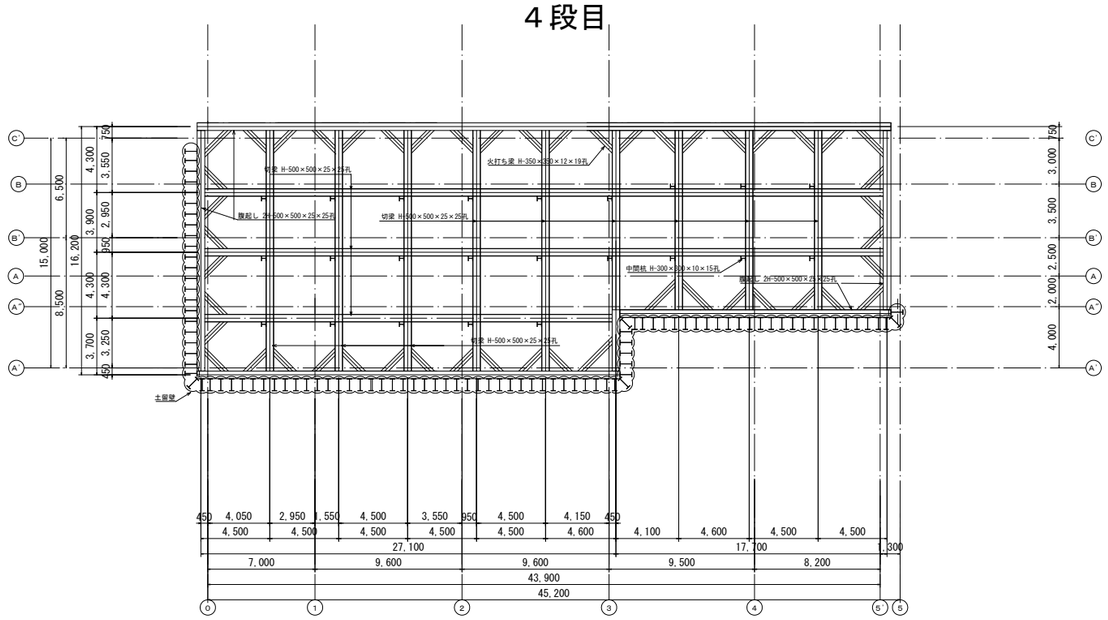
３段目



２段目



４段目

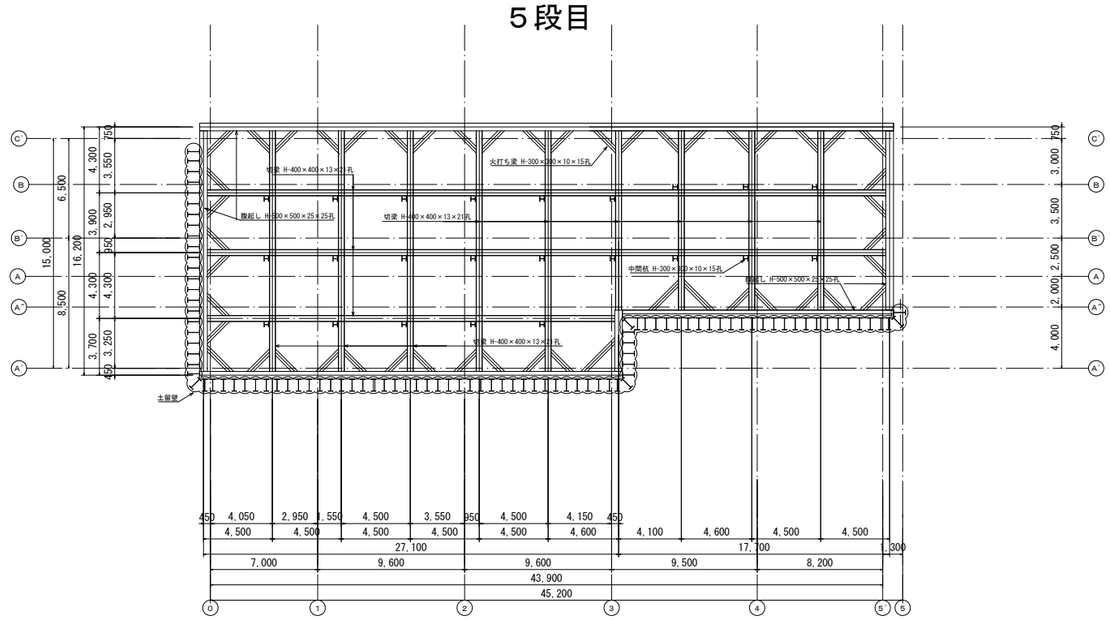


図面番号	C-05	縮 尺	1／200
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	支保工配置図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

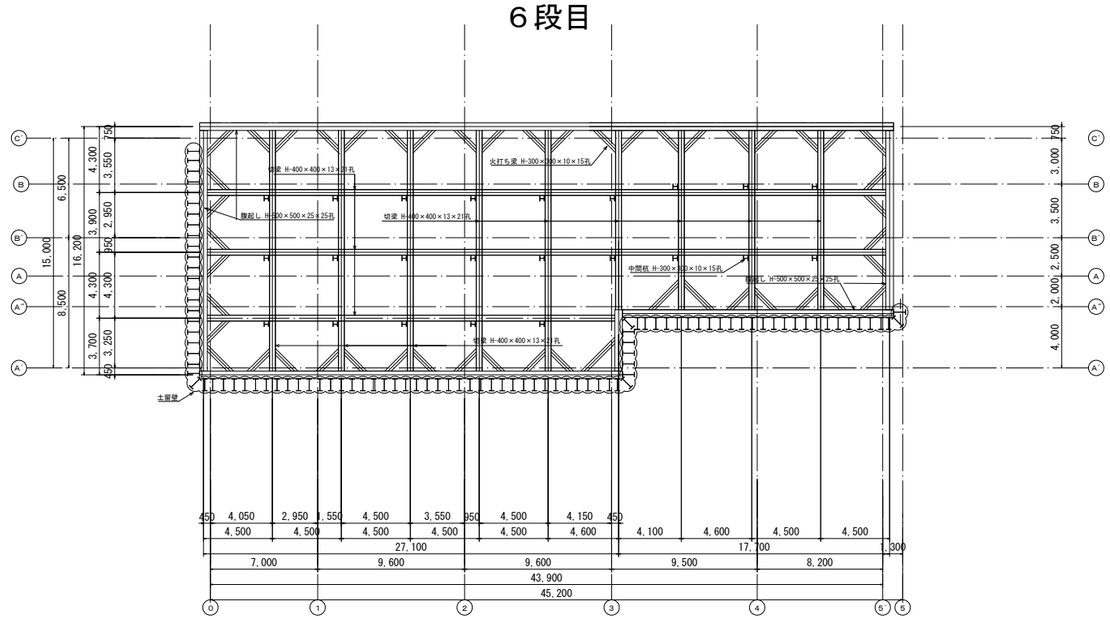
原図サイズ：A1

支保工配置図(4)　1/200

５段目



６段目

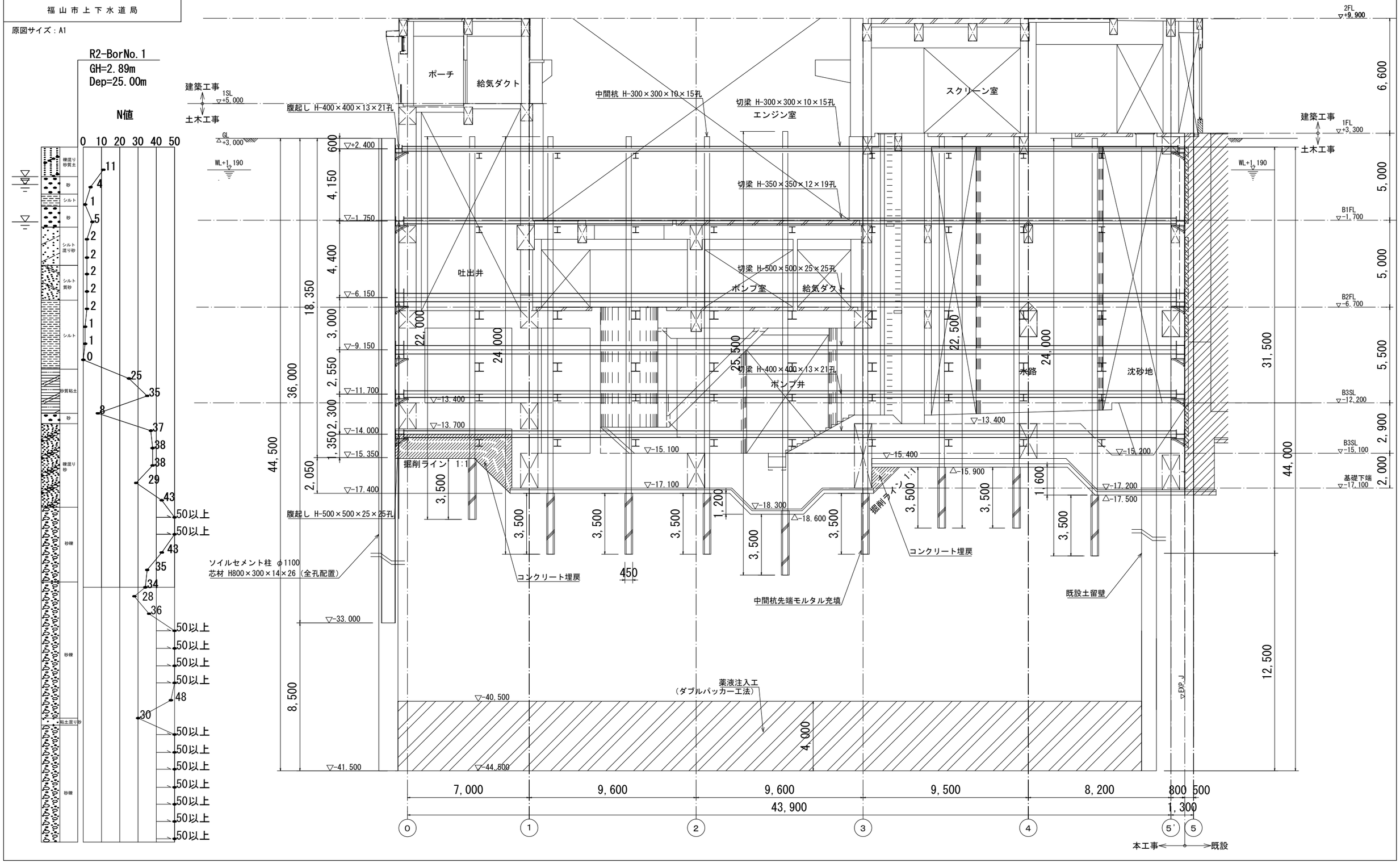


図面番号	C-06	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	仮設断面図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

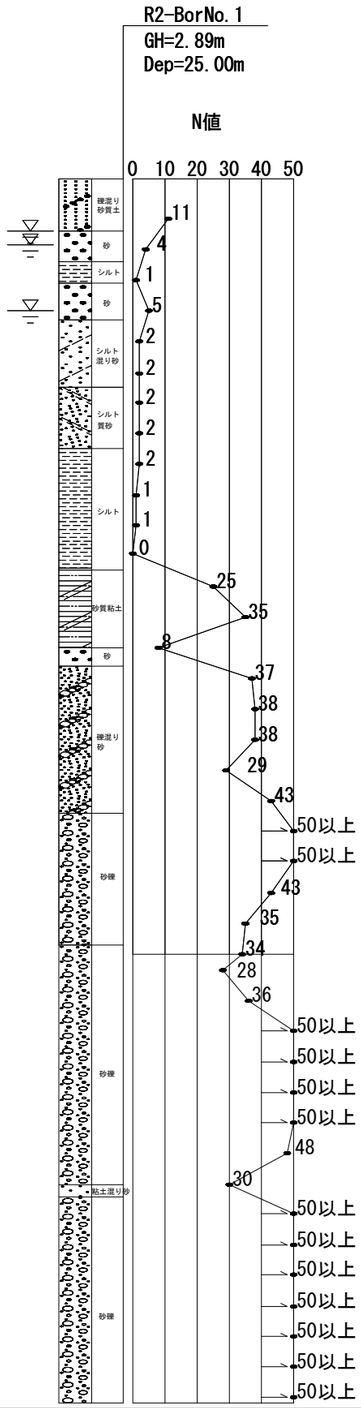
仮設断面図（1）　1/100

A-A断面図



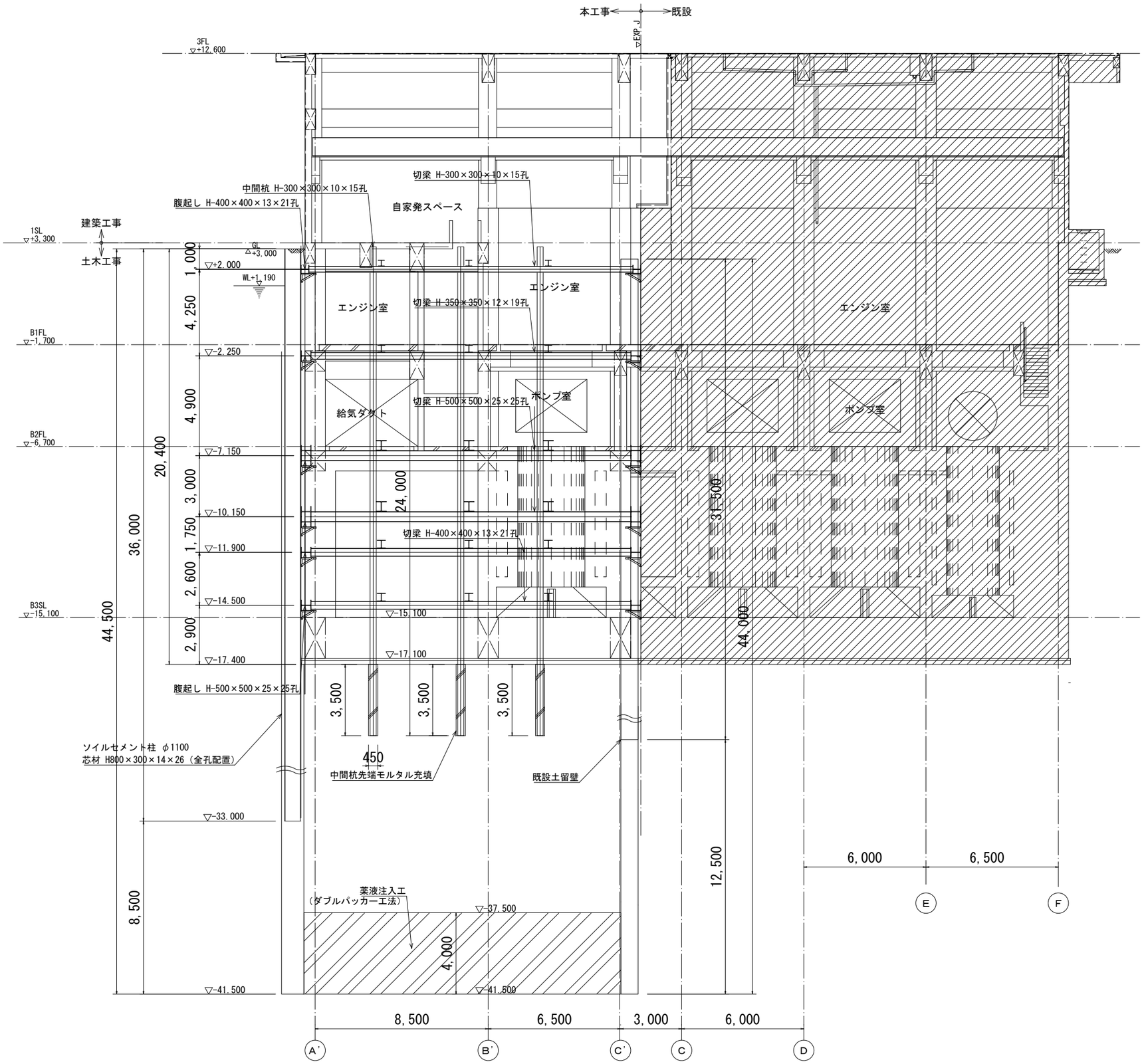
図面番号	C-07	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	仮設断面図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1



仮設断面図（２）　1/100

B-B断面図

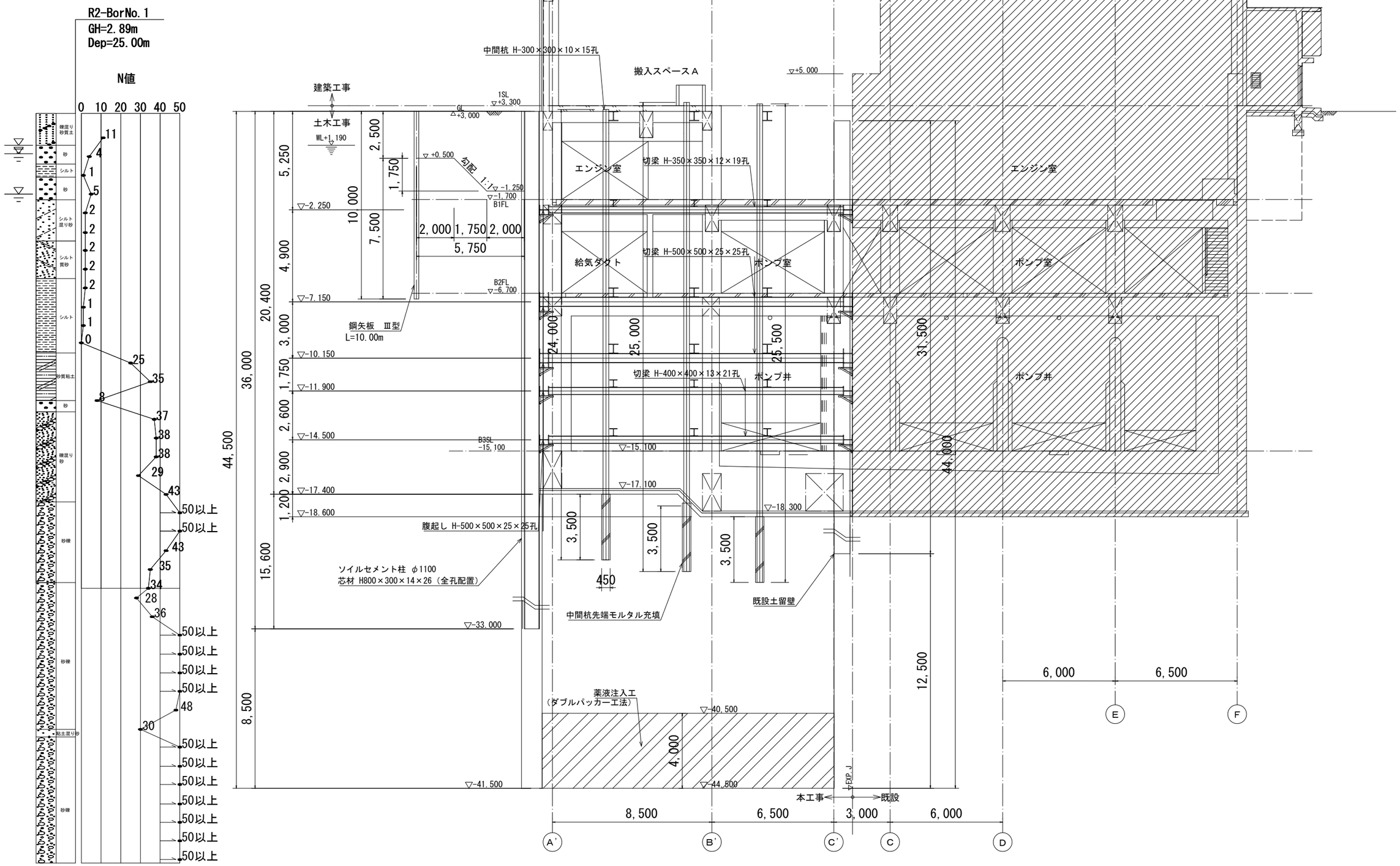


図面番号	C-08	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	仮設断面図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

仮設断面図（３）　1/100

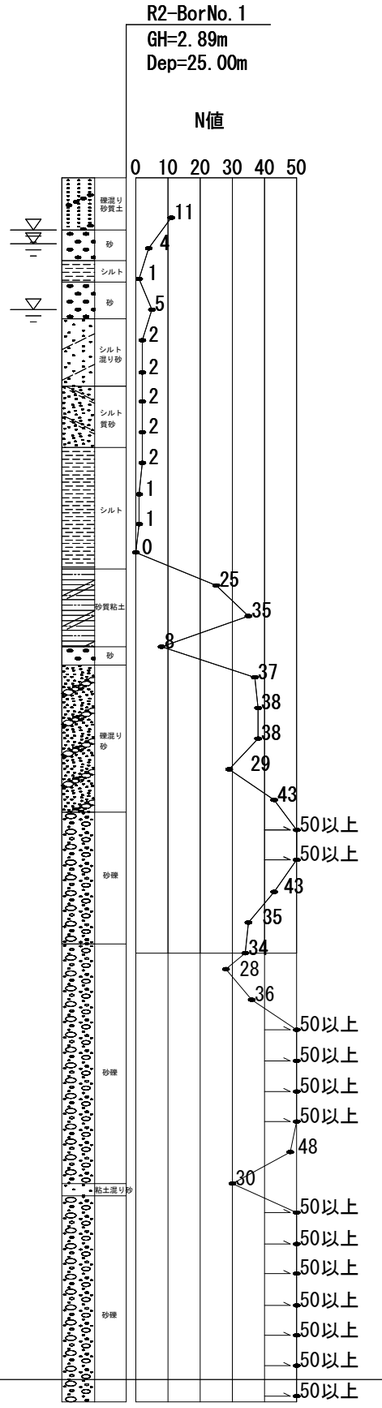
C-C断面図

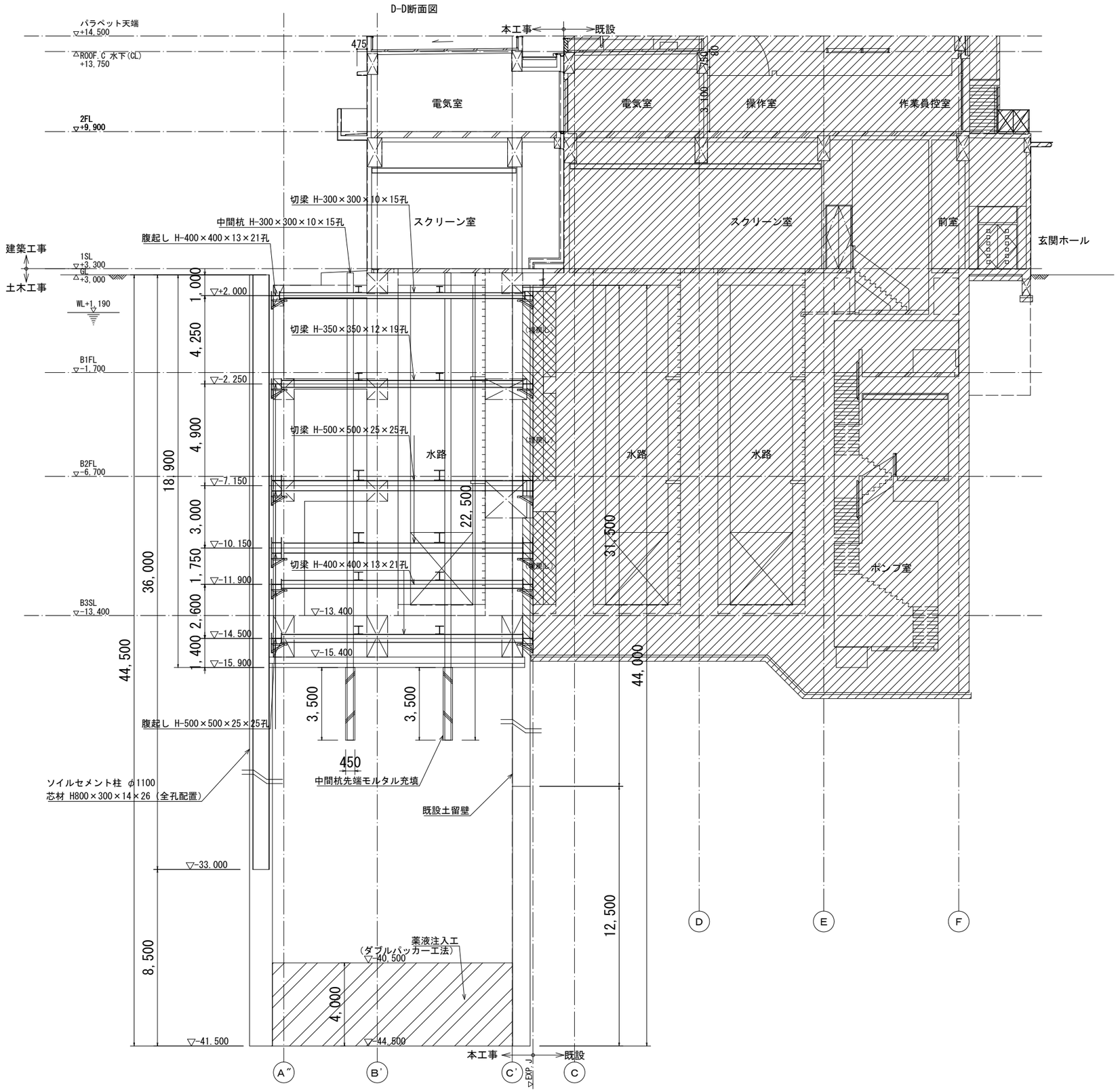


図面番号	C-09	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	仮設断面図（４）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

仮設断面図（４）　1/100

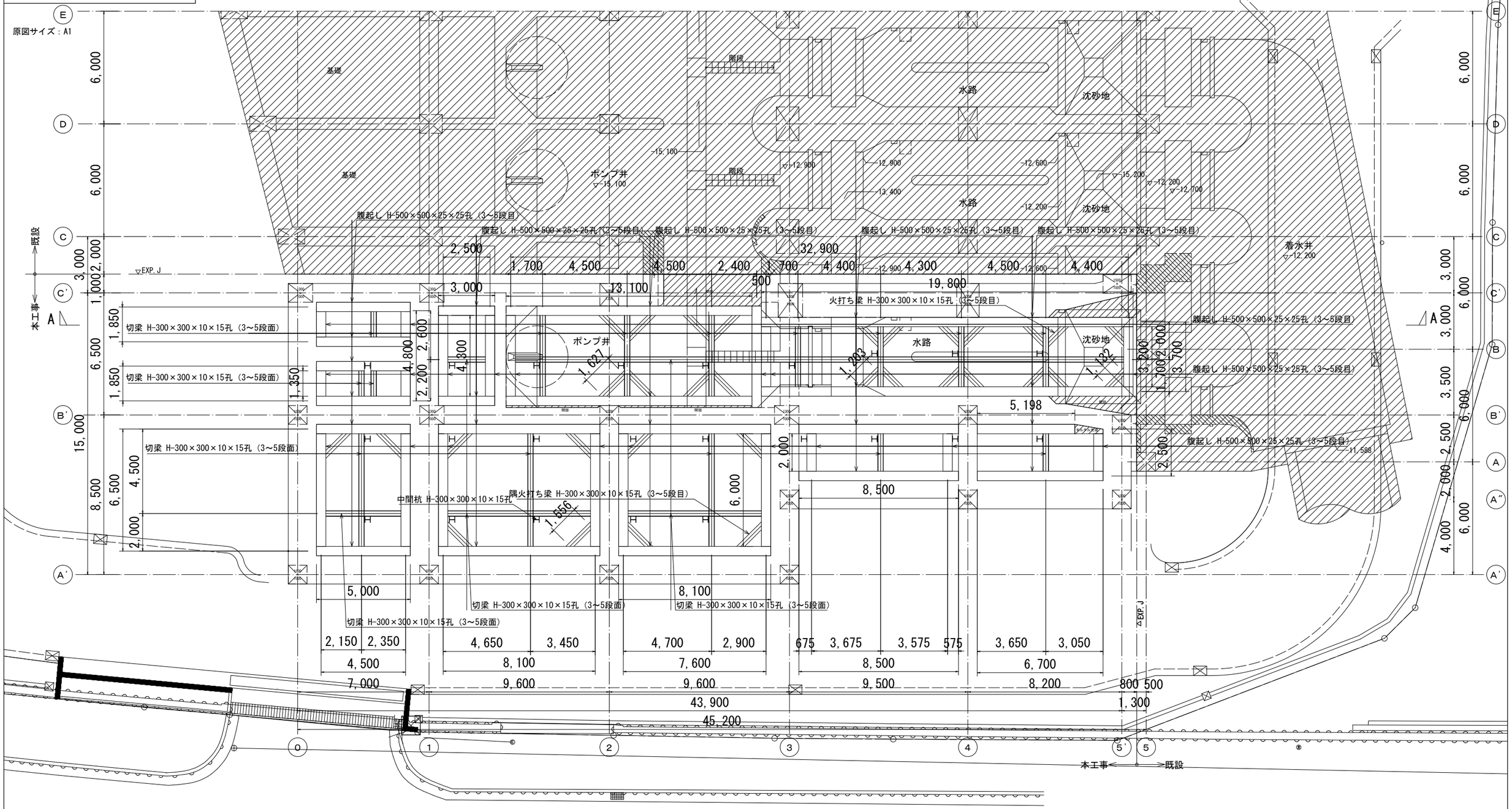




図面番号	C-10	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	盛替梁平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

盛替梁平面図　1/100

（３～５段目盛替梁）

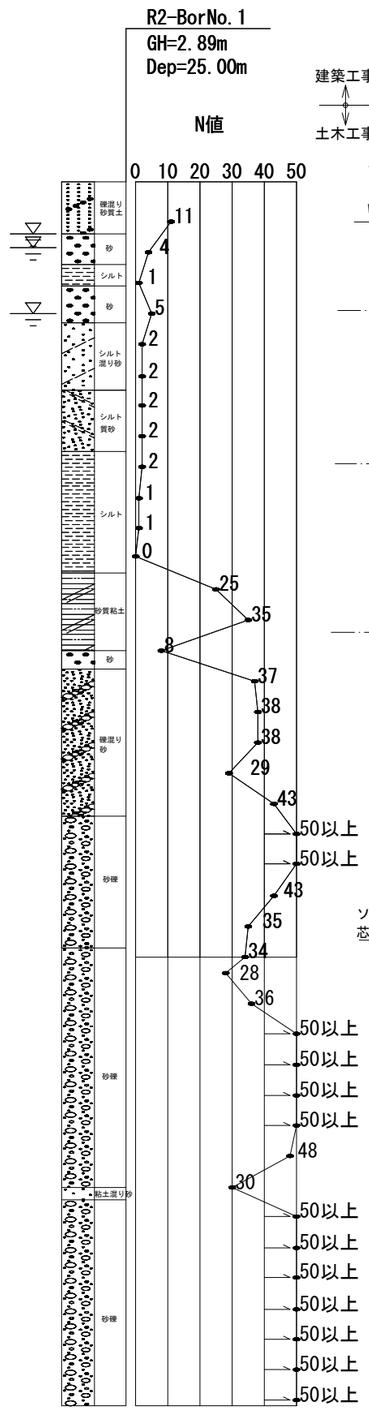


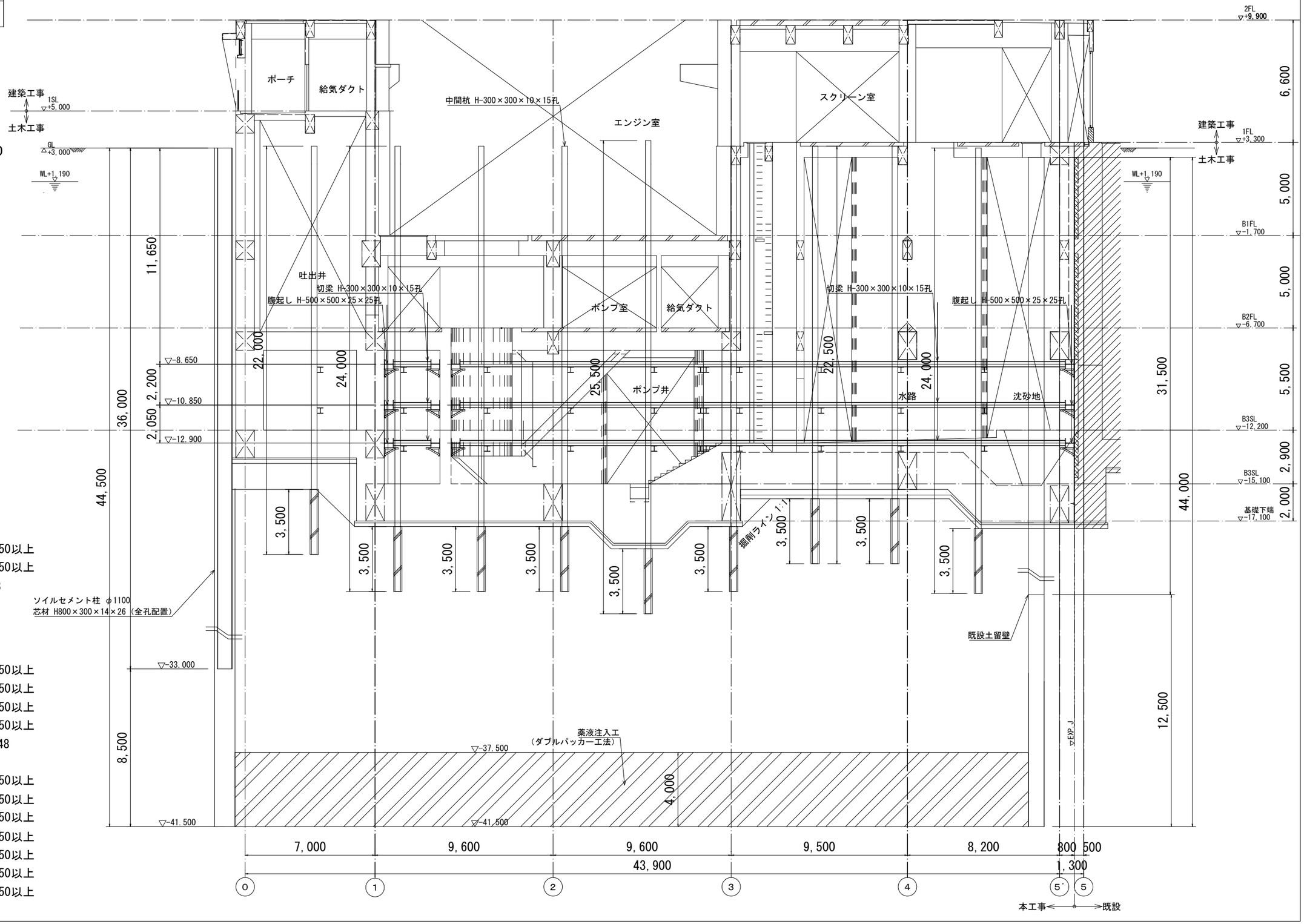
図面番号	C-11	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	盛替梁断面図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

盛替梁断面図（1）　1/100

A-A断面図



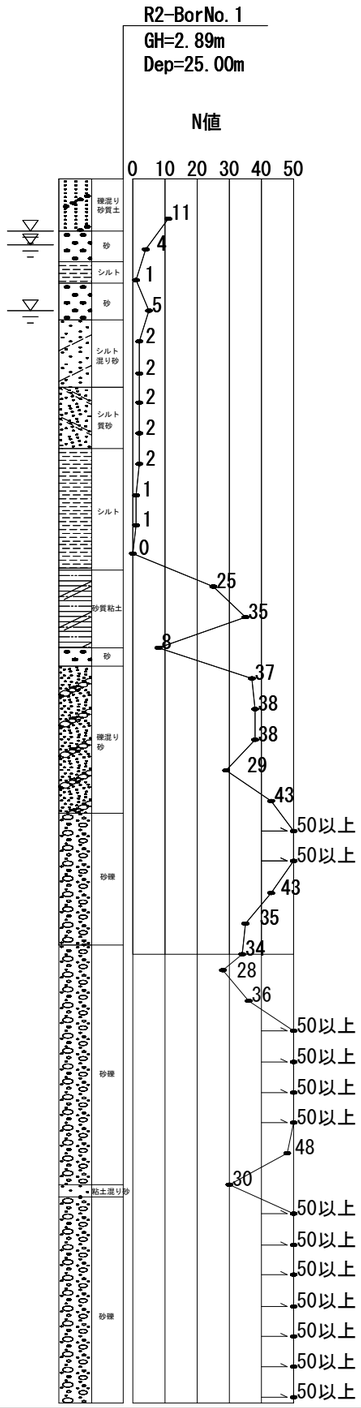


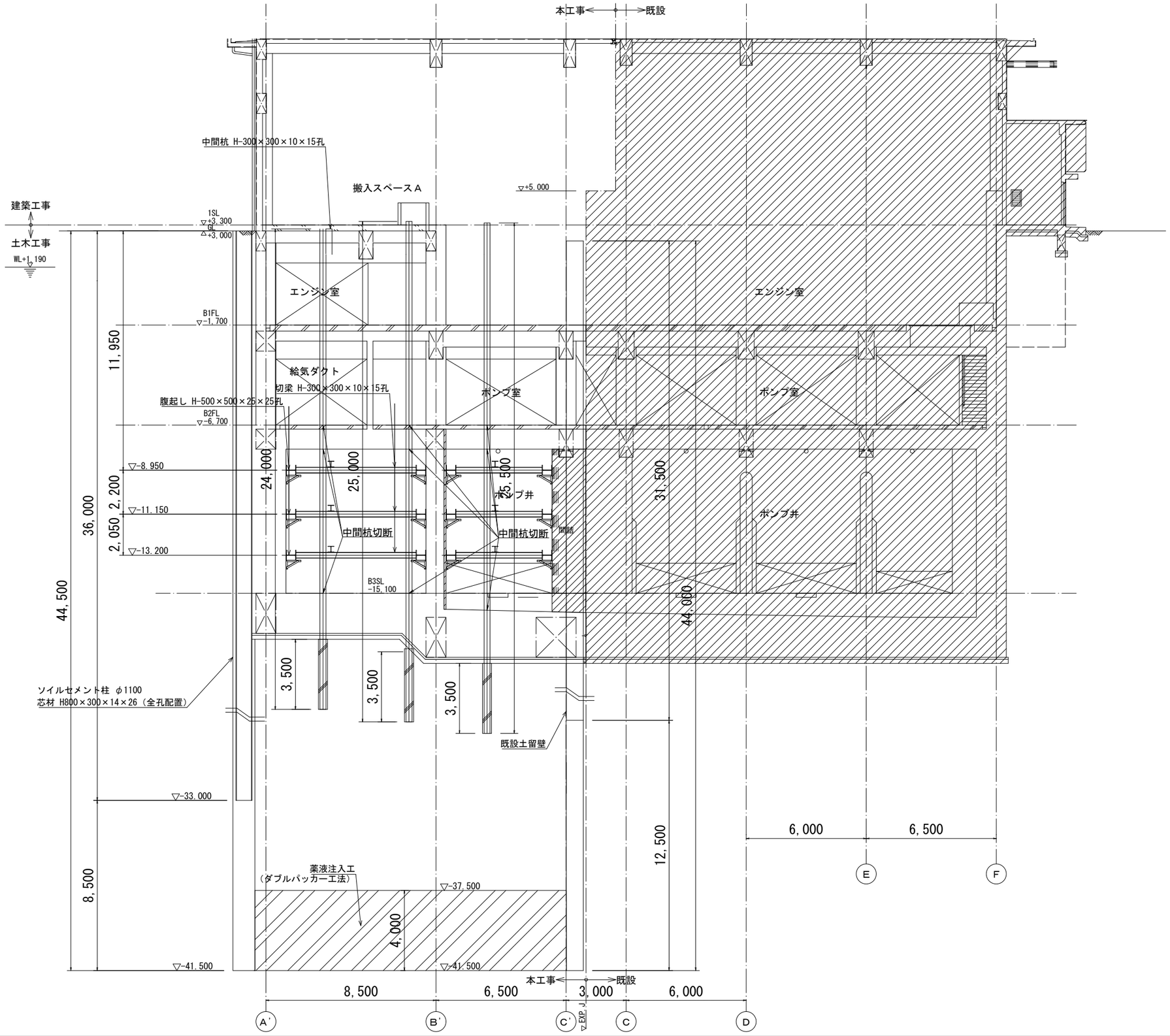
図面番号	C-12	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	盛替梁断面図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

盛替梁断面図（２）　1/100

C-C断面図



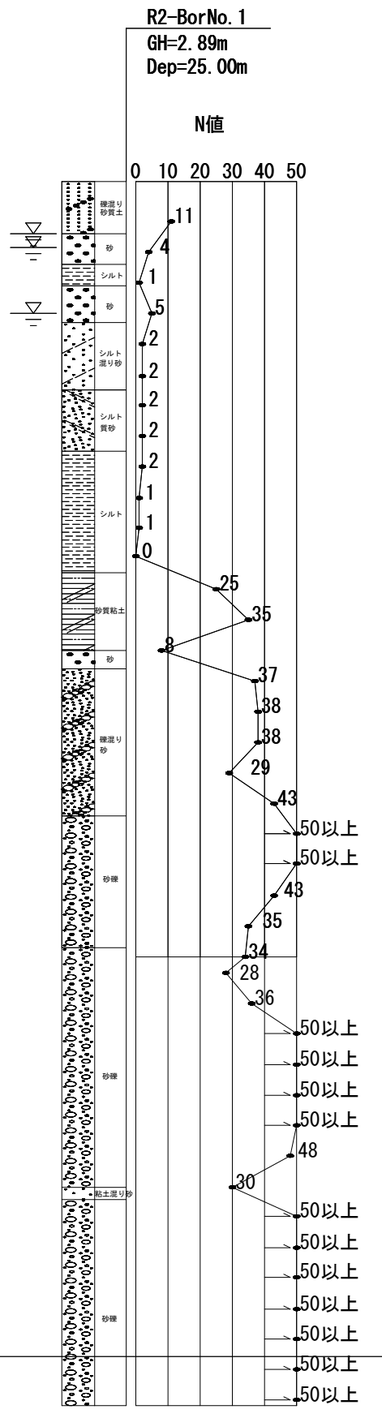


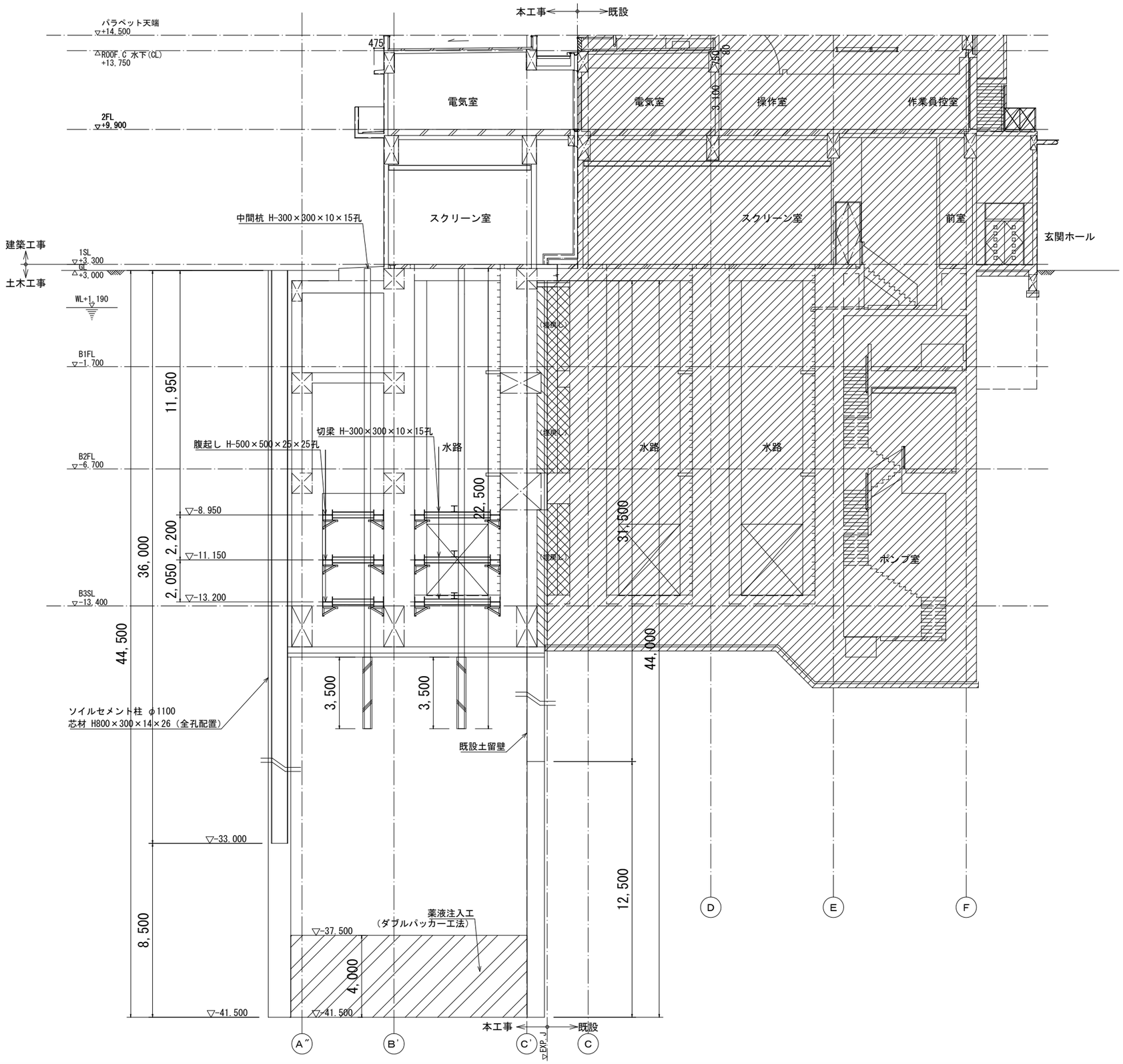
図面番号	C-13	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	盛替梁断面図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

盛替梁断面図（３）　1/100

D-D断面図



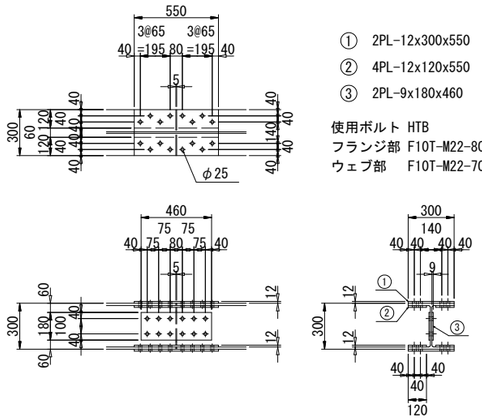


図面番号	C-14	縮 尺	図 示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種 別	土留工詳細図（参考図）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年 ５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

土留工詳細図（参考図） S=図 示

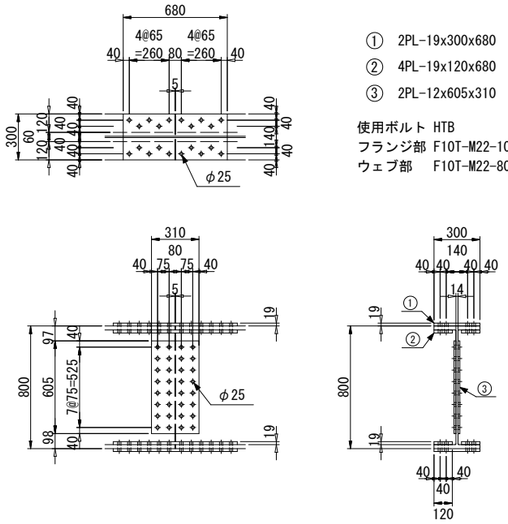
中間杭継手詳細図（参考） S=1/20



① 2PL-12x300x550
② 4PL-12x120x550
③ 2PL-9x180x460

使用ボルト HTB
フランジ部 F10T-M22-80 32本/ヶ所
ウェブ部 F10T-M22-70 12本/ヶ所

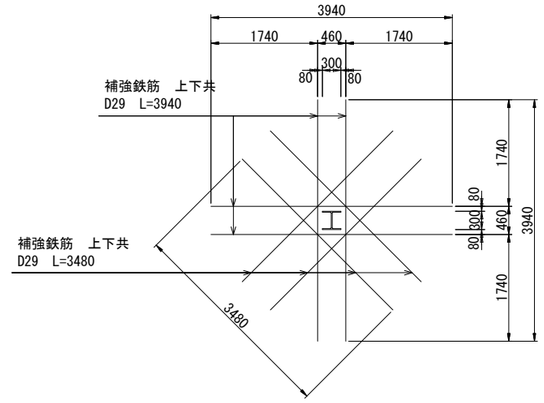
柱列壁芯材継手詳細図（参考）S=1/20



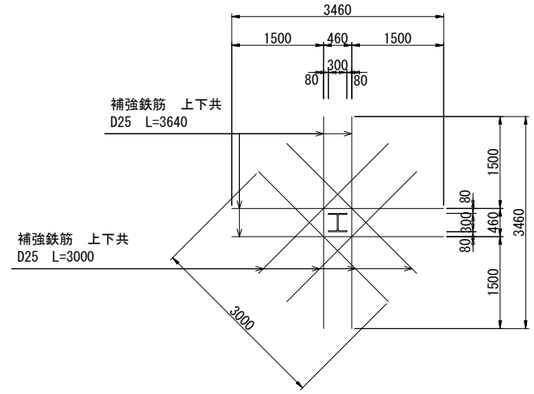
① 2PL-19x300x680
② 4PL-19x120x680
③ 2PL-12x605x310

使用ボルト HTB
フランジ部 F10T-M22-105 40本/ヶ所
ウェブ部 F10T-M22-80 30本/ヶ所

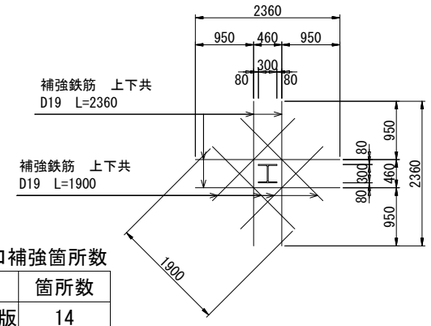
中間杭開口補強詳細図 S=1/50



ポンプ井底版

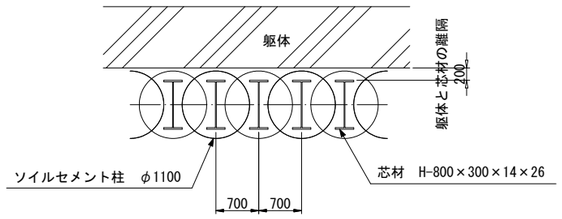


水路底版

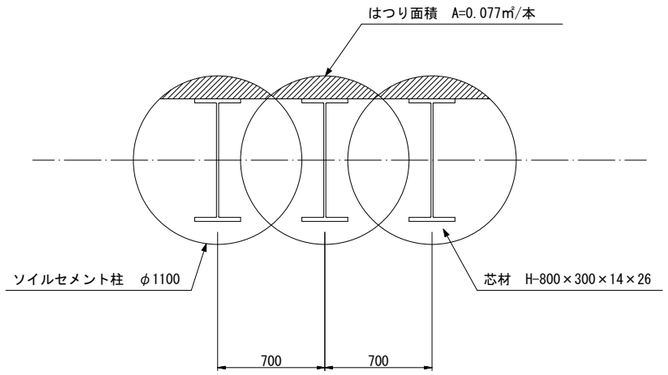


中床版

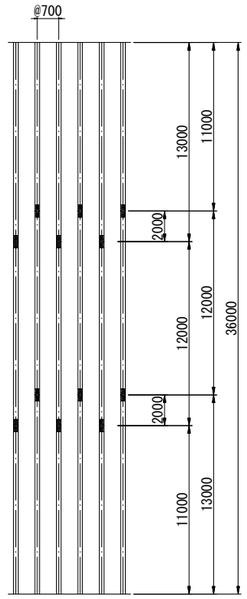
柱列壁平面詳細図 S=1/50



柱列壁はつり詳細図 S=1/20



柱列壁芯材継手位置図（参考）



1本当たり２箇所

中間杭開口補強箇所数

部 位	箇所数
ポンプ井底版	14
水路底版	9
中床版	46

図面番号	C-15	縮 尺	1／300
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	土留工施工手順図（1）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

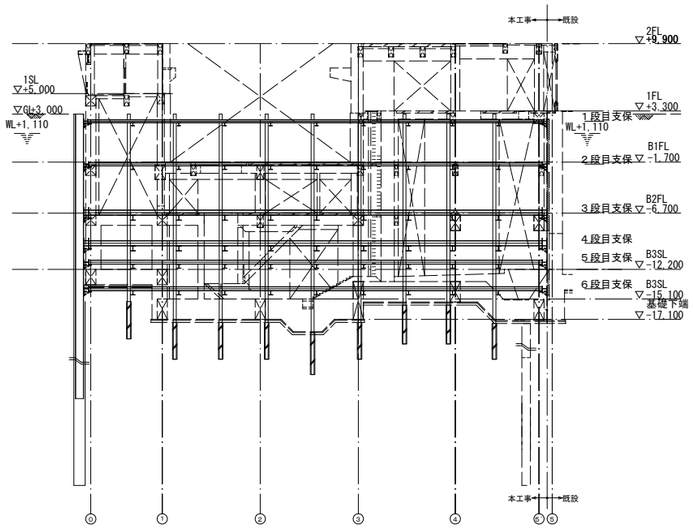
原図サイズ：A1

土留工施工手順図（１）　1/300

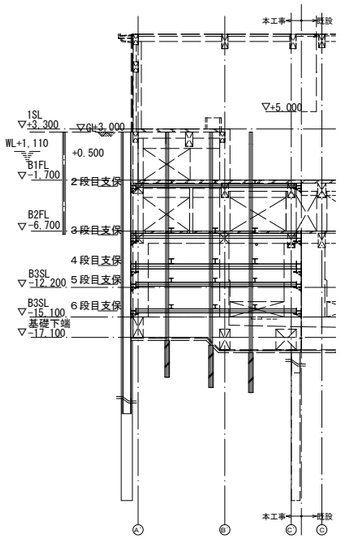
：施工範囲

最終掘削時

A-A断面図

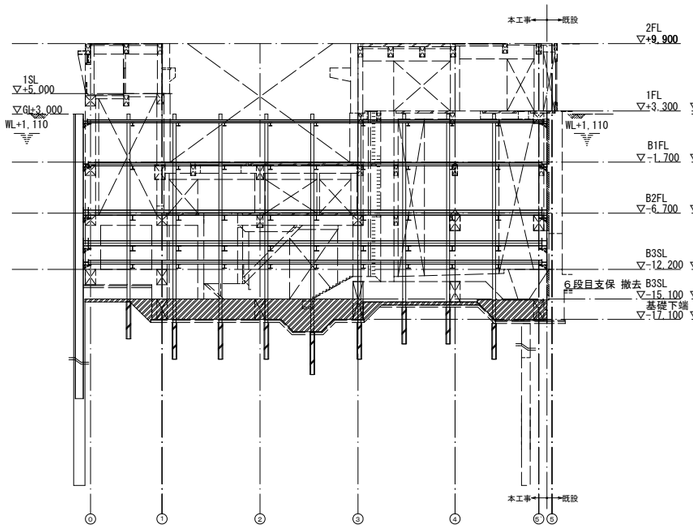


C-C断面図

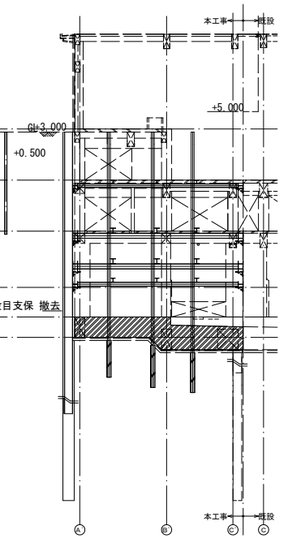


一次盛替時（6段目支保工撤去）

A-A断面図

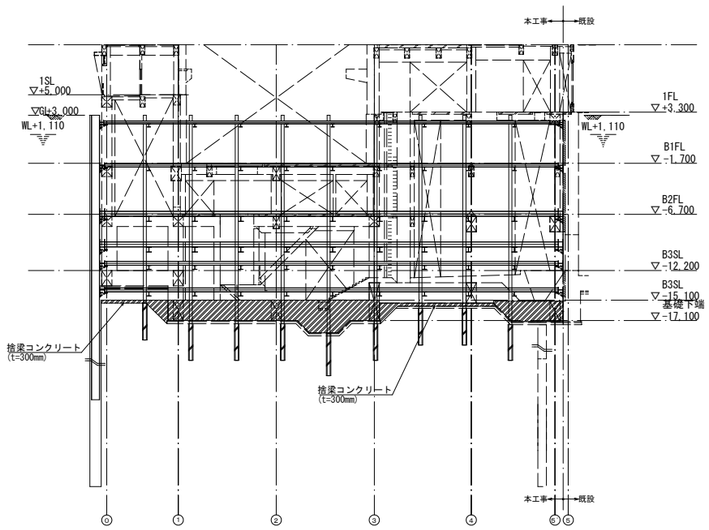


C-C断面図

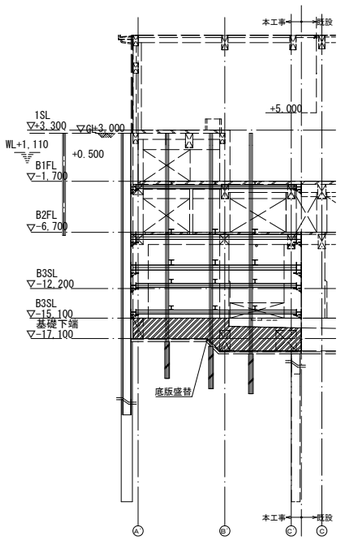


一次盛替時（底版設置）

A-A断面図

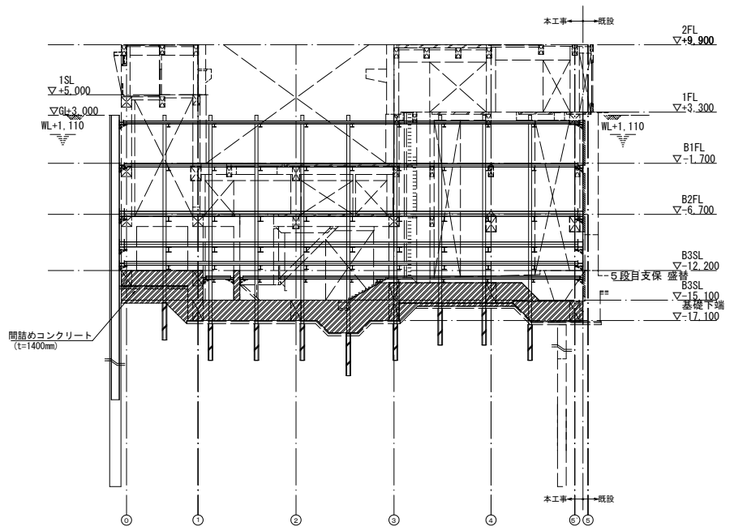


C-C断面図

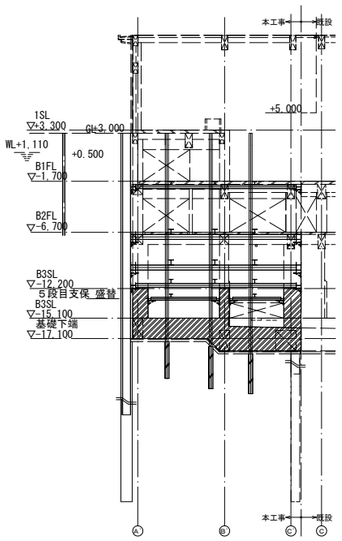


二次盛替時（底版･B3F側壁･5段目盛替支保工設置）

A-A断面図



C-C断面図



図面番号	C-16	縮 尺	1／300
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	土留工施工手順図（２）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

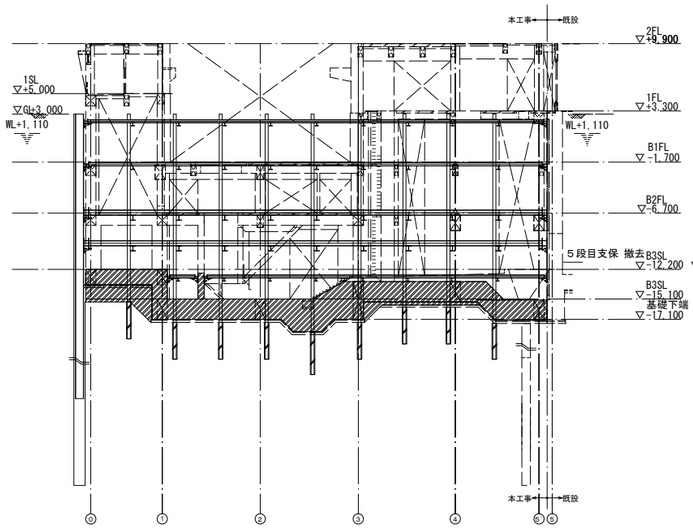
原図サイズ：A1

土留工施工手順図（２）　1/300

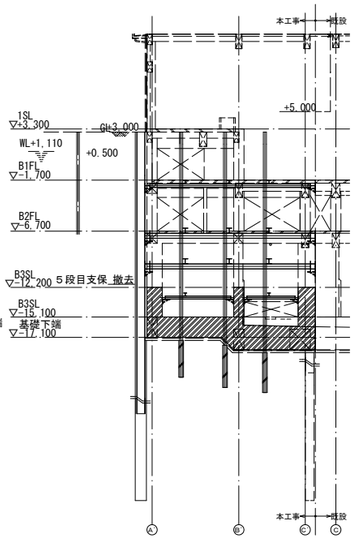
：施工範囲

二次盛替時（5段目支保工撤去）

A-A断面図

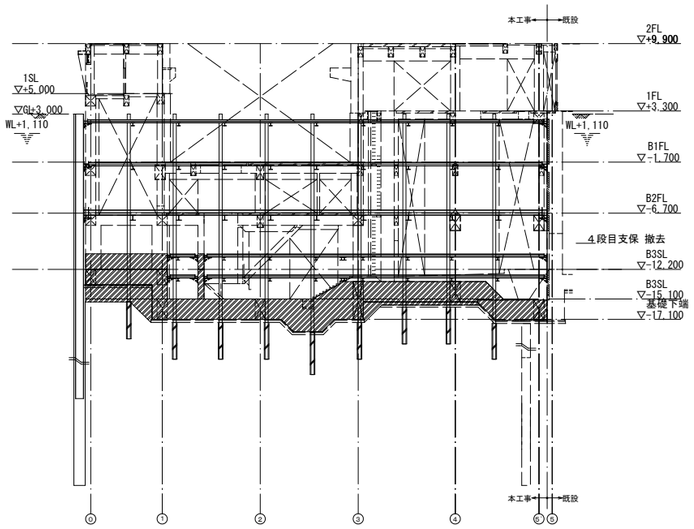


C-C断面図

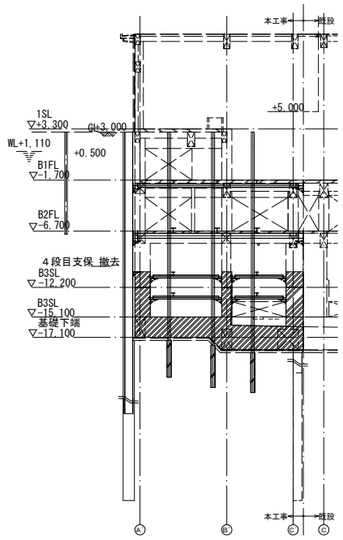


三次盛替時（4段目支保工撤去）

A-A断面図

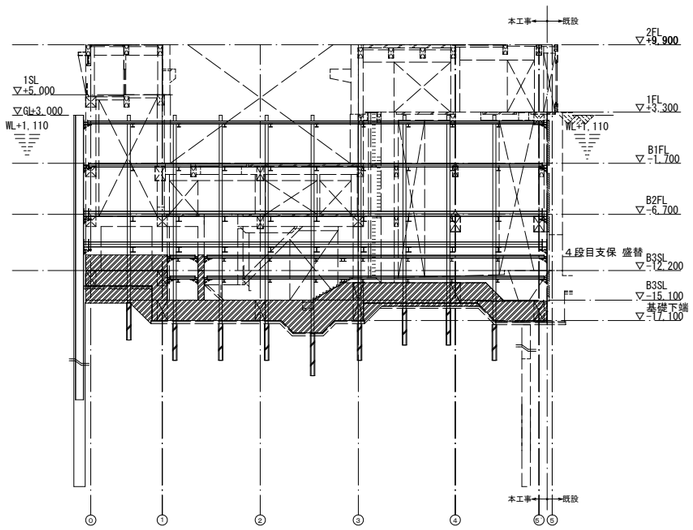


C-C断面図

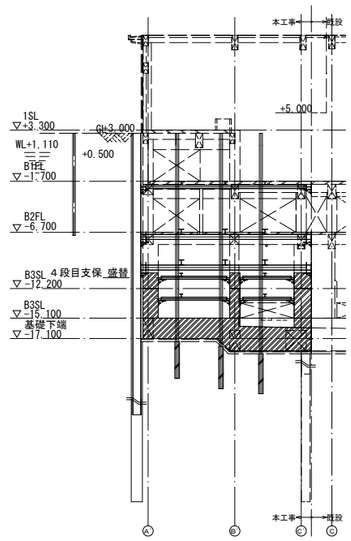


三次盛替時（B3F側壁･4段目盛替支保工設置）

A-A断面図

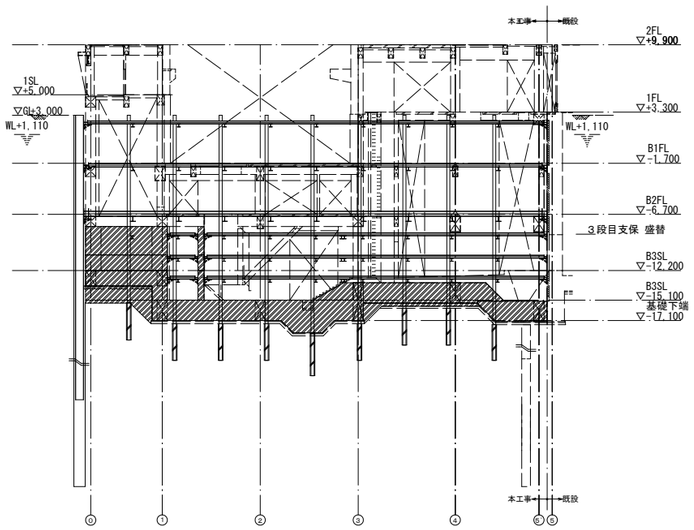


C-C断面図

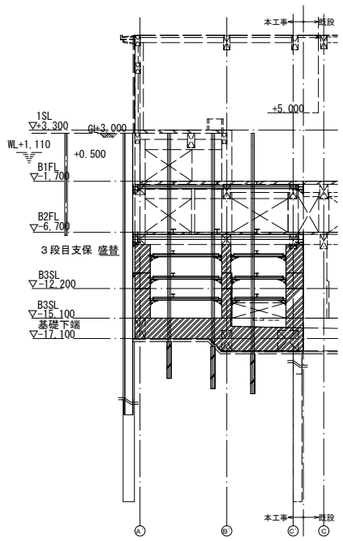


四次盛替時（B3F側壁･3段目盛替支保工設置）

A-A断面図



C-C断面図



図面番号	C-17	縮 尺	1／300
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	土留工施工手順図（３）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

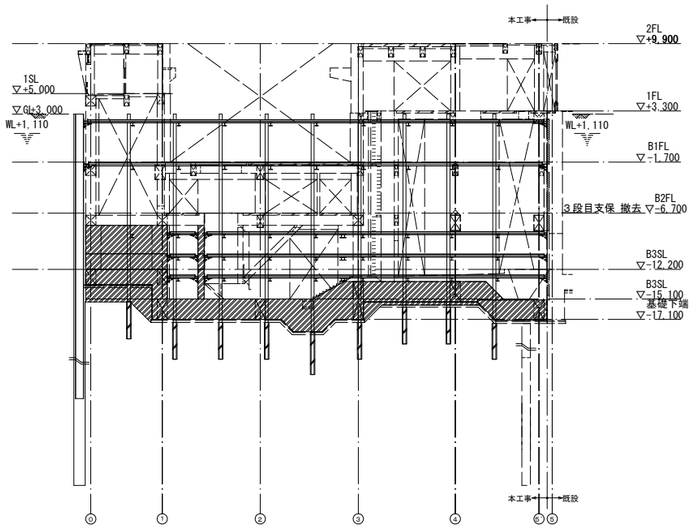
原図サイズ：A1

土留工施工手順図（３）　1/300

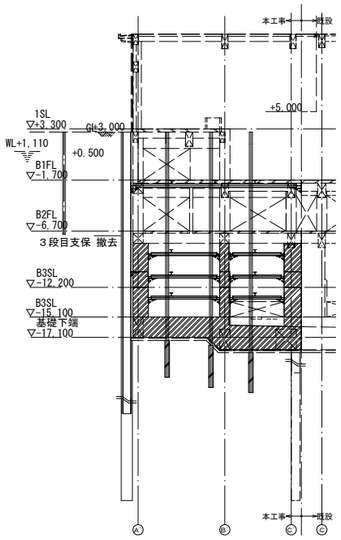
：施工範囲

（3段目支保工撤去）

A-A断面図

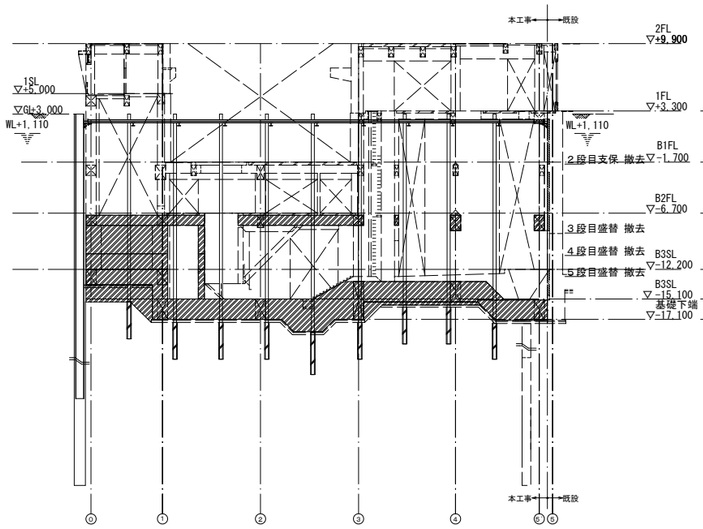


C-C断面図

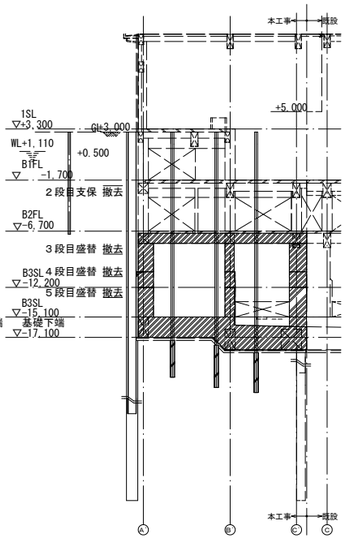


五次盛替時（5,4,3,2,段目支保工撤去）

A-A断面図

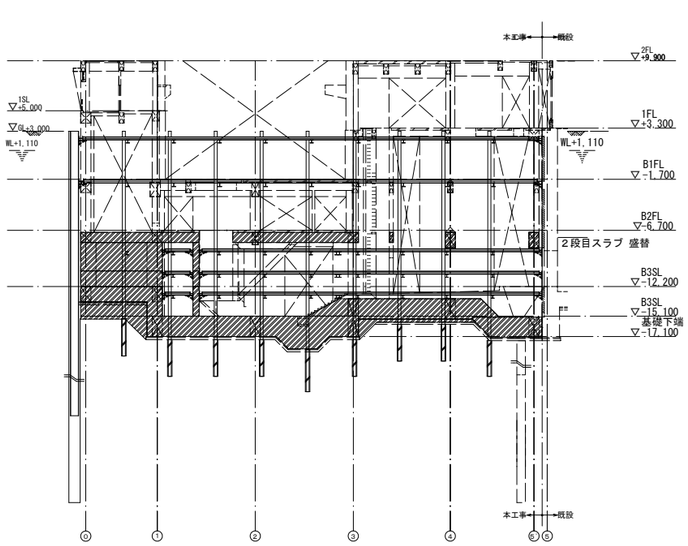


C-C断面図

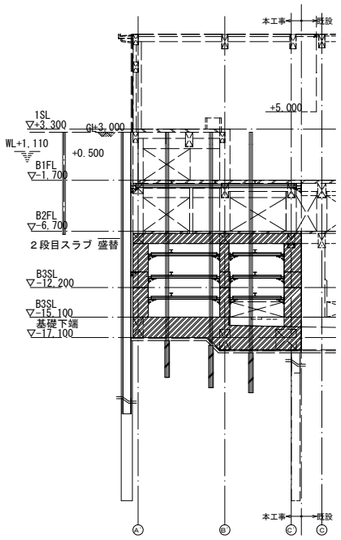


五次盛替時（B2Fスラブ盛替設置）

A-A断面図

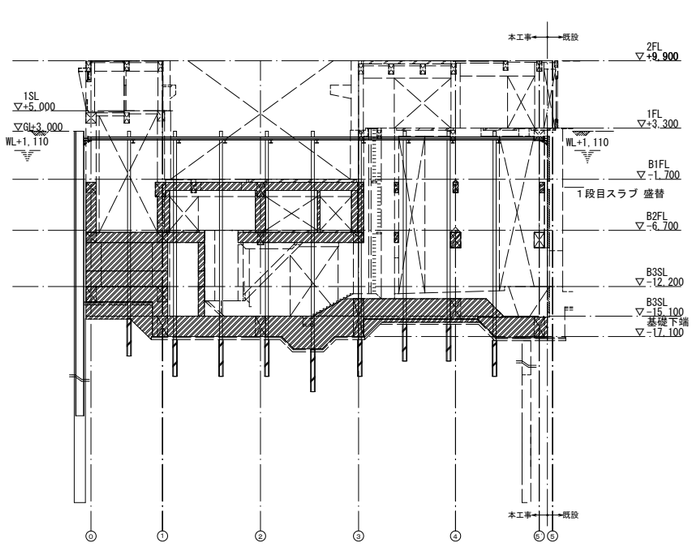


C-C断面図

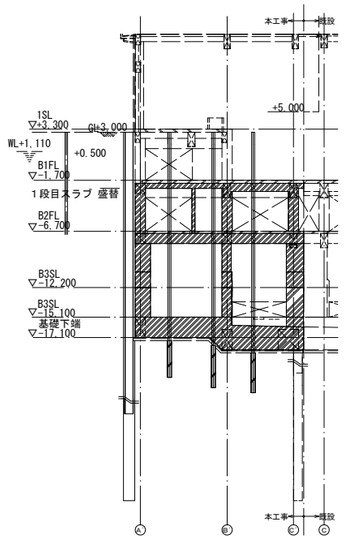


六次盛替時（B2F側壁･B1Fスラブ盛替設置）

A-A断面図



C-C断面図



図面番号	C-18	縮 尺	1／300
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	土留工施工手順図（4）	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

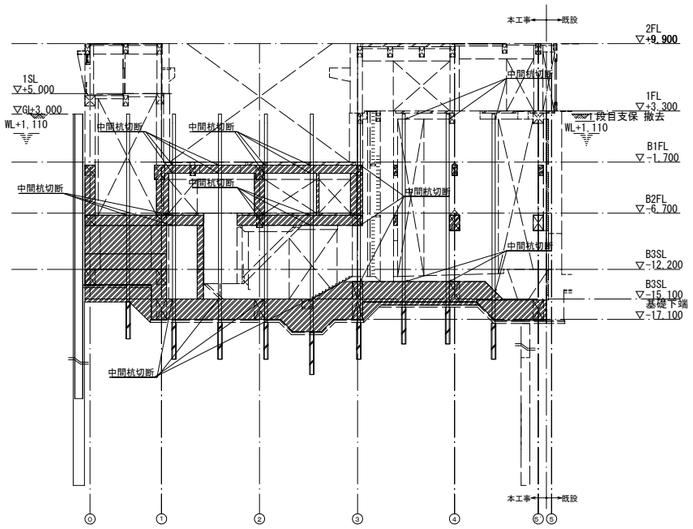
原図サイズ：A1

：施工範囲

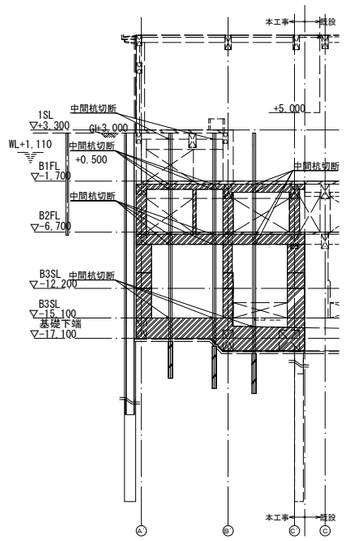
土留工施工手順図（４）　1/300

六次盛替時（1段目支保工撤去･中間杭切断）

A-A断面図

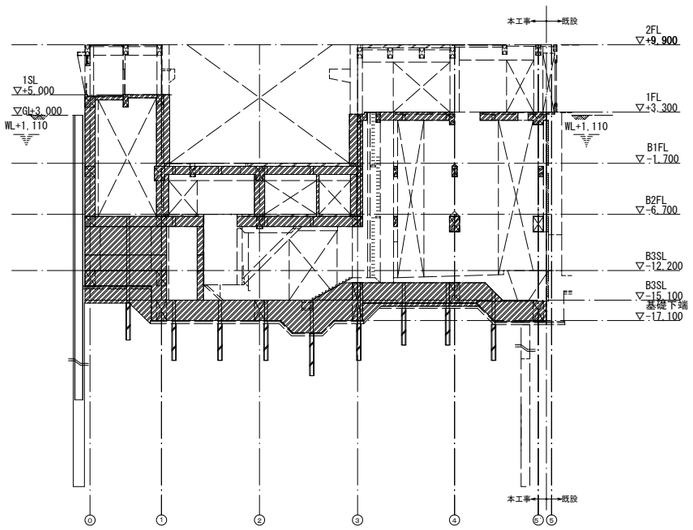


C-C断面図

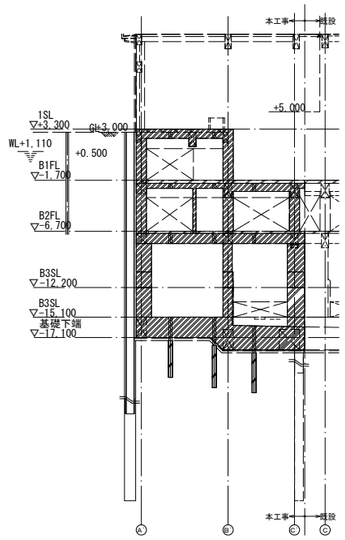


地下１階築造（B1F側壁･1Fスラブ設置）

A-A断面図



C-C断面図



図面番号	C-19	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	支保工重量表	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

支保工重量表　S=non

材　料　表

細　別	規　　格	長　さ (m)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	摘　要
柱列壁	H-800×300×14×26	36.000	97	207.0	7,452.0	722,844.0	SS400	
					合計	722,844.0kg		
中間杭	H-300×300×10×15	22.000	3	93.0	2,046.0	6,138.0	SS400	
〃	H-300×300×10×15	22.500	4	93.0	2,092.5	8,370.0	〃	
〃	H-300×300×10×15	24.000	14	93.0	2,232.0	31,248.0	〃	
〃	H-300×300×10×15	25.000	1	93.0	2,325.0	2,325.0	〃	
〃	H-300×300×10×15	25.500	1	93.0	2,371.5	2,372.0	〃	
					合計	50,453.0kg		
鋼矢板	Ⅲ型	10.000	66	60.0	600.0	39,600.0	SS400	
					合計	39,600.0kg		
覆工杭	H-350×350×9×14	9.000	8	135.0	1,215.0	9,720.0	SS400	
覆工版	208×1000×2000		34		424.0	14,416.0	〃	
主　桁	H-594×302×14×23	17.400	3	170.0	2,958.0	8,874.0	〃	
桁　受	H-400×400×13×21	5.000	4	172.0	860.0	3,440.0	〃	
高　欄	φ48.6×2.4	17.000	2	2.730	46.4	93.0	〃	
					合計	36,543.0kg		
腹起し	H-400×400×13×21	27.600	1	200.0	5,520.0	5,520.0	SS400	1段目
〃	H-400×400×13×21	15.900	1	200.0	3,180.0	3,180.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	45.300	1	200.0	9,060.0	9,060.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	11.900	1	200.0	2,380.0	2,380.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	17.700	1	200.0	3,540.0	3,540.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	4.000	1	200.0	800.0	800.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	27.600	1	300.0	8,280.0	8,280.0	〃	2段目
〃	H-500×500×25×25	15.700	1	300.0	4,710.0	4,710.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	45.300	1	300.0	13,590.0	13,590.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.700	1	300.0	3,510.0	3,510.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	17.700	1	300.0	5,310.0	5,310.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	4.000	1	300.0	1,200.0	1,200.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	27.600	2	300.0	8,280.0	16,560.0	〃	3段目
〃	H-500×500×25×25	15.700	2	300.0	4,710.0	9,420.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	45.300	2	300.0	13,590.0	27,180.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.700	2	300.0	3,510.0	7,020.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	17.700	2	300.0	5,310.0	10,620.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	4.000	2	300.0	1,200.0	2,400.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	27.600	2	300.0	8,280.0	16,560.0	〃	4段目
〃	H-500×500×25×25	15.700	2	300.0	4,710.0	9,420.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	45.300	2	300.0	13,590.0	27,180.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.700	2	300.0	3,510.0	7,020.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	17.700	2	300.0	5,310.0	10,620.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	4.000	2	300.0	1,200.0	2,400.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	27.600	1	300.0	8,280.0	8,280.0	〃	5段目
〃	H-500×500×25×25	15.700	1	300.0	4,710.0	4,710.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	45.300	1	300.0	13,590.0	13,590.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.700	1	300.0	3,510.0	3,510.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	17.700	1	300.0	5,310.0	5,310.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	4.000	1	300.0	1,200.0	1,200.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	27.600	1	300.0	8,280.0	8,280.0	〃	6段目
〃	H-500×500×25×25	15.700	1	300.0	4,710.0	4,710.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	45.300	1	300.0	13,590.0	13,590.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.700	1	300.0	3,510.0	3,510.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	17.700	1	300.0	5,310.0	5,310.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	4.000	1	300.0	1,200.0	1,200.0	〃	〃
					合計	280,680.0kg		

	掘削幅 (m)	掘削深 (m)	掘削延長 (m)	掘削土量 (m)
ガイド工	1.5	1.0	66	99

細　別	規　　格	長　さ (m)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	摘　要
切　梁	H-300×300×10×15	11.400	4	100.0	1,140.0	4,560.0	SS400	1段目
〃	H-300×300×10×15	15.400	3	100.0	1,540.0	4,620.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	26.300	1	100.0	2,630.0	2,630.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	44.000	2	100.0	4,400.0	8,800.0	〃	〃
〃	H-350×350×12×19	11.200	4	150.0	1,680.0	6,720.0	〃	2段目
〃	H-350×350×12×19	15.200	5	150.0	2,280.0	11,400.0	〃	〃
〃	H-350×350×12×19	26.100	1	150.0	3,915.0	3,915.0	〃	〃
〃	H-350×350×12×19	43.800	2	150.0	6,570.0	13,140.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.200	4	300.0	3,360.0	13,440.0	〃	3段目
〃	H-500×500×25×25	15.200	5	300.0	4,560.0	22,800.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	26.100	1	300.0	7,830.0	7,830.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	43.800	2	300.0	13,140.0	26,280.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	11.200	4	300.0	3,360.0	13,440.0	〃	4段目
〃	H-500×500×25×25	15.200	5	300.0	4,560.0	22,800.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	26.100	1	300.0	7,830.0	7,830.0	〃	〃
〃	H-500×500×25×25	43.800	2	300.0	13,140.0	26,280.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	11.200	4	200.0	2,240.0	8,960.0	〃	5段目
〃	H-400×400×13×21	15.200	5	200.0	3,040.0	15,200.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	26.100	1	200.0	5,220.0	5,220.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	43.800	2	200.0	8,760.0	17,520.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	11.200	4	200.0	2,240.0	8,960.0	〃	6段目
〃	H-400×400×13×21	15.200	5	200.0	3,040.0	15,200.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	26.100	1	200.0	5,220.0	5,220.0	〃	〃
〃	H-400×400×13×21	43.800	2	200.0	8,760.0	17,520.0	〃	〃
					合計	290,285.0kg		
切梁火打	H-300×300×10×15	1.015	34	100.0	101.5	3,451.0	〃	1段目
〃	H-300×300×10×15	1.722	2	100.0	172.2	344.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.874	42	100.0	87.4	3,671.0	〃	2段目
〃	H-300×300×10×15	1.581	2	100.0	158.1	316.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.874	42	100.0	87.4	3,671.0	〃	3段目
〃	H-300×300×10×15	1.581	2	100.0	158.1	316.0	〃	〃
〃	H-350×350×12×19	0.874	42	150.0	131.1	5,506.0	〃	4段目
〃	H-350×350×12×19	1.581	2	150.0	237.2	474.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.874	42	100.0	87.4	3,671.0	〃	5段目
〃	H-300×300×10×15	1.581	2	100.0	158.1	316.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.874	42	100.0	87.4	3,671.0	〃	6段目
〃	H-300×300×10×15	1.581	2	100.0	158.1	316.0	〃	〃
					合計	25,723.0kg		
隅打火打	H-300×300×10×15	1.405	4	100.0	140.5	562.0	〃	1段目
〃	H-300×300×10×15	2.111	1	100.0	211.1	211.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	1.122	4	100.0	112.2	449.0	〃	2段目
〃	H-300×300×10×15	1.828	1	100.0	182.8	183.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	1.122	4	100.0	112.2	449.0	〃	3段目
〃	H-300×300×10×15	1.828	1	100.0	182.8	183.0	〃	〃
〃	H-350×350×12×19	1.122	4	150.0	168.3	673.0	〃	4段目
〃	H-350×350×12×19	1.828	1	150.0	274.2	274.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	1.122	4	100.0	112.2	449.0	〃	5段目
〃	H-300×300×10×15	1.828	1	100.0	182.8	183.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	1.122	4	100.0	112.2	449.0	〃	6段目
〃	H-300×300×10×15	1.828	1	100.0	182.8	183.0	〃	〃
					合計	4,248.0kg		
主部材合計					合計	1,450,376.0kg		
副部材（A）		主要部材重量×0.22			合計	319,082.7kg		
副部材（B）		主要部材重量×0.04			合計	58,015.0kg		
支保工合計					合計	1,827,473.7kg		

※切梁長はジャッキ分0.5mを控除した長さ。
※切梁火打長は火打ピース分0.5m×2を控除した長さ。
※隅火打長は火打ピース分0.5m×2を控除した長さ。

図面番号	C-20	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	盛替梁支保工重量表	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

盛替梁支保工重量表 S=non

材　料　表

細　別	規　　格	長　さ (m)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	摘　要
腹起し	H-500×500×25×25	1.350	4	300.0	405.0	1,620.0	SS400	3段目
〃	H-500×500×25×25	2.000	3	300.0	600.0	1,800.0	SS401	〃
〃	H-500×500×25×25	3.000	2	300.0	900.0	1,800.0	SS402	〃
〃	H-500×500×25×25	4.200	2	300.0	1,260.0	2,520.0	SS403	〃
〃	H-500×500×25×25	5.000	6	300.0	1,500.0	9,000.0	SS404	〃
〃	H-500×500×25×25	4.300	1	300.0	1,290.0	1,290.0	SS405	〃
〃	H-500×500×25×25	5.198	3	300.0	1,559.4	4,678.0	SS406	〃
〃	H-500×500×25×25	5.400	1	300.0	1,620.0	1,620.0	SS407	〃
〃	H-500×500×25×25	6.000	6	300.0	1,800.0	10,800.0	SS408	〃
〃	H-500×500×25×25	6.700	1	300.0	2,010.0	2,010.0	SS409	〃
〃	H-500×500×25×25	8.100	2	300.0	2,430.0	4,860.0	SS410	〃
〃	H-500×500×25×25	8.500	2	300.0	2,550.0	5,100.0	SS411	〃
〃	H-500×500×25×25	8.600	2	300.0	2,580.0	5,160.0	SS412	〃
〃	H-500×500×25×25	13.100	2	300.0	3,930.0	7,860.0	SS413	〃
〃	H-500×500×25×25	19.800	2	300.0	5,940.0	11,880.0	SS414	〃
〃	H-500×500×25×25	1.350	4	300.0	405.0	1,620.0	SS415	4段目
〃	H-500×500×25×25	2.000	3	300.0	600.0	1,800.0	SS416	〃
〃	H-500×500×25×25	3.000	2	300.0	900.0	1,800.0	SS417	〃
〃	H-500×500×25×25	4.200	2	300.0	1,260.0	2,520.0	SS418	〃
〃	H-500×500×25×25	5.000	6	300.0	1,500.0	9,000.0	SS419	〃
〃	H-500×500×25×25	4.300	1	300.0	1,290.0	1,290.0	SS420	〃
〃	H-500×500×25×25	5.198	3	300.0	1,559.4	4,678.0	SS421	〃
〃	H-500×500×25×25	5.400	1	300.0	1,620.0	1,620.0	SS422	〃
〃	H-500×500×25×25	6.000	6	300.0	1,800.0	10,800.0	SS423	〃
〃	H-500×500×25×25	6.700	1	300.0	2,010.0	2,010.0	SS424	〃
〃	H-500×500×25×25	8.100	2	300.0	2,430.0	4,860.0	SS425	〃
〃	H-500×500×25×25	8.500	2	300.0	2,550.0	5,100.0	SS426	〃
〃	H-500×500×25×25	8.600	2	300.0	2,580.0	5,160.0	SS427	〃
〃	H-500×500×25×25	13.100	2	300.0	3,930.0	7,860.0	SS428	〃
〃	H-500×500×25×25	19.800	2	300.0	5,940.0	11,880.0	SS429	〃
〃	H-500×500×25×25	1.350	4	300.0	405.0	1,620.0	SS430	5段目
〃	H-500×500×25×25	2.000	3	300.0	600.0	1,800.0	SS431	〃
〃	H-500×500×25×25	3.000	2	300.0	900.0	1,800.0	SS432	〃
〃	H-500×500×25×25	4.200	2	300.0	1,260.0	2,520.0	SS433	〃
〃	H-500×500×25×25	5.000	6	300.0	1,500.0	9,000.0	SS434	〃
〃	H-500×500×25×25	4.300	1	300.0	1,290.0	1,290.0	SS435	〃
〃	H-500×500×25×25	5.198	3	300.0	1,559.4	4,678.0	SS436	〃
〃	H-500×500×25×25	5.400	1	300.0	1,620.0	1,620.0	SS437	〃
〃	H-500×500×25×25	6.000	6	300.0	1,800.0	10,800.0	SS438	〃
〃	H-500×500×25×25	6.700	1	300.0	2,010.0	2,010.0	SS439	〃
〃	H-500×500×25×25	8.100	2	300.0	2,430.0	4,860.0	SS440	〃
〃	H-500×500×25×25	8.500	2	300.0	2,550.0	5,100.0	SS441	〃
〃	H-500×500×25×25	8.600	2	300.0	2,580.0	5,160.0	SS442	〃
〃	H-500×500×25×25	13.100	2	300.0	3,930.0	7,860.0	SS443	〃
〃	H-500×500×25×25	19.800	2	300.0	5,940.0	11,880.0	SS444	〃
						合計	215,994.0kg	

細　別	規　　格	長　さ (m)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	摘　要
切　梁	H-300×300×10×15	0.850	3	100.0	85.0	255.0	SS400	3段目
〃	H-300×300×10×15	1.500	3	100.0	150.0	450.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	2.700	4	100.0	270.0	1,080.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	3.500	1	100.0	350.0	350.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	3.800	3	100.0	380.0	1,140.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	5.500	3	100.0	550.0	1,650.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	6.600	1	100.0	660.0	660.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	7.100	1	100.0	710.0	710.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	31.900	1	100.0	3,190.0	3,190.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.850	3	100.0	85.0	255.0	〃	4段目
〃	H-300×300×10×15	1.500	3	100.0	150.0	450.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	2.700	4	100.0	270.0	1,080.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	3.500	1	100.0	350.0	350.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	3.800	3	100.0	380.0	1,140.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	5.500	3	100.0	550.0	1,650.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	6.600	1	100.0	660.0	660.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	7.100	1	100.0	710.0	710.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	31.900	1	100.0	3,190.0	3,190.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.850	3	100.0	85.0	255.0	〃	5段目
〃	H-300×300×10×15	1.500	3	100.0	150.0	450.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	2.700	4	100.0	270.0	1,080.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	3.500	1	100.0	350.0	350.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	3.800	3	100.0	380.0	1,140.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	5.500	3	100.0	550.0	1,650.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	6.600	1	100.0	660.0	660.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	7.100	1	100.0	710.0	710.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	31.900	1	100.0	3,190.0	3,190.0	〃	〃
						合計	28,455.0kg	
切梁火打	H-300×300×10×15	0.132	2	100.0	13.2	26.0	〃	3段目
〃	H-300×300×10×15	0.203	12	100.0	20.3	244.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.556	10	100.0	55.6	556.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.627	8	100.0	62.7	502.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.132	2	100.0	13.2	26.0	〃	4段目
〃	H-300×300×10×15	0.203	12	100.0	20.3	244.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.556	10	100.0	55.6	556.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.627	8	100.0	62.7	502.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.132	2	100.0	13.2	26.0	〃	5段目
〃	H-300×300×10×15	0.203	12	100.0	20.3	244.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.556	10	100.0	55.6	556.0	〃	〃
〃	H-300×300×10×15	0.627	8	100.0	62.7	502.0	〃	〃
						合計	3,984.0kg	
	主部材合計					合計	248,433.0kg	
	副部材 (A)	主要部材重量×0.22				合計	54,655.3kg	
	副部材 (B)	主要部材重量×0.04				合計	9,937.3kg	
	支保工合計					合計	313,025.6kg	

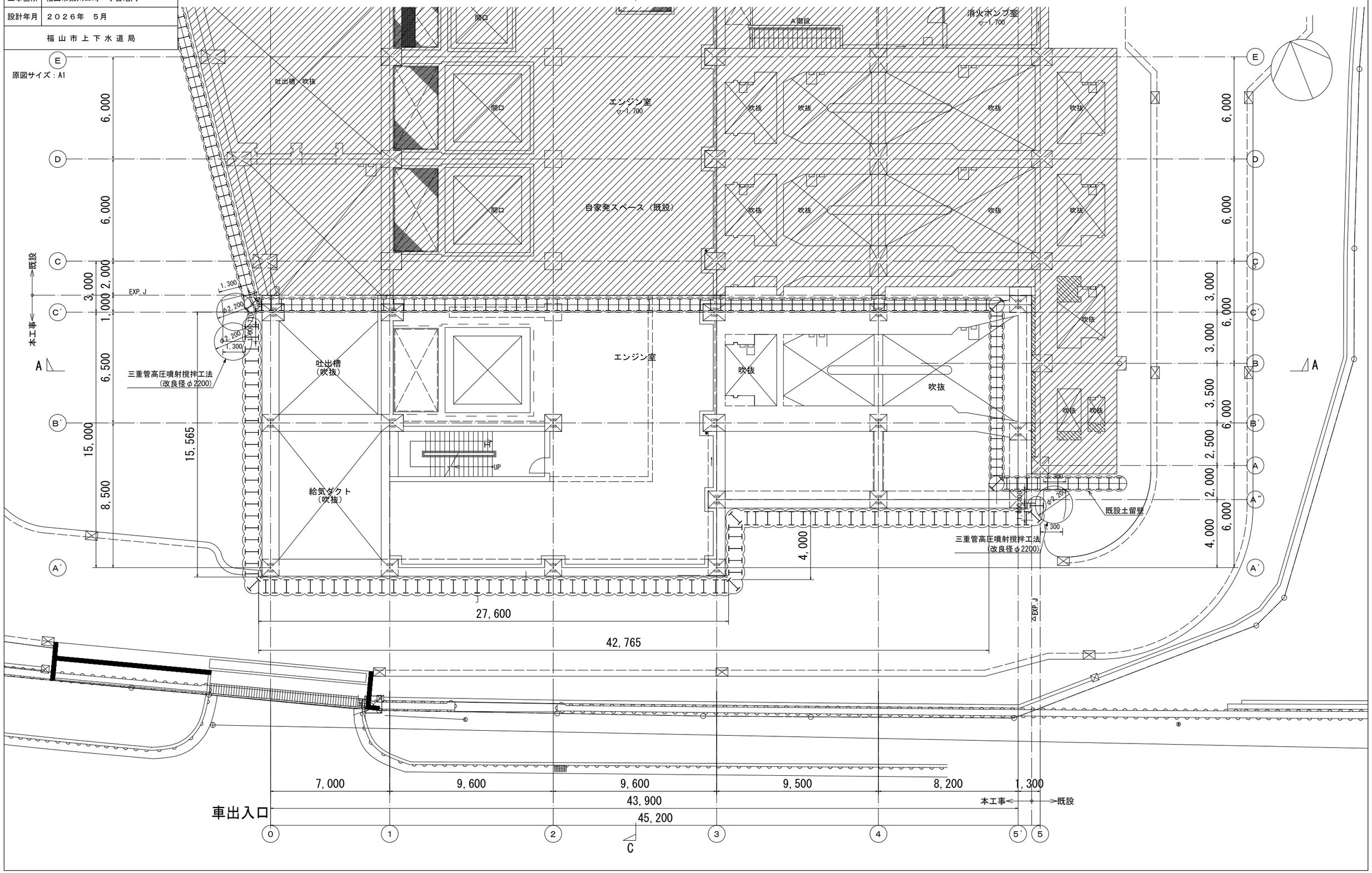
	掘削幅 (m)	掘削深 (m)	掘削延長 (m)	掘削土量 (m)
ガイド工	1.5	1.0	66	99

※切梁長はジャッキ分0.5mを控除した長さ。
※切梁火打長は火打ピース分0.5m×2を控除した長さ。

図面番号	C-21	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地盤改良平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

地盤改良平面図　1/100

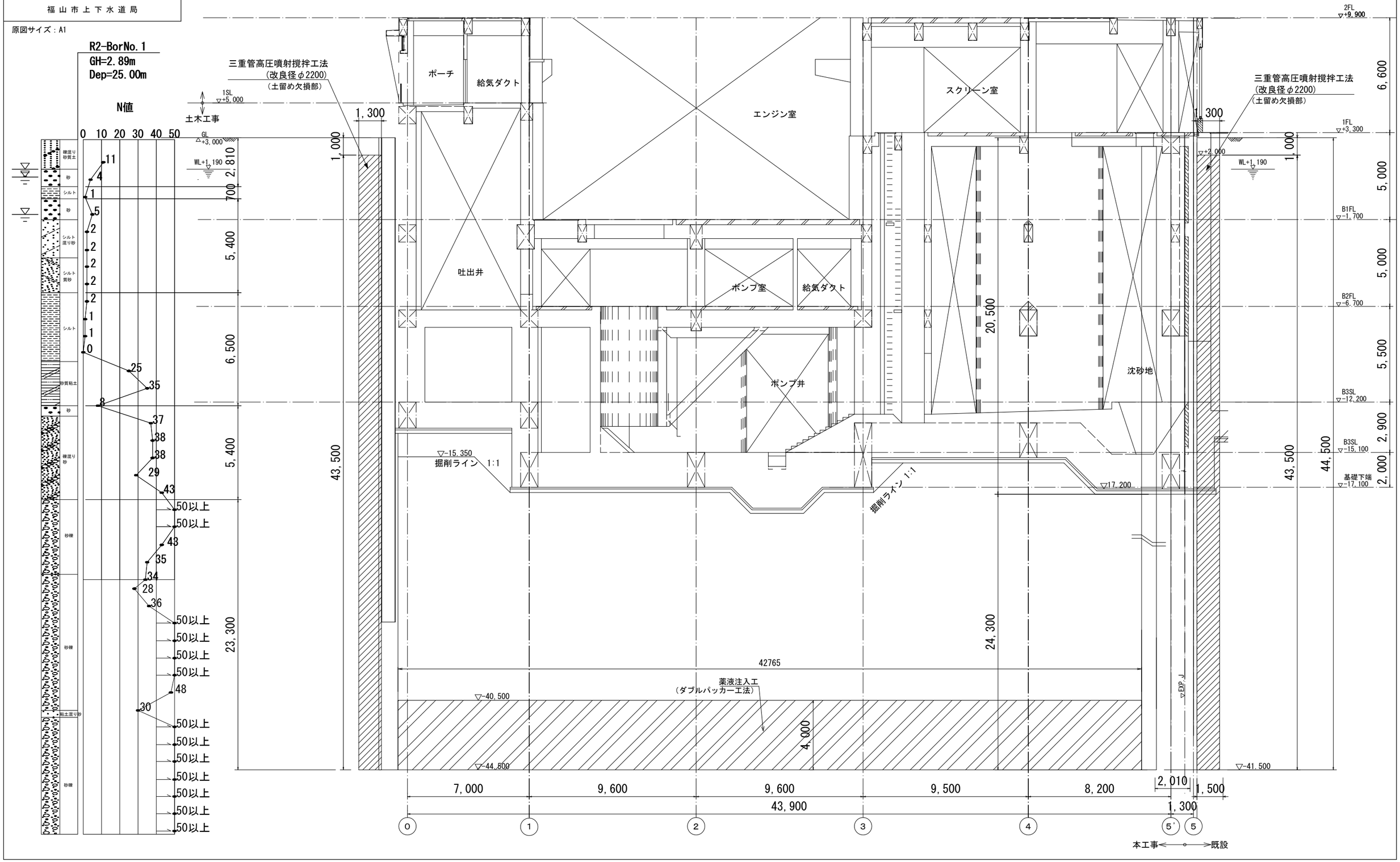


図面番号	C-22	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	地盤改良断面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

地盤改良断面図　1/100

A-A断面図



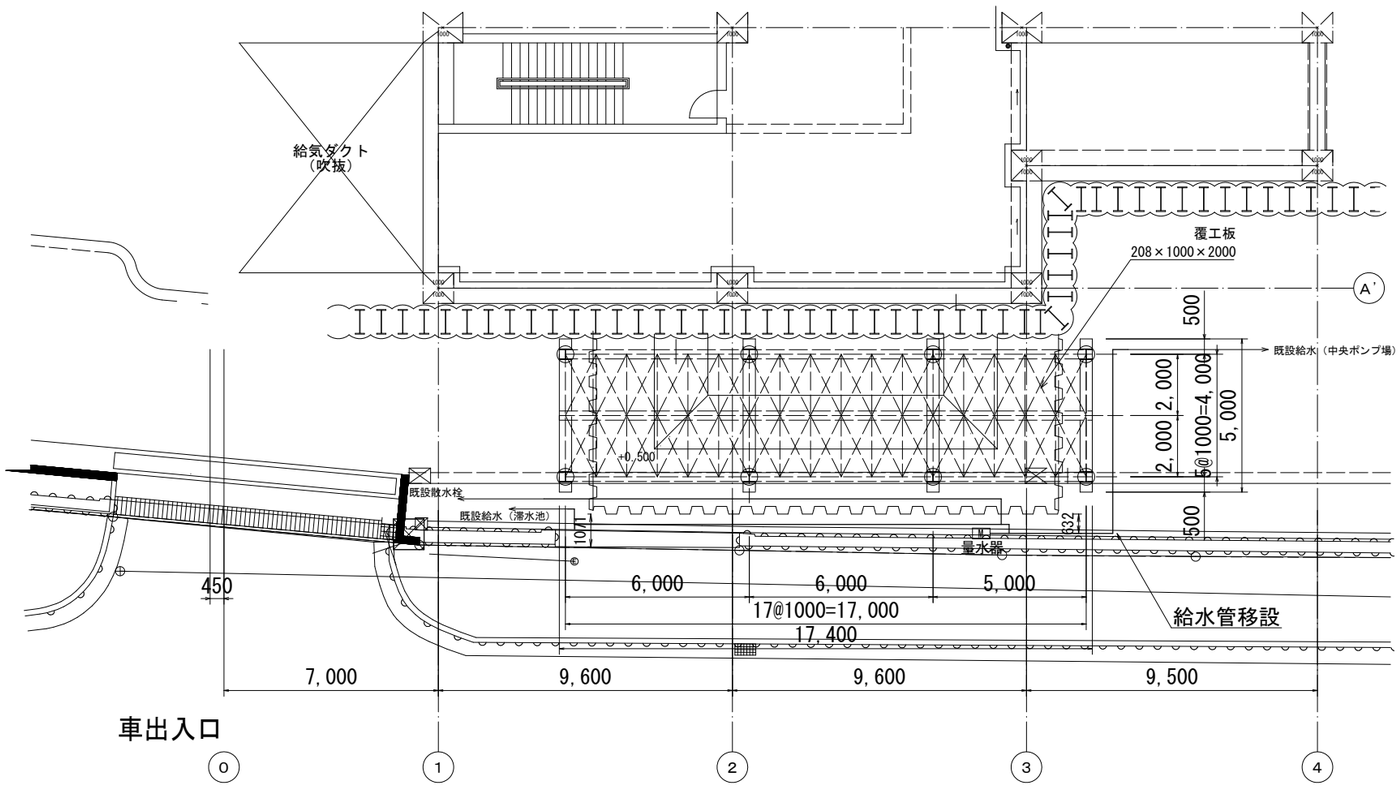
図面番号	C-23	縮 尺	図 示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	仮桟橋構造図、配管詳細図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

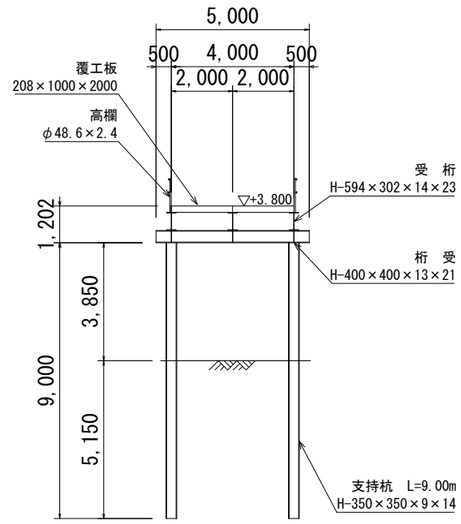
仮桟橋構造図

1/100

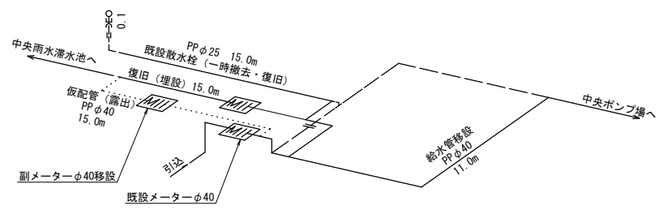
覆工平面図　S=1/100



標準断面図　S=1/100



配管詳細図



移設・仮配管時

水道用ポリエチレン2層管　φ40　L=26.0m
PPチーズφ40　N=2個
PP90°エルボ　φ40　N=7個
PPソケットφ40　N=1個
袋ナットφ40　N=1個
保温材φ40用　L=15.0m

復旧時

水道用ポリエチレン2層管　φ40　L=15.0m（流用）
PP90°エルボ　φ40　N=1個（流用）
PPソケットφ40　N=1個（流用）
PPチーズφ40×25　N=1個
水道用ポリエチレン2層管　φ25　L=15.0m
PP90°エルボ　φ25　N=1個
PPソケット　φ25　N=1個

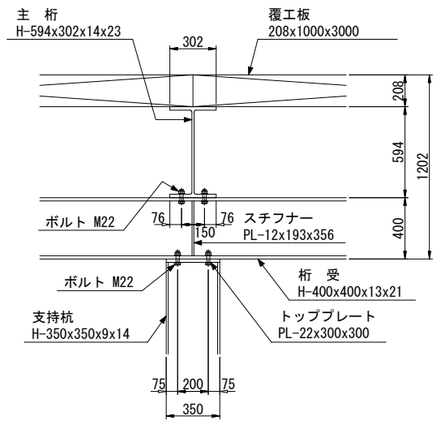
図面番号	C-24	縮 尺	1／20
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	仮桟橋詳細図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

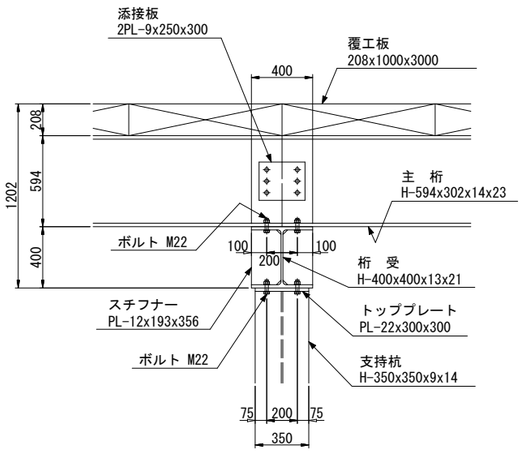
仮桟橋詳細図　S=1/20

主桁・桁受・支持杭 取付詳細図

横　断　図

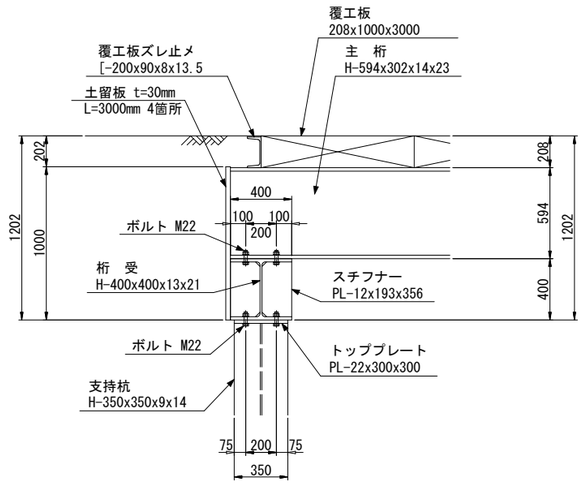


縦　断　図

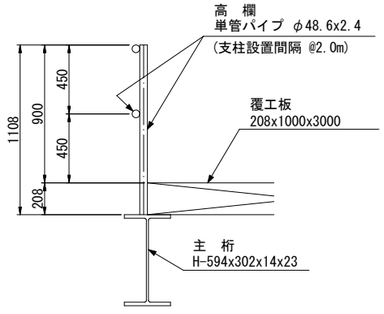


土留板詳細図

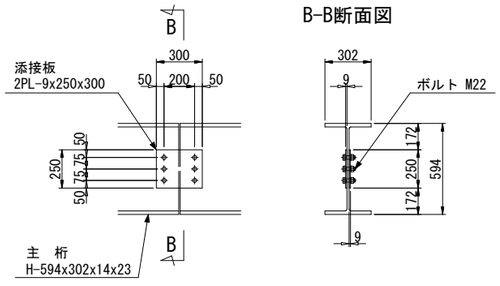
縦　断　図



高 欄 詳 細 図



添接板取付詳細図



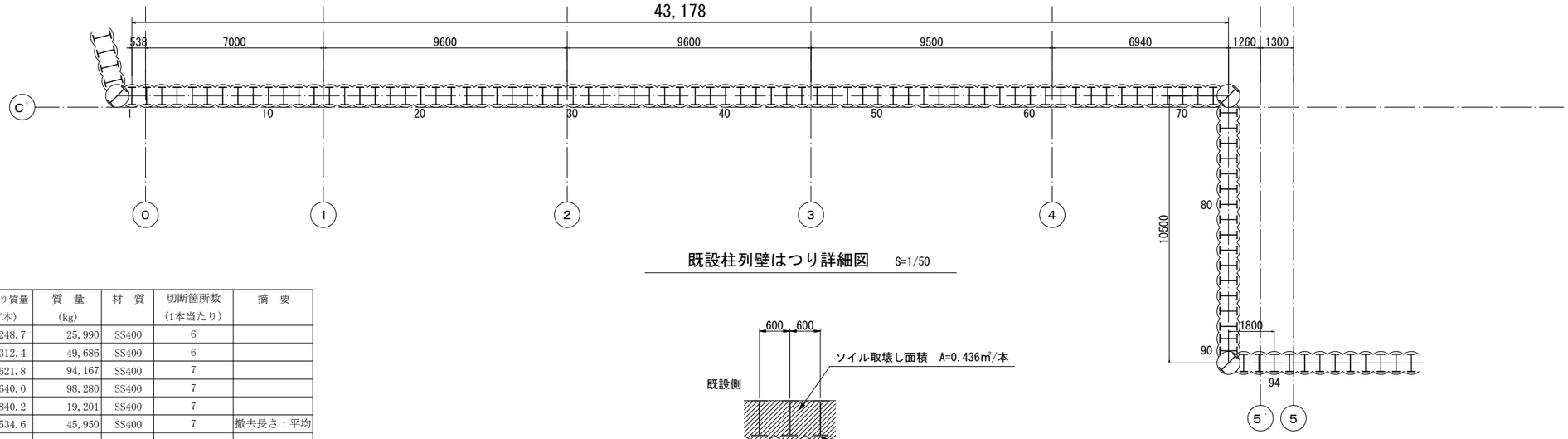
注1）特記無き鋼材の材質は、SS400とする。

図面番号	C-25	縮 尺	1/50,1/100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	既設土留め撤去図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

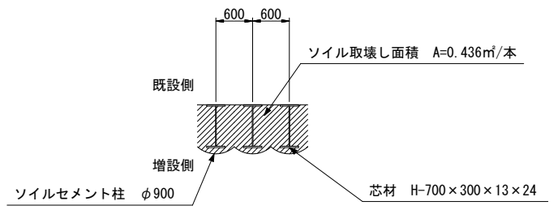
原図サイズ：A1

既設土留め撤去図 1/100

既設土留め芯材撤去平面図 S=1/100



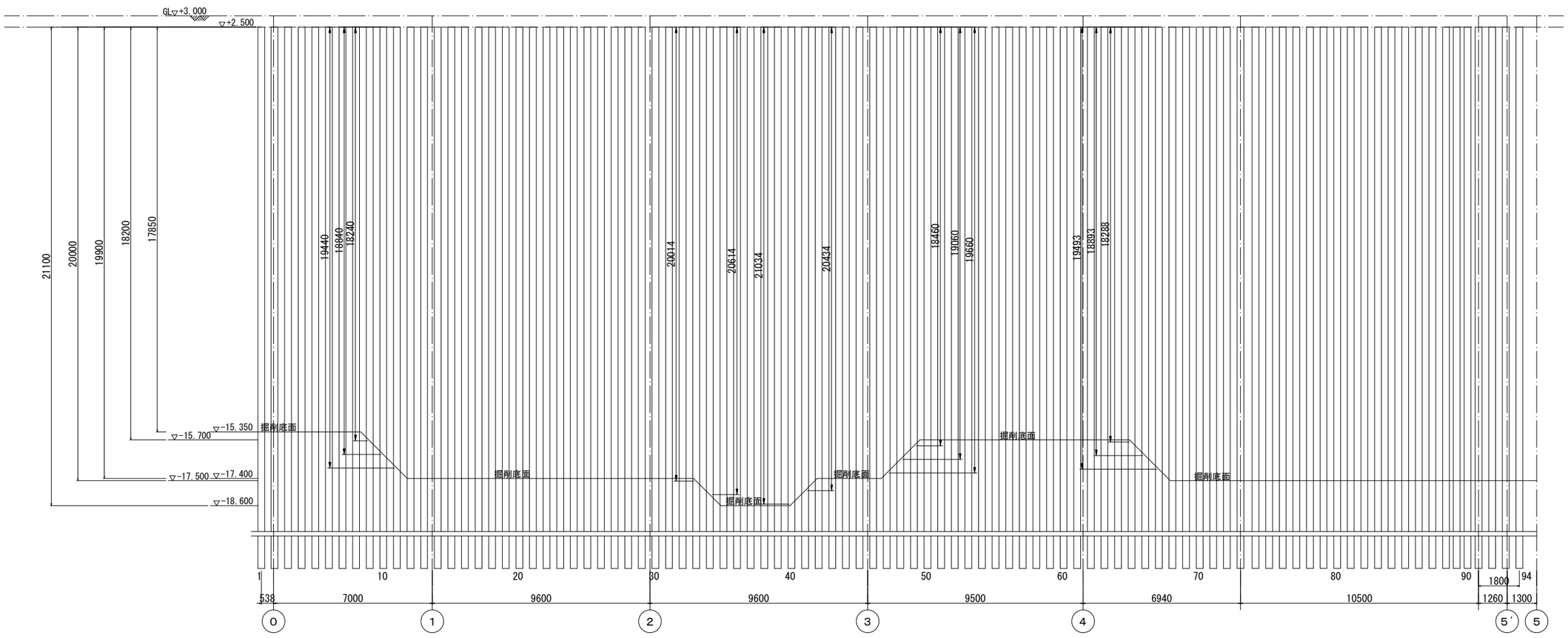
既設柱列壁はつり詳細図 S=1/50



既設土留め芯材撤去重量

細　別	規　　格	長　さ (m)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	材　質	切断箇所数 (1本当たり)	摘　要
柱列壁	H-700×300×13×24	17.850	8	182.0	3248.7	25,990	SS400	6	
柱列壁	H-700×300×13×24	18.200	15	182.0	3312.4	49,686	SS400	6	
柱列壁	H-700×300×13×24	19.900	26	182.0	3621.8	94,167	SS400	7	
柱列壁	H-700×300×13×24	20.000	27	182.0	3640.0	98,280	SS400	7	
柱列壁	H-700×300×13×24	21.100	5	182.0	3840.2	19,201	SS400	7	
柱列壁	H-700×300×13×24	19.421	13	182.0	3534.6	45,950	SS400	7	撤去長さ：平均
					合計	333,273	kg		

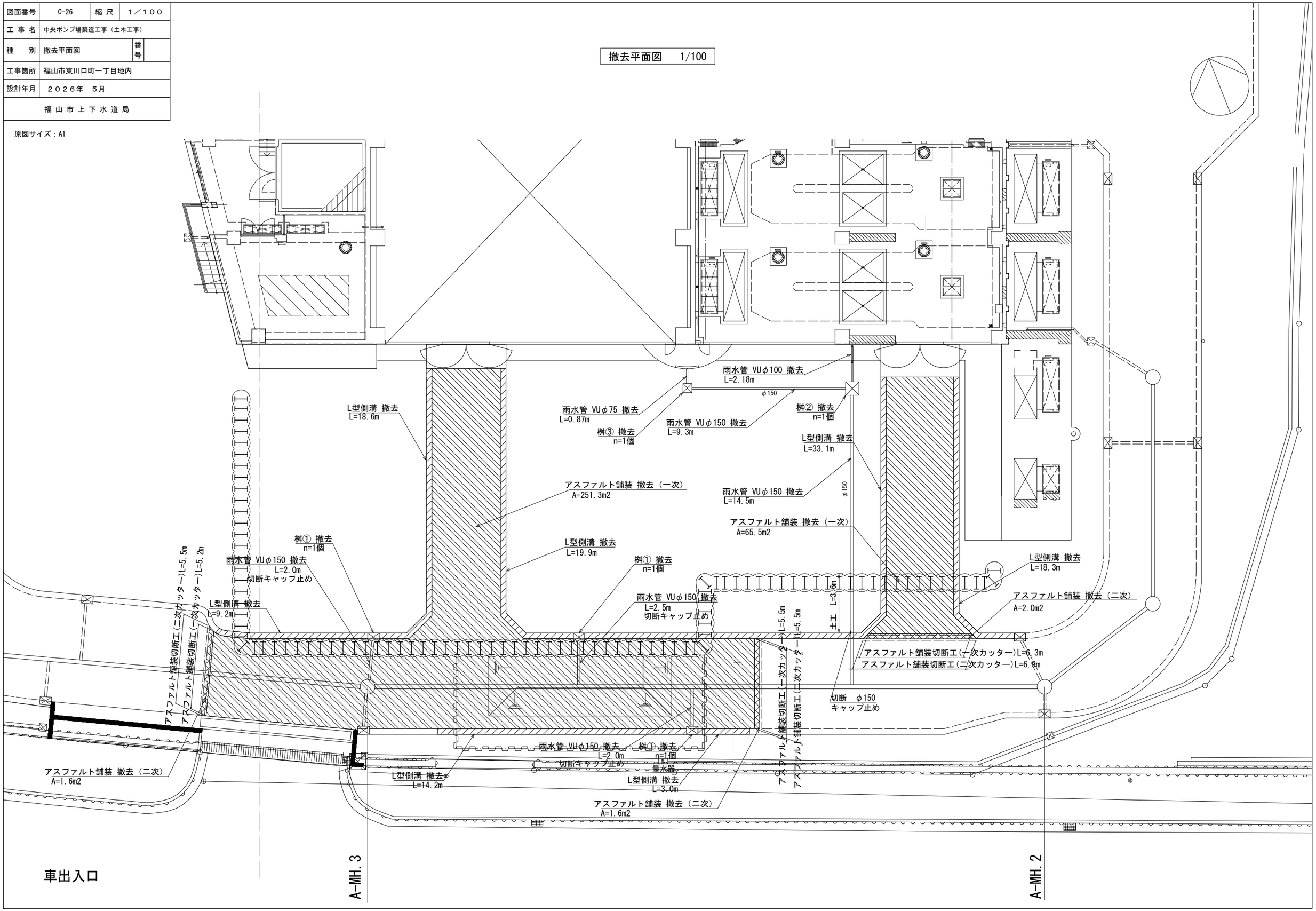
既設土留め芯材撤去展開図 S=1/100



図面番号	C-26	縮 尺	1／100
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	撤去平面図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

原図サイズ：A1

撤去平面図　1/100

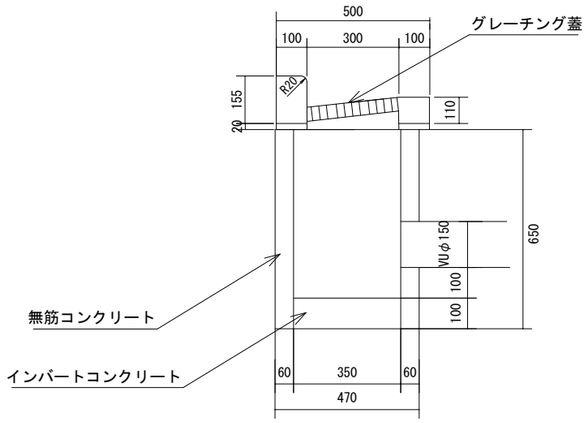


図面番号	C-27	縮 尺	図示
工 事 名	中央ポンプ場築造工事（土木工事）		
種　　別	撤去詳細図	番号	
工事箇所	福山市東川口町一丁目地内		
設計年月	２０２６年　５月		
福 山 市 上 下 水 道 局			

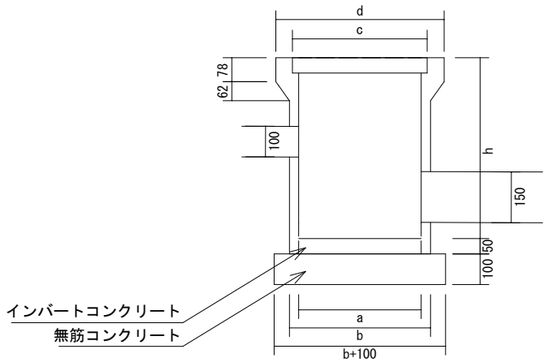
原図サイズ：A1

撤去詳細図　　図示

桝①　S=1/10

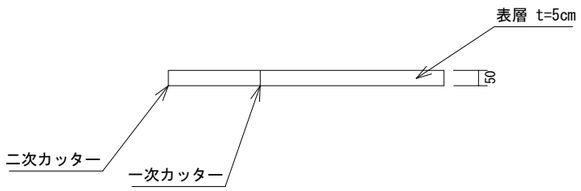


桝②,③　S=1/10

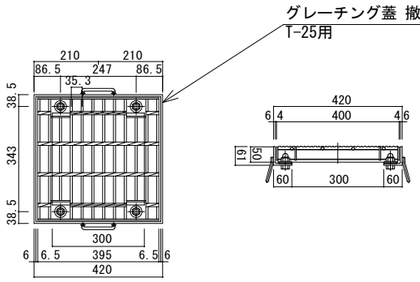


呼び名	寸法(mm)				
	a	b	c	d	h
400	400	470	450	560	670
600	600	720	670	820	910

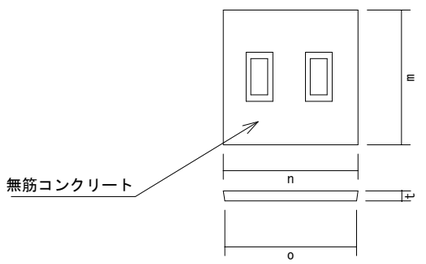
アスファルト舗装 取り壊し　S=1/10



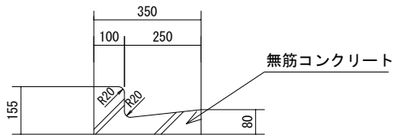
グレーチング蓋 撤去処分 T-25用



L型側溝　S=1/10

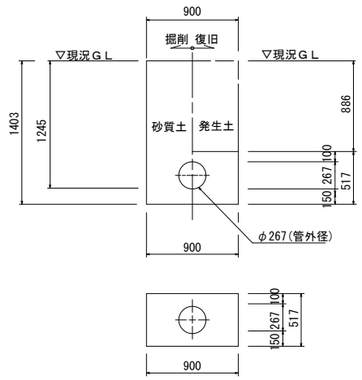


呼び名	寸法(mm)			
	m	n	t	o
400	440	440	50	430
600	660	660	65	646



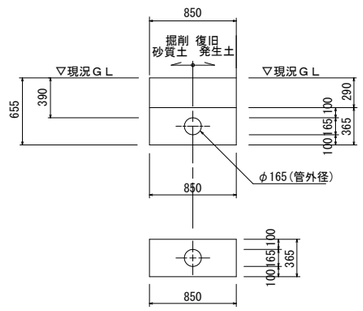
雨水管 撤去・復旧断面図 S=1/30

φ250
素堀り
掘削深≦1.50m

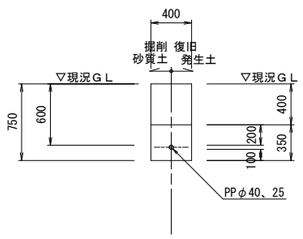


雨水管 撤去・復旧断面図 S=1/30

φ150
素堀り
掘削深≦1.50m



給水管 移設・復旧断面図 S=1/30



参考図書

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0001　表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　4.78%　労務構成比:　70.31%　材料構成比:　24.91%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,407.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	4.75%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	20.46%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.42%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0001　表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　4.78%　労務構成比:　70.31%　材料構成比:　24.91%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,407.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=4　砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0002　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.88%　労務構成比: 16.39%　材料構成比: 79.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,663.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.85%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.76%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	78.96%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.77%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0002　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.88%　労務構成比: 16.39%　材料構成比: 79.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,663.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB F=2 一般養生 J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0003　表

一般型枠　均しコンクリート　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 5,104.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.78%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=5　均しコンクリート		

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0004　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 1.09%　労務構成比: 9.82%　材料構成比: 89.09%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 24,570.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	1.08%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.65%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.76%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	0.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	88.88%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0004　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 1.09%　労務構成比: 9.82%　材料構成比: 89.09%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 24,570.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB F=2 一般養生 J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=2 設計日打設量100m3以上500m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0005　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0006　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 13,667.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.23%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	32.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=3　鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)		

施工単価表

鉄筋工　SS000099　単第0 -0007　表

SD295_D10　一般構造物［規]10t以上　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D10 単位質量0.56kg/m	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=1 SD295_D10 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

鉄筋工　SS000099　単第0 -0008　表

SD295_D13　一般構造物［規]10t以上　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D13 単位質量0.995kg/m	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=2 SD295_D13 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

鉄筋工　SS000099　単第0 -0009　表

SD295_D16　一般構造物［規]10t以上　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D16 単位質量1.56kg/m	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　- D=1　一般構造物 F=1　[規]10t以上			B=3　SD295_D16 E=1　- G=1　-		
H=1　- J=1　-			I=1　- K=2　切梁のある構造物		

施工単価表

鉄筋工　SS000099　単第0 -0010　表

SD345_D13　一般構造物［規]10t以上　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=5 SD345_D13 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

鉄筋工　SS000099　単第0 -0011　表

SD345_D16～D25　一般構造物［規]10t以上　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=6 SD345_D16～D25 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

鉄筋工　SS000099　単第0 -0012　表

SD345_D29～D32　一般構造物 [規]10t以上　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D29～32	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=7 SD345_D29～D32 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

ガス圧接工　SS000103　単第0 -0013　表

手動(半自動)・自動_D25+D25　[規]100箇所以上　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガス圧設工【材工共】 手動(半自動)・自動 D25＋D25	1.000	箇所			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=3　手動(半自動)・自動_D25+D25 C=1　-			B=1　[規]100箇所以上 D=1　-		

施工単価表

ガス圧接工　SS000103　単第0 -0014　表

手動(半自動)・自動_D29+D29　[規]100箇所以上　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガス圧設工【材工共】 手動(半自動)・自動 D29＋D29	1.000	箇所			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=4　手動(半自動)・自動_D29+D29 C=1　-			B=1　[規]100箇所以上 D=1　-		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　S0380　単第0 -0015　表

手摺先行型枠組足場　安全ネット設置　100　掛m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	8.500	人			安全ネット設置含む
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	31	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=1　手摺先行型枠組足場 C=0　潮待割増			B=2　安全ネットを設置する		

施工単価表

支保工　S0370　単第0 -0016　表

くさび結合支保　f<=40(t<=120)　100　空m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.400	人			
型わく工	1.300	人			
とび工	3.300	人			
普通作業員	3.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.500	日			
諸雑費	33	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	空m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	空m3			
A=2　くさび結合支保			B=1　f<=40(t<=120)		

施工単価表

支保工　S0370　単第0 -0017　表

パイプサポート支保　f<=40(t<=120)　100　空m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.600	人			
型わく工	4.700	人			
とび工	2.200	人			
普通作業員	5.100	人			
諸雑費	15	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	空m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	空m3			
A=1　パイプサポート支保			B=1　f<=40(t<=120)		

施工単価表

蓋版設置　SDT00017　単第0 -0018　表

材料別途 40≧重量　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 E=1　40≧重量 G=1　-			B=10　材料別途 F=1　時間的制約なし		

施工単価表

排水側溝グレーチング蓋　　V0001　　単第0 -0019　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
側溝グレーチング蓋 T-2　W200用	4.1	m			
側溝グレーチング蓋　受枠 T-2　W200用	8.2	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

蓋版設置　SDT00017　単第0 -0020　表

材料別途 40<重量≦170　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 E=2　40<重量≦170 G=1　-			B=10　材料別途 F=1　時間的制約なし		

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0021　表

材料別途 40≧重量　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 E=1　40≧重量 G=1　-			B=10　材料別途 F=1　時間的制約なし		

施工単価表

合成木材製蓋　　V7000　　単第0 -0022　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
合成木材蓋FFU 33.5*1566*3566 6分割	1	箇所			
合成木材蓋FFU 33.5*991*3306 6分割	1	箇所			
合成木材蓋FFU 33.5*1066*1066 2分割	1	箇所			
受枠SUS304 L40*40*3t 1580*3580用	1	箇所			
受枠SUS304 L40*40*3t 1005*3320用	1	箇所			
受枠SUS304 L40*40*3t 1080*1080用	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)　SG1D0088005　単第0 -0023　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.016	人			
普通作業員	0.016	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

足掛金物取付工　　S6578　　単第0 -0024　表

1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
足掛け金物 W=300　ポリプロピレン製	1.000	本			
特殊作業員	0.070	人			
普通作業員	0.070	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=1　　-			B=1000　　足掛け金物【登録単価CODE】(本)		

施工単価表

角落し　　V1007　　単第0 -0025　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
合成木材角落し用受枠 SUS304　PL－6t 側部	30.8	m			
合成木材角落し用受枠 SUS304　PL－6t 底部	3.2	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

止水板　　SPK25040119　　単第0 -0026　表

止水板(各種)　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 55.88%　材料構成比: 44.12%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,958.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	41.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
後付け用止水板 伸長量30㎜ 沈下量40㎜ 外水圧0.19MPa	44.12%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5㎜		F0000001300 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=9　止水板(各種)			B=1300　【F】止水板(m)		

施工単価表

止水板加工費　　V1011　　単第0 -0027　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
止水板加工費 L型加工	10	箇所			
止水板加工費 T型加工	5	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

目地板　SPK25040118　単第0 -0028　表

1工事当り使用量30m2以上　樹脂発泡体(30倍発泡)t=20mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 66.53%　材料構成比: 33.47%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,946.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	48.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
樹脂発泡体(30倍発泡) t=20mm	33.47%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0152 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=2　1工事当り使用量30m2以上			B=8　樹脂発泡体(30倍発泡)t=20mm		

施工単価表

目地充填工　　SPK25040120　　単第0 -0029　表

1　m　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　2,423.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	64.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.30%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0030　表

機械施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=2　低騒音・低振動対策			B=1　機械施工 D=1　時間的制約なし		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0031　表

機械施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=1　-			B=1　機械施工 D=1　時間的制約なし		

施工単価表

殻運搬　SPK25040155　単第0 -0032　表

Co(鉄筋)構造物とりこわし　DID区間有り　運搬距離23.2km以下(18.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 40.77%　労務構成比: 44.82%　材料構成比: 14.41%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 4,055.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=61　運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

殻運搬　SPK25040155　単第0 -0033　表

Co(無筋)構造物とりこわし　DID区間有り　運搬距離23.2km以下(18.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 40.77%　労務構成比: 44.82%　材料構成比: 14.41%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,317.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=61　運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

撤去面モルタル補修　　V5000　　単第0 -0034　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル塗り工 床　30㎜	12	m2			
モルタル塗り工 壁　20㎜	158	m2			
モルタル塗り工 天井　20㎜	2	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0035　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.88%　労務構成比: 16.39%　材料構成比: 79.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,663.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.85%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.76%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	78.96%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.77%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0035　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.88%　労務構成比: 16.39%　材料構成比: 79.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,663.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB F=2 一般養生 J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

接着系アンカー　　V3006　　単第0 -0036　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
接着系アンカー工(12d) D13	440	本			単第0-0037　表
接着系アンカー工(12d) D16	16	本			単第0-0039　表
接着系アンカー工(12d) D22	62	本			単第0-0040　表
接着系アンカー工(12d) D25	134	本			単第0-0042　表
接着系アンカー工(12d) D29	20	本			単第0-0043　表
接着系アンカー(7d) D13	416	本			単第0-0044　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

接着系アンカー工(12d)　V3000　単第0 -0037　表

D13　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカー用樹脂カプセル D13用	1	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	1	孔			単第0-0038　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK25040114　単第0 -0038　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比:　2.15%　労務構成比:　95.53%　材料構成比:　2.32%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK25040114　単第0 -0038　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比:　2.15%　労務構成比:　95.53%　材料構成比:　2.32%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　削孔深さ30㎜以上200㎜未満					

施工単価表

接着系アンカー工(12d)　V3001　単第0 -0039　表

D16　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカー用樹脂カプセル D16用	1	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	1	孔			単第0-0038　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

接着系アンカー工(12d)　V3002　単第0 -0040　表

D22　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカー用樹脂カプセル D22用	1	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200㎜以上400㎜以下	1	孔			単第0-0041　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK25040114　単第0 -0041　表

削孔深さ200㎜以上400㎜以下　1　孔　当り

機械構成比:　1.97%　労務構成比:　95.91%　材料構成比:　2.12%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,013.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.93%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.65%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.70%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK25040114　単第0 -0041　表

削孔深さ200㎜以上400㎜以下　1　孔　当り

機械構成比:　1.97%　労務構成比:　95.91%　材料構成比:　2.12%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,013.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　削孔深さ200㎜以上400㎜以下					

施工単価表

接着系アンカー工(12d)　V3003　単第0 -0042　表

D25　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカー用樹脂カプセル D25用	1	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200㎜以上400㎜以下	1	孔			単第0-0041　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

接着系アンカー工(12d)　V3004　単第0 -0043　表

D29　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカー用樹脂カプセル D29用	1	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200㎜以上400㎜以下	1	孔			単第0-0041　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

接着系アンカー(7d)　V3005　単第0 -0044　表

D13　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカー用樹脂カプセル D13用	1	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	1	孔			単第0-0038　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

溶接工　　V4000　　単第0 -0045　表

1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溶接工（10d） フレア溶接　V型　下・横向き D22	54	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

あと施工せん断補強筋　　V4001　　単第0 -0046　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
せん断補強鉄筋挿入工 D19×L=1240㎜ 下向き	8	本			
せん断補強鉄筋挿入工 D19×L=1640㎜ 横向き	9	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

床掘り　SPK25040015　単第0 -0047　表

土砂 標準　自立式 障害無し　1　m3　当り

機械構成比: 17.12%　労務構成比: 64.85%　材料構成比: 18.03%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 320.32000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	17.12%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	41.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 自立式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

床掘り　SPK25040015　単第0 -0048　表

土砂 標準　切梁腹起式 障害有り　1　m3　当り

機械構成比: 12.72%　労務構成比: 73.89%　材料構成比: 13.39%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 526.91000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	12.72%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	43.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	30.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	13.39%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

施工単価表

床掘り　SPK25040015　単第0 -0049　表

土砂 掘削深さ5m超20m以下　切梁腹起式 障害有り　1　m3　当り

機械構成比: 37.43%　労務構成比: 51.74%　材料構成比: 10.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,292.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3	32.84%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3		MTPC00066 MTPT00066
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3	4.59%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3		MTPC00061 MTPT00061
普通作業員	17.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	17.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	10.83%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=3 掘削深さ5m超20m以下 D=2 障害有り		

施工単価表

床掘り　SPK25040015　単第0 -0050　表

土砂 掘削深さ5m超20m以下　切梁腹起式 障害無し　1　m3　当り

機械構成比: 37.96%　労務構成比: 51.32%　材料構成比: 10.72%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 727.07000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3	37.96%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3		MTPC00066 MTPT00066
普通作業員	31.45%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	19.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	10.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=3 掘削深さ5m超20m以下 D=1 障害無し		

施工単価表

小型バックホウ搬入搬出　SPK25040016　単第0 -0051　表

1　回　当り

機械構成比:　25.52%　労務構成比:　74.48%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　45,600.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	25.52%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]16t吊		KTPC00023 KTPT00023
特殊作業員	74.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

掘削　　SPK25040001　　単第0 -0052　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　m3　当り

機械構成比: 20.13%　労務構成比: 71.97%　材料構成比: 7.90%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,678.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し　SPK25040020　単第0 -0053　表

最大埋戻幅4m以上　1　m3　当り

機械構成比:　12.31%　労務構成比:　76.19%　材料構成比:　11.50%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,096.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	10.59%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.65%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.07%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	28.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	25.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

埋戻し　SPK25040020　単第0 -0053　表

最大埋戻幅4m以上　1　m3　当り

機械構成比:　12.31%　労務構成比:　76.19%　材料構成比:　11.50%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,096.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2　最大埋戻幅4m以上			D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬　SPK25040002　単第0 -0054　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 44.67%　労務構成比: 40.44%　材料構成比: 14.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,217.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=37 距離14.0km以下(11.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

鋼矢板圧入(Nmax≦25)　S0440　単第0 -0055　表

陸上施工 3型　圧入長(m)_12以下(9超)　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.476	人			
特殊作業員	0.476	人			
とび工	0.952	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.476	日			単第0-0056　表 10/21
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.476	日			単第0-0057　表 10/21
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　陸上施工 C=4　圧入長(m)_12以下(9超)			B=2　3型		

施工単価表

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転　S9128　単第0 -0056　表

圧入力800kN　排出ガス対策型2014規制　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	128.00	L			
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排2014 圧入800引抜900kN	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　圧入力800kN C=1.49　機械損料数量（供用日/日）			B=128　軽油消費量（L/日）		

施工単価表

機-18_ラフテレーンクレーン運転　S9000053　単第0 -0057　表

25t吊　排出ガス対策型3次基準　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	92.00	L			
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排3 25t吊	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　25t吊 C=1　運転労務数量(人/日) E=1.49　機械損料数量(供用日/日)			B=6　排出ガス対策型3次基準 D=92　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

鋼矢板引抜き　S0454　単第0 -0058　表

陸上施工 3型　引抜長(m)_12以下(9超)　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.256	人			
特殊作業員	0.256	人			
とび工	0.513	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.256	日			単第0-0056　表 10/39
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.256	日			単第0-0057　表 10/39
諸雑費	0.1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　陸上施工 C=3　引抜長(m)_12以下(9超)			B=2　3型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体　S0458　単第0 -0059　表

圧入（Nmax≦25）　III型　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
とび工	0.580	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.250	日			単第0-0056　表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.300	日			単第0-0057　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　圧入（Nmax≦25） C=1　陸上施工			B=2　III型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体　S0458　単第0 -0060　表

引抜き　III型　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			
特殊作業員	0.190	人			
とび工	0.390	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.130	日			単第0-0056　表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.190	日			単第0-0057　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=5　引抜き C=1　陸上施工			B=2　III型		

施工単価表

鋼矢板賃料　　V2003　　単第0 -0061　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板3型賃料 1回使用 供用日数372日	37.2	t			単第0-0062　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

鋼矢板3型賃料　　S0850　　単第0 -0062　表

1回使用　　供用日数372日　　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板賃料	1.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=2　鋼矢板(3型) C=1　使用回数(回)			B=372　供用日数(賃料期間)(日) D=1　補助工法無し		

施工単価表

プレボーリング工法によるH形鋼打込み　S1050051　単第0 -0063　表

H300（φ450mm）　H形鋼長 23.5m　10　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.257	人			1*2.2574
とび工	4.515	人			2*2.2574
普通作業員	2.257	人			1*2.2574
機-4_モンケン・アースオーガ運転 オーガ出力45kW2t	13.093	時間			単第0-0064　表 1*13.093
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.45m3（平積0.35m3） 排出ガス対策型1次基準	3.928	時間			単第0-0065　表 0.3*13.093
諸雑費	10	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=3　H300（φ450mm） C=16.3　砂質土・レキ質土の掘削深 L01(m) E=0　砂質土・レキ質土の打込長 L1（m）			B=23.5　H形鋼長（m） D=7.2　粘性土の掘削深 L02(m) F=0　粘性土の打込長 L2（m）		
G=21.4　砂質土・レキ質土の加重平均N値 N1 I=2　アースオーガ45kW K=2　構造物障害 なし			H=8.9　粘性土の加重平均N値 N2 J=1　トラッククレーン(小運搬用)なし L=2　作業難易の程度 普通		
M=1　施工規模 50本未満 O=2　発動発電機を電源とする場合			N=2　排出ガス対策型1次基準 R=1　商用電力を使用しない		

施工単価表

プレボーリング工法によるH形鋼打込み　S1050051　単第0 -0063　表

H300（φ450mm）　H形鋼長 23.5m　10　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

機-4_モンケン・アースオーガ運転　S9115　単第0 -0064　表

オーガ出力45kW2t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	10.00	L			
クローラ式杭打機(単体+ベースマシン) モンケン及びアースオーガ併用・直結三点 モン2tオーガ径φ350～800mm長18～21m	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=2　オーガ出力45kW2t			B=2	発動発電機を電源とする場合	

施工単価表

機-1_バックホウ運転　S9006　単第0 -0065　表

クローラ[標準]山積0.45m3（平積0.35m3）　排出ガス対策型1次基準　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.60	L			
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=2　クローラ[標準]山積0.45m3（平積0.35m3） C=0　労務単価の夜間等割増率 E=0　運転労務数量（人/h）標準=省略			B=1 D=2　排出ガス対策型1次基準 F=0　燃料消費量（L/h）標準=省略		

施工単価表

H形鋼賃料等　　V2004　　単第0 -0066　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼300型賃料 1回使用 供用日数333日	17.1	t			単第0-0067　表
H形鋼　撤去部 スクラップ長未満	9.6	t			
H形鋼　未撤去部	23.7	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

H形鋼300型賃料　S0850　単第0 -0067　表

1回使用　供用日数333日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼賃料	1.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=8　H形鋼(300型) C=1　使用回数(回)			B=333　供用日数(賃料期間)(日) D=2　補助工法有り		

施工単価表

H形鋼杭打設引抜(クレーン・陸上)　V2000　単第0 -0068　表

引抜 H形鋼　H300　引抜き長8m　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50～51t吊 排出ガス対策型1次基準	1	日			単第0-0069　表
土木一般世話役	1	人			
とび工	2	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	0.2	%			#06
小計（1日当り）		日			
1本当り		本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

機-18_ラフテレーンクレーン運転　S9000053　単第0 -0069　表

50～51t吊　排出ガス対策型1次基準　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	128.00	L			
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排1 50～51t吊	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　50～51t吊 C=1　運転労務数量(人/日) E=1.49　機械損料数量(供用日/日)			B=2　排出ガス対策型1次基準 D=128　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

ガス切断　　S0180　　単第0 -0070　表

H鋼杭　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溶接工	0.130	人			
普通作業員	0.070	人			
酸素 圧縮,純度99.6%以上 ボンベ	0.760	m3			
溶解アセチレン	0.340	kg			
諸雑費	0.2	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=2　　H鋼杭					

施工単価表

切梁・腹起し設置工　V0005　単第0 -0071　表

1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.7	人			
とび工	3.2	人			
溶接工	1.7	人			
普通作業員	1.7	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.7	日			
諸雑費	5	%			#09
1t当り(計/10t)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

切梁・腹起し設置工　V0005　単第0 -0072　表

盛替梁　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.7	人			
とび工	3.2	人			
溶接工	1.7	人			
普通作業員	1.7	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.7	日			
諸雑費	5	%			#09
1t当り(計/10t)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

切梁・腹起し撤去工　V0006　単第0 -0073　表

1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
とび工	1.9	人			
溶接工	1	人			
普通作業員	1	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1	日			
諸雑費	7	%			#09
1t当り(計/10t)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

切梁・腹起し撤去工　V0006　単第0 -0074　表

盛替梁　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
とび工	1.9	人			
溶接工	1	人			
普通作業員	1	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1	日			
諸雑費	7	%			#09
1t当り(計/10t)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料　V2015　単第0 -0075　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製山留材賃料（1段目） 1回使用 供用日数333日	49.5	t			単第0-0076　表
鋼製山留材賃料（2段目） 1回使用 供用日数268日	39.8	t			単第0-0077　表
鋼製山留材(H500)賃料（2段目） 1回使用 供用日数268日	36.6	t			単第0-0078　表
鋼製山留材賃料（3段目） 1回使用 供用日数203日	4.6	t			単第0-0079　表
鋼製山留材(H500)賃料（3段目） 1回使用 供用日数203日	143.6	t			単第0-0080　表
鋼製山留材賃料（4段目） 1回使用 供用日数149日	6.9	t			単第0-0081　表
鋼製山留材(H500)賃料（4段目） 1回使用 供用日数149日	143.6	t			単第0-0082　表
鋼製山留材賃料（5段目） 1回使用 供用日数102日	51.5	t			単第0-0083　表
鋼製山留材(H500)賃料（5段目） 1回使用 供用日数102日	36.6	t			単第0-0084　表
鋼製山留材賃料（6段目） 1回使用 供用日数57日	51.5	t			単第0-0085　表
鋼製山留材(H500)賃料（6段目） 1回使用 供用日数57日	36.6	t			単第0-0086　表
鋼製山留材賃料（盛替梁3段目） 1回使用 供用日数31日	10.8	t			単第0-0087　表

施工単価表

鋼製山留材賃料　　V2015　　単第0 -0075　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製山留材(H500)賃料（盛替梁3段目） 1回使用 供用日数31日	72.0	t			単第0-0088　表
鋼製山留材賃料（盛替梁4段目） 1回使用 供用日数58日	10.8	t			単第0-0089　表
鋼製山留材(H500)賃料（盛替梁4段目） 1回使用 供用日数58日	72.0	t			単第0-0090　表
鋼製山留材賃料（盛替梁5段目） 1回使用 供用日数82日	10.8	t			単第0-0091　表
鋼製山留材(H500)賃料（盛替梁5段目） 1回使用 供用日数82日	72.0	t			単第0-0092　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

鋼製山留材賃料（1段目）　S0856　単第0 -0076　表

1回使用　供用日数333日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=333　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材賃料（2段目）　S0856　単第0 -0077　表

1回使用　供用日数268日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=268　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（2段目）　V2007　単第0 -0078　表

1回使用　供用日数268日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 268日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（3段目）　S0856　単第0 -0079　表

1回使用　供用日数203日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=203　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（3段目）　V2008　単第0 -0080　表

1回使用　供用日数203日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 203日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（4段目）　S0856　単第0 -0081　表

1回使用　供用日数149日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=149　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（4段目）　V2009　単第0 -0082　表

1回使用　供用日数149日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 149日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（5段目）　S0856　単第0 -0083　表

1回使用　供用日数102日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=102　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（5段目）　V2010　単第0 -0084　表

1回使用　供用日数102日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 102日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（6段目）　S0856　単第0 -0085　表

1回使用　供用日数57日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=57　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（6段目）　V2011　単第0 -0086　表

1回使用　供用日数57日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 57日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（盛替梁3段目）　S0856　単第0 -0087　表

1回使用　供用日数31日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=31　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（盛替梁3段目）　V2012　単第0 -0088　表

1回使用　供用日数31日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 31日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（盛替梁4段目）　S0856　単第0 -0089　表

1回使用　供用日数58日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=58　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（盛替梁4段目）　V2013　単第0 -0090　表

1回使用　供用日数58日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 58日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

鋼製山留材賃料（盛替梁5段目）　S0856　単第0 -0091　表

1回使用　供用日数82日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料 (250～ 400型)	1	t			
副部材 (A) 賃料	0.220	t			1*0.22
副部材 (B) 賃料	0.040	t			1*0.04
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　主部材及び副部材 C=1　使用回数			B=82　供用日数 D=2　火打ブロックを使用しない		

施工単価表

鋼製山留材(H500)賃料（盛替梁5段目）　V2014　単第0 -0092　表

1回使用　供用日数82日　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主部材賃料（H500） 82日	1	t			
副部材（A）賃料	0.22	t			
副部材（B）賃料	0.04	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施工単価表

覆工板・覆工板受桁設置　SHD10029　単第0 -0093　表

(覆工板設置面積700m2以下)　設置　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.900	人			
とび工	4.600	人			
溶接工	2.100	人			
普通作業員	5.100	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	2.900	日			
諸雑費	4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　設置 C=1　ラフテレーンクレーン25t吊			B=1　-		

施工単価表

覆工板・覆工板受桁撤去　SHD10029　単第0 -0094　表

(覆工板設置面積700m2以下)　撤去　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.800	人			
とび工	2.700	人			
溶接工	1.300	人			
普通作業員	3.200	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.800	日			
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=2　撤去 C=1　ラフテレーンクレーン25t吊			B=1　-		

施工単価表

覆工板賃料　　V2006　　単第0 -0095　表

仮桟橋　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
覆工板賃料	68	m2			単第0-0096　表
覆工板受桁及び覆工板受桁桁受賃料 設置面積700m2以下	68	m2			単第0-0097　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

覆工板賃料　　SHD10015　　単第0 -0096　表

1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)覆工板 鋼製滑り止め(補強型) 720日(24か月)以内	1.000	m2			
修理費及び損耗費	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=4　覆工板 鋼製滑り止め(補強型) C=372　賃料期間(日)			B=2　修理費及び損耗費		

施工単価表

覆工板受桁及び覆工板受桁桁受賃料　SHD10017　単第0 -0097　表

設置面積700m2以下　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)H形鋼 H-400,172kg/m 720日(24か月)以内	0.134	t			
修理費及び損耗費	0.134	t			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=5　H形鋼 H-400,172kg/m C=372　賃料期間(日)			B=2　修理費及び損耗費 D=1　補助工法無し		

施工単価表

高欄設置工　　S1024　　単第0 -0098　表

単管パイプ型　　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
普通作業員	3.800	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　単管パイプ型			B=1　設置		

施工単価表

高欄撤去工　　S1024　　単第0 -0099　表

単管パイプ型　　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			
普通作業員	2.100	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　単管パイプ型			B=2　撤去		

施工単価表

バイブロハンマ施工による打込み(H形鋼)　S0491　単第0 -0100　表

陸上施工 H形鋼 H350　打込長8.5m　10　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.476	人			1*0.4761
とび工	0.952	人			2*0.4761
普通作業員	0.476	人			1*0.4761
機-20_バイブロハンマ杭打機運転 油圧振り子式_235(242)kW クローラクレーン 油圧式 50～55t吊	0.476	日			単第0-0101　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=1　陸上施工 C=1　継施工なし E=8.5　H形鋼打込長 (m)			B=2　油圧式バイブロハンマ D=4　H形鋼 H350		

施工単価表

機-20_バイブロハンマ杭打機運転　S9119　単第0 -0101　表

油圧振り子式_235(242)kW　クローラクレーン 油圧式 50～55t吊　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	473.00	L			
バイブロハンマ(単体) 油圧式・可変超高周波・排3 振り子,最大起振473kN周波数20～60Hz	1.31	供用日			
クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排2014 50～55t吊	1.31	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=9　油圧振り子式_235(242)kW C=1　運転労務数量（人/日） E=1.31　機械損料数量（供用日/日）			B=3　クローラクレーン 油圧式 50～55t吊 D=473　軽油消費量（L/日） F=6　バイブロハンマ排出ガス対策型3次基準		
G=4　クレーン排出ガス対策型2014年規制					

施工単価表

バイブロハンマ施工による鋼矢板等の引抜き　S0492　単第0 -0102　表

陸上施工　引抜長8.5m　10　枚(本)　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.172	人			1*0.1724
とび工	0.345	人			2*0.1724
普通作業員	0.172	人			1*0.1724
機-20_バイブロハンマ杭打機運転 油圧振り子式_235(242)kW ラフテレーンクレーン 油圧式 25t吊	0.172	日			単第0-0103　表
諸雑費	0.2	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚(本)			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚(本)			
A=1　陸上施工 C=8.5　引抜長 (m)			B=2　油圧式バイブロハンマ		

施工単価表

機-20_バイブロハンマ杭打機運転　S9119　単第0 -0103　表

油圧振り子式_235(242)kW　ラフテレーンクレーン 油圧式 25t吊　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	484.00	L			
バイブロハンマ(単体) 油圧式・可変超高周波・排3 振り子,最大起振473kN周波数20～60Hz	1.21	供用日			
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排3 25t吊	1.21	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=9　油圧振り子式_235(242)kW C=1　運転労務数量（人/日） E=1.21　機械損料数量（供用日/日）			B=10　ラフテレーンクレーン 油圧式 25t吊 D=484　軽油消費量（L/日） F=6　バイブロハンマ排出ガス対策型3次基準		
G=3　クレーン排出ガス対策型3次基準					

施工単価表

H形鋼賃料　　V2005　　単第0 -0104　表

仮桟橋　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼350型賃料 1回使用 供用日数372日	9.7	t			単第0-0105　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

H形鋼350型賃料　　S0850　　単第0 -0105　表

1回使用　　供用日数372日　　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼賃料	1.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=9　H形鋼(350型) C=1　使用回数(回)			B=372　供用日数(賃料期間)(日) D=1　補助工法無し		

施工単価表

掘削　SPK25040001　単第0 -0106　表

土砂 オープンカット 押土無し　障害無し 5,000m3未満　1　m3　当り

機械構成比: 42.72%　労務構成比: 37.91%　材料構成比: 19.37%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 331.59000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	37.91%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

ガイド定規設置・撤去　V1001　単第0 -0107　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.24	人			
機-27_クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型100t吊	0.09	日			単第0-0108　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

機-27_クローラクレーン運転　S9071　単第0 -0108　表

油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型100t吊　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	83.90	L			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)100t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	1.00	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=8　油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型100t吊 C=1　機械賃料数量(日/日)			B=83.9　軽油消費量(L/日)		

施工単価表

定規材敷鉄板等賃料　V1009　単第0 -0109　表

先行削孔及び柱列式連続壁　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
定規材損料 H400*400*13*21　2本 整備費込み	1	式			
定規受材損料 H200*200*8*12　2本 整備費込み	1	式			
敷鉄板賃料 t＝22㎜、1.524*6.096 24枚　整備費込み	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

先行掘削工　　V1002　　単第0 -0110　表

削孔径φ1100　　10　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
一軸オーガ運転工 DH658-135M（27m級）	37.72	h			単第0-0111　表
オーガスクリュー損料 削孔錐軸（一軸） L=48.5m	37.72	h			単第0-0112　表
オーガヘッド損料 φ1100mm用　1個 先行削孔	37.72	h			
混合プラント損料 40m3/h	37.72	h			
セメントサイロ損料 30t移動型	6.59	日			
発動発電機運転工 150KVA+600KVA	6.59	日			単第0-0113　表
高圧洗浄機損料 ノズル径1/2インチ×2台	6.59	日			
スクウィーズポンプ損料 20m3/h	6.59	日			
機-1_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型100t吊 排出ガス対策型1次基準	37.72	時間			単第0-0114　表
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.45m3（平積0.35m3） 排出ガス対策型1次基準	37.72	時間			単第0-0065　表
土木一般世話役	6.59	人			
とび工	26.36	人			

施工単価表

先行掘削工　　V1002　　単第0 -0110　表

削孔径φ1100　　10　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	6.59	人			
普通作業員	6.59	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

一軸オーガ運転工　　V6004　　単第0 -0111　表

DH658-135M（27m級）　　1　h　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	12.94	L			
運転手(特殊)	0.17	人			
ベースマシン損料 DH658-135M（27m）級	1	h			
アースオーガ多軸装置損料 MAC-240　700type	1	h			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	h			

施工単価表

オーガスクリュー損料　V6005　単第0 -0112　表

削孔錐軸（一軸）　L=48.5m　1　h　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔錐軸（一軸） φ1100　SP200S 3.0m	1	本			
削孔錐軸（一軸） φ1100　SP200S 9.0m	5	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	h			

施工単価表

発動発電機運転工　　V6003　　単第0 -0113　表

150KVA+600KVA　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	456.49	L			
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)550/600kVA	1	日			
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排2 定格容量(50/60Hz)125/150kVA	1	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

機-1_クローラクレーン運転　S9070　単第0 -0114　表

油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型100t吊　排出ガス対策型1次基準　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.00	L			
クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排1 100t吊	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=11　油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型100t吊 C=0　燃料消費量（L/h）標準=省略			B=0　運転労務数量（人/h）標準=省略 D=2　排出ガス対策型1次基準		

施工単価表

柱列式連続壁工　　V6000　　単第0 -0115　表

削孔混練長43.5m　　10　　set　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
三軸オーガ運転工 DH658-135M（27m級）	36.92	h			単第0-0116　表
オーガスクリュー損料 削孔錐軸（三軸） L=52.5m	36.92	h			単第0-0117　表
オーガヘッド損料 φ1100mm用　1セット 柱列式連続壁	36.92	h			
混合プラント損料 40m3/h	39.92	h			
セメントサイロ損料 30t移動型	6.45	日			
発動発電機運転工 150KVA+600KVA	6.45	日			単第0-0113　表
機-12_空気圧縮機運転 可搬式・ｴﾝｼﾞﾝ駆動 ｽｸﾘｭ型　10.5～11m3／分 超低騒音(排出ガス対策型2次基準)	6.45	日			単第0-0118　表
高圧洗浄機損料 ノズル径1/2インチ×2台	6.45	日			
スクウィーズポンプ損料 20m3/h	6.45	日			
機-1_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型100t吊 排出ガス対策型1次基準	53.98	時間			単第0-0114　表
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.45m3（平積0.35m3） 排出ガス対策型1次基準	53.98	時間			単第0-0065　表
土木一般世話役	9.43	人			

施工単価表

柱列式連続壁工　　V6000　　単第0 -0115　表

削孔混練長43.5m　　10　set　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
とび工	37.72	人			
特殊作業員	9.43	人			
普通作業員	9.43	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	set			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	set			

施工単価表

三軸オーガ運転工　　V6001　　単第0 -0116　表

DH658-135M（27m級）　　1　h　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	12.94	L			
運転手(特殊)	0.17	人			
ベースマシン損料 DH658-135M（27m）級	1	h			
アースオーガ多軸装置損料 MAC-240　700type	1	h			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	h			

施工単価表

オーガスクリュー損料　V6002　単第0 -0117　表

削孔錐軸（三軸）　L=52.5m　1　h　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
φ1100撹拌スクリュー 6.75m	2	set			
ロッド 1.00m	1	set			
ロッド 2.00m	1	set			
ロッド 3.00m	3	set			
ロッド 6.75m	4	set			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	h			

施工単価表

機-12_空気圧縮機運転　S9400　単第0 -0118　表

可搬式・ｴﾝｼﾞﾝ駆動 ｽｸﾘｭ型　10.5～11m3／分　超低騒音(排出ガス対策型2次基準)　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	60.00	L			12*5
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型(超低騒音)・排2 吐出量10.5～11m3/min圧力0.7MPa	1	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=7　可搬式・ｴﾝｼﾞﾝ駆動 ｽｸﾘｭ型　10.5～11m3／分 C=5　超低騒音(排出ガス対策型2次基準)			B=5　運転時間（省略：５．０）		

施工単価表

錐軸組替工　　V6007　　単第0 -0119　表

1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.10	人			
特殊作業員	3.20	人			
普通作業員	1.60	人			
機-27_クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型100t吊	1.30	日			単第0-0108　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

硬化剤材料費　　V1004　　単第0 -0120　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
セメント系懸濁液材料費 先行掘削用	2,062	m3			単第0-0121　表
セメント系懸濁液材料費 柱列式連続壁工	2,936	m3			単第0-0122　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

セメント系懸濁液材料費　V1003　単第0 -0121　表

先行掘削用　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水	0.460	m3			
セメント(バラ) 高炉B種	0.058	t			
ベントナイト ＃250	23	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

セメント系懸濁液材料費　V1005　単第0 -0122　表

柱列式連続壁工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水	0.374	m3			
セメント(バラ) 高炉B種	0.165	t			
ベントナイト ＃250	13	kg			
高性能分散剤A	7.6	kg			
高性能分散剤B	3.8	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

消耗部品費　　V6006　　単第0 -0123　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
連結装置 柱列式連続壁工	5.5	個			
超硬チップ 柱列式連続壁工	30.99	個			
超硬チップ 先行掘削工	14.16	個			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

挿入芯材・加工費　　V6008　　単第0 -0124　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
挿入芯材 H800*300*14*26	722.8	t			
継手材料及び加工費 H800*300*14*26	194	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

泥水運搬費　V1010　単第0 -0125　表

汚泥吸排車運転　30km以下　100　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
機-19_汚泥吸排車運転 積載質量8.0t 吸入管径75mm	6.5	日			単第0-0126　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

機-19_汚泥吸排車運転　　SHD90003　　単第0 -0126　表

積載質量8.0t 吸入管径75mm　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.20	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	96.00	L			
汚泥吸排車 トラック架装型 積載質量8.0t吸入管径φ75mm	1.44	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　積載質量8.0t 吸入管径75mm C=96　燃料消費量(L/日)			B=1.2　運転労務数量(人/日) D=1.44　機械損料数量(供用日/日)		

施工単価表

プラント設置撤去　　V1006　　単第0 -0127　表

1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.5	人			
普通作業員	4.2	人			
機-27_クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型100t吊	1.2	日			単第0-0108　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

薬液注入工(二重管ダブルパッカー・削孔)　S0742　単第0 -0128　表

2セット　削孔長 44.5m　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.493	人			1*0.4929
特殊作業員	2.465	人			5*0.4929
普通作業員	0.986	人			2*0.4929
グラウト材	534.000	L			
薬液注入管	44.500	m			
ボーリングマシン運転 ロータリーパーカッション式 クローラタイプ　８１ｋＷ（エンジン式）	0.986	日			単第0-0129　表 2*0.4929
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2　2セット C=44.5　削孔長（L0)(m) E=2500　【F】薬液注入管(m)			B=237　削孔時間（T2)(分) D=2800　【F】グラウト材(L) F=44.5　薬液注入管の長さ（m)		

施工単価表

ボーリングマシン運転　S9212　単第0 -0129　表

ロータリーパーカッション式　クローラタイプ　８１ｋＷ（エンジン式）　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	78.00	L			
ボーリングマシン ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級	1	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=0　運転日当り運転時間（Ｔ）			B=78　軽油消費量（Ｌ／日）		

施工単価表

薬液注入工(二重管ダブルパッカー・注入)　S0744　単第0 -0130　表

一次注入　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.059	人			1*0.059
特殊作業員	0.295	人			5*0.059
普通作業員	0.118	人			2*0.059
注入材料（一次） セメント系	400.000	L			
薬液注入施工機器 薬液注入施工機器[薬液注入ポンプ] 吐出量0～20L/min×2圧力9.8MPa	0.118	日			2*0.059
諸雑費	25	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=1　一次注入:セメント C=40.5　土被り長 (L2)(m) F=1　-			B=400　1本当り注入量 (Qp)(L/本) D=2600　【F】注入材料(L)		

施工単価表

薬液注入工(二重管ダブルパッカー・注入)　S0744　単第0 -0131　表

二次注入　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.087	人			1*0.0871
特殊作業員	0.436	人			5*0.0871
普通作業員	0.174	人			2*0.0871
注入材料（二次） 無機系	893.000	L			
薬液注入施工機器 薬液注入施工機器[薬液注入ポンプ] 吐出量0～20L/min×2圧力9.8MPa	0.174	日			2*0.0871
薬液注入施工機器 ミキシングプラント 3000L/h	0.087	日			1*0.0871
薬液注入施工機器 水ガラス積算流量計 0～50L/min	0.087	日			1*0.0871
諸雑費	21	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=3　二次注入:無機系 C=40.5　土被り長 (L2)(m) E=2　総注入量			B=893　1本当り注入量 (Qp)(L/本) D=2700　【F】注入材料(L) F=1　-		

施工単価表

二重管ダブルパッカー工法　材料費等　V8004　単第0 -0132　表

削孔材料、注入材料　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
消耗材料費（削孔材料） 二重管ダブルパッカー工法 レキ質土用	17,961	m			単第0-0133　表
消耗材料費（削孔材料） 二重管ダブルパッカー工法 砂質土用	5,464	m			単第0-0134　表
消耗材料費（削孔材料） 二重管ダブルパッカー工法 粘性土用	4,522	m			単第0-0135　表
消耗材料費（注入材料） 二重管ダブルパッカー工法	812	kl			単第0-0136　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

消耗材料費（削孔材料）　S0751　単第0 -0133　表

二重管ダブルパッカー工法　レキ質土用　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング カップリング付,径96㎜	1.670	個			
ウォータースイベル 径96㎜	0.280	個			
シャンクロッド 径96㎜	0.830	個			
雑品	41	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　カップリング付,径96㎜ E=1　96㎜			C=1　96㎜		

施工単価表

消耗材料費（削孔材料）　S0752　単第0 -0134　表

二重管ダブルパッカー工法　砂質土用　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング カップリング付,径96㎜	0.550	個			
ウォータースイベル 径96㎜	0.090	個			
シャンクロッド 径96㎜	0.300	個			
雑品	49	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　カップリング付,径96㎜ E=1　96㎜			C=1　96㎜		

施工単価表

消耗材料費（削孔材料）　S0753　単第0 -0135　表

二重管ダブルパッカー工法　粘性土用　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング カップリング付,径96㎜	0.400	個			
ウォータースイベル 径96㎜	0.070	個			
シャンクロッド 径96㎜	0.250	個			
雑品	55	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　カップリング付,径96㎜ E=1　96㎜			C=1　96㎜		

施工単価表

消耗材料費（注入材料）　S0754　単第0 -0136　表

二重管ダブルパッカー工法　1　kl　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
二重管ホース 21MPa,径12mm,長20m	0.010	本			
シールパッカーセット	0.020	個			
シールセット	0.200	個			
雑品（注入用部品類）	56	%			#06
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	kl			
A=1　21MPa,径12mm,長20m E=1　シールセット			C=1　シールパッカーセット		

施工単価表

注入設備据付・解体　　S0746　　単第0 -0137　表

二重管ダブルパッカ工法　　1　現場　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	6.200	人			
普通作業員	2.300	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t	6.000	時間			単第0-0138　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	現場			
A=4　二重管ダブルパッカ削孔（２セット）					

施工単価表

機-01_トラック(クレーン装置付)運転　S9056　単第0 -0138　表

ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.30	L			
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=4　ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t C=0　特殊運転手数量(人/h) 省略=自動計算			B=0　労務単価の夜間等割増率 D=0　燃料消費量 (L/h) 標準=省略		

施工単価表

注入設備据付・解体　　S0746　　単第0 -0139　表

二重管ダブルパッカ工法　　1　現場　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.100	人			
特殊作業員	11.600	人			
普通作業員	3.900	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t	19.000	時間			単第0-0138　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	現場			
A=5　二重管ダブルパッカ注入（４セット）					

施工単価表

高圧噴射撹拌工（削孔）　V8000　単第0 -0140　表

三重管工法　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	4.626	人			
特殊作業員	4.626	人			
普通作業員	4.626	人			
高圧噴射撹拌式地盤改良機 掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148㎜	4.626	日			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量37～100L/min	4.626	日			
諸雑費	10	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

高圧噴射撹拌工(注入)　V8001　単第0 -0141　表

三重管工法　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.415	人			
特殊作業員	5.660	人			
普通作業員	4.245	人			
高圧噴射撹拌式地盤改良機 三重管専用型	1.415	日			
高圧噴射撹拌式地盤改良機 0562-110～310付属機器 超高圧ポンプ39.2MPa14～70L/min	1.415	日			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量200L/min	1.415	日			
機-16_空気圧縮機運転 エンジン　5.0m3/min 普通型	1.291	日			単第0-0142　表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20t吊,オペレータ付 排1,2,2011,2014	1.291	日			
諸雑費	23	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

機-16_空気圧縮機運転　S9405　単第0 -0142　表

エンジン　5.0m3/min　普通型　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.00	L			
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.75	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=4　エンジン　5.0m3/min C=1.75　機械賃料数量(供用日/日)			B=42　燃料消費量 (L/日) D=1　普通型		

施工単価表

三重管工法　材料費等　　V8002　　単第0 -0143　表

注入材料、損耗材料　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
三重管工法削孔損耗材料費 礫質土	69.9	m			
三重管工法削孔損耗材料費 砂質土≦50	39	m			
三重管工法削孔損耗材料費 粘性土	21.6	m			
三重管工法注入損耗材料費	377	m3			
硬化剤	377	m3			単第0-0144　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

硬化剤　　V8003　　単第0 -0144　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水	0.741	m3			
セメント(バラ) 高炉B種	0.760	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

注入設備　据付・解体工　S0738　単第0 -0145　表

高圧噴射攪拌工用　三重管工法　1　現場　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	6.000	人			
特殊作業員	15.000	人			
普通作業員	12.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	2.000	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	現場			
A=1　据付・解体 C=3			B=3　三重管工法		

施工単価表

ポンプ排水工　　V9001　　単第0 -0146　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ設置・撤去	1	箇所			単第0-0147　表
ポンプ運転工 電力料込み	344	日			単第0-0149　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

ポンプ設置・撤去　　V9002　　単第0 -0147　表

1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.1	人			
特殊作業員	0.02	人			
普通作業員	0.4	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.1	日			単第0-0148　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0 -0148　表

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	45.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.47	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=12　クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=45　軽油消費量(L/日) D=1.47　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

ポンプ運転工　　SG1D0042001　　単第0 -0149　表

電力料込み　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0150　表
諸雑費	4	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　常時排水 C=2　ポンプ2台			B=1　商用電源 D=5　普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程30m		

施工単価表

工事用水中ポンプ損料　　SGAD0042001　　単第0 -0150　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) 口径φ50㎜全揚程30m	2	台			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　常時排水 C=5　普通型(潜水ポンプ) 口径50㎜全揚程30m			B=2　ポンプ2台		

施工単価表

坑外コンクリート塊搬出工　　V2002　　単第0 -0151　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1	日			
諸雑費	1	式			
1m3当たり					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

鋼材切断工　　SG1E0098002　　単第0 -0152　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.007	人			
溶接工	0.053	人			
普通作業員	0.020	人			
酸素 圧縮,純度99.6%以上 ボンベ	0.163	m3			
溶解アセチレン	0.028	kg			
諸雑費	30	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SPK25040411　単第0 -0153　表

クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊　片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)　1　t　当り

機械構成比:　17.30%　労務構成比:　78.90%　材料構成比:　3.80%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,740.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.30%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	39.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 C=3　片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2　DID区間有り		

施工単価表

舗装版切断　SPK25040307　単第0 -0154　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　SPK25040307　単第0 -0154　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕　SPK25040306　単第0 -0155　表

アスファルト舗装版　障害等無し 舗装版厚15cm以下　1　m2　当り

機械構成比: 12.85%　労務構成比: 81.24%　材料構成比: 5.91%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬　SPK25040155　単第0 -0156　表

舗装版破砕　DID区間有り　運搬距離10.5km以下(6.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 44.05%　労務構成比: 39.87%　材料構成比: 16.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,615.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=3　機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=42　運搬距離10.5km以下(6.0km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SPK25040411　単第0 -0157　表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊　片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)　1　t　当り

機械構成比:　13.79%　労務構成比:　83.40%　材料構成比:　2.81%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,646.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　クレーン装置付BT2t積2.9t吊 C=3　片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2　DID区間有り		

施工単価表

埋戻し　SPK25040020　単第0 -0158　表

土砂　上記以外(小規模)　1　m3　当り

機械構成比:　8.87%　労務構成比:　87.15%　材料構成比:　3.98%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,063.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施工単価表

埋戻し　SPK25040020　単第0 -0158　表

土砂　上記以外(小規模)　1　m3　当り

機械構成比: 8.87%　労務構成比: 87.15%　材料構成比: 3.98%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 4,063.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

硬質塩化ビニル管撤去　　V1008　　単第0 -0159　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
撤去硬質塩化ビニル管切断 呼び径　150㎜	4	口			単第0-0160　表
塩ビ管用キャップ φ150	4	個			
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み 呼び径　　７５㎜	0.9	m			単第0-0162　表
硬質塩化ビニル管撤去工 呼び径 100㎜	2	m			単第0-0164　表
硬質塩化ビニル管撤去工 呼び径 150㎜	30	m			単第0-0166　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

撤去硬質塩化ビニル管切断　　SQ000005　　単第0 -0160　表

呼び径　150㎜　　1　口　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管切断 呼び径　１５０mm	1.00	口			単第0-0161　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　硬質塩化ビニル管切断			B=11　呼び径	150㎜	

施工単価表

硬質塩化ビニル管切断　　SQ110　　単第0 -0161　表

呼び径　１５０mm　　1　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.020	人			
普通作業員	0.020	人			
雑材料	5.000	%			#06
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　　硬質塩化ビニル管切断			B=11　　呼び径	１５０mm	

施工単価表

撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み　SQ000011　単第0 -0162　表

呼び径　７５㎜　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径　７５㎜	1.00	m			単第0-0163　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=8　呼び径　７５㎜			B=0　割増係数		

施工単価表

硬質塩化ビニル管据付工　SQ100　単第0 -0163　表

呼び径　７５㎜　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.100	人			0.1*1
普通作業員	0.180	人			0.18*1
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=8　呼び径　７５㎜			B=0　割増係数		

施工単価表

硬質塩化ビニル管撤去工　　SG1D1071002　　単第0 -0164　表

呼び径 100mm　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.09	人			
普通作業員	0.09	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付1.7t吊_山積0.28m3	0.05	日			単第0-0165　表
諸雑費	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　呼び径 100mm					

施工単価表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0 -0165　表

クレーン付1.7t吊_山積0.28m3　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	34.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.50	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=8　クレーン付1.7t吊_山積0.28m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=34　軽油消費量(L/日) D=1.5　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

硬質塩化ビニル管撤去工　　SG1D1071002　　単第0 -0166　表

呼び径 150mm　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.12	人			
普通作業員	0.12	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付1.7t吊_山積0.28m3	0.05	日			単第0-0165　表
諸雑費	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　　呼び径 150mm					

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SPK25040411　単第0 -0167　表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊　片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)　1　t　当り

機械構成比:　13.79%　労務構成比:　83.40%　材料構成比:　2.81%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　6,378.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　クレーン装置付BT2t積2.9t吊 C=11　片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)			B=2　DID区間有り		

施工単価表

路盤工　　SQZ10　　単第0 -0168　表

施工幅　1.8m以上　　一層仕上り厚10cm　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.710	人			
再生クラッシャラン 30～0mm	12.700	m3			
機-28_振動ローラ運転（賃料） 搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t	0.200	日			単第0-0169　表
タンパ運転（賃料） 質量　６０～８０kg	0.200	日			単第0-0170　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=2　施工幅　1.8m以上 C=10　一層仕上り厚（cm）			B=7　RC-30		

施工単価表

機-28_振動ローラ運転（賃料）　S9202　単第0 -0169　表

搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	13.00	L			
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.52	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=9　搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t C=13　軽油消費量（L／日） E=2　排出ガス対策型			B=1　運転労務数量（人／日） D=1.52　機械賃料数量（供用日／日）		

施工単価表

タンパ運転（賃料）　S9000017　単第0 -0170　表

質量　６０～８０kg　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	4.00	L			
特殊作業員	1.00	人			
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.61	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人／日） C=1.61　機械賃料数量（供用日／日）			B=4　燃料消費量（L／日）		

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK25040244　単第0 -0171　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.38%　労務構成比: 10.17%　材料構成比: 88.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK25040244　単第0 -0171　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.38%　労務構成比: 10.17%　材料構成比: 88.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4　平均幅員3.0m超 C=6　再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

プレキャストL形側溝　SPK25040099　単第0 -0172　表

据付 基礎砕石有り　250A 鉄筋コンクリートL形(350×155×600)　1　m　当り

機械構成比: 8.08%　労務構成比: 58.72%　材料構成比: 33.20%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 9,331.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・クレーン機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t	6.03%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・クレーン機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t		MTPC00173 MTPT00173
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	24.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートL形250A	30.59%		鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg		TTPCD0131 TTPT00101
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

プレキャストL形側溝　SPK25040099　単第0 -0172　表

据付 基礎砕石有り　250A 鉄筋コンクリートL形(350×155×600)　1　m　当り

機械構成比: 8.08%　労務構成比: 58.72%　材料構成比: 33.20%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 9,331.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=3 250A 鉄筋コンクリートL形(350×155×600)			B=1 基礎砕石有り E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

管路土工　　V4002　　単第0 -0173　表

給水管移設　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	3	m3			単第0-0052　表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	3	m3			単第0-0158　表
ダスト ほぐし	2	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

管布設工　　V4003　　単第0 -0174　表

給水管移設　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管据付工 呼び径　４０㎜	41	m			単第0-0175　表
ポリエチレン管据付工 呼び径　２５㎜	15	m			単第0-0176　表
ポリエチレン管継手工 呼び径　４０㎜	29	口			単第0-0177　表
ポリエチレン管継手工 呼び径　２５㎜	5	口			単第0-0178　表
量水器移設(ねじ込み接合) 呼び径:40㎜ 筐・量水器とも	2	回			単第0-0179　表
ロケーティングワイヤー設置 材工共	41	m			単第0-0180　表
溶剤浸透防護スリーブ被覆 呼び径 25㎜以下	15	m			単第0-0181　表
溶剤浸透防護スリーブ被覆 呼び径 40㎜	15	m			単第0-0182　表
ポリエチレン管切断 呼び径　４０mm	16	口			単第0-0183　表
ポリエチレン管切断 呼び径　２５mm	2	口			単第0-0184　表
保温工 φ40用	15	m			単第0-0185　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

ポリエチレン管据付工　　SQ105　　単第0 -0175　表

呼び径　　４０㎜　　10　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.08	人			
普通作業員	0.14	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=5　　呼び径　　４０㎜					

施工単価表

ポリエチレン管据付工　SQ105　単第0 -0176　表

呼び径　２５㎜　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.07	人			
普通作業員	0.12	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=3　呼び径　２５㎜					

施工単価表

ポリエチレン管継手工　　SQ106　　単第0 -0177　表

呼び径　　４０㎜　　1　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.030	人			
普通作業員	0.030	人			
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=5　　呼び径　　４０㎜					

施工単価表

ポリエチレン管継手工　　SQ106　　単第0 -0178　表

呼び径　　２５㎜　　1　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.020	人			
普通作業員	0.020	人			
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=3　　呼び径　　２５㎜					

施工単価表

量水器移設(ねじ込み接合)　V4008　単第0 -0179　表

呼び径:40㎜　筐・量水器とも　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.28	人			
普通作業員	0.17	人			
諸雑費	1	%			#09
移設補正					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

ロケーティングワイヤー設置　V9004　単第0 -0180　表

材工共　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.1	人			
ロケーティングワイヤー	110	m			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

溶剤浸透防護スリーブ被覆　V4006　単第0 -0181　表

呼び径 25㎜以下　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.25	人			
普通作業員	0.25	人			
ナイロンレンスリーブ φ20・25	120	m			
粘着ﾃｰﾌﾟ(10m)	51	本			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

溶剤浸透防護スリーブ被覆　V4007　単第0 -0182　表

呼び径 40㎜　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.25	人			
普通作業員	0.25	人			
ナイロンレンスリーブ φ40・50	120	m			
粘着ﾃｰﾌﾟ(10m)	51	本			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

ポリエチレン管切断　　SQ110　　単第0 -0183　表

呼び径　４０mm　　1　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.010	人			
普通作業員	0.010	人			
雑材料	1.000	%			#06
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=2　　ポリエチレン管切断			B=6　　呼び径	４０mm	

施工単価表

ポリエチレン管切断　　SQ110　　単第0 -0184　表

呼び径　２５mm　　1　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.010	人			
普通作業員	0.010	人			
雑材料	1.000	%			#06
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=2　ポリエチレン管切断			B=4　呼び径	２５mm	

施工単価表

保温工　　V4005　　単第0 -0185　表

φ40用　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
保温工	0.064	人			
ポリスチレンフォーム保温筒 φ50×20㎜	1.03	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

管材料費　　V4004　　単第0 -0186　表

給水管移設　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水道用ポリエチレン二層管 φ40	26	m			
水道用ポリエチレン二層管 φ25	15	m			
PPチーズ φ40	2	個			
PP異径チーズ φ40×φ25	1	個			
PP90°エルボ φ40	7	個			
PP90°エルボ φ25	1	個			
PPソケット φ40	1	個			
PPソケット φ25	1	個			
袋ナット φ40	1	個			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

低圧受電設備　　V9003　　単第0 -0187　表

25kW以下　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート柱 7m-19cm　4200（N）	1	本			
低圧ピン碍子 中	3	個			
腕金 1.2m	1	本			
アームタイ 2.3-25-945	1	本			
亜鉛メッキ銅撚線 2種　A級　22sq	1.2	kg			
巻付グリップ 22sq	4	個			
装柱金具 Uボルト13-220	1	個			
エントランスキャップ VE42	1	個			
足場ボルト CP用	8	本			
プリカチューブ 50mm	1	m			
ステンレスベルト SFBT-10	4	m			
ステンレスベルト締金具 10mm幅用	5	個			

施工単価表

低圧受電設備　　V9003　　単第0 -0187　表

25kW以下　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
根かせ コンクリートA形	1	個			
電線管 VE42	4	m			
電線管 VE16	2	m			
接地棒 10φ-1000	2	本			
接地棒リード端子	2	個			
電線 VVR-38sq-3c	4	m			
電線 IV5.5	3	m			
玉碍子	1	個			
仮設ボックス 屋外用500*400*200	1	面			
漏電遮断器 600V　3P　50AF	2	個			
漏電遮断器 600V　3P　50AF	1	個			
低圧ブレーカ 600V　3P　225AF	1	個			

施工単価表

低圧受電設備　　V9003　　単第0 -0187　表

25kW以下　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
進相コンデンサ 600V　200μF	1	個			
進相コンデンサ 600V　150μF	2	個			
電工	6	人			
普通作業員	3	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

重建設機械分解組立輸送　S1000017　単第0 -0188　表

バックホウ系　山積1.0m3以上山積1.4m3以下　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	2.700	人			2.7*1
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.400	日			1.4*1
運搬費等	250	%			#06
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=2　バックホウ系 C=1　-			B=3　山積1.0m3以上山積1.4m3以下 E=1　分解・組立		

施工単価表

重建設機械分解組立輸送　S1000017　単第0 -0189　表

クローラ式杭打機　20t以上60t以下　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	8.600	人			8.6*1
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 60t吊,オペレータ付 排2,3,2011,2014	2.100	日			2.1*1
運搬費等	163	%			#06
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=5　クローラ式杭打機 C=1　-			B=15　20t以上60t以下 E=1　分解・組立		

施工単価表

重建設機械分解組立輸送　S1000017　単第0 -0190　表

クローラクレーン系　80t吊超え150t吊以下　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	11.300	人			11.3*1
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 60t吊,オペレータ付 排2,3,2011,2014	3.100	日			3.1*1
運搬費等	315	%			#06
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=3　クローラクレーン系 C=1　-			B=7　80t吊超え150t吊以下 E=1　分解・組立		

施工単価表

重建設機械分解組立輸送　V6009　単第0 -0191　表

連続地中壁用機械　クローラ式アースオーガ　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	27.7	人			
機-27_クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型100t吊	6	日			単第0-0108　表
ベースマシン運搬費 本体・分解部品	1	式			
ベースマシン運搬中損料 L=780km　往復	1	式			
アースオーガ多軸装置運搬費	1	式			
混合プラント運搬費 プラント40m3/h級 サイロ30t移動型等	1	式			
削孔錐軸運搬費 総重量59.04t	1	式			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0192　表

運搬距離 67km　製品長 12m以内　鋼矢板、鋼製山留材等　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 67km 製品長 12m以内 運搬質量 1090.3t	1.000	式			単第0-0193　表
往復					
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0194　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=67　運搬距離(km) C=1　- E=1090.3　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0193　表

運搬距離 67km　製品長 12m以内 運搬質量 1090.3t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	1,090.300	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=67　運搬距離(km) D=1090.3　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0194　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	1,090.300	t			
仮設材取卸し費（現場）	1,090.300	t			
仮設材積込み費（現場）	1,090.300	t			
仮設材取卸し費（基地）	1,090.300	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=1090.3　運搬質量(t)		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0195　表

運搬距離 10km　製品長 12m以内　敷鉄板、ガイド定規等　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 10km 製品長 12m以内 運搬質量 42.19t	1.000	式			単第0-0196　表
往復					
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0197　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=10　運搬距離(km) C=1　- E=42.19　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0196　表

運搬距離 10km　製品長 12m以内 運搬質量 42.19t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	42.190	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=10　運搬距離(km) D=42.19　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0197　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	42.190	t			
仮設材取卸し費（現場）	42.190	t			
仮設材積込み費（現場）	42.190	t			
仮設材取卸し費（基地）	42.190	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=42.19　運搬質量(t)		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0198　表

運搬距離 10km　製品長 12m以内　仮桟橋材料　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 10km 製品長 12m以内 運搬質量 38t	1.000	式			単第0-0199　表
往復					
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0200　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=10　運搬距離(km) C=1　- E=38　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0199　表

運搬距離 10km　製品長 12m以内 運搬質量 38t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	38.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=10　運搬距離(km) D=38　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0200　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	38.000	t			
仮設材取卸し費（現場）	38.000	t			
仮設材積込み費（現場）	38.000	t			
仮設材取卸し費（基地）	38.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=38　運搬質量(t)		